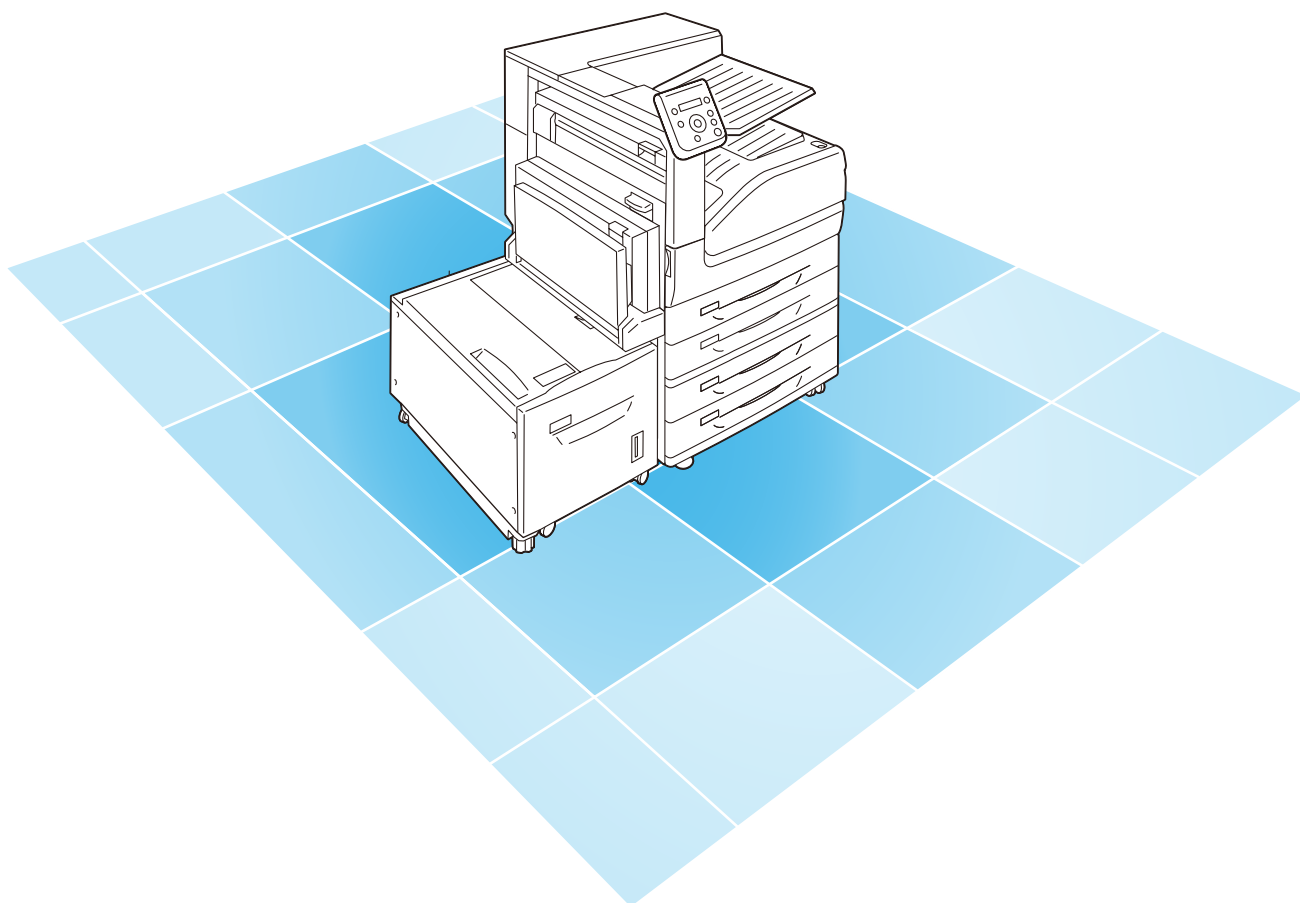


MultiWriter 4700

モノクロページプリンタ



活用マニュアル

安全にかかわる表示

プリンターを安全にご利用いただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される場所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。



警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号はつぎのような意味を表しています



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



静電気
破損注意



注 意



発火注意



破裂注意



感電注意



高温注意



回転物注意



指挟み注意

⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁 止



火気禁止



接触禁止



風呂等での
使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指 示



電源プラグ
を抜く



アース線を
接続せよ

NEC、NEC ロゴ、FontAvenue は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat、Reader、PostScript、Adobe PostScript 3 は、
Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の
米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Internet Explorer は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS、OS X、TrueType は、
Apple Inc. の登録商標です。

RSA および BSAFE は、EMC コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

ThinPrint は、ThinPrint GmbH のドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。

HP、HP-GL、HP-GL/2 は、日本ヒューレット・パカード社の登録商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

MULTIWRITER、Ethernet（イーサネット）、ContentsBridge、ApeosWare、PDF Bridge、CentreWare、
DocuShare、および DocuWorks は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標で
す。

ライセンスについては、「ライセンスについて」（P. 26）に記載してあります。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで△と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行
う前にお読みいただき、指示をお守りください。

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわら
ず、法律に違反し罰せられます。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したもので
す。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登
録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いま
せんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、
あらかじめご了承ください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため
使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品
をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。
- ⑥ 本製品は、外国為替及び外国貿易法および / または、米国輸出管理規則に定める「輸出規制貨物」に該当しま
す。つきましては、本品を外国へ輸出する場合には、日本国政府の輸出許可および / または、米国政府の再輸
出許可を受ける必要があります。

はじめに

このたびは MultiWriter 4700（以降、本機と表記します）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。

本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に必ず最初に本書をお読みのうえ、正しくご利用ください。

本書は、お使いのコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に記載しています。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご活用いただけます。

本書で使用しているイラストは、オプションの 2 トレイモジュールを装着した場合を例に記載しています。

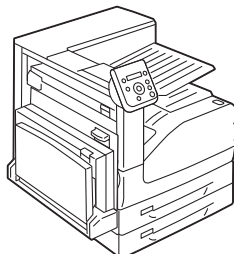
また、画面例は 2015 年 8 月現在のもので、今後、予告なく変更される場合があります。

日本電気株式会社

MultiWriter 4700 の特長

■ A3 対応、しかもハイスピード、高画質

- ・ A4 で毎分 55 ページの印刷スピード。
(同一原稿、片面連続で印刷時)



- ・ オイルレス定着技術の採用で、書き込みや捺印、付箋も貼りやすい。
- ・ 写真や POP、プレゼンテーションなど、文書の用途や目的に合った画質で印刷。

■ さまざまな紙質やサイズに対応

- ・ 厚紙などの特殊紙、定形外用紙も用紙トレイにまとめてセットすることが可能。
- ・ 手差しトレイを使えば、はがきや封筒など、さらに多くの用紙種類に対応。

■ 環境に優しい省エネ仕様

- ・ 充実した節電機能で、プリンターの消費電力を低減。
- ・ EA-ECO トナーを採用し、プリンターの消費電力の低減、CO2 排出の削減に寄与。

■ インストールや設定を簡単に

- ・ 付属のメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) からプリンタードライバーを簡単インストール。
- ・ Web からプリンターの状況を確認、各種設定が可能 (CentreWare Internet Services)。

■ 豊富な印刷機能

- ・ まとめて 1 枚 (N アップ)
複数ページを 1 枚に割り付けて印刷します。
- ・ 両面
用紙の両面に印刷します。
- ・ サンプルプリント^{*1}
1 部だけ印刷して内容を確認してから、残りの部数を印刷します。
- ・ スタンプ
「社外秘」などの文字を重ねて印刷します。
- ・ お気に入り
よく使う印刷設定が、プリンタードライバーの [お気に入り] リストに登録されています。印刷するときは、リストから項目を選択するだけで目的に合った設定が一度にできます。
- ・ ダイレクトプリント機能
ContentsBridge Utility を使えば、PDF ファイルや DocuWorks ファイルをドラッグ & ドロップするだけで、印刷できます。



* ポスターや製本印刷する場合は、ART-EX プリンタードライバーをお使いください。ただし、アプリケーション等で個別の指定がない場合は、標準プリンタードライバー (NPD L) をお使いください。

■ 各種セキュリティ機能も搭載

- ・ コンピューターとプリンター間の通信経路の暗号化
ネットワーク上で不正アクセスによる情報漏洩を抑止します。
- ・ 操作パネルのロック
パスワードの入力によって、操作パネルでの操作を制限し、管理者以外のユーザーが勝手に設定を変更できないようにします。
- ・ プリントユーザー制限^{*3}
本機の認証機能によって、印刷できるユーザーを限定できます。
- ・ 受信制限
LPDまたはPort9100ポートを使用して印刷する場合、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。
- ・ セキュリティープリント^{*1*2}
出力データを本体内に一時蓄積し、改めて本体の操作パネルでパスワードを入力することで出力させます。そのため、他のドキュメントと混ざること、回収し忘れることもなく、機密性の高い出力ができます。
- ・ ハードディスク上の蓄積データを削除して漏洩を抑止^{*2}
ハードディスク内の残存データに対して、外部からの分析を防ぐ「オーバーライト機能」に加え、デバイスの残存情報を一括で削除する「一括消去機能」を搭載しています。

^{*1} ハードディスク (オプション) を取り付けて、RAM ディスクを有効にする必要があります。

^{*2} ハードディスク (オプション) が必要です。

^{*3} NPD L プリンタードライバーでは対応しません。

目次

安全にかかわる表示	2
はじめに	4
MultiWriter 4700 の特長	5
目次	6
マニュアル体系	12
本書の使い方	13
安全にお使いいただくために	15
セキュリティ警告画面について	25
ライセンスについて	26
法律上の注意事項	31
1 プリンター環境の設定	32
1.1 使用できる環境について	32
1.2 ケーブルを接続する	35
1.3 ネットワーク環境を設定する	40
IP アドレス (IPv4) を設定する	40
IP アドレス (IPv6) を設定する	43
1.4 使用するポートを起動する	44
1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する	45
CentreWare Internet Services の概要	45
CentreWare Internet Services を使用する	47
ヘルプの使い方	48
1.6 プリンタードライバをインストールする	49
NPDL プリンタードライバの場合	49
ART-EX プリンタードライバの場合	50
アンインストールについて	50
1.7 ART-EX ドライバと NPDL ドライバの機能の比較	52
2 プリンターの基本操作	53
2.1 各部の名称と働き	53
プリンター本体	53
操作パネル	57
ディスプレイの表示について	59
2.2 電源を入れる / 切る	60
主電源を入れる	60
電源を入れる	60
電源を切る	61
主電源を切る	61
2.3 漏電ブレーカーについて	63
2.4 節電モードを設定 / 解除する	65
節電モードを設定する	65
節電モードを解除する	65
節電モードに移行しない場合について	65
2.5 印刷を中止する / 確認する	66
印刷を中止する	66
印刷指示したデータの状態を確認する	67
2.6 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する	68
プリンター名や IP アドレスを指定してプリンターの情報を取得する (NPDL プリンタードライバの場合)	68

プリンター名や IP アドレスを指定してプリンターの情報を取得する (ART-EX プリンタードライバーの場合)	69
自動でプリンターの情報を取得する	70
手動でプリンターの情報を設定する	72
3 印刷する (NPD L プリンタードライバーの場合)	74
3.1 コンピューターから印刷する	74
3.2 はがき / 封筒に印刷する	77
手差しトレイではがき / 封筒を印刷する	77
3.3 定形外サイズ of 用紙に印刷する	81
定形外サイズ of 用紙をセットする	81
定形外サイズを登録する	81
定形外サイズ of 用紙に印刷する	82
3.4 さまざまな種類 of 用紙に印刷する	84
3.5 大量・連続印刷する	88
リレー給紙の設定	88
グループトレイの設定	90
3.6 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -	93
セキュリティプリント機能について	93
セキュリティプリントをする	93
3.7 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -	97
サンプルプリント機能について	97
サンプルプリントをする	97
3.8 認証プリント	101
認証プリントについて	101
認証プリントをするための設定	101
認証プリントをする	101
4 印刷する (ART-EX プリンタードライバーの場合)	104
4.1 コンピューターから印刷する	104
4.2 はがき / 封筒に印刷する	107
手差しトレイではがき / 封筒を印刷する	107
4.3 定形外サイズ of 用紙に印刷する	111
定形外サイズ of 用紙をセットする	111
定形外サイズを登録する	111
定形外サイズ of 用紙に印刷する	113
4.4 さまざまな種類 of 用紙に印刷する	115
4.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -	118
セキュリティプリント機能について	118
セキュリティプリントをする	118
4.6 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -	122
サンプルプリント機能について	122
サンプルプリントをする	122
4.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -	126
時刻指定プリント機能について	126
時刻指定プリントを登録する	127
時刻指定プリントを中止する	128
4.8 認証プリント	129
認証プリントについて	129
認証プリントをするための設定	129
認証プリントをする	129
5 印刷する (プリンタードライバーを使用しない場合)	132
5.1 PDF ファイルを直接印刷する	132

	印刷できる PDF ファイル	132
	PDF ファイルを直接印刷する方法	133
5.2	DocuWorks ファイルを直接印刷する	135
	印刷できる DocuWorks ファイル	135
	DocuWorks ファイルを直接印刷する方法	135
5.3	電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -	137
	メール受信プリントをするための環境設定	137
	メールを受信する	141
	メールを手動で受信して印刷する	144
	メールによる文書送信時のご注意	145
5.4	Google クラウドプリントを使って印刷する	146
	Google クラウドプリントについて	146
	使用環境の設定	146
	プリントする	154
	Google クラウドプリントのトラブル対処	155
	Google クラウドプリントの注意 / 制限	156
6	用紙について	157
6.1	用紙について	157
	使用できる用紙	157
	特殊用紙について	161
	使用できない用紙	162
	用紙についての注意事項	163
	用紙の保管と取り扱い	163
6.2	用紙をセットする	165
	手差しトレイに用紙をセットする	165
	トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする	168
	トレイ 6 に用紙をセットする	171
	トレイの用紙サイズを設定する	174
	トレイの用紙種類を変更する	175
	用紙別の画質処理を設定する	177
	自動トレイ選択について	178
	手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する	179
7	操作パネルでの設定	181
7.1	共通メニューの概要	181
	メニューの構成	181
	設定を変更する	183
7.2	共通メニュー項目の説明	185
	[レポート / リスト]	185
	[メーター確認]	185
	[機械管理者メニュー]	185
	[プリント言語の設定]	247
	[言語切り替え]	253
8	困ったときには	254
8.1	紙づまりの処置	254
	本体の左側面上部カバー [A] での紙づまり	255
	左側面下部カバー [B] での紙づまり	257
	本体の左側面下部カバー [C] での紙づまり	258
	本体の左側面上部カバー [D] での紙づまり	259
	左側面最上部カバー [E] での紙づまり	260
	用紙トレイ 1 ～ 2、3 ～ 4 (2 トレイモジュール装着時) での紙づまり	261
	用紙トレイ 3 での紙づまり (タンデムトレイモジュール装着時)	261

用紙トレイ 4 での紙づまり (タンデムトレイモジュール装着時)	262
手差しトレイでの紙づまり	263
用紙トレイ 6 (大容量トレイモジュール) での紙づまり	263
フィニッシャ、中とじフィニッシャでの紙づまり	265
8.2 ホチキスの針づまりの処置	273
平とじホチキスカートリッジの針づまり (フィニッシャ、中とじフィニッシャ装着時)	274
中とじホチキスカートリッジの針づまり (中とじフィニッシャ装着時)	276
8.3 電源、異常音など、機械本体のトラブル	278
8.4 印刷が正しくできないトラブル	279
8.5 印字品質や画質のトラブル	282
8.6 トレイや用紙送りのトラブル	286
8.7 主なエラーメッセージとエラーコード	287
主なエラーメッセージ (50 音順)	287
エラーコード	297
8.8 ネットワーク関連のトラブル	324
CentreWare Internet Services 使用時のトラブル	324
メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル	325
IPv6 接続時のトラブル	326
IPv6 環境での印刷時のトラブル	327
その他 IPv6 使用時のトラブル	327
8.9 カスタムモードについて	328
8.10 修理に出す前に	329
8.11 プリンター・消耗品を廃棄するときは	329
9 日常管理	330
9.1 消耗品を交換する	330
消耗品の種類と購入について	330
使用済み消耗品の回収	331
トナーカートリッジを交換する	332
ドラムカートリッジを交換する	334
ホチキス針を交換する	337
パンチ穴のクズを捨てる	340
9.2 レポート / リストを印刷する	342
レポート / リストの種類	342
レポート / リストを印刷する	345
9.3 印刷ページ数を確認する	346
総印刷ページ数を確認する (メーター)	346
コンピューター別に印刷ページ数を確認する ([プリンター集計レポート])	347
機能別に印刷ページ数を確認する ([機能別カウンターレポート])	348
9.4 IP アドレスを変更する	349
9.5 Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する	351
9.6 SimpleMonitor でプリンターの状態を確認する	352
9.7 電子メールでプリンターの状態を確認する	353
メール通知サービスで通知される情報	353
メール通知サービスを使用するための設定	353
9.8 RAM ディスクを使用するための設定 (ART-EX プリンタードライバ使用時)	356
9.9 セキュリティー機能について	359
セキュリティ機能の概要	359
IP アドレスによる受信制限	361
複製管理機能について	362
強制アノテーション機能について	368
監査ログ機能について	371
9.10 暗号化機能を設定する	373

証明書の種類	373
暗号化機能について	373
HTTP の通信を暗号化するための設定	374
IPSec を使用して暗号化するための設定	378
9.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について	382
認証 / 集計管理機能の概要	382
認証 / 集計管理機能を使用するための設定	383
9.12 ペーパーレジを調整する	387
9.13 清掃について	389
本機外部の清掃	389
9.14 プリンターを移動するときは	390
10 NPDL の設定	391
10.1 NPDL モードを使用するには	391
ディスプレイの表示について	391
ボタンによるプリンターの設定	391
モードメニュー画面	392
10.2 フォントについて	392
10.3 各ボタンで設定できる項目	393
10.4 NPDL モードメニューで設定できる項目	395
NPDL モードメニューについて	395
NPDL 設定項目一覧	396
NPDL モードメニューの設定方法	411
A 付 録	413
A.1 主な仕様	413
本体	413
フィニッシャ（オプション）	418
中とじフィニッシャ（オプション）	420
大容量トレイモジュール（オプション）	421
印刷保証領域	423
内蔵フォント	423
A.2 オプション品の紹介	426
A.3 保証について	428
保証書について	428
保守サービスについて	429
プリンターの耐久性について	429
消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について	430
ユーザーズマニュアルの再購入について	431
情報サービスについて	432
A.4 ハードディスク（オプション）の取り付け	434
取り付け手順	434
A.5 セキュリティ拡張キット（オプション）の取り付け	437
取り付け手順	437
A.6 注意 / 制限事項	441
本体の注意と制限	441
TCP/IP（lpd）の注意と制限	444
セカンダリーイーサネットカード（オプション）使用時の注意 / 制限	446
IPv6 接続の注意と制限	447
設定情報の複製機能についての注意と制限	448
セキュリティー機能上の注意と制限	450
A.7 用語集	452
索引 	457

操作パネルメニュー一覧	461

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

設置手順書	本機の設置手順を説明しています。
ユーザーズマニュアル（冊子）	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、一部のオプションの取り付け手順について説明しています。 このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、活用マニュアルを参照してください。
活用マニュアル（PDF） （本書）	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について説明しています。 ・このマニュアルはメディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の製品マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、およびソフトウェアのインストール方法について説明しています。 ・このマニュアルは、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド （PDF）	ART IV、ESC/P、PCL、HP-GL [®] 、HP-GL/2 [®] の各エミュレーションについて説明しています。 ・このマニュアルは、メディア内（MultiWriter プリンターソフトウェア）の製品マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript ユーザーズガイド （PDF）	PostScript [®] プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目について説明しています。 ・このマニュアルは、PostScript ソフトウェアキットに同梱されているメディア内に収録されています。
日本語ページプリンタ言語 NPD L（Level2）リファレンス マニュアル （型番 PC-PRNPDL2-RM）	ページプリンタの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

本書の使い方

本書は、本機をはじめてご使用になるかたを対象に、印刷環境の設定、印刷のしかた、使用できる用紙、日常のお手入れ方法などについて記載しています。

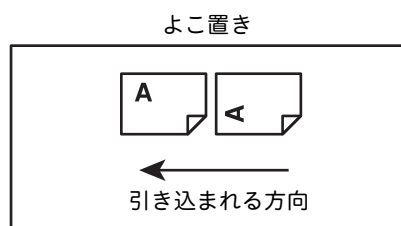
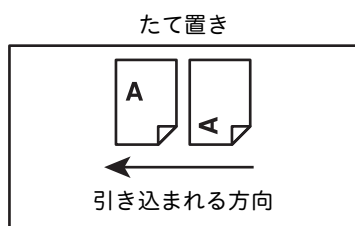
本書の構成

本書は、次のような章で構成されています。各章の概要を説明します。

1 プリンター環境の設定	本機の設置が終わってから、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。
2 プリンターの基本操作	各部の名称と働きや、基本的な機能（電源の入 / 切、印刷の中止など）の操作方法について説明しています。
3 印刷する（NPDL プリンタードライバの場合）	NPDL プリンタードライバを使用した、印刷方法について説明しています。
4 印刷する（ART-EX プリンタードライバの場合）	ART-EX プリンタードライバを使用した、主な印刷方法について説明しています。
5 印刷する（プリンタードライバを使用しない場合）	プリンタードライバを使用しない印刷方法について説明しています。
6 用紙について	使用できる用紙や用紙のセット方法について説明しています。
7 操作パネルでの設定	操作パネルで設定できる項目とその設定方法について説明しています。
8 困ったときには	トラブル（紙づまり、エラーメッセージなど）が発生したときの対処方法について説明しています。
9 日常管理	消耗品の交換方法やレポート / リストの印刷方法、日常の管理について説明しています。また、機械管理者を対象に、コンピューターから本機の状態を確認したり、設定したりするツールや、本機のセキュリティー機能、認証 / 集計管理機能について説明しています。
10 NPDL の設定	本機を NPDL モードで使用する際の、プリンターの設定について説明しています。
A 付録	主な仕様や、オプション品の紹介、消耗品の寿命、製品情報の入手方法について説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
注記 注意すべき事項を記述しています。必ず、お読みください。
補足 補足事項を記述しています。
参照 参照先を記述しています。
3. 本文中では、次の記号を使用しています。
参照「 」: 参照先は、本書内です。
参照『 』: 参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。
[] : コンピューターやプリンターの操作パネルのディスプレイに表示されるメニュー、項目、メッセージを表します。また、プリンターから出力されるレポート/リスト名を表します。
< > : キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。
> : 操作パネルのメニューや CentreWare Internet Services のメニューの階層を表します。
4. 本文中では、用紙の向きを、次のように表しています。
☐、たて置き: プリンター正面からみて、用紙を縦長にセットした状態です。
☒、よこ置き: プリンター正面からみて、用紙を横長にセットした状態です。



安全にお使いいただくために

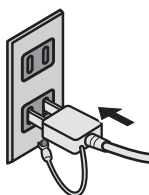
ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

電源およびアース接続時の注意

⚠ 警告



電源コードのアース線を取り付ける



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース端子
- ・銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、設置接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

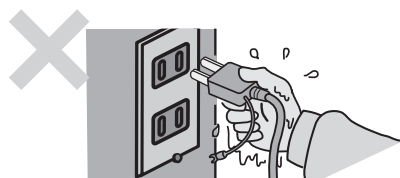
ご使用になる電源コンセントのアース線をご確認ください。アースが取れない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店または NEC の相談窓口にお問い合わせください。

ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管（引火や爆発の危険おそれがあります。）
- ・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）



ぬれた手で電源プラグを触らない

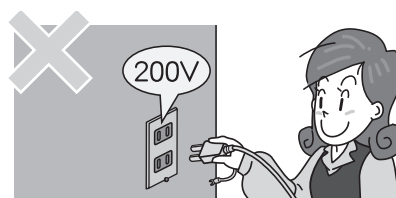


ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。

感電するおそれがあります。



100V 以外のコンセントに差し込まない



電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。プリンターの定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。プリンターの定格電圧値および定格電流値は、プリンター背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

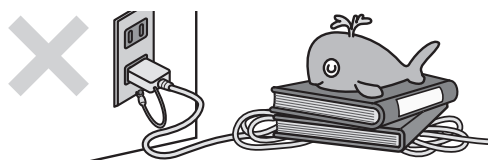
⚠ 注意

❗ 専用電源コード以外は使わない



プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

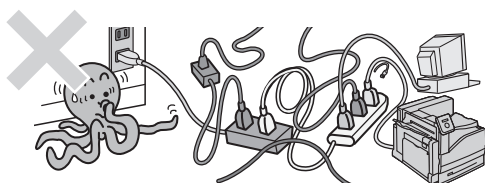
❗ 電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）弊社のサービス窓口または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

⊘ 延長コードを使わない



添付のコードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のサービス窓口または販売店にご相談ください。

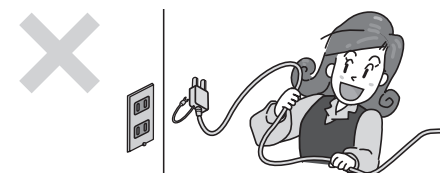
⊘ 添付の電源コードを他の装置や用途に使わない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

⊘ 清掃を行う場合は電源プラグを抜く

プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

⊘ 電源コードを抜くときはコードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

❗ 本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。

緊急時に容易にプラグを抜くことができるように本製品はコンセントの近くに設置してください。

設置時の注意

⚠ 警告

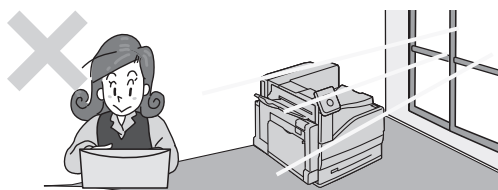
❗ **電源コードを踏まない場所に設置する**
プリンターは、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

⊘ **発熱器具に近い場所には設置しない**
以下のような場所にはプリンターを設置しないでください。

- ・発熱器具に近い場所
- ・揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- ・高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど

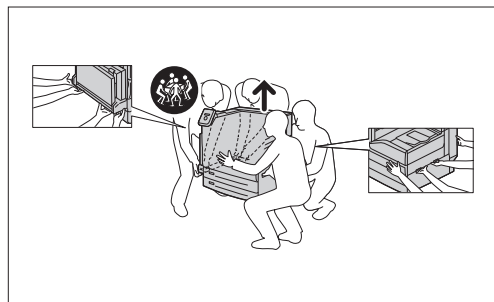
⚠ 注意

❗ **直射日光が当たるところには置かない**



プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

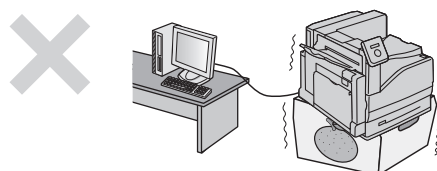
❗ **プリンターを運ぶときは4人以上で**



プリンターの質量は、約 57.8kg（本体のみ、消耗品を含む）です。

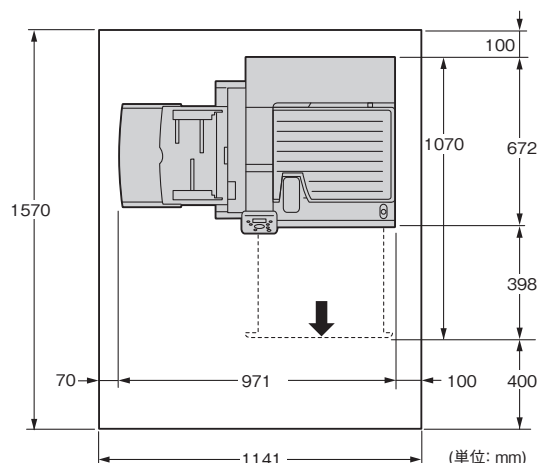
プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右および前面、背面の手かけ部分を、4人でしっかりと持ってください。指示した場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

❗ **不安定な場所に置かない**



プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

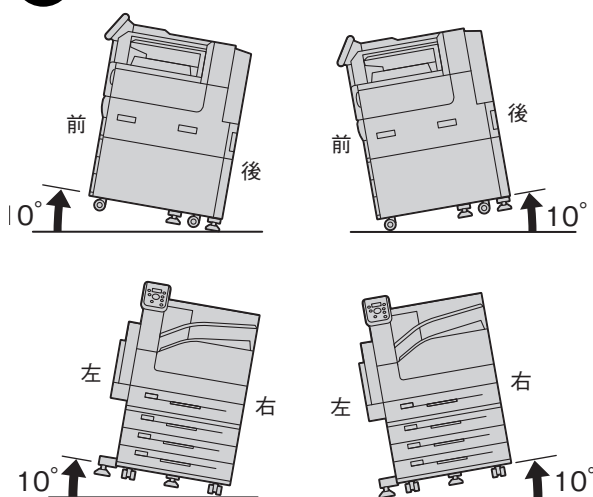
! 設置時は周囲のスペースを確保し通気口はふさがらない



プリンターには通気口があります。プリンターの通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

プリンターを安全に正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、上図の設置スペースを確保してください。また、プリンターの異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

! プリンターを傾けない



プリンターを 10 度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

! キャスターのストッパーは必ずロック
プリンターを設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。
ストッパーをロックしないと、プリンターが思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

機械使用上の注意

! 警告

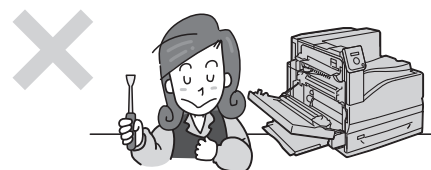


定着ユニットの安全性

定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合にはお買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。



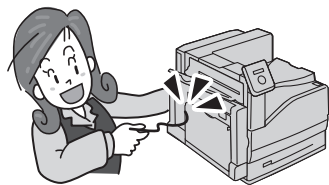
分解・修理・改造しない



マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。



プリンター内に異物を入れない



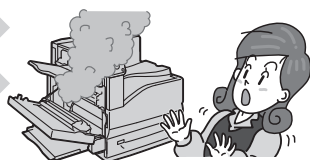
プリンターの隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、プリンターの上に置かないでください。

- ・花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- ・クリップやホチキスの針などの金属類
- ・重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むとプリンター内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



煙や異臭、異音が出たら電源 OFF



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- ・プリンターから発煙したり、プリンターの外側が異常に熱くなったとき
- ・異常な音やにおいがするとき
- ・電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ・ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- ・プリンターの内部に水が入ったとき
- ・プリンターが水をかぶったとき
- ・プリンターの部品に損傷があったとき



電気を通しやすい紙は使用しない

電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



スプレータイプのクリーナーは使用しない

プリンターの性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



メディア対応プレイヤー以外では使用しない

付属のメディアを対応プレイヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。



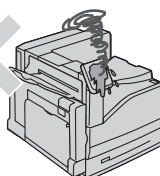
レーザーについて

注意：取扱説明書に書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被爆の原因になるおそれがあります。失明、やけどなどの原因となるおそれがあります。

この機械は、レーザーの国際規格 IEC60825 (Class 1 レーザー機器) に適合しています。このことはレーザー被爆の危険がないことを意味しています。レーザーは機械内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被爆することはありません。



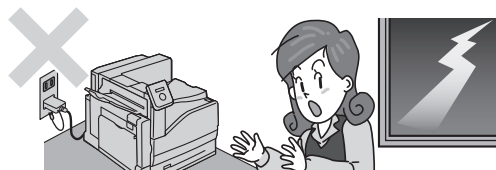
壊れた液晶ディスプレイには触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で 15 分以上洗浄して、医師に相談してください。



雷が鳴り出したらプリンターに触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

落雷などが原因で瞬間的に電圧が低下することがありますが、この対策として交流無停電電源装置などを使用することをお勧めします。



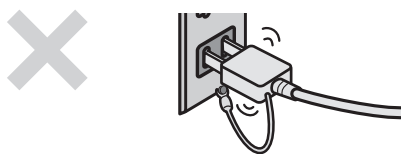
電源コードに薬品類をかけない



電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。



電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々拭いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

⚠ 注意



破損した電源コードは使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。



本ラベル付近にある露出したコネクタには触れない

本ラベル付近にある露出したコネクタには触れないでください。静電気の放電などで故障するおそれがあります。



インターロックスイッチを無効にしない

プリンターのインターロックスイッチを無効にしないでください。プリンターのインターロックスイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。プリンターが作動状態になる場合があります、ケガや感電の原因となるおそれがあります。



プリンター内部の詰まった用紙は無理に取り除かない

プリンター内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。

特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。

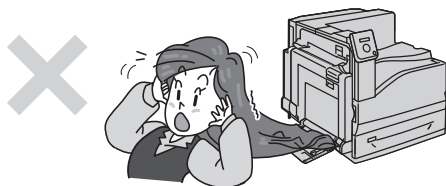


高温注意



プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部分があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



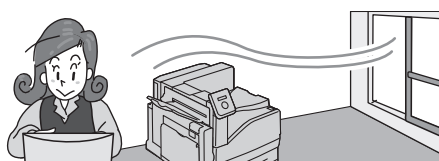
プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります

用紙カセットを勢いよく引き出さない



用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

換気や通風を十分行う



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

消耗品取り扱い上の注意

警告



消耗品は正しく保管する

消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



掃除機でトナーを吸い取らない



床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、弊社のサービス窓口または販売店にご連絡ください。



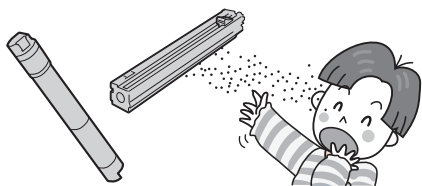
トナーカートリッジを火の中に投げ入れない



トナーカートリッジは、絶対に火中に投げ入れないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは、必ず弊社のサービス窓口または販売店にお渡しください。弊社にて処理いたします。

⚠ 注意

! ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは、幼児の手が届かない場所に保管する



ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

! トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない



トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

! トナーが皮膚や衣服についたり、万一、目や口に入ったら応急処置

次の事項に従って、応急処置をしてください。

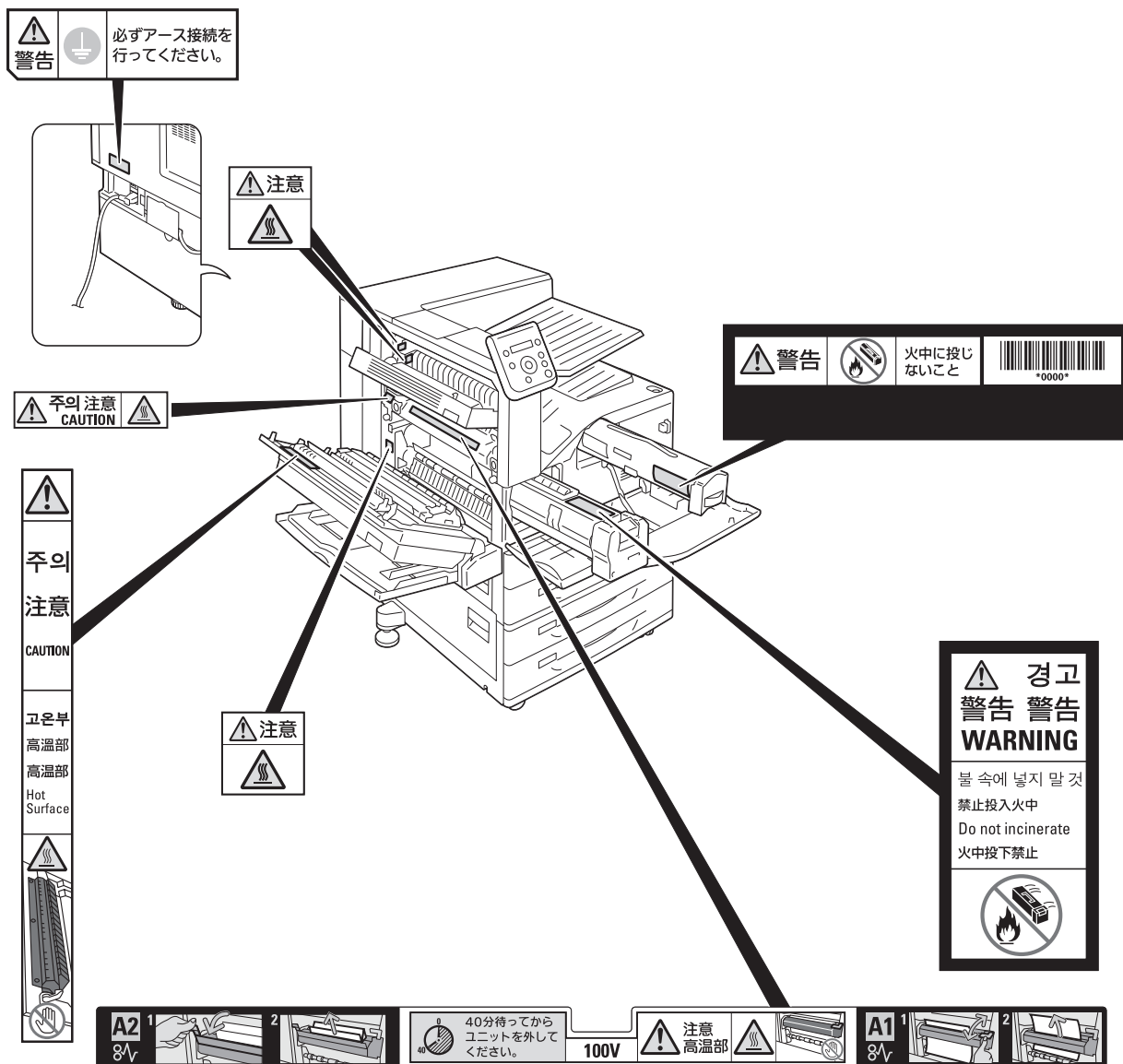
- ・ トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- ・ トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- ・ トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。

特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



環境について

- ・ サポートについて
弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。
- ・ 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマークプリンターの物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品トナーを使用し、試験方法 Blue Angel RAL UZ-171:2012 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。）
- ・ 回収したトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・ 不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは適切な処理が必要です。トナーカートリッジまたはドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ずトナー回収センターに直接お送りいただくか、お買い求めの販売店までお持ち寄りください。「使用済み消耗品の回収」(P. 331) を参照してください。
- ・ 機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。（表示 A 特性音響パワーレベル LWAd が 63dB を超える場合は音が気になると言われています。本商品の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。）

規制について

高周波利用設備型式指定について

本製品は、電波法による総務省高周波利用設備型式指定を受けております。

埋込み型医療機器近くでの取り扱いについて

本機から微弱な電磁波が出ています。

埋込み型医療機器（ペースメーカー等）を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じた時は、本機から直ちに離れてください。そして、医師にご相談ください

電磁波対策自主規制について



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・ 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・ 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。）
- ・ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

セキュリティ警告画面について

本機の設定が以下のいずれかを満たす状態で CentreWare Internet Services の機械管理者モードに入ると、セキュリティ警告画面が表示されます。本機をより安全にご利用いただくために、本機を設置したあと、すぐに設定を変更することをお勧めします。

- ・ 機械管理者の UserID とパスワードが初期値
- ・ SNMP プロトコルの設定でコミュニティ名や認証用パスワードが初期値
- ・ グローバル IP アドレスが設定され、かつ [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている

機械管理者の UserID とパスワード、および SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードの設定を初期値から変更することをお勧めします。これらの値を変更することは、悪意のある第三者による攻撃（設定変更や情報搾取など）を防ぐうえで有効です。

補足

- ・ 機械管理者の UserID とパスワード、SNMP プロトコルのコミュニティ名や認証用パスワードを初期値から変更すると、本機と連携するソフトウェアやユーティリティの動作に影響が出る場合があります。影響を確認の上、変更して下さい。

また、本機にグローバル IP アドレスを設定する場合、受付 IP アドレス制限の設定を行うことにより、本機を外部ネットワークからの不正アクセス（ジョブ履歴の閲覧）から防ぐことが可能です。

さらに、[認証方式の設定] を [本体認証] または [外部認証] に設定することをお勧めします。認証が成功したユーザーのジョブのみをプリントできるように制限することができます。

補足

- ・ 機械管理者の UserID とパスワードの変更、SNMP 認証データの変更、および受付 IP アドレス制限の設定については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・ 認証方式の設定については、「[認証の設定]」(P. 217) を参照してください。詳細はお買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談くださいますようお願いいたします。

ライセンスについて

RSA BSAFE について



本機は、EMC コーポレーションの RSA® BSAFE® ソフトウェアを搭載しています。

Heimdal について

Copyright (c)2000 Kungliga Tekniska högskolan (Royal Institute of Technology, Stockholm, Sweden). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

JPEG コードについて

本機のソフトウェアには、the Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。

Libcurl について

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2006, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

FreeBSD について

本製品には、FreeBSD のコードの一部が搭載されています。

The FreeBSD Copyright

Copyright 1994-2006 The FreeBSD Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE FREEBSD PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FREEBSD PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

OpenLDAP について

Copyright 1998-2006 The OpenLDAP Foundation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted only as authorized by the OpenLDAP Public License.

A copy of this license is available in the file LICENSE in the top-level directory of the distribution or, alternatively, at <http://www.OpenLDAP.org/license.html>.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Individual files and/or contributed packages may be copyright by other parties and/or subject to additional restrictions.

This work is derived from the University of Michigan LDAP v3.3 distribution. Information concerning this software is available at <http://www.umich.edu/~dirsvcs/ldap/ldap.html>.

This work also contains materials derived from public sources.

Additional information about OpenLDAP can be obtained at <http://www.openldap.org/>.

Portions Copyright 1998-2006 Kurt D. Zeilenga.

Portions Copyright 1998-2006 Net Boolean Incorporated.

Portions Copyright 2001-2006 IBM Corporation.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted only as authorized by the OpenLDAP Public License.

Portions Copyright 1999-2005 Howard Y.H. Chu.

Portions Copyright 1999-2005 Symas Corporation.

Portions Copyright 1998-2003 Hallvard B. Furuseth.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this notice is preserved.

The names of the copyright holders may not be used to endorse or promote products derived from this software without their specific prior written permission. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

Portions Copyright (c) 1992-1996 Regents of the University of Michigan.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that this notice is preserved and that due credit is given to the University of Michigan at Ann Arbor. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. This software is provided "as is" without express or implied warranty.

The OpenLDAP Public License

Version 2.8, 17 August 2003

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,
2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and
3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document..

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time.

Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

DES 暗号 について

This product includes software developed by Eric Young.
(eay@mincom.oz.au)

AES 暗号 について

Copyright (c) 2003, Dr Brian Gladman Worcester, UK. All rights reserved. This product uses published AES software provided by Dr Brian Gladman under BSD licensing terms.

TIFF (libtiff) について

LibTIFF Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

ICC Profile (Little cms) について

Little cms Copyright (C) 1998-2004 Marti Maria

XPS (XML Paper Specification) について

This product may incorporate intellectual property owned by Microsoft Corporation. The terms and conditions upon which Microsoft is licensing such intellectual property may be found at <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=52369>.

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ☐ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - ☐ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - ☐ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。
 - ☐ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - ☐ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - ☐ 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - ☐ 私人の印影または署名。
3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合※を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

※法律に定める例外にあたる場合の例

- ☐ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として、複製する場合。
- ☐ 国立図書館、私立図書館、学校附属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- ☐ 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。
ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

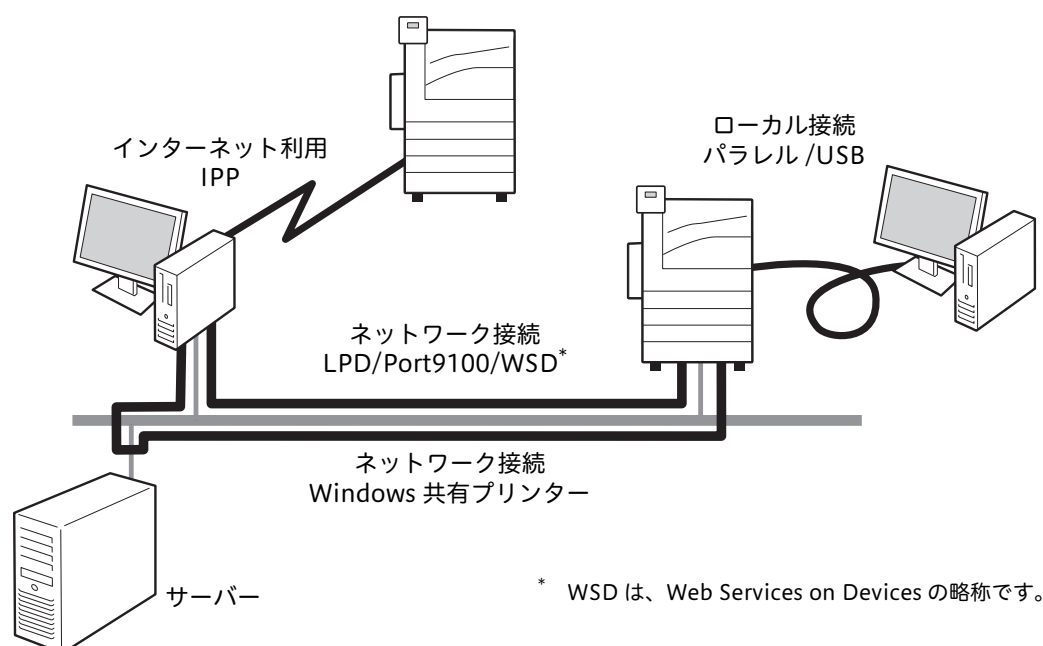
1 プリンター環境の設定

設置手順書に従って、プリンター本体の設置が終わったら、続けてプリンター環境を設定します。

1.1 使用できる環境について

本機は、直接コンピューターに接続するとローカルプリンターとして、ネットワークに接続するとネットワークプリンターとして使用できます。

使用するポートは、操作パネルで「起動」に設定してください。



■ ローカルプリンターとして使用する場合

ローカルプリンターとして使用する場合は、次の接続形態があります。

- ・USB 接続 : 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続して使用します。
(工場出荷時：[起動])
- ・パラレル接続 : 本機とコンピューターをパラレルケーブルで接続して使用します。
パラレルインタフェースカード（オプション）が必要です。(工場出荷時：[停止])

■ ネットワークプリンターとして使用する場合

ネットワークプリンターとして使用する場合は、次の環境で使用できます。

- ・LPD : TCP/IP プロトコルを使用し、本機と直接通信できる場合に使用します。
(工場出荷時：[起動])
- ・Port9100 : ポートとして Port9100 を使用している場合に使用します。
(工場出荷時：[起動])
- ・IPP : インターネットを経由して印刷する場合に使用します。
(工場出荷時：[起動])
- ・WSD* : Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2008、Windows Server® 2008 R2、Windows Server® 2012、Windows Server® 2012 R2、Windows® 8、Windows® 8.1 から印刷する場合に使用できます。
(工場出荷時：[起動])

* WSD は、Web Services on Devices の略称です。

■ コンピューターの OS と使用できる環境

補足

- ・ 対象 OS は予告なく変更されることがあります。弊社ホームページを参照してください。

接続形態	ローカル		ネットワーク			
ポート名	パラレル ^{*1}	USB ^{*2}	LPD	IPP	Port 9100	WSD ^{*3}
プロトコル	-	-	TCP/ IP	TCP/IP	TCP/IP	TCP/ IP
Windows Vista [®]	○	○	○	○	○	○
Windows [®] 7	○	○	○	○	○	○
Windows [®] 8	○	○	○	○	○	○
Windows [®] 8.1	○	○	○	○	○	○
Windows Server [®] 2003	○	○	○	○	○	-
Windows Server [®] 2008	○	○	○	○	○	-
Windows Server [®] 2008 R2	○	○	○	○	○	○
Windows Server [®] 2012	○	○	○	○	○	○
Windows Server [®] 2012 R2	○	○	○	○	○	○
Mac OS X 10.5	-	○	○	-	-	-
Mac OS X 10.6	-	○	○	-	○	-
OS X 10.7 Lion	-	○	○	-	○	-
OS X 10.8 Mountain Lion	-	○	○	-	○	-
OS X 10.9 Marvericks	-	○	○	-	○	-
OS X 10.10 Yosemite	-	○	○	-	○	-

^{*1} パラレルインタフェースカード (オプション) が必要です。

^{*2} 接続するコンピューターに USB2.0 ポートが必要です。

^{*3} WSD は、Web Services on Devices の略称です。

■ コンピューターの OS と使用できるプリンタードライバー

OS	プリンタードライバー	備考
Windows Vista Windows 7 Windows 8 Windows 8.1 Windows Server 2003 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2	NPD L プリンター ドライバー ART-EX プリンター ドライバー	メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）からインストールできます。 詳しくは、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）に同梱されているマニュアル（HTML）を参照してください。
	PostScript プリンタードライバー	PostScript ソフトウェアキット（オプション）が必要です。 詳しくは、PostScript ソフトウェアキット（オプション）に同梱されているメディア 内のマニュアルを参照してください。
UNIX	PostScript プリンタードライバー	PostScript ソフトウェアキット（オプション）が必要です。
Mac OS X 10.5-10.6 Mac OS X 10.7 Lion OS X 10.8 Mountain Lion OS X 10.9 Marvericks OS X 10.10 Yosemite	PostScript プリンタードライバー	PostScript ソフトウェアキット（オプション）が必要です。 詳しくは、PostScript ソフトウェア キット（オプション）に同梱されているメディア 内のマニュアルを参照してください。
	Mac OS X 用 プリンタードライバー	メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）からインストールできます。 詳しくは、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）に同梱されているマニュアル（HTML）を参照してください。

補足

- 最新対応 OS、プリンタードライバーについては、当社公式サイト (<http://jpn.nec.com/printer/laser/>) をご確認ください。

1.2 ケーブルを接続する

接続形態に合ったインターフェースケーブルで、プリンターとコンピューターを接続します。

インターフェースケーブルは、本製品に同梱されていません。別途、購入してください。

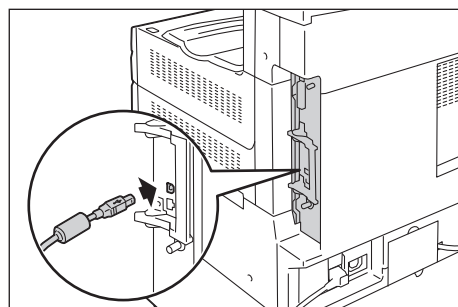
参照

- ・ 接続形態によって、プリンタードライバーのインストール方法が異なります。詳しくは、「1.6 プリンタードライバーをインストールする」(P. 49) および、メディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『マニュアル (HTML 文書)』を参照してください。

USB 接続の場合

USB ケーブルの接続手順を説明します。

1. USB ケーブルを本体のインターフェースコネクタに差し込みます。



2. USB ケーブルの他方のコネクタを、コンピューターに接続します。

ネットワーク接続の場合

ネットワークケーブルの接続手順を説明します。

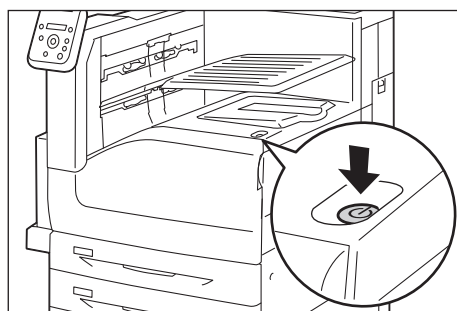
補足

- ・ 1000BASE-T、100BASE-TX、または 10BASE-T に対応したストレートケーブルを用意してください。
- ・ 本機は、IEEE802.3az（データの送受信が行われていないときに、イーサネット機器の電力消費を低減する有線 LAN 準拠規格）に対応しています。この規格で節電効果を得るには、接続する機器同士が IEEE802.3az に対応している必要があります。

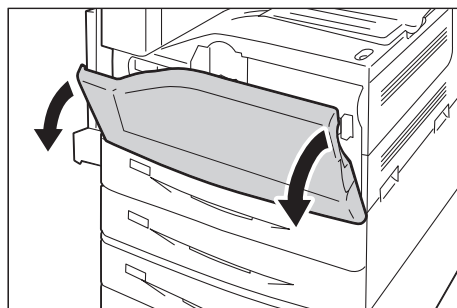
注記

- ・ 1000BASE-T で接続する場合は、カテゴリ（CAT5）やエンハンスドカテゴリ 5（CAT5e）のケーブルを使用する必要があります。信号品質および対ノイズ特性に優れている、エンハンスドカテゴリ 5（CAT5e）以上のケーブルを推奨します。
- ・ 1000BASE-T で接続しても、プリンターの処理速度によっては、1000BASE-T の性能を発揮できない場合があります。
- ・ パラレルインタフェースカード（オプション）とセカンダリーイーサネットカード（オプション）は同時に取り付けることはできません。

1. 本機の電源スイッチを押して、電源を切ります。



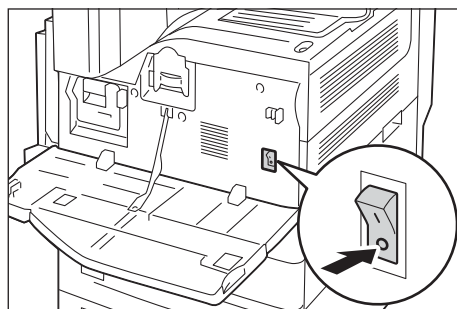
2. フロントカバーを開けます。



3. 主電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

補足

- ・ 操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。

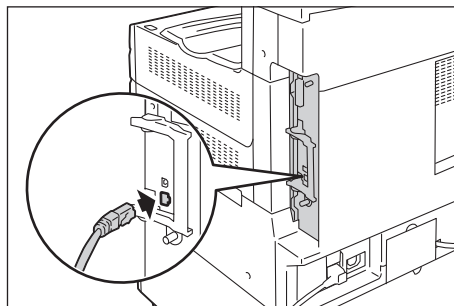


4. ネットワークケーブルを本体のインターフェイスコネクタに差し込みます。

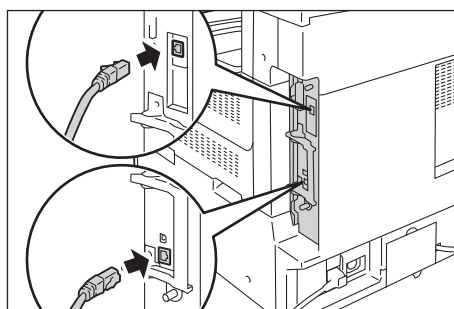
補足

- ・セカンダリーイーサネットカード（オプション）を取り付けている場合、標準のものとあわせて2箇所のインターフェイスコネクタが利用できます。
- ・セカンダリーイーサネットカードは、1000BASE-Tとして利用できます。

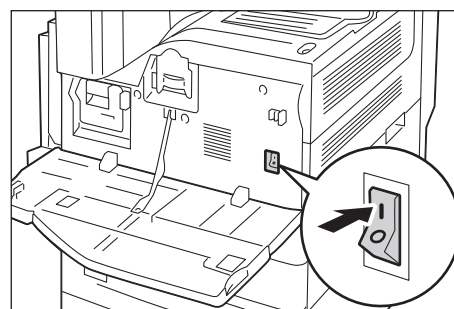
標準構成の場合



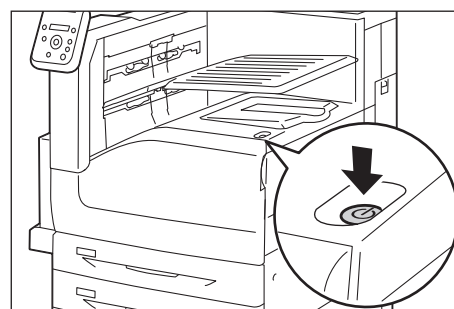
セカンダリーイーサネットカード（オプション）を取り付けている場合



5. ネットワークケーブルの他方のコネクタを、ハブなどのネットワーク機器に接続します。
6. 主電源スイッチの〈I〉側を押して、主電源を入れ、フロントカバーを閉じます。



7. 本機の電源スイッチを押して、電源を入れます。



パラレル接続の場合

パラレルケーブルの接続手順を説明します。

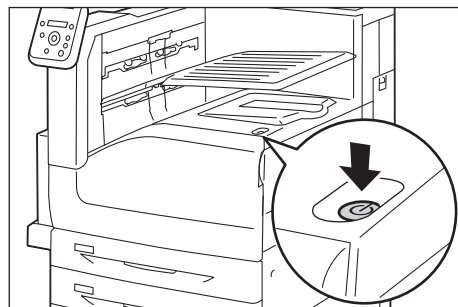
補足

- ・パラレル接続には、弊社オプション製品のパラレルインタフェースカードが必要です。オプション製品については、「A.2 オプション品の紹介」(P. 426) を参照してください。

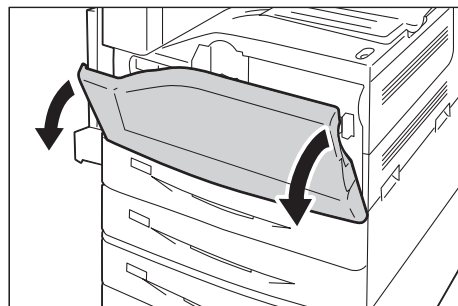
注記

- ・パラレルインタフェースカード (オプション) とセカンダリーイーサネットカード (オプション) を同時に取り付けることはできません。

1. 本機の電源スイッチを押して、電源を切ります。



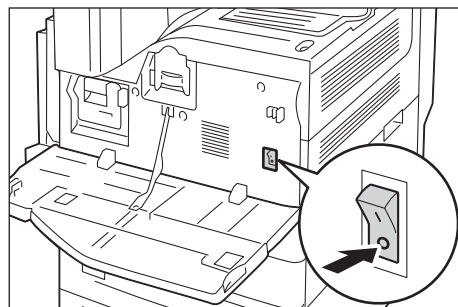
2. フロントカバーを開けます。



3. 主電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

補足

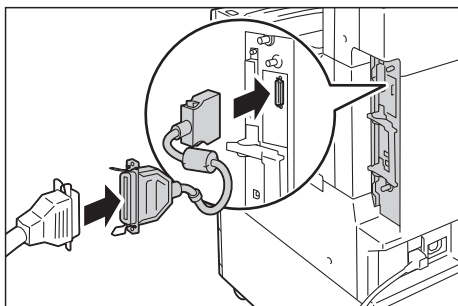
- ・操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。



4. コネクター変換ケーブルを、本体のインターフェースコネクターに差し込みます。
5. コネクター変換ケーブルの他方のコネクターにパラレルケーブルを接続し、両側の金具で固定します。

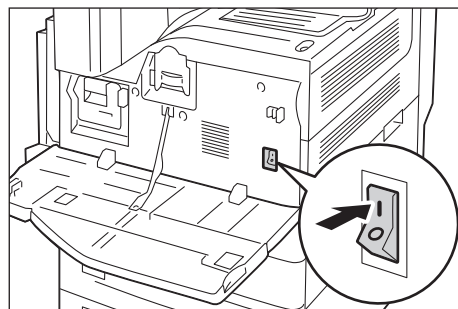
注記

- ・弊社オプション製品ではないパラレルケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

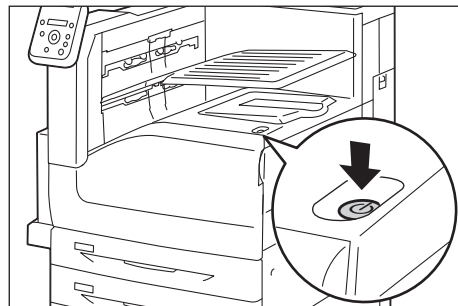


6. パラレルケーブルの他方のコネクターを、コンピューターに接続します。

7. 主電源スイッチの〈I〉側を押して、主電源を入れ、フロントカバーを閉じます。



8. 本機の電源スイッチを押して、電源を入れます。



補足

- ・ 操作パネルのディスプレイに、[IP アドレス取得不可] というメッセージが表示される場合があります。このメッセージを消すには、[ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] > [IPv4 設定] > [IP アドレス取得方法] を [手動] にして、IP アドレス（例：192.0.2.1）を設定するか、または [ネットワーク / ポート設定] でパラレル以外の各ポートを [停止] に設定します。

参照

- ・ IP アドレスの設定方法については、「1.3 ネットワーク環境を設定する」(P. 40) を参照してください。
- ・ 各ポートの設定については、「1.4 使用するポートを起動する」(P. 44) を参照してください。

1.3 ネットワーク環境を設定する

TCP/IP プロトコルを使用するための設定を説明します。その他の環境で使用する場合は、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）の『マニュアル（HTML 文書）』を参照して、ネットワーク環境を設定してください。

補足

- ・ 本機は、IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 アドレスを使用できます。IPv6 アドレスを使用する場合は、「IP アドレス（IPv6）を設定する」（P. 43）を参照してください。

IP アドレス（IPv4）を設定する

TCP/IP プロトコルを使用するためには、IP アドレスの設定が必要です。

工場出荷時、本機の「IP アドレス取得方法」は「DHCP/AutoIP」に設定されています。そのため、DHCP サーバーがあるネットワーク環境では、本機をネットワークに接続すると、自動的に IP アドレスが設定されます。

「機能設定リスト」を印刷して、IP アドレスがすでに設定されているかどうかを確認してください。

IP アドレスが設定されていない場合は、「IP アドレス取得方法」を「手動」に変更し、IP アドレスを設定する必要があります。

TCP/IP	
IP動作モード	デュアルスタック
IPv4	
IPアドレス取得方法	DHCP/Autonetからアドレスを取得
IPアドレス	192. 0. 2. 1
サブネットマスク	255. 255. 255. 0
ゲートウェイアドレス	192. 168. 1. 254
受付IPアドレス制限	しない
ステータス情報	正常

IP アドレスが設定されていれば OK。

設定されていない、または、変更したい場合は、「■ IP アドレスの設定」の手順に従って、操作してください。

補足

- ・ 「機能設定リスト」の印刷方法がわからない場合は、「9.2 レポート / リストを印刷する」（P. 342）を参照してください。
- ・ 本機は、BOOTP サーバーまたは RARP サーバーを使用してアドレス情報を自動的に取得することもできます。この場合は、操作パネルで、「IP アドレス 取得方法」の項目を「BOOTP」または「RARP」に変更してください。
- ・ DHCP で運用する場合は、IP アドレスが変更されていることがあるので、定期的に IP アドレスを確認して使用する必要があります。

ここでは、操作パネルで IP アドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。

■ IP アドレスの設定

注記

- ・ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、使用する環境によって異なります。設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

補足

- ・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

補足

- ・ 間違って、違う項目で〈▶〉または〈OK〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンで前の画面に戻ります。
- ・ 最初からやり直したい場合は、〈仕様設定〉ボタンを押します。

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード

6. [IPv4 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

TCP/IP 設定
IPv4 設定

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

IPv4 設定
IP アドレス取得方法

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。

IP アドレス取得方法
• DHCP/AutoIP

9. [手動] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

IP アドレス取得方法
手動

10. 〈OK〉ボタンで決定します。
[000.000.000.000] と表示された場合は、手順 15 に進んでください。右の画面が表示された場合は、手順 12 に進んでください。

IP アドレス取得方法
• 手動

11. 〈◀〉または〈戻る〉ボタンで、[IP アドレス取得方法] に戻ります。

IPv4 設定
IP アドレス取得方法

12. 〈▼〉ボタンで、[IP アドレス] を表示します。

IPv4 設定
IP アドレス

13. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の IP アドレスが表示されます。

IP アドレス
• 000.000.000.000

14. 〈▲〉〈▼〉ボタンで最初のフィールドに値
(例: 192) を入力し、〈▶〉ボタンを押します。

IP アドレス
192.000.000.000

補足

- ・ 変更する必要がある場合は、〈▶〉ボタンを押すと次のフィールドに移動します。
- ・ 〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、値が 10 ずつ変わります。
- ・ 前のフィールドに戻る場合は、〈◀〉ボタンを押します。

15. 他のフィールドも同様に入力し、最後の 4 つめのフィールドを入力したら、〈OK〉ボタンで決定します。
(例: 192.0.2.1)

IP アドレス
• 192.000.002.001

16. 続けて、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定する場合は、〈戻る〉ボタンを押して、手順 18 に進みます。
これで、操作を終了する場合は、手順 25 に進みます。

■ サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの設定

17. [サブネットマスク] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

IPv4 設定
サブネットマスク

18. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在のサブネットマスクが表示されます。

サブネットマスク
• 000.000.000.000

19. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例: 255.255.255.000)

サブネットマスク
• 255.255.255.000

20. 〈戻る〉ボタンで、[サブネットマスク] に戻ります。

IPv4 設定
サブネットマスク

21. 〈▼〉ボタンで、[ゲートウェイアドレス] を表示します。

IPv4 設定
ゲートウェイアドレス

22. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

ゲートウェイアドレス
• 000.000.000.000



23. IP アドレスと同様にゲートウェイアドレスを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例: 192.168.1.254)

ゲートウェイアドレス
• 192.168.001.254

24. これで、すべての設定が終了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

25. [機能設定リスト] を印刷して、設定した内容を確認します。

IP アドレス (IPv6) を設定する

本機は、IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 アドレスを使用できます。

工場出荷時、本機の [IP 動作モード] は [デュアルスタック] (IPv4/IPv6 を自動的に検知して動作するモード) に設定されています。IPv6 のネットワーク環境で本機をネットワークに接続すると、自動的に IPv6 アドレスが設定されます。

[機能設定リスト] を印刷して、IPv6 アドレスを確認してください。

補足

- 本機に固定の IPv6 アドレスは、CentreWare Internet Services を使用し、手動で設定できます。その場合は、[機能設定リスト] を印刷して自動設定アドレスを確認し、そのアドレスを使って、CentreWare Internet Services にアクセスします。[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で IPv6 アドレスを設定します。CentreWare Internet Services については、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。また、お使いのネットワーク環境については、ネットワーク管理者にご相談ください。

IPv6	
アドレスの手動設定	しない
自動設定	
リンクローカルアドレス	"fe80::a00:37ff:fe9e:1e1b"
ステートレス自動設定アドレス1	"fd00:0:ac1b:43e6:a00:37ff:fe9e:1e1b/64"
ステートレス自動設定アドレス2	" "
ステートレス自動設定アドレス3	" "
自動設定ゲートウェイアドレス	"fe80::209:e8ff:fe78:d920"
受付IPアドレス制限	しない
ステータス情報	正常

補足

- [機能設定リスト] の印刷方法がわからない場合は、「9.2 レポート / リストを印刷する」(P. 342) を参照してください。

1.4 使用するポートを起動する

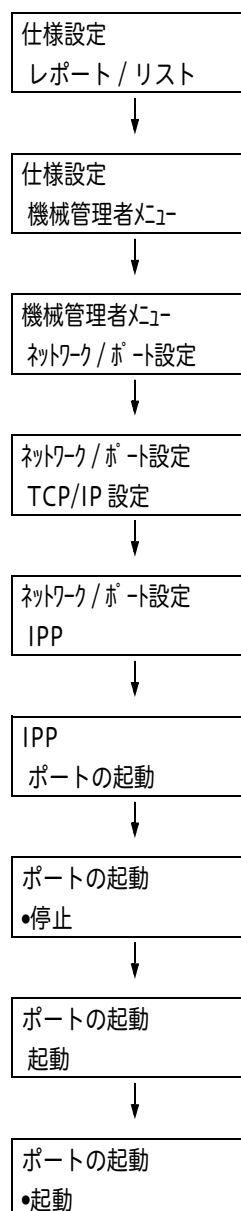
使用するポートは、操作パネルで「起動」に設定しておく必要があります。

なお、「標準セットアップ」で使用される場合は、工場出荷時に、使用するポートが「起動」に設定されているので、ここでの操作は不要です。

使用するポートが「停止」に設定されている場合は、次の手順に従って、設定を変更してください。

ここでは、IPP の例で説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 「機械管理者メニュー」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
「ネットワーク / ポート設定」が表示されます。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
「TCP/IP 設定」が表示されます。
5. 設定するプロトコルが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。(例：IPP)
6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
「ポートの起動」が表示されます。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
8. 〈▼〉ボタンで「起動」を表示します。
9. 〈OK〉ボタンで決定します。
10. これで、設定は終了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。



1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する

CentreWare Internet Services の概要

CentreWare Internet Services は、TCP/IP 環境が使用できる場合に、Web ブラウザーを使用して、プリンターの状態や印刷ジョブ状態の表示、設定の変更をするためのサービスです。

操作パネルで設定する項目のいくつかは、本サービスの [プロパティ] タブでも設定できます。

補足

- ・ パラレルケーブルまたは USB ケーブルで、本機を直接コンピュータと接続している場合は、CentreWare Internet Services は使用できません。



使用できる環境と設定について

■ Web ブラウザー

CentreWare Internet Services を利用するためには、ネットワークプロトコルとして TCP/IP が利用できるコンピュータと Internet Explorer[®] や Safari などの Web ブラウザーが必要です。

■ Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Services を使用する場合、プロキシサーバーを経由しないで直接本機のアドレスを指定することをお勧めします。

補足

- ・ プロキシサーバーを経由して本機のアドレスを指定すると、応答が遅くなったり画面が表示されないことがあります。
- ・ 設定方法については、お使いの Web ブラウザーのマニュアルを参照してください。

また、CentreWare Internet Services を正しく動作させるために、Web ブラウザーで次のように設定する必要があります。

ここでは、Internet Explorer 8.0 を例に説明します。

1. [ツール] メニューから [インターネット オプション] を選択します。

2. [全般] タブにある [閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。
3. [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスの [保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] で、[Web サイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorer を起動するたびに確認する] を選択します。
4. [OK] をクリックします。
5. [インターネット オプション] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。

■ プリンター側の設定

CentreWare Internet Services を使用する場合は、本機の IP アドレスが設定されていることと、[インターネットサービス] が [起動] (工場出荷時: [起動]) に設定されている必要があります。[インターネットサービス] を [停止] に設定している場合は、操作パネルで [起動] にしてください。

参照

- ・「[インターネットサービス]」(P. 200)
- ・「1.4 使用するポートを起動する」(P. 44)

CentreWare Internet Services で設定できる項目

各タブで設定できる主な機能は、次のとおりです。

タブ名	メニュー名	主な機能
状態	一般	本機の名前や IP アドレス、状態が表示されます。
	トレイ	用紙トレイにセットされている用紙の状態や、排出トレイの状態が表示されます。
	消耗品	各種消耗品の残量や状態が表示されます (目安)。実際の交換作業は、操作パネルに表示されるメッセージを見て、行ってください。 参照 ・「8.7 主なエラーメッセージとエラーコード」(P. 287)
	カウンター	現在までの印刷ページ数が表示されます。
	稼働状況別の累積時間	現在までの稼働時間、待機時間、節電中の時間などの累積が表示されます。
	組み込みプラグイン	本機に登録されているプラグインの一覧が表示されます。
ジョブ	ジョブ一覧	処理中のジョブの一覧が表示されます。
	履歴一覧	処理が終了したジョブの一覧が表示されます。
	エラー履歴	エラー・ログに保存されているエラー情報が表示されます。表示されるエラーコードの意味については、「エラーコード」(P. 297) を参照してください。
プリント	プリント指示	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機に直接、印刷を指示できます。[プリント] タブは、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
プロパティ	設定メニュー	プリントプロトコルやメール機能について設定する画面へ移動するためのボタンが表示されます。
	本体説明	製品名やシリアル番号が表示されます。また、名前 ^{*1} や設置場所 ^{*1} 、連絡先 ^{*1} 、管理者メールアドレス ^{*1} 、本体メールアドレス ^{*1} などを設定できます。

プロパティ	一般設定	本機全般にわたる設定が表示されます。また、それぞれの項目を設定できます。 ・ 設定項目：本体構成 / ジョブ管理 / 用紙トレイの設定 / 用紙設定 / 節電モード設定 / 保存文書設定 / メモリー設定 / Internet Services 設定 ^{*1} / オンデマンドプリントサービス設定 ^{*1} / 設定情報の複製 ^{*1} / メール通知設定 ^{*1}
	ネットワーク設定	各種ポートやプロトコルといったネットワーク関連の設定を確認、変更できます。
	サービス設定	プリントモードや各種エミュレーション、メール ^{*1} について設定できます。
	集計設定 ^{*1}	集計管理機能について設定できます。
	セキュリティ ^{*1}	セキュリティ関連の設定ができます。 ・ 設定項目：認証管理 / 認証情報の設定 / 権限グループ登録 / 外部認証サーバー設定 / 受付 IP アドレス制限 / 受付ポート / 監査ログ / 証明書の設定 / IP Sec / 証明書管理 / IEEE 802.1 x / SSL / TLS 設定 / 複製管理 / 強制アノテーション / ジョブ表示の制限 / プラグイン / カスタムサービス設定 / ハードディスクの上書き消去設定 / セキュリティ警告設定 / 機械管理者情報の設定 ^{*2} / 操作パネル制限
サポート	サポート情報へのリンクが表示されます。この設定は変更できます。	

^{*1} CentreWare Internet Services でしか設定できない項目です。操作パネルでは設定できません。

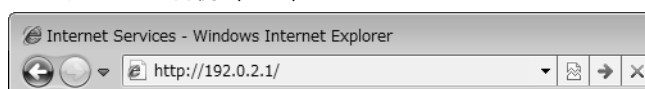
^{*2} 機械管理者の ID とパスワードを設定できます。User ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。機械管理者の User ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。

CentreWare Internet Services を使用する

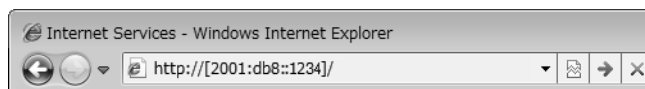
本サービスを使用する手順は、次のとおりです。

1. コンピューターを起動し、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に、プリンターの IP アドレス、または URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services のトップページが表示されます。

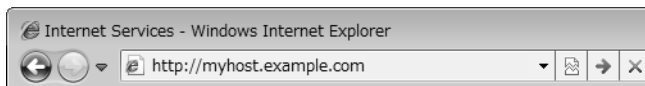
IP アドレスの入力例（IPv4）



IP アドレスの入力例（IPv6）

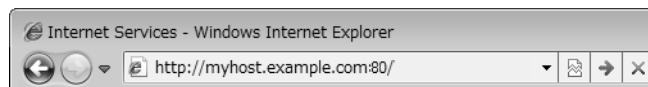


URL の入力例



補足

- ・ポート番号を指定する場合は、アドレスの後ろに「:」に続けて「80」（工場出荷時のポート番号）を指定してください。ポート番号は、[機能設定リスト] で確認できます。
- ・ポート番号は、[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [HTTP] で変更できます。



- ・本機で認証 / 集計管理機能を使用している場合は、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードを入力してください。ID とパスワードについては、機械管理者にお問い合わせください。CentreWare Internet Services を起動すると、右上にユーザー情報が表示されます。



- ・機械管理者、または本機に登録されているユーザーの ID とパスワードでログインして、設定や確認をしたあとは、情報漏洩を防ぐためにも [ログアウト] をクリックして、ログアウトしてください。



- ・通信を暗号化している場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力してください。
- ・認証 / 集計管理機能、および通信の暗号化については、「9.9 セキュリティ機能について」(P. 359)、「9.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 382) を参照してください。

ヘルプの使い方

各画面で設定できる項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。[ヘルプ] をクリックすると、[ヘルプ] ウィンドウが表示されます。



注記

- ・CentreWare Internet Services のヘルプを表示するには、インターネットに接続できる環境が必要です。通信費用はお客様の負担になりますのでご了承ください。

1.6 プリンタードライバーをインストールする

NPDL プリンタードライバーの場合

コンピュータから印刷するために、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）から NPDL プリンタードライバーをインストールします。

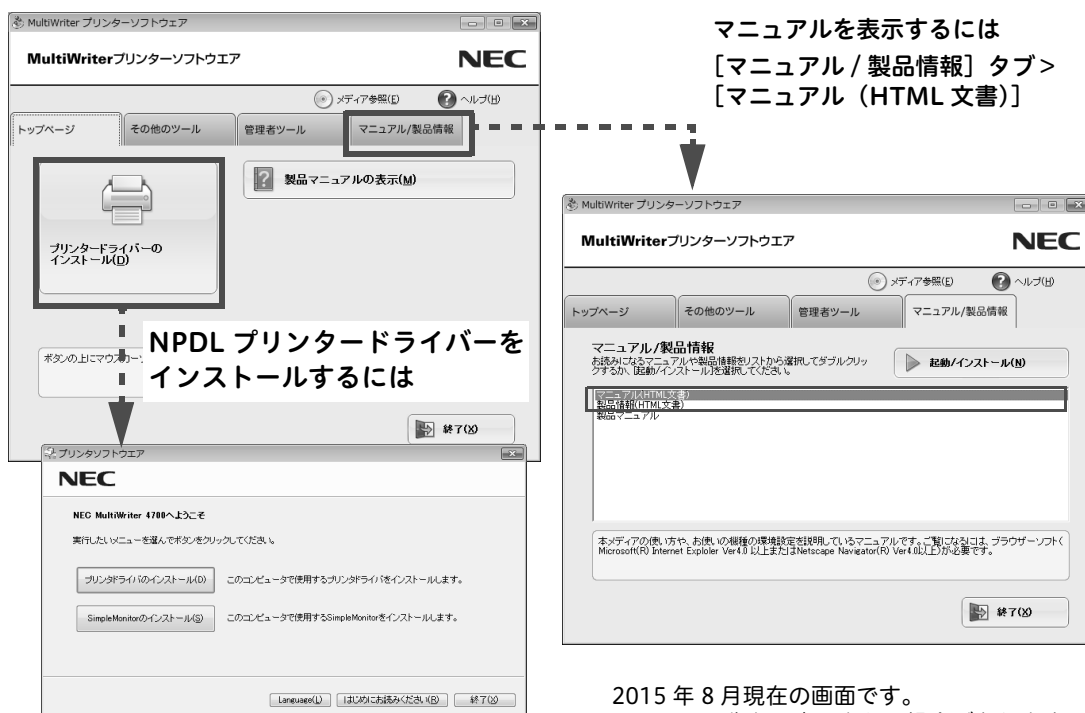
プリンタードライバーのインストール方法は、コンピュータと本機の接続方法によって異なります。

メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の『マニュアル（HTML 文書）』で、手順を確認してから、実行してください。

なお、プリンタードライバーをインストールしたときは、必ず直後にコンピュータを再起動してください。

補足

- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Editions、Microsoft® Windows Vista® x64、Microsoft® Windows Server® 2008 x64 Editions、Microsoft® Windows® 7 x64、Microsoft® Windows Server® 2008 R2、Microsoft® Windows Server® 2012、Microsoft® Windows Server® 2012 R2 ドライバーに関しては、注意・制限事項があります。Readme.txt で注意・制限事項を確認してからご使用ください。
- PostScript プリンタードライバーについては、PostScript ソフトウェアキット（オプション）に同梱されているメディア内のマニュアルを参照してください。



ART-EX プリンタードライバーの場合

コンピュータから印刷するために、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）から ART-EX プリンタードライバーをインストールします。

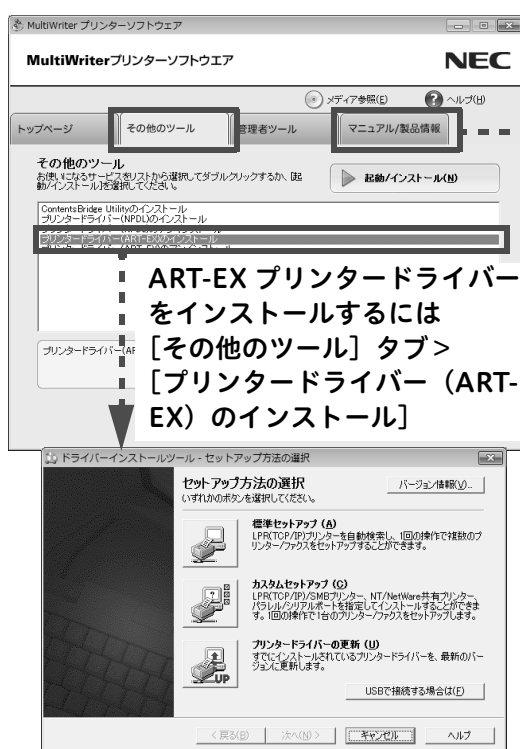
プリンタードライバーのインストール方法は、コンピュータと本機の接続方法によって異なります。

メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の『マニュアル（HTML 文書）』で、手順を確認してから、実行してください。

なお、プリンタードライバーをインストールしたときは、必ず直後にコンピュータを再起動してください。

補足

- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Editions、Microsoft® Windows Vista® x64、Microsoft® Windows Server® 2008 x64 Editions、Microsoft® Windows® 7 x64、Microsoft® Windows Server® 2008 R2、Windows® 8 x64、Microsoft® Windows Server® 2012、Windows® 8.1 x64、Microsoft® Windows Server® 2012 R2 ドライバーに関しては、注意・制限事項があります。Readme.txt で注意・制限事項を確認してからご使用ください。
- PostScript プリンタードライバーについては、PostScript ソフトウェアキット（オプション）に同梱されているメディア内のマニュアルを参照してください。



マニュアルを表示するには
[マニュアル / 製品情報] タブ>
[マニュアル (HTML 文書)]



2015 年 8 月現在の画面です。
画面は、予告なく変更される場合があります。

アンインストールについて

■ プリンタードライバーのアンインストール

NPD、ART-EX プリンタードライバーは、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内のプリンタードライバーアンインストールツールを使ってアンインストールできます。詳しくは、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

■ その他のソフトウェアのアンインストール

メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）からインストールした、その他のソフトウェアをアンインストールする場合は、各ソフトウェアの Readme ファイルを参照してください。Readme ファイルは、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の『製品情報（HTML 文書）』から表示できます。

1.7 ART-EX ドライバーと NPD L ドライバーの機能の比較

ここでは、ART-EX ドライバーと NPD L ドライバーの代表的な機能を比較します。

○：機能あり △：機能は劣るがあり ×：機能なし

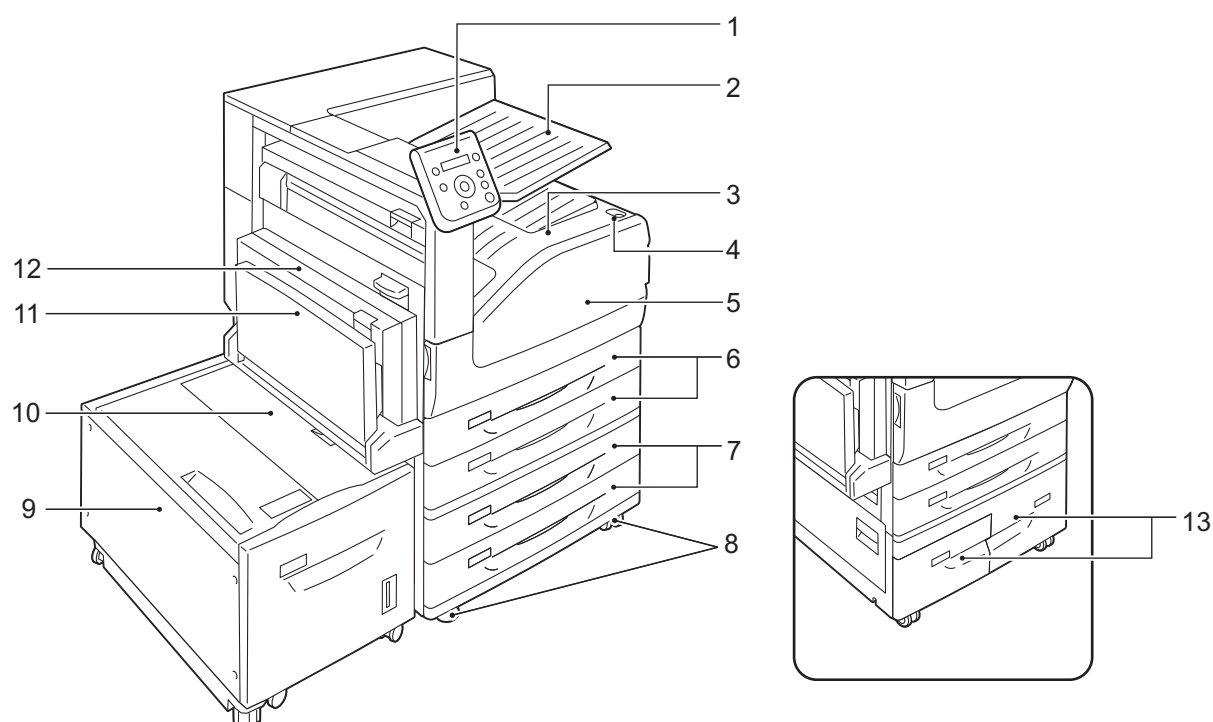
機能	機能		ART-EX プリンタードライバー	NPD L プリンタードライバー	補足
基本	製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転	ポスター	○	×	－
		製本	○	×	－
トレイ / 排出	用紙トレイ選択	－	△	○	△：ART-EX プリンタードライバーでは用紙トレイの選択はできますが、NPD L プリンタードライバーのようなグループトレイの選択はできません。 ○：NPD L プリンタードライバーの場合、グループトレイ AB が選択できます。ただし、「手差し（トレイ 5）」はグループトレイに設定できません。
	トレイの用紙種類	－	○	○	－
	手差し用紙種類	－	○	○	－
	手差し用紙の給紙方向	－	○	×	NPD L プリンタードライバーでは封筒印刷等で給紙の向きが変更できません。
	OHP 合紙	－	○	×	－
	排出方法	－	○	△	○：ART-EX プリンタードライバーは製本トレイに排出できます。 △：NPD L プリンタードライバーの場合、製本トレイに排出できません。
	ソートする [1 部ごと]	－	○	○	－
	ホチキス	－	○	○	－
	パンチ	－	○	△	○：ART-EX プリンタードライバーは 2 穴 / 4 穴の設定ができます。 △：NPD L プリンタードライバーの場合、4 穴の設定はできません。
	紙折り / 中とじ	－	○	×	－
	ホチキス / パンチ位置	－	○	△	○：ART-EX プリンタードライバーの場合、定型外サイズでもホチキス指定ができます。 △：NPD L プリンタードライバーの場合、定形外サイズのホチキス指定はできません。
	サイズ混在原稿の出力設定	－	○	×	－

2 プリンターの基本操作

2.1 各部の名称と働き

プリンター本体

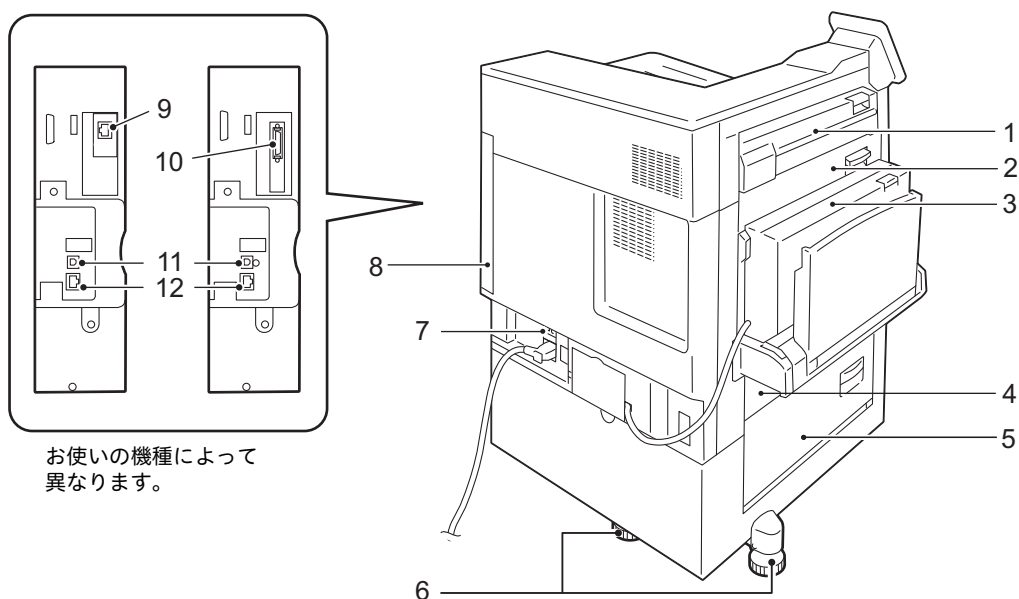
前面



No.	名称	説明
1	操作パネル	操作に必要なボタン、ランプ、ディスプレイがあります。 参照 ・「操作パネル」(P. 57)
2	インナー排出トレイ (オプション)	センタートレイを2段に分けて用紙を排出できるようになります。
3	センタートレイ	印刷された用紙が、印字面を下にして排出されます。
4	電源スイッチ	本機の電源を入 / 切します。 参照 ・「電源を入れる / 切る」(P. 60)
5	フロントカバー	消耗品を交換するときに開けます。
6	用紙トレイ 1、2	用紙をセットします。
7	用紙トレイ 3、4 (オプション) (2トレイモジュール)	用紙をセットします。
8	キャスター	移動時に使用します。設置後は、ロックしてください。

No.	名称	説明
9	用紙トレイ 6 (オプション) (大容量トレイモジュール)	用紙をセットします。
10	用紙トレイ 6 上面カバー	紙づまりを処置するときに、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
11	手差しトレイ (トレイ 5)	用紙トレイ 1 ~ 4、6 にセットしていない用紙、またはできない用紙 (厚紙などの特殊用紙) をプリントするときに使用します。
12	両面ユニット	自動で用紙の両面にプリントをします。
13	用紙トレイ 3、4 (オプション) (タンデムトレイモジュール)	用紙をセットします。

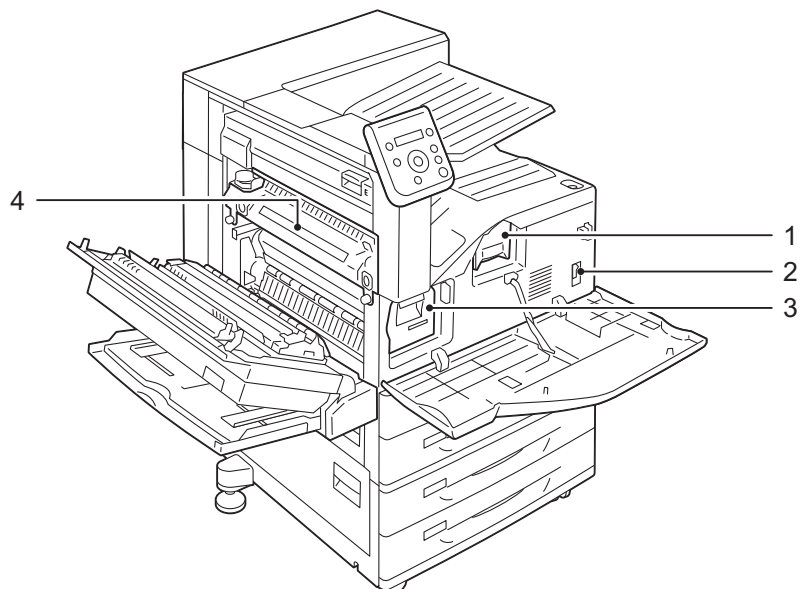
背面



No.	名称	説明
1	左側面最上部カバー (E)	紙づまりを処理するときに開けます。
2	左側面上部カバー (A)	紙づまりを処理するときに開けます。
3	左側面上部カバー (D)	紙づまりを処理するときに開けます。
4	左側面下部カバー (B)	紙づまりを処置するときに開けます。用紙トレイ 6 が装着されている場合は、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
5	左側面下部カバー (C)	紙づまりを処置するときに開けます。用紙トレイ 6 が装着されている場合は、用紙トレイ 6 を左に移動してから開けます。
6	アジャスターフット	本機の転倒を防止します。本機の設置後に床に接するまで時計回りに回転させます。
7	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断します。
8	右奥カバー	インタフェースケーブルを接続するときに開けます。 インタフェースケーブルの接続後は、必ずカバーを取り付けてください。
9	セカンダリーイーサネット カードコネクター (オプション)	セカンダリーイーサネットカード (オプション) を装着している場合、1000BASE-T Ethernet インタフェースケーブルを接続します。
10	パラレルインタフェースコネ クター (オプション)	セントロニクス準拠インタフェースケーブルを接続し、コンピューターと接続します。

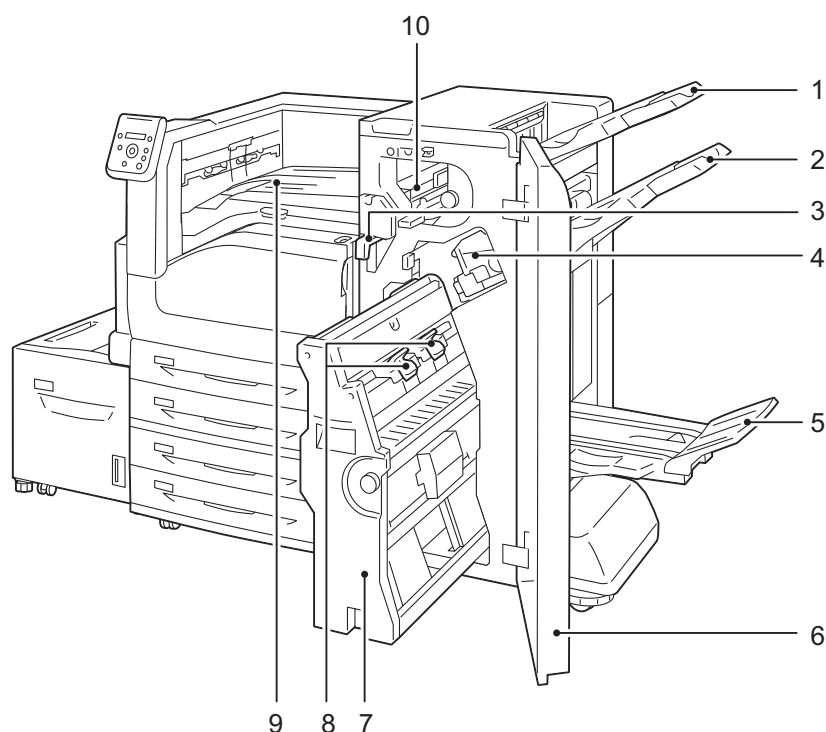
No.	名称	説明
11	USB2.0 インターフェースコネクタ	プリンター用の USB ケーブルを接続します。
12	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T コネクタ	ネットワークケーブルを接続します。

内部



No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	トナー（画像形成剤）が入っています。
2	主電源スイッチ	本機の主電源を入 / 切します。主電源については、必ず、機械管理者の指示に従ってください。 注記 - 主電源を切る場合は、必ず電源を先に切ってください。 参照 「電源を入れる / 切る」(P. 60)
3	ドラムカートリッジ	感光体がセットされています。
4	定着ユニット	トナーを用紙に定着させる部分です。 注記 高温時に不用意に触れないように注意してください。

フィニッシャ（オプション）、中とじフィニッシャ（オプション）、
フィニッシャ接続キット（オプション）、
フィニッシャ設置キット（オプション）

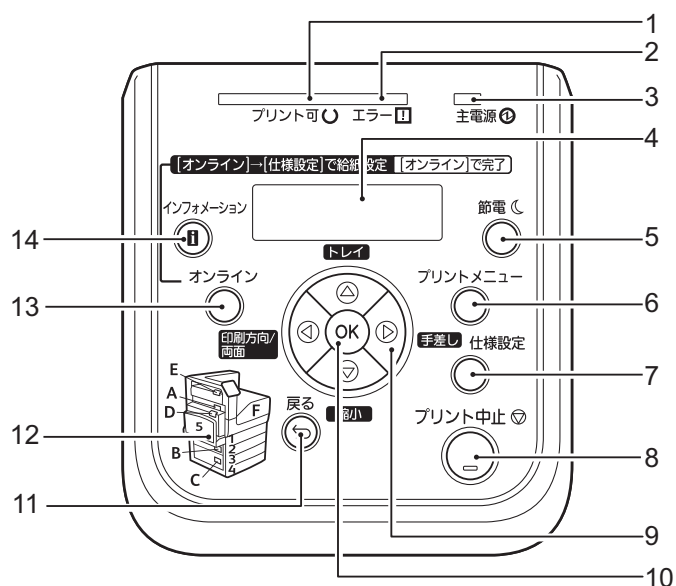


No.	名称	説明
1	排出トレイ	用紙が排出されます。
2	フィニッシャトレイ	用紙が排出されます。
3	パンチダストボックス	パンチくずが入ります。パンチくずを捨てる時に取り出します。
4	平とじ用ホチキスカートリッジ	平とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針づまりの処置の時に取り出します。
5	製本トレイ (中とじフィニッシャのみ)	中とじ製本された冊子が排出されます。
6	フロントカバー	紙づまりの処置、ホチキス針の交換、針づまりの処置、パンチくずを捨てる時に開けます。
7	中とじユニット (中とじフィニッシャのみ)	用紙を二つ折りにしたり、二つ折りしたものにホチキスをとめる装置です。
8	中とじ用ホチキスカートリッジ (中とじフィニッシャのみ)	中とじするときに使用するホチキスが内蔵されています。ホチキス針の交換や針づまりの処置の時に取り出します。
9	センタートレイ(フィニッシャ 接続キット上面カバー)	用紙が排出されます。排出トレイやフィニッシャトレイに用紙が排出できないときも、ここに排出されます。 紙づまりの処置のときは、上に開けます。 センタートレイに排出された用紙は、こまめに取り除くようにしてください。
10	パンチユニット (フィニッシャ設置キット)	用紙にパンチ穴をあけます。

補足

- ・ フィニッシャを取り付けるときは、ハードディスク（オプション）が必要です。

操作パネル



No.	名称	説明
1	〈プリント可〉ランプ	点灯中は、印刷が可能です。
2	〈エラー〉ランプ	本機に異常があるときに、ランプが点滅、または点灯します。
3	〈主電源〉ランプ	主電源が入っているときに点灯します。 補足 ・主電源を切っても、数十秒間〈主電源〉ボタンは点灯したままになります。
4	ディスプレイ	設定項目、本機の状態、メッセージなどが表示されます。 電源を入れると「オマチクダサイ」と表示されます。この表示が「プリントできます」に変わると印刷できます。 参照 ・「ディスプレイの表示について」(P. 59)
5	〈節電〉ボタン	節電中は、〈節電〉ボタンが点灯します。 節電中にこのボタンを押すと、節電モードが解除されます。 また、レディー時にこのボタンを押すと、節電モードになります。 補足 ・節電中に電源を切ると、数十秒間〈節電〉ボタンは点滅します。
6	〈プリントメニュー〉ボタン	セキュリティープリントやサンプルプリントなど、本機やサーバー内に蓄積されている文書を印刷するときに押します。 補足 ・この機能を使用するには、ハードディスク（オプション）を取り付けるか、RAM ディスクを有効にします。 ・使用環境によって、使用できるプリント機能が異なります。本機で利用できる機能については、「操作パネルメニュー一覧」(P. 461)を参照してください。 参照 ・「9.8 RAM ディスクを使用するための設定（ART-EX プリンタードライバー使用時）」(P. 356)

No.	名称	説明
7	〈仕様設定〉ボタン	メニュー画面に移行します。 オフラインで押すと NPD L の給紙設定モードに移行します。 補足 ・ オフライン状態で押すと、NPD L の給紙設定モードに移行します。
8	〈プリント中止〉ボタン	プリントを中止します。
9	〈▲〉〈▼〉〈◀〉〈▶〉ボタン	メニュー画面のとき、ディスプレイに表示されたメニュー、項目、候補値の間を移行します。 補足 ・ 〈▲〉〈▼〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。
	オフライン状態の場合 〈トレイ〉、〈縮小〉、 〈印刷方向 / 両面〉、〈手差し〉 ボタン	〈印刷可〉ボタンを押して、オフライン状態にした場合には、これらのボタンを使って、NPD L データを印刷するときの給紙トレイや用紙サイズ、縮小・拡大モード、印刷方向 / 両面、手差しトレイの用紙サイズの設定を切り替えることができます。 参照 ・ 「10.3 各ボタンで設定できる項目」(P. 393)
10	〈OK〉ボタン	メニュー画面のとき、メニューの候補値を確定します。レポート / リストを印刷するときにも使用します。
11	〈戻る〉ボタン	メニュー画面のとき、ひとつ前の項目に戻ります。
12	外観図	エラーが発生したときに、メッセージに表示される各部の位置を確認できます。
13	〈オンライン〉ボタン	〈オンライン〉ボタンを押すと、オフライン状態に移行します。オフライン中は、〈プリント可〉ランプが消灯し、印刷処理を行いません。再度押すと、オフライン状態が解除され、オンライン状態（印刷可能な状態）に移行します。
14	〈インフォメーション〉ボタン	ディスプレイに  マークが表示されているときにこのボタンを押すと、そのときの現象について詳細情報が表示されます。

ディスプレイの表示について

本機の状態を表す「プリント画面」と、本機に関する設定をするための「メニュー画面」があります。

補足

- ・ 本機に取り付けられているオプションや、設定の状態によって、表示されるメッセージは異なります。
- ・ ディスプレイに  マークが表示されているときに〈インフォメーション〉ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

プリント画面

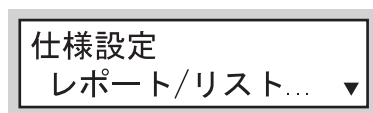
本機の状態を表示します。レディー時または印刷中は、プリント画面に次のように表示されます。



メニュー画面

本機に関する設定をする画面です。

メニュー画面は、〈仕様設定〉ボタンを押して表示します。メニュー画面を表示すると、次のように表示されます。



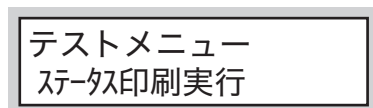
参照

- ・ メニュー画面で設定できる項目：「7 操作パネルでの設定」（P. 181）

NPD L モードメニュー画面

NPD L 固有の項目を設定する画面です。

NPD L モードメニュー画面を表示するには、操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で、[NPD L] を選択します。NPD L モードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



- ・ メニュー画面で設定できる項目：「10 NPD L の設定」（P. 391）

2.2 電源を入れる / 切る

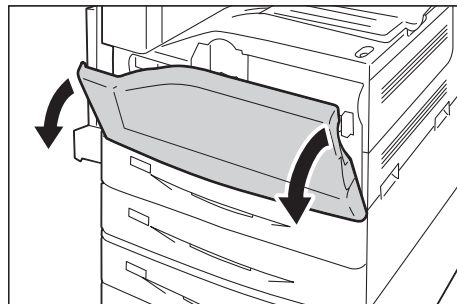
主電源を入れる

主電源を入れると、コントローラー部やメモリーに通電され、操作パネルの〈主電源〉ランプが点灯します。本体内部を開けて、オプション品の取り付けや本機の移動、清掃時などを除き、主電源は切らないでください。

注記

- ・主電源を入れた直後に、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

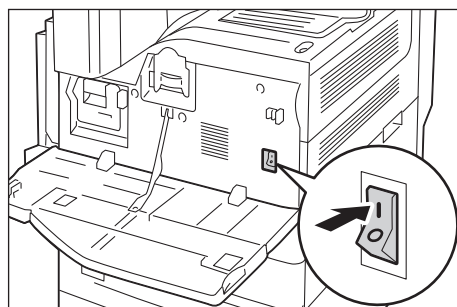
1. フロントカバーを開けます。



2. 主電源スイッチの〈I〉側を押して、主電源を入れます。

補足

- ・操作パネルの〈主電源〉ランプが点灯します。



3. フロントカバーを閉じます。

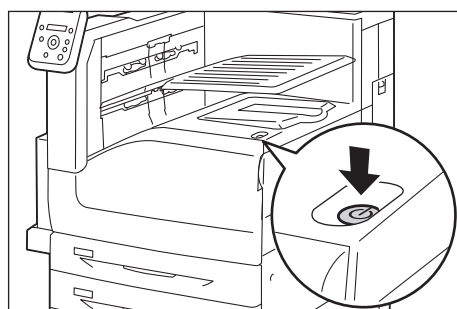
電源を入れる

主電源が入っていることを確認してから、電源スイッチを押してください。

電源スイッチを入れると、15 秒ほどでプリントできる状態になります。機械の構成によっては 15 秒以上かかることがあります。

長時間使用しない場合や、1 日の終わりには電源を切ってください。

1. 電源スイッチを押して、電源を入れます。



補足

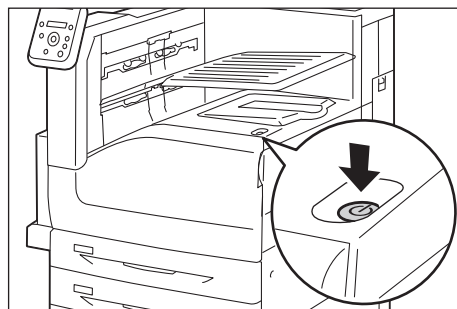
- ・ [オマチクダサイ] が表示されているときは、本機がウォームアップ中です。この間は、印刷できません。
- ・ エラーメッセージが表示された場合には、「主なエラーメッセージ (50 音順)」(P. 287) を参照して対処をしてください。
- ・ 電源が入らない場合は、次のことを確認してください。
 - 電源プラグが入っているか
 - 主電源が入っているか
 - 〈リセット〉ボタンがリセット状態 (ボタンが押し込まれている) になっているか

電源を切る

注記

- ・ 操作パネルのディスプレイに、[オマチクダサイ] が表示されているときは、電源を切らないでください。
- ・ 印刷中は本機の電源を切らないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 電源を切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフの処理をしています (〈節電〉ボタン点滅)。再度、電源を入れる場合は、〈節電〉ボタンが完全に消灯してから入れてください。

1. 操作パネルのランプやディスプレイ表示などで、プリンターが処理中でないことを確認します。
2. 電源スイッチを押し、電源を切ります。

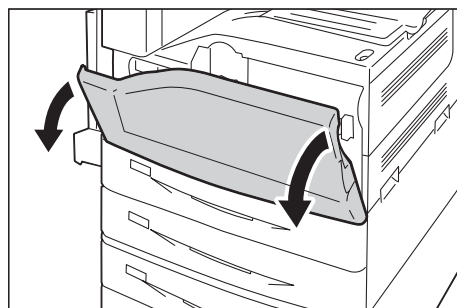


主電源を切る

注記

- ・ ディスプレイに表示がされているとき、〈節電〉ボタンが点滅している間は、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。
- ・ 電源プラグを抜くときは、主電源を切ってから抜いてください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。

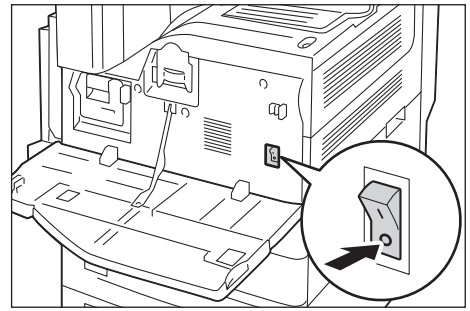
1. 電源が切れていることを確認します。
2. フロントカバーを開けます。



3. 主電源スイッチの〈○〉側を押し、電源を切ります。

補足

- ・ 操作パネルの〈主電源〉ランプは、数十秒後に消灯します。



4. フロントカバーを閉じます。

2.3 漏電ブレーカーについて

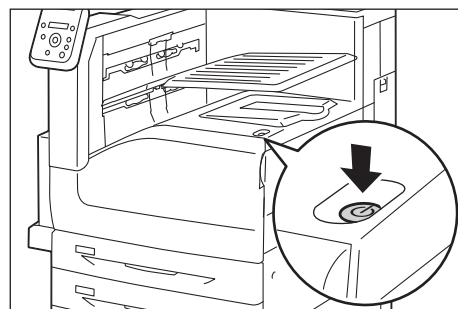
本機には漏電ブレーカーが付いています。本機に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。1 か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。また、アースを必ず接続してください。アースが接続されていないと、漏電ブレーカーが働かなくなり、感電の原因になるおそれがあります。

異常などがあったときはお買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。漏電ブレーカーの確認手順は、次のとおりです。

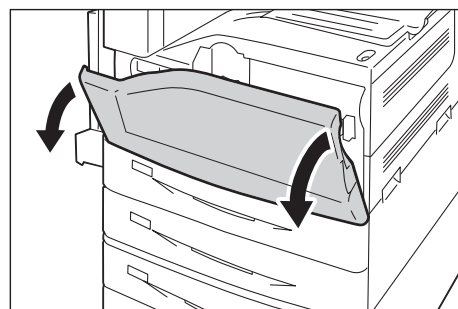
1. 電源スイッチの〈⏻〉側を押して、電源を切ります。

補足

- ・ディスプレイの表示が消えていること、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認してください。



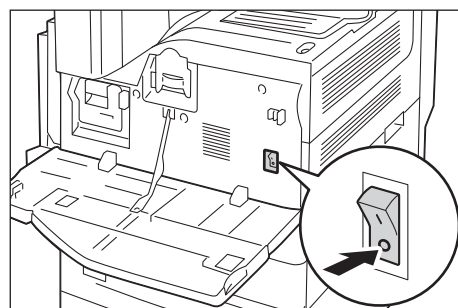
2. フロントカバーを開けます。



3. 主電源スイッチの〈○〉側を押して、主電源を切ります。

補足

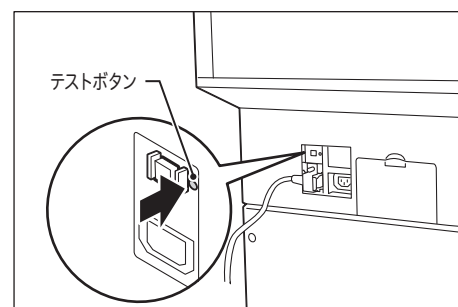
- ・操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。



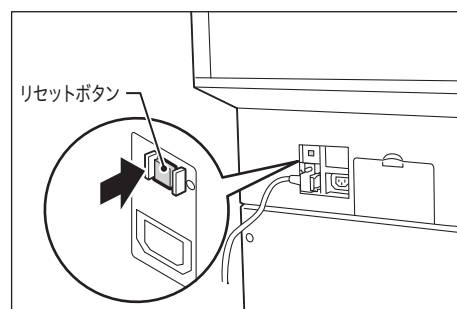
4. ボールペンなどの先のとがったもので、〈テスト〉ボタンを軽く押します。

補足

- ・押し込まれていた〈リセット〉ボタンが解除され、突き出た状態になります。



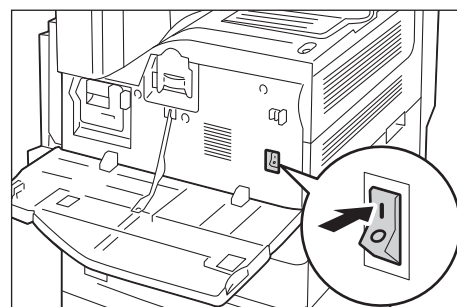
5. 〈リセット〉ボタンを押して、〈リセット〉ボタンを押し込んだ状態に戻します。



6. 主電源スイッチの〈I〉側を押して、主電源を入れます。

補足

- ・ 操作パネルの〈主電源〉ランプが点灯します。



7. フロントカバーを閉じます。

2.4 節電モードを設定 / 解除する

本機には、レディー時の電力消費を抑える、節電モードが搭載されています。節電モードには、低電力モード（61W 以下）と、スリープモード（2W 以下）の 2 種類があります。スリープモードは、コントローラーの受信部以外の電源を完全にオフにして、消費電力を最低の値に下げます。ただし、ウォームアップ時間としては、低電力モードよりも長くなります。

低電力モードは、完全には電源を落としますが、定着ユニットの温度をオフ時とレディー状態の中間に制御するなどにより、消費電力とウォームアップ時間のバランスをとったモードです。

節電モードを設定する

工場出荷時は低電力モード / スリープモードの設定がともに [1 分後] になっているため、1 分間印刷データを受信しないと、低電力モードに移行せずに、すぐにスリープモードに移行する設定になっています。

本機では、低電力モード / スリープモードに移行するかどうかを、それぞれ設定できます。また、低電力モード / スリープモードに切り替わるまでの時間を、低電力モード / スリープモードともに 1 ～ 240 分の間で設定できます。

補足

- ・ 低電力モードとスリープモードは、どちらかのモードだけを有効にすることもできます。
- ・ 低電力モードとスリープモードを両方とも無効に設定することはできません。
- ・ 低電力モードとスリープモードの設定を変更する手順：「操作例：スリープモードへの移行時間を変更する」(P.184)

節電モードを解除する

節電モードは、コンピューターからデータを受信すると、自動的に解除されます。

手動で節電モードを解除するには、操作パネルの〈節電〉ボタンを押します。

節電モードに移行しない場合について

次のようなときには、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。

- ・ 操作パネルで何らかの操作をしているとき
- ・ トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうちいずれか 1 つでも交換メッセージが表示されているとき
- ・ 定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき
- ・ 紙づまり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき
- ・ 故障などによりエラーが発生しているとき

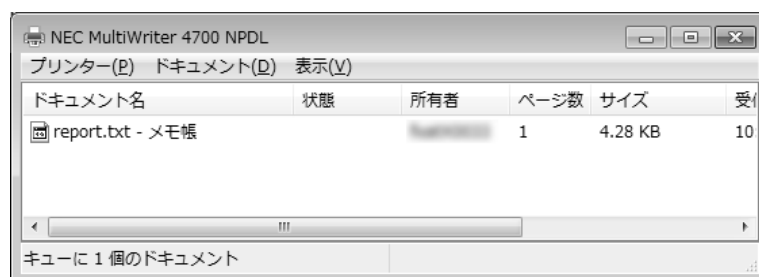
2.5 印刷を中止する / 確認する

印刷を中止する

印刷を中止するには、コンピュータで印刷の指示を取り消す方法とプリンターで印刷の指示を取り消す方法があります。

コンピュータで処理中のデータの印刷を中止する

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 中止するドキュメント名を選択し、削除（〈Delete〉キーを押す）します。



補足

- ・ ウィンドウ内に中止するドキュメントがなかった場合は、プリンターで印刷を中止してください。
- ・ CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、印刷を中止することもできます。操作方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

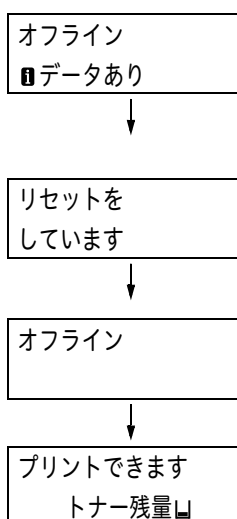
プリンターで印刷中 / 受信中のデータの印刷を中止する

操作パネルの〈プリント中止〉ボタンを押します。ただし、印刷中のページは印刷されます。

プリンターで受信したすべてのデータの印刷を中止する

大量の文書を印刷指示してしまった場合は、次の方法で、一度にすべてのデータの印刷を中止してください。

1. 操作パネルで〈オンライン〉ボタンを押します。
ディスプレイに [オフライン] と表示されます。
2. 〈プリント中止〉ボタンを押します。
中止の処理が開始され、完了すると、ディスプレイに [オフライン] と表示されます。
3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
プリント画面に戻ります。

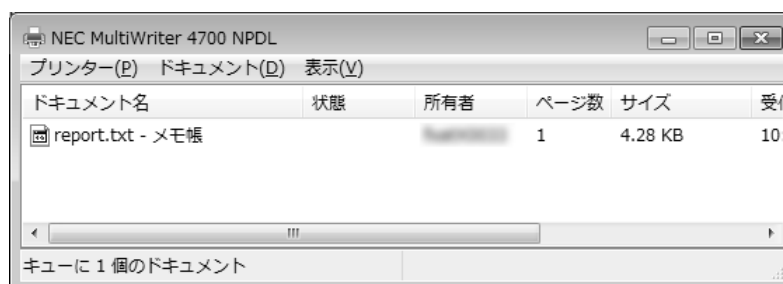


印刷指示したデータの状態を確認する

印刷指示したデータの状態を確認するには、Windows 上で確認する方法と CentreWare Internet Services で確認する方法があります。

Windows での確認方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンターアイコンをダブルクリックします。
2. 表示されたウィンドウから、[状態] を確認します。



CentreWare Internet Services での確認方法

CentreWare Internet Services の [ジョブ] タブで、プリンターに指示した印刷ジョブの状態を確認できます。

参照

- ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

2.6 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する

本機をネットワークプリンターとして使用している場合は、SNMP プロトコルを使って、本機のオプション構成やトレイの用紙サイズ、用紙種類などを、プリンタードライバーに読み込むことができます。この設定は、プリンタードライバーの「プリンター構成」タブで行います。ここでは、Windows 7 を例に説明します。プリンタードライバーをインストールしたあとに、オプション品の取り付けや、トレイの用紙設定を変更した場合は、プリンターの情報を手動で取得してください。印刷のたびにプリンターの情報を自動取得するように設定することもできます。

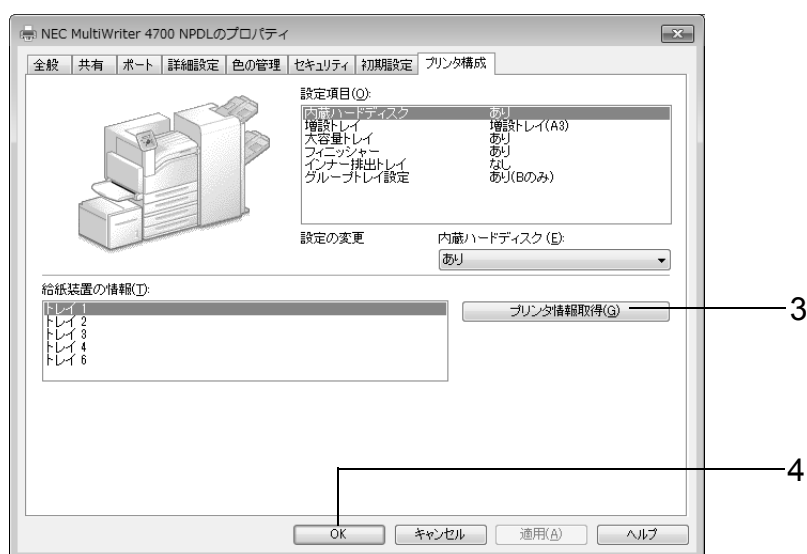
補足

- ・ 本機をパラレルケーブル、または USB ケーブルでコンピューターと直接接続している場合、この機能は使用できません。プリンタードライバーの該当項目を手動で設定してください。設定方法は、「手動でプリンターの情報を設定する」(P. 72) を参照してください。この場合は、トレイにセットされている用紙種類や用紙サイズも表示されません。ただし、NPDL プリンタードライバーを使用している場合で本機を USB ケーブルで接続している場合は、この機能は使用できます。
- ・ この機能を使用する場合は、操作パネルでプリンター側の SNMP ポートを起動（初期値：[起動]）しておく必要があります。

プリンター名や IP アドレスを指定してプリンターの情報を取得する (NPDL プリンタードライバーの場合)

本機をネットワークプリンターとして使用している場合は、SNMP プロトコルを使って、本機のオプション構成やトレイの用紙サイズ、用紙種類などを、プリンタードライバーに読み込むことができます。この設定は、「プリンタ構成」タブで行います。ここでは、Windows 7 を例に説明します。

1. 「スタート」メニューから、「プリンタと FAX」をクリックし、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. 「プリンタ構成」タブをクリックします。
3. 「プリンタ情報取得」をクリックします。



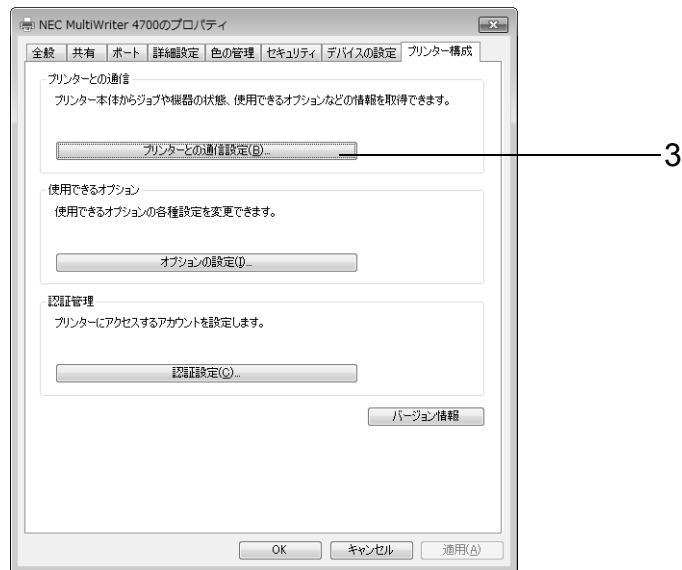
本機の情報が入、プリンタードライバーに読み込まれます。

4. 「OK」をクリックします。

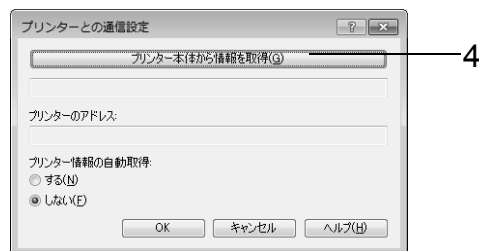
5. 本機から取得した情報に従って、[プリンタ構成] タブの内容が更新されます。

プリンター名や IP アドレスを指定してプリンターの情報を取得する (ART-EX プリンタードライバの場合)

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [プリンター構成] タブをクリックします。
3. [プリンターとの通信設定] をクリックします。



4. [プリンター本体から情報を取得] をクリックします。

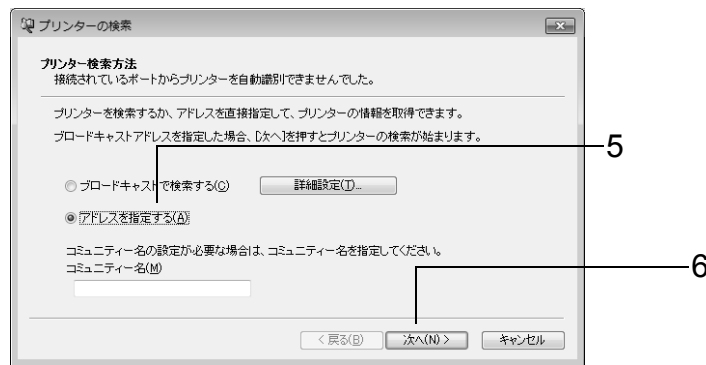


本機の情報が入力された場合は、[取得しました。] というメッセージが表示されます。手順 9 に進みます。

本機の情報が入力されなかった場合は、[プリンターの検索] が表示されます。手順 5 に進みます。

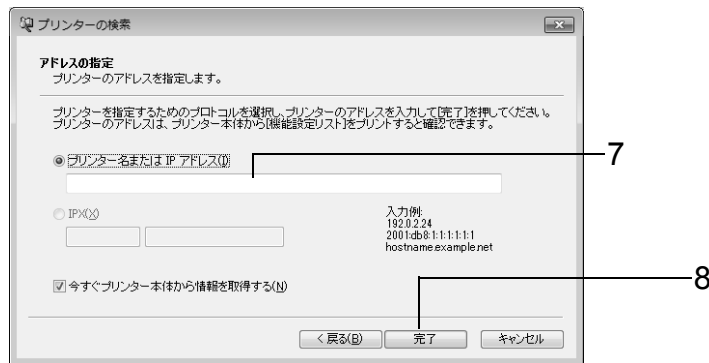
5. [アドレスを指定する] を選択します。

6. [次へ] をクリックします。

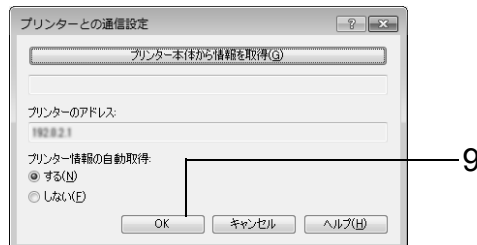


7. [プリンター名またはIPアドレス]に、プリンター名またはIPアドレスを入力します。

8. [完了] をクリックします。



9. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



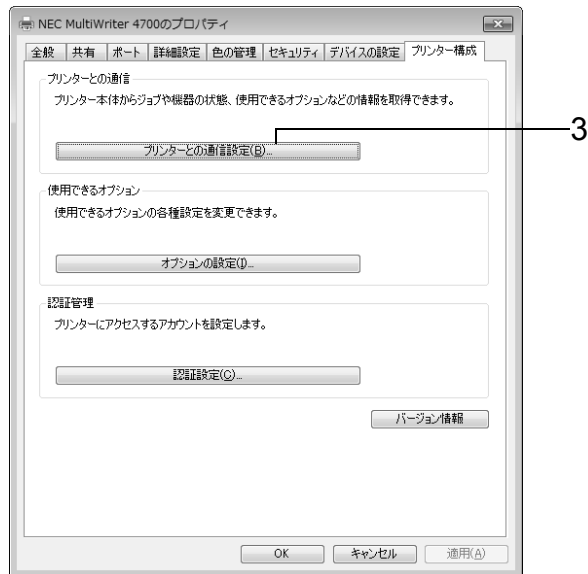
10. [OK] をクリックします。

自動でプリンターの情報を取得する

印刷時、プリンタードライバーの画面を表示するごとに、プリンターの情報を自動的に取得できます。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [プリンター構成] タブをクリックします。

3. [プリンターとの通信設定] をクリックします。



補足

- ・ ART-EX プリンタードライバーの場合、[プリンターの検索ダイアログ] が表示され、プリンター検索方法の設定ができます。
- ・ ART-EX の場合、プリンター情報の自動取得が可能。

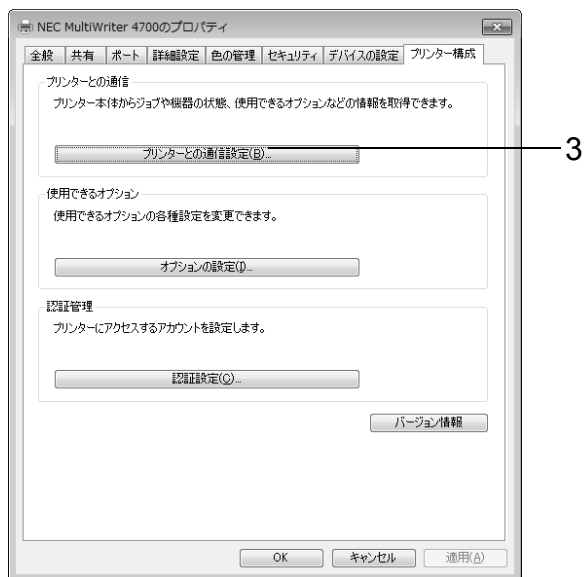
4. [プリンター情報の自動取得] で [する] を選択します。
5. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



6. [OK] をクリックします。

手動でプリンターの情報を設定する

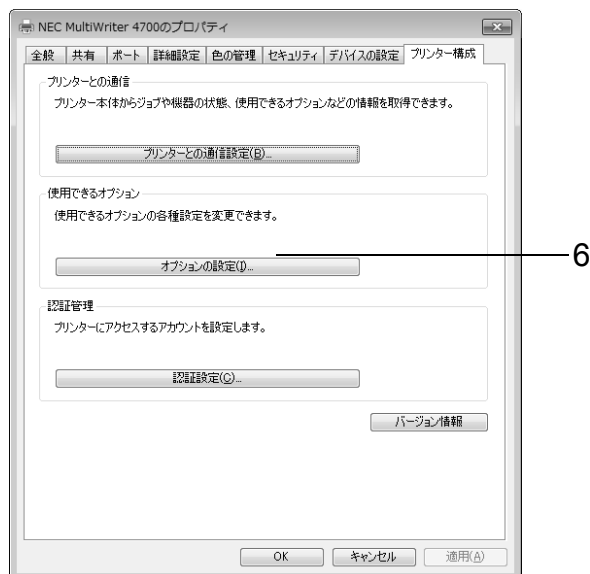
1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [プリンター構成] タブをクリックします。
3. [プリンターとの通信設定] をクリックします。



4. [プリンター情報の自動取得] から [しない] を選択します。
5. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

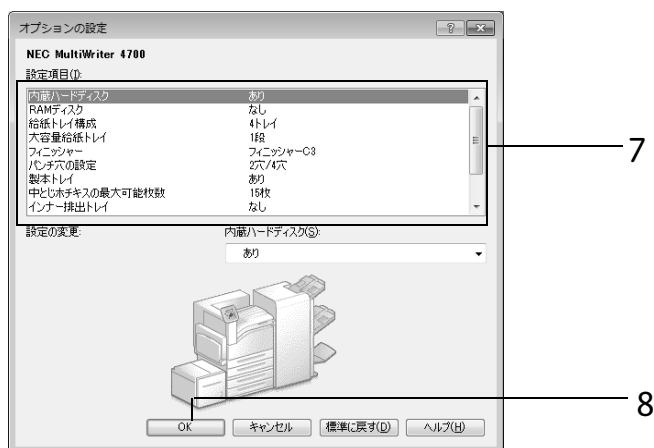


6. [オプションの設定] をクリックします。



7. [設定項目] から任意の項目を設定します。

8. [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



9. [OK] をクリックします。

3 印刷する（NPDL プリンタドライバースの場合）

3.1 コンピューターから印刷する

Windows のアプリケーションから印刷するための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

（ご使用になるコンピューターやアプリケーションによって、手順が異なることがあります。）

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、［詳細設定］をクリックすると、プロパティダイアログボックスが表示されます。



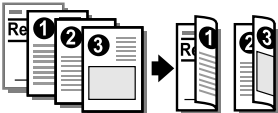
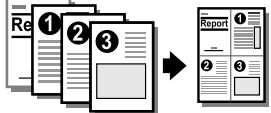
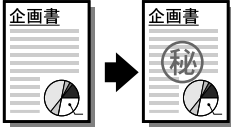
3. 各タブを切り替えて印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。各機能の詳細は、プリンタードライバースのヘルプを参照してください。［ヘルプ］をクリックすると、［ヘルプ］ウィンドウが表示されます。



4. 印刷ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利な印刷機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
基本	- 両面 用紙の両面に印刷できます。  補足 - NPD L プリンタードライバーは印刷開始ページを指定できます。	- まとめて1枚(N アップ) 1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。  注記 - 設定できる N アップは ART-EX プリンタードライバーとは異なります。	お気に入り よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選択するだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容の編集や、あらたに登録することもできます。
	セキュリティープリント あらかじめ、印刷データをプリンターに送って おいて、操作パネルから印刷を指示します。	サンプルプリント 複数部数を印刷する場合、1部だけサンプルを印刷します。印刷結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルから印刷します。	
トレイ / 排出	- NPD L でプリントする場合はトレイを選択する オンライン状態 → オンライン押下 → オフライン状態（プリント可消灯、[上：オフライン下：データ有り] →仕様設定押下 → NPD L パネル前面設定モードに移行（データ有り時は移行しない） 参照 「〈トレイ〉ボタン」（P. 393）	- ホチキス / パンチ フィニッシャ（オプション）を装着すると、ホチキス留めや用紙に穴をあけることができます。 注記 - 中とじフィニッシャ（オプション）の用紙の二つ折や、二つ折りにした用紙にホチキスを留めて冊子で排出する場合は、ART-EX プリンタードライバーをお使いください。 - NPD L プリンタードライバーは2穴のみ使用できます。 - NPD L プリンタードライバーは、定形外サイズのホチキス指定はできません。	
	- 表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使って印刷できます。 補足 - ページ単位で指定ができます。		
スタンプ	スタンプ 印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。 		
グラフィックス	写真や図/表/グラフ、文字など、印刷する原稿の内容に合わせて画質を調整できます。		

タブ	機能
詳細設定	・ 白紙節約 白紙のページは印刷しないように設定できます。用紙を節約できます。 参照 ・ プリンタードライバのヘルプ

注記

- ・ ポスターや製本印刷をする場合は、ART-EX プリンタードライバをお使いください。ただし、アプリケーション等で個別の指定がない場合は、標準プリンタードライバ（NPD）をお使いください。

補足

- ・ 印刷機能は、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。

3.2 はがき / 封筒に印刷する

はがきや封筒に印刷する方法を説明します。

はがきや封筒は、手差しトレイから印刷できます。

補足

- ・ はがきや封筒は、トレイ 1 ～ 4、6（3、4、6 はオプション）からは印刷できません。

手差しトレイではがき / 封筒を印刷する

はがき / 封筒を手差しトレイにセットします。また、操作パネルでもトレイの用紙設定をしてください。

参照

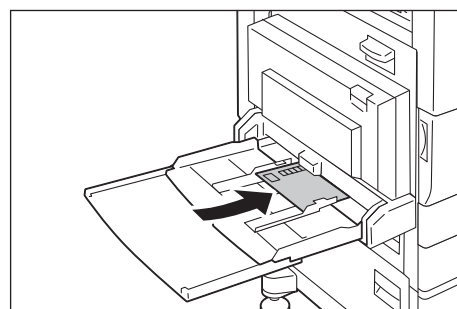
- ・ 手差しトレイに用紙をセットする手順：「手差しトレイに用紙をセットする」（P. 165）

はがきをセットする

注記

- ・ 多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

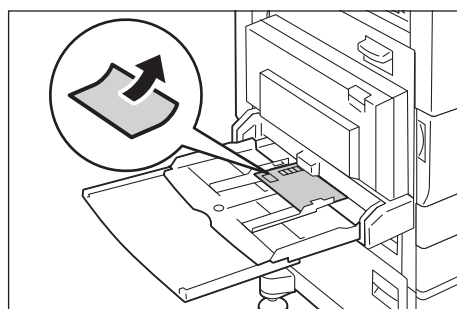
1. 印刷する面（例：白紙面）を下にして、たて置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄をプリンターの後ろ側に向くようにセットします。



注記

- ・ はがきが機械に送られないときは、はがきの先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、はがきを曲げすぎたり、折り目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。

2. 用紙ガイドを、セットしたはがきのサイズに合わせます。



封筒をセットする

本機で利用できる封筒は、次のとおりです。

- ・ 封筒洋長形 3 号（120 × 235mm）
- ・ 封筒 C4（229 × 324mm）
- ・ 封筒 C5（229 × 162mm）

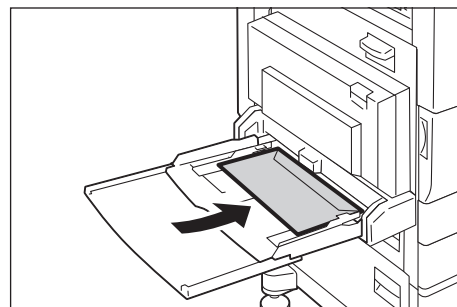
補足

- ・ 封筒サイズを使用するときはプリンタードライバーの「ユーザー定義サイズ」に登録してください。また、封筒サイズを印刷するときは、プリンタードライバーの「手差し用紙種類」と「給紙選択」を封筒サイズに合わせて設定します。詳しくは、「定形外サイズを登録する」（P. 81）を参照してください。
- ・ ユーザー定義サイズには、フラップ（ふた）が開いている封筒の場合、フラップの部分を含めたサイズを登録してください（Ncolor 封筒の場合、フラップ部として 20mm を含めます）。

注記

- ・きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
 - ・カールやよじれがある封筒
 - ・貼り付いている封筒、破損している封筒
 - ・窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスがある封筒
 - ・ひもや金属製の留め金が付いている封筒、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
 - ・切手が貼ってある封筒
 - ・フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
 - ・ふちがギザギザな封筒、隅が折れている封筒
 - ・表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒
 - ・フラップが開いたままの、のり付き封筒

1. 印刷する面（例：あて名面）を下にします。
封筒のフラップ（ふた）を閉じ、封筒の上部（フラップのある方）を機械側にセットします。



注記

- ・フラップが開いている封筒（のりなしの封筒）の場合、フラップを開けたまま、封筒の下部（フラップのない方）を機械側にセットします。
- ・封筒 C4 の場合、フラップを閉じ、封筒の上部（フラップのある方）を手前側にセットします。

2. 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

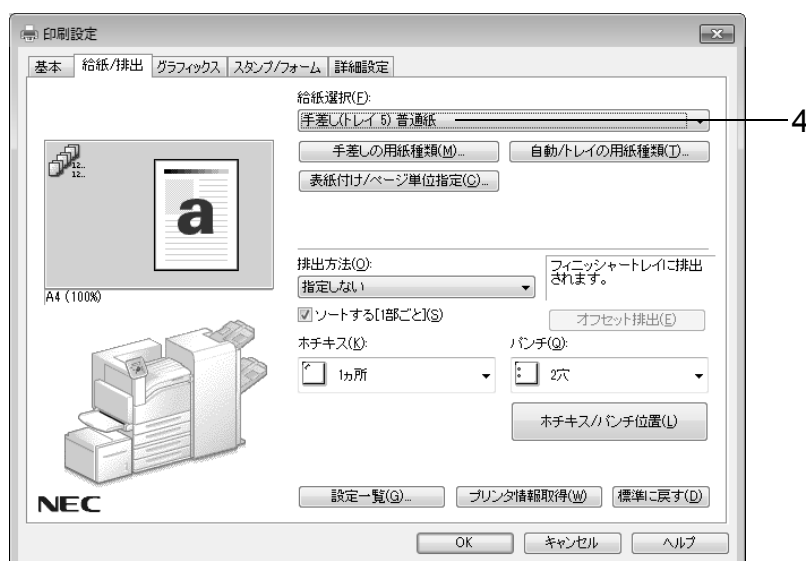
はがき / 封筒に印刷する

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例で説明します。

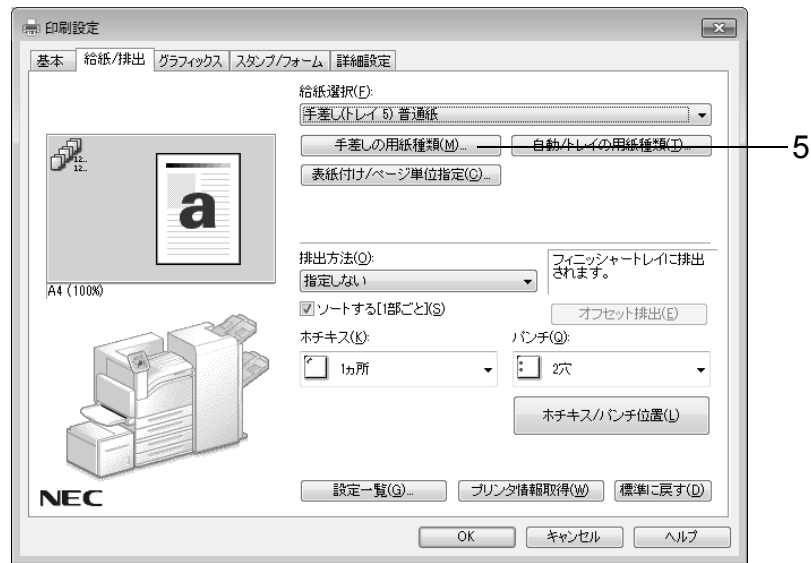
補足

- ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

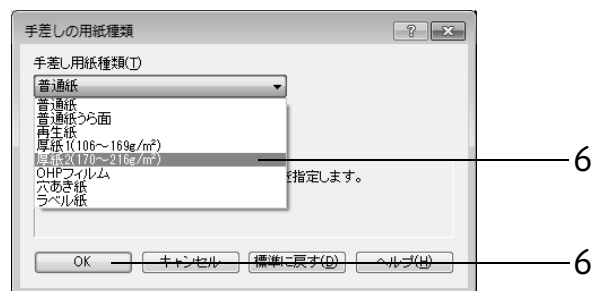
1. [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] から、[手差し（トレイ 5）] を選択します。



5. 「手差しの用紙種類」をクリックします。



6. 「手差し用紙種類」の「厚紙 2 (170 ~ 216g/m²)」を選択し「OK」を押します。



7. 「基本」タブをクリックします。

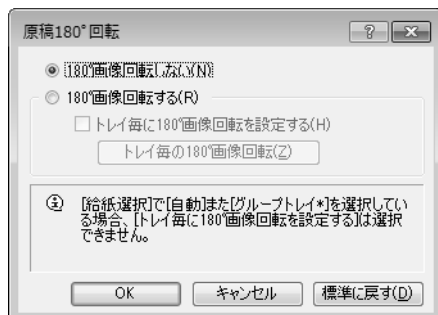
8. 「原稿サイズ」と「出力用紙サイズ」を選択します。



補足

- ・ はがきの場合は、[はがき (100x148mm)] を選択してください。
- ・ 封筒サイズの場合は、ユーザー定義サイズとして登録したサイズを選択してください。

9. 封筒の場合は、必要に応じて「原稿 180° 回転」を設定し、「OK」をクリックします。



補足

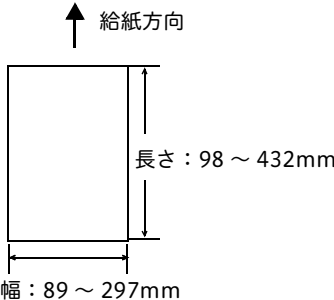
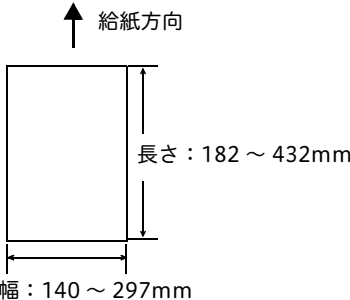
・ NPD L プリンタードライバーの場合、トレイ毎の 180° 画像回転ができます。

10. 「OK」をクリックします。

11. 「印刷」ダイアログボックスで「OK」をクリックし、印刷を実行します。

3.3 定形外サイズ用の紙に印刷する

定形外サイズの用紙に印刷する方法について説明します。
本機で利用できる用紙サイズは、次のとおりです。

手差しトレイ	トレイ 1 ～ 2 (標準トレイ) トレイ 3 ～ 4 (2 トレイモジュール (オプション))
 給紙方向 ↑ 長さ: 98 ～ 432mm 幅: 89 ～ 297mm	 給紙方向 ↑ 長さ: 182 ～ 432mm 幅: 140 ～ 297mm

定形外サイズの用紙をセットする

定形外サイズの用紙をセットする方法は、定形サイズの用紙をセットする方法と同じです。「6.2 用紙をセットする」(P. 165) を参照してください。

定形外サイズを登録する

印刷をする前に、プリンタードライバーで定形外サイズをユーザー定義サイズとして登録します。ここでは、Windows 7 を例に、説明します。

定形外サイズの用紙をトレイ 1 ～ 4 (3 ～ 4 はオプション) にセットした場合は、あらかじめ操作パネルでトレイの用紙サイズを設定してください。

操作パネルでの設定については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 174) を参照してください。

注記

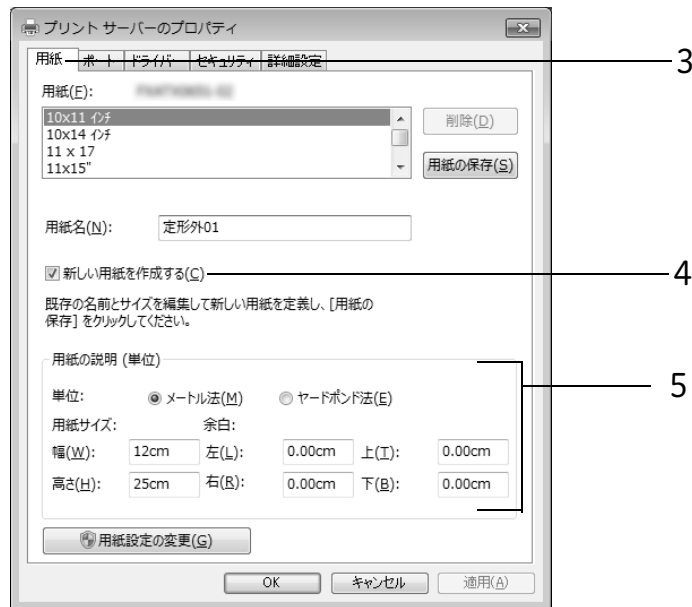
- ・プリンタードライバーおよび操作パネルで用紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する用紙のサイズと同じにしてください。用紙と異なるサイズを設定して印刷すると、機械の故障の原因になることがあります。

補足

- ・管理者の権利があるユーザーだけが、設定を変更できます。管理者の権利がない場合は、内容の確認だけです。
- ・[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. 使用するプリンターのアイコンを選択して、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。
3. [用紙] タブをクリックします。
4. [新しい用紙を作成する] をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、[用紙の保存] をクリックします。

5. リストボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して、[OK] をクリックします。



これでユーザー定義の用紙サイズが登録できました。

定形外サイズの用紙に印刷する

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

注記

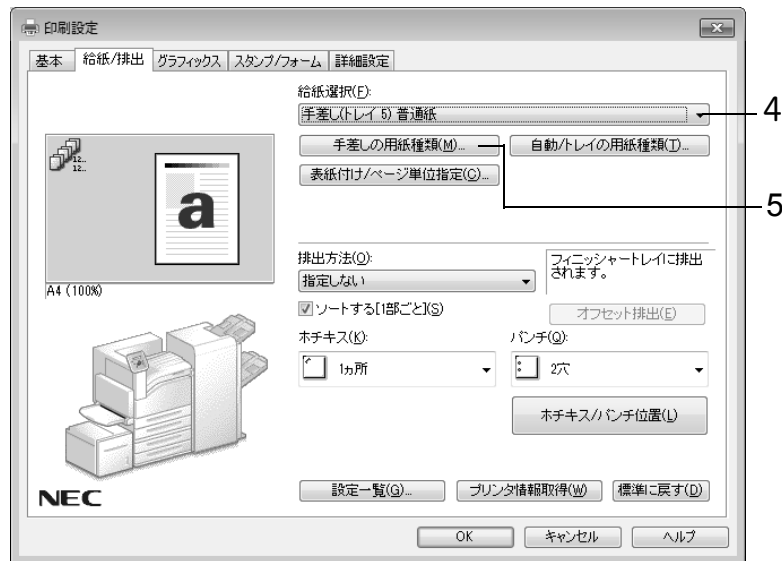
- ・正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、機械が故障する場合があります。

補足

- ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。

4. [給紙選択] から、定形外サイズ用の紙がセットされているトレイまたは手差し（トレイ 5）を選択します。



5. [給紙選択] で [手差し（トレイ 5）] を選択した場合で、用紙種類を変更するときは、[手差しの用紙種類] をクリックして [手差しの用紙種類] ダイアログボックスを表示します。
[手差し用紙種類] を設定し、[OK] をクリックします。
6. [基本] タブをクリックします。
7. [原稿サイズ] から、任意の原稿のサイズを選択します。



8. [出力用紙サイズ] から、登録したユーザー定義サイズの用紙を選択し、[OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

3.4 さまざまな種類の用紙に印刷する

本機のトレイ 1 ～ 6 (3、4、6 はオプション) には、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙をセットできます。

トレイにセットする用紙種類を変更した場合は、操作パネルで「[トレイの用紙種類]」の設定も変更してください。設定変更後は、プリンタードライバーに設定を読み込んでください。

注記

- ・ プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、トレイにセットされている用紙の種類が一致しない場合、プリンタードライバーで指定した用紙種類で処理されます。

参照

- ・ 用紙種類を設定する方法: 「[トレイの用紙種類を変更する]」(P. 175)
- ・ 設定をプリンタードライバーに読み込む方法: 「2.6 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する」(P. 68)

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

用紙種類を指定して自動で印刷する

「[トレイの用紙種類]」の設定とトレイにセットされている用紙種類が正しくあっている場合は、プリンタードライバーでトレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切なトレイを選択して印刷します。

この方法を利用すると、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくても印刷できます。

注記

- ・ NPDL プリンタドライバがサポートしている用紙サイズ (A3、A4、A5、B4、B5、11×15”、はがき、往復はがき) 以外の用紙をプリンタドライバで印刷するとき、同じ用紙サイズの用紙が本機側のトレイにセットされていても、印刷ができない場合があります。詳しくは、「3.3 定形外サイズの用紙に印刷する」(P. 81) を参照してください。

参照

- ・ 操作パネルで用紙種類を設定する方法: 「〈トレイ〉ボタン」(P. 393)、
「[用紙メニュー]」(P. 397)

1. 「[ファイル]」メニューから、「[印刷]」を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、「[詳細設定]」をクリックします。
3. 「[給紙 / 排出]」タブをクリックします。

4. [給紙選択] で [自動] を選択します。



5. [自動 / トレイの用紙種類] をクリックして [トレイの用紙種類] ダイアログボックスを表示します。
6. [手差し用紙種類] から用紙種類を選択し、[OK] をクリックします。



7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

補足

- 指定された用紙のトレイがない場合、確認メッセージが表示されます。用紙を補給すると、用紙種類の設定はプリンタードライバーから指定した用紙種類に自動的に更新して印刷します。厚紙など、用紙を入れ替えて印刷したあとは、用紙種類の設定がトレイにセットされている用紙種類と合っていることを、操作パネルで確認してください。

参照

- 操作パネルで用紙種類を確認 / 設定する方法：「トレイの用紙種類を変更する」(P.175)

トレイと用紙種類を設定して印刷する

次の2つの方法で、トレイおよび手差しトレイの用紙種類を変更して印刷できます。

- 操作パネルでトレイおよび手差しトレイの用紙種類を設定して印刷する
- プリンタードライバーで用紙種類を設定して印刷する

注記

- ・ NPDL プリンタドライバがサポートしている用紙サイズ（A3、A4、A5、B4、B5、11x15”、はがき、往復はがき）以外の用紙をプリンタドライバで印刷するとき、同じ用紙サイズ of 用紙が本機側のトレイにセットされていても、印刷ができない場合があります。詳しくは、「3.3 定形外サイズの用紙に印刷する」（P. 81）を参照してください。

■ 操作パネルでトレイおよび手差しトレイの用紙種類を設定して印刷する

ここでは、トレイ 1 にセットされている、A4 たて置き of OHP フィルムに印刷する場合を例に説明します。

あらかじめ、操作パネルでプリンターのトレイの用紙種類を設定してください。

また、プリンター of 設定を変更したら、プリンタードライバーにプリンター of 設定を読み込んでおくと、印刷時に各トレイおよび手差しトレイ of 設定がプリンタードライバーから確認できます。

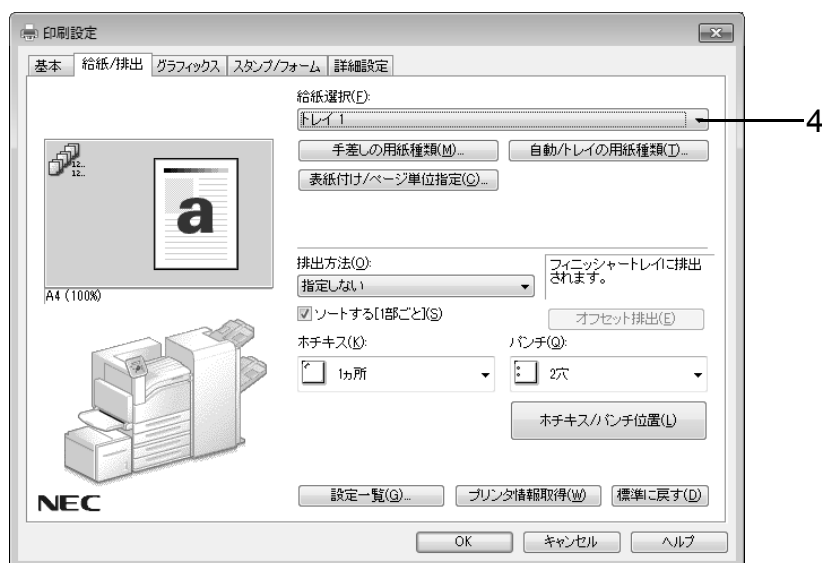
参照

- ・ 操作パネルで用紙種類を設定する方法：「〈トレイ〉ボタン」（P. 393）、「〔用紙メニュー〕」（P. 397）

1. 〔ファイル〕メニューから、〔印刷〕を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、〔詳細設定〕をクリックします。
3. 〔給紙 / 排出〕タブをクリックします。
4. 〔給紙選択〕で〔トレイ 1〕を選択します。

補足

- ・ プリンター of 用紙設定を読み込んでいる場合は、トレイ名の横に用紙のサイズが表示されます。



5. 〔基本〕タブをクリックします。
6. 〔原稿サイズ〕と〔出力用紙サイズ〕を設定して、〔OK〕をクリックします。
7. 〔印刷〕ダイアログボックスで〔印刷〕をクリックし、印刷を実行します。

■ プリンタードライバーで用紙種類を設定して印刷する

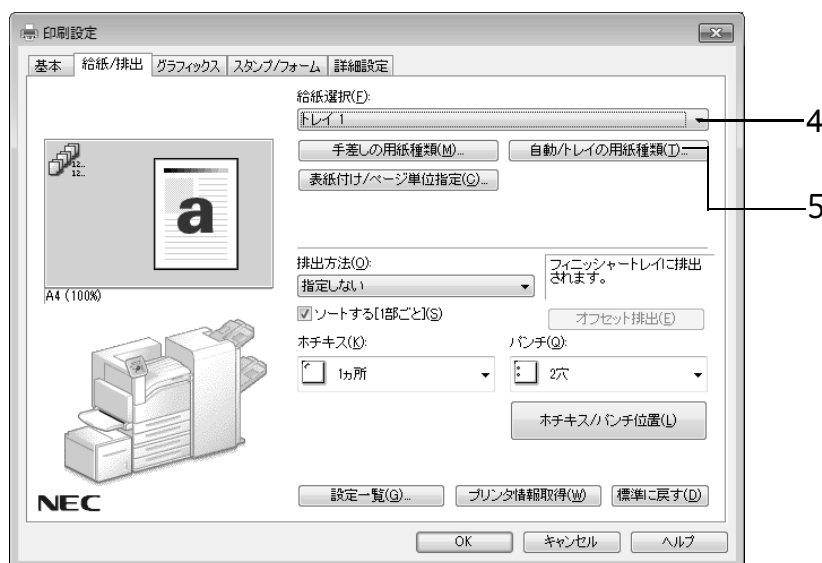
ここでは、トレイ 1 に OHP フィルムをセットし、プリンターには普通紙 of 設定がされている場合を例に説明します。

プリンターに設定されているトレイ of 用紙種類に関係なく、プリンタードライバーで指定した内容で印刷されます。

注記

- ・プリンタードライバーで設定する用紙の種類が、トレイにセットされている用紙と合っていない場合、画像が正しく処理されません。トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりして、印字品質が悪くなります。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。
4. [給紙選択] で、[トレイ 1] を選択します。



5. [トレイの用紙種類] をクリックして [トレイの用紙種類] ダイアログボックスを表示します。
6. [用紙種類] から [OHP フィルム] を選択し、[OK] をクリックします。



7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

3.5 大量・連続印刷する

大量・連続印刷する方法には以下の2通りあります。

- ・リレー給紙の設定
- ・グループトレイの設定

リレー給紙の設定

印刷している給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先に切り替えて印刷を続ける機能です。標準トレイ 1、2、トレイモジュール（オプション：トレイ 3、4）、手差しトレイ、大容量トレイモジュールを装着し、同じ用紙サイズおよび同じ用紙種別の用紙をセットした場合に大量・連続印刷ができます。

設定方法

リレー給紙を有効にする方法を説明します。

■ Step1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [プリント言語の設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
プリント言語の設定

補足

- ・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[NPD L] が表示されます。

プリント言語の設定
NPD L

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[テストメニュー] が表示されます。

NPD L
テストメニュー

5. [用紙メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

NPD L
用紙メニュー

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[トレイの初期設定] が表示されます。

NPD L / 用紙メニュー
トレイ初期設定

7. [リレー給紙設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

NPD L / 用紙メニュー
リレー給紙設定

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。

NPDL/リレー給紙設定
トレイ 1

9. リレー給紙するトレイを選びます。
(ここでは例にトレイ 1 を選んでいます。)

NPDL/トレイ 1
•しない

10. 〈▼〉ボタンを押し、[する] にします。

NPDL/トレイ 1
する

11. 〈OK〉ボタンを押し、決定します。

NPDL/トレイ 1
•する

12. 設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたトレイの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているかを確認します。

■ Step2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに、[給紙選択] で [自動] を選択します。

1. プリンタードライバのプロパティダイアログボックスの [給紙 / 排出] タブをクリックします。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

2. [給紙選択] が [自動] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



3. [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[印刷] (または [OK]) をクリックして印刷します。

グループトレイの設定

複数のトレイをグループにして給紙することによって、印刷を中断せずにノンストップで出力できる機能です。

オプションのトレイモジュール、および大容量トレイモジュールを装着するとより効果がある機能です。

標準トレイ 1、2 とトレイモジュール（オプション：トレイ 3、4）、大容量トレイモジュール（オプション：トレイ 6）の 5 つの給紙先を組み合わせでグループに設定し、1 つのトレイとして扱います。

グループとして設定できるのは 2 グループまでです。同じグループ内の 1 つのトレイに紙がなくなっても、グループ設定している他のトレイから給紙します。用紙が足りなくなったトレイには、印刷中でも用紙をつぎ足すことができます。用紙を足すことでノンストップ印刷が可能になります。

設定方法

複数のトレイを 1 つのトレイとして取り扱うことで、用紙を補給する手間が省けます。グループは、2 個まで設定できます。

例) グループ A..... トレイ 1、2

グループ B..... トレイ 3、トレイ 6（オプション）

グループトレイ機能を使うには、次のステップで設定する必要があります。

Step1 グループトレイを有効にする

Step2 給紙方法を設定する

補足

- ・ 双方向通信時は、Step1 で設定したプリンター本体の状態が自動的に反映されます。双方向通信をしていない場合は、Step2 の前にプロパティダイアログボックスの [グループ設定] で、グループを選ぶ必要があります。

■ Step1 グループトレイを有効にする

グループトレイを有効にする方法を説明します。

ここでは、グループ A を設定する場合を例に記載します。

注記

- ・ 手差しトレイはグループトレイに設定できません。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [プリント言語の設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
プリント言語の設定

補足

- ・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

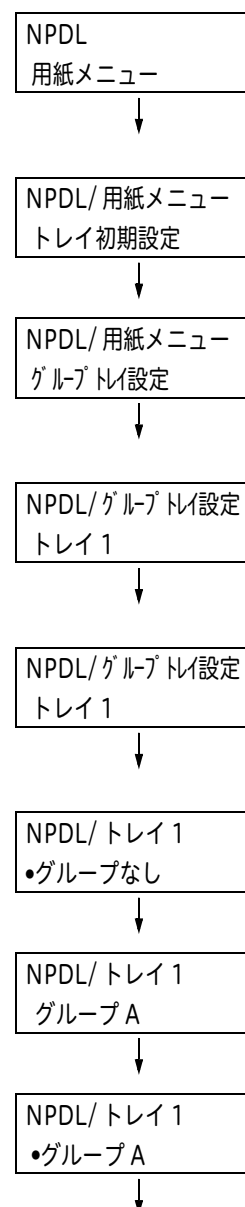
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[NPDL] が表示されます。

プリント言語の設定
NPDL

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[テストメニュー] が表示されます。

NPDL
テストメニュー

5. [用紙メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[トレイの初期設定] が表示されます。
7. [グループトレイ設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。
9. グループトレイに設定するトレイが表示されるまでを〈▼〉ボタンを押します。
10. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[グループなし] が表示されます。
11. [グループ A] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
12. 〈OK〉ボタンを押し、決定します。
13. 設定が終わったら、グループトレイを有効にしたトレイの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているかを確認します。



■ Step2 給紙方法を設定する

グループトレイの使用方法を説明します。

用紙の種類 / サイズがプリンター本体の設定と同じになっていることを確認します。

1. [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [給紙 / 排出] タブをクリックします。

補足

- ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

4. [給紙選択] から [グループ A 指定しない]、または [グループ B 指定しない] を選択し、[OK] をクリックします。



5. [OK] をクリックします。
6. [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[印刷] (または [OK]) をクリックして印刷します。

3.6 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、セキュリティープリント機能を使用できます。

注記

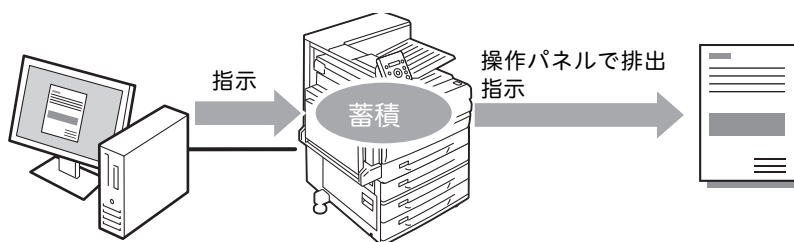
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「9.8 RAM ディスクを使用するための設定（ART-EX プリンタードライバ使用時）」（P. 356）

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて印刷を指示し、印刷データを本機内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルで印刷を開始する機能です。また、セキュリティーをかけないで印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度も印刷を指示しなくても、本機側の指示だけで印刷できます。



補足

- ・印刷後セキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを印刷する手順の中で選択します。「操作パネルでの操作」（P. 95）を参照してください。
- ・操作パネルの「セキュリティープリント操作」が「無効」に設定されている場合は、セキュリティープリントを出力できません。
- ・本機のプロパティダイアログボックスの「プリンター構成」タブ＞「オプションの設定」＞「オプションの設定」ダイアログボックスで、「暗証番号の最小桁数」を「1」以上に設定している場合は、必ず暗証番号の入力が必要になります。

セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。

まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

補足

- ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

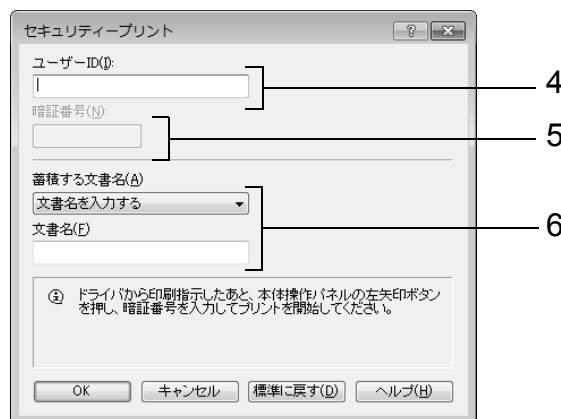
1. 「[ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、「[詳細設定] をクリックします。

3. [基本] タブの [プリント種類] から、[セキュリティ] を選択します。



[セキュリティプリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



5. 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号] に暗証番号を入力します。
半角数字で 12 文字まで入力できます。
6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する]、または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。
文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

補足

- ・ 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、印刷しないで削除する場合は、次の手順 8 のあと、[削除する]を選択してください。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティープリント



2. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
1001.12345678



3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ ユーザー ID は、プリンタードライバーの [セキュリティー プリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
暗証番号を入力する画面が表示されます。

暗証番号を入れ [OK]
[0]



5. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]



補足

- ・ 暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティー プリント] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。[暗証番号] を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6. 〈OK〉ボタンで決定します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report



7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [セキュリティー プリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・ 複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1.Report
プリント後削除する



補足

- ・ 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する]を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。
- ・ 印刷後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリント後削除しない]を表示し、手順9に進んでください。

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1部



10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

1.Report
[OK] でプリント開始

11. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

12. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

3.7 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、サンプルプリント機能を使用できます。

注記

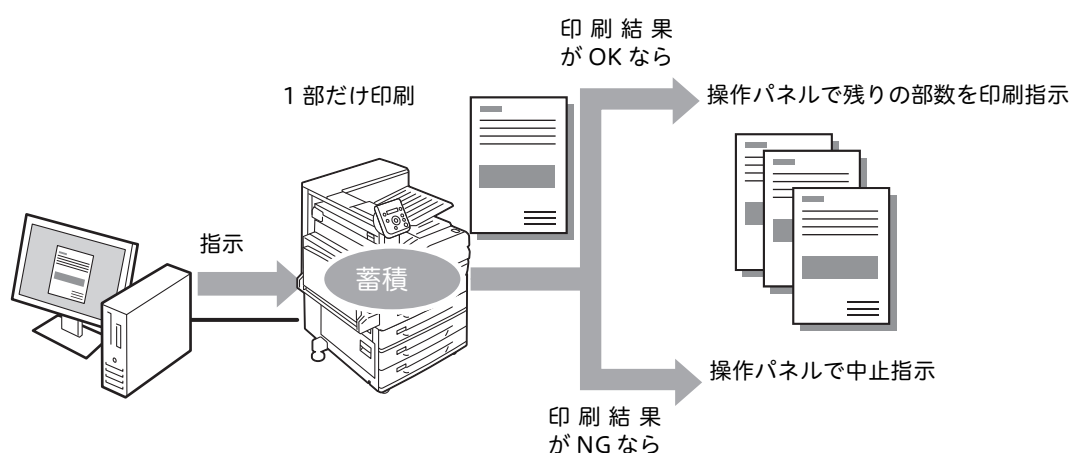
- ・ ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・ RAM ディスクを有効にする方法：「9.8 RAM ディスクを使用するための設定（ART-EX プリンタードライバ使用時）」（P. 356）

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数を印刷する場合に、本機に印刷データを蓄積し、まず1部だけ印刷し、印刷結果を確認してから、残りの部数の印刷開始を操作パネルで指示する機能です。



補足

- ・ 不要になったサンプルプリントデータは、印刷する場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」（P. 99）を参照してください。

サンプルプリントをする

サンプルプリントをする方法を説明します。

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

補足

- ・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を 2 部以上に設定します。
4. [プリント種類] から [サンプル] を選択します。

補足

- ・印刷部数を 2 部以上に設定すると、[サンプル] が選択できます。



[サンプルプリント] ダイアログボックスが表示されます。

5. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント



2. [サンプルプリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
サンプルプリント



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
2001.12345678



4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report



6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・文書名は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1.Report
プリントする



補足

- ・印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータを印刷する場合は、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1 部



9. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

補足

- ・ 部数の初期値は、プリンタードライバーであらかじめ設定した部数が表示されます。

10. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。
11. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

3.8 認証プリント

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、認証プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「9.8 RAM ディスクを使用するための設定（ART-EX プリンタードライバ使用時）」（P. 356）

認証プリントについて

認証プリントとは、ユーザー ID など本機にユーザーを認証させることにより、不正な印刷をさせない機能です。

操作パネルの「機械管理者メニュー」>「システム設定」>「認証の設定」>「認証プリントの設定」>「受信制御」が「認証プリントに保存」に設定されている場合、コンピューターから印刷を指示したデータは、蓄積用ユーザー ID ごとにプリンター内に一時的に保存されます。蓄積用ユーザー ID が設定されていないデータは、「No User ID」として保存されます。保存されたデータは、印刷したいときに本機側での操作で印刷できます。

補足

- ・認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

認証プリントをするための設定

本機側の設定

認証プリントは、操作パネルの「機械管理者メニュー」>「システム設定」>「認証の設定」>「認証プリントの設定」で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- ・「受信制御」を「認証プリントに保存」に設定。
- ・「受信制御」を「プリントの認証に従う」に設定し、「ジョブ認証時の処理」>「認証が不正のジョブ」を「認証プリントに保存」に設定。
- ・「受信制御」を「プリントの認証に従う」に設定し、「ジョブ認証時の処理」>「UserID なしのジョブ」を「認証プリントに保存」に設定。

参照

- ・「認証プリントの設定」（P. 218）

プリンタードライバでの設定

プリンタードライバのプロパティで蓄積用ユーザー ID を設定します。また、自分の文書を自分以外の人に操作させたくない場合は、蓄積用ユーザー ID に加えて、暗証番号も設定しておく必要があります。

認証プリントをする

ここでは、認証プリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント

↓

2. [認証プリント] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
認証プリント

↓

3. ユーザー ID が表示されます。
対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ユーザー ID を選択
7001. 不特定 ID

↓

補足

- ・ 蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書を印刷する場合は、ユーザー ID で [不特定 ID] を選択します。

ユーザー ID を選択
7002.12345678

↓

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
暗証番号を設定している場合は、右の画面が表示されます。手順 6 に進んでください。
暗証番号を設定していない場合は、文書を選択する画面が表示されます。手順 8 に進んでください。

暗証番号を入れ [OK]
[0]

↓

5. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]

↓

6. 〈OK〉ボタンで決定します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

↓

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 特定のユーザー ID に複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1.Report
プリント後削除する

↓

補足

- ・ 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。
- ・ 印刷後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリント後削除しない] を表示し、手順 10 に進んでください。

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1 部

↓

10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

11. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。
12. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4 印刷する（ART-EX プリンタードライバーの場合）

4.1 コンピューターから印刷する

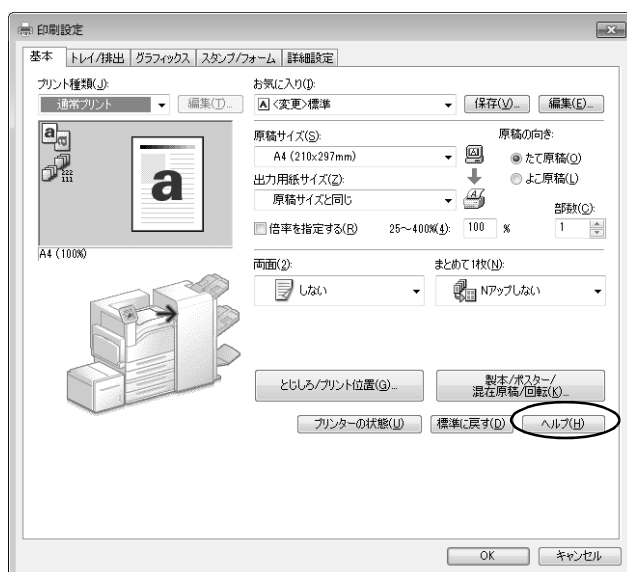
Windows のアプリケーションから印刷するための基本的な流れは、次のとおりです。ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

（ご使用になるコンピューターやアプリケーションによって、手順が異なることがあります。）

1. アプリケーションの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、プロパティダイアログボックスを表示します。この例では、［詳細設定］をクリックすると、プロパティダイアログボックスが表示されます。



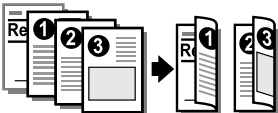
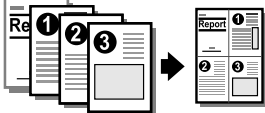
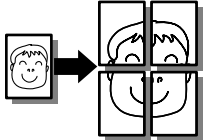
3. 各タブを切り替えて印刷機能を設定し、［OK］をクリックします。各機能の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。［ヘルプ］をクリックすると、［ヘルプ］ウィンドウが表示されます。

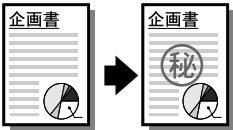
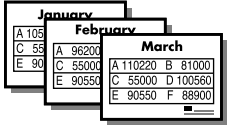


4. 印刷ダイアログボックスで［印刷］をクリックし、印刷を実行します。

プロパティダイアログボックスで設定できる便利な印刷機能

各タブで設定できる機能の一部を紹介します。各機能の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

タブ	機能		
基本	両面 用紙の両面に印刷できます。 	- まとめて1枚(Nアップ) 1枚の用紙に、複数のページを割り付けて印刷します。  注記 - 設定できる N アップは NPDLPリンタードライバーとは異なります。	- ポスター ポスターなどを作製するときに使用します。  注記 - NPDLPリンタードライバーではこの機能はありません。
	- 製本 正しいページ順の小冊子になるように、両面印刷とページ配分を組み合わせて印刷します。  注記 - NPDLPリンタードライバーではこの機能はありません。	- OHP 合紙 OHP フィルムを 1 枚印刷するごとに、自動的に用紙を挿入します。 注記 - NPDLPリンタードライバーではこの機能はありません。	お気に入り よく使う印刷設定が登録されています。リストから項目を選択するだけで、複数の設定が一度にできます。設定内容の編集や、あらたに登録することもできます。
	セキュリティープリント あらかじめ、印刷データをプリンターに送って、操作パネルから印刷を指示します。	サンプルプリント 複数部数を印刷する場合、1 部だけサンプルを印刷します。印刷結果を確認したあと、残りの部数を操作パネルから印刷します。	- 時刻指定プリント 印刷時刻を指定できます。 注記 - NPDLPリンタードライバーではこの機能はありません。
トレイ / 排出	- トレイの高度な設定 用紙トレイに [自動] を設定したときに、用紙トレイを決定するための条件として、用紙種類や用紙色をあらかじめ設定できます。 注記 - NPDLPリンタードライバーではこの機能はありません。	- 表紙付け 表紙だけ、色紙や厚紙を使って印刷できます。 注記 - 合紙の設定ができます。	- ホチキス / パンチ フィニッシャを装着すると、ホチキス留めや用紙に穴をあけることができます。また、フィニッシャ (中とじ付き) を装着すると、ホチキス留めやパンチ穴に加えて、用紙の二つ折りや、二つ折りにした用紙にホチキスを留めて冊子で排出することもできます。 - ART-EX プリンタードライバーの場合、4 穴の設定もできます。

タブ	機能	
スタンプ / フォーム	スタンプ 印刷データに「社外秘」などの特定の文字を重ね合わせて印刷します。 	- フォーム 使用頻度の高い印刷フォームは、フォーム機能を利用するとデータ転送の時間が短縮できます。  注記 - NPDL プリンタードライバーではこの機能はありません。
詳細設定	- 白紙節約 白紙のページは印刷しないように設定できます。用紙を節約できます。 参照 - プリンタードライバーのヘルプ	Image Enhancement 文字や図形の斜め線で発生しがちなギザギザが目立たないように、エッジ部分が滑らかなよう処理します。

補足

- 印刷機能は、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）ウィンドウのプリンターアイコンから、プロパティダイアログボックスを表示して設定することもできます。
ここで設定した内容は、アプリケーションからプロパティダイアログボックスを表示したときの初期値になります。

4.2 はがき / 封筒に印刷する

はがきや封筒に印刷する方法を説明します。

はがきや封筒は、手差しトレイから印刷できます。

補足

- ・ はがきや封筒は、トレイ 1 ～ 4、6（3、4、6 はオプション）からは印刷できません。

手差しトレイではがき / 封筒を印刷する

はがき / 封筒を手差しトレイにセットします。

参照

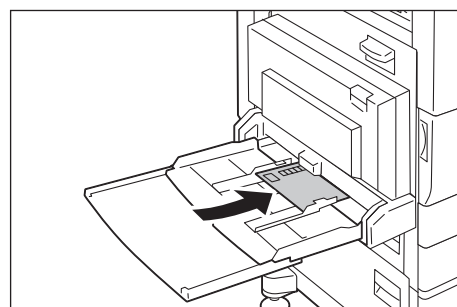
- ・ 手差しトレイに用紙をセットする手順：「手差しトレイに用紙をセットする」（P. 165）

はがきをセットする

注記

- ・ 多色刷りのはがき、インクジェット用のはがきは使用できません。

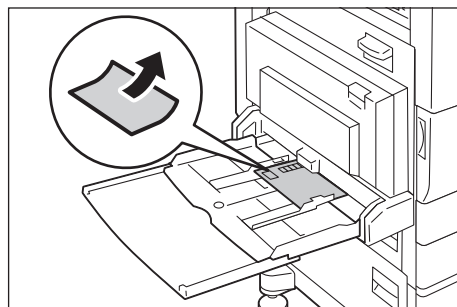
1. 印刷する面（例：白紙面）を下にして、たて置きにセットします。このとき、郵便番号記入欄をプリンターの後ろ側に向くようにセットします。



注記

- ・ はがきが機械に送られないときは、はがきの先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、はがきを曲げすぎたり、折り目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。

2. 用紙ガイドを、セットしたはがきのサイズに合わせます。



封筒をセットする

本機で利用できる封筒は、次のとおりです。

- ・ 封筒洋長形 3 号（120 × 235mm）
- ・ 封筒 C4（229 × 324mm）
- ・ 封筒 C5（229 × 162mm）
- ・ Commercial#10^{*}
- ・ Monarch7.3/4^{*}
- ・ 封筒 DL^{*}

^{*} [サイズ検知切り替え]（「[サイズ検知切り替え]」（P.235）参照）と ART-EX プリンタードライバーの「サイズ表示の切り替え」を変更すると使用できます。

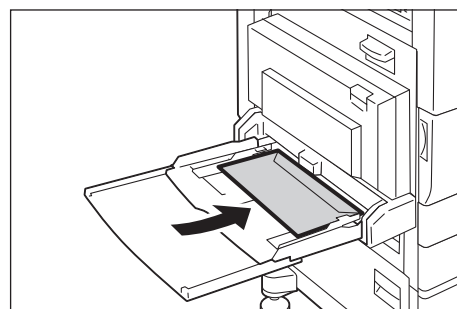
補足

- ・ 洋長形 3 号、C 4、C 5、Commercial#10、Monarch7.3/4、封筒 DL 以外の定形外の封筒を使用する場合は、封筒サイズをプリンタードライバーのユーザー定義サイズに登録してください。詳しくは、「定形外サイズを登録する」(P. 111) を参照してください。
- ・ プリンタードライバーで洋長形 3 号、封筒 C4、封筒 C5、Commercial#10、Monarch7.3/4、または封筒 DL を指定すると、自動的に次の設定が変更されます。
[手差し用紙種類]: [厚紙 2 (170 ~ 216g/m²)]
[用紙トレイ選択]: [手差し (トレイ 5)]
- ・ ユーザー定義サイズには、フラップ (ふた) が開いている封筒の場合、フラップの部分を含めたサイズを登録してください (Ncolor 封筒の場合、フラップ部として 20mm を含めます)。

注記

- ・ きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
 - ・ カールやよじれがある封筒
 - ・ 貼り付いている封筒、破損している封筒
 - ・ 窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスがある封筒
 - ・ ひもや金属製の留め金が付いている封筒、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
 - ・ 切手が貼ってある封筒
 - ・ フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
 - ・ ふちがギザギザな封筒、隅が折れている封筒
 - ・ 表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒
 - ・ フラップが開いたままの、のり付き封筒

1. 印刷する面 (例: あて名面) を下にします。
封筒のフラップ (ふた) を閉じ、封筒の上部 (フラップのある方) を機械側にセットします。



注記

- ・ フラップが開いている封筒 (のりなしの封筒) の場合、フラップを開けたまま、封筒の下部 (フラップのない方) を機械側にセットします。
- ・ 封筒 C4 の場合、フラップを閉じ、封筒の上部 (フラップのある方) を手前側にセットします。

2. 用紙ガイドを、セットした封筒のサイズに合わせます。

はがき / 封筒に印刷する

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例で説明します。

補足

- ・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。

4. [用紙トレイ選択] から、[手差し (トレイ 5)] を選択します。



5. [手差し用紙種類] から [厚紙 2 (170 ~ 216g/m²)] を選択します。



補足

- 一度印刷したはがきや封筒の反対面に印刷する場合も、[厚紙2(170~216g/m²)]を選択してください。

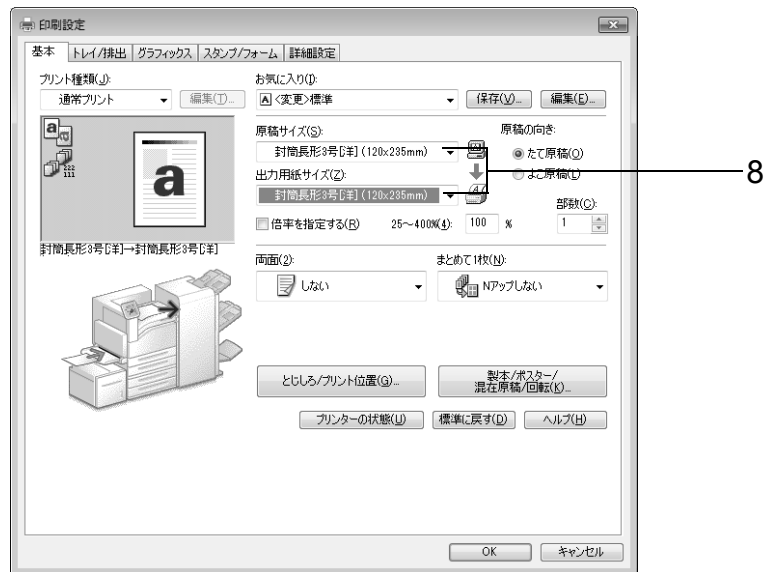
6. [手差し用紙の給紙方向] から任意の給紙方向を選択します。

補足

- 定形のはがきや封筒にプリントする場合はこの設定は不要です。

7. [基本] タブをクリックします。

8. 「原稿サイズ」と「出力用紙サイズ」を選択します。



補足

- ・ はがきの場合は、[はがき (100x148mm)] を選択してください。
- ・ 封筒洋長形 3 号の場合は、[封筒長形 3 号 [洋] (120x235mm)] を選択してください。
- ・ 洋長形 3 号、C 4、C 5 以外の封筒の場合は、ユーザー定義サイズとして登録したサイズを選択してください。

9. 封筒の場合は、必要に応じて「製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転」をクリックして「製本 / ポスター / 混在原稿 / 回転」ダイアログボックスを表示します。
[原稿 180° 回転] を設定し、[OK] をクリックします。

注記

- ・ 定形サイズの封筒を使用する場合、[原稿 180° 回転] の設定は不要です。ただし、封筒の下部を本機側にセットした場合は設定が必要です。



補足

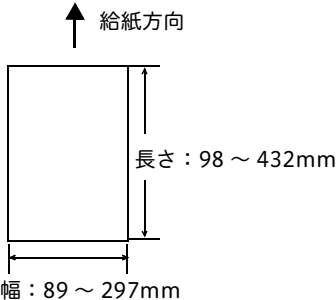
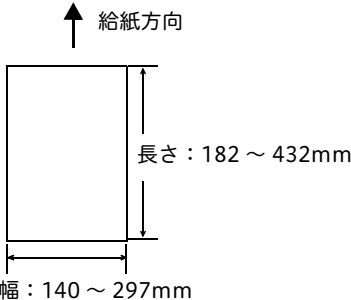
- ・ 封筒をユーザー定義サイズとして登録した場合は、[たてよこ原稿 (封筒など)] を選択してください。

10. [OK] をクリックします。

11. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、印刷を実行します。

4.3 定形外サイズ用の紙に印刷する

定形外サイズ用の紙に印刷する方法について説明します。
本機で利用できる用紙サイズは、次のとおりです。

手差しトレイ	トレイ 1 ～ 2 (標準トレイ) トレイ 3 ～ 4 (2 トレイモジュール (オプション))
 ↑ 給紙方向 長さ：98 ～ 432mm 幅：89 ～ 297mm	 ↑ 給紙方向 長さ：182 ～ 432mm 幅：140 ～ 297mm

定形外サイズ用の紙をセットする

定形外サイズ用の紙をセットする方法は、定形サイズ用の紙をセットする方法と同じです。「6.2 用紙をセットする」(P. 165) を参照してください。

定形外サイズを登録する

印刷をする前に、プリンタードライバーで定形外サイズをユーザー定義サイズとして登録します。ここでは、Windows 7 を例に、説明します。

定形外サイズ用の紙をトレイ 1 ～ 4 (3 ～ 4 はオプション) にセットした場合は、あらかじめ操作パネルでトレイの用紙サイズを設定してください。

操作パネルでの設定については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 174) を参照してください。

注記

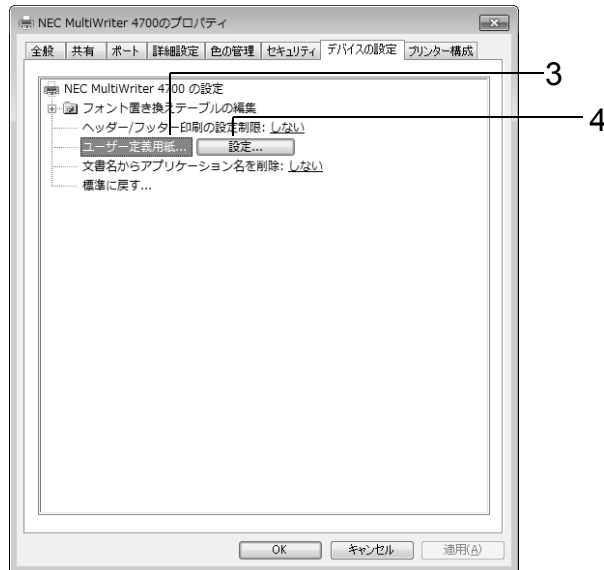
- ・プリンタードライバーおよび操作パネルで用紙サイズを設定するときは、必ず実際に使用する用紙のサイズと同じにしてください。用紙と異なるサイズを設定して印刷すると、機械の故障の原因になることがあります。

補足

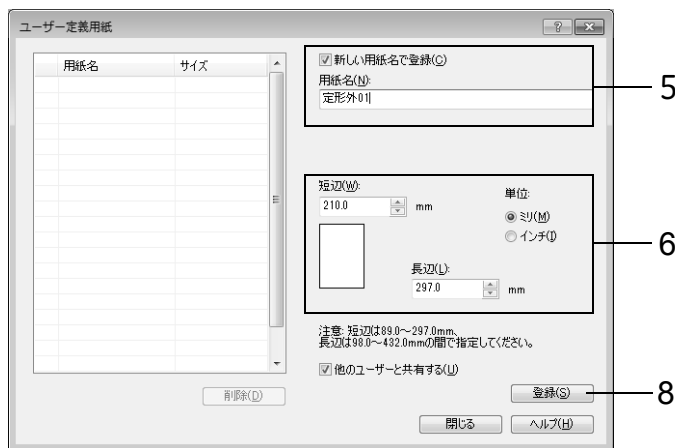
- ・管理者の権利があるユーザーが、設定を変更できます。管理者の権利がない場合は、内容の確認だけです。また、管理者の権限がないユーザーでも、[他のユーザーと共有する] が [オフ] のユーザー定義用紙であれば設定できます。
- ・[ユーザー定義用紙] ダイアログボックスの設定は、ローカルプリンターではコンピューターのフォームデータベースを使用するため、コンピューター上のほかのプリンターにも影響します。ネットワーク共有プリンターではプリントキューが存在するサーバー上のフォームデータベースを使用するため、別のコンピューター上の同じネットワーク共有プリンターにも影響します。
[他のユーザーと共有する] のチェックを外すとフォームデータベースを使用せず、自分専用のユーザー定義用紙を設定できます。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択し、使用するプリンターのプロパティを表示します。
2. [デバイスの設定] タブをクリックします。
3. [ユーザー定義用紙] をクリックします。

4. [設定] をクリックします。



5. [新しい用紙名で登録] にチェックして、[用紙名] を登録します。



補足

- ・新しい用紙名で登録する場合は、[新しい用紙名で登録] をチェックし、[用紙名] に入力してください。

6. 短辺と長辺の長さを指定します。
キー入力、または [▲] [▼] で指定します。
短辺の値は、範囲内でも長辺より大きくすることはできません。長辺の値は、範囲内でも短辺より小さくすることはできません。

7. 必要に応じて、手順 5、6 を繰り返して、用紙サイズを定義します。

8. [登録] をクリックします。

補足

- ・新しい用紙名で登録した場合は、手順 10 に進みます。

9. [はい] をクリックします。

10. [閉じる] をクリックします。

11. [OK] をクリックします。

定形外サイズの下紙に印刷する

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

注記

- 正しい用紙サイズを設定しないで印刷すると、機械が故障する場合があります。

補足

- プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から、定形外サイズの用紙がセットされているトレイを選択します。



5. [用紙トレイ選択] で [手差し (トレイ 5)] を選択した場合は、[手差し用紙種類] と [手差し用紙の給紙方向] を設定します。
6. [基本] タブをクリックします。

7. 「原稿サイズ」 から、任意の原稿のサイズを選択します。



8. 「出力用紙サイズ」 から、登録したユーザー定義サイズ of 用紙を選択し、[OK] をクリックします。
9. 「印刷」 ダイアログボックスで 「印刷」 をクリックし、印刷を実行します。

4.4 さまざまな種類の用紙に印刷する

本機のトレイ 1 ～ 6 (3、4、6 はオプション) には、普通紙だけでなく、厚紙やラベル紙など、さまざまな種類の用紙をセットできます。

トレイにセットする用紙種類を変更した場合は、操作パネルで「[トレイの用紙種類]」の設定も変更してください。設定変更後は、プリンタードライバーに設定を読み込んでください。

注記

- ・ プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、トレイにセットされている用紙の種類が一致しない場合、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [用紙種類エラーの処理] で設定した処理が行われます。

参照

- ・ 用紙種類を設定する方法: 「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 174)、「トレイの用紙種類を変更する」(P. 175)
- ・ 設定をプリンタードライバーに読み込む方法: 「2.6 オプション品の構成やトレイの用紙設定などを取得する」(P. 68)

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

用紙種類を指定して自動で印刷する

「[トレイの用紙種類]」の設定とトレイにセットされている用紙種類が正しくあっている場合は、プリンタードライバーでトレイを直接指定しなくても、用紙種類を指定するだけで、適切なトレイを選択して印刷します。

この方法を利用すると、どのトレイにどの用紙がセットされているかを意識しなくても印刷できます。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [トレイの高度な設定] をクリックします。



5. [用紙トレイ選択] から、[自動] を選択します。



6. [トレイの用紙種類] から印刷する用紙の種類を選択し、[OK] をクリックします。
7. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、印刷を実行します。

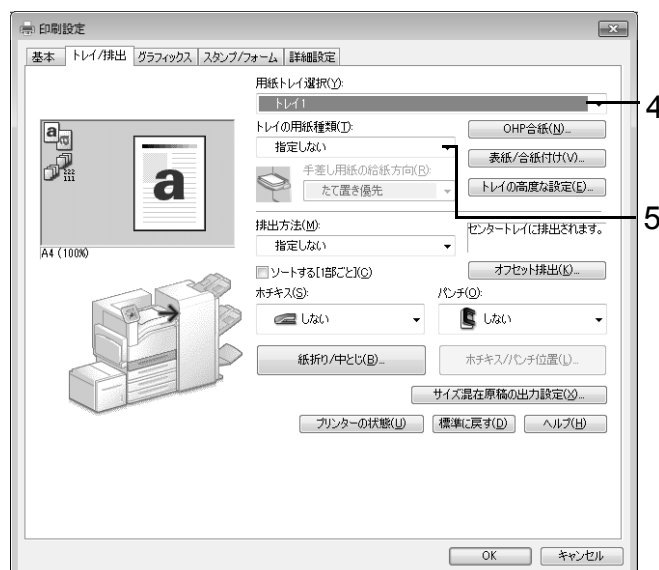
トレイと用紙種類を設定して印刷する

ここでは、トレイ 1 の [トレイの用紙種類] に [OHP フィルム] が設定され、実際には普通紙がセットされている場合を例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [トレイ / 排出] タブをクリックします。
4. [用紙トレイ選択] から [トレイ 1] を選択します。

補足

- ・プリンターの用紙設定を読み込んでいる場合は、トレイ名の横に用紙のサイズ、向き、用紙種類、色が表示されます。



5. [トレイの用紙種類] から [OHP フィルム] を選択します。

補足

・ここで選択した用紙種類は、そのジョブだけに有効です。プリンターに設定されているトレイの用紙種類は変更されません。

6. [基本] タブをクリックし、[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] を設定して、[OK] をクリックします。

7. トレイ 1 に OHP フィルムをセットします。

8. [印刷] ダイアログボックスで [OK] をクリックし、印刷を実行します。

9. 印刷が終了したら、トレイ 1 に [普通紙] をセットします。

4.5 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、セキュリティープリント機能を使用できます。

注記

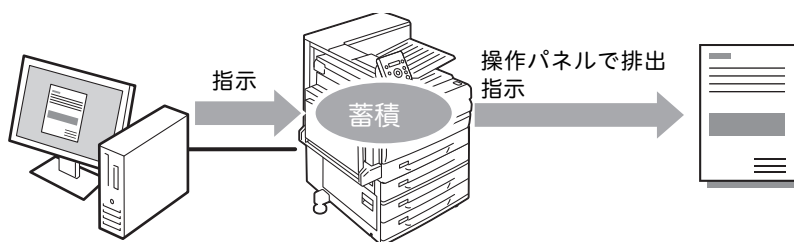
- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「9.8 RAM ディスクを使用するための設定（ART-EX プリンタードライバ使用時）」（P. 356）

セキュリティープリント機能について

セキュリティープリントとは、コンピューター上で、印刷データにセキュリティー（暗証番号を付ける）をかけて印刷を指示し、印刷データを本機内に一時的に蓄積させたあと、操作パネルで印刷を開始する機能です。また、セキュリティーをかけないで印刷データをプリンターに蓄積させることもできます。頻繁に使用する文書をプリンターに蓄積しておけば、コンピューターから何度も印刷を指示しなくても、本機側の指示だけで印刷できます。



補足

- ・印刷後セキュリティープリントデータを削除するかどうかは、セキュリティープリントを印刷する手順の中で選択します。「操作パネルでの操作」（P. 120）を参照してください。
- ・操作パネルの「セキュリティープリント操作」が「無効」に設定されている場合は、セキュリティープリントを出力できません。
- ・本機のプロパティダイアログボックスの「プリンター構成」タブ＞「オプションの設定」＞「オプションの設定」ダイアログボックスで、「暗証番号の最小桁数」を「1」以上に設定している場合は、必ず暗証番号の入力が必要になります。

セキュリティープリントをする

セキュリティープリントをする方法を説明します。

まず、セキュリティープリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

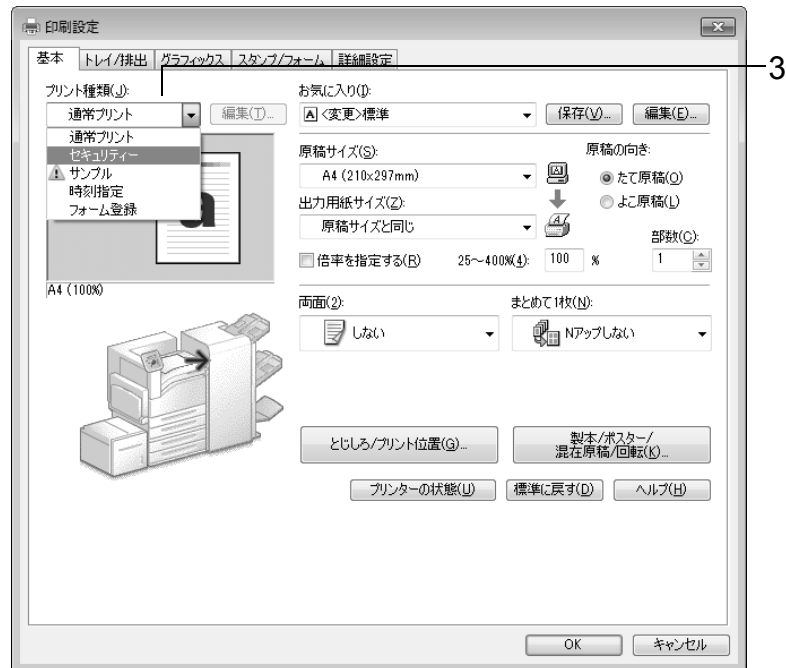
ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

補足

- ・プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

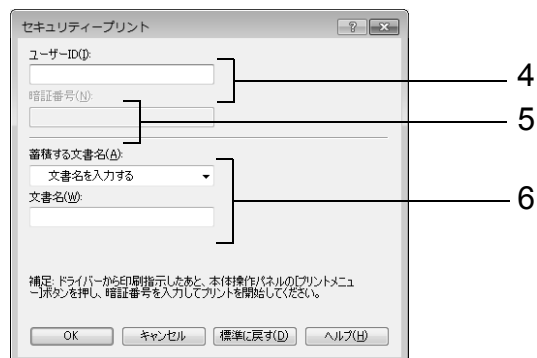
1. 「[ファイル]」メニューから、「[印刷]」を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、「[詳細設定]」をクリックします。

3. [基本] タブの [プリント種類] から、[セキュリティ] を選択します。



[セキュリティプリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



5. 暗証番号を付ける場合は、[暗証番号] に暗証番号を入力します。
半角数字で 12 文字まで入力できます。
6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する]、または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。
文書が本機内に蓄積されます。

操作パネルでの操作

セキュリティープリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

補足

- ・ 本機内に蓄積したセキュリティープリントデータを、印刷しないで削除する場合は、次の手順 8 のあと、[削除する]を選択してください。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティープリント



2. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
1001.12345678



3. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ ユーザー ID は、プリンタードライバーの [セキュリティー プrint] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
暗証番号を入力する画面が表示されます。

暗証番号を入れ [OK]
[0]



5. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]



補足

- ・ 暗証番号は、プリンタードライバーの [セキュリティー プrint] ダイアログボックスで設定した [暗証番号] を入力します。[暗証番号] を設定していない場合は、操作パネルでの設定はありません。

6. 〈OK〉ボタンで決定します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report



7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの [セキュリティー プrint] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・ 複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1.Report
プリント後削除する



補足

- ・ 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する]を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。
- ・ 印刷後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリント後削除しない]を表示し、手順9に進んでください。

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1部



10. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

1.Report
[OK] でプリント開始

11. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

12. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.6 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、サンプルプリント機能を使用できます。

注記

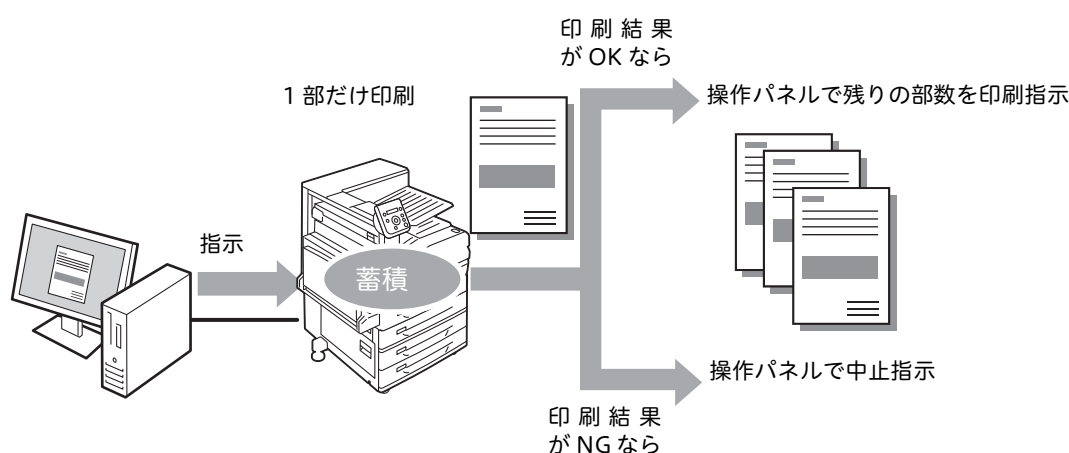
- ・ ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

参照

- ・ RAM ディスクを有効にする方法：「9.8 RAM ディスクを使用するための設定（ART-EX プリンタードライバ使用時）」（P. 356）

サンプルプリント機能について

サンプルプリントとは、複数部数を印刷する場合に、本機に印刷データを蓄積し、まず1部だけ印刷し、印刷結果を確認してから、残りの部数の印刷開始を操作パネルで指示する機能です。



補足

- ・ 不要になったサンプルプリントデータは、印刷する場合と同様の手順で削除できます。「操作パネルでの操作」（P. 124）を参照してください。

サンプルプリントをする

サンプルプリントをする方法を説明します。

まず、サンプルプリントの設定をコンピューター側で行い、印刷指示をします。そのあと、プリンター側で出力指示を行い、印刷データを出力します。

コンピューター側での操作

ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

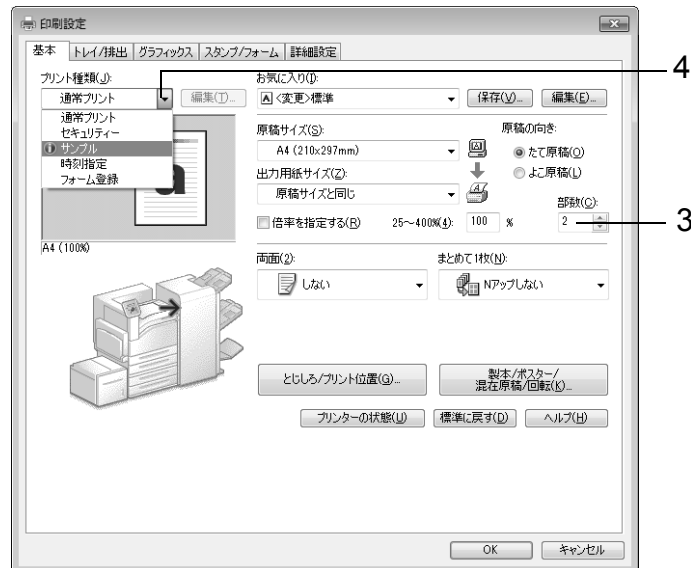
補足

- ・ プリンターのプロパティダイアログボックスの表示方法は、アプリケーションによって異なります。各アプリケーションのマニュアルを参照してください。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[部数] を 2 部以上に設定します。
4. [プリント種類] から [サンプル] を選択します。

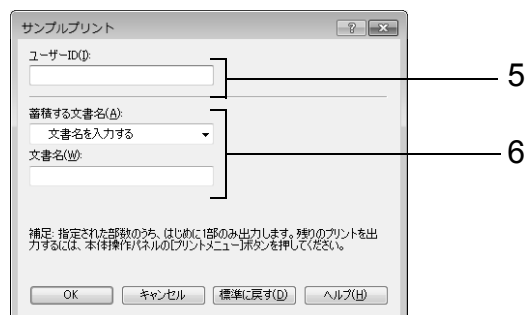
補足

- ・印刷部数を 2 部以上に設定すると、[サンプル] が選択できます。



[サンプルプリント] ダイアログボックスが表示されます。

5. [ユーザー ID] にユーザー ID を入力します。
ユーザー ID は、半角で 8 文字まで入力できます。



6. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
7. [OK] をクリックします。
8. [基本] タブで [OK] をクリックします。
9. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。

操作パネルでの操作

サンプルプリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順、および削除する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント



2. [サンプルプリント] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
サンプルプリント



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
ユーザー ID が表示されます。

ユーザー ID を選択
2001.12345678



4. 対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ユーザー ID は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [ユーザー ID] が表示されます。

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report



6. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・文書名は、プリンタードライバーの [サンプルプリント] ダイアログボックスで設定した [蓄積する文書名] が表示されます (12 バイトまで)。
- ・複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1.Report
プリントする



補足

- ・印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。

8. 蓄積したデータを印刷する場合は、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1 部



9. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

補足

- ・ 部数の初期値は、プリンタードライバーであらかじめ設定した部数が表示されます。

10. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。
11. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、時刻指定プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。
- ・NPDL プリンタードライバーではこの機能はありません。

参照

- ・RAM ディスクを有効にする方法：「9.8 RAM ディスクを使用するための設定（ART-EX プリンタードライバー使用時）」（P. 356）

時刻指定プリント機能について

時刻指定プリントとは、あらかじめ本機に印刷データを蓄積しておき、設定した時刻に自動的に印刷する機能です。

蓄積できる印刷データは、100 ジョブまでです。

注記

- ・時刻指定プリントをしている場合は、本機の電源を切らないでください。
ハードディスクを使用し、指定したプリント時刻より前に本機の電源を切った場合、指定時刻が過ぎたジョブは、次に本機の電源を入れた直後に自動的に印刷が開始されます。
RAM ディスクを使用している場合には、本機の電源を切ると、蓄積している印刷データは消去され、再び本機の電源が入っても印刷されません。

補足

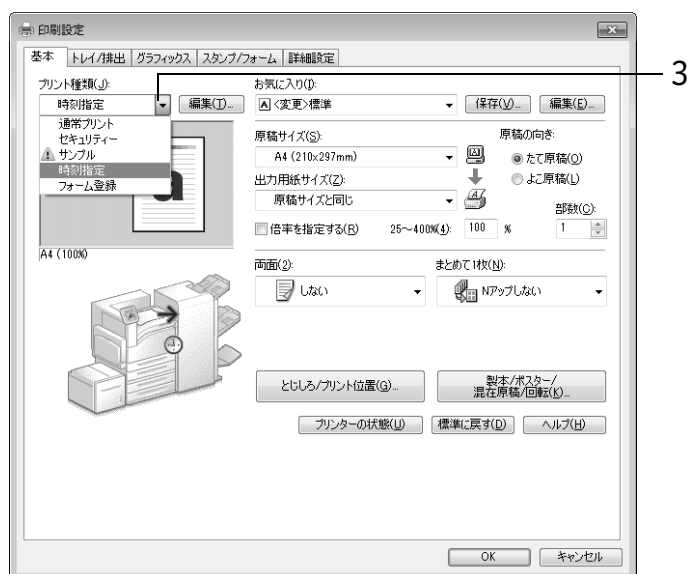
- ・この機能で指定できる時刻は、印刷指示をしたときから 24 時間以内です。

時刻指定プリントを登録する

時刻指定プリントをする方法を説明します。

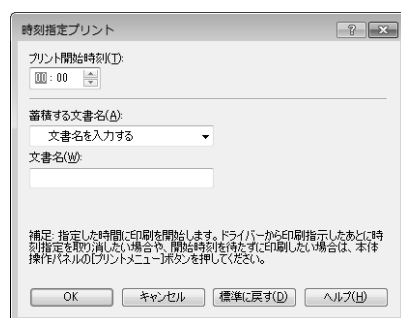
ここでは、Windows 7 のワードパッドを例に説明します。

1. [ファイル] メニューから、[印刷] を選択します。
2. 使用するプリンターを本機に設定し、[詳細設定] をクリックします。
3. [基本] タブで、[プリント種類] から [時刻指定] を選択します。



[時刻指定プリント] ダイアログボックスが表示されます。

4. 印刷を開始する時刻を設定します。時刻は、24 時間制です。



5. [蓄積する文書名] から、[文書名を入力する] または [文書名の自動取得] を選択します。
[文書名を入力する] を選択した場合は、[文書名] に文書の名前を、12 バイト相当 (半角で 12 文字) で指定します。
[文書名の自動取得] の場合、文書名は印刷する文書名になります。ただし、文書名を本機が認識できない場合は、日付と時刻になります。
6. [OK] をクリックします。
7. [基本] タブで [OK] をクリックします。
8. [印刷] ダイアログボックスで [印刷] をクリックし、印刷を実行します。
指定した時刻になると、印刷が開始されます。

時刻指定プリントを中止する

時刻指定プリントを中止したい場合や、指定した時刻を無視して印刷したいときは、操作パネルで操作します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント



2. [時刻指定プリント]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
時刻指定プリント



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report



4. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 文書名は、プリンタードライバーの[時刻指定プリント]ダイアログボックスで設定した[蓄積する文書名]が表示されます(12バイトまで)。

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
すぐに印刷するか、印刷しないで削除するかを選択する画面が表示されます。

1.Report
すぐにプリントする



補足

- ・ 蓄積したデータを印刷しないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する]を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。

6. すぐに印刷する場合は、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始させる画面が表示されます。

1.Report
[OK] でプリント開始

7. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

8. 〈プリントメニュー〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

4.8 認証プリント

本機に、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが有効に設定されている場合、認証プリント機能を使用できます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。
- ・RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

認証プリントについて

認証プリントとは、ユーザー ID などで本機にユーザーを認証させることにより、不正な印刷をさせない機能です。

操作パネルの「機械管理者メニュー」>「システム設定」>「認証の設定」>「認証プリントの設定」>「受信制御」が「認証プリントに保存」に設定されている場合、コンピューターから印刷を指示したデータは、蓄積用ユーザー ID ごとにプリンター内に一時的に保存されます。蓄積用ユーザー ID が設定されていないデータは、「No User ID」として保存されます。保存されたデータは、印刷したいときに本機側での操作で印刷できます。

補足

- ・認証機能には、本機に登録されたユーザー ID などの認証情報を使用する本体認証と、外部の認証サーバーと連携した外部認証があります。認証機能をご利用になる場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

認証プリントをするための設定

本機側の設定

認証プリントは、操作パネルの「機械管理者メニュー」>「システム設定」>「認証の設定」>「認証プリントの設定」で、次のどれかを設定している場合に表示されます。

- ・「受信制御」を「認証プリントに保存」に設定。
- ・「受信制御」を「プリントの認証に従う」に設定し、「ジョブ認証時の処理」>「認証が不正のジョブ」を「認証プリントに保存」に設定。
- ・「受信制御」を「プリントの認証に従う」に設定し、「ジョブ認証時の処理」>「UserID なしのジョブ」を「認証プリントに保存」に設定。

参照

- ・「認証プリントの設定」(P. 218)

プリンタードライバーでの設定

プリンタードライバーのプロパティで蓄積用ユーザー ID を設定します。また、自分の文書を自分以外の人に操作させたくない場合は、蓄積用ユーザー ID に加えて、暗証番号も設定しておく必要があります。

認証プリントをする

ここでは、認証プリントによって、本機内に蓄積されている印刷データを印刷する手順を説明します。

1. 操作パネルの〈プリントメニュー〉ボタンを押します。

プリントメニュー
セキュリティプリント

2. [認証プリント] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。

プリントメニュー
認証プリント

3. ユーザー ID が表示されます。
対象のユーザー ID が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

ユーザー ID を選択
7001. 不特定 ID

補足

- ・ 蓄積用ユーザー ID が設定されていない文書を印刷する場合は、ユーザー ID で [不特定 ID] を選択します。

ユーザー ID を選択
7002.12345678

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
暗証番号を設定している場合は、右の画面が表示されます。手順 6 に進んでください。
暗証番号を設定していない場合は、文書を選択する画面が表示されます。手順 8 に進んでください。

暗証番号を入れ [OK]
[0]

5. 〈▶〉ボタンでカーソルを移動させながら、〈▲〉〈▼〉ボタンで暗証番号を入力します。

暗証番号を入れ [OK]
[**7]

6. 〈OK〉ボタンで決定します。
文書名が表示されます。

文書を選択
1.Report

7. 対象の文書名が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

補足

- ・ 特定のユーザー ID に複数文書が格納されている場合は、[全ての文書] を選択することもできます。

8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷後の処理を選択する画面が表示されます。

1.Report
プリント後削除する

補足

- ・ 印刷をしないで削除する場合は、〈▼〉ボタンを押して、[削除する] を表示し、〈▶〉ボタン、〈OK〉ボタンの順に押します。
- ・ 印刷後も、データを本機に残しておく場合は、〈▼〉ボタンを押して、[プリント後削除しない] を表示し、手順 10 に進んでください。

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
部数を入力する画面が表示されます。

部数
1 部

10. 〈▼〉 ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

1.Report [OK] でプリント開始

11. 〈OK〉 ボタンを押します。
印刷が開始されます。
12. 〈プリントメニュー〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。
- .

5 印刷する（プリンタードライバーを使用しない場合）

5.1 PDF ファイルを直接印刷する

本機では、プリンタードライバーを使用しないで、PDF ファイルを直接プリンターに送信して、印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単に高速に印刷されます。

また、PDF ファイルを直接印刷する場合、本機が標準で搭載している PDF Bridge 機能を使用するモードと PostScript 機能（オプション）を使用するモードを選択できます。操作パネルの [PDF] の [プリント処理モード] で、PDF ファイルの印刷処理モードを設定してください。

補足

- ・ PostScript 機能を使用するには、PostScript ソフトウェアキット（オプション）が必要です。

参照

- ・ 「[PDF]」 (P. 247)

印刷できる PDF ファイル

印刷の対象となるのは、Adobe Acrobat 4～Acrobat XI で作成された PDF ファイルです。ただし、次の機能は使用できません。

- ・ PDF Bridge 機能を使用する場合：PDF1.5 以降で追加された一部機能
- ・ PostScript を使用する場合：PDF1.7 以降で追加された一部機能

また、PDF ダイレクトプリント機能は、Adobe PDF 1.6 に対応しますが、次の点に注意してください。

PostScript を使用する場合

- ・ 透明オブジェクトなどの PDF1.6 の機能に対応していますが、レンダリング処理が複雑になるため、PDF の出力に時間がかかる場合があります。
- ・ Adobe Acrobat 7（PDF1.6）の「OpenType フォントを埋め込む」指定には対応していません。
- ・ Adobe Acrobat 7以降で作成されたPDF1.6の機能に対応していますが、PDF1.7(Adobe Acrobat 8 および 9) の機能には対応していません。
- ・ PostScript のメモリー設定を最大値（128MB）にしないと、PDF ファイルを正常に印刷できない場合があります。

補足

- ・ PDF ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、PDF ファイルを開き、プリンタードライバーを使って印刷してください。

PDF ファイルを直接印刷する方法

PDF ファイルを直接印刷するには、いくつかの方法があります。

注記

- ・ USB、パラレルポートを使用して PDF ファイルを直接印刷するときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピューター上のファイルを直接プリンターに送って印刷するための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内に収録されています。使用する場合は、メディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内のマニュアルを参照してください。

補足

- ・ ContentsBridge Utility を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルを印刷できます。

CentreWare Internet Services から印刷する

CentreWare Internet Services の [プリント] タブから、PDF ファイルを指定して、本機に直接、印刷を指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、ハードディスク (オプション) が必要です。
- ・ CentreWare Internet Services を使用すると、PDF ファイル以外に、DocuWorks ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification (XPS) ファイルを印刷できます。

メールに添付して印刷する

PDF ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、印刷します。詳しくは、「5.3 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -」(P. 137) を参照してください。

補足

- ・ 本機能を使用するには、ハードディスク (オプション) が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信する

PDF ファイルを直接 lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [PDF] の設定に従って印刷されます。

・ プリント処理モード	・ パスワード
・ 部数	・ ソート
・ 両面	・ レイアウト
・ 印刷モード	・ 用紙サイズ

参照

- ・ 「[PDF]」(P. 247)

補足

- ・ [プリント処理モード] は、オプションの PostScript ソフトウェアキットが取り付けられている場合に表示されます。
- ・ [レイアウト] は、[プリント処理モード] で [PS] が選択されている場合は表示されません。
- ・ lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの [部数] の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って PDF ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・ ここでは、入力する文字を太字で表します。
- ・ 空白（スペース）は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力します。

例：プリンターの IP アドレスが 192.0.2.1 で、event.pdf ファイルを印刷する

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ event.pdf
```

〈Enter〉 キー

5.2 DocuWorks ファイルを直接印刷する

本機では、プリンタードライバーを使用しないで、DocuWorks ファイルを直接プリンターに送信して、印刷できます。印刷データが直接プリンターに送信されるので、プリンタードライバーを使用して印刷するときよりも簡単で高速に印刷されます。

印刷できる DocuWorks ファイル

印刷できる DocuWorks ファイルは、次のとおりです。

- ・DocuWorks Ver.3 ～ 8 文書（拡張子：.xdw）
- ・DocuWorks Ver.4 ～ 8 バインダー文書（拡張子：.xbd）

補足

- ・自己解凍文書（拡張子：.exe）は印刷できません。
- ・DocuWorks ファイルの作成方法によって、プリンターに直接印刷できないことがあります。その場合は、DocuWorks ファイルを開き、プリンタードライバーを使って印刷してください。

DocuWorks ファイルを直接印刷する方法

DocuWorks ファイルを直接印刷するには、いくつかの方法があります。

注記

- ・USB、パラレルポートを使用して DocuWorks ファイルを直接印刷するときは、ContentsBridge Utility を使用してください。

ContentsBridge Utility を使用する

ContentsBridge Utility は、コンピュータ上のファイルを直接プリンターに送って印刷するための富士ゼロックス株式会社製ソフトウェアです。

ContentsBridge Utility はメディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内に収録されています。使用する場合は、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内のマニュアルを参照してください。

補足

- ・ContentsBridge Utility を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification（XPS）ファイルを印刷できます。

CentreWare Internet Services から印刷する

CentreWare Internet Services の [プリント] タブから、DocuWorks ファイルを指定して、本機に直接、印刷を指示できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・本機能を使用するには、ハードディスク（オプション）が必要です。
- ・CentreWare Internet Services を使用すると、DocuWorks ファイル以外に、PDF ファイル、TIFF ファイル、JPEG ファイル、XML Paper Specification（XPS）ファイルを印刷できます。

メールに添付して印刷する

DocuWorks ファイルをメールに添付して、本機あてにメールを送信し、印刷します。詳しくは、「5.3 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -」(P. 137) を参照してください。

補足

- ・本機能を使用するには、ハードディスク（オプション）が必要です。

lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信する

DocuWorks ファイルを直接 lpr コマンドなどを使って直接プリンターに送信します。この場合、次の項目は操作パネルの [XDW (DocuWorks)] の設定に従って印刷されます。

- ・ 部数
- ・ ソート
- ・ 両面
- ・ レイアウト
- ・ 印刷モード
- ・ 用紙サイズ
- ・ パスワード

参照

- ・ 「[XDW (DocuWorks)]」 (P. 251)

補足

- ・ lpr コマンドを使って印刷する場合、部数の指定は lpr コマンドで行います。操作パネルの [部数] の設定は無効になります。なお、lpr コマンドで部数の指定をしない場合は、1 部として処理されます。

lpr コマンドを使って DocuWorks ファイルを印刷する場合の、コンピューター側の指定例は次のとおりです。

補足

- ・ ここでは、入力する文字を太字で表します。
- ・ 空白 (スペース) は、△で表します。

指定例

コマンドプロンプトから、次のようにコマンドを入力します。

例：プリンターの IP アドレスが 192.0.2.1 で、Report.xdw ファイルを印刷する

```
C:\>lpr △ -S △ 192.0.2.1 △ -P △ lp △ Report.xdw
```

〈Enter〉キー

5.3 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -

本機にハードディスク（オプション）が取り付けられている状態で、ネットワークに接続され、TCP/IP での通信、およびメールの受信ができる環境がある場合は、コンピューターや携帯電話などから本機あてにメールを送信したり、転送したりできます。受信したメールは、本機の設定に応じて自動的に印刷されます。

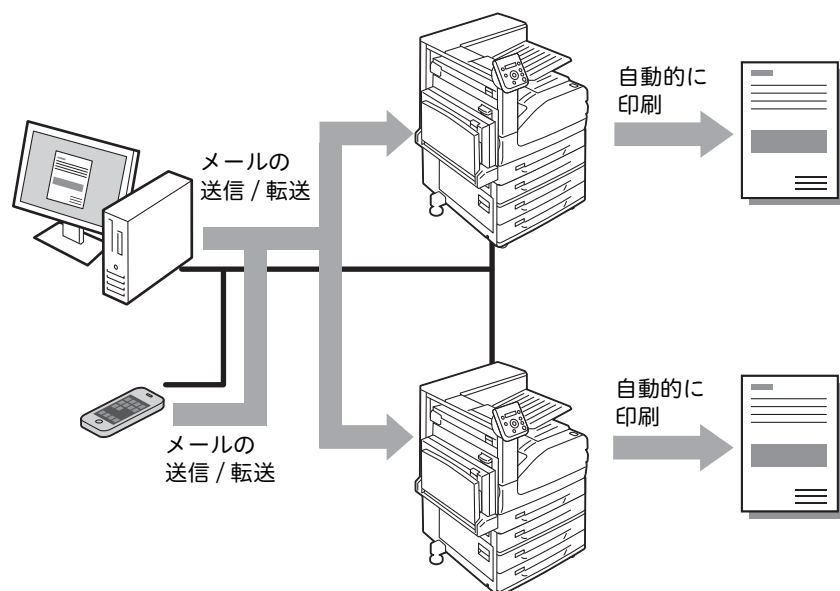
この機能を「メール受信プリント」といいます。

注記

- ・ハードディスクは、故障する可能性があります。ハードディスク内に蓄積している文書で大切なデータは、コンピューター上でバックアップを取ることをお勧めします。

補足

- ・添付できる文書は、TIFF 形式、PDF 形式、JPEG（JFIF）形式、XML Paper Specification（XPS）形式、XDW 形式（DocuWorks 文書）、XBD 形式（DocuWorks バインダー文書）です。



メール受信プリントをするための環境設定

メール受信プリント機能を使用するためには、お使いのネットワーク環境にある各種サーバー（SMTP サーバーや POP3 サーバーなど）にも設定が必要です。

補足

- ・メール環境を誤って設定すると、ネットワーク内に多大な迷惑をかける可能性があります。メール環境の設定は、ネットワーク管理者が行ってください。

ネットワーク環境の設定

- ・メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

メール環境に合わせて、CentreWare Internet Services の「プロパティ」で、次の項目を設定します。

補足

- ・ 設定後は、必ず「新しい設定を適用」をクリックしてから本機の電源を切り、入れ直してください。
- ・ 各項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

* : 初期値

オン : チェックボックスがチェックされている状態

オフ : チェックボックスがチェックされていない状態

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
本体説明	管理者メールアドレス	インターネットサービスの管理者メールアドレスを設定します。	英数字と「@」、「.」、「-」、「_」で、128 バイト以内	○	○
	本体メールアドレス	本機のメールアドレスを設定します。ここで設定したメールアドレスが、メールの「From」欄に表示されます。			
ネットワーク設定 > ポート起動	メール受信	チェックを付けます。	-	○	○
ネットワーク設定 > プロトコル設定 > TCP/IP	ホスト名	本機のホスト名を設定します。ホスト名は、DNS の動的更新で使用されます。	英数字と「-」で、32 バイト以内	○	○
	ドメイン名	DNS ドメイン名を設定します。	英数字と「.」、「-」、で、255 バイト以内	○	-
	DHCP からアドレスを取得 / DHCPv6-lite からアドレスを取得	IPv4 用 DNS サーバーアドレス / IPv6 用 DNS サーバーアドレスを自動的に取得する場合は、[有効] にチェックを付けます。	IPv4 用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCP* IPv6 用： ・ オフ：手動 ・ オン：DHCPv6-lite	○	-
	DNS サーバーアドレス 1 ～ 3	IPv4 用 / IPv6 用の DNS サーバーアドレスを設定します。	IPv4 用： xxx.xxx.xxx.xx IPv6 用：IPv6-addr 形式	○	-
	DNS の動的更新 (IPv4/IPv6)	IPv4 用 / IPv6 用 DNS を動的に更新する場合は [する] に、また上書きする場合は [上書きする] にチェックを付けます。	・ する ・ 上書きする *	○	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク 設定 > プロト コル設定 > TCP/IP	ドメイン検索 リストの自動 作成	ドメイン検索リストを自動作 成する場合は、[する]に チェックを付けます。	・ オン：自 動 作成する * ・ オフ：自 動 作成しない	○	-
	検索ドメイン 名 1 ～ 3	検索するドメイン名を指定し ます。	英数字と「.」、 「-」、で、255 バイト以内	○	-
	タイムアウト	ドメインを検索する場合のタ イムアウト時間を設定しま す。	1 ～ 60 秒 1 秒 *	○	-
	DNS 名前解決 の IPv6 優先	デュアルスタックモード時に IPv6 用 DNS の名前解決を優 先する場合は、[する]に チェックを付けます。	・ オン：優 先 する * ・ オフ：優 先 しない	○	-
サービス設定 > メール > 初 期値 > 送信者 アドレス > 編 集	受信 プロトコル	メールの受信方法を設定しま す。	・ SMTP ・ POP3*	○	-
	受 信 メ ー ル シートの プリント	受信したメールの添付文書と 共に、電子メールのヘッダー と本文を印刷する場合に設定 します。電子メールの受信経 路などを印刷したいときは [ヘッダーすべてと本文をプ リント] に設定します。	・ しない (添 付 文 書 のみ印刷) ・ 本文がなけ ればプリント しない ・ ヘッダーの 一部と本文 をプリント * ・ ヘッダーす べてと本文 をプリント	○	○
	送達確認 メールの自動 プリント	配送確認のメールを印刷する かどうかを設定します。	・ しない * ・ する ・ 不達時のみ プリントす る	○	○
ネットワーク 設定 > プロト コル 設 定 > POP3	POP3 サー バー IP アド レス (ホスト 名) とポート 番号	メール受信用の POP3 サー バーの IP アドレス、IPv6- addr 形式、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。 また、POP3 サーバーで使 用しているポート番号を設定 します。	英数字と「.」、 「-」で、128 バイト以内 1 ～ 65535	-	○
	POP 受信パス ワードの暗号 化	POP 受信の認証に APOP を 使用する場合は、[APOP 認 証] にチェックを付けます。	・ オフ：使用 しない * ・ オン：使用 する	-	○
	POP ユーザー 名	POP3 サーバーに接続するた めのユーザー名を設定しま す。1 ユーザーだけ設定でき ます。	ASCII 図形文 字 (コード番 号 33 ～ 126 の文字) で、 64 バイト以内	-	○

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク 設定 > プロト コル 設 定 > POP3	POP ユーザー パスワード	POP ユーザー名に対するパスワードを設定し、[POP ユーザーパスワードの確認入力]にもう一度パスワードを入力します。	ASCII 印字可能文字 (ASCII 図形文字にスペースを加えたコード番号 32 ～ 126 の文字) で、64 バイト以内	-	-
	POP3 サー バー確認間隔	POP3 サーバーにメールを確認する間隔を設定します。	1 ～ 120 分 10 分 *	-	○
ネットワーク 設定 > プロト コル設定 > SMTP	SMTP サー バー IP アド レス (ホスト 名)	メール受信用の SMTP サーバーの IP アドレス、IPv6-addr 形式、または FQDN (Fully Qualified Domain Name) を設定します。 ・ IPv4 の場合、 xxx.xxx.xxx.xxx の形式で 入力します。xxx は 0 ～ 255 の間の数値です。 ・ IPv6 の場合、 xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx :xxxx:xxxx:xxxx の形式で 入力します。xxxx は 16 進数です。 ・ 入力を間違えたときは、〈C (クリア)〉ボタンを押し て、再入力してください。	英数字と「.」、 「-」で、128 バイト以内	○	-
	送信ポート番 号 (メール)	SMTP サーバーで使用する送信用のポート番号を設定します。	1 ～ 65535	○	○
	受信ポート番 号	SMTP サーバーで使用する受信用のポート番号を設定します。	1 ～ 65535	○	-
	SMTP-SSL/ TLS 通信	SSL/TLS 通信の接続方法について設定します。	・ 無効 ・ STARTTLS 接続 (利用可能時) ・ STARTTLS 接続 ・ SSL/TLS 接続	○	-

項目	設定項目	説明	設定値	受信プロトコルによる設定の必要	
				SMTP	POP3
ネットワーク 設定 > プロト コル設定 > SMTP	本体メールアド レス	本機のメールアドレスを設定 します。 SMTP 受信の場合、アカウント (@ マークの左側) は、任 意の名称を設定できます。アド レス部 (@ マークの右側) には、ホスト名とドメイン名 を組み合わせたものを設定し ます。エイリアスは設定でき ません。 ・ アカウント名 : mymail ・ ホスト名 : myhost ・ ドメイン名 : example.com の場合、メールアドレスは、 mymail@myhost.example.com と なります。	メールアドレ スとして登録 可能な文字 で、128 バイ ト以内	○	-
	SMTP 送信の 認証	SMTP 送信時の認証方法を 設定します。	・ 利用しない * ・ POP before SMTP ・ SMTP AUTH	○	-
	SMTP AUTH- ログ イン名	認証が必要な SMTP サー バーの場合、認証用のユー ザー名を設定します。	ASCII 図形文 字 (コード番 号 33 ~ 126 の文字) で、 64 バイト以内	○	-
	SMTP AUTH- パス ワード	SMTP サーバーの認証用パス ワードを設定します。	ASCII 印字可 能文字 (ASCII 図形 文字にスペー スを加えた コード番号 32 ~ 126 の 文字) で、64 バイト以内	○	-

メールを受信する

受信できる添付ファイル

本機が受信できるメールの添付文書は、次のとおりです。

- ・PDF ファイル (Adobe Acrobat 4 ~ Acrobat XI で作成された PDF ファイル。ただし、PDF Bridge を使用する場合は PDF1.5 以降で追加された一部機能が、PostScript を使用する場合は PDF1.7 以降で追加された一部機能が使用できません。)
- ・TIFF ファイル
- ・XML Paper Specification (XPS) ファイル
- ・JPEG (JFIF) ファイル
- ・DocuWorks ファイル

メールを受信する

ここでは、Outlook を例に、本機がコンピューターからメールを受信する方法を説明します。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、XML Paper Specification (XPS) 添付文書がある場合は添付します。

補足

- ・メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみ印刷されます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文は印刷されません。
- ・添付ファイルの拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jif」、「.xps」、「.xdw」、「.xbd」以外は、正しく印刷されないことがあります。
- ・添付ファイルの拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、印刷されます。
- ・添付ファイルの拡張子は、大文字 / 小文字の区別はされません。
- ・最大 31 文書まで添付できます。
- ・なお、本機で印刷できない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。
- ・本機がサポートする Web メールは次のとおりです。
 - ・ Orangesoft xgate
 - ・ beat モバイルメール
 - ・ Yahoo Mail
 - ・ Google Gmail

参照

- ・ 本機がサポートする Web メールであっても、送信方法によっては正しく印刷されないことがあります。詳しくは、「ネットワーク関連のトラブル」(P. 324) > 「メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル」(P. 325) を参照してください。

2. あて先に本機のメールアドレスを入力します。



3. メールを送信します。

メールを転送する

ここでは、Web メールを例に、コンピューターや携帯電話で受信したメールを本機に転送する方法を説明します。

1. 携帯電話などから Web メールを転送指示します。添付文書がある場合はメール本文に添付します。

補足

- ・メール本文には、テキスト形式および HTML 形式を使用できます。HTML 形式の場合は、テキスト部分のみ印刷されます。なお、HTML 形式でもテキスト部分が送信されない場合、本文は印刷されません。
- ・添付ファイルの拡張子が「.tif」、「.tiff」、「.pdf」、「.jpeg」、「.jpg」、「.jpe」、「.jif」、「.xps*」、「.xdw」、「.xbd」以外は、正しく印刷されないことがあります。
* :「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- ・添付ファイルの拡張子が「.txt」の場合は、Content-Type に「text/plain」が指定され、charset に「us-ascii」または「iso-2022-jp」が指定されているときだけ、印刷されます。
- ・添付ファイルの拡張子は、大文字 / 小文字の区別はされません。
- ・最大 31 文書まで添付できます。
なお、本機で印刷できない形式の文書は、添付文書数にカウントされません。
- ・本機がサポートする Web メールは次のとおりです。
 - ・ Orangesoft xgate
 - ・ beat モバイルメール
 - ・ Yahoo Mail
 - ・ Google Gmail

参照

- ・本機がサポートする Web メールであっても、転送方法によっては正しく印刷されないことがあります。詳しくは、「8.8 ネットワーク関連のトラブル」>「メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル」(P. 325)を参照してください。

2. 転送先に本機のメールアドレスを入力します。

- ・例：print@device1.example.com

3. メールを転送します。

ジョブ属性を指定してメール受信プリントをする

コンピューターや携帯電話などから、本機にメールを送信または転送するときにジョブ属性を指定すると、用紙サイズなどを設定してメール受信プリントできます。

設定できるジョブ属性、項目、およびその指定方法は、次のとおりです。

ジョブ属性	指定できる項目	指定方法
両面 / 片面	片面	simp
	両面（長辺とじ）	dup
	両面（短辺とじ）	tumble
N-up ^{*1 *2} （まとめて一枚）	1 アップ ^{*3}	1up
	2 アップ	2up
	4 アップ	4up
用紙サイズ	A3	a3
	B4	b4
	A4	a4
	B5	b5
	レター（8.5 × 11"）	letter
	リーガル	legal

^{*1} 添付文書の拡張子が「.pdf」の文書は、操作パネルの「PDF」>「プリント処理モード」を「PS」に設定している場合、N-up 指定は無効となります。1 アップ以外を指定しても 1 アップで印刷されます。

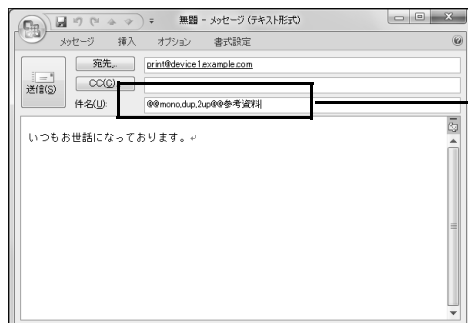
^{*2} メールヘッダー、メール本文、および添付文書の拡張子が「.txt」の場合、指定は無効となります。

^{*3} 「1 アップ」を指定した場合は、出力サイズに印刷内容が収まるように原稿を自動的に拡大縮小して印刷されます。

補足

- ・本文と添付文書のジョブ属性は、個別に設定できません。転送メールの場合、本文とその添付文書、転送メールの本文とその添付文書のジョブ属性を個別に設定できません。添付文書は本文の設定に従って印刷されます。
- ・原稿サイズと用紙サイズが異なる場合、添付ファイルの種類により、拡大縮小されるものとされないものがあります。

1. お使いのメールソフトウェアで本文を作成し、添付文書がある場合は添付します。
 2. メールの件名の前に「@@ ジョブ属性 @@」と入力します。
ジョブ属性を複数指定する場合は、カンマ (,) で区切り、「@@ ジョブ属性 (, ジョブ属性) (, ジョブ属性) @@」と入力します。
- 例) 件名が「参考資料」で、モノクロ、両面（長辺とじ）、2up で印刷する場合



@@mono,dup,2up@@ 参考資料

補足

- ・ジョブ属性を指定するときに、大文字、小文字の区別はありません。
- ・ジョブ属性、カンマ (,)、およびアットマーク (@) は、半角を使用してください。

参照

- ・メール本文の印刷は、CentreWare Internet Services の「受信メールシートのプリント」でも設定できます。設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

3. メールの件名を確認し、送信します。

補足

- ・ジョブ属性を件名のあとに入力したり、本機がサポートしていないジョブ属性を指定したり、ジョブ属性を指定しないでメールを送信した場合、メール本文と添付文書は、次の設定で印刷されます。定義されたジョブ属性以外の文字列が指定された場合も、次の設定で印刷されます。
- ・TIFF、または JPEG 形式の添付文書：CentreWare Internet Services の「エミュレーション設定」にある、「[TIFF/JPEG]」の「使用するメモリー設定」で設定されている論理プリンターの設定値。
- ・PDF 形式の添付文書：操作パネルの「[PDF]」の設定値。ただし、操作パネルの「[PDF]」の「プリント処理モード」を「[PS]」に設定していて、CentreWare Internet Services の「エミュレーション設定」にある「[PostScript]」のデフォルト論理プリンターを設定している場合は、論理プリンターの設定値が操作パネルの「[PDF]」の設定値に優先して適用されます。
- ・XML Paper Specification (XPS) ファイルの添付文書：XML Paper Specification (XPS) に含まれる PrintTicket の設定（操作パネルの「[XPS]」の設定によって動作は異なります）
- ・XDW、または XBD 形式の添付文書：操作パネルの「[XDW (DocuWorks)]」で設定されている設定値。

メールを手動で受信して印刷する

本機では、メールを受信すると自動的に印刷されますが、操作パネルから手動でメールを受信し、印刷することもできます。（POP メール受信時のみ）

補足

- ・この機能はオプションのハードディスクが装着され、CentreWare Internet Services の「プロパティ」>「ネットワーク設定」>「ポート起動」>「メール受信」が「起動」に、「プロパティ」>「メール設定」>「受信プロトコル」が「POP3」に設定されている場合に使用できます。

1. 操作パネルの「プリントメニュー」ボタンを押します。
2. 「メール受信プリント」が表示されるまで、「<▼>」ボタンを押します。

プリントメニュー
待機状態



プリントメニュー
メール受信プリント



3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
受信を開始させる画面が表示されます。

メール受信プリント
[OK] で受信開始



4. 〈OK〉ボタンを押します。
メールの受信が始まります。受信後、文書
が印刷されます。

メール受信プリントを
受け付けました



印刷が終わると、自動的にプリント画面に
戻ります。

プリントできます
トナー残量 

メールによる文書送信時のご注意

セキュリティに関するご注意

メールは、世界中のコンピューターとつながったインターネットを伝送経路として使用します。そのため、第三者に盗み見られたり、改ざんされたりしないよう、セキュリティに関するご注意が必要です。

したがって、重要情報はセキュリティが確保されているほかの方法を利用することをお勧めします。また、不要メールの受信を抑止するため、本機のメールアドレスを、不用意に第三者に開示しないことをお勧めします。

ドメインによる受信制限

本機では、特定のドメインからだけのメールを受信するように設定できます。

ドメインによる受信制限の設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

インターネットプロバイダーと本機を接続してメール機能を使用するときのご注意

- ・インターネットプロバイダーとの契約が定額制、常時接続でない場合、本機がメールサーバーに受信データを定期的に取りに行くため、その都度通信料金がかかります。
- ・IP マスカレードされた環境で接続してください。本機にグローバル IP アドレスを割り当てて接続した場合の動作は保証しません。
- ・POP 受信を行う場合には、必ず本機専用のメールアカウントを申請してください。ほかのユーザーと共通のメールアカウントを使用すると、トラブルの原因になります。
- ・インターネットの回線速度が遅い場合、画像データなど容量の多いデータの受信に時間がかかることがあります。
- ・SMTP 受信を許可しているプロバイダーもあります。その場合、プロバイダー側と綿密な調整が必要です。
- ・プライベートセグメントに MTA (Mail Transfer Agent) を立てて運用している環境への設置は、運用形態に合わせてください。

5.4 Google クラウドプリントを使って印刷する

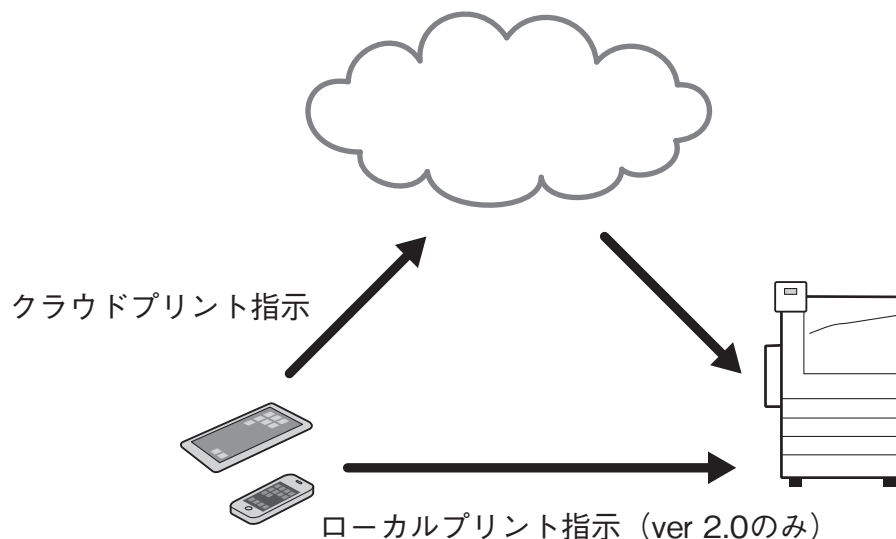
Google クラウドプリントを使用する方法について説明します。

Google クラウドプリントについて

Google クラウドプリントは、Google Inc. が提供するクラウド印刷サービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、本機を Google クラウドプリントに登録することで、Android™ 端末や iOS 搭載端末等から Gmail™ ウェブメールサービスや Google ドキュメント™ プログラムの文書などをプリントできます。

補足

- ・本機は Google クラウドプリント ver 1.1 および 2.0 に対応しています。Google クラウドプリント ver 2.0 では、プリント指示をクラウドを経由させずに本機に送ることができます。
- ・本書に記載されている Google クラウドプリントについての情報は、2015 年 8 月現在のものです。Google クラウドプリントの最新の情報については、Google クラウドプリントのヘルプを参照してください。
- ・Google クラウドプリントを利用してお使いの機械からプリントできるクライアント環境（対応 OS、対応ブラウザ、対応アプリケーション）については、Google クラウドプリントのヘルプを参照してください。



使用環境の設定

Google クラウドプリントを利用するための設定について説明します。

本体側の設定

Google クラウドプリントを使用するには、本機が IPv4 のネットワークに接続され、インターネットに接続できる必要があります。あらかじめ、本機に次の設定がされていることを確認してください。

設定項目	設定内容	参照
プロトコル設定	- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で本機を使用するための設定 - DNS の設定 *	「1.3 ネットワーク環境を設定する」(P. 40)
プロキシサーバー設定	サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、インターネットに接続するための設定	CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

* お使いの環境に合わせて、必要な場合はこの項目を設定してください。

■ プロトコル設定

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP (IPv4) 環境で本機を使用するための項目を設定します。

参照

- ・ネットワーク環境の設定方法については、「1.3 ネットワーク環境を設定する」(P. 40) を参照してください。

補足

- ・ Google クラウドプリントは、IPv6 環境では動作しません。

3. DNS サーバーを手動で設定する必要がある場合は、[機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [TCP/IP 設定] で、DNS サーバーの設定をします。

参照

- ・ DNS サーバーの設定方法については、「[DNS サーバー設定]」(P.199) を参照してください。

■ プロキシサーバー設定

補足

- ・ お使いの環境に合わせて、必要な場合はこの項目を設定してください。

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- ・ CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ> [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [プロキシサーバー設定] で、サーバー名、ポート番号、ログイン名、パスワードなど、インターネットに接続するための項目を設定します。



補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

参照

- ・プロキシサーバーの設定方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

Google クラウドプリントへの複合機の登録

CentreWare Internet Services を使用して [Google クラウドプリント] ポートを起動し、Google クラウドプリントにお使いの機械を登録する手順を説明します。

Google クラウドプリントにお使いの機械を登録するには、あらかじめ本機能を利用するユーザーの Google アカウント（メールアドレス）を作成しておく必要があります。

Google クラウドプリント ver 1.1 と ver 2.0 では、登録の手順が異なります。

手順	Google クラウドプリント ver 1.1	Google クラウドプリント ver 2.0
1	「用紙の準備」(P.148)	ver 2.0 では用紙の準備は不要です。
2	「[Google クラウドプリント] ポートの起動」(P.149)	「[Google クラウドプリント] ポートの起動」(P.149)
3	「Google クラウドプリント ver 1.1 への本機の登録」(P.150)	「Google クラウドプリント ver 2.0 への本機の登録」(P.151)

参照

- ・アカウントの作成方法について詳しくは、Google Inc. のウェブサイトを参照してください。

■ 用紙の準備

登録の手順では、お使いの機械から登録手順書が出力されます。登録作業を始める前に、次の設定をしてください。

補足

- ・登録完了後、変更前の設定に戻してください。

1. [仕様設定] > [プリント設定] > [用紙の置き換え] で、[近いサイズを選択] を設定します。

■ [Google クラウドプリント] ポートの起動

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- ・ CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [ポート起動] で、[Google クラウドプリント] の [起動] にチェックを付けます。
Google クラウドプリント ver 2.0 に本機を登録する場合は、[Bonjour] の [起動] にもチェックを付けます。



補足

- ・ 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

4. [新しい設定を適用] をクリックします。

5. Web ブラウザーに、本機の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動]をクリックします。



補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

6. 確認画面で [OK] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

■ Google クラウドプリント ver 1.1 への本機の登録

1. 本機が再起動したら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
2. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] で [Google クラウドプリントに登録] をクリックします。



補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

3. メッセージが「未登録」から「登録中」に変わり、本機から登録手順書がプリントされることを確認します。
この登録手順書は、次の手順以降が必要です。

補足

- ・「登録中」のメッセージは手順 6 で登録処理が完了すると、「登録済み」に変わります。
- ・「登録中」が表示されてから、14 分以内に手順 6 までの操作を行ってください。

4. Web ブラウザーのアドレス入力欄に登録手順書に記載されている URL を入力し、〈Enter〉キーを押します。

補足

- ・登録手順書に記載されている QR コードからカメラ機能付きスマートフォンを使って、登録ページにアクセスすることもできます。

5. 本機能を利用するユーザーの Google アカウント名とパスワードを入力してログインします。

補足

- ・ここでログインするアカウントは、登録時に本機のオーナーとして設定されます。

6. 「プリンタ登録を完了」をクリックします。
これで Google クラウドプリントへの登録は完了です。
7. 「Manage your printers」をクリックします。
8. 本機がリストに表示されていることを確認します。
登録が完了すると、オーナーのアカウントでログインすることで、本機からプリントできます。

補足

- ・登録に失敗した場合は、手順 2 に戻って「Google クラウドプリントに登録」をクリックし、登録手順書をプリントし直してください。
- ・オーナー以外のアカウントで本機能を利用したい場合は、共有の設定をしてください。共有の設定については、「複数ユーザーによる本機の共有について」(P.152) を参照してください。

■ Google クラウドプリント ver 2.0 への本機の登録

補足

- ・本機を Google クラウドプリント ver 2.0 に登録するには、お使いのコンピューターに Google ChromeTM がインストールされている必要があります。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、Google Chrome を起動します。

補足

- ・お使いの Google アカウントにログインしていない場合は、ログインしてください。

2. 画面の右上にある [] をクリックします。
3. ドロップダウンメニューの「設定」をクリックします。
4. 「詳細設定を表示 ...」をクリックします。
5. 「Google クラウドプリント」の下にある「管理」をクリックします。
プリンター管理画面が表示され、「新しいデバイス」の下に登録できるプリンターの一覧が表示されます。
6. 登録できるプリンターの一覧に本機が表示されていることを確認し、右の「登録」をクリックします。
7. 確認画面で「登録」をクリックします。
8. 機械管理者として、本機の認証モードに入ります。

9. 本機のメニュー画面で、[仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [プリンター設定] > [Google クラウドプリント登録] を選択します。
10. 確認画面で [はい (登録する)] を押します。
しばらくすると、Google Chrome のプリンター管理画面の [マイデバイス] に、本機が追加され、Google クラウドプリント ver 2.0 への登録が完了します。
登録が完了すると、オーナーのアカウントでログインすることで、本機からプリントできます。

本機の登録状況の確認

本機が Google クラウドプリントに登録されているかどうかは、CentreWare Internet Services で確認できます。

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に本機の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- ・ CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] をクリックします。
登録状況によって、[登録済み] または [未登録] と表示されます。



補足

- ・ 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- ・ ネットワーク環境や混雑具合によっては、Google 側の登録処理が完了するまで時間がかかることがあります。
- ・ [プロトコル設定] で [Google クラウドプリント] が表示されない場合は、Google クラウドプリントポートが起動していない可能性があります。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

複数ユーザーによる本機の共有について

本機を共有したいユーザーの Google アカウントを登録しておくことで、オーナー以外のユーザーも Google クラウドプリントを利用して、本機からプリントできるようになります。

補足

- ・登録の手順について詳しくは、Google クラウドプリントのヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを開いて、オーナーのアカウントで Google クラウドプリントにログインします。
2. Google クラウドプリントの管理画面で、[プリンタ] をクリックします。
3. 本機を選択して、[共有] をクリックします。
4. 表示された画面で、共有するユーザーの Google アカウント（メールアドレス）を入力し、[共有] をクリックします。
[アクセス権のあるユーザー] リストに追加されます。

補足

- ・リストに追加されたユーザーが Google クラウドプリントにログインすると、オーナーにより共有の設定が行われたことを示すメッセージが表示されます。共有に同意してください。

Google クラウドプリントへの本機の登録の解除

Google クラウドプリントへの登録を解除する手順を説明します。

補足

- ・Google クラウドプリントのプリンター管理画面からお使いの機械の登録を解除しても、機械側には設定が反映されません。必ず CentreWare Internet Services から、次の手順で登録の解除を行ってください。

1. ネットワークに接続されたコンピュータで、Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- ・CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
3. [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] で、[登録を解除] をクリックします。



補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
4. メッセージが「登録済み」から「未登録」に変わることを確認します。



補足

- ・「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
- ・ ネットワーク環境や混雑具合によっては、Google 側の解除処理が完了するまで時間がかかることがあります。

プリントする

Gmail ウェブメールサービスのメールの本文および添付文書（PDF/JPEG）や Google ドキュメントプログラムの文書などをプリントできます。

ここでは、Android 端末から Gmail ウェブメールサービスの本文をプリントする例で、手順を説明します。

1. プリントするメールを表示します。
2. メール本文をプリントするときは、右上のメニューから「印刷」を選択します。

補足

- ・メールの添付文書がプリントできる場合は、添付文書のファイル名のあとに「印刷」と表示されます。添付文書をプリントするときは、ファイル名のあとの「印刷」をタップしてください。
- ・Google ドキュメントのスプレッドシートをプリントするときは、ファイル名のあとの「印刷」をタップしてください。

3. プリンターの選択画面が表示されるので、お使いの機械を選択します。

補足

- ・Google クラウドプリント ver 2.0 をお使いの場合、ローカルプリントを行う際はローカルの宛先から機械を選択してください。

4. プリント設定項目を指定し、右上の「印刷」をタップします。

補足

- ・プリント設定で表示される項目は、プリントする機械の仕様に関係なく常に固定されています。このため、お使いの機械によっては、指示どおりのプリント結果にならない場合があります。

Google クラウドプリントのトラブル対処

本機に何らかのトラブルが発生した場合の処置について説明します。

なお、該当する処置をしても正常に作動しないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

登録時のトラブル

症 状	原 因	処 置
CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Google クラウドプリント] で [Google クラウドプリントに登録] を押しても、メッセージ表示が [登録済み] に変わらない。	お使いの機械がインターネットに接続できませんでした。	ネットワーク設定を確認してください。 参照 ・ 詳しくは、「本体側の設定」(P.146) を参照してください。
	ネットワーク環境でプロキシサーバーを使用しています。	[仕様設定] > [機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [EP プロキシサーバー設定] で、プロキシサーバーの設定をしてください。 参照 ・ 詳しくは、「本体側の設定」(P.146) を参照してください。
	ネットワーク環境でプロキシサーバーを使用し、プロキシ認証を行っています。	本機能は、プロキシ認証には対応していません。プロキシ認証を使用しない設定に変更してください。
	DNS が正しく設定されていません。	[仕様設定] > [機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [DNS サーバー設定] で、DNS の設定が正しいかどうかを確認してください。
	お使いの機械の証明書検証が有効に設定されています。	お使いの機械の証明書検証を無効にするか、正しいルート証明書をインポートしてください。
	ネットワーク通信が混み合っていたため、タイムアウトが発生しました。	しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。
	ネットワーク環境にファイアウォールが設置されています。	"*.google.com" との通信を許可する必要があります。ファイアウォール設定を確認してください。
Google クラウドプリントの登録手順書が出力されない。	お使いの機械でエラーが発生しています。	CentreWare Internet Services の [エラー履歴] で、エラーコードを確認してください。 1 コンピューターで、Web ブラウザーを起動します。 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄に、お使いの機械の IP アドレス、またはインターネットアドレスを入力し、<Enter> キーを押します。 3 [ジョブ] タブの [エラー履歴] から、[日付 / 時刻] と [エラーコード] を確認します。 4 「エラーコード」(P.297) を参照し、原因と処置方法を確認してください。
	Google クラウドプリントの登録手順書が出力されない。 [登録を解除] ボタンを押した直後に、[Google クラウドプリントに登録] ボタンを押しました。	認証プリントには対応していません。お使いの機械の設定を変更してください。 Google 側で、お使いの機械の解除処理が完了していない可能性があります。Google クラウドプリントのプリンター管理画面を表示し、お使いの機械がリストに表示されていないことを確認した上で、もう一度登録作業を行ってください。

症 状	原 因	処 置
Googleクラウドプリントの登録手順書が2枚出力された。	登録操作中に本機の電源を切りました。	印刷処理中に本機の電源を切ると、リカバリー機能により、登録手順書が2枚出力されることがあります。

プリント時のトラブル

症 状	原 因	処 置
論理プリンターで設定したとおりに出力されない。	Google クラウドプリント ver1.1 の仕様により、論理プリンターで設定した内容は無効となり反映されません。Google クラウドプリントのプリント設定で出力されます。	Google クラウドプリントで印刷項目を設定してください。
文字やイメージが崩れて出力される。	Google クラウドプリントの仕様により、プリント指示文書と出力結果が同一にならない可能性があります。	プリンターの選択画面で、[Google ドキュメントに保存] を選び、保存された PDF 文書の出力結果を確認してください。

Google クラウドプリントの注意 / 制限

■ 機械使用上の注意 / 制限

- ・本機能は、認証プリントに対応していません。
- ・本機能を利用する場合、認証が必要な HTTP/HTTPS プロキシサーバーは使用できません。
- ・本機能を利用する環境にファイアウォールが設置されている場合、".google.com" との通信を許可しなければなりません。

■ プリント機能使用上の注意 / 制限

- ・Google クラウドプリント ver 2.0 の仕様により、プリントする文書の、両面印刷、部数の設定などは無効になります。詳細な設定をして文書をプリントする場合は、Google クラウドプリント ver1.1 を利用して出力するか、弊社提供のプリンタードライバーやプリントユーティリティなどの別な手段を利用して出力してください。
- ・Google クラウドプリント ver 2.0 の仕様により、文字やイメージが崩れた状態で出力される場合があります。
- ・プリント時に設定できる項目は、お使いのアプリケーションによって異なります。表示される設定項目は機械の仕様によらないため、お使いの機械によっては、設定が有効にならない場合があります。
- ・本機能では、日本語および英語以外の言語を含んだ文書のプリントを保証していません。
- ・本機能を利用する場合、プリント指示の順序と文書の出力順序が前後する場合があります。また、長時間機械を起動していない状態で、ユーザーが多数のプリント指示を行った場合は、出力順序が著しく異なる場合があります。
- ・本機能を利用して出力された文書のユーザー名は、ジョブ履歴レポートで「Google クラウドプリント」と記載されます。
- ・本機能を利用して出力された文書名は、ジョブ履歴レポートで「Google Cloud Print Job」と記載されます。
- ・1 台のコンピューター上で、Google クラウドプリント ver 1.1 と ver 2.0 の両方にプリンターを登録することはできません。

6 用紙について

6.1 用紙について

適正でない用紙を使用した場合、紙づまりや印字品質の低下、故障、および装置破損の原因になることがあります。本機に適した用紙を使用してください。

⚠ 警告

- 電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

使用できる用紙

用紙種類

各トレイにセットできる用紙サイズ、用紙種類および最大収容枚数は、次のとおりです。

補足

- メートル坪量とは、1m²の用紙1枚の質量をいいます。

用紙トレイ	用紙サイズ	用紙種類（メートル坪量）	最大収容枚数 ^{*1}
手差しトレイ	A3、A4 [□] 、A4、A5 [□] 、A5、B4、B5 [□] 、B5、B6 [□] 、郵便はがき [□] 、往復はがき、封筒洋長形3号 [□] 、ユーザー定義用紙（幅89～297mm、長さ98～432mm）	普通紙（60～105g/m ² ）、再生紙（60～105g/m ² ）、うら紙 ^{*2} （60～105g/m ² ）、厚紙1（106～169g/m ² ）、厚紙2（170～216g/m ² ）、OHPフィルム、ラベル紙（106～169g/m ² ）、穴あき紙、封筒 ^{*3}	10mm まで 100 枚
トレイ 1 （標準）	A3、A4 [□] 、A4、A5、B4、B5 [□] 、B5、8.5x11”、8.5x11” [□] 、8.5x13、8.5x14、11x17、十六開 [□] 、八開、ユーザー定義用紙（幅140～297mm、長さ182～432mm）	普通紙（60～105g/m ² ）、再生紙（60～105g/m ² ）、うら紙 ^{*2} （60～105g/m ² ）、OHPフィルム、穴あき紙	560 枚
トレイ 2 （標準）	A3、A4 [□] 、A4、A5、B4、B5 [□] 、B5、8.5x11”、8.5x11” [□] 、8.5x13、8.5x14、11x17、十六開 [□] 、八開、ユーザー定義用紙（幅140～297mm、長さ182～432mm）	普通紙（60～105g/m ² ）、再生紙（60～105g/m ² ）、うら紙（60～105g/m ² ）、厚紙1（106～169g/m ² ）、厚紙2（170～216g/m ² ）、OHPフィルム、ラベル紙（106～169g/m ² ）、穴あき紙	560 枚
トレイ 3～4 （2トレイモジュール） （オプション）	A3、A4 [□] 、A4、A5、B4、B5 [□] 、B5、8.5x11”、8.5x11” [□] 、8.5x13、8.5x14、11x17、十六開 [□] 、八開、ユーザー定義用紙（幅140～297mm、長さ182～432mm）	普通紙（60～105g/m ² ）、再生紙（60～105g/m ² ）、うら紙 ^{*2} （60～105g/m ² ）、厚紙1（106～169g/m ² ）、厚紙2（170～216g/m ² ）、OHPフィルム、ラベル紙（106～169g/m ² ）、穴あき紙	各トレイ 560 枚

用紙トレイ	用紙サイズ	用紙種類（メートル坪量）	最大収容枚数 ^{*1}
トレイ 3～4 （タンデムトレイモジュール） （オプション）	A4 [□] 、B5 [□] 、8.5x11" [□]	普通紙（60～105g/m ² ）、 再生紙（60～105g/m ² ）、 うら紙 ^{*2} （60～105g/m ² ）、 厚紙 1（106～169g/m ² ）、 厚紙 2（170～216g/m ² ）、 OHP フィルム、 ラベル紙（106～169g/m ² ）、 穴あき紙	トレイ 3： 870 枚 トレイ 4： 1,130 枚
トレイ 6 （大容量トレイモジュール） （オプション）	A4 [□] 、B5 [□] 、8.5x11" [□]	普通紙（60～105g/m ² ）、 再生紙（60～105g/m ² ）、 うら紙 ^{*2} （60～105g/m ² ）、 厚紙 1（106～169g/m ² ）、 厚紙 2（170～216g/m ² ）、 OHP フィルム、 ラベル紙（106～169g/m ² ）、 うす紙（56～59g/m ² ）、 穴あき紙	2,300 枚

^{*1} 64g/m² 用紙の場合

^{*2} 裏紙の使用は自機からの出力紙以外は禁止。

^{*3} 封筒を印刷するときは、用紙の種類を「厚紙 2（170～216g/m²）」を選択してください。

注記

- ・用紙は、そのサイズや種類に応じて、必ず適切なトレイにセットしてください。また、プリンタードライバーや操作パネルでは、正しい用紙サイズ、用紙種類、用紙トレイを選択して印刷してください。用紙のセットや、設定方法が適切でないと、紙づまりの原因になります。
- ・水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくはお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。
- ・NPDL プリンタードライバーから印刷する場合は、A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11"、はがき、往復はがき以外の用紙サイズは定形外サイズとして扱われます。

■ 両面印刷ができる用紙

両面印刷ができる用紙のサイズ、用紙種類は、次のとおりです。

サイズ	用紙種類
A3、A4 [□] 、A4、A5、B4、B5、B5 [□] 、8.5x11"、 8.5x11" [□] 、8.5x13、8.5x14、11x17、十六開 [□] 、 八開、ユーザー定義用紙（幅 128～297mm、 長さ 182～432mm）	普通紙（60～105g/m ² ）、 再生紙（60～105g/m ² ）、 穴あき紙（60～105g/m ² ）

使用できる用紙の規格

一般に使用されている用紙（一般紙と呼びます）に印刷をする場合は、規格に合った用紙を使用してください。

用紙トレイ	規格（メートル坪量）
手差しトレイ	60 ～ 216g/m ²
トレイ 1（標準）	60 ～ 105g/m ²
トレイ 2（標準）	60 ～ 216g/m ²
トレイ 3 ～ 4（2トレイモジュール）（オプション）	60 ～ 216g/m ²
トレイ 3 ～ 4（タンデムトレイモジュール）（オプション）	60 ～ 216g/m ²
トレイ 6（大容量トレイモジュール）（オプション）	56 ～ 216g/m ²

使用できる用紙の種類

推奨、または使用できることを確認している用紙を紹介します。

補足

・記載のない用紙については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

■ 標準紙

本機の標準紙を紹介します。

商品名	メートル坪量	紙質	用紙種類の設定	用紙の特長と使用上の注意
P 紙	64 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-

■ 準標準紙

本機の準標準紙を紹介します。

商品名	メートル坪量	紙質	用紙種類の設定	用紙の特長と使用上の注意
複写印刷用紙 <110>	127 g/m ²	上質紙	厚紙 1	-
しらおい	104 g/m ²	-	厚紙 2	-
C2（シー・ツー）紙	70 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-
C2r（シー・ツー・アール）紙	70 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
G70	67 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
SG	67 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-
PR ホワイト	66 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-
FR 紙	64 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
スタンダードタイプ II	64 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-

■ 使用可能用紙

本機の使用可能紙を紹介します。

商品名	メートル坪量	紙質	用紙種類の設定	用紙の特長と使用上の注意
リサイクルコピーペーパー R100	66 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
PPC 用紙 N100	69 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
TANOSEE α エコペーパー タイプ RN	69 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
やしま R	64 g/m ²	再生紙	普通紙 C	-
PPC PAPER High White	68 g/m ²	上質紙	普通紙 C	-
mondi IQ selection smooth 最厚口	160 g/m ²	上質紙	厚紙 1	-
OK プリンス上質	157 g/m ²	上質紙	厚紙 1	-

■ 使用制限紙（特殊用紙）

次の用紙を使用する場合は、制限があります。

商品名	メートル坪量	紙質	用紙種類の設定	制 限
ラベル用紙 V880	-	ラベル紙	ラベル紙	紙詰まりが起きたり、用紙が複数枚同時に送られたりする場合は、用紙をよくさばいてからセットしてください。用紙をさばいても用紙送りのトラブルが改善されない場合は、用紙を1枚ずつセットしてください。
ラベル用紙（PPC ラベル A4、20 面）、A-one	125 g/m ²	ラベル紙	ラベル紙	
ラベル用紙（PPC ラベル A4、20 面）、コクヨ	125 g/m ²	ラベル紙	ラベル紙	
はがき用紙 A4 V423	190 g/m ²	はがき	厚紙 2	-
はがき用紙 A4 V424	190 g/m ²	はがき	厚紙 2	-
郵便年賀はがき 4 連（再生紙）	190 g/m ²	はがき	厚紙 2	-
郵便年賀はがき（再生紙）	190 g/m ²	はがき	厚紙 2	-
PPC/ レーザー用 OHP フィルム A4 クリア GAAA5224	-	OHP	OHP	-
Ncolor 封筒 洋長形 3 号 GAAA4244	-	封筒	厚紙 2	-
山桜 クラフト封筒 洋長形 3 号	70 g/m ²	封筒	厚紙 2	-
封筒 C4	-	封筒	厚紙 2	-
封筒 C5	-	封筒	厚紙 2	-

特殊用紙について

プレ印刷用紙、ラベル紙、メールシール用紙、圧着はがき用紙、ミシン目用紙、カード用紙などの特殊紙をご使用になる場合は、本プリンターに対する影響、印刷品質などの、十分な事前評価が必要となります。

事前に問題がないことを確認の上、ご使用ください。

■プレ印刷用紙

プレ印刷用紙は、PPC 用紙に比べ印刷時の転写不良や定着時のカールが大きくなる傾向にあるため角折れや紙づまりなどの障害率が高くなる場合があります。

本プリンターの印刷位置誤差が許容される範囲および使用用紙を事前にご確認の上、十分使用可能という範囲においてプレ印刷用紙を使用する場合は、以下の注意事項を守ってご使用ください。

- ・カット紙プリンターは、連続用紙ページプリンターに比べ、印刷時の用紙走行性が不安定であり、斜行や左右方向に位置がずれる場合があります。プレ印刷した枠内にプリンター印刷を行うと、印刷位置ずれが目立つことがあるので、本プリンターの印刷精度を考慮し、枠の寸法を大きくしてください。(余白の目安：3.0 mm)
 - ・プレ印刷を行う場合は、用紙は推奨紙に準ずる上質な PPC 用紙を使用してください。(プレ印刷をする際の表面に薄く塗る水分や油分による影響や、インク自身の収縮により、用紙は変形しやすくなります。)
 - ・プレ印刷は、片面のみで行ってください。
 - ・用紙は保管環境を守り、プレ印刷時点より 6 か月を最大保管期間としてください。
- 印字精度を要求されるプレ印刷用紙は、あらかじめ斜行および左右方向のずれなどの印字位置誤差が許容される範囲を考慮してプレ印刷の設計をしてください。帳票の罫線は、データ文字から 3.0 mm 以上離して設計してください。
- ・プレ印刷用には適切なインクを使用し、インクは十分に乾燥させてください。乾燥が不十分な場合、定着器、ドラム、ローラなどに付着し紙づまりや故障の原因となります。
 - ・乾燥パウダーの使用は、プリンターの故障の原因となることがあるので避けてください。

■ラベル紙

- ・のりがカット面からはみ出しているラベル紙は使用しないでください。紙づまりやプリンター故障の原因となります。
- ・台紙全体がラベル紙で覆われている用紙を使用してください。
- ・カット部での用紙剛性が小さくなるため、ラベルのサイズは極力大きくし、A4 20 面取りを最小サイズとします。
- ・ラベルのめくれがないことを確認してください。
- ・カールの少ない用紙を使用してください。カールが大きい場合は、しばらく放置してさばきを入れてカールが小さくなってから使用してください。

■メールシール用紙（封筒タイプ）

- ・トレイへの用紙のセットは、用紙端の間近に糊がない方を先端にしてください。ピックアップの原因となります。
- ・糊の盛り上がり極力少ないことを確認してください。
- ・本用紙は湿度に弱いため、余った用紙は必ずビニール包装をしてください。
- ・長期保存性に劣るため、保管期間、保管条件を用紙メーカーに確認してください。また、先入れ先出しするようにしてください。
- ・積み重ね保管をするとブロッキングが発生する場合があります。積み重ねについては、用紙メーカーに確認してください。

- ・カール、波打ちを起こした用紙は使用しないでください。（カール量・波打ち量が 3 mm 以下のこと）

■圧着はがき用紙

- ・圧着はがき用紙を使用するときは十分にさばいてからトレイにセットしてください。ピックミスの原因となります。
- ・はがきのシーリングで相対する面の印字が極力左右対称とならないレイアウトにしてください。（シーリングの不良防止）。
- ・本用紙は湿度に弱いため、余った用紙は必ずビニール包装をしてください。
- ・長期保存性に劣るため、保管期間、保管条件を用紙メーカーに確認してください。また、先入れ先出しするようにしてください。
- ・積み重ね保管をするとブロッキングが発生する場合があります。積み重ねについては、用紙メーカーに確認してください。
- ・カール、波打ちを起こした用紙は使用しないでください。（カール量・波打ち量が 3 mm 以下のこと）

■ミシン目用紙

- ・ミシン目に凹凸、バリ、かすがあると、紙つまり印刷品質の低下の原因となります。
- ・用紙端部に必ずタイ部（接合部）を加工してください。
- ・マイクロミシン目かタイカット比が 1：2 ～ 1：3（タイ部 0.8mm）のものをご使用ください。用紙破断、紙つまり、中折れの原因となります。

使用できない用紙

次のような用紙は、使用しないでください。印刷品質の低下や紙つまり、および装置故障の原因になります。

- ・
- ・厚すぎる用紙、薄すぎる用紙（坪量が 55g/m² 以下または 217g/m² 以上）
- ・白い枠付きの OHP フィルム
- ・フォトペーパー、コート紙
- ・トレーシングペーパー
- ・電飾フィルム
- ・インクジェット用紙（専用紙、OHP フィルム、はがき）
- ・静電気で密着している用紙
- ・貼り合わせた用紙、のり付けされた用紙
- ・紙の表面が特殊コーティングされた用紙
- ・表面加工したカラー用紙
- ・感熱紙 / 熱転写用紙
- ・感光紙
- ・カーボン紙、またはノンカーボン紙
- ・ざら紙や繊維質の用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・凹凸や止め金、窓、剥離紙付きのノリのある封筒。中身が封入された封筒、またはクッション入りの封筒
- ・タックフィルム
- ・水転写紙
- ・布地転写用紙
- ・ミシン目のある用紙
- ・レザック紙（凹凸処理、エンボス処理を施した用紙）

- ・折り紙やカーボン含有紙などの導電性をもつ用紙
- ・しわや折れ、破れのある用紙
- ・湿っている用紙、ぬれている用紙
- ・波打っている用紙、反っている（カールしている）用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- ・一度プリント後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- ・他のプリンターやコピー機で、一度印刷された用紙
- ・ベタの裏紙（裏面全体に印刷されている用紙）
- ・台紙全体がラベルなどで覆われてないラベル紙、ラベルがはがれかかっているラベル紙、のりがしみ出しているラベル紙
- ・長期間放置した用紙
- ・裏書き防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙

用紙についての注意事項

- ・はがき、往復はがき、OHP フィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- ・OHP フィルム、ラベル紙をプリンターにセットするときは、十分にさばいてから行ってください。
- ・ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。
- ・吸湿した用紙への印刷は避けてください。ご使用になると、しわの原因となるおそれがあります。しわが発生した場合は、新しい用紙と交換してください。
- ・再生紙は、紙粉の発生率が多くなるため、こまめに用紙カセット内部と本体内部の用紙搬送部や各部ローラーを乾いた柔らかい布で拭いてください。

用紙の保管と取り扱い

適切な用紙でも、保管状態が悪い場合には変質し、紙づまりやカール、印字品質の低下、故障の原因になります。用紙を保管するときは、次のことに気をつけてください。

用紙の保管場所

- ・温度：10 ～ 32 °C
- ・相対湿度：15 ～ 85 %（ただし結露なきこと）

保管上の注意

- ・用紙は、プリンターで使用する直前まで、輸送されてきた箱のままの状態でも保管してください。
- ・乾燥や吸湿を防ぐために、用紙は防湿処理された段ボール箱と包装紙で包装してください。
- ・直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ・残った用紙の保管について次の点に注意してください。
 - ・プリンター内に放置せずに、梱包時の包装紙やダンボール箱に入れて保管してください。
 - ・湿気を避ける。
 - ・使用直前まで開封しない。
 - ・保管場所と使用場所との間に環境の差がある場合は、使用場所の環境になじませるような保管をする。
 - ・用紙カセット内への放置は避けてください。

- ・ 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- ・ キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- ・ しわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。
- ・ 使用する用紙は、少なくとも使用の 1 日前にプリンター設置場所に移動し開封せず、防湿梱包のまま、同一環境下に順応させて使用してください。
- ・ 3 か月以上を超える用紙の長期保管は避けてください。
- ・ 一度開封した用紙にカール、波打ち、および吸湿が見られる場合は、使用しないでください。

6.2 用紙をセットする

手差しトレイ、およびトレイ 1 ～ 4、6 に用紙をセットする方法を説明します。

補足

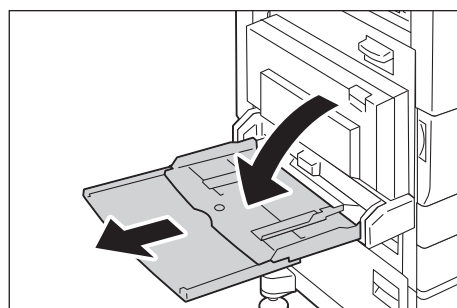
- ・ プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

手差しトレイに用紙をセットする

注記

- ・ 本機では、電源を入れた状態で用紙をセットしてください。
- ・ 種類が異なる用紙を同時にセットしないでください。
- ・ 印刷中は、用紙を取り除いたり、追加したりしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 手差しトレイには、用紙以外のものを置かないでください。また、無理な力を加えて、手差しトレイを押し下げないでください。

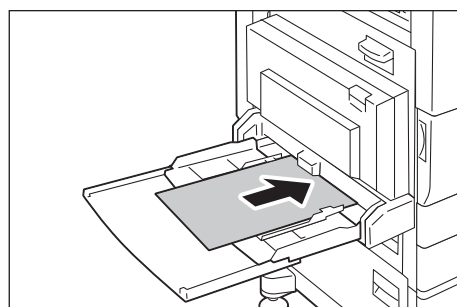
1. 手差しトレイを、手前に引いて開けます。
必要に応じて、延長トレイを引き出します。
延長トレイは、2 段階に引き出せます。



2. 印刷する面を下にして、用紙をセットします。

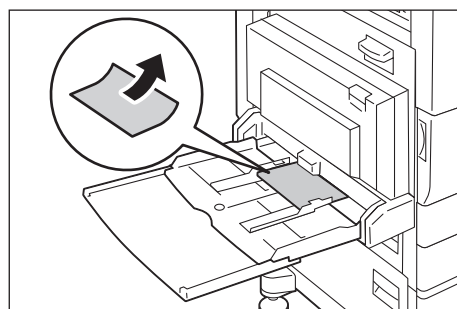
注記

- ・ 種類やサイズが異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。



注記

- ・ はがきなどの厚い紙に印刷する場合で、用紙が機械に送られないときは、用紙の先端を右図のようにカールさせてからセットしてください。ただし、用紙を曲げすぎたり、折れ目をつけてしまうと、紙づまりの原因となります。



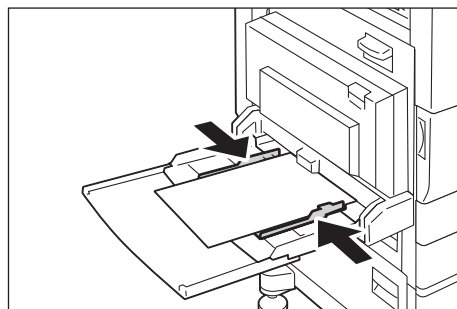
補足

- ・ はがき、封筒、ラベル、長尺サイズ of 用紙をセットする場合は、各用紙によってセット方法が異なります。「手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き」(P. 167)、「3.3 定形外サイズ of 用紙に印刷する」(P. 81) を参照してください。

3. 用紙ガイドを動かして、用紙の端に合わせます。

注記

- ・ 用紙ガイドは、軽く当ててください。用紙に対して、用紙ガイドのセット幅が狭すぎたり、ゆるかたりすると紙づまりの原因になります。
- ・ 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。

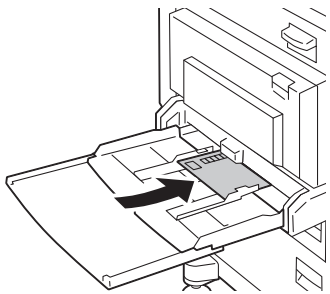
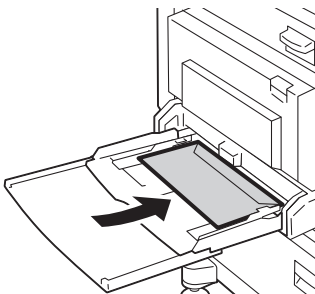


補足

- ・ 手差しトレイの用紙に印刷する場合は、印刷時にプリンタードライバーで、セットした用紙のサイズと種類を設定します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- ・ PDF ファイルを lpr など印刷する場合のように、プリンタードライバーを使用しないで印刷するときは、操作パネルで用紙種類を設定します。詳しくは、「[トレイの用紙種類]」(P.224) を参照してください。

手差しトレイにはがきや封筒をセットする場合の向き

手差しトレイに、はがきや封筒をセットする場合は、セットする用紙の向きに注意してください。はがき、封筒の詳しい印刷方法は、「手差しトレイではがき / 封筒を印刷する」(P. 77) を参照してください。

はがきの場合	封筒の場合
例) 郵便はがき 	例) 封筒洋長形 3 号 
印刷面を下にして、本機と向かい合ったときにはがきの上部が奥側になるようにセットします。	フラップを閉じて、印刷面を下にして、封筒の上部を機械側にセットします。 注記 ・フラップが開いている封筒を使用する場合は、封筒の下部（フラップではない方を機械側にセットします。 ・封筒を使用する場合、紙しわなどが発生することがあります。

注記

- ・きれいに印刷するためには、次のような封筒は使用しないでください。
 - ・カールやよじれがある封筒
 - ・貼り付いている封筒、破損している封筒
 - ・窓、穴、ミシン目、切り抜き、エンボスがある封筒
 - ・ひもや金属製の留め金が付いている封筒や、折り曲げ部分に金属片を使用している封筒
 - ・切手が貼ってある封筒
 - ・フラップを閉じたときに糊がはみ出している封筒
 - ・ふちがギザギザな封筒や、隅が折れている封筒
 - ・表面にしわや凹凸、貼り合わせなどの加工をしてある封筒
 - ・フラップが開いたままの、のり付き封筒

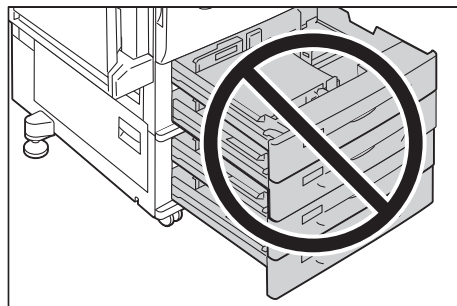
トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする

本機にはトレイ 1 ～ 2 (標準トレイ) が装着されています。オプションの 2 トレイモジュールを装着するとトレイ 3 ～ 4 が利用できます。

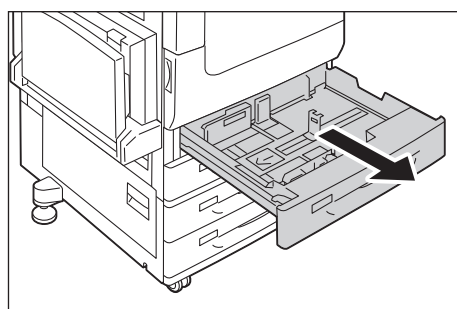
ここでは、トレイ 1 (標準トレイ) に用紙をセットする例で説明します。

注記

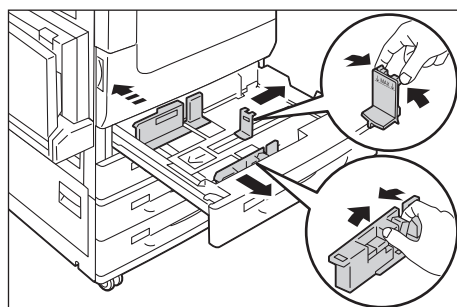
- 複数の用紙トレイを同時に引き出すと、機器全体が傾き、転倒などによりケガの原因となる恐れがあります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出してください。



1. トレイを、止まるまで手前に引き出します。



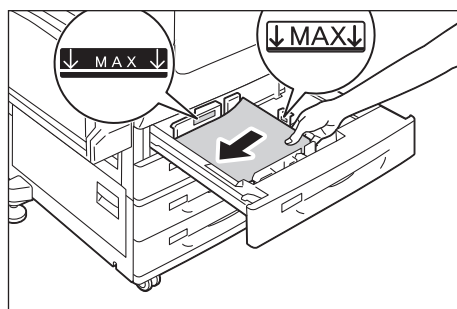
2. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。



3. 印刷する面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

注記

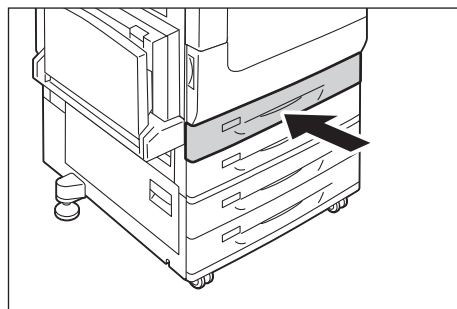
- 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 用紙上限線 (「MAX」の位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。
- トレイの右側空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。



4. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

注記

- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

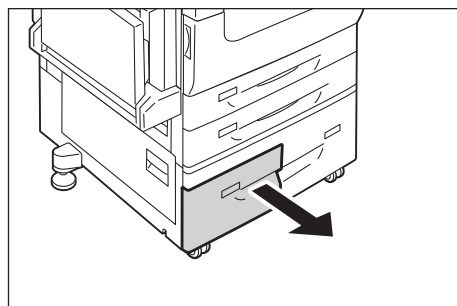


トレイ 3 ～ 4（タンデムトレイモジュール）に用紙をセットする

オプションのタンデムトレイモジュールを装着するとトレイ 3 ～ 4 が利用できます。トレイ 3 ～ 4 に用紙をセットする手順について説明します。

■トレイ 3（タンデムトレイモジュール）に用紙をセットする

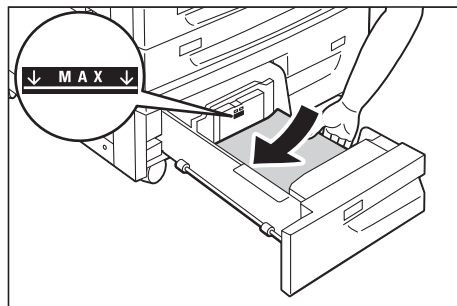
1. トレイを、止まるまで手前に引き出します。



2. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

注記

- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。



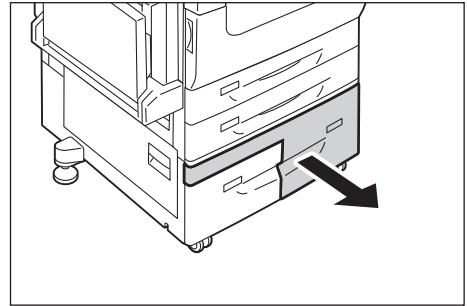
3. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

注記

- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

■ トレイ 4（タンデムトレイモジュール）に用紙をセットする

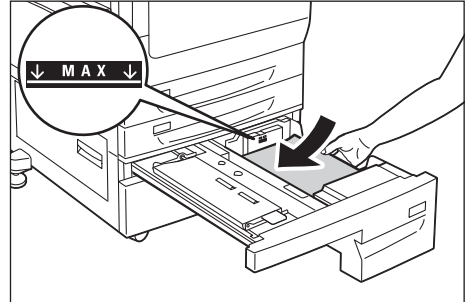
1. トレイを、止まるまで手前に引き出します。



2. 2か所の用紙ガイドレバーをつまみながら、ガイドをそれぞれ用紙サイズに合った位置まで移動します。

注記

- ・ 種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・ 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。



3. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

注記

- ・ トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

トレイ 1～4 の用紙サイズ / 種類の変更について

トレイ 1～4 に定形サイズ of 用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、定形外サイズ of 用紙をセットした場合は、操作パネルでサイズを設定します。

また、用紙の種類も自動的に検知できないため、設定が必要です。用紙の種類の設定がトレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。正しく用紙種類を設定してください。工場出荷時の設定では、各トレイとも普通紙に設定されています。

参照

- ・ 「トレイの用紙サイズを設定する」 (P. 174)
- ・ 「トレイの用紙種類を変更する」 (P. 175)

補足

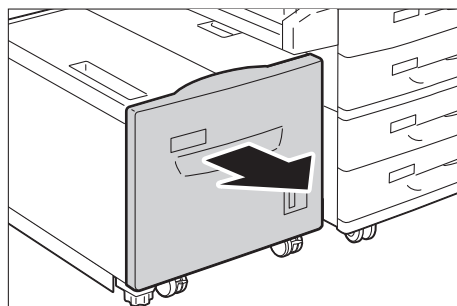
- ・ 本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙の画質処理」の設定が必要なことがあります。画質については、「[用紙の画質処理]」 (P. 230) を、設定方法については「用紙別の画質処理を設定する」 (P. 177) を参照してください。
- ・ 用紙の種類は、印刷時にプリンタードライバーで変更することもできます。手順については、「3.4 さまざまな種類の用紙に印刷する」 (P. 84) を参照してください。

トレイ 6 に用紙をセットする

大容量トレイモジュール（オプション）を装着するとトレイ 6 が利用できます。トレイ 6 に用紙をセットする手順について説明します。

プリント中に用紙がなくなると、操作パネルのディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに従って、用紙を補給してください。用紙を補給すると自動的にプリントが再開されます。

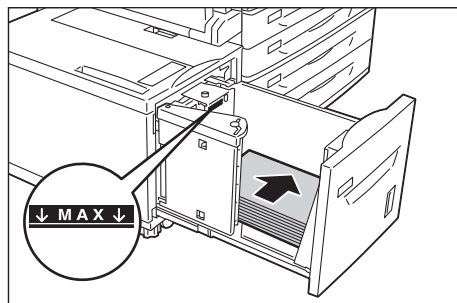
1. トレイ 6 を、止まるまで手前に引き出します。



2. 印刷する面を上にして、用紙の先端を左側にそろえてセットします。

注記

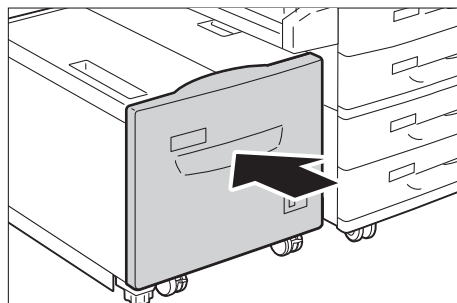
- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。



3. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

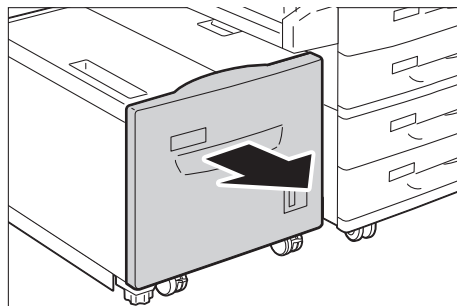
注記

- ・トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

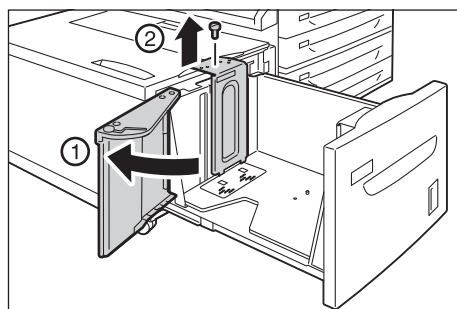


トレイ 6 の用紙サイズを変更する

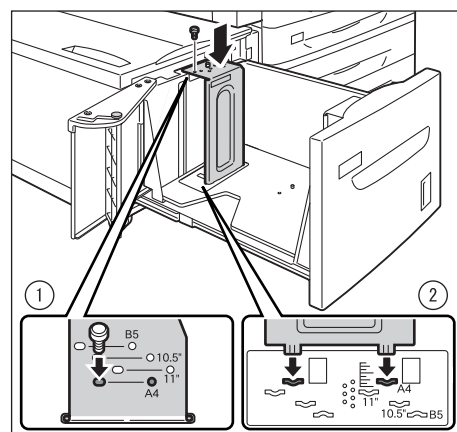
1. トレイ 6 を、止まるまで手前に引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



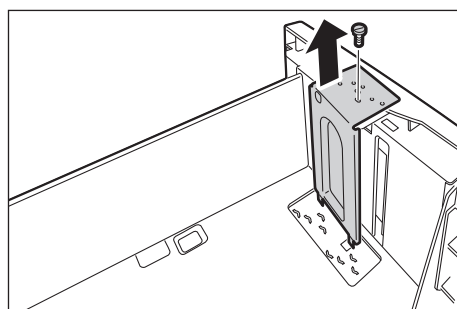
3. エンドガイドを開いて (①)、奥のガイドのネジを外し (②)、ガイドをトレイから外します。



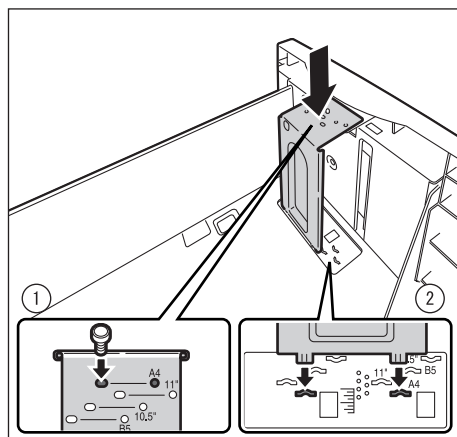
4. ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (①)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (②)。



5. 手前のガイドのネジを外し、ガイドを用紙トレイから外します。



6. ガイドの下部にある突起を、用紙サイズの穴に差し込み (①)、ガイドの上面にある用紙サイズの穴に、トレイの突起を差し込んで、ネジを締めます (②)。



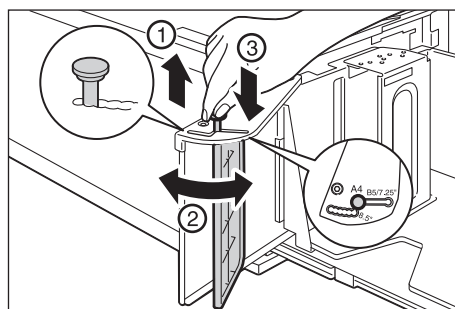
7. 図のようにエンドガイドのレバーを引き上げ (①)、レバーを溝に沿って移動させながら用紙サイズに合わせて (②)、レバーを下ろします (③)。

注記

- ・ガイドは、用紙の幅に正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙づまりの原因になることがあります。

補足

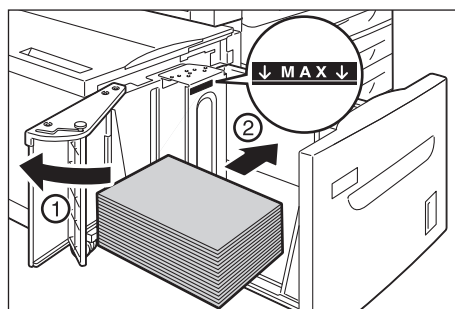
- ・エンドガイドの 8.5" の左側の溝は使用しません。



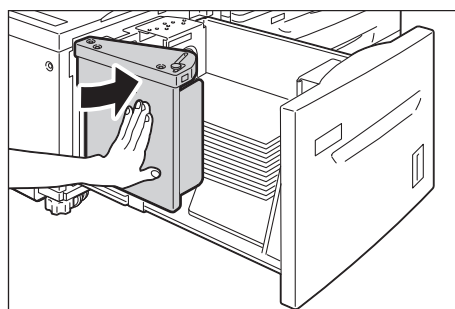
8. エンドガイドを開き (①)、コピーまたはプリントする面を上にして、用紙の先端を右側にそろえてセットします (②)。

注記

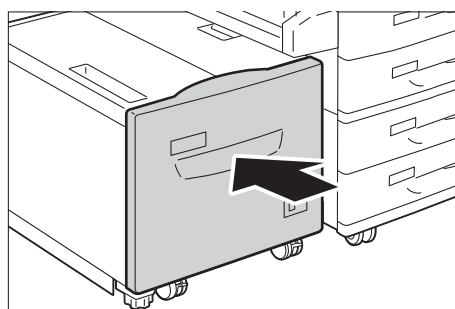
- ・種類が異なる用紙を一緒にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・用紙上限線 (「MAX」の位置) を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になることがあります。



9. エンドガイドをしっかりと閉じます。



10. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。



トレイ 6 の用紙種類の変更について

トレイ 6 に定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙のサイズと向きは、機械が自動的に検知しますが、用紙の種類は操作パネルで設定します。

用紙の種類の設定がトレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下したりすることがあります。正しく用紙種類を設定してください。工場出荷時の設定では、普通紙に設定されています。

参照

- ・「トレイの用紙種類を変更する」(P. 175)

補足

- ・ 本機は、設定された用紙の種類に応じて、画質の処理をします。名刺用紙などの特殊な厚紙を使用する場合は、さらに、操作パネルで「用紙の画質処理」の設定が必要ながあります。画質については、「[用紙の画質処理]」(P. 230)を、設定方法については「用紙別の画質処理を設定する」(P. 177)を参照してください。
- ・ 用紙の種類は、印刷時にプリンタードライバーで変更することもできます。手順については、「3.4 さまざまな種類の用紙に印刷する」(P. 84)を参照してください。

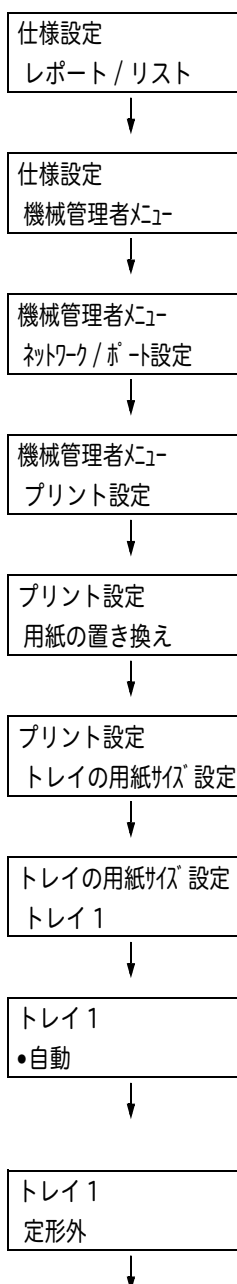
トレイの用紙サイズを設定する

ここでは、操作パネルでトレイ 1 ～ 4 の用紙サイズを定形外サイズに設定する方法を説明します。

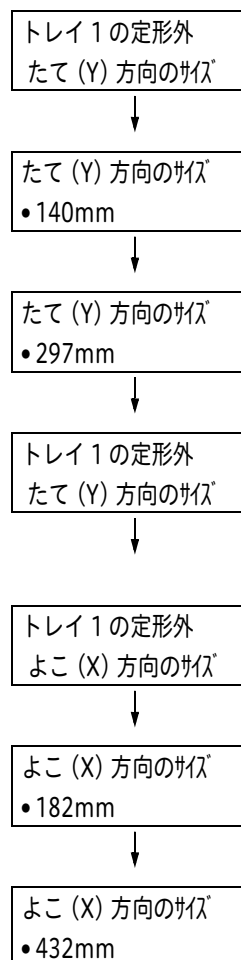
補足

- ・ 定形外サイズから定形サイズ of 用紙に変更した場合は、次の手順 9 で「自動」を選択してください。セットした用紙のサイズと向きは、本機が自動的に検知します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. 「機械管理者メニュー」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
「ネットワーク / ポート設定」が表示されます。
4. 「プリント設定」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
「用紙の置き換え」が表示されます。
6. 「トレイの用紙サイズ設定」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
「トレイ 1」が表示されます。
8. 設定したいトレイが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
9. 「定形外」が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。



10. 〈OK〉ボタンで選択します。
[たて (Y) 方向のサイズ] が表示されます。
11. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
12. 〈▲〉〈▼〉ボタンで、たて方向のサイズを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例: 297mm)
13. たて方向のサイズの設定が終わったら、よこ方向のサイズを設定します。
〈◀〉または〈戻る〉ボタンで、[たて (Y) 方向のサイズ] に戻ります。
14. 〈▼〉ボタンを押します。
[よこ (X) 方向のサイズ] が表示されます。
15. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
16. 〈▲〉〈▼〉ボタンで、よこ方向のサイズを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
(例: 432mm)
17. ほかのトレイも設定する場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



トレイの用紙種類を変更する

用紙の種類の設定が、トレイにセットされている用紙と合っていないと、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたり、印字品質が低下することがあります。
ここでは、操作パネルでトレイの用紙種類を設定する方法を説明します。

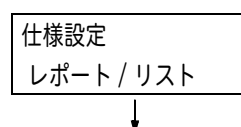
注記

- 設定した用紙種類で、トナーが用紙に定着しなかったり、用紙が汚れたりするなどの現象が発生する場合は、別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は再生紙に設定を変更して印刷してみてください。

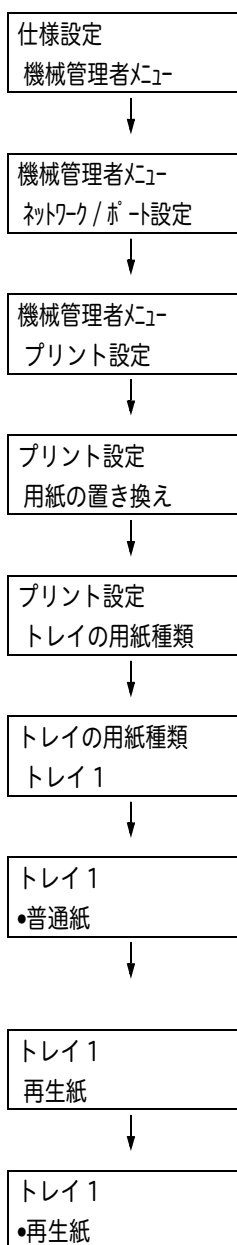
補足

- 各用紙に適した設定値については、「使用できる用紙の種類」(P. 159) の表を参考にしてください。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。



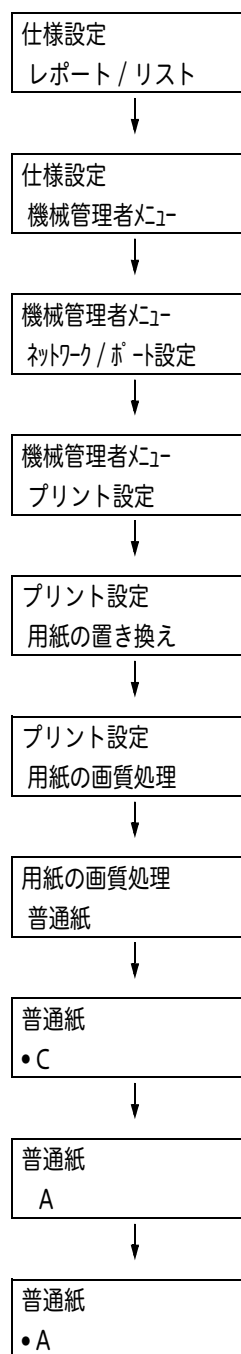
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、
〈▼〉 ボタンを押します。
3. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [プリント設定] が表示されるまで、
〈▼〉 ボタンを押します。
5. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンで選択します。
[用紙の置き換え] が表示されます。
6. [トレイの用紙種類] が表示されるまで、
〈▼〉 ボタンを押します。
7. 〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。
8. 設定したいトレイが表示されるまで〈▼〉 ボタンを押したあと、〈▶〉 または 〈OK〉 ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
9. 設定したい用紙種類が表示されるまで、
〈▼〉 ボタンを押します。
(例：再生紙)
10. 〈OK〉 ボタンで決定します。
11. ほかのトレイも設定する場合は、〈◀〉 または 〈戻る〉 ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、〈仕様設定〉 ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



用紙別の画質処理を設定する

本機は、設定された用紙の種類に応じて画質の処理をします。使用する用紙によって、印字品質や画質などのトラブルが頻繁に発生する場合は、次の手順で画質の処理方法を変更してください。

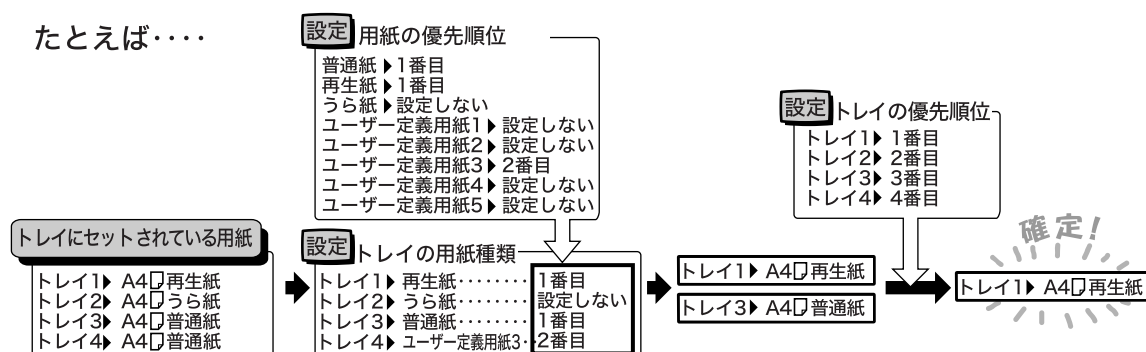
1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [プリント設定] が表示されるまで〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[用紙の置き換え] が表示されます。
6. [用紙の画質処理] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[普通紙] が表示されます。
8. 設定したい用紙種類が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押したあと、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
9. 設定したい画質が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
(例：A)
10. 〈OK〉ボタンで決定します。
11. ほかの用紙も設定する場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンを押して手順 8 に戻り、同様に設定します。
設定を終了する場合は、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



自動トレイ選択について

プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで、[トレイ / 排出] タブの [用紙トレイ選択] を [自動] にして印刷を指示すると、機械は印刷する原稿のサイズと向き、用紙種類、用紙色から、該当するトレイを選択します。これを、自動トレイ選択と呼びます。NPDL プリンタードライバーを使用している場合は、NPDL プリンタードライバーの設定に従って該当する給紙先より用紙を給紙します。

また、ART-EX プリンタードライバーを使用している場合、この自動トレイ選択で、該当するトレイが複数ある場合は、操作パネルの [トレイの用紙種類] に設定されている値を [用紙の優先順位] にあてはめ、優先順位が高いトレイを選択します。このとき、[用紙の優先順位] が [設定しない] になっている用紙をセットしているトレイは、自動トレイ選択の対象にはなりません。また、[用紙の優先順位] がまったく同じ場合は、[トレイの優先順位] で決定されます。



補足

- ・手差しトレイは、工場出荷時は [自動トレイ切替対象外] に設定されています。自動トレイ選択の対象にする場合には、「手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する」(P.179) を参照してください。
- ・手差しトレイを自動トレイ選択の対象にした場合、手差しトレイにはもっとも低い優先度だけが設定できます。手差しトレイを自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P.228) を参照してください。
- ・[トレイの優先順位] で [自動トレイ切替対象外] に設定しているトレイは、自動トレイ選択の対象外です。
- ・自動トレイ選択で該当するトレイがなかったときには、用紙補給を促すメッセージが表示されます。このメッセージを表示しないで、原稿サイズに近いサイズ of 用紙か、大きい用紙に印刷するように設定することもできます (用紙の置き換え機能。[用紙の置き換え] 機能は NPDL プリンタードライバーにはありません。)
- ・印刷中に用紙がなくなったときは、印刷していた用紙と同じサイズで同じ向きの用紙が入ったトレイを選択して、印刷を続けます (自動トレイ切り替え機能)。このとき、[用紙の優先順位] を [設定しない] に設定している種類の用紙が入ったトレイには、切り替えません。
- ・同じ種類の用紙でも、用紙に名前を付けて、ユーザー定義用紙として設定することもできます。たとえば、青色の普通紙をセットしている場合に、「フツウシ Blue」といった名前を付けると、ほかの普通紙と区別できます。

参照

- ・「[プリント設定]」(P. 223)

手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する

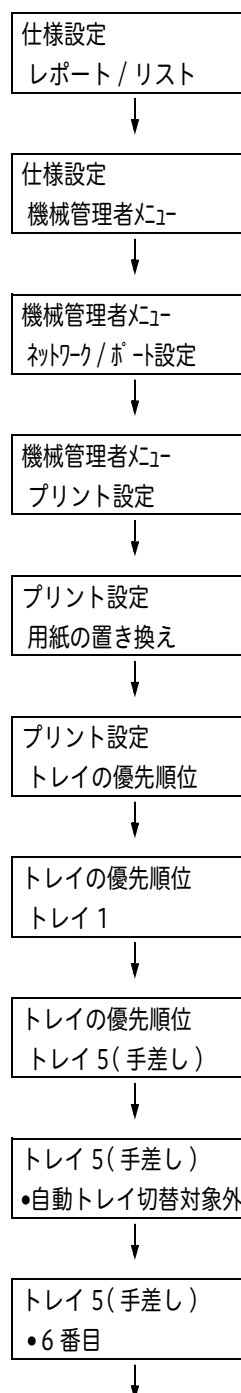
ここでは、操作パネルでトレイ 5（手差し）を自動トレイ選択の対象に設定する方法を説明します。

トレイ 5（手差し）に優先順位、用紙サイズを設定することで、自動トレイ選択の対象に設定することができます。

参照

・「自動トレイ選択について」(P.178)

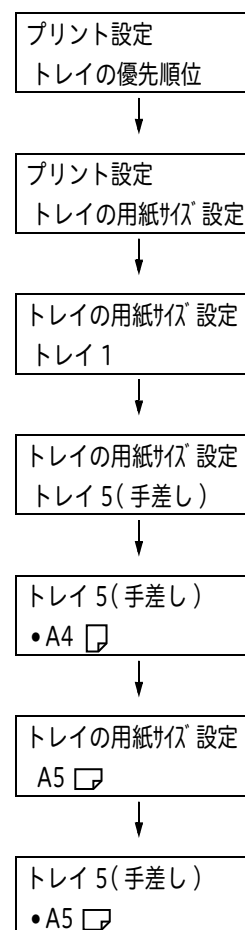
1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [プリント設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[用紙の置き換え] が表示されます。
6. [トレイの優先順位] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。
8. [トレイ 5 (手差し)] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[自動トレイ切替対象外] が表示されます。
10. 〈▼〉ボタンを押したあと、〈OK〉ボタンを押します。
これで、トレイ 5（手差し）に優先順位が設定されます。



補足

・トレイ 5（手差し）には、もっとも低い優先度だけが設定できます。トレイ 5（手差し）を自動トレイ選択の対象として最優先したい場合は、「[手差し優先]」(P.228)を参照してください。

11. [プリント設定] メニューが表示されるまで、〈◀〉ボタンを押します。
12. [トレイの用紙サイズ設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
13. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。
14. [トレイ 5(手差し)] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
15. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定値が表示されます。
16. 設定したいサイズが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
(例: A5 )
17. 〈OK〉ボタンで決定します。
18. 設定を終了する場合は、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



7 操作パネルでの設定

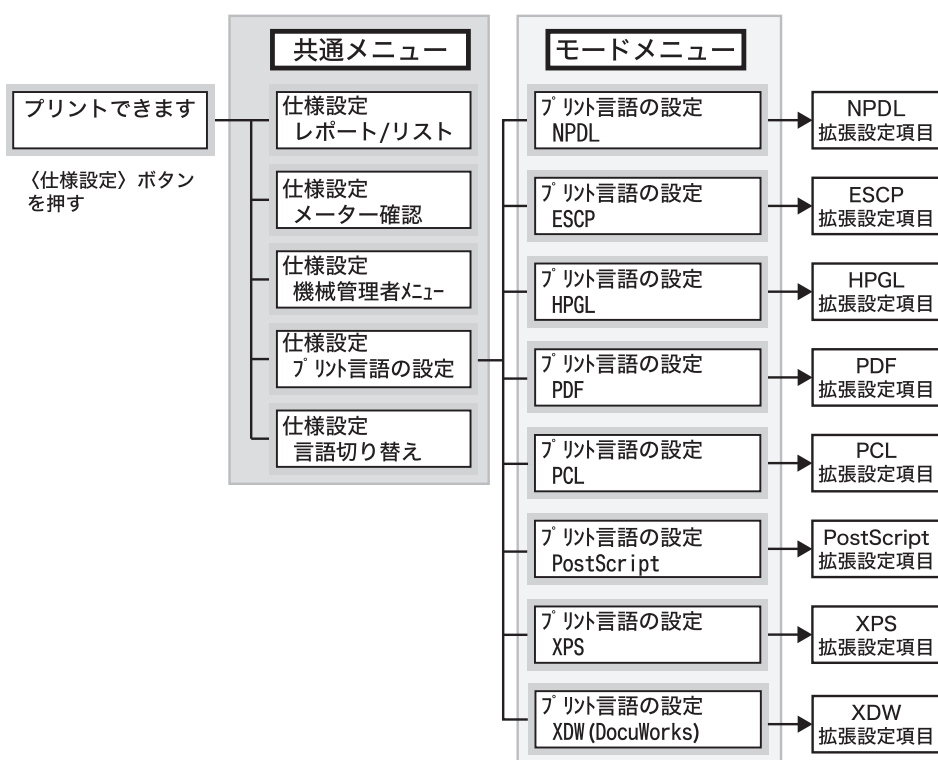
7.1 共通メニューの概要

メニューの構成

メニューには、共通メニューとモードメニューがあります。本書では、主に共通メニューについて説明します。

補足

- ・ [PostScript] は、PostScript ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

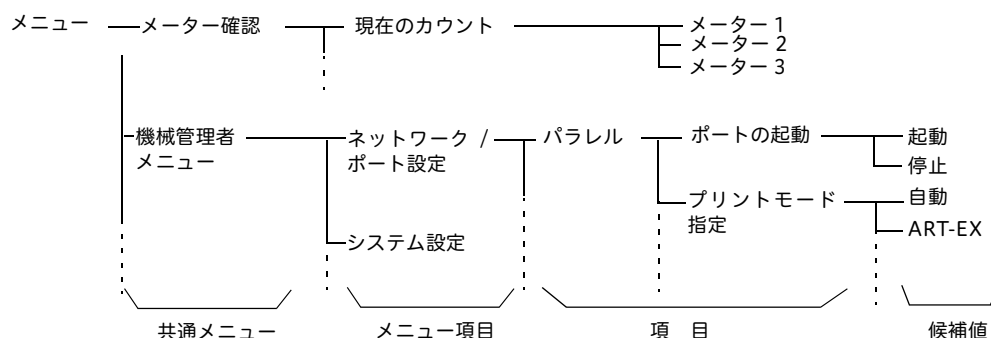


共通メニューは、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する画面です。

共通メニューは、次のような階層で構成されています。

共通メニュー>メニュー項目>項目>候補値

下の図は、共通メニューの階層の一部を示したものです。



共通メニューの各メニューの概要は、次のとおりです。

共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
レポート / リスト	各種レポート / リストを印刷します。	「9.2 レポート / リストを印刷する」 (P. 342)
メーター確認	印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。	「総印刷ページ数を確認する (メーター)」 (P. 346)
機械管理者メニュー	[ネットワーク / ポート設定] コンピューターに接続されている本機のインターフェイスの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。	「[ネットワーク / ポート設定]」 (P. 186)
	[システム設定] 節電モードや異常警告音の設定など、プリンター本体の基本的な動作に関する設定をします。また、メニュー項目の設定が誤って変更されることを防ぐために、メニュー項目の設定操作に対し、暗証番号を設定します。	「[システム設定]」 (P. 205)
	[プリント設定] 自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。	「[プリント設定]」 (P. 223)
	[メモリー設定] 各インターフェイスのメモリーやフォームメモリーの容量を変更します。	「[メモリー設定]」 (P. 239)
	[画質補正] 印刷画質が悪いときに、本機を調整します。	「[画質補正]」 (P. 243)
	[フィニッシャーの調整] フィニッシャーが装着されている場合に、パンチ穴や折り線を設定します。	「[フィニッシャーの調整]」 (P. 244)
	[初期化 / データ削除] プリンターの設定値やハードディスクの初期化、フォームデータの削除をします。 注記 ・ フォームデータの削除は NPD L では対応しません。	「[初期化 / データ削除]」 (P. 245)
プリント言語の設定	[NPD L] NPD L の設定をします。	「10.4 NPD L モードメニューで設定できる項目」 (P. 395)
	[ESCP] ART IV、ESC/P エミュレーションモードの設定をします。	メディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイド』
	[HPGL] HP-GL、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定をします。	メディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』
	[PDF] PDF ファイルを直接印刷するための設定をします。	「[PDF]」 (P. 247)
	[PCL] PCL エミュレーションモードの設定をします。	メディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』
	[PostScript] PostScript に関する設定をします。	「[PostScript]」 (P. 250)
	[XPS] XML Paper Specification (XPS) ファイルを直接印刷するための設定をします。	「[XPS]」 (P. 251)
	[XDW (DocuWorks)] DocuWorks ファイルを直接印刷するための設定をします。	「[XDW (DocuWorks)]」 (P. 251)

共通メニュー	内容	詳細説明の参照先
言語切り替え	操作パネルの表示言語を切り替えます。	「[言語切り替え]」(P. 253)

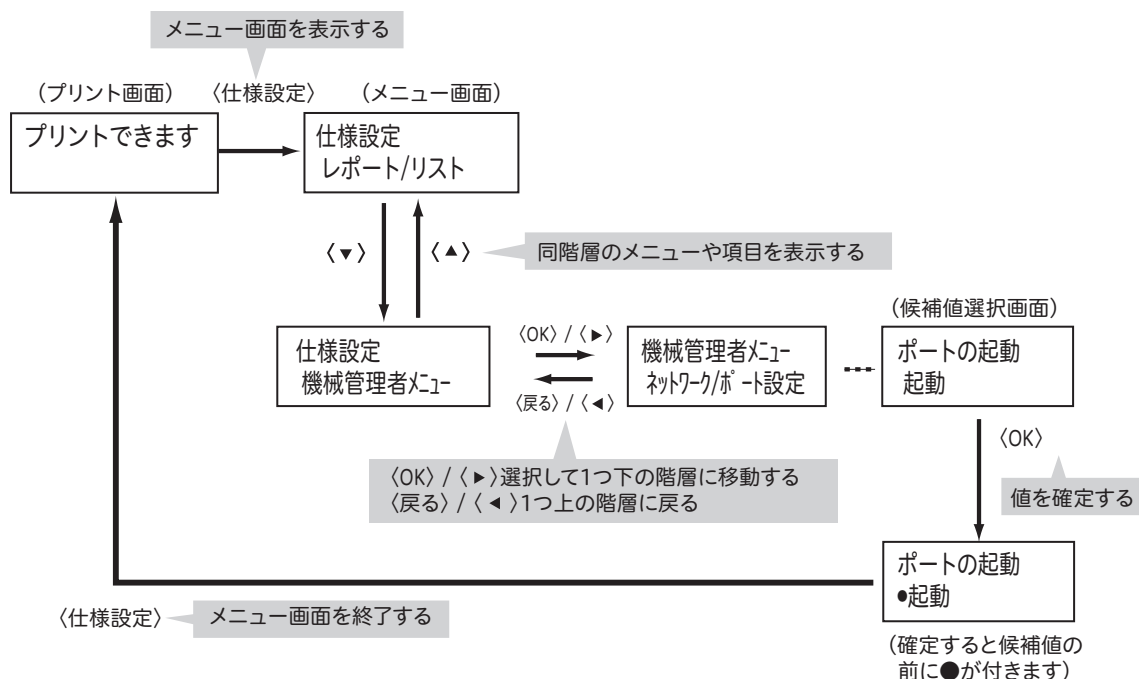
補足

- ・メニュー項目を設定するための基本的な操作方法については、「基本的な操作方法」(P. 183)を参照してください。

設定を変更する

基本的な操作方法

メニュー画面を表示したり、各メニューで階層を移動しながらプリンターの設定をしたりするには、操作パネルの次のボタンを押します。



補足

- ・一度〈OK〉ボタンを押して確定した値を変更するときは、はじめから設定し直してください。
- ・項目によって、設定を有効にするには本機の再起動が必要な場合があります。その場合は、メニュー画面を終了したとき、自動的に本機が再起動します。

設定した値を、初期値に戻すには

〈▲〉や〈▼〉ボタンで数値を変更するような項目では、〈▲〉と〈▼〉ボタンを同時に押すと、初期値に戻すことができます。

変更処理が終了すると工場出荷時の値が表示されます。〈OK〉ボタンを押すと、値が確定されます。

操作例：スリープモードへの移行時間を変更する

スリープモードへの移行時間を 60 分後に設定する例で、共通メニューの操作を説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押してメニューを切り替えます。

仕様設定
機械管理者メニュー

補足

- ・ 選択したい項目を過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。下の階層に移動します。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

補足

- ・ 間違っ、違う項目で〈▶〉または〈OK〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンで前の画面に戻ります。
- ・ 最初からやり直したい場合は、〈仕様設定〉ボタンを押します。

4. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。下の階層に移動します。

システム設定
音の設定

6. [スリープモード移行時間] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

システム設定
スリープモード 移行時間

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。現在の設定値が表示されます。

スリープモード 移行時間
・ 1 分後

8. 〈▲〉〈▼〉ボタンを押して、[60 分後] を表示します。

スリープモード 移行時間
60 分後

補足

- ・ 〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、連続的に値を変えることができます。

9. 〈OK〉ボタンで決定します。値が確定されます。

スリープモード 移行時間
・ 60 分後

10. これで設定が完了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

プリントできます
トナー残量

7.2 共通メニュー項目の説明

ここでは、共通メニューで設定できる項目について説明します。

補足

- ・メニューの設定方法については、「設定を変更する」(P. 183) を参照してください。
- ・CentreWare Internet Services でも、一部、操作パネルと同様の項目を設定できます。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・共通メニュー全体を図式的に表したメニューツリーは、「操作パネルメニュー一覧」(P. 461) を参照してください。

[レポート / リスト]

各種レポート / リストを印刷します。レポート / リストの詳細、および印刷方法は、「9.2 レポート / リストを印刷する」(P. 342) を参照してください。

補足

- ・本機に取り付けられているオプション品によって、印刷できるレポート / リストが異なります。詳細は、「9.2 レポート / リストを印刷する」(P. 342) を参照してください。

[メーター確認]

印刷した枚数を操作パネルのディスプレイに表示します。メーターの詳細、および確認手順は、「総印刷ページ数を確認する (メーター)」(P. 346) を参照してください。

[機械管理者メニュー]

[機械管理者メニュー] には、[ネットワーク / ポート設定]、[システム設定]、[プリント設定]、[メモリー設定]、[画質補正]、[フィニッシャーの調整]、[初期化 / データ削除] のメニュー項目があります。

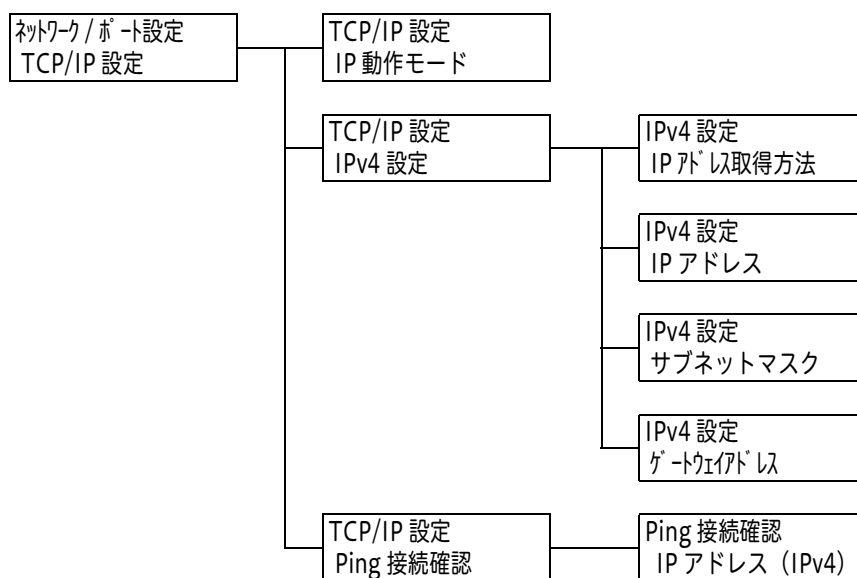
[ネットワーク / ポート設定]

[ネットワーク / ポート設定] では、コンピューターに接続されている本機のインターフェースの種類、およびその通信に必要な条件を設定します。

[TCP/IP 設定]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットカード (オプション) が取り付けられている場合は、[IPv4 設定 -1] と [IPv4 設定 -2] が表示されます。



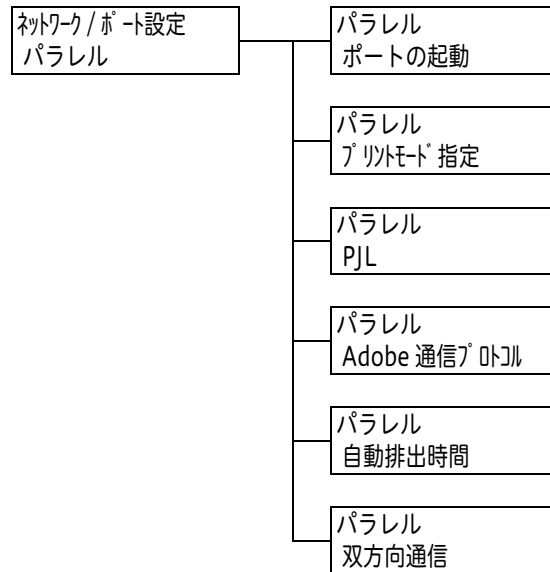
設定項目	説 明
IP 動作モード	IP 動作モードを設定します。 ・ [デュアルスタック] (初期値) IPv4 と IPv6 モードの両方が使用できます。 ・ [IPv4] IPv4 モードを使用します。[IPv4 設定] から IP アドレスの設定を行います。 ・ [IPv6] IPv6 モードを使用します。オートコンフィグレーションになっているので、詳細設定は不要です。

設定項目		説 明
IPv4 設定	—	IPv4 設定を行います。
	IP アドレス 取得方法	TCP/IP を使うために必要な情報（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス）の取得方法を設定します。 ・ [手動] 操作パネルを使って、手動で設定します。設定する IP アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。 ・ [DHCP] DHCP サーバーから自動的に取得します。 ・ [BOOTP] BOOTP から自動的に取得します。 ・ [RARP] RARP から自動的に取得します。 ・ [DHCP/AutoIP] (初期値) AutoIP 機能付きの DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバーから自動的に取得します。 補足 ・ [DHCP/AutoIP]、[DHCP]、[BOOTP]、または [RARP] から、[手動] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。
	IP アドレス、サブ ネットマスク、 ゲートウェイ アドレス	自動で取得されたアドレスを確認する場合や、手動で IP アドレスを設定する場合に使用します。 アドレスは、xxx、xxx、xxx、xxx の形式で入力します。IP アドレスとゲートウェイアドレスの xxx に設定できるのは 0 ～ 255 までの数値です。ただし、先頭の xxx に限り、127 と 224 ～ 255 は無効です。また、サブネットマスクの各 xxx に設定できるのは、0、128、192、224、240、248、252、254、255 の数値です。 (参照 P. 253 の *2) 注記 ・ 誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。 ・ サブネットマスクの設定では、正しい値を入力しなかった場合（途中のビットを 0 に設定した場合など）、数値の設定後に〈仕様設定〉ボタンを押しても、前回の設定値に戻ります。正しい値が設定されるまで、ほかの項目設定へ移行できません。 ・ 明示的にゲートウェイアドレスを指定する必要があるときだけ設定してください。自動的にゲートウェイアドレスが設定できる環境では、設定する必要はありません。
Ping 接続確認	IP アドレス (IPv4)	設定した条件で、本機とお使いのコンピューターが正しく通信できるかを確認します。コンピューターの IPv4 アドレスを入力すると、Ping 接続確認が開始されます。 補足 ・ セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合は、[IP アドレス (IPv4) -1] と [IP アドレス (IPv4) -2] が表示されます。

[パラレル]

補足

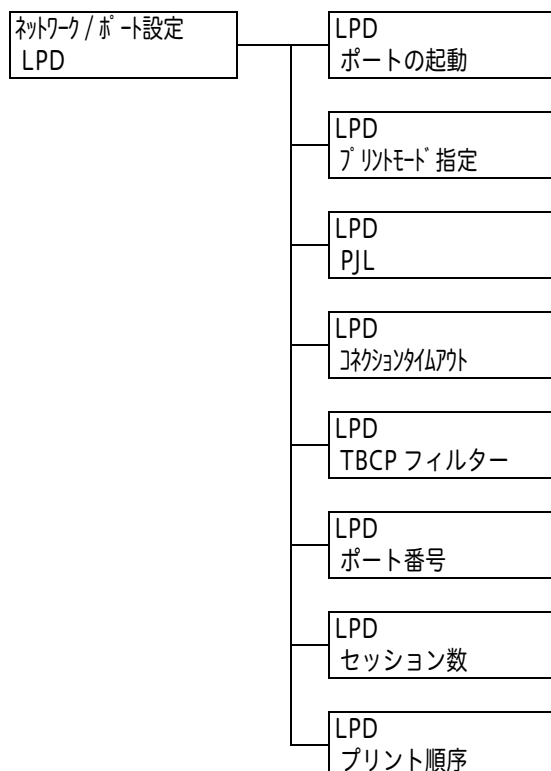
- ・ この項目は、パラレルインタフェースカード（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、パラレルポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動]（初期値） ・ [停止] 注記 ・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [自動]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 253 の *1） ・ [NPD] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。（参照 P. 253 の *3） 補足 ・ [PS] は、PostScript ソフトウェアキット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
PjL	コンピューターから送られてくる PjL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PjL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PjL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。（参照 P. 253 の *5） ・ [有効]（初期値） ・ [無効]

設定項目	説 明
Adobe 通信 プロトコル	PostScript の通信プロトコルを設定します。 ・ [標準] (初期値) 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・ [バイナリー] 通信プロトコルがバイナリー形式のときに設定します。データによっては印刷処理が [標準] に比べて速くなることがあります。 ・ [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にだけ有効です。
自動排出時間	データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。 時間は 5 ～ 300 秒の間で、1 秒単位に設定します。また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。(参照 P. 253 の *2) ・ 無効 (初期値)
双方向通信	パラレルインタフェースの双方向送信 (IEEE1284) を有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [有効] (初期値) ・ [無効]

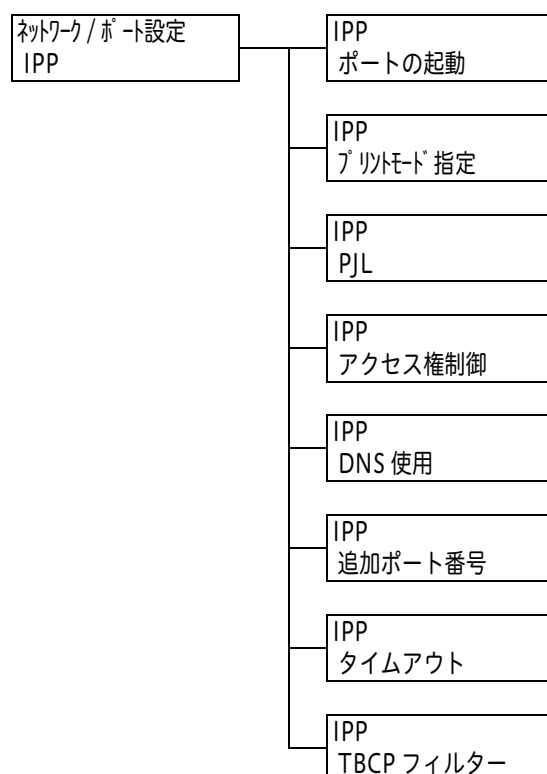
[LPD]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、LPD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動] (初期値) ・ [停止] 補足 ・ LPD ポートを起動するには、IP アドレスの設定が必要です。 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 (参照 P. 253 の *1) ・ [NPD] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。(参照 P. 253 の *3) 補足 ・ [PS] は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。
PJL	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 253 の *5) ・ [有効] (初期値) ・ [無効]
コネクションタイムアウト	印刷データの受信中に、データが送られなくなったら接続を切断するまでの時間を、2 ～ 3600 秒の間で、1 秒単位に設定します。 (参照 P. 253 の *2) ・ [16 秒] (初期値)
TBCP フィルター	PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効] 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [515] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
セッション数	本機に、LPD で同時に接続できるクライアントの最大数を、1 ～ 10 の間で設定します。 ・ [5] (初期値)

設定項目	説 明
プリント順序	印刷データの順序について設定します。 ハードディスク（オプション）を取り付けていないときは、表示されません。 ハードディスク（オプション）を取り付けて、この項目を「プリント受け付け順」に設定すると、「LPD スプール設定」が「ハードディスクスプール」に設定されます。 ハードディスクを取り付けていないときは、表示されません。 ・「データ処理順」（初期値） 本機がデータを処理した順序で印刷します。 ・「プリント受け付け順」 本機がデータを受信した順序で印刷します。

[IPP]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、IPP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・「停止」（初期値） ・「起動」 注記 ・ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、「メモリー設定」でメモリー割り当て容量を変更してください。

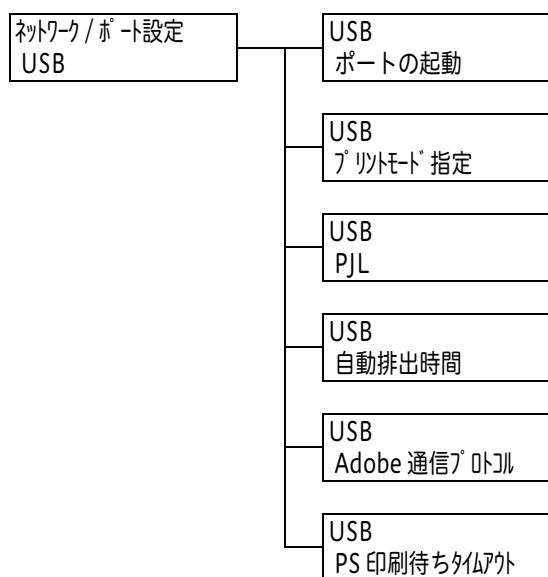
設定項目	説 明
プリントモード指定	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [自動]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。（参照 P. 253 の *1） ・ [NPD] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。（参照 P. 253 の *3） 補足 ・ [PS] は、PostScript ソフトウェア キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。
PJL	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。（参照 P. 253 の *5） ・ [有効]（初期値） ・ [無効]
アクセス権制御	印刷ジョブの中止や削除、本機をポーズ状態にするときやポーズ状態の解除をするときに、アクセス権制御を有効にするか無効にするかを設定します。 ・ [無効]（初期値） ・ [有効]
DNS 使用	本機を認識するときに、DNS（Domain Name System）に登録した名前を使うかどうかを設定します。 ・ [有効]（初期値） DNS 名を使用します。 ・ [無効] IP アドレスを使用します。
追加ポート番号	追加ポート番号を 1 ～ 65535 の間で設定します。（参照 P. 253 の *2） ・ [80]（初期値） 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD（参照 P. 253 の *6）は、同じポート番号を共用できます。
タイムアウト	印刷データの受信時、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、0 ～ 65535 秒の間で 1 秒単位に設定します。 ・ [60 秒]（初期値）
TBCP フィルター	PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効]（初期値） ・ [有効] 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。

[Bonjour]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、Bonjour ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動] (初期値) ・ [停止] 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 補足 ・ Multicast DNS 機能を使う場合は [起動] にしてください。また、Bonjour を使用して検出したプリンターで印刷するためには、LPD ポートも起動します。

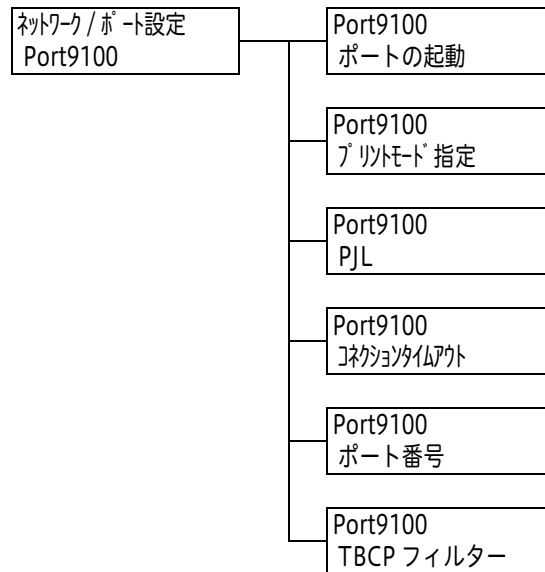
[USB]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、USB2.0 (High Speed) ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動] (初期値) ・ [停止] 注記 ・ メモリーが不足した場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

設定項目	説 明
プリントモード指定	印刷データの処理方法（使用するプリント言語）を設定します。 ・ [自動]（初期値） コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 （参照 P. 253 の *1） ・ [NPD] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。（参照 P. 253 の *3） 補足 ・ [PS] は、PostScript ソフトウェア キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。
PJL	コンピューターから送られてくる PJL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PJL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PJL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理しているか、次のデータのプリント言語を指定できます。（参照 P. 253 の *5） ・ [有効]（初期値） ・ [無効]
自動排出時間	データが受信されない状態が継続したとき、本機内に残っているデータを自動的に印刷して排出する時間を設定します。 時間は 5 ～ 300 秒の間で、1 秒単位に設定します。 また、最後のデータを受信してから、ここで設定した時間内に次のデータが受信されない場合は、ジョブの終了と判断されます。 ・ 無効（初期値）
Adobe 通信プロトコル	PostScript の通信プロトコルを設定します。 ・ [標準]（初期値） 通信プロトコルが ASCII 形式のときに設定します。 ・ [バイナリー] データに対して特別な処理を必要としない場合に使用します。データによっては印刷処理が [標準] に比べて速くなることがあります。 ・ [TBCP] 通信プロトコルに ASCII 形式とバイナリー形式が混在し、それらを特定の制御コードによって切り替えるときに設定します。 ・ [RAW] 通信プロトコルが Raw 形式のときに設定します。Macintosh から、USB 経由で EPS 形式のファイルが正しく印刷できない場合に選択します。 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。 ・ コンピューターのプリンタードライバーが出力するデータの形式に合わせて設定してください。 ・ ここでの設定は、PostScript で印刷される場合にのみ有効です。 ・ 通常は、初期値の [標準] で使用してください。
PS印刷待ちタイムアウト	PostScript の印刷待ちタイムを設定します。 ・ [無効]（初期値） [USB] の [自動排出時間] を使用します。 ・ [有効] PostScript プリントドライバーの [印刷待ちタイムアウト] を使用します。 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット（オプション）が取り付けられている場合にのみ表示されます。

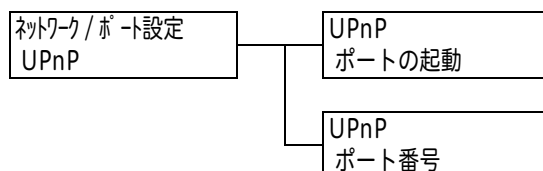
[Port9100]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、Port9100 ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動] (初期値) ・ [停止] 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
プリントモード指定	印刷データの処理方法 (使用するプリント言語) を設定します。 ・ [自動] (初期値) コンピューターから受信したデータが、どのプリント言語で記述されているかを自動で判別し、データに合わせて適切な印刷を行います。 (参照 P. 253 の *1) ・ [NPDL] [ART EX] [PS] [ART IV] [ESC/P] [HP-GL/2] [PCL] [TIFF] コンピューターから受信したデータを、それぞれのデータとして処理します。 ・ [HexDump] コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを 16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷します。(参照 P. 253 の *3) 補足 ・ [PS] は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
PjL	コンピューターから送られてくる PjL コマンドを有効にするか、無効にするかを設定します。 PjL コマンドとは、印刷ジョブを制御するコマンドで、プリンタードライバーを使って印刷する場合に必要です。PjL コマンドを使うと、その時点で本機がどのプリント言語で処理していても、次のデータのプリント言語を指定できます。(参照 P. 253 の *5) ・ [有効] (初期値) ・ [無効]
コネクションタイムアウト	印刷データの受信中に、データが送られなくなってから接続を切断するまでの時間を、2 ～ 65535 秒の間で、1 秒単位に設定します。 (参照 P. 253 の *2) ・ [60 秒] (初期値)

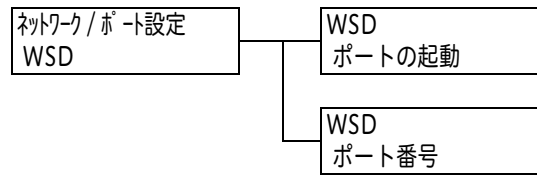
設定項目	説 明
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [9100] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
TBCP フィルター	PostScript データを処理するときに、TBCP フィルターを有効にするか、無効にするかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効] 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。

[UPnP]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、UPnP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止] (初期値) ・ [起動] 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [80] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 253 の *6) ポートは、同じポート番号を共有できます。

[WSD]

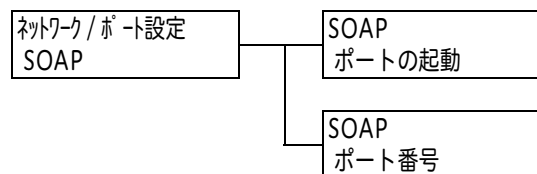


補足

- ・ WSD は、Web Services on Devices の略称です。

設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、WSD ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動] (初期値) ・ [停止] 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [80] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 253 の *6) ポートは、同じポート番号を共有できます。

[SOAP]

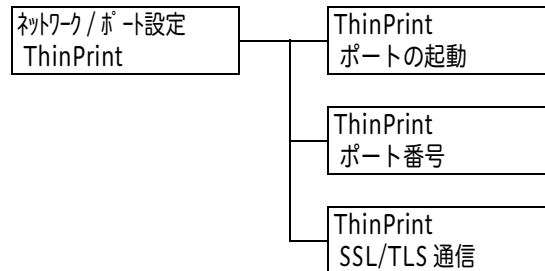


設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、SOAP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動] (初期値) ・ [停止] 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [80] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 253 の *6) ポートは、同じポート番号を共有できます。

[ThinPrint]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ ThinPrint® 機能を使用する場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

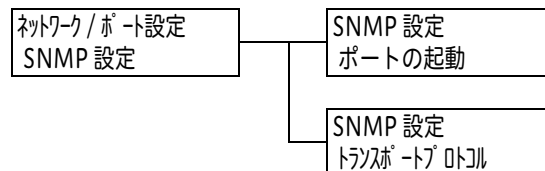


設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、ThinPrint ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [停止]（初期値） ・ [起動]
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。（参照 P. 253 の *2） ・ [4000]（初期値） 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。
SSL/TLS 通信	SSL を使用した暗号化通信を有効にするかどうかを設定します。 ・ [無効]（初期値） ・ [有効] 補足 ・ SSL 通信では、クライアント証明書が必要です。適切な証明書を本機に設定してください。

[SNMP 設定]

補足

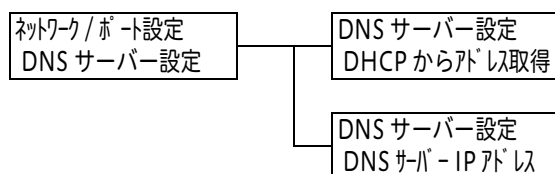
- ・ SNMP の設定は、複数台のプリンターをリモートで管理するアプリケーションを使う場合に必要です。プリンターの情報は SNMP で管理されていて、アプリケーションは SNMP からプリンターの情報を収集します。



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、SNMP ポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。 ・ [起動]（初期値） ・ [停止] 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。

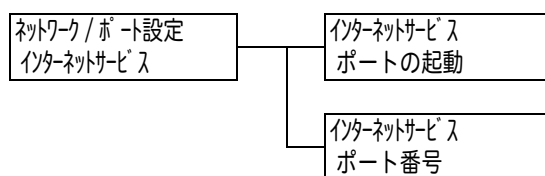
設定項目	説 明
トランスポート プロトコル	SNMP で使うトランスポート層のプロトコルを設定します。IPX、UDP のどちらか、または両方が使えます。 ・ [UDP] (初期値) ・ [IPX] ・ [IPX,UDP] 補足 ・ UDP を使う場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスが必要です。 ・ IPX、UDP どちらのプロトコルを使うかは、アプリケーションのマニュアルを参照してください。

[DNS サーバー設定]



設定項目	説 明
DHCP からアドレス取得	DNS サーバーの IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得するかどうかを指定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する] 補足 ・ 自動的に取得しない場合、手動で設定するアドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。 ・ [する] から [しない] に変更すると、IP アドレスの設定画面が表示されることがあります。その場合は、手動で IP アドレスを設定してください。 ・ IP アドレスの取得方法が手動に設定されている場合は、[しない] で固定です。
DNS サーバ IP アドレス	この項目は、自動で取得されたアドレスを確認する場合や手動でアドレスを設定する場合に使用します。アドレスを xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。(参照 P. 253 の *2) 注記 ・ 誤った IP アドレスを設定すると、ネットワーク全体に悪影響を及ぼすことがあります。

[インターネットサービス]



設定項目	説 明
ポートの起動	電源を入れたときに、インターネットサービスポートの状態を起動にするか、停止にするかを設定します。[起動] に設定すると、CentreWare Internet Services を利用し、Web ブラウザーを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。 ・ [起動] (初期値) ・ [停止] 注記 ・ ポートを起動したときに、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、[メモリー設定] でメモリー割り当て容量を変更してください。 補足 ・ インターネットサービスを起動する場合は、コンピューター側、本機側ともに IP アドレスの設定が必要です。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [80] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。ただし、HTTP プロトコルを使用するインターネットサービス /IPP/SOAP/UPnP/WSD (参照 P. 253 の *6) ポートは、同じポート番号を共用できます。

[Ethernet 設定]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合、[Ethernet 設定 -1] と [Ethernet 設定 -2] が表示されます。

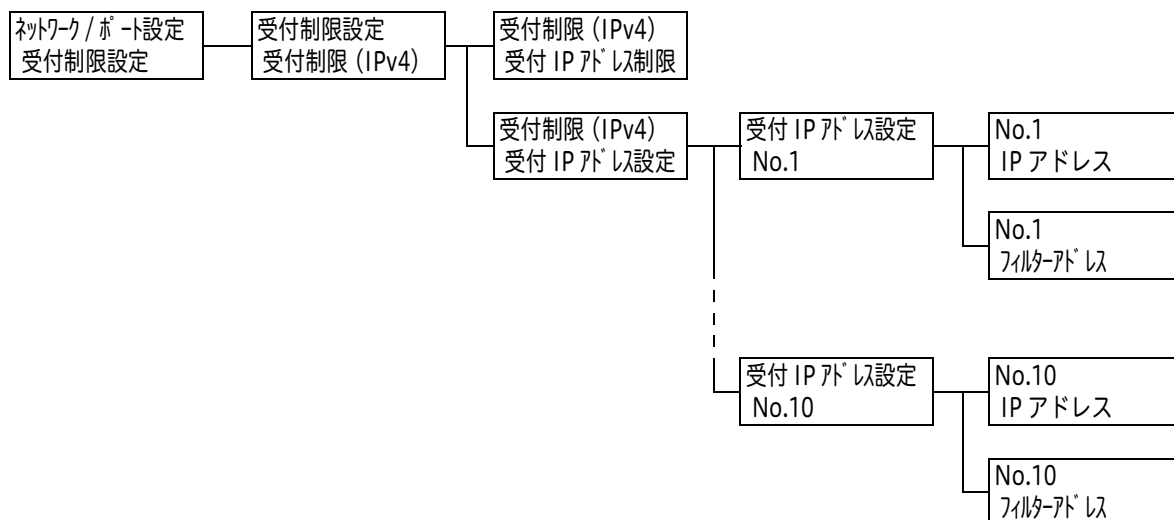
ネットワーク/ポート設定 Ethernet 設定

設定項目	説 明
Ethernet 設定	Ethernet インターフェイスの通信速度 / コネクタの種類を設定します。 ・ [自動] 100M（全二重）、100M（半二重）、10M（全二重）、10M（半二重）、1000 Mbps を自動的に切り替えます。 ・ [自動（100Mbps 上限）]（初期値） 100M（全二重）、100M（半二重）、10M（全二重）、10M（半二重）を自動的に切り替えます。 ・ [100M（全二重）] 100M（全二重）に固定して使う場合に選択します。 ・ [100M（半二重）] 100M（半二重）に固定して使う場合に選択します。 ・ [10M（全二重）] 10M（全二重）に固定して使う場合に選択します。 ・ [10M（半二重）] 10M（半二重）に固定して使う場合に選択します。 ・ [1000 Mbps] 1000 Mbps に固定して使う場合に設置します。 補足 ・ セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合、[自動（100Mbps 上限）] は、プライマリーインターフェイスの設定にのみ表示されます。セカンダリインターフェイスの初期値は、[自動] になります。 ・ セカンダリーイーサネットカード（オプション）が取り付けられている場合、セカンダリインターフェイス設定の [1000 Mbps] は、ギガビットに対応しているときのみ表示されます。

[受付制限 (IPv4)]

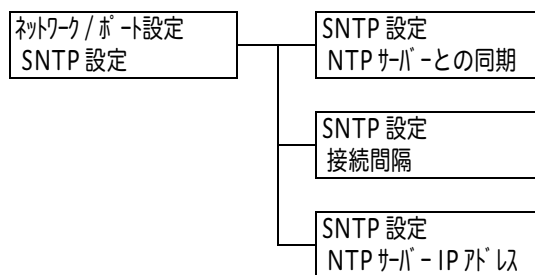
補足

- ・ 受信制限は、CentreWare Internet Services でも設定できます。設定例については、「IP アドレスによる受信制限」(P. 361) を参照してください。
- ・ セカンダリーイーサネットカード (オプション) が取り付けられている場合、[受付制限 (IPv4) -1] と [受付制限 (IPv4) -2] が表示されます。



設定項目	説 明
受付 IP アドレス制限	IP アドレスを使って受信制限をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
受付 IP アドレス設定	受け付ける IP アドレスを制限する場合に、印刷を受け付ける IP アドレスを登録します。IP アドレスは、10 個まで登録できます。登録した IP アドレスには、フィルターアドレスを設定します。IP アドレス、フィルターアドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。 xxx は 0 ～ 255 までの数値です。(参照 P. 253 の *2) たとえば、[IP アドレス] : 129.249.110.23、[フィルターアドレス] : 255.255.255.0 と設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、129.249.110.xxx です。xxx は 1 ～ 254 までの数値です。 補足 ・ CentreWare Internet Services では、IP アドレスは、25 個まで登録できます。

[SNTP 設定]

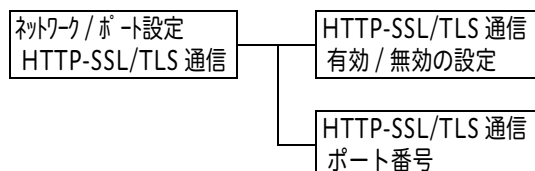


設定項目	説 明
NTP サーバーとの同期	NTP サーバーと同期して、本機のシステム時計の時刻を合わせるかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
接続間隔	NTP サーバーに接続する間隔を 1 ～ 500 時間の間で、1 時間単位に設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [168 時間] (初期値)
NTP サーバー IP アドレス	NTP サーバーの IP アドレスを設定します。 IP アドレスは、xxx.xxx.xxx.xxx の形式で入力します。xxx は 0 ～ 255 までの数値です。(参照 P. 253 の *2) ・ [000.000.000.000] (初期値)

[HTTP-SSL/TLS 通信]

補足

- ・ SSL/TLS プロトコルを使用して、HTTP の通信データを暗号化する場合に設定します。この項目は、本機に証明書が登録されている場合に表示されます。
- ・ HTTP の通信の暗号化、および本機に必要なサーバー証明書については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 374) を参照してください。



設定項目	説 明
有効 / 無効の設定	SSL/TLS 通信を使用するかどうかを設定します。 ・ [無効] (初期値) SSL/TLS 通信を使用しません。 ・ [有効] SSL/TLS 通信を使用します。
ポート番号	ポート番号を、1 ～ 65535 の間で設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [443] (初期値) 補足 ・ 他のポートのポート番号と、同じ番号を使用しないでください。

[IPsec 通信]

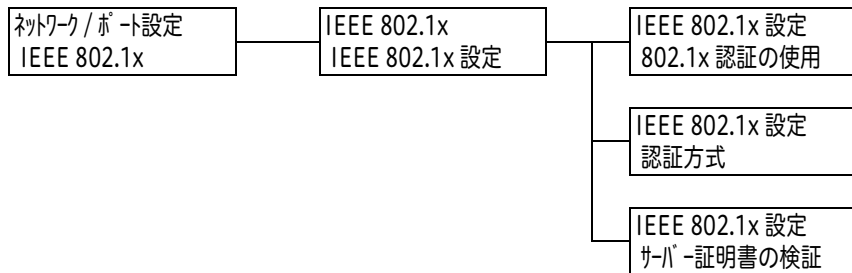
ネットワーク/ポート設定
IPsec 通信

設定項目	説 明
IPsec 通信	コンピュータからネットワーク上の本機へデータを送るときに、データをパケット単位で暗号化して送信するかどうかを設定します。 ・ [無効] (初期値) ・ [有効] 補足 ・ Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1 ・ Windows Server 2003、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 をお使いの場合だけ使用できます。 ・ IPsec の設定方法については、「IPSec を使用して暗号化するための設定」(P. 378) を参照してください。

[IEEE 802.1x 設定]

補足

- ・ セカンダリーイーサネットカード (オプション) が取り付けられている場合、[IEEE 802.1x 設定 -1] と [IEEE 802.1x 設定 -2] が表示されます。

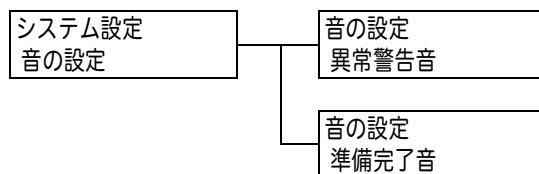


設定項目	説 明
802.1x 認証の使用	IEEE 802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。 ・ [使用しない] (初期値) ・ [使用する]
認証方式	IEEE 802.1x の認証方式を設定します。 ・ [EAP-MD5] (初期値) ・ [EAP-MS-CHAPv2] ・ [PEAP/MS-CHAPv2] ・ [EAP-TLS]
サーバー証明書の検証	サーバー証明書の検証をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]

[システム設定]

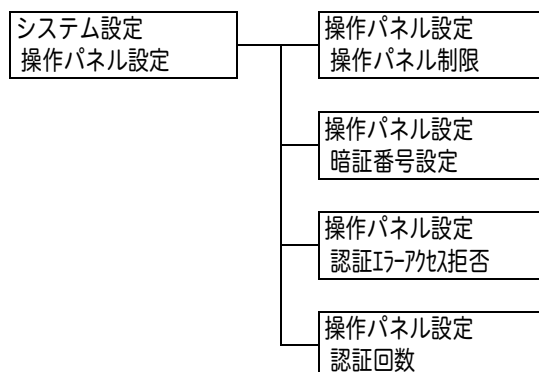
[システム設定] は、本機の動作設定を行うためのメニューです。

[音の設定]



設定項目	説 明
異常警告音	紙づまりなどの異常が発生し、ジョブが異常状態のまま保留になったときに鳴る音の大きさを設定します。 ・ [小] (初期値) ・ [中] ・ [大] ・ [なし]
準備完了音	本機がプリントできる状態になったときに鳴る音の大きさを設定します。 ・ [小] (初期値) ・ [中] ・ [大] ・ [なし]

[操作パネル設定]



設定項目	説 明
操作パネル制限	暗証番号を設定して、メニュー操作を制限するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する] 補足 ・ [する] に設定すると、暗証番号設定画面が表示されます。暗証番号として12桁の数字を、〈▲〉、〈▼〉ボタンを押して入力してください。〈▶〉、〈◀〉ボタンで桁を移動できます。 ・ 暗証番号として、[000000000000] は設定できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。

設定項目	説 明
暗証番号設定	操作パネル制限を設定している場合に暗証番号を変更できます。 新しい暗証番号を 12 桁の数字で入力してください。2 回入力した暗証番号が一致した場合に、暗証番号が変更されます。 補足 ・ [操作パネル制限] を [する] に設定しないと、暗証番号を変更できません。 ・ この設定は、CentreWare Internet Services を使ってリモートで管理することもできます。
認証エラーアクセス拒否	認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するかどうかを設定します。 ・ [する] (初期値) ・ [しない]
認証回数	認証エラーが発生した場合に、アクセスを拒否するまでのエラー回数を 1 ～ 10 回の間で、1 回単位に設定します。 ・ [5 回] (初期値) 補足 ・ [認証エラーアクセス拒否] が [しない] に設定されている場合は、[しない] と表示されます。

[自動リセット]

システム設定
自動リセット

設定項目	説 明
自動リセット	メニューが表示された状態を自動的に解除するかどうかを、1 ～ 30 分の間で、1 分単位に設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [しない] (初期値) ・ [1 分後] ～ [30 分後]

[低電力モード]

補足

- ・ 低電力モードについては、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 65) を参照してください。

システム設定
低電力モード

設定項目	説 明
低電力モード	低電力モードは、一定の時間が経過すると、自動的に定着部の温度を下げて機械の消費電力を節約する機能です。この機能を使用するかどうかを設定します。 ・ [有効] (初期値) ・ [無効] 補足 ・ [スリープモード] の設定が [無効] になっている場合は、[低電力モード] を [無効] に設定できません。

[低電力移行時間]

補足

- ・ 低電力移行時間については、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 65) を参照してください。

システム設定
低電力移行時間

設定項目	説 明
低電力移行時間	低電力モードに移行するまでの時間を 1 ～ 240 分の間で 1 分単位に設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [1 分後] (初期値)

[スリープモード]

補足

- ・ スリープモードについては、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 65) を参照してください。

システム設定
スリープモード

設定項目	説 明
スリープモード	スリープモードは、コントローラーの受信部以外の電源を完全にオフにし、消費電力を最低の値に下げる機能です。ただし、ウォームアップ時間は、低電力モードよりも長くなります。この機能を使用するかどうかを設定します。 ・ [有効] (初期値) ・ [無効] 補足 ・ [低電力モード] の設定が [無効] になっている場合は、[スリープモード] を [無効] に設定できません。

[スリープモード移行時間]

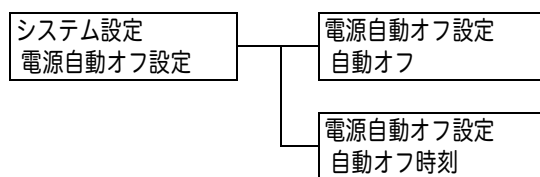
補足

- ・ スリープモード移行時間については、「2.4 節電モードを設定 / 解除する」(P. 65) を参照してください。

システム設定
スリープモード移行時間

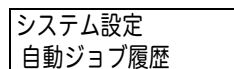
設定項目	説 明
スリープモード移行時間	スリープモードに移行するまでの時間を 1 ～ 240 分の間で 1 分単位に設定します。(参照 P. 253 の *2) ・ [1 分後] (初期値) 参照 ・ 「操作例：スリープモードへの移行時間を変更する」(P. 184)

[電源自動オフ設定]



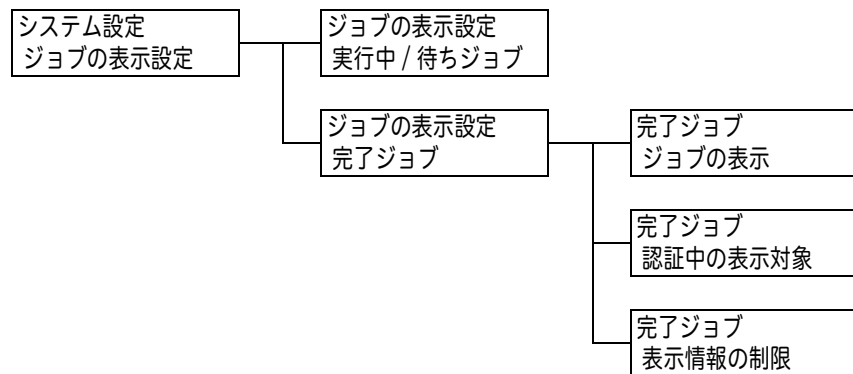
設定項目	説 明
自動オフ	本機では、設定した時刻になると電源が自動的に切れるように設定できます。 ・ [しない] (初期値) 本機の電源は自動的に切れません。 ・ [する] 設定した時刻になると、本機の電源が自動的に切れます。 補足 ・ 自動オフ時刻が設定されていても、本機に紙づまりなどの異常が発生している場合や、ジョブや割り込みなどの処理を行っている場合には、電源は自動的に切れません。
自動オフ時刻	[システム時計]> [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。 時間は 1 ～ 12 時、または 00 ～ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ～ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。 ・ [0:00 AM] または [0:00] (初期値) 参照 ・ [時刻表示切り替え] の設定方法については、「時刻表示切り替え」(P.212)を参照してください。

[自動ジョブ履歴]



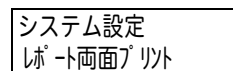
設定項目	説 明
自動ジョブ履歴	処理を行った印刷データに関する情報 (ジョブ履歴レポート) を、自動的に印刷するかどうかを設定します。 ・ [プリントしない] (初期値) ジョブ履歴レポートを自動的に印刷しません。 ・ [プリントする] 過去に自動で排出されていない印刷データの履歴が、記憶領域いっぱいになった時点 (50 件) で、古いものから自動的に印刷されます。実行中や実行待ちの印刷データは記録されません。

[ジョブの表示設定]



設定項目		説 明
実行中 / 待ちジョブ		印刷を実行中、またはレディー時のジョブの情報表示について設定します。 ・ [情報を制限しない] (初期値) ・ [情報を制限する]
完了ジョブ	－	完了ジョブの情報表示について設定します。
	ジョブの表示	完了したジョブの表示方法について設定します。 ・ [常に表示する] (初期値) ・ [表示しない] ・ [認証中は表示する]
	認証中の表示対象	完了したジョブについて、全てのユーザーのジョブを表示するか、認証ユーザーのみの情報を表示するかを設定します。 ・ [すべて] (初期値) ・ [認証ユーザーのジョブ]
	表示情報の制限	完了ジョブの表示情報を制限するかを設定します。 ・ [制限しない] (初期値) ・ [制限する]

[レポート両面プリント]



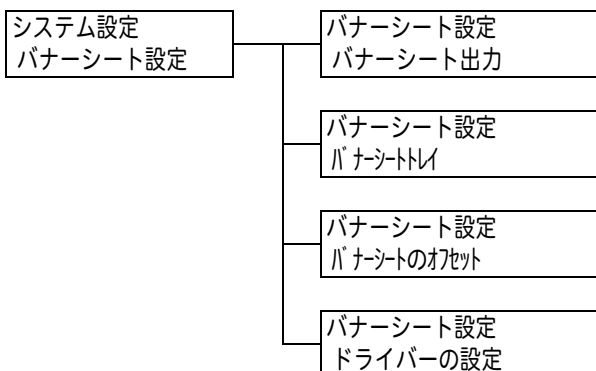
設定項目	説 明
レポート両面プリント	レポート / リストを印刷するときに、片面に印刷するか両面に印刷するかを設定します。 ・ [片面] ・ [両面] (初期値)

[プリント可能領域]

システム設定
プリント可能領域

設定項目	説 明
プリント可能領域	プリント可能領域を拡張するかどうかを設定します。エミュレーション（HP-GL/2、ESC/P、PCL）や PostScript で印刷する場合に有効です。 ・ [標準]（初期値） ・ [拡張]

[バナーシート設定]



設定項目	説 明
バナーシート出力	バナーシートを出力するかどうかを設定します。 ・ [出力しない]（初期値） バナーシートを出力しません。 ・ [スタートシート] 文書の始めに出力します。 ・ [エンドシート] 文書の終わりに出力します。 ・ [スタート + エンドシート] 文書の始めと終わりに出力します。
バナーシートトレイ	バナーシート用の用紙を給紙するトレイを設定します。 ・ [トレイ 1]（初期値） ・ [トレイ 2] ～ [トレイ 4]、[トレイ 6] 補足 ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。
バナーシートのオフセット	バナーシートをオフセットするかどうかを設定します。 ・ しない（初期値） ・ する
ドライバーの設定	プリンタードライバーでのバナーシートの設定を有効にするかどうかを設定します。 ・ [有効]（初期値） ・ [無効] 補足 ・ [有効] に設定すると、NPD L プリンタードライバーでもプリントできます。

[セキュリティープリント操作]

補足

- ・ この項目は、セキュリティープリント機能が使用できる場合に表示されます。

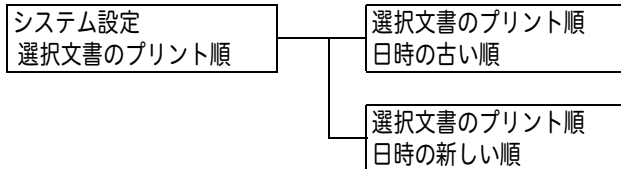
システム設定
セキュリティープリント操作

設定項目	説 明
セキュリティー プリント操作	セキュリティープリントの印刷を、操作パネルから実行できるようにするかどうかを設定します。 ・ [有効] (初期値) 操作パネルからセキュリティープリントを実行できます。 ・ [無効] 操作パネルからセキュリティープリントを実行できません。

[選択文書のプリント順]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが [有効] に設定されている場合に表示されます。

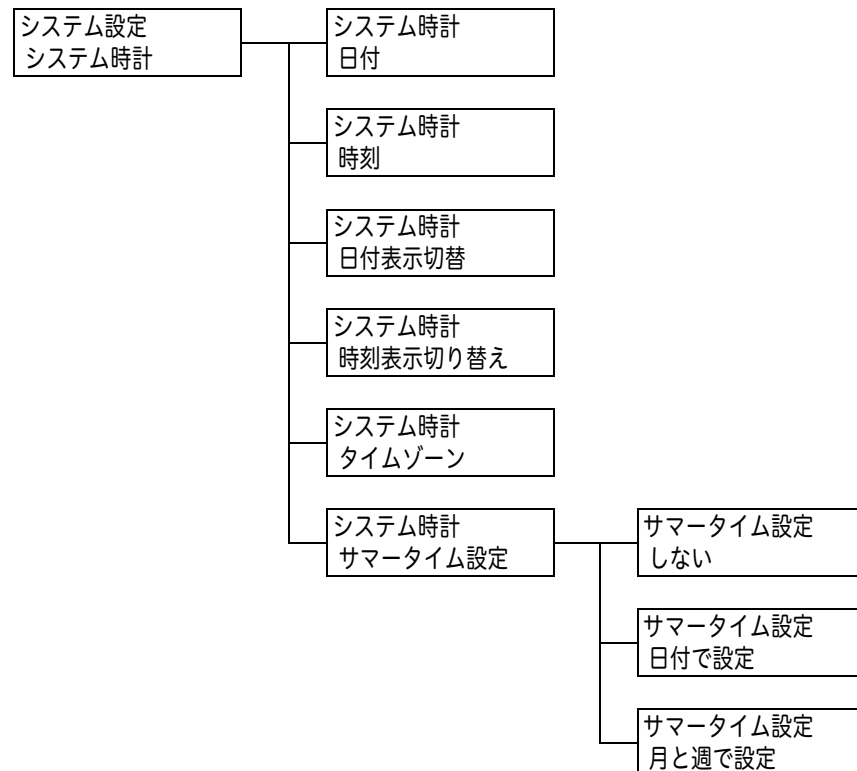


設定項目	説 明
選択文書の プリント順	セキュリティープリント機能、および認証プリント機能を使って印刷する場合に、選択文書のプリント順を設定します。 ・ [日時の古い順] (初期値) 日時の古い順に印刷します。 ・ [日時の新しい順] 日時の新しい順に印刷します。

[システム時計]

補足

- ・ ここで設定された日付 / 時刻が、レポートやリストに印刷されます。



設定項目	説 明
日付	[日付表示切替] で設定した形式に合わせて、年月日を設定します。
時刻	[時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時：分を設定します。
日付表示切替	日付の表示順序を設定します。 ・ [yyyy/mm/dd] (初期値) 年 / 月 / 日の順で表示します。 ・ [mm/dd/yyyy] 月 / 日 / 年の順で表示します。 ・ [dd/mm/yyyy] 日 / 月 / 年の順で表示します。
時刻表示切り替え	時刻表示の方法を設定します。 ・ [12 時間制] (初期値) ・ [24 時間制]
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。

設定項目	説 明
サマータイム設定	サマータイムについて設定します。 ・ [しない] (初期値) サマータイムを設定しません。 ・ [日付で設定] サマータイムの開始日、終了日を日付 (月、日) で設定します。 ・ [月と週で設定] サマータイムの開始日、終了日を月と週で設定します。 補足 ・ 設定できない値を入力したときには「設定値が正しくありません」、開始日と終了日に同じ設定をしたときには「開始日と終了日が正しくありません」が表示されます。 ・ 開始日と終了日に同じ月は設定しないでください。同じ月を設定すると、サマータイムの設定が正しく動作しません。

[紙づまり時の処理]

システム設定
紙づまり時の処理

設定項目	説 明
紙づまり時の処理	印刷中に紙づまりが発生した場合の処理を設定します。 ・ [除去後にプリント再開] (初期値) 紙づまり解消後に、印刷を再開します。 ・ [プリント中止] 紙づまり解消後に、そのジョブをキャンセルします。

[ドラム寿命動作]

システム設定
ドラム寿命動作

設定項目	説 明
ドラム寿命動作	ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、寿命の約 5,300 ページ^{*1} 前に予備用意のメッセージが表示され、寿命の約 1,600 ページ^{*1} 前になると交換時期が近いことを示すメッセージが表示されます。 ドラムカートリッジの交換時期になったとき、印刷を停止するかどうかを選択します。 ・ [プリント停止する] (初期値) ドラムカートリッジ交換のメッセージ表示後は、新しいドラムカートリッジに交換するまで印刷は停止されます。 ・ [プリント停止しない] ドラムカートリッジの交換時期になっても、すぐに印刷は停止されず、ドラムカートリッジに異常が検知された段階で本機を保護するために強制的に印刷を停止します。 ただし、この場合はドラムカートリッジの寿命が過ぎているため、印刷画質など本機の性能に影響が出ることがあります。また短期間で印刷が停止してしまう可能性があるため、すぐに新しいドラムカートリッジをご用意のうえ、交換することをお勧めします。

^{*1} 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と有寿命部品 (定期交換部品、有償) の寿命について」(P. 430) を参照してください。

[ミリ/インチ切り替え]

システム設定
ミリ/インチ切り替え

設定項目	説 明
ミリ/インチ 切り替え	操作パネルで長さを表示 / 入力するときの単位を設定します。 ・ [ミリ (mm)] (初期値) ・ [インチ (")]

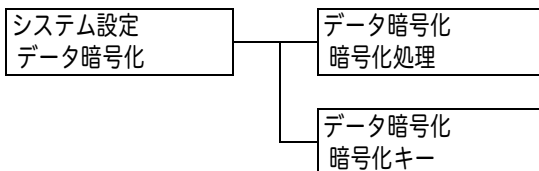
[データ暗号化]

注記

- ・ [データ暗号化] の設定を変更した場合、ハードディスクが初期化されます。

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ データの暗号化は、ハードディスクにデータを書き込むときに、すべてのデータに対して自動的に暗号化します。



設定項目	説 明
暗号化処理	システム内部（ハードディスク）のデータの暗号化をするかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
暗号化キー	データを暗号化する場合の暗号化キーを数字 12 桁で設定します。 補足 ・ [暗号化キー] は、セキュリティ対策上の必要から、設定を行っても、必ず設定画面には [0] が表示されます。

[HDD の上書き消去]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

システム設定
HDD の上書き消去

設定項目	説 明
HDD の上書き消去	ハードディスク内のデータを上書き消去をするかどうか、上書き消去する場合（初期値）は、その回数を設定します。 ・ [1 回] (初期値) ・ [しない] ・ [3 回]

[プリントジョブの追越]

補足

- ・この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

システム設定
プリントジョブの追越

設定項目	説 明
プリントジョブの追越	本機が何らかの原因で実行開始できない（印刷を開始しようとしたときに、用紙トレイの用紙がなくなったなど）場合、ほかに実行開始できるジョブがあるときに、ジョブの追い越しを許可するか、禁止するかを設定します。 ・ [禁止]（初期値） ・ [許可] 補足 ・ セキュリティープリントやサンプルプリントなどの蓄積文書は、追い越し許可の対象外です。 ・ [許可] に設定した場合、[異常終了プリント処理] は設定できません。

[異常終了プリント処理]

補足

- ・この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられていて、[プリントジョブの追越] が [禁止] に設定されている場合に、表示されます。

システム設定
異常終了プリント処理

設定項目	説 明
異常終了プリント処理	実行中のジョブに何らかのエラーが発生し、ジョブのキャンセルが必要になった場合の動作について設定します。 ・ [自動的に再開]（初期値） エラーが発生したジョブを機械が自動的にキャンセルし、次のジョブを再開します。 ・ [ユーザー操作で再開] ジョブのキャンセルが必要なエラーが発生した場合は、操作パネルにエラーメッセージを表示します。本体側の操作によって、ジョブがキャンセルされます。

[ソフトウェアダウンロード]

システム設定
ソフトウェアダウンロード

設定項目	説 明
ソフトウェアダウンロード	ソフトウェアのダウンロードを許可するか、禁止するかを設定します。 ・ [許可]（初期値） ・ [禁止]

[RAM ディスク]

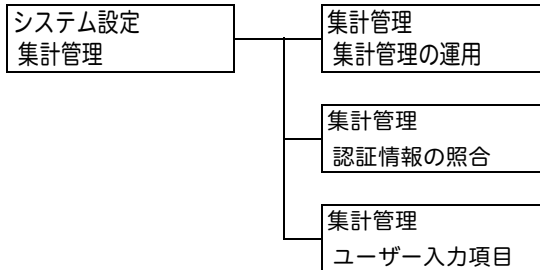
補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合には、表示されません。

システム設定
RAM ディスク

設定項目	説 明
RAM ディスク	RAM ディスクを使用するか、しないかを設定します。[有効] に設定すると RAM ディスクが使用できるようになります。 ・ [無効]（初期値） ・ [有効] 注記 ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

[集計管理]



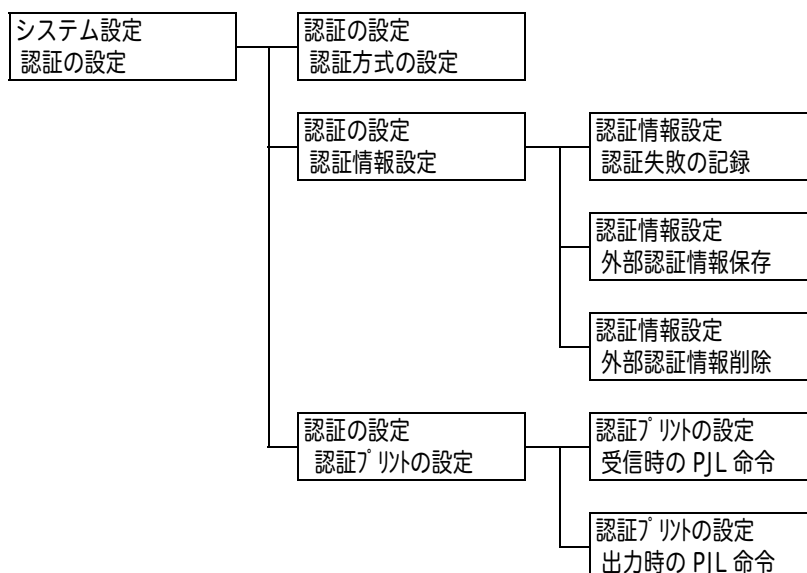
設定項目	説 明
集計管理の運用	集計管理の運用方法を設定します。[本体集計管理] に設定すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が印刷されます。 ・ [しない]（初期値） ・ [認証サーバー] 認証サーバーで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。 ・ [本体集計管理] 本機にあらかじめ登録されている情報を利用して、集計管理をします。 ・ [ネット集計管理] 外部アカウントサービスで管理されているユーザー情報を使用して集計管理を行います。ユーザー情報は、外部アカウントサービスから登録します。
認証情報の照合	認証するときに、入力情報を照合するかどうかを設定します。 ・ [しない]（初期値） ・ [する] 補足 ・ [しない] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] に設定されている場合に表示されます。 ・ [する] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない] か [本体認証] に設定されている場合に表示されます。

設定項目	説 明
ユーザー入力項目	認証するために、ユーザーが入力する項目を設定します。 ・ [User ID と Account ID] (初期値) 認証するときに、User ID と Account ID の両方を入力します。 ・ [User ID のみ] 認証するときに、User ID だけを入力します。 ・ [Account ID のみ] 認証するときに、Account ID だけを入力します。 補足 ・ [User ID と Account ID] および [User ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [認証しない]、[認証情報の照合] が [する] に設定されている場合は、表示されません。 ・ [Account ID のみ] は、[認証の設定] > [認証方式の設定] が [本体認証] に設定されている場合は、表示されません。

[認証の設定]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが [有効] に設定されている場合に表示されます。



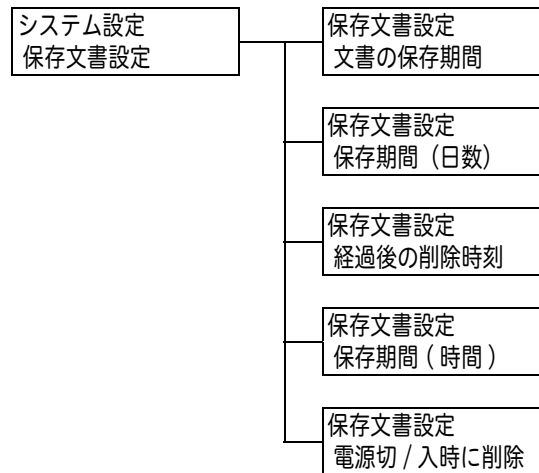
設定項目	説 明
認証方式の設定	認証の方法を設定します。 ・ [認証しない] (初期値) 認証しません。 ・ [本体認証] 本機にあらかじめ登録されているユーザー情報を、認証に使用します。 ・ [外部認証] 外部認証サーバーを、認証に使用します。

設定項目		説 明
認証情報設定	認証失敗の記録	不正なアクセスを検知するために、10 分間に設定した回数だけ認証に失敗したとき、[エラー履歴レポート] に認証失敗を記録するかどうかを設定します。 ・ [する] (初期値) [する] にする場合は、認証失敗を記録する失敗回数を 1 ～ 600 の間で設定します。初期値は 10 回です。 ・ [しない] 補足 ・ 認証に失敗しても、[エラー履歴レポート] に記録が残るだけで、「[操作パネル設定]」(P. 205) のようなアクセス拒否は行われません。
	外部認証情報保存	外部認証情報を保存するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する] 補足 ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されている場合に表示されます。
	外部認証情報削除	[外部認証情報保存] を [する] にして保存された外部認証情報を削除します。 補足 ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられていて、[認証方式の設定] で [外部認証] が設定されている場合に表示されます。
認証プリントの設定	—	認証登録ユーザー情報を使った認証プリントについて設定します。 補足 ・ この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
	受信時の PjL 命令	PjL 命令で、外部からのプリント受信を制御できます。[制御しない] を選択したとき、または PjL 命令がないときは、後述の [受信制御] の設定を使用します。 ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]
	出力時の PjL 命令	PjL 命令で、外部からのプリントジョブのプリントを制御できます。 ・ [制御しない] (初期値) ・ [制御する]

[保存文書設定]

補足

- ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが [有効] に設定されている場合に表示されます。



設定項目	説 明
文書の保存期間	蓄積文書の保存期間を設定します。設定した期間が経過すると、蓄積文書は自動的に削除されます。 ・ [設定しない] (初期値) 保存したままにします。 ・ [日数と削除時刻] 日数と時刻で保存期間を設定します。 ・ [時間] 削除するまでの時間を設定します。
保存期間（日数）	保存期間（日数）を 1 ～ 14 日の間で設定します。 ・ [7 日] (初期値)
経過後の削除時刻	文書を削除する時刻を設定します。 ・ [3:00AM] または [3:00] (初期値) 補足 ・ [システム設定] > [システム時計] > [時刻表示切り替え] の設定によって、12 時間表示または 24 時間表示で設定します。
保存期間（時間）	保存期間（時間）を 0 時間 15 分～ 120 時間 00 分の間で設定します。 ・ [4 時間 00 分] (初期値)
電源切 / 入時に削除	電源を切 / 入したとき、保存期間にかかわらず、蓄積文書を削除するかどうかを設定します。 ・ [削除しない] (初期値) 電源を切 / 入したときに、保存時間を経過した蓄積文書だけを削除します。保存時間が経過していない蓄積文書は、削除しません。 ・ [削除する] 電源を切 / 入したときに、すべての蓄積文書を削除します。

[インナー排出トレイ]

システム設定
インナー排出トレイ

設定項目	説 明
インナー排出トレイ	インナー排出トレイ（オプション）を取り付けたとき、[あり] に設定します。 ・ [なし]（初期値） ・ [あり]

[ソフトウェアオプション]

補足

- ・ この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）または PostScript ソフトウェア キット（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
- ・ セキュリティ拡張キットを取り付ける場合は、ハードディスク（オプション）が必要です。



設定項目	説 明
プリンター セキュリティ キット	機械に取り付けたセキュリティ拡張キットを有効にします。[有効化] を選択すると、確認メッセージが表示されます。〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・ 一度、[プリンターセキュリティキット] を [有効化] に設定すると、取り付けているセキュリティ拡張キット ROM は、他の機械で使用できません。 ・ 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。
PS キット（モリサ ワ 2 書体）	機械に取り付けた PostScript ソフトウェア キット（モリサワ 2 書体）を有効にします。[有効化] を選択すると、確認メッセージが表示されます。〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・ 一度、[PS キット（モリサワ 2 書体）] を [有効化] に設定すると、取り付けている PostScript ソフトウェア キット ROM は、他の機械で使用できません。 ・ 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。
PS キット（平成 3 書体）	機械に取り付けた PostScript ソフトウェア キット（平成 3 書体）を有効にします。[有効化] を選択すると、確認メッセージが表示されます。〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・ 一度、[PS キット（平成 3 書体）] を [有効化] に設定すると、取り付けている PostScript ソフトウェア キット ROM は、他の機械で使用できません。 ・ 機能をクリアしたり、無効にしたい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

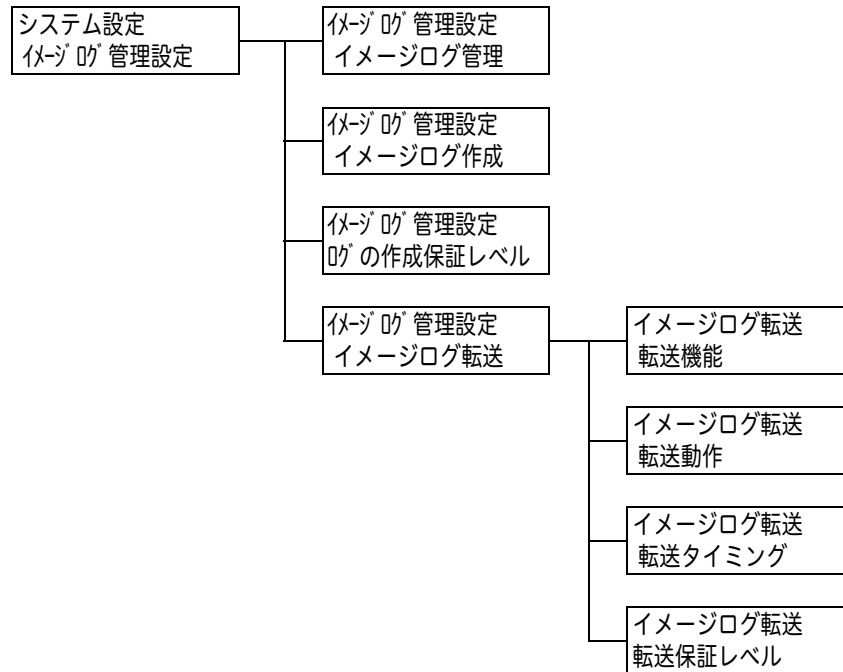
[イメージログ管理設定]

注記

- ・イメージログ管理機能を使用したい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

補足

- ・この項目は、セキュリティ拡張キット（オプション）とハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。



設定項目		説明
イメージログ管理		イメージログ管理機能を使用するかどうかを設定します。通常は「しない」で固定されています。イメージログ管理機能を使用する場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。 ・「しない」（初期値） ・「する」
イメージログ作成		イメージログを作成するかどうかを設定します。 ・「する」（初期値） ・「しない」
ログの作成保証レベル		ジョブに対して、イメージログが確実に作成されるかどうかのレベルを設定します。 ・「低」（初期値） 本機のパフォーマンスを優先し、可能な範囲で作成します。そのため、イメージログが抜けてしまうことがあります。 ・「高」 イメージログを漏れなく作成します。そのため、本機の動作・運用に影響が出ることがあります。
イメージログ転送	—	イメージログをログサーバーに転送するための機能について設定します。
	転送機能	イメージログの転送機能を使用するかどうかを設定します。 ・「使用しない」（初期値） ・「使用する」

設定項目		説 明
イメージログ転送	転送動作	自動転送の設定をします。 ・[まとめて転送] (初期値) ・[一時停止] ・[ジョブ単位で転送] 補足 ・[ジョブ単位で転送] は、[ログの作成保証レベル] が [高] のときに表示されます。
	転送タイミング	イメージログの転送タイミングを設定します。それぞれについて [無効] または [有効] を設定します。初期値は、すべて [有効] です。 ・[ジョブ終了時] ・[電源投入時] ・[一定時間経過時] ・[一定ログ数保存時] ・[時刻指定] ・[無効] ・[有効] (初期値) ・[12:00 AM] または [0:00] (初期値) 補足 ・[時刻指定] を [有効] に設定した場合は、[システム時計] > [時刻表示切り替え] で設定した形式に合わせて、時 : 分を設定します。時間は 1 ～ 12 時、または 00 ～ 23 時の間で 1 時間単位、分は 00 ～ 59 分の間で 1 分単位に設定できます。
	転送保証レベル	ログ管理サーバへデータを転送するときの保証レベルを設定します。 ・[低] (初期値) ・[高] 補足 ・[高] に設定すると漏れなくデータを転送しますが、データ転送の間は本機のパフォーマンスの低下や、一時停止が発生することがあります。

[GCP 登録]

補足

- ・この項目は、Google クラウドプリントポートが起動されている場合に表示されます。Google クラウドプリントポートの起動方法については、「[Google クラウドプリント] ポートの起動」(P.149) を参照してください。

システム設定
GCP 登録

設定項目	説 明
GCP 登録	CentreWare Internet Services を使用して、お使いのコンピューターから Google クラウドプリントへの本機の登録要求が済んでいる場合、次の画面が表示されます。 ・[GCP 受付許可しますか?] ・[はい] (初期値) ・[いいえ] 補足 ・Google クラウドプリントへの本機の登録が取り消されている場合、[登録は取り消されました]、既に登録されている場合は、[この機械は既に登録されています] というメッセージが表示されます。 参照 ・Google クラウドプリントについて詳しくは、「5.4 Google クラウドプリントを使って印刷する」(P. 146) を参照してください。

[プリント設定]

[プリント設定] では、自動トレイ選択や用紙トレイについて設定します。

補足

- ・ 自動トレイ選択については、「自動トレイ選択について」(P.178) を参照してください。

[用紙の置き換え]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
用紙の置き換え

設定項目	説 明
用紙の置き換え	自動トレイ選択によって選択された用紙トレイに用紙がない場合に、ほかの用紙トレイにセットされている用紙に置き換えて印刷するかどうかを設定します。置き換えをする場合は、サイズを指定します。 ・ [しない] (初期値) 置き換えはしないで、用紙補給のメッセージを表示します。 ・ [大きいサイズを選択] 選択されている用紙サイズの次に大きなサイズの用紙に置き換えて、等倍で印刷します。 ・ [近いサイズを選択] 選択されている用紙サイズにもっとも近いサイズの用紙に置き換えて印刷します。必要に応じて、自動的にイメージを縮小することがあります。 ・ [手差しトレイから給紙] 手差しトレイにセットされている用紙に印刷します。 補足 ・ コンピューター側から指定があった場合は、コンピューター側の指定が優先されます。

[用紙種類エラーの処理]

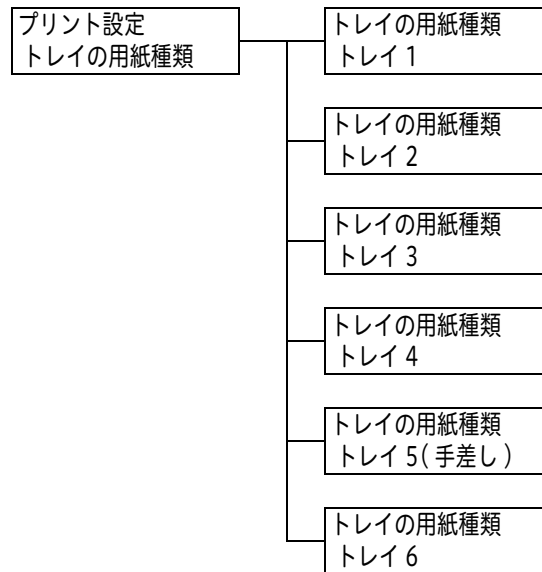
注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
用紙種類エラーの処理

設定項目	説 明
用紙種類エラーの処理	印刷ジョブで指定している用紙種類がセットされている用紙トレイがない場合にどうするかを設定します。 ・ [確認画面表示] (初期値) 用紙種類の確認を促すメッセージを表示します。 ・ [プリントする] メッセージを表示しないで、現在セットされている用紙種類で印刷します。 ・ [設定変更表示] 設定変更を促すメッセージを表示します。

[トレイの用紙種類]

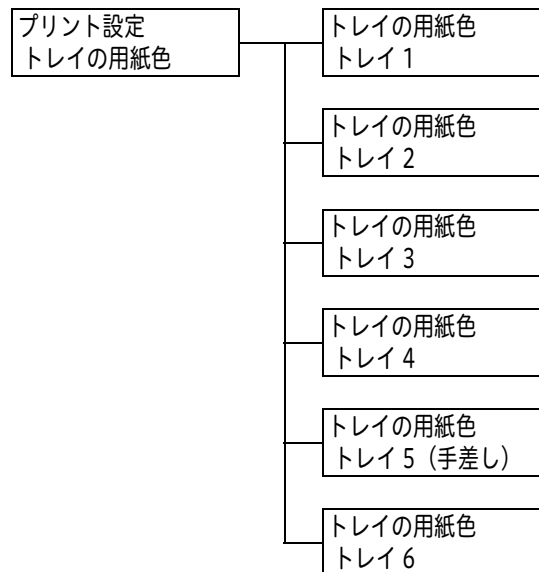


設定項目	説 明
トレイ 1	トレイ 1 にセットする用紙の種類を設定します。 ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] 補足 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
トレイ 2	トレイ 2 にセットする用紙の種類を設定します。 ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] 補足 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
トレイ 3 ～トレイ 4	トレイ 3 ～ 4 にセットする用紙の種類を設定します。 ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] 補足 ・ トレイ 3 ～ 4 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
トレイ 5 (手差し)	手差しトレイにセットする用紙の種類を設定します。 ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] 補足 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。
トレイ 6	トレイ 6 にセットする用紙の種類を設定します。 ・ [普通紙] (初期値)、[再生紙]、[うら紙]、[厚紙 1]、[厚紙 2]、[OHP フィルム]、[ラベル紙]、[うす紙]、[穴あき紙]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] 補足 ・ トレイ 6 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。

[トレイの用紙色]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

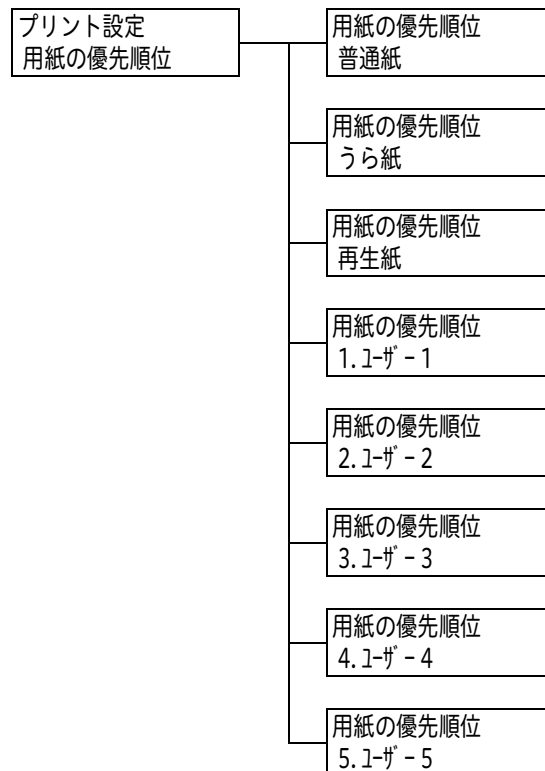


設定項目	説 明
トレイ 1～トレイ 4、 トレイ 5 (手差し)、 トレイ 6	トレイにセットした用紙の色を設定します。 ・ [白] (初期値)、[青]、[黄色]、[緑]、[ピンク]、[透明]、[アイボリー]、[グレー]、[クリーム]、[山吹色]、[赤]、[オレンジ]、[1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5]、[その他] 補足 ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙色名称設定] で設定した名称が表示されます。

[用紙の優先順位]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

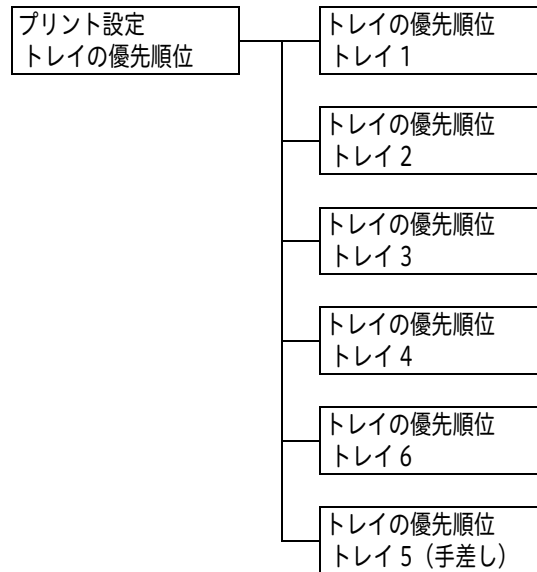


設定項目	説 明
普通紙、うら紙、再生紙、ユーザー 1 ～ 5	自動トレイ選択によって選択されるトレイにセットされている用紙の種類の優先順位を設定します。初期値は、普通紙 [1 番目]、再生紙 [2 番目]、それ以外は [設定しない] です。 ・ [1 ～ 9 番目] 設定する優先順位を選択します。 ・ [設定しない] 優先順位を設定しません。この場合、自動トレイ選択の対象になりません。 補足 ・ [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] には、[用紙種類名称設定] で設定した名称が表示されます。 ・ 異なる用紙種類に同じ優先順位の設定もできます。その場合に選択されるトレイは、[トレイの優先順位] によって決定します。

[トレイの優先順位]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。



設定項目	説 明
トレイ 1～トレイ 4、トレイ 6、トレイ 5 (手差し)	自動トレイ選択によって選択されるトレイの優先順位を設定します。初期値は、トレイ 1 が [1 番目]、トレイ 2 が [2 番目]、トレイ 3 が [3 番目]、トレイ 4 が [4 番目]、トレイ 6 が [5 番目]、トレイ 5 (手差し) が [自動トレイ切替対象外] です。 ・ [1 番目] ～ [5 番目] 設定する優先順位を選択します。 ・ [自動トレイ切替対象外] 自動トレイ選択の対象になりません。 補足 ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。 ・ 異なるトレイに同じ優先順位は設定できません。他のトレイと同じ優先順位を指定した場合は、指定したトレイ以外の優先順位が、自動的に変更されます。 ・ トレイ 5 (手差し) には、もっとも低い優先度だけが設定できます。

[手差し優先]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定 手差し優先

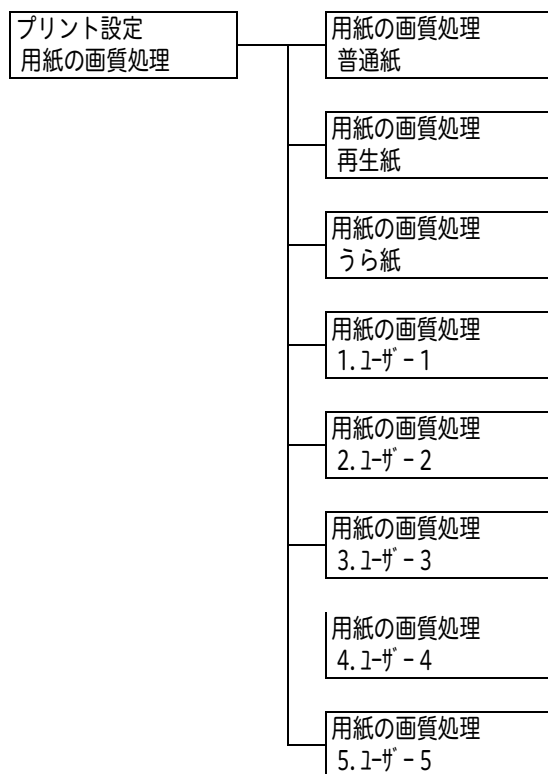
設定項目	説 明
手差し優先	印刷ジョブで指定している用紙種類が手差しトレイにセットされている用紙種類と一致する場合に、手差しトレイを最優先で選択するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) 手差しトレイを最優先で選択しません。 ・ [する] 手差しトレイを最優先で選択します。 補足 ・ [トレイの優先順位] > [トレイ 5 (手差し)] で [自動トレイ切替対象外] が選択されている場合、用紙種類が一致していなくても手差しトレイに用紙がセットされていれば手差しトレイから給紙されます。

[トレイの用紙サイズ設定]



設定項目	説 明
トレイ 1～トレイ 4、 トレイ 6	各トレイの用紙サイズを設定します。 ・ [自動] (トレイ 1～4、トレイ 6 の初期値) センサーによって用紙サイズを自動検出します。 ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選択して表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。 補足 ・ トレイ 3、4、6 はオプションです。装着していないトレイは表示されません。 ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 174) を参照してください。
トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) の用紙サイズを設定します。 ・ [A3□]、[A4□]、[A4□] (初期値)、[A5□]、[A5□]、[A6□]、 [B4□]、[B5□]、[B5□]、[B6□]、[B6□]、[5.5 x 8.5"□]、 [5.5 x 8.5"□]、[7.25 x 10.5"□]、[7.25 x 10.5"□]、[8.5 x 10"□]、 [8.5 x 10"□]、[8.5 x 11"□]、[8.5 x 11"□]、[215 x 315mm□]、 [8.5 x 13"□]、[8.5 x 14"□]、[11 x 15"□]、[11 x 17"□]、[表紙 A4□]、 [9 x 11" (表紙レター)□]、[十六開□]、[十六開□]、 [八開□]、[はがき□]、[往復はがき□]、[4 x 6"□]、 [写真 2L サイズ□]、[洋長形 3□]、[封筒 #10□]、[封筒 モナーク□]、 [封筒 DL□]、[封筒 C4□]、[封筒 C5□] ・ [定形外] たて方向のサイズとよこ方向のサイズを任意の数値に設定します。 [定形外] を選択して表示される [たて (Y) 方向のサイズ] と [よこ (X) 方向のサイズ] で設定してください。 補足 ・ 定形外サイズの設定手順については、「トレイの用紙サイズを設定する」(P. 174) を参照してください。 ・ [トレイ 5 (手差し)] は、[トレイの優先順位] > [トレイ 5 (手差し)] で [自動トレイ切替対象外] が選択されている場合には表示されません。

[用紙の画質処理]

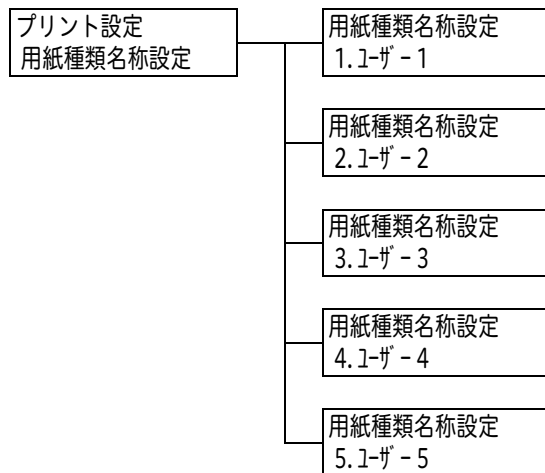


設定項目	説 明
普通紙、再生紙、 うら紙、 1. ユーザー 1 ～ 5. ユーザー 5	それぞれの用紙に対する画質処理（用紙種類）を設定します。 ・ [A] 90 ～ 105g/m² の上質紙に適した画質です。 ・ [B] 80 ～ 89g/m² の一般的に使われているオフィス用紙に適した画質です。 ・ [C]（初期値） 60 ～ 79g/m² の再生紙に適した画質です。

〔用紙種類名称設定〕

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

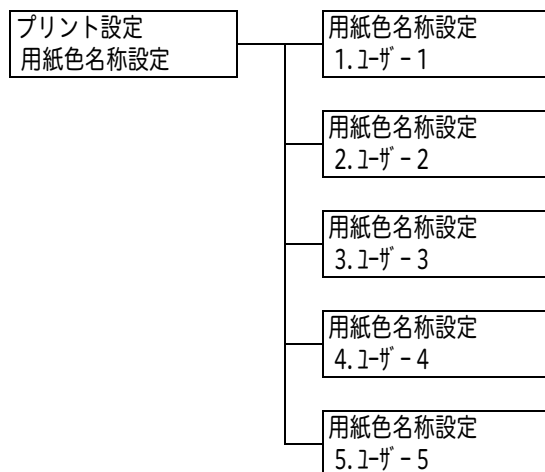


設定項目	説 明
1. ユーザー 1 ～ 5. ユーザー 5	[用紙の優先順位]、[トレイの用紙種類]、[用紙の画質処理] などに表示される [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] を、任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 253*2、*4 の No.1、2、3、4)

〔用紙色名称設定〕

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。



設定項目	説 明
1. ユーザー 1 ～ 5. ユーザー 5	[トレイの用紙色] に表示される [1. ユーザー 1] ～ [5. ユーザー 5] を任意の名称に変更できます。 英数 / 半角カタカナ文字を使って、1 ～ 8 文字の間で設定します。 (参照 P. 253*2、*4 の No.1、2、3、4)

[センタートレイのオフセット]

補足

- ・この項目は、インナー排出トレイ（オプション）が取り付けられていない場合に表示されます。

プリント設定
センタートレイのオフセット

設定項目	説 明
センタートレイのオフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。センタートレイのオフセット機能を設定します。 ・ [セットごとにずらす]（初期値） 部数単位でオフセットします。 ・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。 ・ [しない] オフセットしません。

[センタートレイ下段オフセット]

補足

- ・この項目は、インナー排出トレイ（オプション）が取り付けられていて、[インナー排出トレイ] が [あり] に設定されている場合に表示されます。インナー排出トレイの設定については、「[インナー排出トレイ]」（P.220）を参照してください。

プリント設定
センタートレイ下段オフセット

設定項目	説 明
センタートレイ下段オフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。センタートレイ下段のオフセット機能を設定します。 ・ [セットごとにずらす]（初期値） 部数単位でオフセットします。 ・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。 ・ [しない] オフセットしません。

[センタートレイ上段オフセット]

補足

- ・ この項目は、インナー排出トレイ（オプション）が取り付けられていて、[インナー排出トレイ]が[あり]に設定されている場合に表示されます。インナー排出トレイの設定については、「[インナー排出トレイ]」(P.220)を参照してください。

プリント設定
センタートレイ上段オフセット

設定項目	説 明
センタートレイ上段 オフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。センタートレイ上段のオフセット機能を設定します。 ・ [セットごとにずらす]（初期値） 部数単位でオフセットします。 ・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。 ・ [しない] オフセットしません。

[フィニッシャートレイのオフセット]

補足

- ・ この項目は、フィニッシャ（オプション）、または中とじフィニッシャ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

プリント設定
フィニッシャートレイのオフセット

設定項目	説 明
フィニッシャートレイ のオフセット	用紙を排出するときに、位置をずらして用紙を排出することを「オフセット」といいます。フィニッシャートレイのオフセット機能を設定します。 ・ [セットごとにずらす]（初期値） 部数単位でオフセットします。 ・ [ジョブごとにずらす] ジョブ単位でオフセットします。 ・ [しない] オフセットしません。

[ID 印字機能]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
ID 印字機能

設定項目	説 明
ID 印字機能	特定の位置に、ユーザー ID を印刷します。 ・ [しない] (初期値) ユーザー ID を印刷しません。 ・ [左上] ユーザー ID を、用紙の左上部分に印刷します。 ・ [右上] ユーザー ID を、用紙の右上部分に印刷します。 ・ [左下] ユーザー ID を、用紙の左下部分に印刷します。 ・ [右下] ユーザー ID を、用紙の右下部分に印刷します。

[奇数ページの両面]

プリント設定
奇数ページの両面

設定項目	説 明
奇数ページの両面	両面印刷時の、奇数ページ原稿の最終ページに対する印刷方法を設定します。 ・ [片面] (初期値) 片面分の最終ページを、片面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作をしないで印刷します。両面の印刷動作をしないため、高速に印刷できます。 ・ [両面] 最終ページは片面のみのデータですが、両面印刷時と同じく両面印刷を行うための給紙動作を行います。用紙に上下、または左右の区別がある用紙（穴あき用紙など）に印刷する場合は、印刷の向きをそろえることができます。

[未登録フォームへ印字]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定
未登録フォームへ印字

設定項目	説 明
未登録フォームへ印字	印刷時に指定されたフォームが未登録だった場合に、印刷を中止するか、データのみ印刷するかを設定します。 ・ [する (データのみ)] (初期値) ・ [しない]

[基本の用紙サイズ]

プリント設定
基本の用紙サイズ

設定項目	説 明
基本の用紙サイズ	各プリントモードの「用紙サイズ」の初期値を設定します。 ・ [A4] (初期値) ・ [8.5x11"]

[サイズ検知切り替え]

プリント設定
サイズ検知切り替え

設定項目	説 明
サイズ検知切り替え	定形サイズ原稿、および用紙を自動的に検知するときの、用紙サイズを設定します。[AB 系] (初期値)、[AB 系 (八開 / 十六開)]、[AB 系 (8 × 13" / 8 × 14")]、[インチ系]、[AB 系 (8 × 13")] から選択します。 自動検知できるサイズの組み合わせについては、次の表を参照してください。

■ 自動検知できるサイズ

用紙サイズグループ	AB 系 / AB 系 (八開 / 十六開)				AB 系 (8x13") / AB 系 (8x13"/8x14")			
	トレヤ1～4 (2トレヤモジュール)	トレヤ3～4 (タンデムトレヤモジュール)	トレヤ6	トレヤ5 (手差し)	トレヤ1～4 (2トレヤモジュール)	トレヤ3～4 (タンデムトレヤモジュール)	トレヤ6	トレヤ5 (手差し)
A6 	×	×	×	×	×	×	×	×
A5 	○	×	×	○	○	×	×	○
A5 	×	×	×	○	×	×	×	×
A4 	○	×	×	○	○	×	×	×
A4 	○	○	○	○	○	○	○	×
A3 	○	×	×	○	○	×	×	×
B6 	×	×	×	×	×	×	×	×
B6 	×	×	×	○	×	×	×	×
B5 	○	×	×	○	○	×	×	○
B5 	○	○	○	○	×	×	×	×
B4 	○	×	×	○	○	×	×	○

用紙サイズグループ	AB 系 / AB 系 (八開 / 十六開)				AB 系 (8x13") / AB 系 (8x13"/8x14")			
	トレー 1 ~ 4 (2 トレーモジュール)	トレー 3 ~ 4 (タンデム トレーモジュール)	トレー 6	トレー 5 (手差し)	トレー 1 ~ 4 (2 トレーモジュール)	トレー 3 ~ 4 (タンデム トレーモジュール)	トレー 6	トレー 5 (手差し)
セットする場所								
5.5x8.5" 	×	×	×	×	×	×	×	×
5.5x8.5" 	×	×	×	×	×	×	×	○
7.25x10.5" 	×	×	×	×	×	×	×	×
7.25x10.5" 	×	×	×	×	○	○	○	○
8x10" 	×	×	×	×	×	×	×	×
8x10" 	×	×	×	×	×	×	×	×
8.5x11" 	○	×	×	×	○	×	×	○
8.5x11" 	○	○	○	×	○	○	○	○
215x315mm 	×	×	×	×	×	×	×	×
8.5x13" 	○	×	×	×	○	×	×	○
8.5x14" 	○	×	×	×	○	×	×	○
11x15" 	×	×	×	×	×	×	×	×
11x17" 	○	×	×	×	○	×	×	○
表紙 A4 	×	×	×	×	×	×	×	×
表紙レター (9x11") 	×	×	×	×	×	×	×	×
十六開  (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×	×	×	×	×
十六開  (台湾 / 中国本土)	○	×	×	×	×	×	×	×
八開  (台湾 / 中国本土)	○	×	×	×	×	×	×	×
郵便はがき 	×	×	×	○	×	×	×	×
往復はがき 	×	×	×	×	×	×	×	×
Post Card (4x6") 	×	×	×	×	×	×	×	×
写真 2L (5x7") 	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒長形 3 号 	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒洋長形 3 号 	×	×	×	○	×	×	×	×
Commercial#10 	×	×	×	×	×	×	×	○
Monarch7.3/4 	×	×	×	×	×	×	×	○
封筒 DL 	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒角形 20 号 (C4) 	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒 ISO-C4 	×	×	×	×	×	×	×	×

用紙サイズグループ	AB 系 / AB 系 (八開 / 十六開)				AB 系 (8x13") / AB 系 (8x13"/8x14")			
	トレ11~4 (2トレ1モジュール)	トレ13~4 (タンデムトレ1モジュール)	トレ16	トレ15(手差し)	トレ11~4 (2トレ1モジュール)	トレ13~4 (タンデムトレ1モジュール)	トレ16	トレ15(手差し)
セットする場所								
封筒角形 6 号 (C5) 	×	×	×	×	×	×	×	×
封筒 ISO-C5 	×	×	×	×	×	×	×	○

用紙サイズグループ	インチ系			
	トレ11~4 (2トレ1モジュール)	トレ13~4 (タンデムトレ1モジュール)	トレ16	トレ15(手差し)
セットする場所				
A6 	×	×	×	×
A5 	×	×	×	×
A5 	×	×	×	×
A4 	○	×	×	×
A4 	○	○	○	×
A3 	○	×	×	×
B6 	×	×	×	×
B5 	○	×	×	○
B5 	×	×	×	×
B4 	○	×	×	○
5.5x8.5" 	○	×	×	○
5.5x8.5" 	×	×	×	○
7.25x10.5" 	×	×	×	×
7.25x10.5" 	○	○	○	○
8x10" 	×	×	×	×
8x10" 	×	×	×	×
8.5x11" 	○	×	×	○
8.5x11" 	○	○	○	○
215x315mm 	×	×	×	×
8.5x13" 	○	×	×	○

用紙サイズグループ	インチ系			
	トレ11~4 (2トレ1メモジュール)	トレ13~4 (タンデムトレ1メモジュール)	トレ16	トレ15(手差し)
セットする場所				
8.5x14" 	○	×	×	○
11x15" 	×	×	×	×
11x17" 	○	×	×	○
表紙 A4 	×	×	×	×
表紙レター (9x11") 	×	×	×	×
十六開  (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×
十六開  (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×
八開  (台湾 / 中国本土)	×	×	×	×
郵便はがき 	×	×	×	×
往復はがき 	×	×	×	×
Post Card (4x6") 	×	×	×	○
写真 2L (5x7") 	×	×	×	○
Post Card (6x9") 	×	×	×	○
封筒長形 3 号 	×	×	×	×
封筒洋長形 3 号 	×	×	×	×
Commercial#10 	×	×	×	○
Monarch7.3/4 	×	×	×	○
封筒 DL 	×	×	×	×
封筒角形 20 号 (C4) 	×	×	×	×
封筒 ISO-C4 	×	×	×	×
封筒角形 6 号 (C5) 	×	×	×	○
封筒 ISO-C5 	×	×	×	○

[OCR フォントのグリフ]

注記

- ・ この設定は NPDL モードでは使用できません。

プリント設定 OCR フォントのグリフ

設定項目	説 明
OCR フォントのグリフ	ART IV、ESC/P、または PCL エミュレーションモードでの OCR-B のグリフコード 0x5c を切り替えることができます。 ・ [バックスラッシュ] (初期値) ・ [円記号]

[メモリー設定] (参照 P. 253 の *2)

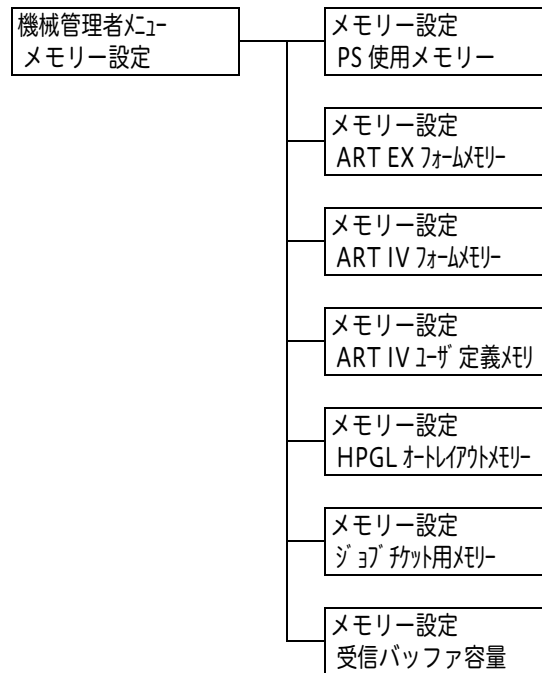
[メモリー設定] は、各インターフェイスのメモリーや、フォームメモリーの容量を変更します。

注記

- ・ メモリー容量を変更すると、メモリーがリセットされるので、各メモリー領域に格納されているデータは、すべて消去されます。
- ・ メモリーの全体量を超えた割り振りはできません。電源を入れたときに、設定値が搭載メモリー容量を超えた場合は、システムによって自動的に調整されます。
- ・ ポートを起動に設定したときにメモリーが不足すると、ポート状態が自動的に停止することがあります。この場合は、使っていないポートを停止するか、メモリーの割り当て容量を変更してください。ただし、パラレルポート、USB ポートは自動的に停止しません。
- ・ NPDL モードでは対応しません。

補足

- ・ メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Services で設定できます。
- ・ プrintページバッファは、実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファの容量は、直接変更できません。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。
解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。
実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、[機能設定リスト] で確認できます。また、CentreWare Internet Services を使っても確認できます。



設定項目	説 明
PS 使用メモリー	PostScript の使用メモリー容量を指定します。 55.00 ～ 128.00MB の間で、0.25MB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [55.00MB] (初期値) 補足 この項目は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
ART EX フォームメモリー	ART EX プリンタードライバ用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [128KB] (初期値) ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。 注記 メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
ART IV フォームメモリー	ART IV 用フォームのメモリー容量を指定します。 128 ～ 2048KB の間で、32KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [128KB] (初期値) ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合は、フォーム用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。 注記 メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。

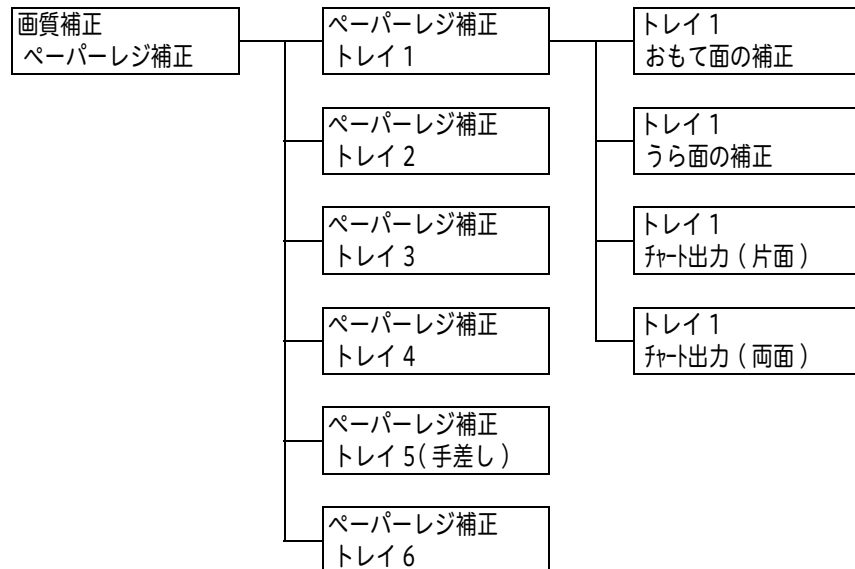
設定項目		説 明
ART IV ユーザ 定義メモリー		ART IV のユーザー定義で使うメモリー容量を指定します。 32 ～ 2048KB の間で、32KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [32KB] (初期値) 注記 ・ メモリーに格納されているデータは、本機の電源を入れ直すと消去されます。
HPGL オート レイアウトメモリー		HP-GL、HP-GL/2 オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。 64 ～ 5120KB の間で、32KB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [64KB] (初期値) ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合は、オートレイアウト用のメモリーはハードディスクが使用されます。容量は変更できません。ディスプレイには [ハードディスク] と表示されます。
ジョブチケット用メモリー		ジョブチケットに使用するメモリーの容量を指定します。 0.25 ～ 8.00MB の間で、0.25MB 単位でメモリー容量を設定します。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 ・ [0.25MB] (初期値)
受信バッファ容量 (つづく)	—	インターフェイスごとに、受信バッファ (コンピューターから送信されるデータを一時的に蓄えておく場所) のメモリー容量を設定します。LPD、IPP の場合は、スプール処理の有無、配置場所、メモリー容量をそれぞれ設定します。 受信バッファ容量は、使用状況と目的に応じて変更できます。受信バッファ容量を増やすと、各インターフェイスに対応するコンピューターの解放が早くなる場合があります。設定できる最大値はメモリーの空き容量によって変化します。 補足 ・ ポートが停止している場合は、対応する各項目は表示されません。 ・ コンピューターから送信されるデータ量によっては、メモリーの容量を増やしてもコンピューターの解放時間が変わらない場合があります。
	パラレル メモリー、 IPP メモリー、 USB メモリー、 Port9100 メモリー	64 ～ 1024KB の間で、32KB 単位にメモリー容量を設定します。初期値はパラレル、USB は [64KB]、そのほかは [256KB] です。 補足 ・ [IPP メモリー] は、ハードディスク (オプション) が取り付けられていない場合に表示されます。ハードディスクが取り付けられている場合は、[IPP スプール] が表示されます。 ・ パラレルメモリーは、パラレルインタフェースカード (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。

設定項目		説 明
受信バッファ容量 (つづき)	LPD スプール	・ [スプールしない] (初期値) スプール処理は行われません。あるコンピューターから LPD の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。 LPD 専用の受信バッファのメモリー容量を、1024 ～ 2048KB の間で 32KB 単位で設定します。初期値は [1024KB] です。 ・ [ハードディスクスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。この項目は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。 ・ [メモリスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、メモリーが使用されます。この候補値を選択したときは、スプール処理用の受信バッファのメモリー容量を、0.5 ～ 32.00MB の間で 0.25MB 単位で設定します。初期値は [1.00MB] です。なお、設定したメモリー容量よりも大きい印刷データは、受信できません。このようなときは、[ハードディスクスプール]、または [スプールしない] を選択してください。 注記 ・ ハードディスク (オプション) が取り付けられていて、[プリント順序] を [プリント受け付け順] に設定していると「ハードディスクスプール」以外は設定できません。 ・ LPR バイトカウントを無効にしている場合、スプールメモリーで設定されている容量より大きな容量の文書を送信すると、ジョブの送信が繰り返されてしまいます。この場合には、プリンタードライバのプロパティダイアログボックスで [ポート] タブを開いて、LPR バイトカウントを有効にするか、メモリスプールの容量を文書容量よりも大きい値に変更してください。
	IPP スプール	・ [スプールしない] (初期値) スプール処理は行われません。あるコンピューターからの IPP の印刷処理をしている間は、ほかのコンピューターからの同じインターフェイスでのデータを受信できません。IPP 専用の受信バッファのメモリー容量を、64 ～ 1024KB の間で 32KB 単位で設定します。初期値は [256KB] です。 ・ [ハードディスクスプール] スプール処理を行います。スプール処理用の受信バッファは、ハードディスクが使用されます。 補足 ・ [IPP スプール] は、ハードディスク (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。ハードディスクが取り付けられていない場合は、[IPP メモリー] が表示されます。

[画質補正]

[画質補正] は、印刷画質が悪いときに本機を調整します。

[ペーパーレジ補正]



補足

- ・トレイ 3、4、6 はオプションです。装着されていないトレイは表示されません。
- ・[おもて面の補正]、[うら面の補正]、[チャート出力(片面)]、[チャート出力(両面)] は、トレイ 1 ～トレイ 5 (手差し)、トレイ 6 の各々のトレイに対応して表示されます。
- ・ペーパーレジ補正については、「9.12 ペーパーレジを調整する」(P. 387) を参照してください。
- ・垂直方向 (リードレジ) の補正はトレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

設定項目	説 明
おもて面の補正	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正します。 ・ -2.0mm ～ +2.0mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.5mm 刻みで設定できます。
うら面の補正	うら面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正します。 ・ -2.0mm ～ +2.0mm の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、0.5mm 刻みで設定できます。
チャート出力 (片面)	おもて面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正するときに使用するチャートを出力します。 ・ 1 ～ 99 の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、1 刻みで設定できます。初期値は 1 部。
チャート出力 (両面)	うら面の垂直方向 (リードレジ)、水平方向 (サイドレジ) の印刷位置を補正するときに使用するチャートを出力します。 ・ 1 ～ 99 の間で設定します。プラス方向 (▲) またはマイナス方向 (▼) に、1 刻みで設定できます。初期値は 1 部。

[フィニッシャーの調整]

フィニッシャを使用する場合の設定をします。

[パンチユニットの設定]

フィニッシャーの調整
パンチユニットの設定

設定項目	説 明
パンチユニットの設定	パンチ穴の数を設定します。 ・ [2/4 穴] (初期値) パンチユニット 2/4 穴が取り付けられている場合に選択します。 2 穴の間隔は、80mm です。

[折りを補助する筋]

補足

・ この項目は、中とじフィニッシャ（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。

フィニッシャーの調整
折りを補助する筋

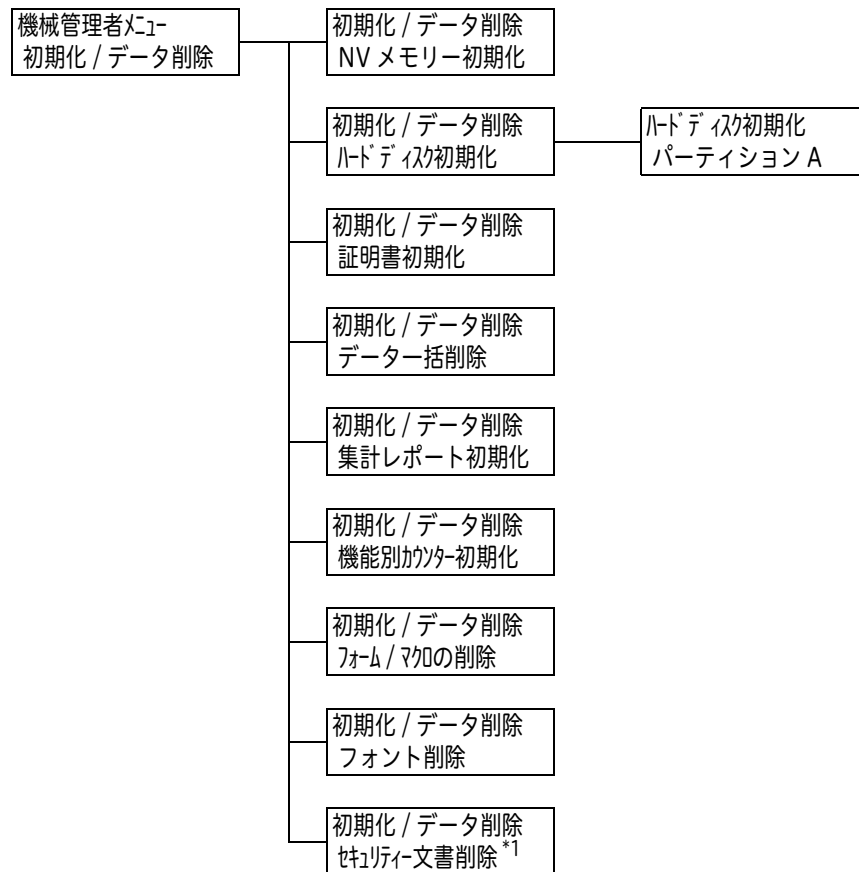
設定項目	説 明
折りを補助する筋	補助折り線の数を設定します。 ・ [付けない] 補助折り線を付けません。 ・ [片側 1 本] 補助折り線を 1 本付けます。 ・ [片側 2 本] 補助折り線を 2 本付けます。 ・ [片側 3 本] 補助折り線を 3 本付けます。

[初期化 / データ削除]

[初期化 / データ削除] では、NV メモリーに記憶されているプリンター設定値、ネットワークポート、ハードディスク（オプション）の初期化、および本機に登録されているフォームなどのデータを削除します。

補足

- ・ 初期化によってそれぞれの設定は、初期値に戻ります。



*1 セキュリティープリントを使用している場合は [セキュリティ文書削除] と表示されます。

設定項目	説 明
NV メモリー 初期化	NV メモリーを初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。 補足 ・ NV メモリーとは、電源を切っても本機の設定内容を保持できる不揮発性のメモリーのことです。
ハードディスク 初期化	ハードディスク（オプション）を初期化します。 初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データです。 補足 ・ ハードディスクを初期化しても、セキュリティープリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書やログは消去されません。 ・ この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。
証明書初期化	証明書を一括削除し、初期化します。 登録した証明書が破損し、使用できない場合に行ってください。

設定項目	説 明
データ一括削除	NV メモリー、ハードディスク（オプション）のデータを一括して初期化します。NV メモリーを初期化すると、各種項目の候補値は初期値に戻ります。また、ハードディスクを初期化すると、追加フォント、ART-EX、ART IV、ESC/P、PCL の各フォーム、ART IV ユーザー定義データ、セキュリティプリント文書、サンプルプリント文書、時刻指定プリント文書が消去されます。 注記 ハードディスクが装着されている場合、処理に時間がかかることがあります（約 1 時間以上）。処理中は、操作パネルのランプが点滅します。処理中は、電源を切らないようにしてください。
集計レポート初期化	集計レポートを初期化します。初期化すると、集計値が 0 になります。 補足 「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 348) を参照してください。
機能別カウンター初期化	機能別カウンターや稼働状況別時間カウンターなどを初期化します。初期化すると、カウンターの値が 0 になります。
フォーム / マクロの削除	登録されているフォーム / マクロを削除します。 [ART EX フォーム削除] ART-EX プリンタードライバー用フォームを削除します。 [ART IV フォーム削除] ART IV 用フォームを削除します。 [ESC/P フォーム削除] エミュレーションの ESC/P 用フォームを削除します。 [PCL マクロ削除] エミュレーションの PCL 用マクロを削除します。 補足 - 登録されているフォームがない場合は、[フォーム登録はありません] と表示されます。 - 登録されているマクロがない場合は、[マクロ登録はありません] と表示されます。
フォント削除	登録されているフォントを削除します。 [PCL フォント削除] エミュレーションの PCL 用フォントを削除します。 補足 - この項目は、ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合に表示されます。 - 登録されているフォントがない場合は、[フォント登録はありません] と表示されます。
セキュリティ文書削除	セキュリティプリントとして蓄積されている文書を削除します。 補足 - セキュリティプリントを使用している場合には [セキュリティ文書削除] の項目が表示されます。 - 文書がない場合は、[文書はありません] と表示されます。

[プリント言語の設定]

[プリント言語の設定] には、[NPDL]、[ESCP]、[HPGL]、[PDF]、[PCL]、[PostScript]、[XPS]、[XDW (DocuWorks)] のメニュー項目があります。

[NPDL]

このメニューで設定できる項目については、「10.4 NPDL モードメニューで設定できる項目」(P. 395) を参照してください。

[ESCP]

このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[HPGL]

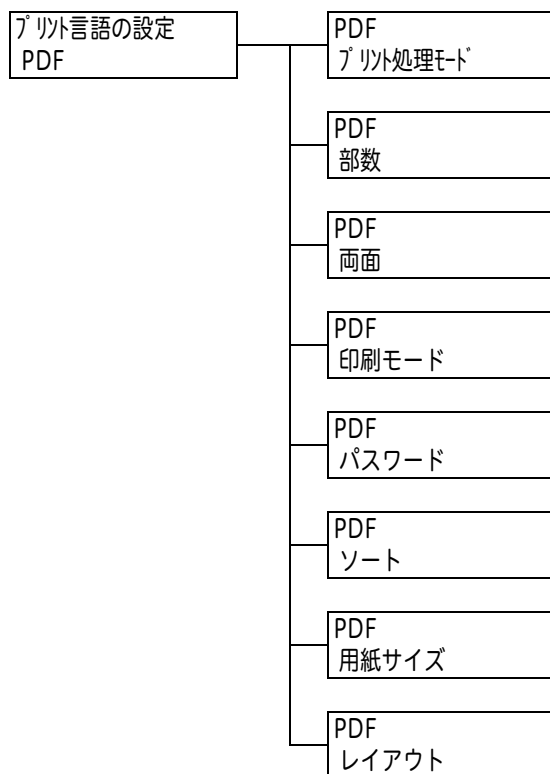
このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PDF]

PDF ファイルを直接プリンターに送信して印刷する場合の設定をします。

補足

- ・ [部数]、[両面]、[印刷モード]、[パスワード]、[ソート]、[用紙サイズ]、[レイアウト] の設定は、ContentsBridge Utility (富士ゼロックス株式会社製のソフトウェア) を使用しないで PDF ファイルを印刷する場合に有効になります。詳しくは、「5.1 PDF ファイルを直接印刷する」(P. 132) を参照してください。



設定項目	説 明
プリント処理モード	PDF ファイルの印刷処理モードを設定します。 ・ [PDF Bridge] (初期値) PDF ファイルを、本機搭載の PDF Bridge 機能を使用して処理します。 ・ [PS] PDF ファイルを PostScript の機能を使用して処理します。 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合にのみ表示されます。 ・ [PDF Bridge] を選択した場合と [PS] を選択した場合では、印刷結果が異なることがあります。
部数	印刷する部数を設定します。 ・ [1 部] ～ [999 部] (初期値: 1 部) 補足 ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
両面	両面印刷について設定します。 ・ [しない] (初期値) 両面印刷をしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。
印刷モード	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質で印刷します。 ・ [高画質] 印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。 ・ [高速] 速度を優先して印刷します。
パスワード	PDF ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する PDF ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 253 の *4 No.1、3、4、5)
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) して印刷するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
用紙サイズ	出力する用紙サイズを設定します。 ・ [自動] (初期値) 印刷する PDF ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。 ・ [A4] または [8.5 x 11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5 x 11"] のどちらかが表示されます。

設定項目	説 明
レイアウト	印刷するときのレイアウトについて設定します。 ・ [自動倍率] (初期値) 印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。 ・ [100% (等倍)] 印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。 ・ [カタログ (小冊子)] 印刷する PDF ファイルのページ構成に応じて、カタログのようにページを割り付けて両面印刷します。ただし、ページ構成によっては、カタログ印刷ができない場合があります。その場合は、[自動倍率] で印刷されます。また、[用紙サイズ] で [A4] を設定している場合は、A4 サイズの用紙に印刷されます。[用紙サイズ] で [自動] を設定している場合は、A3 または A4 サイズの用紙に印刷されます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5 × 11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5 × 11" になります。 補足 ・ この項目は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられていて、[プリント処理モード] で [PS] を選択している場合は表示されません。

[PCL]

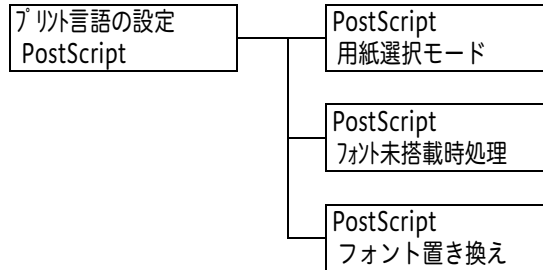
このメニューで設定できる項目については、本機に同梱されているメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

[PostScript]

PostScript に関する設定をします。

補足

- ・この項目は、PostScript ソフトウェア キット (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。



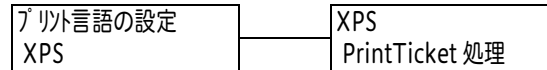
設定項目	説 明
用紙選択モード	PostScript の DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にするかどうかを設定します。 ・ [自動] (初期値) DMS (Deferred Media Selection) 機能を有効にします。 ・ [トレイから選択] DMS (Deferred Media Selection) 機能を無効にします。用紙トレイから選択されます。
フォント未搭載時 処理	ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合の処理を設定します。 ・ [フォントを置き換え] (初期値) ジョブで指定されたフォントを置き換えて印刷します。置き換えられるフォントは Courier です。置き換えられたフォントが日本語の場合は、正しく印刷されません。日本語フォントで印刷する場合は [フォント置き換え] で [ATCx を使用する] を選択してください。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えて印刷する機能です。 ・ [プリントを中止] 印刷を中止します。
フォント置き換え	ジョブで指定された PostScript フォントがなかった場合、フォントの置き換えで ATCx を使用するかどうかを設定します。 ATCx 機能は、ジョブで指定されたフォントが本機に搭載されていない日本語フォントの場合に、本機に搭載されている日本語の PostScript フォントに置き換えて印刷する機能です。 ・ [ATCx を使用する] (初期値) ・ [ATCx を使用しない]

[XPS]

XPS に関する設定をします。

補足

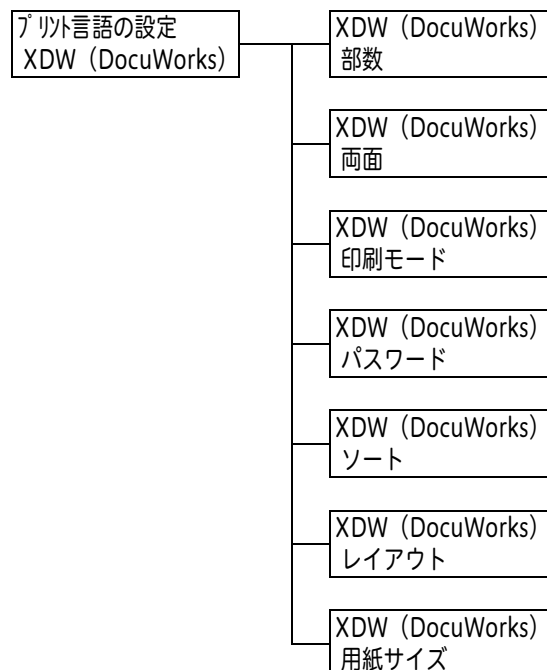
- ・ XPS とは、XML Paper Specification の略です。



設定項目	説 明
PrintTicket 処理	XPS PrintTicket^{*1} を読み込んだ時の本機の動作を設定します。 ・ [標準モード] (初期値) PrintTicket を処理します。本機用の他のプリンタードライバーからの出力に近い結果が得られます。 ・ [無効] PrintTicket 処理をしません。本機以外の機種用に生成された XPS 文書进行处理したときに PrintTicket エラーが発生するような場合に、本設定にすることで出力できるようになります。 ・ [準拠モード] 指示がない時の代替設定や、無効な指示があった場合は Microsoft の仕様に準拠した処理を行います。本機以外の機種で XPS 文書を出力した結果と合わせたい場合に設定します。 ^{*1} PrintTicket とは、Microsoft 社が規定した XPS 文書内部に格納されている印刷設定です。

[XDW (DocuWorks)]

DocuWorks ファイルを直接プリンターに送信して印刷する場合の設定をします。



設定項目	説明
部数	印刷する部数を設定します。 ・ [1 部] ～ [999 部] (初期値：1 部) 補足 ・ ファイルの送信に使用するプロトコルによっては、プロトコルでの設定が有効になり、ここでの設定が無効になることがあります。
両面	両面印刷について設定します。 ・ [しない] (初期値) 両面印刷をしません。 ・ [長辺とじ] 用紙の長い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。 ・ [短辺とじ] 用紙の短い辺でとじた場合に、正しい向きで読めるように両面印刷をします。
印刷モード	画質を優先するか、速度を優先するかを設定します。 ・ [高速] 速度を優先して印刷します。 ・ [標準] (初期値) 標準的な速度、画質で印刷します。 ・ [高画質] 印刷速度は遅くなりますが、画質を優先して、よりきれいに印刷します。
パスワード	DocuWorks ファイルにパスワードが設定されている場合は、あらかじめ、そのパスワードを設定しておきます。印刷する DocuWorks ファイルと、ここに設定されているパスワードが一致した場合にだけ印刷できます。 設定できる文字は、英数記号半角で 32 文字までです。 (参照 P. 253 の *4 No.1、3、4、5)
ソート	複数部数を、1 部ごとにソート (1、2、3...1、2、3...) して印刷するかどうかを設定します。 ・ [しない] (初期値) ・ [する]
レイアウト	印刷するときのレイアウトについて設定します。 ・ [自動倍率] (初期値) 印刷する用紙サイズに対して、もっとも拡大率が大きくなるように、自動的に倍率が設定されて印刷されます。 ・ [100% 等倍] 印刷する用紙サイズにかかわらず、等倍で印刷されます。 ・ [2 アップ] 1 枚の用紙に、2 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。2 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5 × 11" になります。 ・ [4 アップ] 1 枚の用紙に、4 ページ分の原稿を割り付けて印刷します。4 アップを選択した場合、用紙サイズは、[機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、A4 または 8.5 × 11" になります。 補足 ・ [自動倍率] や [2 アップ]、[4 アップ] では、付箋を含まない原稿サイズで倍率が設定されます。
用紙サイズ	出力する用紙サイズを設定します。 ・ [自動] (初期値) 印刷する DocuWorks ファイルの原稿サイズと設定に応じて、用紙サイズが自動的に判別されます。 ・ [A4] または [8.5 × 11"] [機械管理者メニュー] > [プリント設定] > [基本の用紙サイズ] の設定によって、[A4] または [8.5 × 11"] のどちらかが表示されます。

[言語切り替え]

メニュー
言語切り替え

設定項目	説 明
言語切り替え	操作パネルの表示言語を設定します。 ・ [日本語] (初期値) 日本語で表示します。 ・ [English] 英語で表示します。

補足

- ・ [English] に設定した場合、プリンタードライバーや弊社ソフトウェアは英語版を使用してください。

*1 [自動] 設定時、自動判別の結果が本機に実装されていないプリント言語だった場合や、対象になるプリント言語に該当しない場合、そのデータは消去されます。

*2 〈▼〉または〈▲〉ボタンで候補値を変更するときに、ボタンを押し続けると、連続的に表示を変えることができます。また、〈▼〉と〈▲〉ボタンを同時に押すと、初期値が表示されます。

*3 ダンププリントの各列は、次の項目が印刷されます。

Count	ジョブの先頭データからのバイト数が印刷されます。
16 進数表記コード	印刷データを 4 バイトごとに区切り、16 進表記形式で印刷されます。
ASCII コード	印刷データを JIS X0201 の 8 単位符号を使用して印刷されます。JIS X0201 で定義されていない文字は、UD と印刷されません。

*4 文字列一覧

No.	文字種	文字
1	空白	スペース
2	半角カナ	アイウエオカキクコサシスセソタチツテナニネノヒフホマミムメモヤユヨ ラリルロワヅン*
3	アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
4	数字	0123456789
5	記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{ }

*5 ・ [有効] の設定時、プリントモード指定が [HexDump] に設定されている場合、PJL コマンドも [HexDump] で出力されます。

・ PJL コマンドで本機に実装されていないプリント言語が指定された場合、データは消去されます。

*6 WSD は、Web Services on Devices の略称です。

8 困ったときには

本機の使用中にトラブルが発生し、どのように対処したらよいかわからないときには、まず、「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)～「8.8 ネットワーク関連のトラブル」(P. 324)の症状の中に該当するものがないかを探してください。

該当する項目があったら、「処置」の説明を参照して対処してください。

該当する項目がない、または該当する処置をしても改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。にご連絡ください。

8.1 紙づまりの処置

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。操作パネルの〈エラー〉ランプが点灯して、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージに表示されている紙づまりの位置を操作パネルの左下にある概観図で確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。

紙づまりの処置が終了すると、自動的に用紙が詰まる前の状態から印刷が再開されます。

概観図の表示	メッセージに表示されている紙づまりの位置	紙づまりの処置	参照ページ
A	カバー A	左側面上部カバー [A] 内での紙づまり	P. 255
B	カバー B	左側面下部カバー [B] 内での紙づまり	P. 257
C	カバー C	左側面下部カバー [C] 内での紙づまり	P. 258
D	カバー D	左側面上部カバー [D] 内での紙づまり	P. 259
E	カバー E	左側面最上部カバー [E] 内での紙づまり	P. 260
1～4	トレイ 1～4	トレイ 1～4 (トレイ 3、4 は 2 トレイモジュール) での紙づまり	P. 261
－	トレイ 3	トレイ 3 (タンデムトレイモジュール) での紙づまり	P. 261
－	トレイ 4	トレイ 4 (タンデムトレイモジュール) での紙づまり	P. 262
5	トレイ 5 (手差し)	トレイ 5 (手差し) での紙づまり	P. 263
－	大容量トレイモジュール / トレイ 6	トレイ 6 での紙づまり	P. 263
－	フィニッシャー / センタートレイ	フィニッシャー接続時のセンタートレイでの紙づまり	P. 266
F	フィニッシャー / カバー F	フィニッシャー接続部のカバー F 内での紙づまり	P. 266
－	フィニッシャー / [3a]	フィニッシャー内部 [3a] での紙づまり	P. 267
－	フィニッシャー / [3a] / [3b]	フィニッシャー内部 [3a] / [3b] での紙づまり	P. 268
－	フィニッシャー / [3c]	フィニッシャー内部 [3c] での紙づまり	P. 269
－	フィニッシャー / [3d]	フィニッシャー内部 [3d] での紙づまり	P. 270
		フィニッシャー内部 [3d] での紙づまり (排出口から用紙が出ている場合)	P. 270

概観図の表示	メッセージに表示されている紙づまりの位置	紙づまりの処置	参照ページ
－	フィニッシャー / [4]	フィニッシャ内部 [4] での紙づまり	P. 271
－	フィニッシャー / [4a]	フィニッシャ内部 [4a] での紙づまり	P. 271

⚠ 警告

- ・プリンター内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻きついているときは無理にとらないでください。ケガややけどの原因となる恐れがあります。ただちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

- ・紙づまりが発生したとき、紙づまり位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。
- ・紙片が本機内に残っていると、紙づまりの表示は消えません。
- ・紙づまりの処置をするときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

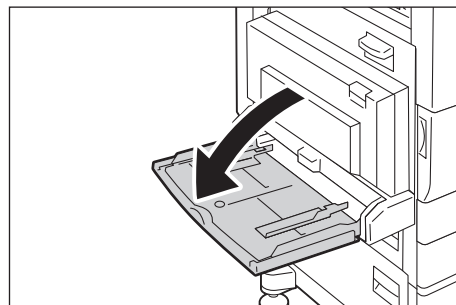
本体の左側面上部カバー [A] での紙づまり

本体の左側面上部のカバー [A] 内で発生した紙づまりの処置方法について説明します。ディスプレイに表示されるメッセージで、どちらのレバーを使用するかを確認してください。

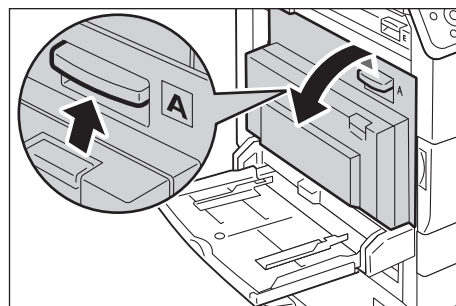
- ・「緑のレバー [A1] を使う場合」(P.255)
- ・「緑のレバー [A2] を使う場合」(P.256)

緑のレバー [A1] を使う場合

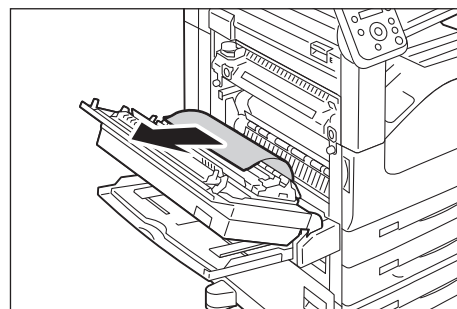
1. 手差しトレイを開けます。



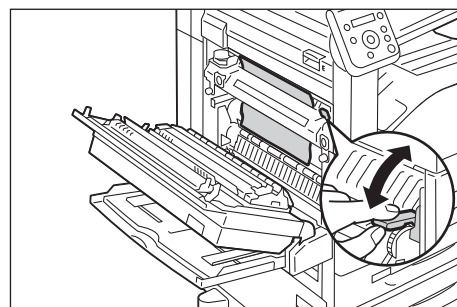
2. カバー [A] のレバーを押し上げて、カバー [A] を開けます。



3. 詰まっている用紙が定着部に達していない場合は、詰まっている用紙を取り除きます。手順 6 に進みます。詰まっている用紙が定着部に達している場合は手順 4 に進みます。



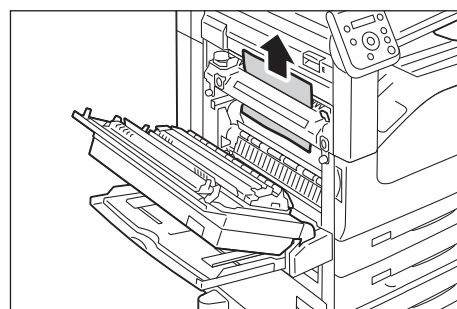
4. 緑のレバー [A1] を矢印の方向に繰り返し押し下げて、上方に用紙を送り出します。



5. 矢印の方向に用紙を取り除きます。

補足

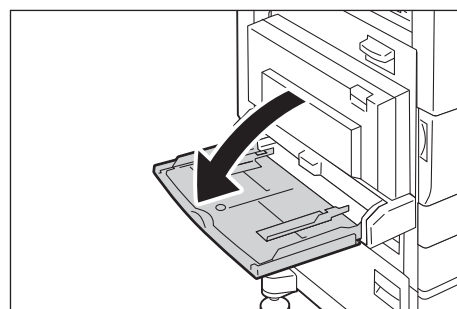
- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



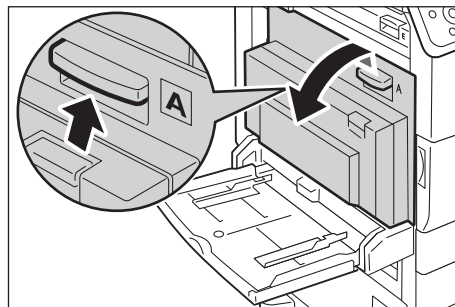
6. カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、手差しトレイを上げます。

緑のレバー [A2] を使う場合

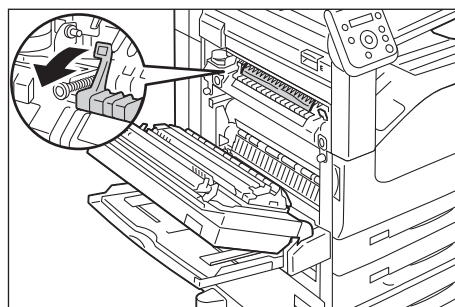
1. 手差しトレイを開けます。



2. カバー [A] のレバーを押し上げて、カバー [A] を開けます。



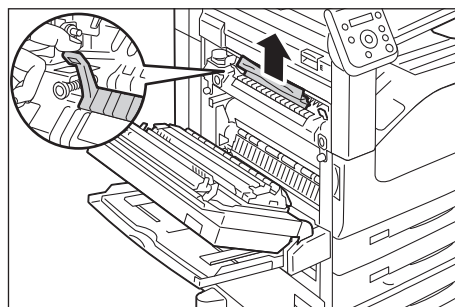
3. 定着部に用紙が詰まっているときは、緑のレバー [A2] を矢印の方向に下げて、定着部のカバーを開けます。



4. 詰まった用紙が定着部の中にある場合は、緑のレバー [A2] を押さえたままゆっくりと引いて取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

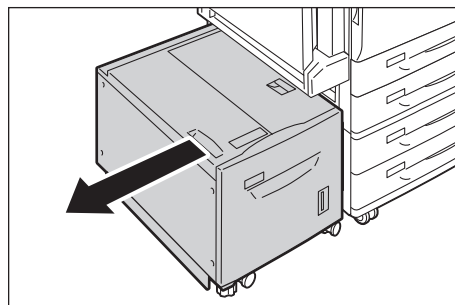


5. カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、手差しトレイを上げます。

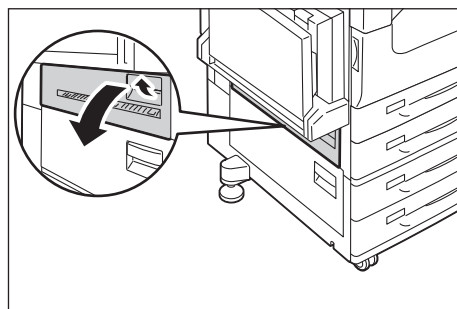
左側面下部カバー [B] での紙づまり

本体の左側面下部のカバー [B] 内で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙トレイ 6 (大容量トレイモジュール) が装着されている場合は、トレイの上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。



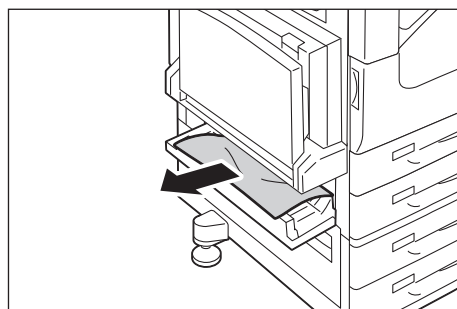
2. カバー [B] のレバーを押し上げ、カバー [B] を開けます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 上部の見えにくい所に用紙が詰まっている場合があります。よく確認してください。
- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

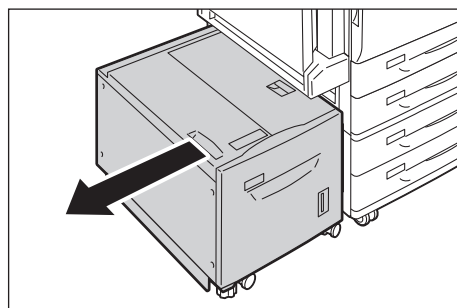


4. カバー [B] の中央部を押して、しっかり閉じます。
5. 用紙トレイ 6 (大容量トレイモジュール) が装着されていた場合は、ゆっくり元に戻します。

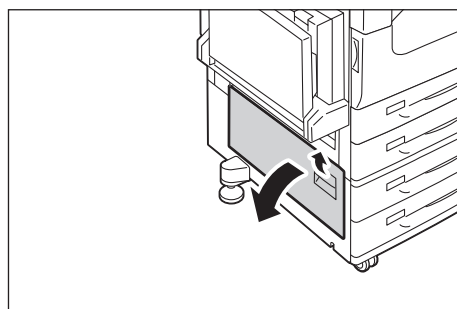
本体の左側面下部カバー [C] での紙づまり

本体の左側面下部のカバー内 [C] で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙トレイ 6 (大容量トレイモジュール) が装着されている場合は、トレイの上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。



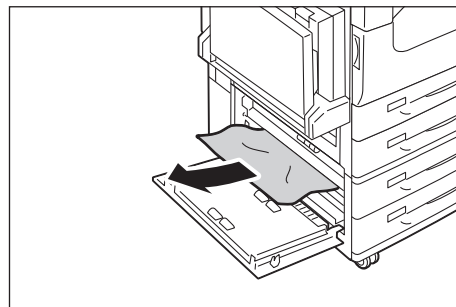
2. カバー [C] のレバーを押し上げ、カバー [C] を開けます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 上部の見えにくい所に用紙が詰まっている場合があります。よく確認してください。
- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

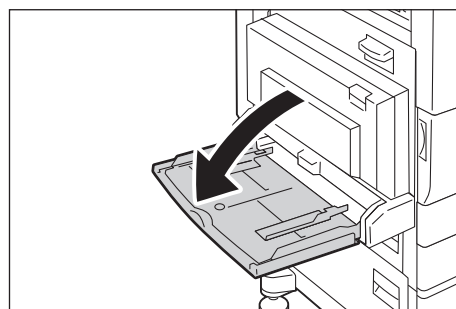


4. カバー [C] をゆっくりと閉じます。
5. 用紙トレイ 6 (大容量トレイモジュール) が装着されていた場合は、ゆっくり元に戻します。

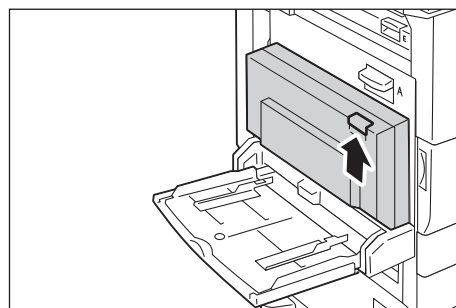
本体の左側面上部カバー [D] での紙づまり

本体の左側面上部カバー [D] (両面ユニット部) で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 手差しトレイを開けます。



2. カバー [D] のレバーを押し上げて、カバー [D] を開けます。

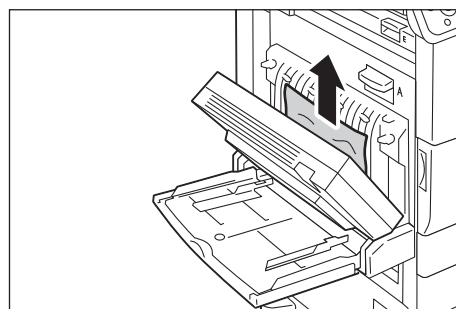


3. 詰まった用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

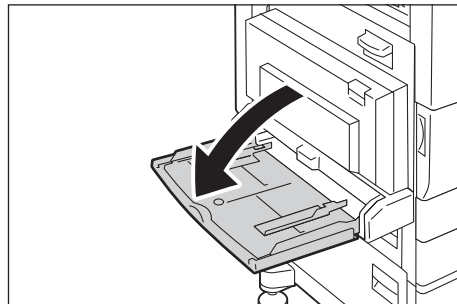
4. カバー [D] を閉じ、手差しトレイを閉じます。



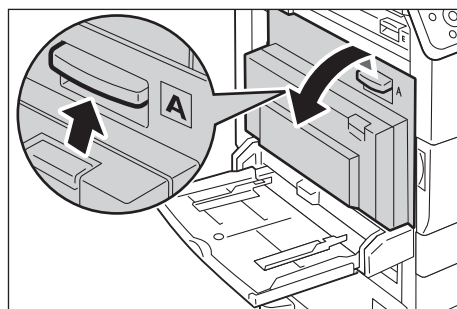
左側面最上部カバー [E] での紙づまり

本体の左側面最上部のカバー [E] 内で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

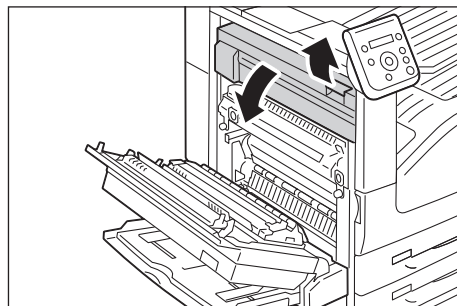
1. 手差しトレイを開けます。



2. カバー [A] のレバーを押し上げて、カバー [A] を開けます。



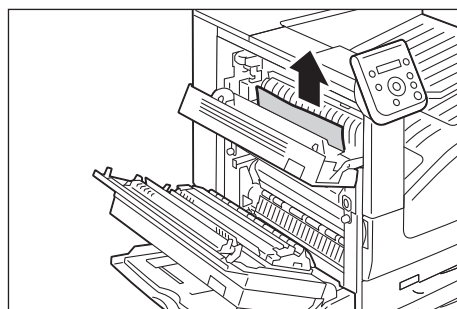
3. カバー [E] のレバーを押し上げて、カバー [E] を開けます。



4. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



5. カバー [E] の中央部を押して、しっかり閉じます。
6. カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、手差しトレイを上げます。

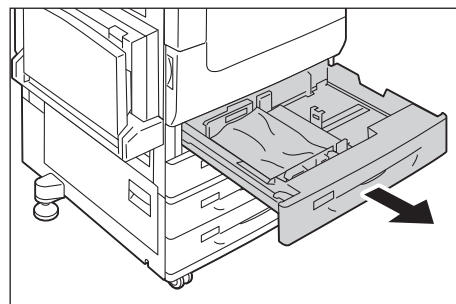
用紙トレイ 1 ～ 2、3 ～ 4（2トレイモジュール装着時）での紙づまり

用紙トレイ 1、2 および 2トレイモジュール（オプション）の用紙トレイ 3、4 で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。

注記

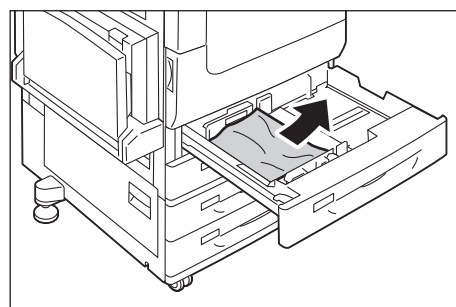
- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 奥に突き当たる場所まで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

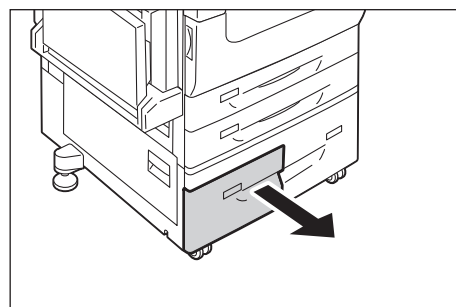
用紙トレイ 3 での紙づまり（タンデムトレイモジュール装着時）

タンデムトレイモジュール（オプション）の用紙トレイ 3 で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙が詰まっている用紙トレイを引き出します。

注記

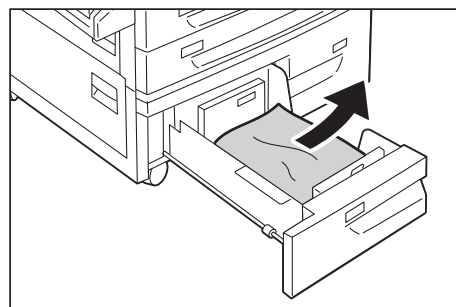
- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 奥に突き当たるまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

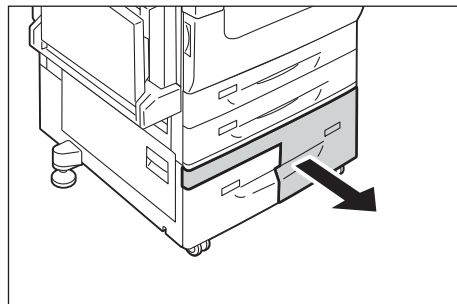
用紙トレイ 4 での紙づまり（タンデムトレイモジュール装着時）

タンデムトレイモジュール（オプション）の用紙トレイ 4 で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

1. 用紙トレイ 4 を引き出します。

注記

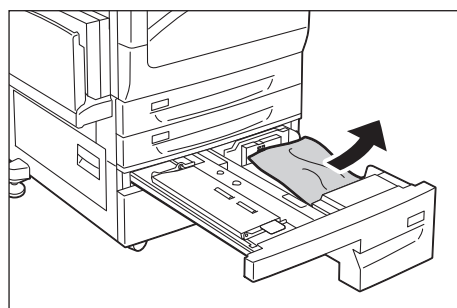
- ・ 紙づまりの位置を確認しないで用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、ディスプレイで紙づまりの位置を確認してから処置をしてください。



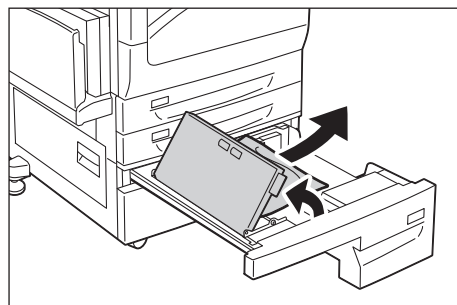
2. 詰まっている用紙を取り除きます。

注記

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 用紙搬送部に用紙が詰まっている場合は、中のカバーを開けて用紙を取り除きます。



4. 奥に突き当たるまで、トレイをゆっくりと押し込みます。

手差しトレイでの紙づまり

手差しトレイで発生した紙づまりの処置方法について説明します。

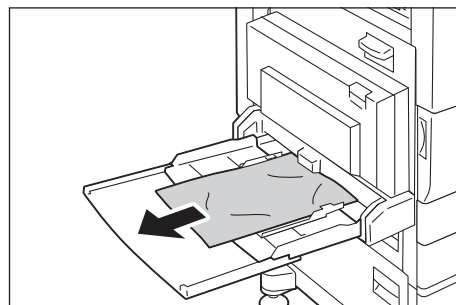
1. 手差しトレイから、セットしてある用紙のすべてを取り除きます。

注記

- ・用紙を複数枚セットしていたときは、いったんすべての用紙を取り出してください。

補足

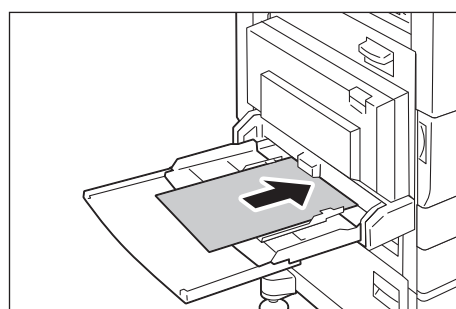
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



2. 取り出した用紙の四隅をそろえます。
3. プリントしたい面を下にして、用紙先端を差し込み口に軽く突き当たるまで入れます。

補足

- ・用紙上限線（図の「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりや故障の原因になります。



用紙トレイ 6（大容量トレイモジュール）での紙づまり

オプションの用紙トレイ 6（大容量トレイモジュール）で発生した紙づまりの処置方法について説明します。

ここでは、次の箇所で発生した紙づまりの処置方法について説明しています。

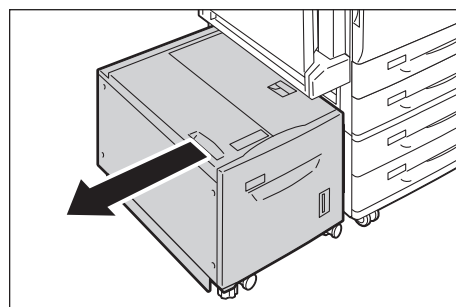
- ・「排出口で詰まった場合」(P.263)
- ・「上部カバー内で詰まった場合」(P.264)
- ・「用紙トレイ 6（大容量トレイモジュール）内で詰まった場合」(P.265)

補足

- ・用紙が詰まる箇所によって処置方法が異なります。表示されたメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

排出口で詰まった場合

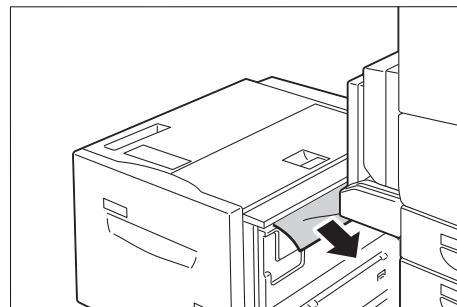
1. 用紙トレイ 6 の上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。



- 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

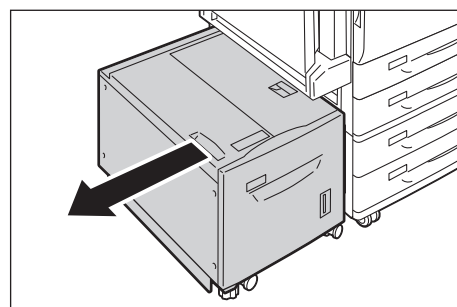
- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



- 用紙トレイ 6 をゆっくりと元に戻します。

上部カバー内で詰まった場合

- 用紙トレイ 6 の上部左側にある取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくりと移動します。

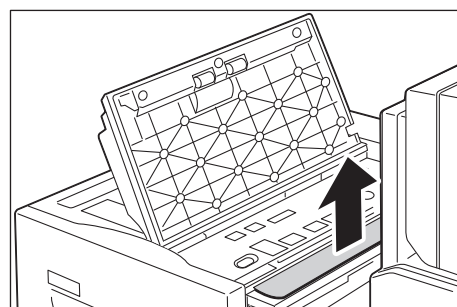


- 用紙トレイ 6 の上部カバーを開けます。

- 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



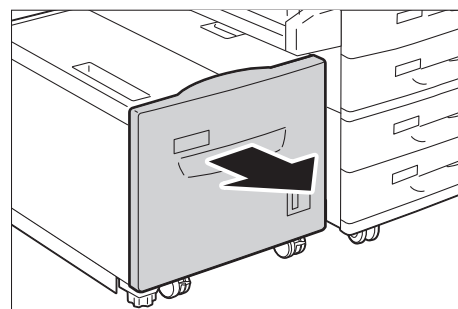
- 用紙トレイ 6 の上部カバーを閉じます。
- 用紙トレイ 6 をゆっくりと元に戻します。

用紙トレイ 6（大容量トレイモジュール）内で詰まった場合

1. 用紙トレイ 6 を、手前に止まるまで引き出します。

⚠ 注意

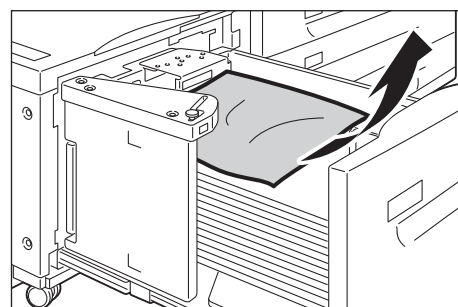
- ・用紙トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。トレイを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



3. 奥に突き当たるところまで、用紙トレイをゆっくりと押し込みます。

フィニッシャ、中とじフィニッシャでの紙づまり

オプションのフィニッシャ、または中とじフィニッシャを装着している場合に、フィニッシャ内部で発生した紙づまりの処置について説明します。

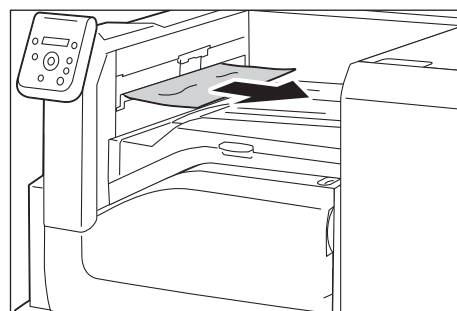
- ・「センタートレイでの紙づまり」(P.266)
- ・「フィニッシャ接続部（カバー [F]）での紙づまり」(P.266)
- ・「レバー「3a」での紙づまり」(P.267)
- ・「レバー「3a」での紙づまり（ノブ「3b」を使う場合）」(P.268)
- ・「レバー「3c」での紙づまり」(P.269)
- ・「レバー「3d」での紙づまり」(P.270)
- ・「レバー「3d」での紙づまり（排出口から用紙が出ている場合）」(P.270)
- ・「中とじユニット「4」での紙づまり（中とじフィニッシャのみ）」(P.271)
- ・「製本トレイ「4a」での紙づまり（中とじフィニッシャのみ）」(P.271)

補足

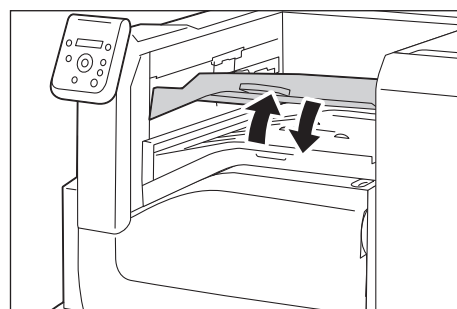
- ・用紙が詰まる箇所によって処置方法が異なります。ディスプレイに表示されたメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

センタートレイでの紙づまり

1. センタートレイの排出口に用紙があれば、右方向に用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。

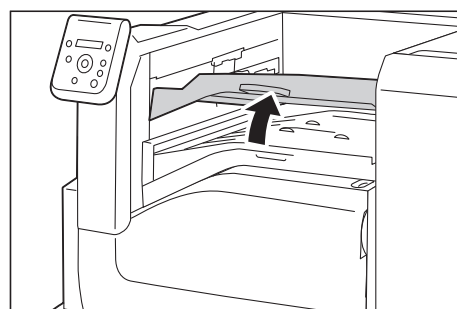


2. フィニッシャ接続部の上面カバー [F] を、1 度開けてから閉じます。

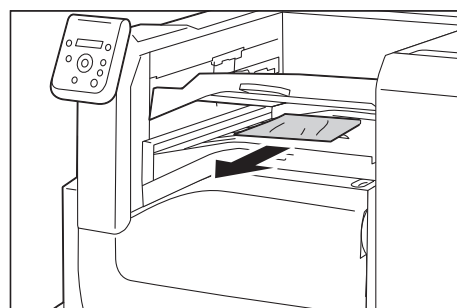


フィニッシャ接続部（カバー [F]）での紙づまり

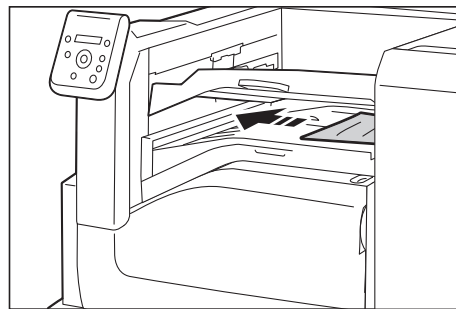
1. フィニッシャ接続部の上面カバー [F] を開けます。



2. 用紙があれば取り除きます。



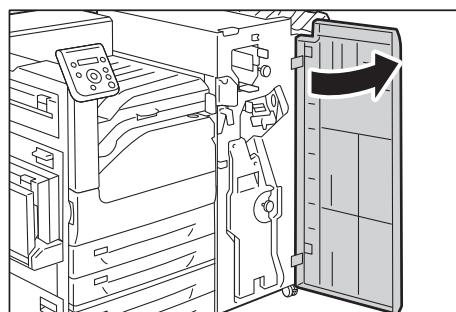
3. 用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。



4. フィニッシャ接続部の上面カバー [F] を閉じます。

レバー「3a」での紙づまり

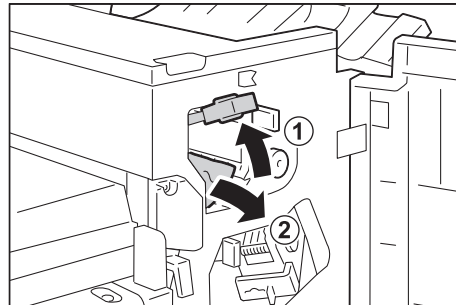
1. フィニッシャのフロントカバーを開けます。



2. レバー「3a」を上方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



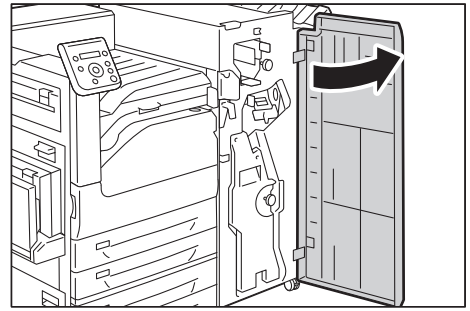
3. レバー「3a」を元に戻します。
4. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3a」での紙づまり（ノブ「3b」を使う場合）

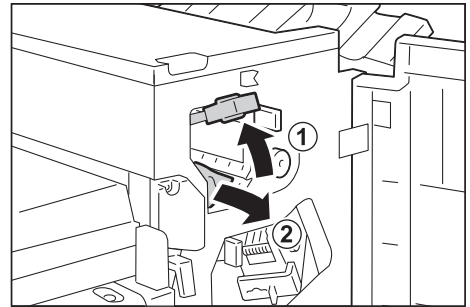
1. フィニッシャのフロントカバーを開けます。



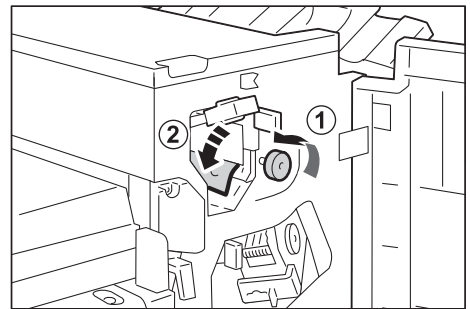
2. レバー「3a」を上方向に開いて (①)、詰まっている用紙を取り除きます (②)。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



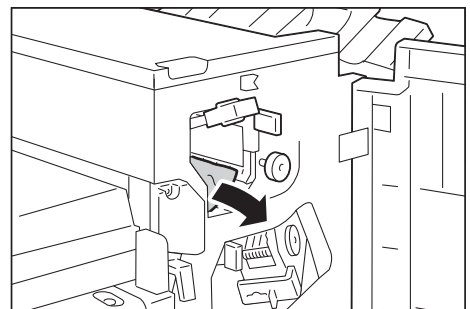
3. ノブ「3b」を左方向に回して (①)、詰まっている用紙を送り出します (②)。



4. 用紙をゆっくり引き抜き、取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



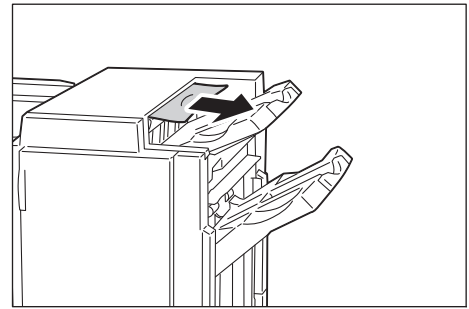
5. レバー「3a」を元に戻します。
6. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

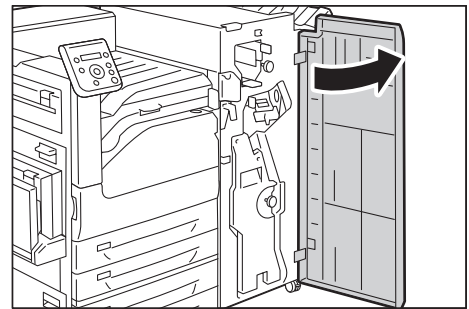
- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3c」での紙づまり

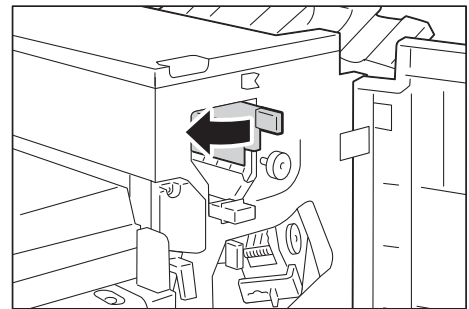
1. 排出トレイの排出口から用紙が出ている場合は、用紙をゆっくり引き抜いて、取り除きます。取り除けない場合、または排出口から用紙が出ていない場合は、手順2に進みます。



2. フィニッシャのフロントカバーを開けます。



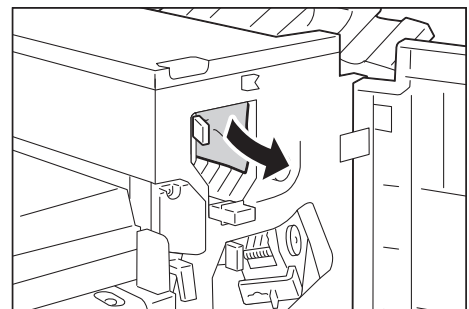
3. レバー「3c」を左方向に開きます。



4. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



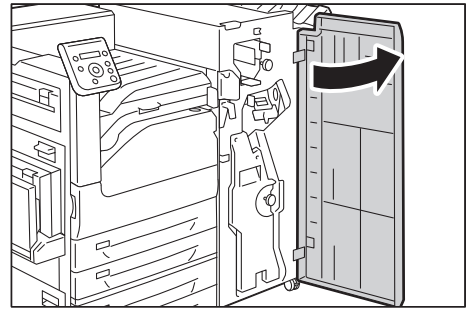
5. レバー「3c」を元に戻します。
6. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

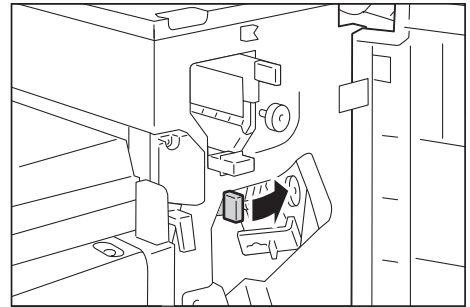
- ・フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3d」での紙づまり

1. フィニッシャのフロントカバーを開けます。



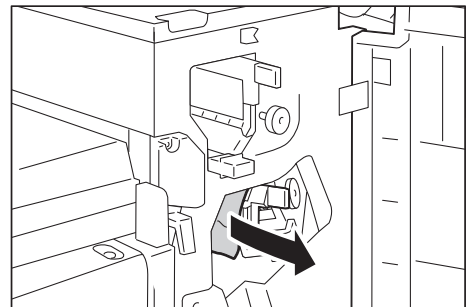
2. レバー「3d」を右方向に開きます。



3. 詰まっている用紙を取り除きます。

補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



4. レバー「3d」を元に戻します。

5. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

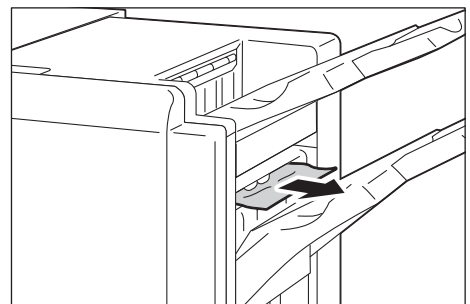
- ・フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

レバー「3d」での紙づまり（排出口から用紙が出ている場合）

1. 詰まっている用紙を、右方向にゆっくり引き抜いて、取り除きます。

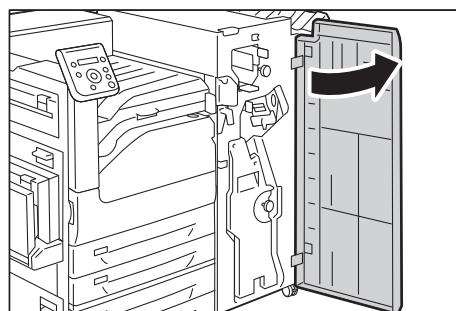
補足

- ・用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。

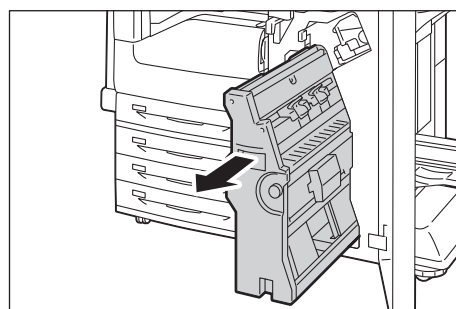


中とじユニット「4」での紙づまり（中とじフィニッシャのみ）

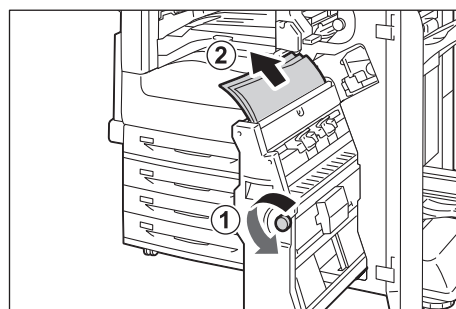
1. フィニッシャのフロントカバーを開けます。



2. 中とじユニット「4」を引き出します。



3. ノブ「4a」を左方向に回して (①)、すべての用紙を取り除きます (②)。



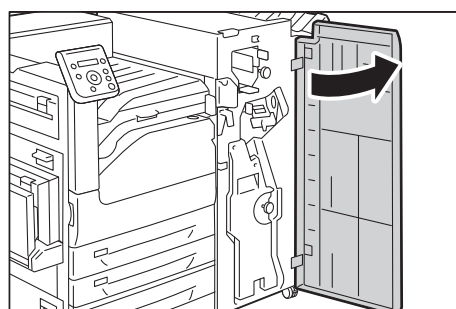
4. 中とじユニット「4」を元に戻します。
5. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

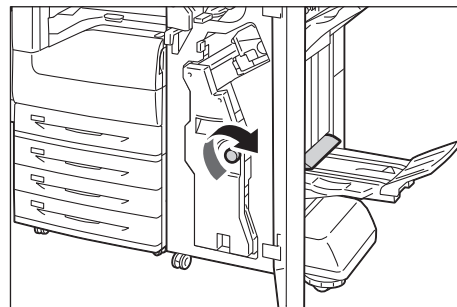
- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いてい
ると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

製本トレイ「4a」での紙づまり（中とじフィニッシャのみ）

1. フィニッシャのフロントカバーを開けます。



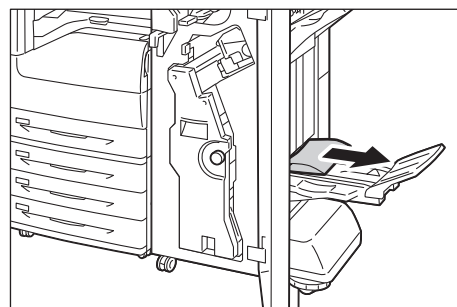
2. ノブ「4a」を右方向に回して、用紙を製本トレイに送り出します。



3. 用紙を取り除きます。

補足

- ・ 用紙が破れた場合、紙片が残っていないかを確認してください。



4. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

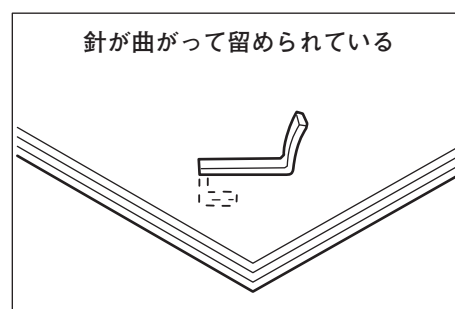
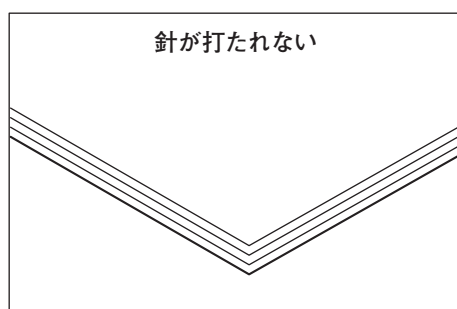
8.2 ホチキスの針づまりの処置

フィニッシャ（オプション）を装着して、ホチキスを利用しているときに、針づまりが発生する場合があります。針づまりが発生したときは、メッセージを確認して、次のページの手順に従って処置をしてください。

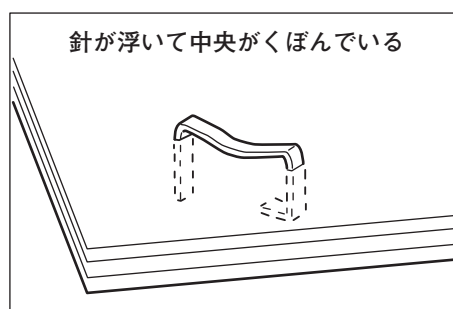
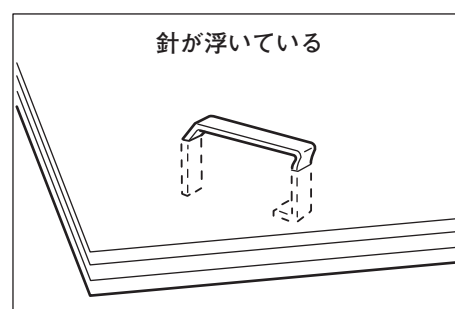
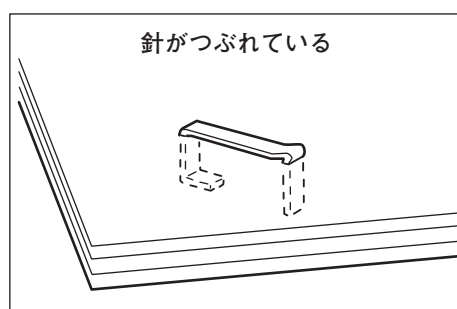
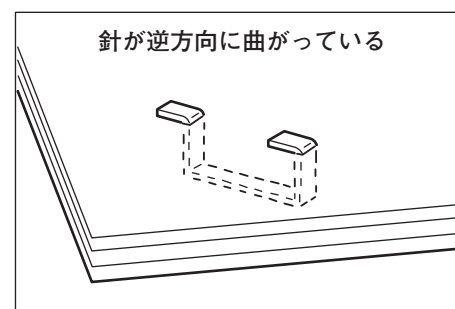
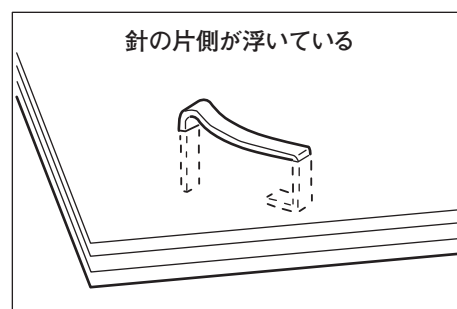
また、針が打たれなかったり、針が曲がって留められたりする場合も、手順に従って針づまりの処置をしてください。処置をしても改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。にご連絡ください。

注記

- 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。
- ホチキスが正しく留まっても、排出された用紙の取り扱いによっては、針の先端が用紙から離れることがあります。



下図のように針が打たれているときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。



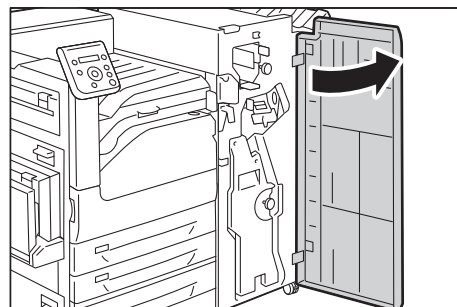
平とじホチキスカートリッジの針づまり (フィニッシャ、中とじフィニッシャ装着時)

オプションのフィニッシャ、または中とじフィニッシャを装着している場合の、平とじホチキスカートリッジの針づまり処置について説明します。

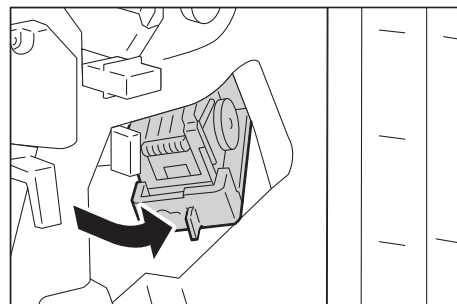
⚠ 警告

- 詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャのフロントカバーを開けます。



2. ホチキスカートリッジホルダーのレバー「R1」を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。



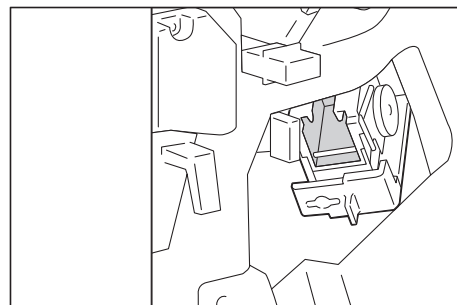
3. オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。

補足

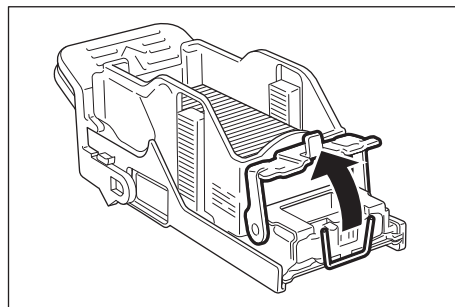
- ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。



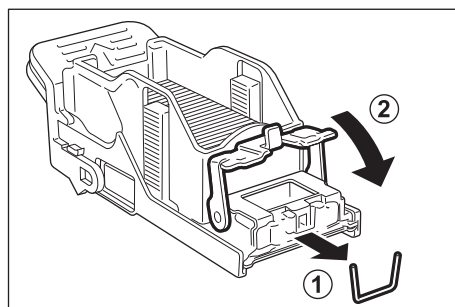
4. ホチキスカートリッジを取り出したあと、フィニッシャ内部に針がないか確認します。



5. ホチキスカートリッジの金属部分を押し上げます。



6. 詰まっているホチキス針を取り除き (①)、手順 5 で押し上げた金属部分を元に戻します (②)。



7. ホチキスカートリッジのオレンジ色のレバーを持って、元の位置に戻し、カチッと音がするまで押し込みます。



8. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

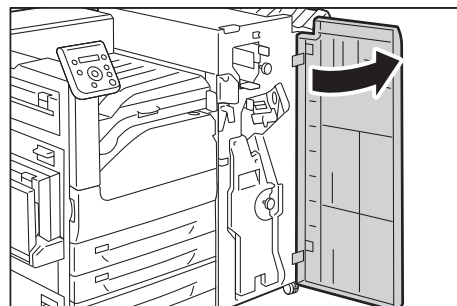
- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

上記の処置をしても針が取り除けないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

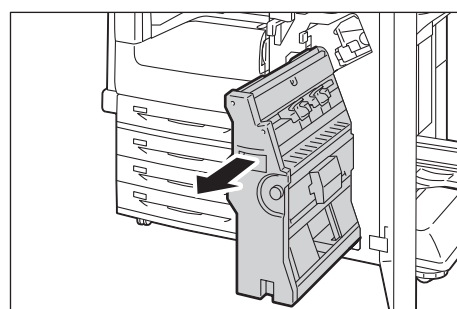
中とじホチキスカートリッジの針づまり（中とじフィニッシャ装着時）

オプションの中とじフィニッシャを装着している場合の、中とじホチキスカートリッジの針づまりの処置について説明します。

1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャのフロントカバーを開けます。



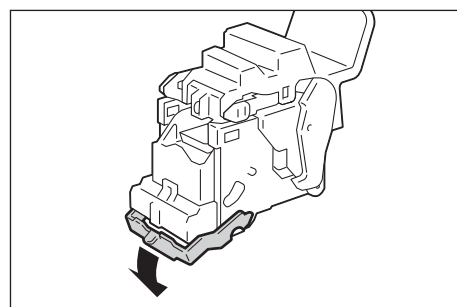
2. 中とじユニットを引き出します。



3. 中とじホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方方向に倒してから、上に引いて取り出します。



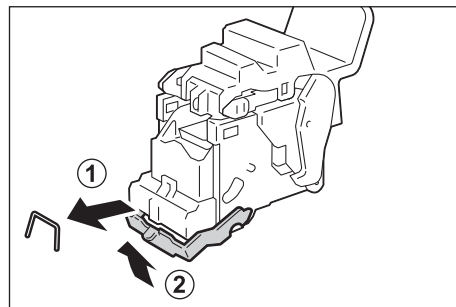
4. ホチキスカートリッジの金属部分を押し下げます。



5. 詰まっているホチキス針を取り除き (①)、手順 4 で押し下げた金属部分を元に戻します (②)。

⚠ 注意

- ・ 詰まったホチキス針を取り除くときは、指などにケガをしないように十分にご注意ください。



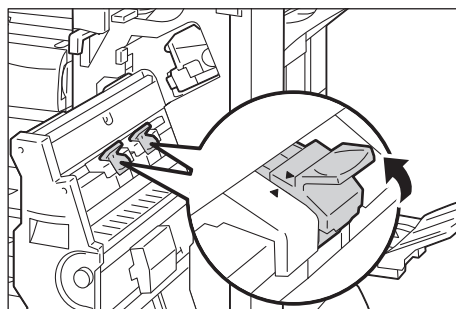
6. 中とじホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



7. 軽く押し上げて、カチッと音がするのを確認します。

補足

- ・ 中とじホチキスカートリッジの (▶) と中とじユニットの (◀) が合うように戻してください。



8. 中とじユニットを元の位置にもどします。
9. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

8.3 電源、異常音など、機械本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	本機の主電源または電源が切れていませんか？ 主電源の〈 〉側および電源スイッチを押して、電源を入れてください。
	電源コードが抜けている、またはゆるんでいませんか？ 本機の電源および主電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとで、本機の主電源および電源を入れてください。
	正しい電圧のコンセントに接続していますか？ 本機は、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに、単独で接続してください。
パネルに何も表示されない	節電モードに入っている可能性があります。操作パネルの〈節電〉ボタンを押して、節電モードを解除してください。 節電モードが解除できない場合は、電源コードがきちんと差し込まれていることを確認し、電源を入れ直します。 それでも改善されない場合は、機械の故障かもしれません。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
異常な音がする	本機の設置場所は、水平ですか？ 安定した平面の上に移動してください。
	トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機内に異物が入っていませんか？ 主電源および電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
プリンター内部に結露が発生した	操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたたり、約 1 時間放置し、機械内部に水滴がない（ローラー、金属部分など）ことを十分確認したうえでお使いください。 参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」（P. 207）
節電モードに移行しない	次のようなときには、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 ・操作パネルで何らかの操作をしているとき ・トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなどの消耗品のうちいずれか 1 つでも交換メッセージが表示されているとき ・定期交換部品の交換メッセージが表示されているとき ・紙づまり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき ・故障などによりエラーが発生しているとき

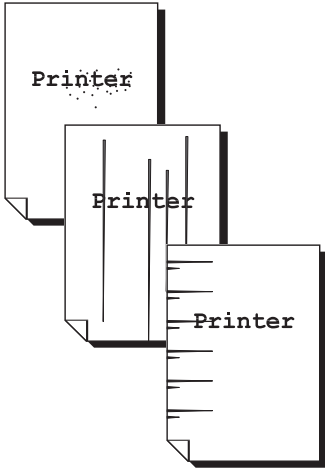
8.4 印刷が正しくできないトラブル

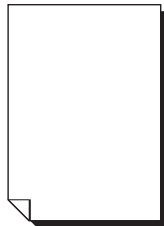
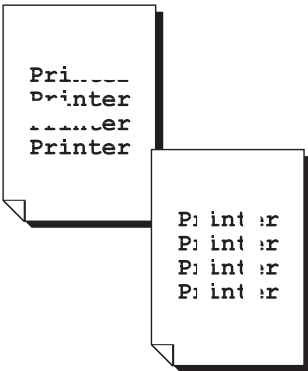
症状	原因 / 処置
〈エラー〉ランプが点滅している	お客様自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留めたうえで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 参照 ・「主なエラーメッセージ (50 音順)」(P. 287) ・「エラーコード」(P. 297)
〈エラー〉ランプが点灯している	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていませんか？ 操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。 参照 ・「主なエラーメッセージ (50 音順)」(P. 287) ・「エラーコード」(P. 297)
印刷を指示したのに〈プリント可〉ランプが点滅、点灯しない	インターフェイスクーブルが抜けていませんか？ いったん電源を切り、インターフェイスクーブルの接続を確認してください。
	本機がオフライン状態、またはメニューを設定している状態になっていませんか？ オフライン状態の場合は〈オンライン〉ボタンを、メニュー画面が表示されているときは〈プリントメニュー〉ボタンを押して、解除してください。
	使用するプロトコルが正しく設定されていますか？ 使用するポートが起動されているかを確認してください。また、CentreWare Internet Services でプロトコルが正しく設定されているかを確認してください。 参照 ・「[[ネットワーク / ポート設定]]」(P. 186) ・CentreWare Internet Services のヘルプ
	コンピューターの環境が正しく設定されていますか？ プリンタードライバーなどコンピューターの環境を確認してください。
〈プリント可〉ランプが点灯、点滅したまま排紙されない	データが本機内部に残っています。印刷の中止、または残っているデータの強制排出をします。 〈オンライン〉ボタンを押してオフライン状態にしてから、印刷を中止する場合は〈プリント中止〉ボタンを、データを強制排出する場合は、〈OK〉ボタンを押してください。中止および排出が終わったら、もう一度〈オンライン〉ボタンを押して、本機をオンライン状態にします。 補足 ・パラレル / USB ポートを使用している場合、〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。この場合、それ以降の印刷データは〈OK〉ボタンを押したあとに、新しい印刷ジョブとして認識され、最後にオフラインを解除したあとに印刷されます。またそのとき、正常に印刷されないことがあります。 パラレルポート、または USB ポートで、ジョブ終端がないデータを送信していませんか？ 工場出荷時、本機のパラレルポート、および USB ポートの自動排出時間の設定は〔無効〕になっています。自動排出時間による排出を想定したデータを印刷する場合は、操作パネルで、各ポートの自動排出時間の設定を任意の時間に設定してから印刷してください。 参照 ・「[[パラレル]]」(P. 188) ・「[[USB]]」(P. 193)

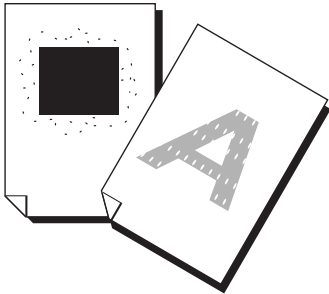
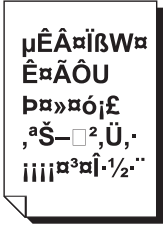
症状	原因 / 処置
印刷できない	パラレルケーブルで接続している場合、コンピューターは双方向通信に対応していますか？ 工場出荷時、本機の双方向通信の設定は、[有効] になっています。コンピューターが双方向通信に対応していない場合は、操作パネルで、双方向通信の設定を [無効] にしてから印刷してください。 参照 ・「[パラレル]」(P. 188)
	ネットワークプリンターの場合、本機の IP アドレスは正しく設定されていますか？ また、受信制限の設定が間違っている可能性もあります。 本機の設定が正しいかどうか確認し、必要であれば変更してください。 参照 ・「IP アドレス (IPv4) を設定する」(P. 40) ・「IP アドレス (IPv6) を設定する」(P. 43) ・「IP アドレスによる受信制限」(P. 361)
	1 度の印刷指示で送信される印刷データの容量が、受信容量の上限を超えている可能性があります。受信バッファの設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。 1 つの印刷ファイルでメモリーの上限を超えてしまう場合には、印刷ファイルをメモリー容量の上限より小さいサイズに分割して印刷を指示します。 印刷するデータファイルが複数ある場合には、1 度に印刷するファイルの量を減らして印刷してください。
	NPD L プリンタードライバーで定形外用の紙を選択していませんか？ NPD L プリンタードライバーはサポート用紙サイズ (A3、A4、A5、B4、B5、11x15”、はがき、往復はがき) 以外は定形外サイズとして扱います。サポート用紙サイズ以外は給紙先指定が自動または給紙先を指定しても、用紙補給 / エラーになる場合があります。 参照 ・「3.3 定形外サイズの用紙に印刷する」(P. 81)
印刷に時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書を印刷するときは、操作パネルの [メモリー設定] で使用しない項目のメモリー容量を減らして、プリントページバッファの容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。 また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。 参照 ・「[メモリー設定]」(P. 239)
	プリンタードライバーの [印刷モード] の設定で、[高精細] が選択されていませんか？ [グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、印刷にかかる時間を短縮することができます。 補足 ・ NPD L プリンタードライバーでは [印刷モード] 機能はありません。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
	TrueType® フォントの印刷方法によっては、印刷に時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントの印刷方法を変更してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

症状	原因 / 処置
印刷を指示していないのに、 「[プリントしています]」が表示される (パラレル /USB インターフェイス使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れませんでしたか？ 〈プリント中止〉ボタンを押して、印刷を中止してください。 補足 ・ 本機の電源を入れるときは、コンピューターの電源が入っていることを確認してください。
印字された文書の上部が 欠ける 思った位置に印刷されない	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・ 「6.2 用紙をセットする」(P.165)
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ

8.5 印字品質や画質のトラブル

症状	原因 / 処置
印刷がうすい (かすれる、不鮮明) 	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 157)
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。 ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	トナーセーブ機能が有効になっていませんか？ プリンタードライバーの「グラフィックス」タブの「トナー節約」で、[しない] を選択してください。 補足 ・ART-EX プリンタードライバーの場合、3 段階の設定ができます。NPD L プリンタードライバーは [する] [しない] だけの設定となります。 参照 ・プリンタードライバーのヘルプ
	もっと濃く印刷したい場合は、印刷時にプリンタードライバーで「グラフィックス」タブの「画質調整」または「トナーバランス」を選択し、各設定を変更して印刷してみてください。 参照 ・プリンタードライバーのヘルプ
黒点や黒線または色線が印刷される 等間隔に汚れが起きる 	別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。
	用紙搬送路に汚れが付着している場合もあります。数枚印刷してください。 ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。 ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 157)
	定着ユニットが劣化、または損傷しています。定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
用紙全体がぬりつぶされて印刷される 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
何も印刷されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています (重送)。用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	高圧電源の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
白抜けや白筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 157)
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	ドラムカートリッジが正しくセットされていません。正しくセットし直してください。
	プリンター内部に結露が発生している可能性があります。操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたためられ、約 1 時間放置し、機械内部に水滴がない (ローラー、金属部分など) ことを十分確認したうえでお使いください。 参照 ・スリープモードに移行する時間: 「[スリープモード移行時間]」(P. 207)
	ドラムカートリッジ、または定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジ、および定着ユニットの状態によって、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
	現像器が劣化、または損傷しています。現像器ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
画像の一部が抜けて白点になる 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかかっている 	別の用紙種類の設定に変更して、印刷してみてください。たとえば、普通紙を設定していた場合は再生紙に、厚紙 1 を設定していた場合は厚紙 2 に、設定を変更して印刷してみてください。
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 157) 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 プリンター内部に結露が発生している可能性があります。 操作パネルを使用して、スリープモードに移行する時間を 60 分以上に設定し、電源を入れたまま放置してください。機内があたためられ、約 1 時間放置し、機械内部に水滴がない（ローラー、金属部分など）ことを十分確認したうえでお使いください。 参照 ・スリープモードに移行する時間：「[スリープモード移行時間]」(P. 207)
文字化けする 画面表示と印刷結果が一致しない 	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっていませんか？ プリンタードライバーの、[詳細設定] タブにある「フォントの設定」で、TrueType フォントの印刷方法を「常に TrueType フォントを使う」に設定してください。 参照 ・プリンタードライバーのヘルプ
斜めに印刷される 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「6.2 用紙をセットする」(P. 165)

症状	原因 / 処置
はがき、封筒、OHP フィルムにきれいに印刷されない	本機で使用できない種類のはがき、封筒、OHP フィルムがセットされています。適切な用紙をセットしてください。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 157)
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されているか確認してください。 参照 ・「[トレイの用紙種類]」(P. 224) ・プリンタードライバーのヘルプ
	プリンタードライバーで、トナー節約や、解像度が低く設定されています。それぞれ、プリンタードライバーの [グラフィックス] タブ、[詳細設定] タブで、設定を変更してください。 補足 ・ART-EX プリンタードライバーの場合、3 段階の設定ができます。NPDL プリンタードライバーは [する] [しない] だけの設定となります。 参照 ・プリンタードライバーのヘルプ

8.6 トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙づまりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわがつく	用紙は正しくセットされていますか？ 用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがき、封筒、OHP フィルムなどをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、よく紙をさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいませんか？ 新しい用紙と交換してください。
	適切な用紙を使用していますか？ 使用できる用紙をセットしてください。ただし、用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわがつくことがあります。 参照 ・「使用できる用紙」(P. 157)
	トレイが外れていませんか？ トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機は水平な場所に設置されていますか？ 安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 参照 ・「6.2 用紙をセットする」(P. 165)
トレイ 1 ～ 4、6 からトレイが正しく選択されない	用紙の継ぎ足しをしていませんか？ トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足すとこのような現象が起こることがあります。セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
	用紙ガイドは、正しい位置にセットされていますか？ 用紙ガイドの位置がずれていると、本機は正しくセットされている用紙のサイズを検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。 プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、および用紙サイズ、用紙種類が適切に設定されているかを確認してください。 参照 ・「[プリント設定]」(P. 223) ・プリンタードライバーのヘルプ
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブで [用紙トレイ選択] を [自動] にしていませんか。 [トレイ 5 (手差し)] を選択するか、 [自動] の場合は手差しトレイを自動選択トレイの対象に設定してください。 参照 ・プリンタードライバーのヘルプ ・「手差しトレイを自動トレイ選択の対象に設定する」(P. 179)
正しいトレイが選択されない	NPD L プリンタードライバーから、A3、A4、A5、B4、B5、8.5x11"、はがき、往復はがき以外の用紙サイズを指定して印刷していますか？ NPD L プリンタードライバーから印刷する場合は、上記サイズ以外は定形外サイズとして扱われるため、指定した用紙が入っているトレイが選択されない場合があります。 参照 ・「3.3 定形外サイズの用紙に印刷する」(P. 81)

8.7 主なエラーメッセージとエラーコード

主なエラーメッセージ（50 音順）

操作パネルに表示される主なエラーメッセージについて説明します。

補足

- ・ディスプレイの右端に [▼] [▲] マークが表示されている場合は、〈▼〉〈▲〉ボタンで画面を上下に移動させて、メッセージの全文を確認してください。
- ・メッセージが 1 画面で表示できない場合、交互に画面を切り替えて表示することもあります。下表では、↑↓で切り替わるメッセージを表しています。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
[OK] でプリント開始 [プリント中止] でキャンセル	トレイの用紙サイズまたは用紙種類を変更したあと、操作パネルの〈OK〉ボタンを押すか、または〈プリント中止〉ボタンを押して印刷を中止してください。
カバー N を 閉じてください (N : A、B、C、D、E のどれか)	カバー N が開いています。 表示されているカバーをしっかりと閉じてください。
カバー G を開け、パンチ ダストボックス [R4] のくず を捨ててください	パンチダストボックスがいっぱいになっています。 カバー G を開けてくずを捨ててください。
紙づまり : A を開け [A1] を繰り返し押し 下げ用紙を除去し、 用紙がないときは、 [A2] を下げて用紙を 除去してください	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A を開け、レバー A1 を繰り返し押し下げて、詰まっている用紙を取り除いてください。 用紙が見つからない場合は、レバー A2 を下げて詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)
紙づまり : カバー A を開けて、[A1] を引いて 用紙を上引き出し 除去してください	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A を開け、レバー A1 を手前に引いて、詰まっている用紙を取り除いてください。 用紙を取り除けない場合は、カバー A を閉じトレイ 1 を引き出して用紙を取り除いてください。最後にカバー A を開け閉めしてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)
紙づまり : カバー A を 開け、[A2] を下げて 用紙を除去してくだ さい	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A を開け、レバー A2 を下げて詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)
紙づまり : カバー A を 開け、カバー D を開い て用紙を除去してく ださい	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A を開け、カバー D を開いて詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)
紙づまり : カバー A を 開け、カバー E を開い て用紙を除去してく ださい	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー A とカバー E を開け、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
紙づまり：カバー N を開けて、用紙を除去してください (N：A、B、C、D)	本機内部で紙づまりが発生しています。 カバー N を開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。 紙が除去できないときは、すべてのトレイを引き出しトレイ奥の用紙を除去しカバー A を開け閉めしてください 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)
紙づまり：大容量トレイユニットを左に移動し、上面カバーを開け用紙を除去してください	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) で紙づまりが発生しています。 トレイ 6 (大容量トレイモジュール) の上部カバーの取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくり移動させ、上面カバーを開け、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)
紙づまり：大容量トレイユニットを左に移動し、本体のカバー B を開け用紙を除去してください	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) で紙づまりが発生しています。 カバー B を開けて、用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)
紙づまり：大容量トレイユニットを左に移動してください	本機内部で紙づまりが発生しています。 トレイ 6 (大容量トレイモジュール) の取っ手を持って、左方向へ止まるまでゆっくり移動させてください。
紙づまり：大容量トレイユニットをもとに戻してください	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) の上部カバーの取っ手を持って、右方向へ止まるまでゆっくり押し戻してください。
紙づまり：トレイ 5 (手差し) の用紙をすべて除去し、もう一度セットしてください	手差し部分で紙づまりが発生しています。 手差しトレイの用紙をすべて取り除いてください。そのあと、手差しトレイに用紙をセットし直してください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)
紙づまり：トレイ N を引き出し用紙を除去し用紙ガイドの位置を確認してください (N：1～4、6 のどれか)	本機内部で紙づまりが発生しています。 トレイ N を引き出し、詰まっている用紙を取り除いてください。そのあと、トレイの用紙ガイドが正しい位置になっていることを確認してください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)
紙づまり：フィニッシャー接続部のカバー F を上に開け、用紙を除去してください	フィニッシャー接続部で紙づまりが発生しています。 フィニッシャー接続部の上部カバー F を上に開けて、詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)
紙づまり：フィニッシャートレイ排出口の奥にある用紙を 1 枚だけ除去してください	フィニッシャートレイ排出口で紙づまりが発生しています。 フィニッシャートレイ排出口に詰まっている用紙を取り除いてください。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[3a] を開いて用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、レバー [3a] を上方向に開いて、詰まっている用紙を取り除きます。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」(P. 254)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[3d] を開いて用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、レバー [3d] を開いて、詰まっている用紙を取り除きます。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出し [4a] を回してすべての用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、中とじユニット [4] を引き出し、ノブ [4a] を左方向に回して、詰まっている用紙を取り除きます。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)
紙づまり：フィニッシャーの正面カバーを開け、[4a] を回し、製本トレイに排出された用紙を除去してください	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開け、ノブ [4a] を右方向に回して、詰まっている用紙を製本トレイに排出させて取り除きます。 参照 ・「8.1 紙づまりの処置」 (P. 254)
製本トレイから用紙を取り出してください	製本トレイの容量がいっぱいになりました。 製本トレイから出力された用紙を取り除いてください。
セット後 [OK] でプリント開始 [プリント中止] でキャンセル	手差しトレイに指定したサイズ of 用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。正しい用紙がセットされた後、[OK] ボタンを押すと印刷が継続され、[プリント中止] ボタンを押すと印刷はキャンセルされます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」 (P. 165)
センタートレイの用紙を取り出してください	センタートレイの容量がいっぱいになりました。 センタートレイから出力された用紙を取り除いてください。
! 手差しに用紙をセット <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイの用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」 (P. 165)
手差しに用紙を補給 <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイの用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」 (P. 165)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
! 手差しのガイド確認 <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 165)
手差しの用紙サイズ確認 <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに指定したサイズの用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。正しい用紙がセットされた後、印刷は自動的に開始されます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 165)
! 手差しの用紙を確認 <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、手差しトレイに用紙をセットしてください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「手差しトレイに用紙をセットする」(P. 165)
! 手差しを確認し [OK] <サイズ+方向><紙質>	手差しトレイに正しい用紙がセットされていません。 表示されている用紙が手差しトレイにセットされているかを確認し、〈OK〉ボタンを押してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
! トナーカートリッジのタイプが 違います	本機に適したトナーカートリッジではありません。 本機に適したトナーカートリッジを正しくセットしてください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「消耗品の種類と購入について」(P. 330)
! トナーカートリッジを交換 してください	トナーカートリッジの交換が必要です。 トナーカートリッジを交換してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 332)
! トナーカートリッジを正しく セットしてください	トナーカートリッジが正しくセットされていません。 トナーカートリッジを正しくセットしてください。 参照 ・「トナーカートリッジを交換する」(P. 332)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
! ドラムカートリッジのタイプが違います	本機に適したドラムカートリッジではありません。 本機に適したドラムカートリッジを正しくセットしてください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「消耗品の種類と購入について」(P. 330)
! ドラムカートリッジを確認してください	ドラムカートリッジのテープがついたままになっています。 ドラムカートリッジのテープをはずしてからセットしてください。 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 334)
! ドラムカートリッジを交換してください	ドラムカートリッジの寿命、またはセットされたドラムカートリッジが本機用のものではないか、ドラムカートリッジに異常が発生しています。 ドラムカートリッジを新しいドラムカートリッジに交換してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「消耗品の種類と購入について」(P. 330) ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 334)
! ドラムカートリッジを正しくセットしてください	ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 ドラムカートリッジを正しくセットしてください。 参照 ・「ドラムカートリッジを交換する」(P. 334) ・「消耗品の種類と購入について」(P. 330)
トレイ 6 に用紙をセット < サイズ + 方向 > < 紙質 >	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) の用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、トレイ 6 に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 参照 ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 171)
トレイ 6 に用紙を補給 < サイズ + 方向 > < 紙質 >	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) の用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、トレイ 6 に用紙をセットしてください。 参照 ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 171)
トレイ 6 の上部カバーを閉じてください	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) の上部カバーが開いています。 トレイ 6 の上部カバーを閉じてください。
トレイ 6 の用紙ガイドと用紙の位置を確認	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) に正しい用紙がセットされていません。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 参照 ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 171)
トレイ 6 を右に戻してください	トレイ 6 (大容量トレイモジュール) が正しく本体と接続されていません。 トレイ 6 を右方向にゆっくり押して本体と接続してください。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
! トレイ N に用紙をセット <サイズ+方向><紙質> (N:1~4のどれか)	印刷時に指定した用紙（サイズまたは紙質）がセットされているトレイの用紙がなくなりました。 該当するトレイに用紙をセットしてください。また、印刷時に指定した用紙（サイズまたは紙質）がセットされているトレイが本機にない場合もこのメッセージが表示されます。この場合は、本機のトレイのどれかを表示されているサイズ・方向・紙質の用紙に変更してください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。 参照 ・「トレイ 1～4 に用紙をセットする」(P. 168)
! トレイ N に用紙を補給 <サイズ+方向><紙質> (N:1~4のどれか)	用紙トレイ N の用紙がなくなりました。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「トレイ 1～4 に用紙をセットする」(P. 168)
! トレイ N の用紙種類確認 <サイズ+方向><紙質> (N:1~4、6のどれか)	用紙トレイ N に、正しい種類の用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。 参照 ・「トレイ 1～4 に用紙をセットする」(P. 168) ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 171)
! トレイ N のガイドを確認 <サイズ+方向><紙質> (N:1~4、6のどれか)	用紙トレイ N に正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。 参照 ・「トレイ 1～4 に用紙をセットする」(P. 168) ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 171)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
! トレイ N の用紙を確認 <サイズ + 方向> <紙質> (N : 1 ~ 4、6 のどれか)	用紙トレイ N に正しい用紙がセットされていません。 表示されているサイズ・方向・紙質に従って、用紙トレイ N に用紙をセットしてください。 正しい用紙をセットしているのに、このメッセージが表示される場合は、用紙サイズが正しく認識されていない可能性があります。用紙ガイドの位置を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。 参照 ・「トレイ 1 ~ 4 に用紙をセットする」(P. 168) ・「トレイ 6 に用紙をセットする」(P. 171)
! トレイ N を正しく セットしてください (N : 1 ~ 4 のどれか)	用紙トレイが正しくセットされていません。 用紙と用紙ガイドの位置を確認して、トレイを正しい位置まで押し込んでください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しく情報が表示されます。 参照 ・「トレイ 1 ~ 4 に用紙をセットする」(P. 168)
トレイの用紙サイズ：不明 用紙ガイド位置を確認	指定された用紙トレイの用紙サイズが不明です。 トレイの用紙ガイド位置を確認してください。
針づまり：フィニッシャーの 正面カバーを開け、 [R1] につまっている ホチキスの針を除去 してください	フィニッシャーで針づまりが発生しています。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、ホチキスカートリッジ [R1] を取り出し、詰まった針を取り除きます。 参照 ・「8.2 ホチキスの針づまりの処置」(P. 273)
フィニッシャー接続部のカバー [F] を閉じてください	フィニッシャーの接続部のカバーが開いています。 カバー F をしっかり閉じてください。
フィニッシャートレイの下に ある障害物を除去 してください	フィニッシャートレイの下に障害物が置かれています。 障害物を取り除き、エラーを解除するためにいったんフィニッシャートレイの上の用紙を取り除いてください。
フィニッシャートレイから用紙を 取り出してください	フィニッシャートレイの容量がいっぱいになりました。 フィニッシャートレイから出力された用紙を取り除いてください。
フィニッシャーの正面カバーを 開け、パンチダストボックス [R4] のくずを捨てて ください	パンチダストボックスがパンチ穴のくずでいっぱいになりました。 パンチダストボックスを取り出して、パンチ穴のくずを捨ててください。 参照 ・「パンチ穴のくずを捨てる」(P. 340)
フィニッシャーの正面カバーを 開け、パンチダストボックス [R4] を正しくセット してください	フィニッシャー内のパンチダストボックスが正しくセットされていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、パンチダストボックスを正しくセットしてください。 参照 ・「パンチ穴のくずを捨てる」(P. 340)
フィニッシャーの正面カバーを 開け、ホチキスカートリッジ [R1] を正しくセット してください	フィニッシャー内のホチキスカートリッジが正しくセットされていません。 フィニッシャーの正面カバーを開けて、ホチキスカートリッジを正しくセットしてください。 参照 ・「8.2 ホチキスの針づまりの処置」(P. 273)

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
フィニッシャーの正面カバーを開け、ホチキスカートリッジ [R1] の針を補給してください	ホチキスカートリッジに針が入っていません。 フィニッシャの正面カバーを開けて、ホチキスカートリッジ [R1] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキス針を交換する」(P. 337)
フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出しホチキスカートリッジ [R2] (手前) を交換してください	手前側にある中とじホチキスカートリッジの針が入っていません。 フィニッシャの正面カバーを開けて、中とじユニット [4] を引き出し、ホチキスカートリッジ [R2] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキス針を交換する」(P. 337)
フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出しホチキスカートリッジ [R2] [R3] を交換してください	中とじホチキスカートリッジの針が入っていません。 フィニッシャの正面カバーを開けて、中とじユニット [4] を引き出し、ホチキスカートリッジ [R2] [R3] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキス針を交換する」(P. 337)
フィニッシャーの正面カバーを開け、[4] を引き出しホチキスカートリッジ [R3] (奥) を交換してください	奥側にある中とじホチキスカートリッジの針が入っていません。 フィニッシャの正面カバーを開けて、中とじユニット [4] を引き出し、ホチキスカートリッジ [R3] に新しいホチキス針をセットしてください。 参照 ・「ホチキス針を交換する」(P. 337)
フィニッシャーの正面カバーを開けてユニット [4] を正しくセットしてください	フィニッシャ内の中とじユニット [4] が正しくセットされていません。 中とじユニット [4] を正しくセットしてください。
フィニッシャーの正面カバーを開けてください	フィニッシャの正面カバーが開いています。 正面カバーをしっかりと閉じてください。
フィニッシャーの排出口からすべての用紙を取り除いてください	フィニッシャの排出口に用紙が残っています。 すべての用紙を取り除いてください。
フィニッシャーの排出トレイから用紙を取り出して	フィニッシャの排出トレイの容量がいっぱいになりました。 フィニッシャの排出トレイから出力された用紙を取り除いてください。
プリントできません ***_***	本機に何らかの障害が発生しています。 電源スイッチを切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、再度電源スイッチを入れてください。再びエラーコードが表示された場合は、ディスプレイに表示されているエラーコード「***_***」を確認して処置してください。 参照 ・「エラーコード」(P. 297)
プリントできません ❶ DNS サーバー更新不可	DNS の IPv4 または IPv6 アドレス、ホスト名が更新できませんでした。 DNS サーバーの設定を確認してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
プリントできません ! IPvx アドレス重複 (vx: v4 または v6)	IPv4 または IPv6 アドレスが重複しています。 IP アドレスを変更してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「IP アドレス (IPv4) を設定する」(P. 40) ・「IP アドレス (IPv6) を設定する」(P. 43)
プリントできません ! USB ポートを確認	同時に接続できる USB の最大数を超えています。 使用していない USB を抜いてください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
プリントできません ! トナー予備用意	トナーカートリッジの交換時期が近づいています。 トナーがなくなり、機械が停止するまでの残りの印刷可能ページ数は、約 1,300 ページ ^{*1} です。 この間に、新しいトナーカートリッジの予備を用意してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
プリントできません ! ドラム交換時期	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。ドラムカートリッジの寿命がきて、機械が停止するまでの残りの印刷可能ページ数は、約 1,600 ページ ^{*1} です。 この間に、新しいドラムカートリッジを用意してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
プリントできません ! ドラム予備用意	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。 新しいドラムカートリッジの予備を用意してください。残りの印刷可能ページ数は、約 5,300 ページ ^{*1} です。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。
! プリントできません ***_***	ディスプレイに表示されているエラーコード「***_***」を確認して処置してください。 補足 ・〈インフォメーション〉ボタンを押すと、操作パネルに詳しい情報が表示されます。 参照 ・「エラーコード」(P. 297)
フロントカバーを 閉じてください	フロントカバーが開いています。 フロントカバーをしっかりと閉じてください。
フォームメモリー不足です 登録番号: XXX (XXX: フォーム 登録番号)	NPDL フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォーム削除するか、フォームデータ量を減らしてください。
用紙種類がないため 手差しの用紙でプリント	用紙トレイに、プリンタードライバーで指定した用紙種類の用紙がセットされていません。手差しトレイの用紙を使用してプリントします。

メッセージ	状態 / 原因 / 処置
用紙種類がないため トレイ N の用紙でプリント (N : 1 ~ 4、6 のどれか)	用紙トレイに、プリンタードライバーで指定した用紙種類の用紙がセットされていません。表示されたトレイの用紙を使用してプリントします。

*1 印刷できるページ数は、印刷条件や原稿の内容によって、大きく変化します。詳細は、「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」（P. 430）を参照してください。

エラーコード

エラーコードとは、エラーが発生して印刷が正常に終了しなかった場合や、本体に故障が発生した場合、本機の操作パネルに表示される 6 桁の数字です。

このコードは、エラーの原因を突き止めるための、大切な情報です。エラーメッセージとともに、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

なお、お客様で対処できるエラーコードについて、下表に記載しました。エラーコードが表示された場合は、まず、下表に該当するエラーコードがないかを確認してください。

エラーコードは、番号の小さい順に並んでいます。

次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合や、記載に従って処置をしても状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。表に記載されていないエラーコードは、お客様では対処できないエラーです。

エラーコード	原因 / 処置
010-421	定着ユニットの交換時期が近づいています。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
012-210 012-211 012-212 012-213 012-221 012-223 012-224 012-225 012-226 012-227 012-228 012-229 012-230 012-231 012-232 012-233 012-234 012-243	フィニッシャが故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
012-246	フィニッシャの中とじユニットが奥まで押し込まれていません 中とじユニットを奥まで確実に押し込んで、電源を切って、入れ直してください。
012-247 012-260 012-261 012-263 012-264 012-265 012-266 012-269 012-282 012-283 012-284	フィニッシャが故障しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
012-285 012-291 012-293 012-294 012-295 012-296	フィニッシャにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
012-405	ホチキスがなくなりました。ホチキスカートリッジを交換してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-210 016-211 016-212 016-213 016-215 016-217 016-218 016-219 016-229 016-230 016-233	ソフトウェアにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-234 016-235 016-236 016-237 016-238 016-239 016-242	本機の認証機能でエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-400	802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-401	802.1x 認証方式が処理できません。 本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-402	認証接続がタイムアウトになりました。 本機と物理的ネット接続されている「認証装置」のスイッチ設定やネット接続を確認し、正しく接続されているか確認してください。
016-403	ルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。 サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。 参照 ・「[IEEE 802.1x 設定]」(P. 204)
016-404	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-405	本機に格納されている証明書にエラーがありました。 証明書の初期化を実行してください。 参照 ・「証明書初期化」(P. 245)
016-406	SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次のどれかの方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAP-TLS」以外のものを選択する。
016-407 016-408 016-409 016-410 016-411 016-412 016-422 016-423 016-424 016-425	本機に登録したカスタマイズプログラムに問題があります。 カスタマイズプログラムを修正し、再度インストールしてください。

エラーコード	原因 / 処置
016-427	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-428	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証方式が処理できません。 Ethernet2 の設定で、本機の認証方式を、認証サーバーに設定されている認証方式と同じものに設定し直してください。
016-429	Ethernet2 の設定で、802.1x 認証のユーザー名あるいはパスワードが異なっています。 Ethernet2 の設定で、ユーザー名あるいはパスワードを確認して正しく入力してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク環境に問題がないかを確認してください。
016-430	Ethernet2 側の設定ルート証明書が一致しませんでした。 認証サーバーを確認し、本機に認証サーバーのサーバー証明書のルート証明書を格納してください。サーバー証明書のルート証明書が入手できない場合は、操作パネルで Ethernet2 側の [IEEE 802.1x 設定] の [サーバー証明書の検証] を [しない] にしてください。
016-431	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-432	Ethernet2 側の SSL クライアント証明書にエラーがありました。 次のどれかの方法で処置してください。 1. 本機に SSL クライアント証明書を格納し、SSL クライアント証明書として設定する。 2. SSL クライアント証明書の設定ができない場合には、認証方式として「EAPTLS」以外のものを選択する。
016-453	DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
016-454	DNS から、IP アドレスを取得できませんでした。 DNS の設定と IP アドレスの取得方法の設定を確認してください。
016-455	SNTP サーバーへの接続がタイムアウトになりました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、SNTP サーバーの IP アドレスが合っているかを確認してください。
016-456	SNTP サーバーから、標準時同期源と同期していないというメッセージを受けました。 SNTP サーバーの設定を確認してください。
016-500 016-502	本機にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-503	メール送信時に SMTP サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から SMTP サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
016-504	メール送信時に POP3 サーバーの名前が解決できませんでした。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーの設定が正しいか確認してください。また、DNS サーバーの設定が正しいか確認してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
016-505	メール送信時に POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているか確認してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ

エラーコード	原因 / 処置
016-506	本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。もう一度、ジョブを実行してください。それでも同じエラーが発生する場合は、次のどちらかの方法で処置してください。 ・ 不要なイメージログを削除する ・ イメージログの [ログの作成保証レベル] を [低] に変更する この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。 参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 221)
016-507	イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーへのイメージログの転送に失敗しました。サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定するか、システム設定の [イメージログ転送] の [転送設定] を [使用しない] に変更してください。
016-508	イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーへのイメージログの転送に失敗しました。サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定してください。 参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 221)
016-509	イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーから本機へのイメージログの転送ルールが設定されていないため、イメージログの転送に失敗しました。サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定するか、システム設定の [イメージログ転送] の [転送設定] を [使用しない] に変更してください。 参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 221)
016-510 016-511 016-512	イメージログ管理機能を使用しているときに、サーバーから本機へのイメージログの転送ルールが設定されていないため、イメージログの転送に失敗しました。サーバーから本機へのイメージログの転送ルールを設定してください。 参照 ・ 「 [イメージログ管理設定] 」 (P. 221)
016-514	XML Paper Specification (XPS) 文書の処理中にエラーが発生しました。XPS 対応ドライバーからの印刷でエラーが発生した場合には、アプリケーションから他のプリンタードライバー (ART-EX、PCL 等) を使用して印刷してください。XPS 文書をダイレクトプリント (ContentsBridge Utility、E-Mail、メディアリーダー等) した際にエラーが発生した場合には、XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART-EX、PCL 等) を使用して印刷してください。 補足 ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-515	XML Paper Specification (XPS) 文書の処理中に、メモリー不足が発生しました。次のどれかの方法で処置してください。 ・ [印刷モード] を [標準] にする ・ XPS Document Viewer からプリンタードライバー (ART-EX、PCL 等) を使用して印刷する 補足 ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-516	XPS 文書内に含まれる PrintTicket に、不正な記述や、本機で対応していない印刷設定が含まれています。問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーションを作成した会社に、アプリケーションの動作を確認してください。それでも解決しない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口ご連絡してください。 補足 ・ 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
016-517	PostScript ファイルに記述されている内容に誤りがあります。PostScript ドライバーでプリントしてください。または、PostScript ファイルに記述されている ProcessColorModel でカラーモードの切り替えをしないように変更してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-518	PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark を同時に指定しました。 PostScript ドライバーで、小冊子と WaterMark/UUID の指定は混在できません。どちらか一方を解除してください。 参照 ・「UUID 印字」(P. 366)
016-519	設定しておいた印字可能な面数に達したため、終了しました。 機械管理者に相談して、印字可能な面数の制限値を変更してください。
016-522	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL クライアント証明書が取得できません。 LDAP サーバーから SSL クライアント証明書が要求されています。本機に SSL クライアント証明書を設定してください。
016-523	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書データが不正です。 本機が LDAP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。LDAP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
016-524	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限前です。 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-525	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー証明書が有効期限切れです。 LDAP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-526	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバー名と証明書が一致していません。 本機に設定してある LDAP サーバーのアドレスと LDAP サーバーの SSL 証明書に記載されているアドレスが一致するようにしてください。本機の [SSL/TLS 設定] の [LDAP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する LDAP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
016-527	LDAP サーバーの SSL 認証エラーです。 SSL 認証内部エラーです。 ソフトウェアにエラーが発生しました。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-529	Remote Download サーバーに接続するときに、エラーが発生しました。規定時間 (45 秒内) にサーバーから応答がありませんでした。次の項目を確認してください。 ネットワーク接続を確認してください。Remote Download サーバーがネットワーク上に正しく設定されているかを確認してください。
016-533	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機と Kerberos サーバーの時計の時間差が、Kerberos サーバー側のクロックスキューの制限値を超えています。本機の時計または Kerberos サーバーの時計が正しく設定されているかを確認してください。 このとき、本機と Kerberos サーバーの時刻だけでなく、サマータイムの設定やタイムゾーンの設定も同じであることを確認してください。
016-534	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 本機に設定してある認証先が Kerberos サーバーに存在しない、または設定してある Kerberos サーバーのアドレスでは接続できません。本機の Kerberos サーバーの設定にある、認証先名、およびサーバーのアドレスが正しいことを確認してください。 Windows 2000、Windows 2003 Server と接続する場合は、認証先名は大文字にしてください。
016-535	Remote Download サーバー上に、指定されたファイルがありません。 ファイルを確認してください。
016-536	Remote Download サーバーに接続する前に、DNS アクセスしたことにより、エラーが発生しました。 DNS との接続を確認してください。 または、Remote Download サーバー名が DNS に登録されているかを確認してください。
016-537	Remote Download サーバーに接続できませんでした。接続先の Remote Download サーバーのポートが開いていません。 ネットワーク設定のポートを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-538	Remote Download ファイルをハードディスクへ書き込む際に、エラーが発生しました。Remote Download サーバーから取得したファイルをハードディスクに書き込めません。 ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。または、ハードディスクを交換してください。
016-539	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 ソフトウェアにエラーが発生しました。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-543	指定された認証先やドメインが、ApeosWare Authentication Management から削除されました。 [認証先] 画面にある [最新情報に更新] を押して、認証先情報を更新するか、ApeosWare Authentication Management にドメインを追加してください。
016-545	ApeosWare Authentication Management とアクティブディレクトリーの時間が、アクティブディレクトリーで設定された Kerberos サーバーのクロックスキューの上限からずれています。 ApeosWare Authentication Management をインストールしたコンピューターとアクティブディレクトリーのコンピューターの時間を合わせてください。ApeosWare Authentication Management がインストールされたコンピューターの Windows のタイムサービスが停止している場合は、サービスを起動してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-546	一般ユーザーが自分以外のユーザー情報を取得しようとしてしました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-548	本機が ApeosWare Authentication Management に登録されていません。 本機を ApeosWare Authentication Management に登録してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-553	ApeosWare Authentication Management が本機のインターフェイスのバージョンに対応していません。 ApeosWare Authentication Management のバージョンを上げる必要があります。本機が、バージョンを上げる ApeosWare Authentication Management に対応している商品であることを確認してください。
016-554	ApeosWare Authentication Management のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名、または照会用パスワードが不正です。 ApeosWare Authentication Management のドメインのドメインユーザー照会用ログイン名と照会用パスワードを正しく設定してください。
016-555	ApeosWare Authentication Management がデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できずにタイムアウトになりました。 ApeosWare Authentication Management からデータベース、またはアクティブディレクトリーに接続できることを確認してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-556	ApeosWare Authentication Management が接続するデータベースに負荷がかかりすぎているため、タイムアウトエラーになりました。 サービスに負荷がかかりすぎているので、時間をおいて、再度認証を実施してください。 それでも改善されないときは、ApeosWare Authentication Management を確認してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-557	ApeosWare Authentication Management の内部エラーです。 ApeosWare Authentication Management を確認してください。 参照 ・ 対処方法については、ApeosWare Authentication Management の説明書を参照してください。
016-558	本機が ApeosWare Authentication Management から不明なエラーを受信しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-559	Remote Download パラメーターエラーが発生しました。 必要となるシステムデータに不正な値が設定されています。 必要なシステムデータの設定を確認してください。
016-560	本機と ApeosWare Authentication Management 間で通信エラーが発生しました。 ネットワークケーブルの抜けや、ApeosWare Authentication Management の設定を確認してください。また、機能設定リストを出力して、「ApeosWare Authentication Management」の「サーバー名 / IP アドレス」にサーバーの DNS アドレスが設定されている場合は、DNS が有効になっていることを確認してください。
016-564	Remote Download Server で認証エラーが発生しました。 正しいユーザー名、パスワードを使用してください。
016-569	ApeosWare Authentication Management との通信中に、データの不具合、サーバーからの応答がないなどのエラーが発生しました。 サーバーやネットワークの状態を確認し、サーバーや機器を再起動してください。
016-598	ページ分割で、1 ページ分のメールデータのサイズが最大メッセージサイズを超えました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [SMTP] で、[1 通ごとのデータサイズ上限] を大きな値に変更してください。 参照 ・ CentreWare Internet Services のヘルプ
016-700	プリンタードライバーで設定した、セキュリティプリント、または認証プリントの暗証番号が、本機に設定してある暗証番号の最小桁数よりも桁数が少なかったため、処理を中断しました。 プリンタードライバーで設定する暗証番号を、本機に設定してある暗証番号の最小桁数よりも多い桁数に設定してください。
016-701	メモリーが不足したため、印刷データを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面印刷や N アップをしないで、再度印刷を指示してください。 参照 ・ プリンタードライバーのヘルプ
016-702	プリントページバッファが不足したため、ART-EX または PostScript の印刷データを処理できませんでした。 次のどれかの方法で対処してください。 ・ [グラフィックス] タブの [印刷モード] が [高精細] の場合は、[標準] にする ・ [詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] にする (ART-EX のみ) ・ プリントページバッファを増やす 補足 ・ NPDL プリンタードライバーには [ページ印刷モード] 機能はありません。 参照 ・ [印刷モード] / [ページ印刷モード]: プリンタードライバーのヘルプ ・ プリントページバッファ: 「[メモリー設定]」 (P. 239)
016-703	時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 時刻指定プリント機能を使用するには、ハードディスク (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効に設定する必要があります。 参照 ・ 「4.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -」 (P. 126)
016-704	セキュリティ / サンプルプリントの最大文書数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書を削除し、もう一度印刷を指示してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-705	次の原因が考えられます。 1 本機用のプリンタードライバーを使用していない 2 ハードディスク（オプション）が装着されていない状態で、セキュリティープリント、認証プリントのどちらかのジョブを受信した 1. の場合：本機用のプリンタードライバーを使用してください。 2. の場合：本機にハードディスクが装着されているか確認してください。 ハードディスクが装着されていない場合： ・ 機能を利用しない場合は、プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ> [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [なし] 設定する ・ 機能を利用する場合は、ハードディスクを装着する ハードディスクが装着されている場合： ・ プリンタードライバーで、[プリンター構成] タブ> [オプションの設定] の [内蔵ハードディスク] を [あり] に設定する それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-706	セキュリティープリントの最大ユーザー数を超えました。 本機内に蓄積されている不要な文書やセキュリティープリントの登録ユーザーなどを削除し、もう一度印刷を指示してください。
016-707	サンプルプリントが印刷できませんでした。 サンプルプリント機能を使用するには、ハードディスク（オプション）を取り付けるか、RAMディスクを有効に設定する必要があります。 参照 ・ 「3.7 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -」 (P. 97)
016-708	ハードディスク（オプション）の領域が不足しているため、印刷できませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-709	ART-EX 処理でエラーが発生しました。 印刷ジョブを一度削除して、印刷し直してください。
016-710	ハードディスクが故障しているため、時刻指定プリント文書が登録できませんでした。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。
016-715	ESCP フォーム用のパスワードが一致しないため、ESCP フォームにアクセスできませんでした。 ESCP フォーム用の正しいパスワードを指定してください。
016-716	ハードディスク（オプション）の容量が不足したため、TIFF ファイルをスプールできませんでした。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
016-718	メモリーが不足したため、PCL の印刷データを処理できませんでした。 解像度を低くしたり、両面印刷や N アップをしないで、もう一度印刷を指示してください。
016-719	プリントページバッファが不足したため、PCL のプリントデータを処理できませんでした。 プリントページバッファを増やしてください。
016-720	PCL の印刷データに処理できないコマンドが含まれています。 印刷データを確認して、印刷し直してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-721	印刷処理中にエラーが発生しました。次の原因が考えられます。 1 操作パネルで「プリント設定」の「用紙の優先順位」が、すべての用紙で「設定しない」に設定されているときに、自動トレイ選択で印刷を指示している 2 ESC/P のコマンドエラー 3 データが途中で切れた場合（ThinPrint での印刷を途中ですると、データ送信が止まり、このエラーが表示されることがあります。） 1 については、自動トレイ選択で印刷をする場合は、「用紙の優先順位」で、用紙のどれかを「設定しない」以外に設定してください。また、ユーザー定義用紙を選択すると、自動的に「用紙の優先順位」が「設定しない」に設定されてしまうので、注意してください。2 については、印刷データを確認してください。 参照 ・用紙の優先順位の設定：「[用紙の優先順位]」（P. 226）
016-722	本機で対応していないホチキスの指定や、フィニッシャーで対応していない用紙サイズの指定がされました。 ホチキスの位置や用紙サイズを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-723	本機で対応していないパンチの指定や、フィニッシャーで対応していない用紙サイズの指定がされました。 パンチの位置や用紙サイズを確認して、もう一度プリントを指示してください。
016-724	ホチキスとパンチが両方指定されましたが、不可能な位置の組み合わせになっています。 ホチキスとパンチの位置が同じ側になるように指定し直して、もう一度プリントを指示してください。
016-726	操作パネルで「プリントモード指定」が「自動」に設定されている場合に、プリント言語を自動的に選択できませんでした。
016-728	TIFF ファイルにサポートしていない Tag が含まれていました。 印刷データを確認してください。
016-729	TIFF データの色数、解像度が有効範囲の上限を超えているため、印刷できませんでした。 TIFF ファイルの色数、解像度を変更して、もう一度印刷を指示してください。
016-730	ART IVでサポートされていないコマンドを検知しました。 印刷データを確認し、エラーを引き起こすコマンドを削除して、もう一度印刷を指示してください。
016-731	TIFF データが途中で切れていて印刷できませんでした。 もう一度印刷を指示してください。
016-732	エミュレーションで、指定されたフォームが登録されていません。 フォームを再登録して、もう一度印刷を指示してください。
016-733	次の原因が考えられます。 1 メール送信時、宛先メールアドレスの@の右側の文字列から IP アドレスを取得できませんでした。 2. メール送信時、@の右側のインターネットアドレスを DNS で解決できませんでした。 1. については、宛先メールアドレスが正しく入力されているか確認してください。 2. については、DNS サーバーアドレスを正しく設定してください。
016-738	PostScript で製本を指定したが、出力できない用紙サイズが設定されています。 製本が可能な用紙サイズを指定して、もう一度印刷を指示してください。
016-739	PostScript で製本を指定したが、原稿サイズと用紙サイズの組み合わせが合っていない。 製本が可能な原稿サイズと用紙サイズの組み合わせを指定して、もう一度印刷を指示してください。
016-740	PostScript で製本を指定したが、製本ができない用紙トレイが設定されています。 製本が可能な用紙トレイを指定して、もう一度印刷を指示してください。
016-741 016-742 016-743 016-744 016-745	本体の更新処理にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
016-746	PDF ファイルに、本機では対応していない機能が含まれているため、印刷できませんでした。 Adobe Reader を使って PDF ファイルを開き、[ファイル] メニューの[印刷] から印刷を指示してください。
016-747	コピーの画像繰り返し機能とアノテーション機能を同時に使用しているときに、メモリー不足が発生しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ アノテーションのイメージのサイズを大きくする ・ 画像繰り返しの個数指定を少なくする
016-748	ハードディスク（オプション）の領域が不足しているため、印刷できません。 印刷データを分割する、複数部印刷している場合は 1 部ずつ印刷するなど、印刷データのページ数を少なくしてください。 また、ハードディスク内の不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
016-749	プリンタードライバーから受信したプリント言語は、本機で印刷できません。 本機用のプリンタードライバーを使用して印刷してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。 補足 ・ PostScript など印刷したいプリント言語によっては、オプションが必要になります。
016-750	ContentsBridge Utility などの PDF や XML Paper Specification (XPS)、DocuWorks ファイルを直接送信するアプリケーションで印刷を指示しましたが、PDF または XML Paper Specification (XPS) とともに送信されるプリントジョブチケットに、本機で対応していない文法、または本機で対応していない印刷指示が含まれていました。 ContentsBridge Utility など、プリントジョブを送信しているアプリケーションの使用方法、印刷指示内容に問題がないかを確認してください。問題がない場合は、弊社ではなくプリントジョブを送信しているアプリケーション作成会社にアプリケーションの動作を確認してください。 それでも解決しない場合は、機能設定リスト、ジョブ履歴レポート、および送信しているプリントジョブチケット付きのプリントデータを取得のうえ、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡してください。
016-751	次の原因が考えられます。 1 PDF Bridge 処理中に構文エラー、未定義コマンドの使用、パラメーターエラー、PDF ファイルの破損が発生しました。 2 PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定しているときに、メモリー不足が発生しました。 3 PDF ダイレクトプリント機能の設定項目で「プリント処理モード」を「PS」に設定して、OpenType フォントが含まれている PDF を処理しました。 1. については、プリンタードライバーを使用してプリントしてください。 2. については、次のどれかの方法で対処してください。 ・ プリンタードライバーを使用してプリントする ・ PostScript 使用メモリーを増やす 3. については、OpenType フォントを含まない PDF を作成してください。 参照 ・ 「[メモリー設定]」(P. 239)
016-752	メモリー容量が不足したため、PDF Bridge の処理ができませんでした。 印刷モードが「高画質」になっている場合は「標準」に、「標準」の場合は「高速」に変更してください。
016-753	パスワードで保護されている PDF ファイルを処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。
016-755	印刷が許可されていない PDF ファイルは印刷できません。 Adobe Acrobat を使用して、PDF ファイルの印刷禁止の指定を解除してから、もう一度印刷を指示してください。 参照 ・ Adobe Acrobat に付属のマニュアル
016-756	認証 / 集計管理機能を使用して運用している場合、本機に印刷できるユーザーとして登録されていません。機械管理者に確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-757	入力した暗証番号が間違っている。もしくは、ユーザー認証できません。暗証番号や認証情報 (User ID) を確認してください。
016-758	サービスを利用できる部門として登録されていません。 集計管理者にご相談ください。
016-759	サービスを利用できる上限ページ数に達しました。 集計管理者にご相談ください。
016-760	PostScript の処理中にエラーが発生しました。次のどちらかの方法で処置してください。 ・ PostScript プリンタードライバで、[印刷モード] の [高画質] が選択されていた場合は、[高速] に変更する ・ PS 使用メモリーを増やす 参照 ・ [印刷モード]：プリンタードライバのヘルプ ・ PS 使用メモリー：「[メモリー設定]」(P. 239)
016-761	イメージ処理中にエラーが発生しました。 [グラフィックス] タブの [印刷モード] が [高精細] の場合は [標準] にして、もう一度印刷を指示してください。それでも印刷できない場合は、[詳細設定] タブの [ページ印刷モード] を [する] に設定して印刷してください。 補足 ・ NPDL プリンタードライバには [ページ印刷モード] 機能はありません。 参照 ・ [印刷モード] / [ページ印刷モード]：プリンタードライバのヘルプ
016-762	実装されていないプリント言語が指定されました。 [ネットワーク / ポート設定] の [パラレル] と [USB] で [プリントモード指定] に正しいプリント言語を指定してください。
016-764	SMTP サーバーに接続できませんでした。 サーバーの管理者にご相談ください。
016-765	SMTP サーバーのハードディスクの容量がいっぱいのため、メール送信ができませんでした。 サーバーの管理者にご相談ください。
016-766	SMTP サーバーでエラーが発生しました。 サーバーの管理者にご相談ください。
016-767	メールアドレスが間違っているため、メール送信ができませんでした。 メールアドレスを確認し、もう一度送信してください。
016-768	本機のメールアドレスが正しくないため、SMTP サーバーに接続できませんでした。 本機のメールアドレスを確認してください。
016-769	SMTP サーバーが配送確認 (DSN) に対応していません。 配送確認 (DSN) の設定をしないで、メールを送信してください。
016-772	DNS サーバーアドレスが設定されていません。 DNS サーバーアドレスを設定してください。
016-781	次の原因が考えられます。 1. メール送信時に、メールサーバーが見つかりませんでした (TCP/IP のセッション確立失敗)。 2. メール送信時に、メールサーバーから本機へ SMTP サーバーエラーを受信しました。 1. 次のどれかの方法で処置してください。 ・ ネットワークケーブルを確認する ・ SMTP サーバーを IP アドレスで指定している場合は、IP アドレスが正しいか確認する 2. 本機のホスト名を、ASCII 文字で指定してください。 使用できる文字 ・ アルファベット (a ~ z, A ~ Z) ・ 数字 (0 ~ 9) ASCII 文字を使用しているかどうかは、CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
016-792	プリンター集計レポートを印刷する場合に、ジョブの履歴が取得できませんでした。ジョブの履歴は存在しません。
016-798	ハードディスク（オプション）が故障しているため、指定されたプリントはできません。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
016-799	プリントデータに不正なパラメーターが含まれています。 たとえば、プリンタードライバーまたはアプリケーションで、用紙サイズ、給紙トレイ、両面指定、排出トレイなどが、本機では処理できない組み合わせに設定されている可能性があります。設定を変更してから、もう一度印刷を指示してください。 また、用紙ガイドの位置がずれている場合があります。用紙ガイドの位置を確認してください。
017-700	ThinPrint .print Engine との接続がタイムアウトになりました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-701	ThinPrint .print Engine との接続でエラーが発生しました。 ThinPrint .print Engine との接続を確認してください。
017-702	ThinPrint .print Engine から送信されたデータが不正です。 ThinPrint .print Engine のエラーの可能性があります。再度印刷処理を行うと成功する場合があります。
017-703	ThinPrint .print Engine から送信された印刷データが本機で扱える最大サイズを超えました。 ジョブを分割して、再度印刷処理をやり直してください。
017-704	内部エラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、電源を入れ直したあとに、もう一度同じ操作を実施してください。
017-705 017-706 017-707 017-708	ThinPrint .print Engine の SSL 認証エラーです。 ThinPrint .print Engine に登録しているサーバ証明書の内容（有効期限、アドレスなど）を確認してください
017-709	ThinPrint .print Engine との SSL 通信エラーが発生しました。 本機の設定を確認してください。
017-713	SMTP サーバーが [STARTTLS 接続] に対応していません。 SSL/TLS 通信の設定を [STARTTLS 接続] 以外に変更してください。
017-714	SMTP サーバとの SSL 接続に失敗しました。 SMTP サーバが SSL 接続に対応しているか確認ください。対応している場合、SMTP サーバのポート番号を確認してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-715	SMTP サーバーの SSL サーバ認証エラーです。サーバ証明書データが不正です。 本機が SMTP サーバーの SSL 証明書を信頼できません。SMTP サーバーの SSL 証明書のルート証明書を本機に登録してください。
017-716	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバ証明書が有効期限前です。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-717	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバ証明書が有効期限切れです。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-718	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。サーバ名と証明書が一致していません。 SMTP サーバーの SSL 証明書を有効なものに変更してください。本機の [SSL/TLS 設定] の [SMTP - SSL/TLS 通信] を [無効] に設定してもエラーを回避できますが、接続する SMTP サーバーの正当性が保証されなくなりますので注意してください。
017-719	SMTP サーバーの SSL 認証エラーです。SSL 認証内部エラーです。 もう一度、同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
017-723	DocuWorks ダイレクトプリントに対応していない文字が使用されています。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（NPDL、ART-EX プリンタードライバーなど）を使用して印刷してください。
017-725	強制アノテーションを印字する設定にしているときに、プリント指示でエラーが発生しました。 強制アノテーションのテンプレート名が正しくありません。 もう一度、本機に登録されている強制アノテーションのテンプレート名をご確認ください。
017-729	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、受け付けられるジョブの数が上限を超えているか、ジョブのスプール領域不足により、ジョブが一時的に送信できませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ プリントジョブ蓄積先の機器（親機）で、プリントデータのスプール先をハードディスクに設定してください。CentreWare Internet Services で、[プロパティ] > [一般設定] > [メモリー設定] > [IPP] で [ハードディスク] を選択します。 ・ しばらく待ってから、再度ジョブを送信してください。
017-730	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ネットワークエラーが発生しました。 次の確認を行ってください。 ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する。 ・ プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の電源が入っていることを確認する。 ・ プリントジョブ蓄積先の機器（親機）の IPP ポートが起動していることを確認する。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-731	POP サーバーとの接続に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ 本機に設定した、POP サーバーの IP アドレスが正しく設定されているか ・ ネットワークケーブルが接続されているか
017-732	指定されたフォームが登録されていないことをデコンポーザーが検知しました。 フォームデータを再送してください。
017-733	プリントジョブ蓄積先の機器（親機）にジョブを送信するときに、ソフトウェアの内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-735	デバイスの利用が禁止されています。 機械管理者に相談してください。
017-755	ソフトウェアダウンロードに失敗しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [サービス設定] > [Machine Software] > [ネットワーク経由のソフトウェアダウンロード] で、[許可] にチェックが付いているかを確認してください。
017-756	本機にエラーが発生しました。 本体の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善しないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-759	本機のファームウェアを更新中にエラーが発生しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-766	POP3 サーバーとの接続でエラーが発生しました。 次の原因が考えられます。 1 TLS モードで POP3 サーバーに接続している場合、ポート番号が異なっている可能性があります。 2 それ以外の場合、プログラムの内部エラーが発生した可能性があります。 1. については、POP3 サーバーのポート番号を正しい値に設定してください。 2. については、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-767	POP3 サーバーのサーバー証明書に不正があるため、SSL サーバー認証でエラーが発生しました。 本機に POP3 サーバーの正しいサーバー証明書を登録してください。

エラーコード	原因 / 処置
017-768	有効期間前のサーバー証明書で POP3 サーバーに SSL 接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-769	有効期限が切れたサーバー証明書で POP3 サーバーに接続しました。 POP3 サーバーと本機の時計を正しい時刻に合わせてください。時計が正しい場合は、本機に有効期間内のサーバー証明書を登録してください。
017-770	POP3 サーバーとサーバー証明書のサーバーアドレスが一致していません。 正しいサーバーアドレスが記載されたサーバー証明書を本機に登録してください。
017-771	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
017-780	プリントジョブの追い越しを [許可] に設定した場合、追い越されたプリントジョブが一定時間を経過して自動解除されました。 特に処置はありません。追い越されたプリントジョブの自動解除設定が有効になっている場合にこの機能が働きます。 運用上不都合がある場合は、設定を [禁止] にするか、自動解除までの時間を適切な値（1 分～120 時間）に設定し直してください。
017-787	Google クラウドプリントのプリントデータ処理中にエラーが発生しました。 Google クラウドプリント以外の方法でプリントしてください。
018-400	本機の IPsec 設定が正しくありません。 認証方式を [事前共有鍵] に設定した場合はパスワード、認証方式を [デジタル署名] に設定した場合は IPsec 証明書を設定し直してください。
018-405	LDAP 認証エラーで認証に失敗しました。 認証先のアクティブディレクトリーでアカウントが無効に設定されています。または、サーバー側でアクセス禁止に設定になっています。サーバー管理者にお問い合わせください。
018-406	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットカード（オプション）を独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv4 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-407	Ethernet1 とセカンダリーイーサネットカード（オプション）を独立したネットワークに接続した場合に、同一の IPv6 アドレスが設定されたことを検知しました。 各イーサネットに別々の IP アドレスを設定し直してください。同一 IP アドレスを設定したい場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-408	Ethernet2 側のネットワークで、IPv4 の IP アドレスが重複しています。 Ethernet2 側の IPv4 アドレスを変更して IP アドレスの重複を解消してください。
018-409 018-412 018-413 018-416	Ethernet2 側のネットワークで、IPv6 の IP アドレスが重複しています。 重複しているネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-410	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv4 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-411	Ethernet2 側のネットワークで、DNS サーバーに対する、IPv6 アドレスとホスト名の更新に失敗しました。 DNS サーバーアドレスが正しく設定されているか確認してください。
018-414	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
018-415	Ethernet2 側で手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
018-500	認証サーバーに証明書がありません。 サーバー証明書を設定してください。または、認証機能を解除してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-501	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 ネットワーク接続および CA 認証サーバーのアドレスを確認してください。
018-503 018-504 018-506	本機に設定された CA 認証サーバーとの通信に失敗しました。 もう一度、認証操作を行ってください。
018-507	入力されたユーザー名またはパスワードが正しくないため、認証に失敗しました。 ユーザー名またはパスワードを確認して正しく入力してください。
018-508	認証中にサーバーエラーが発生しました。 認証サーバーの状態を確認してください。
018-511	DNS サーバーのアドレスが設定されていません。 本機に DNS サーバーのアドレスを設定してください。
018-565	DNS サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ 本機に設定されているプロキシサーバー名が DNS に登録されているか ・ DNS サーバーと接続されているか ・ DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか
018-571	本機にエラーが発生しました。 もう一度同じ操作をしてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、 またはサービス窓口にご連絡ください。
018-572	内部エラーが発生しました。 指定したコンテキスト名が正しいか確認してください。
018-573	内部エラーが発生しました。 指定した接続名が正しいか確認してください。
018-574	内部エラーが発生しました。 指定したボリューム名が正しいか確認してください。
018-575	内部エラーが発生しました。 指定したユーザー名およびパスワードが正しいか確認してください。
018-576	内部エラーが発生しました。 指定したパス名が正しいか確認してください。
018-577	内部エラーが発生しました。 指定したファイル名が正しいか確認してください。
018-578	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ ネットワークケーブルが接続されているか ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ サーバー名およびツリー名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-579	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ データが格納されているサーバー容量 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-580	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ボリューム名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-581	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ディレクトリーパス名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。

エラーコード	原因 / 処置
018-583	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーのハードディスク状態 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-584	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か確認してください。 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-585	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ほかのユーザーが利用状況（使用中、書き込みロック中など） また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-586	NetWare サーバーとの通信に失敗しました。 次の項目を確認してください。 ・ NetWare サーバーにコンピューターからアクセス可能か ・ ログインユーザ名 ・ ログインパスワード ・ ボリューム名 ・ サーバー名およびツリー名 ・ コンテキスト名 また、NetWare サーバーで DSREPAIR を実行し、データベースの修復を行ってください。
018-590	サーバー上で同名のファイルやフォルダーを検知しました。 次のどれかの方法で処置してください。 1 複数の機械から同じサーバーの同じフォルダーにアクセスしていない状態で、もう一度同じ操作をしてください。 2 再発する場合は、サービス窓口にご連絡ください。
018-596	LDAP サーバーの認証でエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-700	外部認証時にエラーが発生しました。 しばらくしてから、もう一度同じ操作を実施してください。
018-709	外部アクセス中に、エラーが発生しました。 環境に応じて、次のどれかの方法で処置してください。 IPv4 環境の場合 ・ 本機の IPv4 アドレスを確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ DHCP サーバーのアドレスを確認する IPv6 環境の場合 ・ 本機の IPv6 アドレスに IPv6 ルーターから配布されるグローバルアドレスが割り当てられているか確認する ・ ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認する ・ IPv6 ルーターが正しく設定されているか確認する
018-715	Kerberos サーバーの認証プロトコルエラーです。 Kerberos サーバーに、本機で利用できる認証方式と一致するものがない、または本機に、Kerberos サーバーで利用できる認証方式と一致するものがありません。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ Kerberos サーバーの認証方式を設定しなおしてください。 ・ 本機の FIPS 認証モードを解除してください。 それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-722	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。

エラーコード	原因 / 処置
018-723	Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-724	Google クラウドプリントとの通信で、SSL 通信エラーが発生しました。 SSL の設定が正しいかを確認してください。
018-725	Kerberos サーバーに設定されたユーザーのパスワードの使用期限が切れています。 パスワードの使用期限を延長してください。
018-728	Kerberos サーバーに認証されませんでした。" 次のどれかの方法で処置してください。 ・ KDC 証明書のルート CA 証明書が登録されていない場合は、ルート CA 証明書を登録してください。 ・ KDC 証明書が失効している場合は、サーバーの KDC 側の証明書を更新してください。 ・ 本機に設定した Kerberos サーバーのアドレスと、Kerberos サーバーの KDC 証明書に記載されたアドレスが一致していることを確認してください。
018-729	Google クラウドプリントとの接続がタイムアウトになりました。 しばらく待ってから、もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-730	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。それでも状態が改善されないときは、内部エラーが発生している可能性があります。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-731	ハードディスクの容量が不足しているため、ジョブを中止しました。 ハードディスクの空き容量を確認し、不要ファイルを削除してください。処理中のジョブはすべて実行してから、もう一度操作してください。
018-737	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-738	Google クラウドプリントとの通信で、ネットワークエラーが発生しました。 ネットワークケーブルが正しく接続されているか、使用環境の設定が正しいかを確認してください。
018-739	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-740	Google クラウドプリントとの通信で、証明書にエラーがありました。 正しいルート CA 証明書が機械に登録されているか、証明書検証の設定が正しいかを確認してください。
018-741	内部エラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
018-743	Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-744	Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。
018-745	Google クラウドプリントとの通信で、プロキシ接続のエラーが発生しました。 プロキシサーバーの設定が正しいかを確認してください。
018-746	Google クラウドプリントとの通信で、DNS による名前の解決に失敗しました。 DNS の設定が正しいかを確認してください。
021-536	ソフトウェアに最新の設定が反映されていません。 本機を再起動してソフトウェアを最新の状態にしてから、もう一度同じ操作を実施してください。

エラーコード	原因 / 処置
021-537	操作パネルからソフトウェアバージョンアップを指示しましたが、すでに予約されていたバージョンアップの処理中だったため、実行できませんでした。 処理中のバージョンアップが完了してから、もう一度同じ操作を実施してください。
021-538	操作パネルからソフトウェアバージョンアップを指示しましたが、すでに予約されていたバージョンアップの処理中だったため、実行できませんでした。 機械管理者に相談してください。予約者が機械管理者でない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
021-539	ソフトウェアバージョンアップの予約日時に本機を使用中だったため、バージョンアップを実行できませんでした。 機械管理者に相談してください。予約者が機械管理者でない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
024-700	オプション機能を利用するために必要なメモリー容量、またはハードディスクが装着されていません。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、弊社のサービス窓口にて、電話でお問い合わせください。
024-701	指定した用紙と組み合わせができない排出面設定になっています。 組み合わせ可能な用紙と排出面設定を指定してください。
024-702	〔システム設定〕で〔紙づまり時の処理〕を〔プリント中止〕に設定しているときに、紙づまりが発生しました。 詰まった用紙を取り除いて、もう一度プリント指示をしてください。
024-703	製本可能な枚数の上限を超えているためプリントできませんでした。 坪量の少ない用紙に変更してください。または、製本の作成を解除してください。
024-742	プリントオプションで製本を指定したジョブのプリント枚数が、製本を作成可能な枚数を超えました。 プリントオプションで、製本を作成可能な枚数ごとに分冊するか、製本の作成を解除してください。
024-746	指定した紙質と組み合わせができない機能（用紙サイズ、用紙トレイ、両面印刷のどれか）が指定されました。 印刷データを確認してください。
024-747	プリンターパラメーターの組み合わせが不正です。原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度、プリントを指示してください。
024-775	プリントオプションで製本を指定したジョブのプリント枚数が、製本を作成可能な枚数を超えました。 プリントオプションで、製本を作成可能な枚数ごとに分冊するか、製本の作成を解除してください。
025-596 025-597	ハードディスクにエラーが発生しました。 ハードディスクを交換してください。
026-700	USB ケーブルが外れているか、USB インターフェイスが壊れている可能性があります。 USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
026-701	USB インターフェイスにエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度操作するか、USB ケーブルが接続されているか確認して、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
026-704	DocuWorks 文書の処理中にエラーが発生しました。 DocuWorks Viewer からプリンタードライバー（NPD、ART-EX、PCL など）を使用して印刷してください。
026-705	メモリー容量が不足したため、DocuWorks 文書の処理ができません。 印刷モードが「高画質」になっている場合には、「標準」に、「標準」の場合には「高速」に変更してください。

エラーコード	原因 / 処置
026-706	印刷禁止指定された DocuWorks 文書を処理しようとしてしました。 DocuWorks Viewer を使用して印刷禁止指定を解除して、再プリントしてください。
026-707	パスワードで保護されている DocuWorks 文書を処理する場合で、パスワードが一致しませんでした。 正しいパスワードを ContentsBridge で指定してください。
026-710	本機が対応していない暗号方式で暗号化された S/MIME メールを受信しました。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ メール送信者に暗号方式（3DES）で暗号化したメールの送信を依頼してください。 ・ 本機の FIPS140 認証モードを解除してください。
026-712	CentreWare Internet Services からの操作中にエラーが発生しました。 しばらくしてから、もう一度操作してください。
026-718	プリントの指示で、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙トレイ、両面印刷、排出トレイなどで、組み合わせできない機能が指定されています。 プリントデータを確認して、もう一度プリントを指示してください。
026-726	プリントジョブの指定時に機器構成情報が、実際の機器構成と一致していません。 プリンタードライバー画面で機器構成情報と、実際の機器構成を合わせてください。
026-727	次の原因が考えられます。 1 保存先のパス名に、使用できない文字（①など）が使われています。 2 保存先のパス名（拡張子を含む）が利用できる文字数を超えています。 次のいずれかを実行してください。 1 については、保存先のパス名を変更してください。 2 については、保存先のパス名を 1 ～ 255 バイト以内で設定してください。
026-730	指定した用紙トレイにセットされている用紙のサイズが不明です。 指定した用紙トレイの用紙ガイドの位置を確認し、再度ジョブを実行してください。
027-400	本機との通信に失敗しました。 他のメッセージが表示されている場合はそちらの内容を確認してください。パネル操作中なら操作を完了してください。リモートアクセス中ならアクセスが終了するまで待ってください。それでも解消しない場合は電源を切 / 入してください。実施しても問題が解消しない場合は、お問い合わせの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
027-442	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 「ステートレス自動設定アドレス 1」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-443	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 「ステートレス自動設定アドレス 2」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-444	IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 「ステートレス自動設定アドレス 3」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-445	手動設定した IPv6 の IP アドレスが間違っています。 正しい IPv6 アドレスを設定し直してください。
027-446	手動設定した IPv6 の IP アドレスが重複しています。 本機 IPv6 の「手動設定アドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-447	IPv6 アドレスが重複しています。 本機の IPv6 「リンクローカルアドレス」、またはネットワーク上機器の IPv6 アドレスを変更して、IP アドレスの重複を解消してください。
027-452	IP アドレスが重複しています。 本機に設定した IP アドレスを確認してください。
027-500	SMTP サーバーに接続できませんでした。 SMTP サーバー名を正しく指定するか、IP アドレスで指定してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-501	POP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
027-502	POP3 プロトコル利用時に、POP3 サーバーへのログインに失敗しました。 CentreWare Internet Services から POP3 サーバーで使用するユーザー名とパスワードが正しく設定されているかを確認してください。
027-503	POP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
027-504	SMTP サーバーでエラーが発生しました。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
027-700	宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されています。 宛先メールアドレスのドメイン部分が禁止ドメインに指定されていないことを確認してください。
027-701	ネットワークケーブルが抜けています。 ネットワークケーブルを本機に差し込み直してください。
027-702	指定した宛先用証明書がありません。 宛先用証明書を本機に登録してください。
027-703	指定した宛先用証明書の有効期限が切れています。 有効期限が切れていない宛先用証明書を本機に登録してください。
027-704	指定した宛先用証明書の CA 証明書がありません。 宛先用証明書の証明書パスを確認して、必要な CA 証明書を本機に登録してください。
027-705	指定した宛先用証明書が、廃棄対象になっています。 廃棄対象ではない宛先用証明書を指定してください。
027-706	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられた S/MIME 証明書が存在しませんでした。 メールアドレスに対応した S/MIME 証明書を、本機にインポートしてください。
027-707	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられた S/MIME 証明書の有効期限が過ぎていました。 新しく S/MIME 証明書を発行してもらい、本機にインポートしてください。
027-708	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられている S/MIME 証明書が、信頼できない証明書でした。 信頼できる証明書を本機にインポートしてください。
027-709	メールの送信時に、本体メールアドレスに関連付けられている S/MIME 証明書が、廃棄されていました。 新しい S/MIME 証明書を本機にインポートしてください。
027-710	受信したメールに、S/MIME 証明書がありません。 送信者に、S/MIME 証明書を添付してメールを送信するよう、連絡してください。
027-711	受信したメールから、送信者の S/MIME 証明書が取得できませんでした。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、送信者が送信する S/MIME 署名メールに、S/MIME 証明書を添付してください。
027-712	受信したメールの S/MIME 証明書が、有効期限を過ぎているか、信頼できない証明書でした。 送信者に、期限の有効な S/MIME 証明書を添付してメールを送信するように連絡してください。
027-713	受信したメールが、送信経路で改ざんされている可能性があるため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、メールが改ざんされている可能性があることを連絡し、メールを再送信してもらってください。

エラーコード	原因 / 処置
027-714	受信したメールの From フィールドと、S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていたため、受信したメールを破棄しました。 送信者に、From フィールドと S/MIME 署名メールのメールアドレスが異なっていることを連絡し、メールを再送信してもらってください。
027-715	受信したメールの S/MIME 証明書が、本機に登録されていないか、本機で使用するよう設定されていません。 送信者の S/MIME 証明書を本機にインポートするか、すでに S/MIME 証明書が登録済みの場合は、本機で使用するよう設定してください。
027-716	受信したメールの S/MIME 証明書が信頼できないため、受信メールを破棄しました。 送信者に信頼できる S/MIME 証明書を添付して送信するように連絡してください。
027-717	メール送信で使用する SMTP サーバーのアドレスを DNS サーバーから取得できませんでした。 DNS サーバーが正しく設定されているか確認してください。
027-720	アプリケーション連携先のサーバーが見つかりません。 DNS サーバーのアドレスが正しく設定されているか確認してください。または、連携するアプリケーション（ApeosWare Flow Service）がインストールされているコンピューターが、DNS 登録されているかを確認してください。
027-721	アプリケーション連携先が存在しません。 連携するアプリケーション（ApeosWare Flow Service）が正しく動作しているかを確認してください。
027-724	アプリケーション連携（ApeosWare Flow Service）に失敗しました。 ApeosWare Flow Service が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-725	アプリケーション連携でジョブ操作に失敗しました。 連携するアプリケーション（ApeosWare Flow Service）が正しく動作しているかを確認してください。動作している場合は、ログを確認してください。動作していない場合は、ネットワーク環境を確認してください。
027-726	アプリケーション連携先（ApeosWare Flow Service）のステータスが不明になりました。 ApeosWare Flow Service が正しく動作しているか確認してください。正しく動作している場合はログを確認してください。
027-728	外部サービスへの送信要求ファイル数が、送信可能最大数を超えました。 送信可能枚数を超えない枚数で、もう一度実行してください。
027-730	SMTP メールで、分割可能なページ数の上限を超えました。 ページ分割に設定してあるページ数を大きくするか、原稿のページ数を少なくしてください。
027-735	SSL を使った転送指定に対して、本機の SSL 設定が無効になっています。 本機の SSL 設定を有効にしてください。または、転送プロトコルを HTTP に指定してください。
027-736	サーバー証明書検証指定に対して、本機のサーバー証明書検証が無効になっています。 本機のサーバー証明書検証設定を有効にしてください。または、転送時のサーバー証明書検証指定を無効にしてください。

エラーコード	原因 / 処置
027-757	次の原因が考えられます。 1 サーバーとの通信でエラーが発生しました。 2 本機に信頼する証明書がインポートされていません。 3 SSL プロキシサーバーを経由したため、SSL 証明書記載のサーバーアドレスと接続先サーバーアドレスが一致しませんでした。 4 本機未対応の暗号方式が使われるサーバーと通信しようとしてしました。 5 SSL サーバーがクライアント証明書認証の設定の場合、本機にクライアント証明書が未登録または一致しません。 6 サーバー証明書の有効期限が切れている、または期限前です。 1. については、ping または traceroute コマンドを使用して、本機とサーバーまたは DNS との接続を確認してください。 2. については、本機に、SSL サーバーの証明書が信頼する CA 証明書・中間証明書がインポートされているかをブラウザで確認してください。不足なら CA 証明書・中間証明書をインポートしてください。 3. については、本機が SSL 通信内容を確認する機能を持つ SSL プロキシを経由しないか確認してください。経由していた場合、本機を SSL プロキシの対象外に指定してください。 4. については、本機が対応する暗号方式にサーバーが対応しているか確認してください。対応していない場合は、対応している暗号方式を SSL サーバー設定に含めてください。 5. については、本機にクライアント証明書を設定してください。本機にクライアント証明書をインポートし、クライアント証明書として利用します。 6. については、本機の日時が正しいか、サマータイムまたは時差を確認します。ずれがある場合は日時または時刻を合わせます。
027-760	XJT コマンドで仕様範囲外のパラメーターが指定されました。 指定したパラメーターを確認してください。
027-763	外部のアカウントティングサーバーまたは外部認証サーバーとユーザー情報の照合ができませんでした。 次のどれかの方法で処置してください。 ・ 外部アカウントティングサーバーまたは外部認証サーバーが正しく動作しているか確認する ・ ネットワークに障害がないか確認する ・ ネットワークケーブルを正しく接続する ・ 本機の設定を確認する
027-770	プリントジョブに問題があります。 ジョブを再度実行してください。
027-771	本機に接続しているサーバーのハードディスクがいっぱいになりました。 サーバーのデータを削除してください。
027-772	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] でホスト名を、ASCII 文字で設定してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが HELO コマンドに対応しているか確認してください。
027-773	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 しばらく待ってから、もう一度操作してください。
027-774	指定したメールアドレスに使用できない文字が含まれています。 宛先のメールアドレスは、ASCII 文字だけで設定してください。
027-775	送信する宛先数が多すぎます。 宛先数を減らしてください。 それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが EHLO コマンドに対応しているか確認してください。
027-776	SMTP サーバーとの通信でエラーが発生しました。 CentreWare Internet Services の [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] でホスト名を、ASCII 文字で設定してください。それでも状態が改善されないときは、ネットワーク管理者に SMTP サーバーが HELO コマンドに対応しているか確認してください。
027-777	送信先の SMTP サーバーが SMTP-AUTH に対応していません。 CentreWare Internet Services で [プロパティ] > [ネットワーク設定] > [SMTP] > [SMTP 送信の認証] を [利用しない] に設定してください。

エラーコード	原因 / 処置
027-778	送信先の SMTP サーバーが、本機に設定してある SMTP-AUTH の認証方式に対応していません。 ネットワーク管理者に、SMTP サーバーに認証方式を確認してください。 本機が対応している認証方式は、AUTH GSSAPI（Kerberos 指定時のみ）、AUTH NTLMv2、AUTH NTLMv1、AUTH PLAIN、AUTH LOGIN、AUTH CRAM-MD5 です。
027-779	SMTP サーバーの認証に失敗しました。 SMTP-AUTH に設定してあるログイン名とパスワードを確認してください。
027-796	メール受信時に添付文書だけを印刷するように設定している場合に、文書が添付されていないメールを受信したので、そのメールが破棄されました。 メール本文やメールヘッダー情報なども印刷したい場合は、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブで設定を変更してください。
027-797	受信メールの出力先が不正です。正しい出力先を指定して、もう一度メールを送信してください。
041-210 041-211	内部エラーが発生しました。 再度同じ操作を行ってください。それでも状態が改善されない場合は、機械の故障が考えられます。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
047-211 047-212	オフセット排出ユニットにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
047-213	異なるタイプのフィニッシャが取り付けられていることを検知しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
047-214 047-215	本機にエラーが発生しました 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
047-216	フィニッシャとの接続異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
047-217	大容量トレイモジュールとの接続異常が発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 ふたたび同じメッセージが表示された場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
047-218	本機にエラーが発生しました 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
071-210	用紙トレイ 1 が故障しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
071-211	用紙トレイ 1 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
071-402	用紙トレイ 1 の用紙搬送ロールが寿命です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
072-210	用紙トレイ 2 が故障しました。 用紙トレイ 2 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。なお、用紙トレイ 2 以外の用紙トレイは使用できます。

エラーコード	原因 / 処置
072-211	用紙トレイ 2 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
072-402	用紙トレイ 2 の用紙搬送ロールが寿命です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
073-210	用紙トレイ 3 が故障しました。 用紙トレイ 3 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。なお、用紙トレイ 3 以外の用紙トレイは使用できます。
073-211	用紙トレイ 3 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
073-402	用紙トレイ 3 の用紙搬送ロールが寿命です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
074-210	用紙トレイ 4 が故障しました。 用紙トレイ 4 の用紙セット状態を確認し、本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。なお、用紙トレイ 4 以外の用紙トレイは使用できます。
074-211	用紙トレイ 4 にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
074-402	用紙トレイ 4 の用紙搬送ロールが寿命です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
075-402	手差しトレイの用紙搬送ロールが寿命です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
077-211	異なるタイプの用紙トレイモジュールが取り付けられていることを検知しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
077-213	本機の両面ユニットでエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
078-212	大容量トレイモジュールにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
078-219	大容量トレイモジュールにエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
078-250	用紙トレイ 6（大容量トレイモジュール）にエラーが発生しました。 本機の電源を切り、操作パネルのディスプレイが消灯してから、もう一度電源を入れてください。 それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
078-404	用紙トレイ 6 の用紙搬送ロールが寿命です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
078-500	トレイ 6（大容量トレイモジュール）が故障しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
094-412	転写ユニットが寿命です。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

エラーコード	原因 / 処置
112-700	フィニッシャのパンチダストボックスが、切りくずでいっぱいになりました。 パンチダストボックスの切りくずを捨ててください。 参照 ・「パンチ穴のクズを捨てる」(P.340)
116-220	ダウンロードモードへの移行に失敗しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
116-701	メモリーが不足したため、両面プリントができません。 プリンタードライバーで「印刷モード」を「標準」に設定してください。 補足 ・「印刷モード」の機能は NPDL プリンタードライバーにはありません。
116-702	代替フォントでプリントされました。 プリントデータを確認してください。
116-703	PostScript でエラーが発生しました。 プリントデータを確認してください。
116-710	受信データが HP-GL/2 (オプション) スプールサイズを超えたため、正しい原稿サイズ判定が行われていない可能性があります。 HP-GL/2 オートレイアウトメモリーの割り当て量を増やしてください。
116-711	指定した ART-EX フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていない。 用紙サイズと向きを、指定した ART-EX フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-712	ART-EX フォームメモリーが不足したため、フォームが登録できません。 不要なフォームを削除するか、ART-EX フォームメモリーの領域を増やしてください。
116-713	ハードディスク (オプション) がいっぱいになったため、ジョブを分割して印刷しました。 ハードディスク内の不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。
116-714	HP-GL、HP-GL/2 コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-715	ART-EX フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-718	指定した ART-EX 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。フォームの登録状態は、 「ART EX フォーム登録リスト」で確認できます。 参照 ・「9.2 レポート / リストを印刷する」(P. 342)
116-720	メモリーが不足したため、プリント処理時にエラーが起きました。 不要なポートを停止したり、データを削除して、空き容量を増やしてください。
116-725	本機のイメージログ格納領域が不足しているため、イメージログの書き込みに失敗しました。 もう一度、ジョブを実行してください。 それでも、同じエラーが発生する場合は、次のどれかの方法で処置してください。 ・ 不要なイメージログを削除する ・ イメージログの「ログの作成保証レベル」を「低」に変更する この場合、作成されたイメージログの内容は保障されません。
116-737	ART IV ユーザー定義メモリーが不足したため、ユーザー定義データが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV ユーザー定義メモリーの領域を増やしてください。
116-738	指定した ART IV フォームのサイズと向きが、印刷する用紙と合っていない。 用紙のサイズと向きを、指定した ART IV フォームに合わせて、もう一度印刷を指示してください。
116-739	ART IV フォームメモリー、またはハードディスク (オプション) の容量が不足して、フォーム、またはログデータが登録できません。 不要なデータを削除するか、ART IV フォームメモリーの領域を増やしてください。

エラーコード	原因 / 処置
116-740	印刷データにプリンターの制限値を超える値が使用されているため、数値演算エラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-741	ART IV フォームの登録上限数に達したので、フォームが登録できませんでした。 不要なフォームを削除してください。
116-742	ART IV ログデータの登録上限数に達したので、ログデータが登録できません。 不要なログデータを削除してください。
116-743	ART IV フォームメモリーが不足して、フォーム、またはログデータが登録できません。 メモリーの領域を増やしてください。
116-745	ART IV コマンドエラーが発生しました。 印刷データを確認してください。
116-746	指定した ART IV 用フォームは登録されていません。 登録されているフォームを使用するか、フォームを登録してください。 フォームの登録状態は、[ART IV, ESC/P ユーザー定義リスト] で確認できます。
116-747	HP-GL、HP-GL/2 の有効座標エリアに対して、ペーパーマージン値が大きすぎます。 ペーパーマージン値を少なくして、もう一度印刷を指示してください。
116-748	HP-GL、HP-GL/2 の印刷データに描画データがありません。 印刷データを確認してください。
116-749	指定されたフォントがないため、ジョブを中止しました。 フォントをインストールするか、プリンタードライバー側でフォント置き換えを設定してください。
116-750	バナーシートの給紙トレイに不具合があります。 バナーシートの給紙トレイを正常な状態にもどすか、バナーシートの給紙トレイを変更してください。
116-751	ハードディスクの容量がいっぱいで処理が中止されました。 蓄積文書を削除してください。それでも状態が改善されないときは、ファイルを分割して処理してください。
116-752	PDF や XML Paper Specification (XPS)、DocuWorks ファイルのプリントジョブチケットの記述内容に問題があります。 もう一度同じ操作を実施してください。それでも状態が改善されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
116-771 116-772 116-773 116-774 116-775 116-776 116-777 116-778	JBIG データに含まれるパラメーターに不正なものがあり、それを自動的に修正しました。 ジョブの実行結果に問題がある場合は、再度、ジョブを実行してください。
116-780	本機が受信したメールの添付文書に問題があります。 添付文書を確認してください。 参照 ・「5.3 電子メールを使って印刷する - メール受信プリント -」(P. 137)
116-790	すべての部数をホチキス留めをしないで印刷しました。 ホチキスの設定位置が正しいかを確認し、もう一度実行してください。
117-353	NPD L 処理でエラーが発生しました。 印刷ジョブを削除して、印刷し直してください。
124-702	指定した排出先（フィニッシュトレイ）が故障しているため、排出先を変更しました。 お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。なお、故障しているフィニッシュトレイ以外の排出トレイは使用できます。

エラーコード	原因 / 処置
124-705	パンチの設定を解除しました。 パンチの設定位置が正しいか確認し、もう一度実行してください。
124-706	紙折りの設定を解除しました。 紙折りの設定が正しいか確認し、もう一度実行してください。
124-708	用紙の排出先が、指定したトレイではなく、センタートレイに排出されました。次の原因が考えられます。 1. 両面指定時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙が送られた 2. フィニッシャのパンチが故障した 次の処置を行ってください。 1. については、指定したサイズの用紙がトレイにセットされているか確認してください。 2. については、操作パネルに、012-231、012-232、012-233、012-234 どれかのエラーコードが表示されていることを確認して、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
124-709	ホチキスで留められる枚数を超えています。 ホチキスで留められる枚数を超えないようにするか、ホチキスの設定を解除し、もう一度実行してください。
124-710	指定した排出先から排出できません。排出できない用紙サイズや紙質が指定されているか、排出先が故障しています。 操作は必要ありません。自動で利用可能な排出先を選択して排出されます。正しい用紙サイズや紙質を指定しても、指定した排出先から排出されない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

8.8 ネットワーク関連のトラブル

ネットワーク環境で印刷できないなどのトラブルについては、本機に同梱されているメディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の『マニュアル（HTML 文書）』を参照してください。

ここでは、CentreWare Internet Services とメール受信プリント / メール通知サービス機能を使用している場合や IPv6 に接続している場合に、発生しやすいトラブルについて、原因と処置方法を説明します。操作パネルにエラーメッセージやエラーコードが表示されている場合は、「8.7 主なエラーメッセージとエラーコード」（P. 287）を参照して処置してください。

CentreWare Internet Services 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services に接続できない	本機は正常に作動していますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。
	インターネットサービスが起動されていますか？ [機能設定リスト] を印刷して確認してください。
	URL は正しく入力されていますか？ URL をもう一度確認してください。接続できない場合は、IP アドレスを入力して接続してください。
	HTTP のポート番号は正しいですか？ HTTP のポート番号をもう一度確認してください。ポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) http://printer1.example.com:80/
	SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合、アドレス欄に正しく入力していますか？ SSL/TLS サーバー通信を有効にしている場合は、Web ブラウザーのアドレス欄に「http」ではなく、「https」から始まるアドレスを入力します。また、SSL/TLS のポート番号を変更した場合は、接続するときに、アドレスの後ろに「:」に続けてポート番号を指定する必要があります。 例) https://printer1.example.com:80/
	プロキシサーバーを使用していますか？ プロキシサーバーによっては、接続できない場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。 参照 ・ Web ブラウザーのヘルプ
Web ブラウザーに[しばらくお待ちください]などのメッセージが表示されたままになる	そのまましばらくお待ちください。 状態が変わらない場合は、Web ブラウザーの表示を更新してみてください。状態が変わらない場合は、本機が正常に作動しているかを確認してください。
最新の情報が表示されない	[更新] をクリックしてください。
[表示更新] が機能しない 左側のメニューを選択しても、画面が切り替わらない 表示が遅い	指定されている OS や Web ブラウザーを使用していますか？ 「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照して、使用している OS や Web ブラウザーが使用できるかどうかを確認してください。
	プロキシサーバーを使用していると、状態が正しく表示されなかったり、表示が遅くなったりする場合があります。 プロキシサーバーを使わないで接続してください。
	使用している Web ブラウザーに古い状態がキャッシュされている可能性があります。 Web ブラウザーのキャッシュをすべてクリアしてください。

症状	原因 / 処置
画面の表示が崩れる	Web ブラウザーのウィンドウサイズ、または表示フォントサイズを変更してください。
日本語が正しく設定できない	シフト JIS コードを使用してください。また、半角カタカナ文字は使用できない場合があります。
「新しい設定を適用」をクリックしても反映されない	入力した値は正しいですか？ 入力できる値以外を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。 入力した値を確認してください。
パスワード入力画面が表示される	CentreWare Internet Services の機械管理者のパスワードの初期値は、機械管理者にお問い合わせください。 注記 ・ 機械管理者の User ID およびパスワードは、本機を設置したあと、すぐに変更することをお勧めします。

メール受信プリント / メール通知サービス機能使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
メール受信プリントができない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	「メール受信」がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	受信許可ドメインを設定していませんか。 CentreWare Internet Services で、自分のドメインが受信許可ドメインに含まれているかどうかを確認してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
メール受信プリントで添付の PDF ファイルが印刷されない	メモリー容量が不足していると、印刷できないことがあります。容量の大きな添付ファイルを頻繁に印刷する場合は、ファイルを分割することをお勧めします。

症状	原因 / 処置
メール通知サービスで、本機の状態がメールされない	本体メールアドレスは設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	[メール通知] がオンに設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	SMTP サーバーの IP アドレス、POP3 サーバーの IP アドレス（受信プロトコルで POP3 を選択している場合）などが、正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	POP ユーザー名、およびパスワードが正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services で、設定を確認してください。
	送信する通知項目が正しく設定されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、設定を確認してください。
	送信先メールアドレスは正しく入力されていますか。 CentreWare Internet Services のプロパティ画面で、正しい送信先を入力してください。
	SMTP サーバー、POP サーバーは正常に作動していますか。 ネットワーク管理者に確認してください。
Yahoo メールを使用して、メール受信プリントすると、同一文書が何回もプリントされる	メール部分が複数添付されている可能性があります。 メール送信画面で [添付ファイルとして転送] を選択してください。
コンピューターで MSN メールを使用して、メール受信プリントすると、同一文書が何回もプリントされる	メール部分が複数添付されている可能性があります。 Windows Live メールを使用して、転送してください。または、携帯電話から転送してください。
携帯電話で MSN メールを使用して、メール受信プリントすると、改行していない位置で、改行される	入力時に改行していない場合でも、携帯電話のブラウザの端に位置していた箇所で改行されて、MSN メールサーバーから転送されてしまいます。
Gmail などの Web メールを使用して、メール受信プリントすると、添付文書が印刷されない場合がある	転送された Gmail などの Web メールが、さらに転送されている可能性があります。 メール受信プリントする場合は、転送メールをさらに転送しないでください。
Beat モバイルメールを使用して、メール受信プリントすると、印刷結果が印刷設定と異なる場合がある たとえば、添付文書のみ印刷する設定にしても、メール本文が印刷されてしまう	Beat モバイルでメールを転送すると、転送元のメールのメール本文が添付文書として送信されます。 ほかの Web メールを使用して、転送してください。

IPv6 接続時のトラブル

症状	原因 / 処置
CentreWare Internet Services で、SSL を有効に設定している場合に、http:// [IPv6 アドレス] を指定しても https:// [IPv6 アドレス] サイトヘリダイレクトされない	SSL を有効に設定している場合、https:// [IPv6 アドレス] サイトを指定してください。

症状	原因 / 処置
IPv6 ネットワークを介して印刷した場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しない	IPv4 環境で運用してください。 IPv6 環境ではペーパーセキュリティは正しく動作しません。
IPv6 が利用できる Windows OS と通信できない	IPv6 が利用できる Windows OS で固定アドレスを設定してください。 通信を許可するホストアドレスとして、設定した IPv6 固定アドレスを本機に登録してください。
リンクローカルアドレスを指定するときに本機にアクセスできない	リンクローカルアドレスにスコープ識別子を付加してください。 たとえば Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 の Internet Explorer 7 を利用して、fe80::203:baff:fe48:9010 を指定してアクセスする場合には、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 のイーサネットアダプタローカルエリア接続の番号（例：8）をスコープ識別子として付加し、fe80::203:baff:fe48:9010%8 と入力します。

IPv6 環境での印刷時のトラブル

症状	原因 / 処置
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境で、IPv6 が利用できる WindowsOS から Windows 共有プリンターが使用できない	IPv6 が利用できる Windows OS 上の hosts ファイルに本機のコンピューター名を登録してください。 格納先例： C:\Windows\system32\driver\etc\hosts ファイルに登録します。
NetWare で IPv6 通信できない	IPv4 で運用してください。

その他 IPv6 使用時のトラブル

症状	原因 / 処置
DocuShare など外部アクセス接続サービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスで指定すると正しく動作しない 例： http:// [ipv6:2001:db8::1]	IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。
DNS サーバーが存在しない IPv6 ネットワーク環境において、SMB 認証の SMB サーバー設定にコンピューター名を指定すると認証に失敗する	認証サーバーのコンピューター名に、IPv6 アドレスを直接指定してください。
UPnP で IPv6 機器を検索できない	IPv6 環境では Web Services on Devices (WSD) のディスカバリ機能を使用してください。
出力されたジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されない	IPv4 で運用してください。

8.9 カスタムモードについて

トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換時期になると、交換についてのメッセージが表示されます。

新品のトナーカートリッジに交換しないで、カートリッジを継続して使用したい場合は、次の手順に従ってカスタムモードに設定してから対応したトナーでご使用ください。なお、このモードを使用したとしても、完全に空になったトナーはご使用できません。

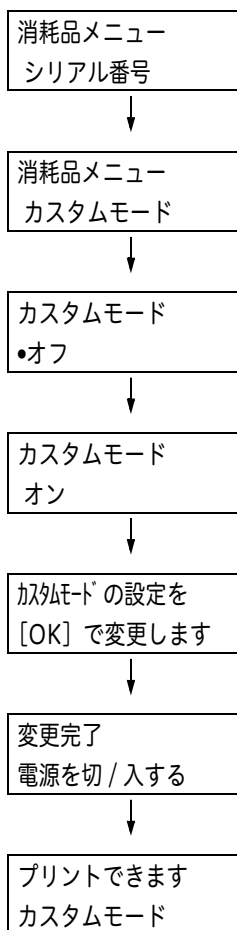
注記

- ・ カスタムモードでプリンターを使用すると、プリンターの本来の性能が保たれないことがあり、カスタムモードの使用によって生じる可能性のあるいかなる問題も弊社品質保証の範囲外となります。カスタムモードでの使用を続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。この場合の修理は有償となりますのでご注意ください。
- ・ カスタムモードでは、「[[ドラム寿命動作]]」(P. 213) の設定が無視されます。また、トナーカートリッジやドラムカートリッジの残量表示が行われません。

補足

- ・ カスタムモードから通常モードに戻すには、次の手順 4 で「オフ」を選択します。

1. 操作パネルの〈▼〉と〈OK〉ボタンを同時に押します。
消耗品メニューが表示されます。
2. 「カスタムモード」が表示されるまで〈▼〉を押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の設定が表示されます。
4. 〈▼〉ボタンを押して、「オン」を表示します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
6. 〈OK〉ボタンを押します。
カスタムモードへの変更が開始されます。
7. 電源を切り、ディスプレイの表示が消えた後、10 秒待ってから、電源を入れます。
起動後にカスタムモードに切り替わります。



8.10 修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に次の手順を実行してください。

1. 電源コードおよびインタフェースケーブルが正しく接続されているかどうかを確認します。
2. 定期的な清掃を行っていたか、トナーカートリッジやドラムカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認します。
3. 本章の「8.1 紙づまりの処置」(P. 254) ～「8.8 ネットワーク関連のトラブル」(P. 324) をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのメッセージ表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるメッセージ表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「<http://jpn.nec.com/printer/laser/>」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。

また、修理にお出しいただくときは、「9.14 プリンターを移動するときは」(P. 390) や梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。

8.11 プリンター・消耗品を廃棄するときは

- ・プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はトナーカートリッジ、およびドラムカートリッジを取り外してお出してください。
- ・トナーカートリッジ、およびドラムカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのトナーカートリッジ、およびドラムカートリッジは捨てずに、EP カートリッジ回収センターにご連絡いただくか、お買い上げの販売店までお持ち寄りください。なお、その際はトナーカートリッジ、およびドラムカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、「使用済み消耗品の回収」(P. 331)、「消耗品の種類と購入について」(P. 330) を参照してください。

9 日常管理

9.1 消耗品を交換する

消耗品の種類と購入について

本製品には、次の消耗品があります。消耗品のご注文は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。

注記

- ・本機は、純正消耗品を使用しているときに印刷品質や本機の性能がもっとも安定するように設計されています。純正品と異なる仕様の消耗品を使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合や、本機が仕様外の消耗品が原因で故障したときに有償修理となる場合があります。純正品をご使用いただけますと、万一のトラブルのときも安心してサポートを受けることができます。本来の性能を得るためにも、純正品の使用をお勧めします。
- ・印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」（P. 430）を参照してください。

品名	商品コード	印刷可能ページ数
トナーカートリッジ	PR-L4700-12	約 30,000 ページ
ドラムカートリッジ	PR-L4700-31	約 57,000 ページ
ステープル針（ホチキス針）	PR-L4600-SP	5,000 針×3 セット /1 箱

⚠ 警告

- ・床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご連絡ください。
- ・トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、必ずお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお渡しください。弊社にて処理いたします。

⚠ 注意

- ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
 - ・ドラムカートリッジ、トナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
 - ・次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。
-

消耗品の取り扱いについて

- ・消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- ・消耗品 / メンテナンス品は、使用するまでは開封せずに、次のような場所を避けて保管してください。
 - ・高温多湿の場所
 - ・火気がある場所
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・ほこりが多い場所
- ・消耗品は、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- ・消耗品は、予備を置くことをお勧めします。

使用済み消耗品の回収

- ・回収したドラムカートリッジ（感光体）およびトナーカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- ・不要となったドラムカートリッジ（感光体）およびトナーカートリッジは適切な処理が必要です。ドラムカートリッジ（感光体）およびトナーカートリッジの容器は、無理に開けたりせず、必ず EP カートリッジ回収センター、またはお買い求めの販売店にご連絡ください。

EP カートリッジ回収センター

<http://jpn.nec.com/eco/ja/product/recycle/ep/index.html>

フリーダイヤル：0120-30-6924

FAX：0120-30-8049

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできません ■ トナー予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、トナーカートリッジの予備を用意してください。 残りの印刷可能ページ数は、約 5,100 ページ ^{*1} です。
■ トナーカートリッジを交換してください	トナーがなくなりました。新しいカートリッジに交換してください。「交換手順」(P. 332)を参照し、トナーカートリッジを交換してください。

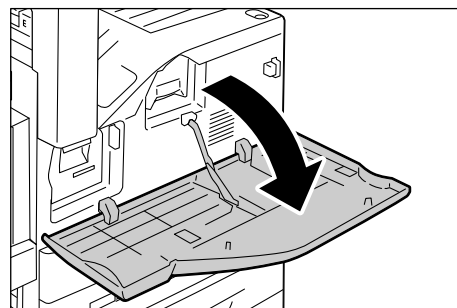
^{*1} 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 430)を参照してください。

注記

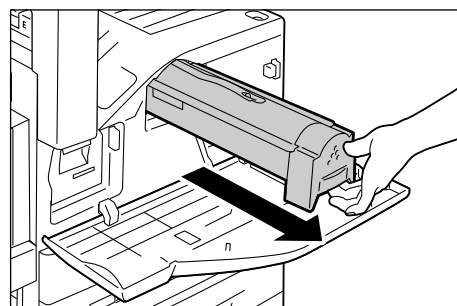
- ・ トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたまま行ってください。
- ・ トナーで床などを汚さないように、取り出したトナーカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- ・ 一度本機から取り外したトナーカートリッジは、再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因になります。
- ・ 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれることがあります。
- ・ トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。
- ・ トナーカートリッジは、開封後 1 年以内に使い切ることをお勧めします。

交換手順

1. 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。



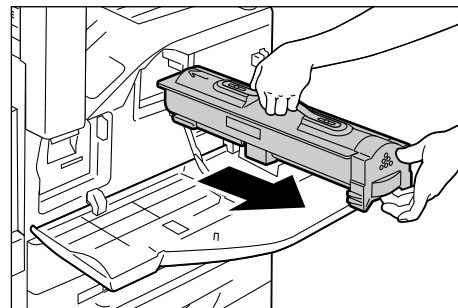
2. トナーカートリッジのハンドルに手をかけて、ゆっくり手前に引き出します。



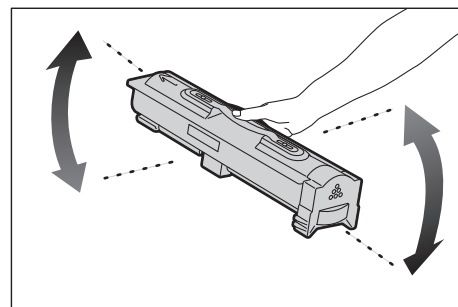
3. トナーカートリッジをゆっくり引き出ししながら、トナーカートリッジの上部の取っ手を持って、取り出します。

注記

- ・ トナーカートリッジはゆっくり引き出してください。トナーが飛び散ることがあります。



4. 新しいトナーカートリッジを用意し、5～6回軽く上下左右に振ります。

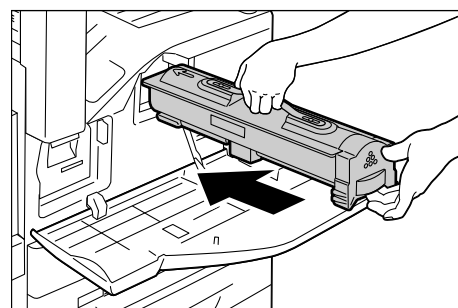


5. 新しいトナーカートリッジを挿入し、止まるまで押し込みます。

6. フロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。



ドラムカートリッジを交換する

ドラムカートリッジの交換時期が近づくと、操作パネルのディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ	処置
プリントできます ■ドラム予備用意	すぐに交換する必要はありませんが、ドラムカートリッジの予備を用意してください。 残りの印刷可能ページ数は、約 5,300 ページ ^{*1} です。
プリントできます ■ドラム交換時期	まもなくドラムカートリッジの交換時期になります。 残りの印刷可能ページ数は、約 1,600 ページ ^{*1} です。新しいドラムカートリッジを用意してください。
■ドラムカートリッジを交換してください	ドラムカートリッジの寿命です。 本機は停止し、印刷できなくなります。「交換手順」(P. 334) を参照して、ドラムカートリッジを交換してください。
プリントできます ■ドラム交換	操作パネルで、[ドラム寿命動作] を [プリント停止しない] に設定 ^{*2} しているとき、ドラムカートリッジの寿命となった場合に表示されます。しばらくは印刷を継続できますが品質が保証できませんので、新しいドラムカートリッジに交換することをお勧めします。

^{*1} 印刷可能ページ数は、印刷条件や原稿の内容、本機電源の入切の頻度、設置環境の温度・湿度などによって、大きく異なります。詳しくは、「消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について」(P. 430) を参照してください。

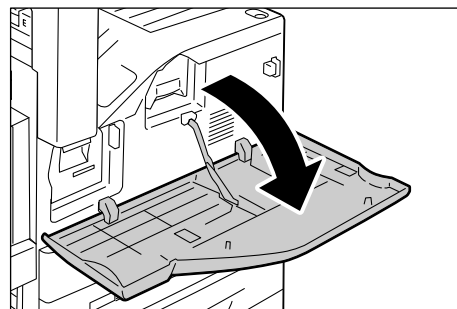
^{*2} この場合は、[プリントできます ■ドラム交換] のまま、メッセージは移行しません。設定については、[機械管理者メニュー] の「[ドラム寿命動作]」(P. 213) を参照してください。

交換手順

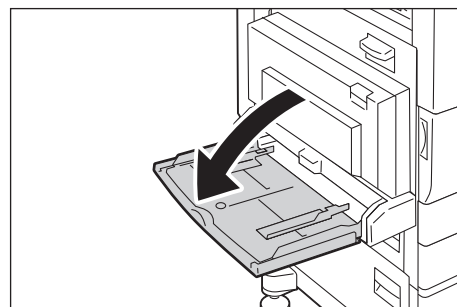
注記

・ドラムカートリッジの交換は、本機の電源を入れたまま行ってください。

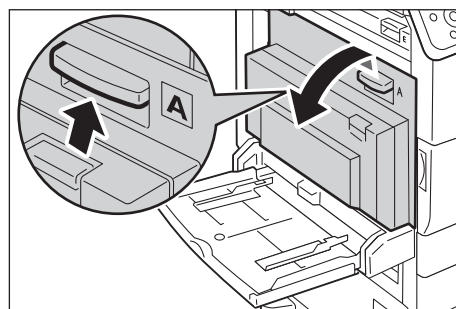
1. 機械が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。



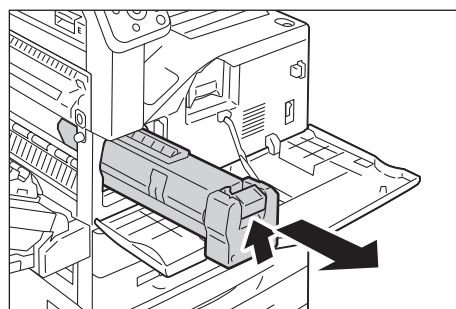
2. 手差しトレイを開けます。



3. カバー A のレバーを押し上げて、カバー A を開けます。



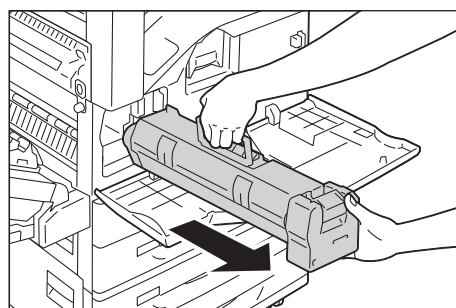
4. ドラムカートリッジのレバーを引き上げて、ドラムカートリッジの取っ手が持てるようになるまで、手前にゆっくり引き出します。



5. ドラムカートリッジ上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジを引き出します。

注記

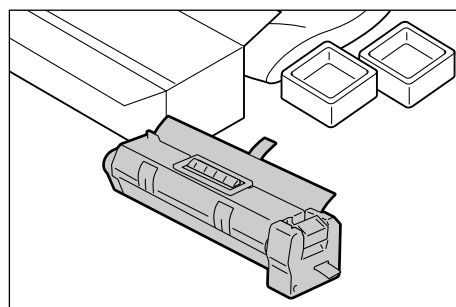
- ・必ず上部の取っ手を持ってドラムカートリッジを引き出してください。上部の取っ手を持たずにドラムカートリッジを引き出すと、ドラムカートリッジが抜け落ちて底を汚すことがあります。



6. 箱を開けて、新しいドラムカートリッジを袋から取り出します。

注記

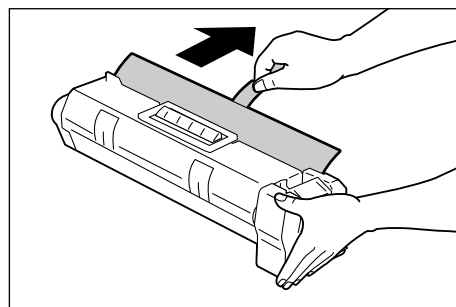
- ・ドラムカートリッジを立てた状態で置かないでください。
- ・使用済みのドラムカートリッジは、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお渡しください。



7. ドラムカートリッジを平らな場所に置き、保護紙に付いているテープを持って、図のように保護紙を静かに引き抜きます。

注記

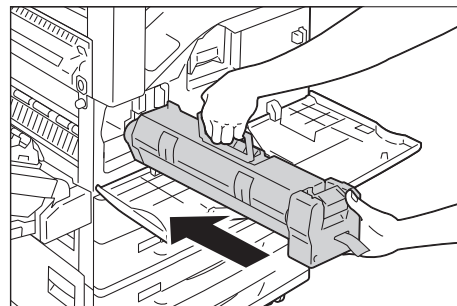
- ・保護紙を引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中で紙が切れてしまうことがあります。
- ・保護紙を引き抜いたあとは、ドラムカートリッジを振ったり、ドラムカートリッジに衝撃を与えたりしないでください。



8. ドラムカートリッジの取っ手を持って、奥に突き当たるまでゆっくり差し込みます。

注記

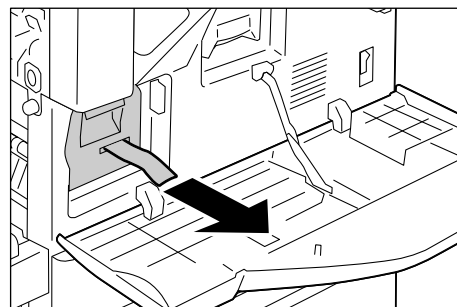
- ・ 確実に差し込んでください。



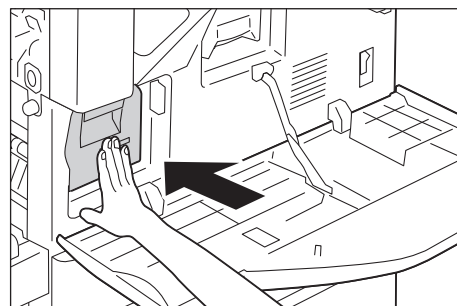
9. テープを、破かないようにまっすぐ水平に引き抜きます。

注記

- ・ テープを引き抜くときは、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引き抜くと、途中でテープが切れてしまうことがあります。



10. ドラムカートリッジを再度押し込みます。



11. カバー A をしっかり閉じます。

12. 手差しトレイを閉じます。

13. フロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

ホチキス針を交換する

ホチキスカートリッジの針が無くなると、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、新しいホチキスカートリッジと交換してください。

注記

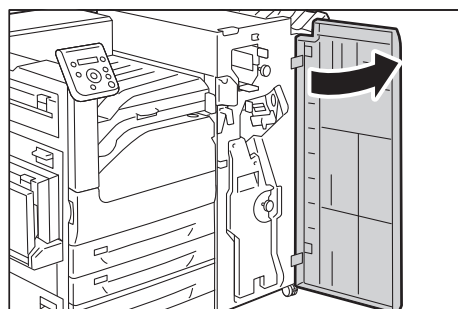
- ・ 弊社が推奨していないホチキス針を使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するホチキス針をご使用ください。

交換手順（フィニッシャー、中とじフィニッシャー装着時）

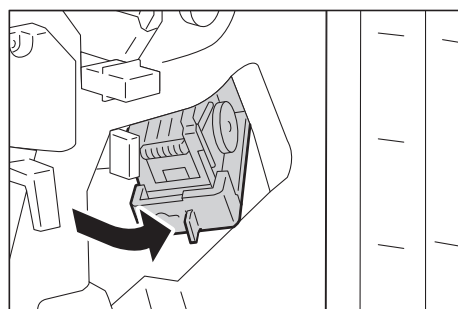
ディスプレイにホチキスカートリッジ [R1] の交換メッセージが表示されたら、次の手順に従って、ホチキスカートリッジを交換してください。

ここでは、中とじフィニッシャーを例に説明します。フィニッシャーの交換方法も同様です。

1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャーのフロントカバーを開けます。



2. ホチキスカートリッジホルダーのレバー [R1] を持って、ホチキスカートリッジホルダーを右端（手前）へ引き寄せます。



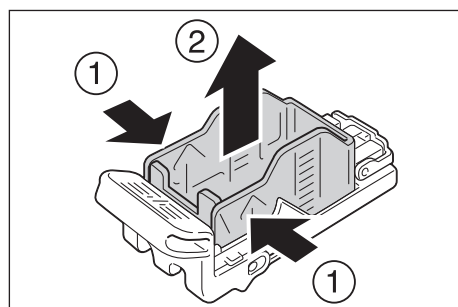
3. オレンジ色のレバーを持って、ホチキスカートリッジを取り出します。



補足

- ・ ホチキスカートリッジはしっかりセットされています。取り出すときは、強めにホチキスカートリッジを引いてください。

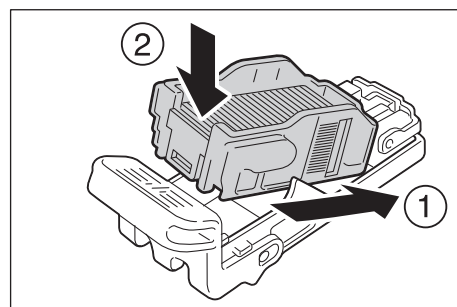
4. 空になった針ケースの左右をつまみ ①、カートリッジから取り出します ②。



注記

- ・ 針ケースにホチキス針が残っている場合は、針ケースを取り出すことはできません。無理に針ケースを取り出そうとすると故障の原因になります。

5. ホチキスカートリッジに新しい針ケースを挿入し (①)、後方を押してセットします (②)。



6. ホチキスカートリッジのオレンジ色のレバーを持って、元の位置に戻し、カチッと音がするまで押し込みます。



7. フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

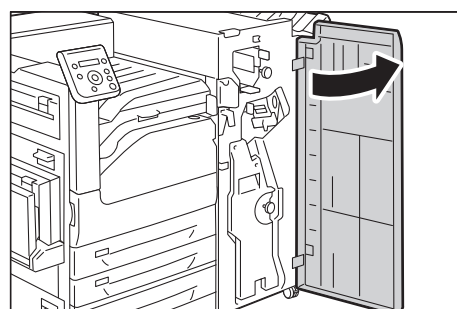
補足

- ・ フィニッシャーのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

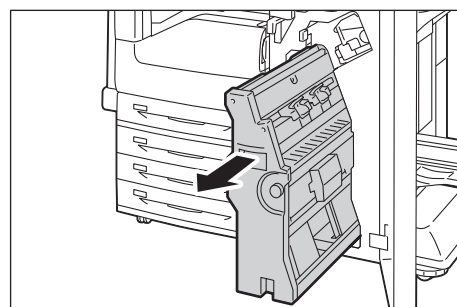
交換手順 (中とじフィニッシャ装着時)

ディスプレイにホチキスカートリッジ [R2] [R3] の交換メッセージが表示されたら、次の手順に従って、ホチキスカートリッジを交換してください。

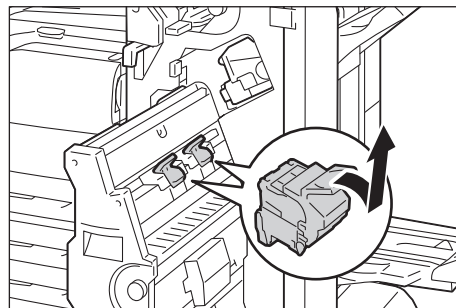
1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャのフロントカバーを開けます。



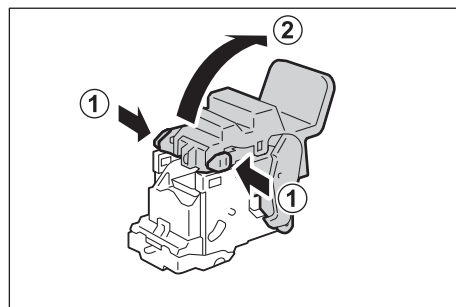
2. 中とじユニットを引き出します。



3. 中とじホチキスカートリッジのレバーを持ち、下方向に倒してから、上に引いて取り出します。



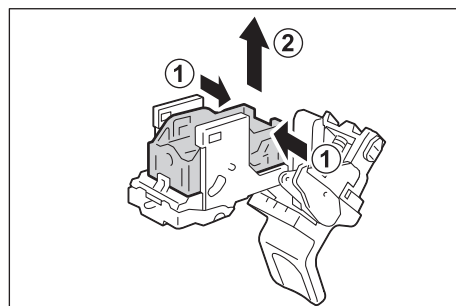
4. 中とじホチキスカートリッジの左右にあるオレンジ色のボタンを押して (①)、カバーを開きます (②)。



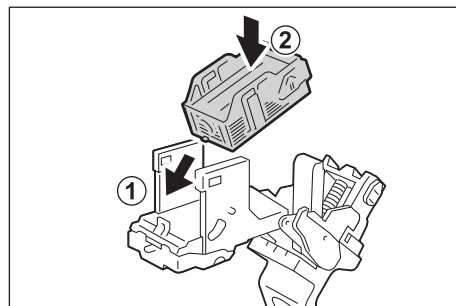
5. 空になった針ケースの左右をつまみ (①)、カートリッジから取り出します (②)。

注記

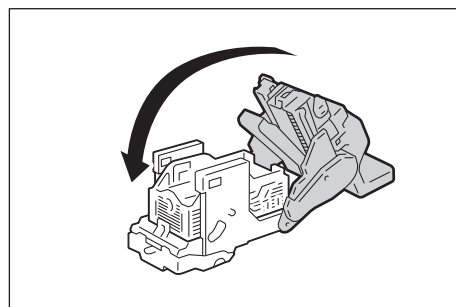
- 針ケースにホチキス針が残っている場合は、針ケースを取り出すことはできません。無理に針ケースを取り出そうとすると故障の原因となります。



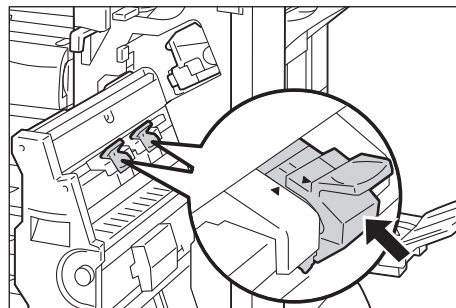
6. 新しい針ケースを挿入し (①)、後方を押ししてセットします (②)。



7. カバーを閉じます。



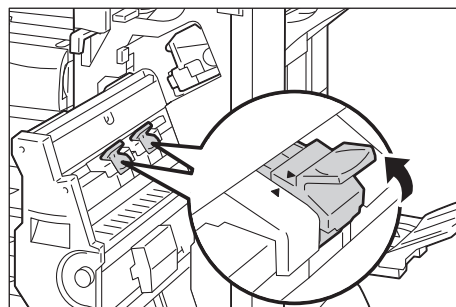
8. 中とじホチキスカートリッジを元の位置に戻します。



9. 軽く押し上げて、カチッと音がするのを確認します。

注記

- ・ 中とじホチキスカートリッジの (▶) と中とじユニットの (◀) が合うように戻してください。



10. 中とじユニットを元の位置に戻します。

11. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

パンチ穴のクズを捨てる

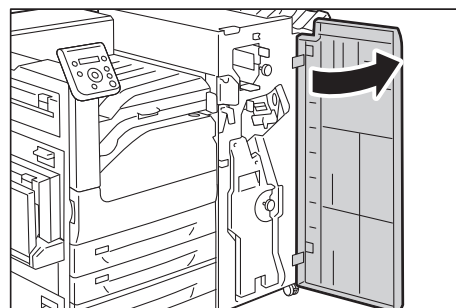
フィニッシャを装着している場合、パンチ穴のクズがパンチダストボックス R4 にたまると、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、たまっているパンチ穴のクズを捨ててください。

注記

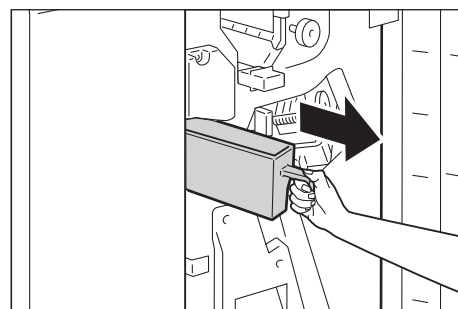
- ・ パンチ穴のクズを捨てるときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。
- ・ パンチ穴のクズは、完全に捨ててください。パンチ穴のクズが残っていると、メッセージが表示される前にパンチ穴のクズがいっぱいになり、機械の故障の原因になります。

廃棄手順

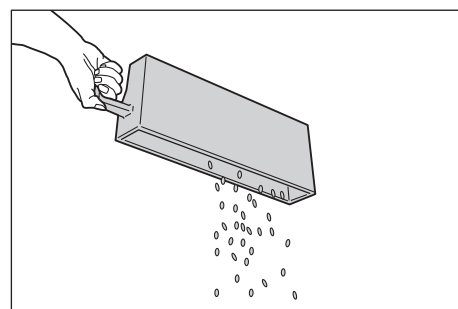
1. 機械が停止していることを確認し、フィニッシャのフロントカバーを開けます。



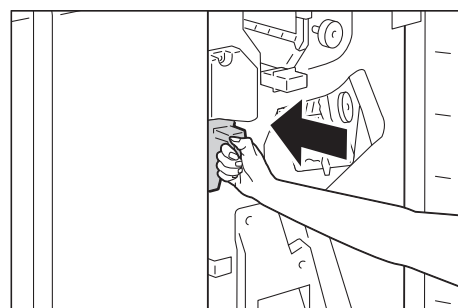
2. パンチダストボックス [R4] を手前へ引き抜きます。



3. パンチくずを、すべて捨てます。



4. 空になったパンチダストボックスを、奥まで差し込みます。



5. フィニッシャのフロントカバーを閉じます。

補足

- ・ フィニッシャのフロントカバーが少しでも開いていると、メッセージが表示され、機械が作動しません。

9.2 レポート / リストを印刷する

ここでは、レポート / リストの種類と印刷方法を説明します。

レポート / リストの種類

本機には、コンピューターからの印刷データを印刷するほかに、次のレポート / リストを印刷する機能があります。

補足

- ・ レポート名が操作パネルでの表示名と異なる場合は、括弧内に操作パネルでの表示名を記載しています。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	印刷に必要な オプション品	説明
機能設定リスト	－	本機のハードウェア構成やネットワーク情報など、各種の設定状態が印刷されます。オプション品が正しく取り付けられているかどうかを確認するときなどに印刷します。
ジョブ履歴レポート	－	コンピューターから送られた印刷データが、正しく印刷されたか、実行結果を印刷します。[ジョブ履歴レポート] には、最新の 50 件までの印刷ジョブが印刷されます。 この [ジョブ履歴レポート] は、50 件を超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを、操作パネルで設定できます。「[自動ジョブ履歴]」(P. 208) を参照してください。 注記 ・ [自動排出時間] を [無効] に設定している場合は、ページ途中まで受信した後データがなくなった場合、途中時間が経過しても続きのデータが送られた場合は 1 つのジョブログとなります。異なるポートに切り替わった場合や、操作パネルのリセット実行が行われた場合は、その時点からジョブログは別々に分かれます。
エラー履歴レポート	－	本機に発生したエラーに関する情報が印刷されます。
プリンター集計レポート (集計レポート)	－	コンピューター別 (ジョブオーナー別) に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数の情報が印刷されます。 集計レポートは、データを初期化した時点からのカウントとなります。 参照 ・ 「9.3 印刷ページ数を確認する」(P. 346)
プリンター集計管理レポート (集計レポート)	－	集計機能を使用している場合は [集計レポート] を選択すると、本レポートが印刷されます。 登録ユーザー別に、今まで印刷した累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。 参照 ・ 集計機能について: 「9.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」(P. 382)
フォントリスト	－	ART-EX、ART IV、ESC/P、PDF Bridge、HP-GL/2、DocuWorks Bridge で使用できるフォントの一覧が印刷されます。
PCL フォントリスト	－	PCL で使用できるフォントの一覧が印刷されます。 また、PCL で使用できるバーコードのサンプルも確認できます。
PostScript® フォントリスト (PS フォントリスト)	PostScript ソフトウェア キット	PostScript で使用できるフォントの一覧が印刷されます。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	印刷に必要な オプション品	説明
ART IV, PR201H, ESC/P ユーザー定義リスト (ユーザー定義リスト)	—	ART IV、および ESC/P プリントモードで登録されたフォーム、ロゴ、パターンの登録内容が印刷されます。
ART-EX フォーム登録リスト (ART-EX フォームリスト) *1	—	オーバーレイ印字機能で、フォームとして登録した文書の一覧が印刷されます。 参照 ・ フォームの登録：プリンタードライバーのヘルプ
PostScript® 論理プリンター登録リスト (PS 登録リスト) *1	PostScript ソフトウェア キット	登録されている 1 ～ 20 までの PostScript 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
ESC/P 設定リスト *1	—	ESC/P プリントモードの設定が印刷されます。 詳細は、本機に同梱されているメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『ART IV、ESC/P エミュレーション設定ガイド』を参照してください。
ESC/P 論理プリンター・メモリー登録リスト (ESC/P 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ～ 20 までの ESC/P 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
HP-GL/2® 設定リスト *1	—	HP-GL、HP-GL/2 プリントモードでの設定値が印刷されます。 詳細は、本機に同梱されているメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『HP-GL、HP-GL/2 エミュレーション設定ガイド』を参照してください。
HP-GL/2® 論理プリンター・メモリー登録リスト (HP-GL/2 登録リスト) *1	—	登録されている 1 ～ 20 までの HP-GL、HP-GL/2 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、操作パネルからメモリー登録をするか、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
TIFF/JPEG 設定リスト *1	—	TIFF/JPEG プリントモードでの各設定が印刷されます。
TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト *1	—	登録されている 1 ～ 20 までの TIFF/JPEG 論理プリンターの設定が印刷されます。 補足 ・ 論理プリンターの設定は、CentreWare Internet Services で行います。各項目については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
PDF 設定リスト *1	—	PDF ダイレクトプリントの操作パネルでの設定が印刷されます。
PCL 設定リスト *1	—	PCL プリントモードでの設定値が印刷されます。 詳細は、本機に同梱されているメディア (MultiWriter プリンターソフトウェア) 内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。
PCL マクロ登録リスト (PCL マクロリスト) *1	—	登録したマクロやフォームなどが印刷されます。

レポート / リスト名 (操作パネルでの表示名)	印刷に必要な オプション品	説明
DocuWorks 設定リスト *1	－	DocuWorks ダイレクトプリントの操作パネルでの設定が印刷されます。
NPDL 設定リスト	－	NPDL プリントモードでの設定値が印刷されます。
蓄積文書リスト	ハードディスク	セキュリティ / サンプル / 時刻指定プリント機能で、本機に蓄積された文書の一覧が印刷されます。 参照 ・「3.6 機密文書を印刷する - セキュリティプリント -」(P. 93) ・「3.7 出力結果を確認してから印刷する - サンプルプリント -」(P. 97) ・「4.7 指定した時刻に印刷する - 時刻指定プリント -」(P. 126) ・「9.8 RAM ディスクを使用するための設定 (ART-EX プリンタードライバ使用時)」(P. 356)
送受信ドメイン制限リスト (ドメイン制限リスト)	ハードディスク	送受信を許可 / 拒否するドメインの登録状況が印刷されます。 補足 ・送受信を許可するドメインを設定するか、拒否するドメインを設定するかは、CentreWare Internet Services で設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
使用済み製品回収情報シート (製品回収シート)	－	使用済みの本機の回収を依頼する場合に、情報シートが印刷されます。お客様からお買い求めの販売店、またはサービス窓口の本機の情報を通知していただくことによって、本機の回収経路が決定します。 参照 ・使用済み製品回収情報シートの記入欄は、お客様にご記入いただく必要はありません。
隠し印刷サンプルリスト (隠し印刷サンプル)	セキュリティ 拡張キット ハードディスク	複製管理機能で作成する隠し印刷のサンプルが印刷されます。 参照 ・「複製管理」(P. 363)
ペーパーセキュリティーサンプルリスト (ペーパーセキュリティーサンプル)	セキュリティ 拡張キット ハードディスク	複製管理機能のペーパーセキュリティで作成するデータのサンプルが印刷されます。 参照 ・「ペーパーセキュリティ」(P. 364)
バーコードサンプル	－	GS1-128 バーコードのサンプルが印刷されます。 [A3 バーコードモード ON]、[A3 バーコードモード OFF]、[A4 バーコードモード ON]、[A4 バーコードモード OFF] の 4 種類あります。
メーター確認レポート	－	メーターカウントが印刷されます。 本機能を利用するには、カスタマーエンジニアによる設定が必要です。

*1 これらの項目は [レポート / リスト] メニューで [プリント言語] を選択すると表示されます。

レポート / リストを印刷する

レポート / リストは、操作パネルから印刷を指示します。ここでは、[機能設定リスト] を印刷する場合を例に説明します。ほかのレポート / リストも同様の手順で印刷できます。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
[レポート / リスト] が表示されます。

仕様設定
レポート / リスト



2. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[機能設定リスト] が表示されます。

レポート / リスト
機能設定リスト



補足

- ・ほかのレポート / リストを印刷する場合は、該当するレポート / リストが表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始させる画面が表示されます。

機能設定リスト
[OK] でプリント開始

4. 〈OK〉ボタンで印刷します。
レポートが印刷されます。
5. 印刷が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

9.3 印刷ページ数を確認する

これまでに印刷したページ数は、そのカウントの仕方によって確認方法が異なります。

総印刷ページ数を確認する（メーター）

操作パネルのディスプレイの表示で、印刷したページ数を確認できます。

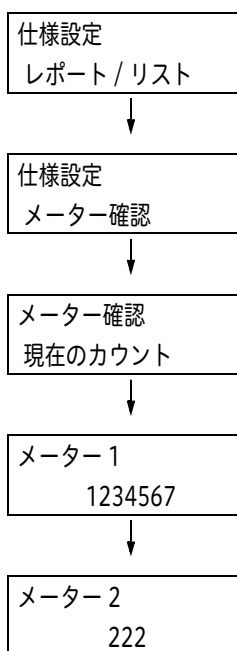
メーター 1	白黒印刷
メーター 2	通常は使用しません。

補足

- ・両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

メーターの確認方法は、次のとおりです。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [メーター確認] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[現在のカウント] が表示されます。
4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[メーター 1] が表示されます。
5. 〈▲〉または〈▼〉ボタンを押して、確認したいメーターを表示します。
6. 確認が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



コンピューター別に印刷ページ数を確認する（[プリンター集計レポート]）

コンピューター別（ジョブオーナー別）に、本機で印刷した総ページ数、使用した用紙の総枚数が、[プリンター集計レポート] で確認できます。[プリンター集計レポート] は、データを初期化した時点からのカウントになります。

[プリンター集計レポート] の印刷やデータの初期化は、操作パネルから行います。

補足

- ・ 認証 / 集計管理機能を使用している場合は、[プリンター集計レポート] は印刷できません。代わりに、[プリンター集計管理レポート] が印刷されます。[プリンター集計管理レポート] に切り替わると、それまでのプリンター集計のカウントは初期化されます。

参照

- ・ 印刷方法：「レポート / リストを印刷する」（P. 345）

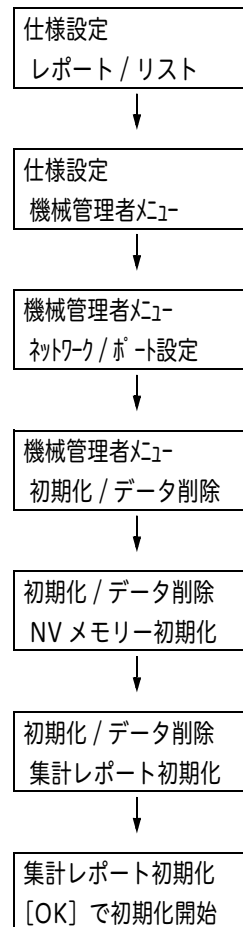
[プリンター集計レポート] の印刷結果について

[プリンター集計レポート] には、次の項目が印刷されます。

ジョブオーナー名	最大 50 ユーザーまでのオーナー名が印刷されます。ジョブオーナーの指定をしない場合、または 51 人め以降のユーザーの印刷ジョブの場合は、最後から 2 つめの「UnknownUser」欄に集計されます。レポート / リストの出力は、最後の「Report/List」欄に集計されます。
総ページ数	実際に印刷した総ページ数です。1 つの印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。
総枚数	印刷に使用した用紙の総枚数です。1 つの印刷ジョブが終了するたびにカウントされます。

[プリンター集計レポート] のデータを初期化する

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [初期化 / データ削除] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[NV メモリー初期化] が表示されます。
6. [集計レポート初期化] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
処理を開始させる画面が表示されます。
8. 〈OK〉ボタンを押します。
データが初期化されます。
9. 処理が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



機能別に印刷ページ数を確認する ([機能別カウンターレポート])

本レポートでは、2 アップや両面印刷などの機能別や、用紙サイズ別のプリントページ数や、プリント枚数を確認できます。

参照

- ・ 印刷方法: 「レポート / リストを印刷する」 (P. 345)

9.4 IP アドレスを変更する

本機に設定された固定の IPv4 アドレスを、手動で変更する方法について説明します。

補足

- ・ 本機に固定の IPv6 アドレスは、CentreWare Internet Services を使用して変更してください。IPv6 アドレスを使って、CentreWare Internet Services にアクセスし、[プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で IPv6 アドレスを変更します。

■ IP アドレスの変更

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

補足

- ・ 選択したい項目を行き過ぎてしまった場合は、〈▲〉ボタンで戻ります。

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

補足

- ・ 間違っ、違う項目で〈▶〉または〈OK〉ボタンを押してしまった場合は、〈◀〉または〈戻る〉ボタンで前の画面に戻ります。
- ・ 最初からやり直したい場合は、〈仕様設定〉ボタンを押します。

4. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[TCP/IP 設定] が表示されます。

ネットワーク / ポート設定
TCP/IP 設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP 動作モード] が表示されます。

TCP/IP 設定
IP 動作モード

6. [IPv4 設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

TCP/IP 設定
IPv4 設定

7. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[IP アドレス取得方法] が表示されます。

IPv4 設定
IP アドレス取得方法

8. 〈▼〉ボタンで、[IP アドレス]を表示します。

IPv4 設定
IP アドレス

9. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の IP アドレスが表示されます。
(例: 192.0.0.1)

IP アドレス
• 192.000.002.001

10. 〈▲〉〈▼〉ボタンで最初のフィールドに値（例：192）を入力し、〈▶〉ボタンを押します。

IP アドレス
192.000.002.001

↓

補足

- ・ 変更する必要がない場合は、〈▶〉ボタンを押すと次のフィールドに移動します。
- ・ 〈▲〉〈▼〉ボタンを押し続けると、値が 10 ずつ変わります。
- ・ 前のフィールドに戻る場合は、〈◀〉ボタンを押します。

11. 他のフィールドも同様に入力し、最後の 4 つめのフィールドを入力したら、〈OK〉ボタンで決定します。
（例：192.0.2.20）

IP アドレス
• 192.000.002.020

12. 続けて、サブネットマスクとゲートウェイアドレスを設定する場合は、〈戻る〉ボタンを押して、手順 14 に進みます。
これで、操作を終了する場合は、手順 21 に進みます。

■ サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの変更

13. [サブネットマスク] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

IPv4 設定
サブネットマスク

↓

14. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在のサブネットマスクが表示されます。

サブネットマスク
• 255.255.255.000

↓

15. IP アドレスと同様に、サブネットマスクを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
（例：255.255.255.010）

サブネットマスク
• 255.255.255.010

↓

16. 〈戻る〉ボタンで、[サブネットマスク] に戻ります。

IPv4 設定
サブネットマスク

↓

17. 〈▼〉ボタンで、[ゲートウェイアドレス] を表示します。

IPv4 設定
ゲートウェイアドレス

↓

18. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

ゲートウェイアドレス
• 192.168.001.254

↓

19. IP アドレスと同様にゲートウェイアドレスを入力し、〈OK〉ボタンで決定します。
（例：190.151.1.254）

ゲートウェイアドレス
• 190.151.001.254

20. これで、すべての設定が終了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を終了します。
自動的に本機が再起動します。

21. [機能設定リスト] を印刷して、設定した内容を確認します。

9.5 Web ブラウザーでプリンターの状態を確認 / 管理する

本機を TCP/IP 環境に設置した場合、ネットワーク上のコンピューターの Web ブラウザーを使用して、本機の状態を確認したり、本機の設定を行ったりできます。

この機能を、CentreWare Internet Services と呼びます。

CentreWare Internet Services では、本機にセットされている消耗品や用紙などの残量の目安も確認できます。



補足

- ・ 詳しい CentreWare Internet Services の使用方法については、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・ 本機をパラレルケーブルまたは USB ケーブルで、コンピューターと直接接続している場合は、CentreWare Internet Services は使用できません。

9.6 SimpleMonitor でプリンターの状態を確認する

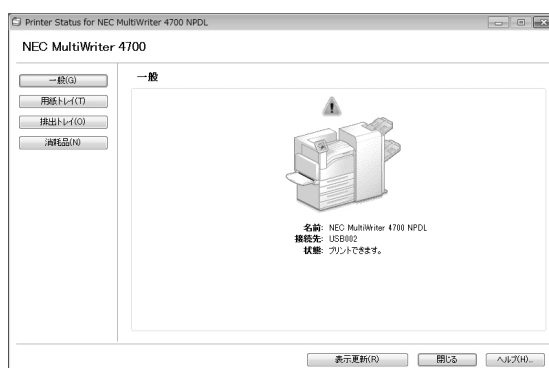
SimpleMonitor とは、本機をローカルプリンター、または LPD ポートで接続して使用している場合に、コンピュータ上で、自分が印刷指示をしたジョブやプリンターの状態を確認するためのツールです。このツールは、Windows OS 上で動作し、同梱されているメディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）からコンピュータにインストールして使用します。

補足

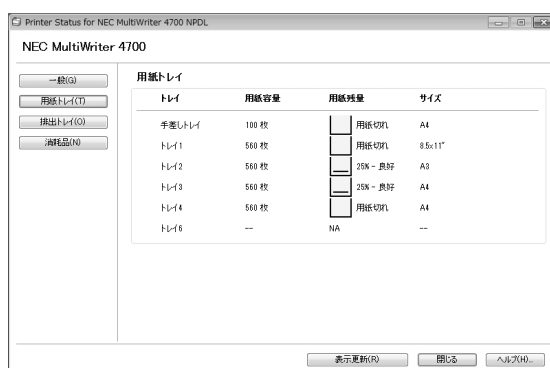
- SimpleMonitor のインストール方法については、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の Readme ファイルを参照してください。

SimpleMonitor では、次のことができます。

- 印刷指示をしたジョブの実行中に、プリンターでエラーが発生すると、コンピュータのディスプレイにウィンドウを表示して、エラー内容を通知します。



- 次のようなウィンドウを表示して、セットされている用紙のサイズや残量、排出トレイの状態、および EP カートリッジなどの消耗品の残量を確認できます（ローカルプリンターの場合だけ）。



補足

- ネットワークプリンターの状態は、本ツールから CentreWare Internet Services を起動して、確認できます。
- SimpleMonitor の機能の詳細については、ツールのヘルプを参照してください。

9.7 電子メールでプリンターの状態を確認する

本機が接続されているネットワークに、メールの送受信ができる環境がある場合には、コンピュータから印刷を指示したジョブの終了をメールで知らせたり、消耗品や用紙などの状況などを、指定したメールアドレスに通知したりするように設定できます。

この機能を、メール通知サービスといいます。

メール通知サービスで通知される情報

メール通知サービスで通知される情報には、次のものがあります。

情報の種類	説明
ジョブの終了通知	コンピュータから印刷が指示されたジョブの結果（正常終了、中止、要確認）を通知します。
消耗品などの状態通知	あらかじめ設定した内容（消耗品の状態、用紙の状態など）を指定されたあて先へメールで通知します。 トナーやドラムカートリッジの状態を定期的に通知するので、タイムリーに交換時期を把握できます。 あて先は、ネットワーク管理者、または共用のアドレスを登録することをお勧めします。

メール通知サービスを使用するための設定

メール通知サービスを使用するためには、ネットワーク環境やメール環境の設定が必要です。設定が済んでいるかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。

ネットワーク環境

- ・メールアカウントの登録

メール環境の設定（本機側）

CentreWare Internet Services を使用して、ポート起動、本体メールアドレス、TCP/IP 環境、メールサーバーなどを設定します。

メール環境に合わせて、[プロパティ] の次の項目を設定します。

補足

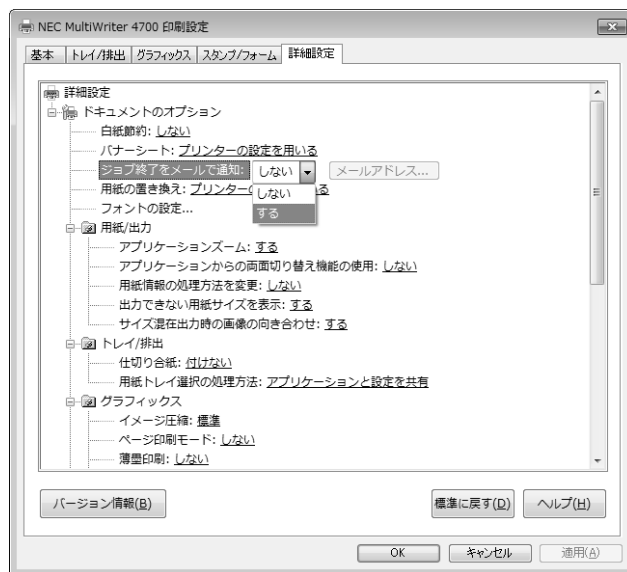
- ・設定後は、必ず [新しい設定を適用] をクリックして本機の電源を切り、入れ直します。
- ・[メール通知フォルダ] が表示されない場合は、[ポート起動] で [メール通知] の [起動] にチェックを付けて、本機の電源を切り、入れ直してください。

項目	設定項目	説明
本体説明	管理者メールアドレス（設定推奨）、本体メールアドレス	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 137) の「本体説明」(P. 138) を参照してください。
一般設定＞メール通知フォルダ＊ ＞ジョブ終了時のメール通知設定 (＊：メール通知を起動すると表示されます)	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」「.」「-」「_」で、128 バイト以内で説明します。
	通知対象ジョブ	通知する対象のジョブを設定できます。 ・ プリンター ・ レポート
	通知条件	通知する条件を設定できます。 ・ すべての場合 ・ 異常終了時のみ
	本文	ジョブ終了時の通知メールの本文を設定できます。
一般設定＞メール通知フォルダ＊ ＞機械状態のメール通知設定 (＊：メール通知を起動すると表示されます)	通知先メールアドレス	通知先のメールアドレスを、英数字と「@」「.」「-」「_」で、128 バイト以内で説明します。
	通知状態	通知する内容をあて先別に設定できます。 ・ 消耗品の状態 ・ 交換部品の状態 ・ 用紙の状態 ・ 排出先の状態 ・ ジャム状態 ・ インターロック状態 ・ フォルトの通知
	定期通知	メール通知を行う間隔などについて設定します（設定任意）。
ネットワーク設定＞ポート起動	メール通知	チェックを付けます。
ネットワーク設定＞プロトコル設定＞TCP/IP	ホスト名、ドメイン名、DHCP からアドレスを取得 /DHCPv6-lite からアドレスを取得、DNS サーバーアドレス 1 ～ 3、DNS の動的更新 (IPv4/IPv6)、ドメイン検索リストの自動生成、検索ドメイン名 1 ～ 3、タイムアウト、DNS の名前解決の IPv6 優先	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 137) の「ネットワーク設定＞プロトコル設定＞TCP/IP」(P. 138) を参照してください。
ネットワーク設定＞プロトコル設定＞SMTP	SMTP サーバー IP アドレス（ホスト名）、送信ポート番号（メール）、受信ポート番号、SMTP-SSL/TLS 通信、本体メールアドレス、SMTP 送信の認証、SMTP AUTH- ログイン名、SMTP AUTH- パスワード	「メール受信プリントをするための環境設定」(P. 137) の「ネットワーク設定＞プロトコル設定＞SMTP」(P. 140) を参照してください。

プリンタードライバー（ART-EX）のプロパティでの設定 （コンピューター側）

印刷を指示したジョブの結果をメールで受け取るためには、ART-EX プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。ここでは、Windows 7 を例に説明します。

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選択します。
2. 本機のプリンターアイコンを右クリックして、表示されるコンテキストメニューから、[印刷設定] を選択します。
[印刷設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [詳細設定] タブをクリックします。
4. [ジョブ終了をメールで通知] で [する] を指定します。



補足

- ・ NPDL プリンタードライバーでは [ジョブ終了をメールで通知] 機能はありません。

5. [メールアドレス] に、通知先のメールアドレスを半角英数字で入力し、[OK] をクリックします。
6. [OK] をクリックします。

9.8 RAM ディスクを使用するための設定 (ART-EX プリンタードライバー使用時)

ここでは、RAM ディスクを使用するための設定方法を説明します。

RAM ディスクを有効にすると、ハードディスク（オプション）を取り付けなくても、サンプルプリント / セキュリティープリント / 認証プリント / 時刻指定プリントが使用できます。

注記

- ・ RAM ディスクを使用している場合、本機の電源を切って入れ直すと、蓄積した文書はすべて削除されます。

補足

- ・ RAM ディスクを使用して、大量データを印刷する場合、分割して送信されます。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

4. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[RAM ディスク] が表示されます。

システム設定
RAM ディスク

6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。

RAM ディスク
・ 無効

7. 〈▼〉ボタンを押します。

RAM ディスク
有効

8. 〈OK〉ボタンを押します。

プリンタードライバーのプロパティでの設定（コンピューター側）

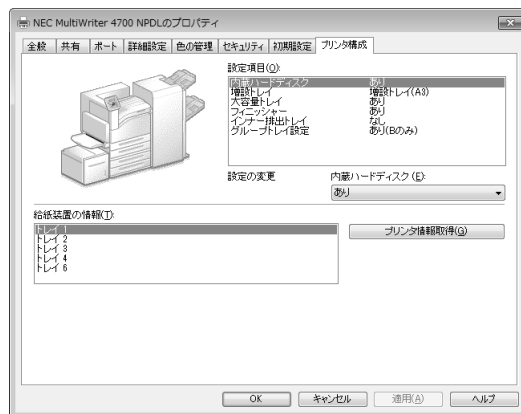
プリンタードライバーのプロパティで次の設定をします。[RAM ディスク] を [あり] に設定する必要があります。ここでは、Windows 7 を例に説明します。

補足

- ・プリンタードライバーの各項目についての詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

■ NPDL プリンタードライバーの場合

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター]（OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]）を選択します。
2. 本機のプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
3. [プリンタ構成] タブで [プリンタ情報取得] をクリックします。



4. [設定項目] ダイアログボックスで、[RAM ディスク] を [あり] に設定し、[OK] をクリックします。

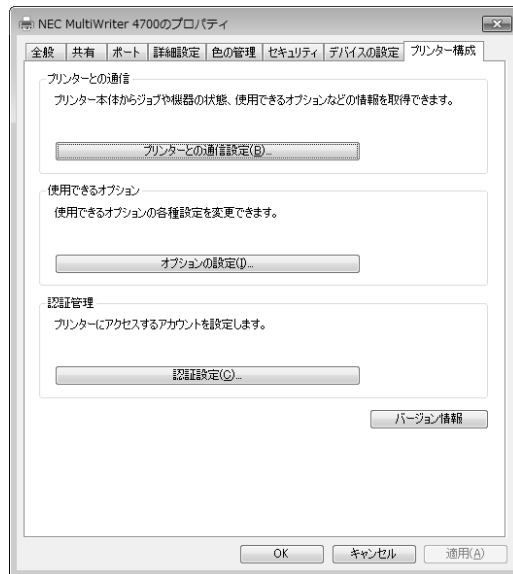
補足

- ・インストーラーを使用してドライバをインストールしても、本体側の「RAM ディスク」の設定を反映できます。

5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

■ ART-EX プリンタードライバーの場合

1. [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] (OS によっては [プリンタ] または [プリンタと FAX]) を選択します。
2. 本機のプリンターアイコンを選択し、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
3. [プリンター構成] タブで [オプションの設定] をクリックします。



4. [オプションの設定] ダイアログボックスで、[RAM ディスク] を [あり] に設定し、[OK] をクリックします。

補足

- ・ インストーラーを使用してドライバをインストールしても、本体側の「RAM ディスク」の設定を反映できません。



5. プロパティダイアログボックスの [OK] をクリックします。

9.9 セキュリティー機能について

セキュリティー機能の概要

ここでは、機械管理者を対象に、本機が持っている各種セキュリティー機能とその設定方法を説明します。詳しくは、それぞれの参照先をご覧ください。

機能	説明	参照先
通信の暗号化	本機とネットワーク上のコンピューターの間で通信する場合に、通信データを暗号化できます。 ・ クライアントコンピューターから本機への HTTP 通信を暗号化 ・ 本機から LDAP サーバーへの HTTP 通信を暗号化 (SSL/TLS クライアント) ・ IPSec を使用して暗号化	「9.10 暗号化機能を設定する」 (P. 373)
セキュリティープリント	第三者に見られたくない文書や機密書類などを出力する場合、出力データを本体内に一時蓄積し、あらためて本体の操作パネルでパスワードを入力して出力します。 補足 ・ ハードディスク (オプション) を取り付けるか、RAM ディスクを有効にする必要があります。	「3.6 機密文書を印刷する - セキュリティープリント -」 (P. 93)
HDD 暗号化	システム内部 (NV メモリー、ハードディスク (オプション)) のデータを暗号化するための設定を行います。 注記 ・ この項目の設定を変更すると、ハードディスクが初期化されます。 補足 ・ ハードディスク (オプション) が必要です。	「[データ暗号化]」 (P. 214)
HDD 上書き消去	ハードディスク (オプション) 内のデータを上書き消去します。上書き消去を複数回行うことで、ハードディスクに記録されていた情報を、より確実に消去することができます。 補足 ・ ハードディスク (オプション) が必要です。	「[HDD の上書き消去]」 (P. 214)
HDD の初期化	ハードディスクに残っているデータを一括して消去できます (ハードディスク初期化)。また、NV メモリーとハードディスクのデータを一括して初期化することもできます (データ一括削除)。	「ハードディスク 初期化」 (P. 245) 「データ一括削除」 (P. 246)
IPアドレスによる受信制限	使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。	「[受付制限 (IPv4)]」 (P. 202) または、 「IP アドレスによる受信制限」 (P. 361)
操作パネルのロック	パスワードによって操作パネルの操作に制限をかけることができます。	「[操作パネル設定]」 (P. 205)
ユーザー登録による利用制限	本機にユーザー情報を登録することによって、CentreWare Internet Services へのアクセスや、コンピューターからの印刷ができるユーザーを限定できます。	「9.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について」 (P. 382)

機能	説明	参照先
イメージログ機能	本機で実行されたジョブの文書を画像データとして保存し、ジョブの利用者、利用時刻、部数などのデータとともに、ログとして蓄積 / 管理します。 補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、ハードディスク（オプション）が必要です。	この機能を使用したい場合はお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。 「[イメージログ管理設定]」（P. 221）
複製管理機能	ページ全体に日付や番号、複製制限コード（デジタルコード）を印字することによって、機密文書などの複写を抑止します。 補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、ハードディスク（オプション）が必要です。	「複製管理機能について」（P. 362）
強制アノテーション機能	ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、アノテーションが強制印字されます。 補足 ・セキュリティ拡張キット（オプション）、ハードディスク（オプション）が必要です。	「強制アノテーション機能について」（P. 368）
監査ログ機能	いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったかを記録します。	「監査ログ機能について」（P. 371）

IP アドレスによる受信制限

本機では、使用できるコンピューターの IP アドレスを登録して、印刷を受け付ける IP アドレスを制限できます。ここでは、CentreWare Internet Services を使用した設定方法を説明します。

補足

- IPv4 のネットワーク環境では、操作パネルを使った設定もできます。操作パネルでの設定については、「[受付制限 (IPv4)]」(P. 202) を参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [受付 IP アドレス制限] をクリックします。
4. [受付 IP アドレス制限 -IPv4] または [受付 IP アドレス制限 -IPv6] の [受付 IP アドレス制限] にチェックを付け、[追加] をクリックします。



5. 表示された画面で、[受付 IP アドレス] に、TCP/IP で接続を許可する IP アドレスを設定します。

6. [IP アドレスマスク] に、[受付 IP アドレス] で登録した IP アドレスに対するアドレスマスクをプレフィックス長の形式で設定します。
IPv4 での設定を例にすると、[受付 IP アドレス] を 129.249.110.23、[IP アドレスマスク] を 24 に設定した場合、印刷を受け付ける IP アドレスは、129.249.110.* (* は 1 ～ 254) になります。



7. 設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。
8. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

複製管理機能について

複製管理は、ページ全体に日付や文字、背景、隠し文字デジタル情報を印刷することで、文書の複製を抑止したり、コピーの履歴を確認したりできる機能です。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

注記

- 複製管理機能による文書の複製制限は、常に機能することを保証するものではありません。原稿や設定条件によっては、機能が有効に働かない場合があります。詳しくはお買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。
- 複製管理機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- セキュリティ拡張キット（オプション）、ハードディスク（オプション）が必要です。

複製管理機能には、次の種類があります。

- 複製管理
あらかじめ本機に登録されているパターンを使用して、原稿に日付や背景を隠し印刷します。この原稿をコピーすると、桜紙や VOID 紙のように隠し印刷が浮き上がります。
- ペーパーセキュリティ
隠し文字のほかに複製制限コード（デジタルコード）を埋め込むことで、出力した原稿のコピー / スキャン / FAX 送信を禁止したり、情報漏えい時に作業履歴を追跡したりすることができます。なお、コピー / スキャン / FAX 送信を禁止するには、対応した機器やソフトウェアが必要になります。
- UUID 印字
UUID とは、Universally Unique Identifier の略で、ほかと重複しないことが保証された 128 ビットの値です。UUID 印字機能を使用すると、原稿に識別 ID (UUID) を印刷して、特定の文書の印刷ログを検索できます。

複製管理

ページ全体に日付や背景を隠し印刷します。出力した原稿をコピーすると、隠し印刷した文字列や背景が浮き上がります。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから[セキュリティ] > [複製管理] > [複製管理] をクリックします。
[複製管理] 画面が表示されます。



4. 各項目を設定します。

設定項目	説明
印刷する日付の形式	印刷日付の印字パターンを設定します。ここで設定した値は、複製管理機能全体で共通になります。 ・ [20yy/mm/dd] ・ [dd/mm/20yy] ・ [mm/dd/20yy] ・ [20yy 年 /mm 月 dd 日]
隠し印刷初期値	文字の埋め込み方を設定します。 ・ [浮き出し] 背景に隠された文字列が浮き出して印字されます。文字列の部分は、[背景パターン] で設定したパターンで印字されます。 ・ [白抜き] 背景に隠された文字列が白抜きされて印字されます。白抜きされた文字以外の背景には、[背景パターン] で設定したパターンが印字されます。
文字列の大きさ	複製管理で印字される文字の大きさを、24 ～ 80 ポイントの範囲で 1 ポイント刻みで設定できます。

設定項目	説明
背景パターン	複製管理機能の隠し印刷に使用する背景パターンを設定します。 ・ [ウェーブ] / [サークル] / [ストライプ] / [チェーン] / [ビーム] / [ひし形] / [ひまわり] / [扇]
印刷の濃度	複製管理で印刷される文字の濃度を設定します。 ・ [うすい] / [ふつう] / [濃い]
文字 / 背景コントラスト	複製管理で印字される文字 / 背景のコントラストを設定します。コントラスト 1 ～ 9 の 9 種類から選択します。 補足 ・ 文字 / 背景のコントラストは、[隠し印刷サンプルリスト] を印刷して確認してから、設定してください。
クライアントプリント	クライアント側のコンピューターから印刷したときに、強制的に複製管理を印字するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
強制印字の制御	[本機の設定を優先] を設定した場合は、本機で [クライアントプリント] が [する] に設定されているときに、クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示しても無視されます。クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示するには TrustMarkingBasic (別売) が必要です。 ・ [本体の設定を優先] ・ [クライアントの設定を優先] 補足 ・ この設定は、複製管理とペーパーセキュリティで共通です。

5. 各項目の設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。

ペーパーセキュリティ

注記

・ IPv6 ネットワークを使用して印刷した場合、ペーパーセキュリティは正しく動作しません。

ページ全体に複製制限コード（デジタルコード）を隠し印刷します。この文書はコピー禁止文書になり、ペーパーセキュリティ対応機器からコピー / スキャン / FAX 送信などのジョブを実行しようとするとき強制的に中止されます。また、情報漏えいの際には、専用のアプリケーションを使用することで、いつ、どこで、誰が出力したのかを追跡できます。

補足

・ 文字列の隠し印刷については、「複製管理」(P. 363) を参照してください。
・ デジタルコードの解析には、富士ゼロックス株式会社製アプリケーション「PaperSecurity Analyzer」(別売) が必要です。詳細はお買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [複製管理] > [ペーパーセキュリティ] をクリックします。
[ペーパーセキュリティ] 画面が表示されます。



4. 各項目を設定します。

設定項目	説明
解析パスワード	文書の追跡情報を解析するときのパスワードを、4 ～ 12 文字で設定します。
ユーザー定義文字列	追跡情報として埋め込む隠し文字の文字列を、32 文字以内で設定します。
クライアントプリント	クライアント側のコンピューターから印刷したときに、強制的に隠し文字列を印字するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
強制印字の制御	[本機の設定を優先] を設定した場合は、本機で [クライアントプリント] が [する] に設定されているときに、クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示しても無視されます。クライアントから複製管理、ペーパーセキュリティを指示するには TrustMarkingBasic (別売) が必要です。 ・ [本体の設定を優先] ・ [クライアントの設定を優先] 補足 ・ この設定は、複製管理とペーパーセキュリティで共通です。
レポート / リスト	レポート / リストを印刷したときに、強制的に隠し文字列を印字するかどうかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
複製制限コード	ペーパーセキュリティのジョブ実行禁止の指定をするかしないかを設定します。[埋め込む] に設定すると、デジタルコードが埋め込まれます。 ・ [埋め込まない] ・ [埋め込む]

設定項目	説明
文字列初期値	隠し文字列の印字で埋め込む文字列を設定します。 ・ [なし] ・ [禁複写] ・ [コピー] ・ [複写] ・ [文字列登録] 補足 ・ 任意の文字列を登録する場合は、[文字列登録] をクリックして表示される画面で文字列を入力し、[新しい設定を適用] をクリックしてください。
背景パターン	隠し印刷に使用する背景パターンを設定します。 ・ [ウェーブ] / [サークル] / [ストライプ] / [チェーン] / [ビーム] / [ひし形] / [ひまわり] / [扇]
文字 / 背景コントラスト	複製管理で印字される文字 / 背景のコントラストを設定します。コントラスト 1 ～ 9 の 9 種類から選択します。 補足 ・ 文字 / 背景のコントラストは、[ペーパーセキュリティサンプルリスト] を印刷して確認してから、設定してください。

5. 各項目の設定ができたなら、[新しい設定を適用] をクリックします。

UUID 印字

UUID とは、Universally Unique Identifier の略で、ほかと重複しないことが保証された 128 ビットの値です。UUID 印字機能を使用すると、印刷ジョブごとに識別 ID (UUID) を印刷します。

ApeosWare Log Management (別売)、または ApeosWare Accounting Service (別売) やイメージログ管理機能を利用すると、UUID をキーとしてログを検索し、ジョブごとに「いつ」、「誰が」プリントしたかなどの情報を確認できるため、情報漏えいの抑止に効果があります。

補足

・ イメージログ管理機能については「セキュリティ機能の概要」(P. 359) を参照してください。

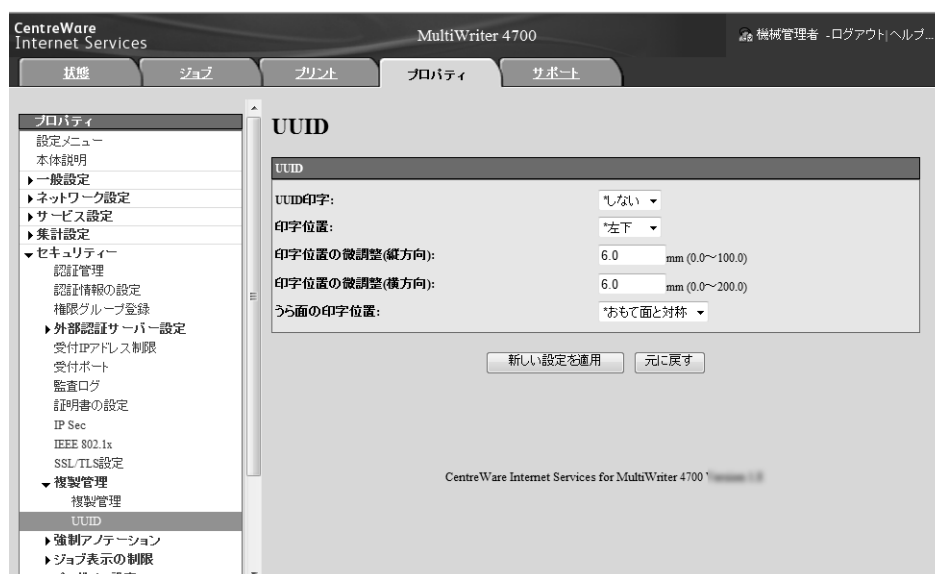
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [複製管理] > [UUID] をクリックします。
[UUID] 画面が表示されます。



4. 各項目を設定します。

設定項目	説明
UUID 印字	UUID 印字をするかしないかを設定します。 ・ [しない] ・ [する]
印字位置	UUID の印字位置を設定します。 ・ [左上] / [中央上] / [右上] / [左下] / [中央下] / [右下]
印字位置の微調整(縦方向)	UUID 印字位置を縦方向に 0 ～ 100mm の間で微調整します。
印字位置の微調整(横方向)	UUID 印字位置を横方向に 0 ～ 200mm の間で微調整します。 補足 ・ 微調整値は、用紙の端を 0mm として値を大きくすると用紙中央方向に移動します。ただし、印字位置で [中央上] または [中央下] を選択した場合、よこ方向の調整値は用紙の中央を 100mm としています。印字位置で [中央上] または [中央下] を選択する場合は、微調整値をいったん 100mm に設定してから調整してください。
うら面の印字位置	うら面の UUID 印字位置を設定します。 ・ [おもて面と同じ] ・ [おもて面と対称]

5. 各項目の設定ができたなら、[新しい設定を適用] をクリックします。

強制アノテーション機能について

強制アノテーションは、ジョブの種類ごとに関連づけられたレイアウトテンプレートに従い、透かし文字やユーザー ID を強制印字できる機能です。

詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- ・複製管理、ペーパーセキュリティ、UUID印字が指定されている場合は、それらと重なって印字されます。
- ・セキュリティ拡張キット（オプション）、ハードディスク（オプション）が必要です。

レイアウトテンプレートの関連付け

レイアウトテンプレートとの関連づけを設定します。関連づけを設定できるのは次のものです。

- ・クライアントプリント
- ・メール受信プリント
- ・レポート

補足

- ・クライアントプリントは、コンピューターからプリントを指示したジョブです。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [強制アノテーション] > [レイアウトテンプレートの関連付け] をクリックします。
[レイアウトテンプレートの関連付け] 画面が表示されます。



4. [クライアントプリント]、[メール受信プリント]、または [レポート] の、[確認 / 変更] をクリックします。

- 表示された画面で、[レイアウトテンプレートの関連付け] の [付ける] にチェックをつけます。



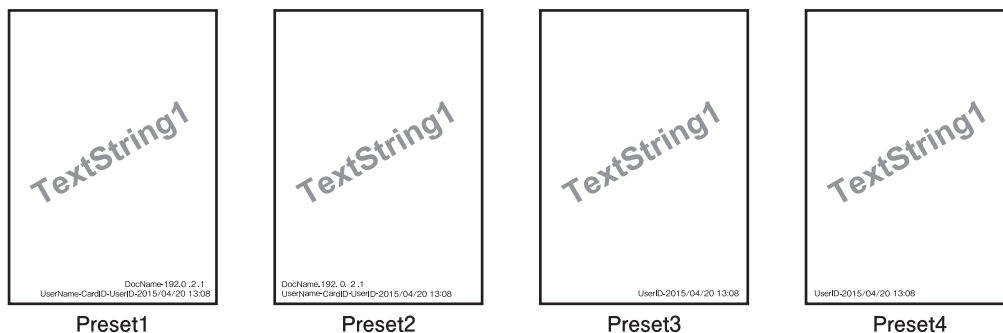
- レイアウトテンプレートを選択します。

補足

- 本機にはあらかじめ [preset1] ~ [preset4] のレイアウトテンプレートが用意されています。これらのテンプレートは削除できません。
- ジョブの種類や実行形態によっては、印字されない項目があります。
- 機械が作成した白紙ページには、強制アノテーションは印字されません。
- 強制アノテーションで印字される時刻は、本機の状況や設定、出力内容によって、出力を指示した時刻と異なる場合があります。印字される時刻は、出力を開始した時刻になります。

参照

- 文字列の登録については、「文字列の登録」(P. 370) を参照してください。



レイアウトテンプレート	印字される項目
preset1	[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。 用紙の右下 ([preset1] の場合)、または左下 ([preset2] の場合) に、次の項目が印字されます。 ・ 上段: 文書名、印字を指示したコンピュータの IP アドレス ・ 下段: ユーザー名、カード ID、ユーザー ID、年月日時
preset2	
preset3	[文字列登録 1] で登録した文字が、用紙中央に透かし文字で斜めに印字されます。 用紙の右下 ([preset3] の場合)、または左下 ([preset4] の場合) に、次の項目が印字されます。 ・ ユーザー ID、年月日時
preset4	

7. 設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。

レイアウトテンプレートの削除

本機では、この機能は使用できません。

文字列の登録

強制アノテーションで使用する文字列を登録します。

注記

- ・ 本機で利用できる文字列は [文字列登録 1] だけです。[文字列登録 2] ～ [文字列登録 8] は使用できません。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [強制アノテーション] > [文字列の登録] をクリックします。
[文字列の登録] 画面が表示されます。



4. 登録したい文字列を入力します。

補足

- ・ 最大文字数は、半角で 64 文字、全角で 32 文字です。

5. 設定ができれば、[新しい設定を適用] をクリックします。

監査ログ機能について

監査ログ機能は、いつ、誰が、どのような作業を本機で行ったのかを確認することができる機能です。この機能を使用すると、本体の不正使用や不正使用の試みを監視できます。

注記

- ・ 監査ログ機能を使用または使用できなかったことによって発生した損害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- ・ 最大 50 件までログを保存します。ハードディスク（オプション）を取り付けると、最大 15,000 件までログを保存します。最大保存数を超えると、古いログから自動的に削除されます。
- ・ 監査ログを取り出すには、HTTPS を設定しておく必要があります。設定方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」（P. 374）または、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

監査ログ機能を有効にする

監査ログ機能を使用するためには、事前に機能を有効にする必要があります。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」（P. 45）を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [監査ログ] をクリックします。
[監査ログ] 画面が表示されます。
4. [監査ログを有効にする] の [監査ログの起動] にチェックをつけ、[新しい設定を適用] をクリックします。

監査ログを取り出す

監査ログデータはテキストデータ（auditfile.txt）として取り出すことができます。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」（P. 45）を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックします。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [監査ログ] をクリックします。
[監査ログ] 画面が表示されます。
4. [監査ログの取り出し] の [リンク先] をクリックします。
5. [ファイルのダウンロード] 画面が表示されるので、[保存] をクリックし、監査ログデータ（auditfile.txt）を保存します。
6. 監査ログデータを確認します。

監査ログに保存されている内容

監査ログには、次のような内容が保存されます。

保存される内容		説明
デバイスの稼動開始 および終了	開始	電源が入り、印刷可能になった情報
	終了	電源オフの情報
ユーザー認証	ログイン / ログアウト	認証管理を行っている場合のログイン / ログアウト情報
	KO 認証ロック	機械管理者 ID の認証を連続で一定回数失敗し、機械管理者認証がロックされた情報
	不正侵入攻撃検知	SNMP の認証で連続失敗した情報
監査ログの有効化 / 無効化	有効 / 無効の設定変更	CentreWare Internet Services で監査ログ機能の設定（有効 / 無効）をした情報
ジョブの終了	プリント	プリントジョブが終了した情報
	レポート	レポートが印刷された情報
デバイス設定の変更 / 参照	時刻の設定変更	操作パネルや時刻設定サーバー、MIB などから日時設定が変更された情報
	ユーザー情報	ユーザー情報が登録、変更、削除された情報
	認証の設定変更	認証関連の設定が変更された情報
	セキュリティの設定変更 / 参照	操作パネルやCentreWare Internet Services でセキュリティ関連のメニューにアクセスしたり、設定を変更した情報
	ジョブ関連	時刻指定プリントなど、本機に蓄積されるプリントジョブの設定が変更された情報
デバイス格納データへのアクセス	証明書の登録 / 削除	証明書が登録および削除された情報
	監査ログの取り出し	監査ログの取り出しが行われた情報
デバイスの構成変更	ハードディスクの交換検知	ハードディスク（オプション）が取り付けられたり、交換された情報
	ROM バージョンの変更	ファームウェアなどのソフトウェアをバージョンアップしたときなど、ROM バージョンが変更になった情報

9.10 暗号化機能を設定する

証明書の種類

本機で暗号化機能を利用するには、証明書が必要になります。

使用できるデバイス証明書は次の 2 種類です。

- ・CentreWare Internet Services を使用して作成した自己証明書（有効期限は 1 年）
- ・他の認証局で作成された証明書

他の認証局で作成された証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services で本機にインポートしてください。

参照

- ・証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

暗号化の種類により使用できるデバイス証明書は次のとおりです。

暗号化の種類	自己証明書	他の認証局で作成された証明書
クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）	○	○
本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する（SSL/TLS クライアント）	×	○
IPSec を使用して暗号化する	×	○ ^{*1}

○：使用できる ×：使用できない

^{*1} [IKE 認証方法] が [デジタル署名] の場合に使用します。

暗号化機能について

本機では、ネットワーク上にあるほかのコンピューターと通信する場合に、通信データを暗号化できます。

■ クライアントから本機への HTTP 通信を暗号化する（SSL/TLS サーバー）

本機の SSL/TLS 通信機能を有効にすることで、本機とネットワーク上のコンピューター間での HTTP 通信を暗号化できます。

本機の HTTP サーバーを利用するポートには、SOAP ポート、インターネットサービス (HTTP) ポート、IPP ポートがあります。

クライアントから本機への HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。通信を暗号化するには、自己証明書、または他の認証局で作成された証明書のいずれかのデバイス証明書を使用できます。

補足

- ・作成済みの証明書を使用する場合は、CentreWare Internet Services を使って証明書をインポートしてください。詳しくは、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。
- ・HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポート で印刷するときに通信データを暗号化（SSL 暗号化通信）できます。
- ・発行した証明書の有効期限は 1 年です。

■ 本機から LDAP サーバーへの HTTP の通信を暗号化する (SSL/TLS クライアント)

LDAP サーバーと本機との HTTP 通信の暗号化には、SSL/TLS プロトコルを使用します。通常、証明書を設定する必要はありませんが、LDAP のサーバーが SSL クライアント認証を要求する設定の場合には、CentreWare Internet Services を使用して、本機に作成済みの SSL/TLS クライアント証明書をインポートし、設定する必要があります。

また、サーバー証明書の検証を有効にして LDAP サーバーの検証を行う場合には、LDAP サーバーの SSL/TLS サーバー証明書を検証するために、そのルート証明書を CentreWare Internet Services から本機に登録する必要があります。

補足

- CentreWare Internet Services を使って他の認証局で作成された証明書をインポートする方法については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

■ IPsec を使用し暗号化する

IPsec を使用して本機と暗号化通信ができます。

IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選択できます。デジタル署名を選択する場合は、本機に IPsec 用証明書が必要です。

CentreWare Internet Services を使用して、他の認証局で作成された証明書をインポートします。なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPsec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

補足

- 証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

HTTP の通信を暗号化するための設定

HTTP の通信を暗号化するための設定について説明します。

本機側の設定

本機に証明書を設定します。

ここでは、CentreWare Internet Services で自己証明書 (SSL サーバー用) を作成し、SSL/TLS 通信を有効にする手順を説明します。各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

補足

- CentreWare Internet Services で、作成済みの証明書をインポートして使用することもできます。作成済みの証明書のインポートについては、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。
[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書の作成] をクリックします。[証明書の作成] 画面が表示されます。
5. [自己証明書] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 表示された画面で、[公開鍵のサイズ] と [発行者]、[有効期間] を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。

補足

- 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。



- 設定が更新されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
- [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。
- [HTTP - SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付け、[新しい設定を適用] をクリックします。



- 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

補足

- CentreWare Internet Services を起動すると、[プロパティ] の [セキュリティ] の下に [証明書管理] が表示されます。[証明書管理] では、証明書の情報の確認や選択、証明書のエクスポート、削除などをすることができます。

通信を暗号化した場合の CentreWare Internet Services へのアクセス方法

HTTP の通信を暗号化した場合、CentreWare Internet Services にアクセスするには、ブラウザのアドレス欄に、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

・IP アドレスの入力例：https://192.168.1.100/
（「192.168.1.100」の部分は、お使いの機種の IP アドレスに置き換えてください。）

・インターネットアドレスの入力例：https://xxx.yyyy.zz.vvv/

IPP ポートで通信データを暗号化して印刷するための設定

HTTP の通信を暗号化すると、IPP ポートで印刷するときに、通信データを暗号化できません。

プリンター側の設定で、IPP ポートが「起動」に設定されていない場合（初期値：「停止」）は、「1.4 使用するポートを起動する」（P. 44）を参照して起動してください。

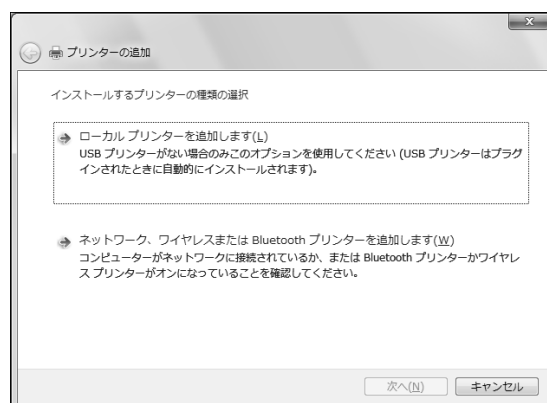
次に、コンピュータにプリンタードライバーをインストールし、出力ポートを IPP ポートに設定します。

以下に、Windows 7 の例で、プリンタードライバーをインストールする手順を説明します。

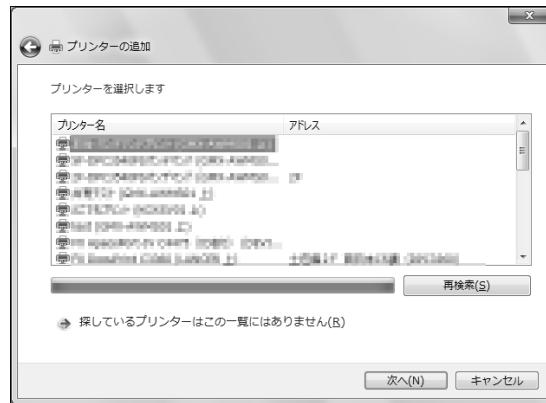
補足

・インストール手順についての詳細は、メディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の『マニュアル（HTML）』を参照してください。

1. 「スタート」メニューから、「デバイスとプリンター」（OS によっては「プリンタ」または「プリンタと FAX」）を選択します。
2. 「プリンターの追加」を選択します。
3. 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します」をクリックします。
ネットワーク上のプリンターが表示されます。



4. 「探しているプリンターはこの一覧にはありません」をクリックします。



5. 「共有プリンターを名前で選択する」を選択し、次の URL を入力して「次へ」をクリックします。
「https://(お使いの機種種の IP アドレス)/ipp/」



6. 「ディスク使用」をクリックします。
7. 表示された画面で（メディアのドライブ名）：プリンタードライバーが格納されているフォルダー名を入力し、[OK] をクリックします。
8. 本プリンターのドライバーを選択して、[OK] をクリックします。
9. 通常使うプリンターに設定する場合は「はい」を、設定しない場合は「いいえ」を選択して、「次へ」をクリックします。
10. 「完了」をクリックします。

IPSec を使用して暗号化するための設定

IPSec を使用して暗号化するための設定について説明します。

補足

- この機能は、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 でのみ使用できます。

コンピューター側の設定

Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 で IPSec の設定をします。詳しくは、Windows Vista、Windows 7、Windows Server 2008 R2 のヘルプを参照してください。

本機側の設定

CentreWare Internet Services で IPsec の設定をします。

本機では、IKE 認証方式を事前共有鍵、またはデジタル署名から選択できます。デジタル署名を選択する場合は、本体の証明書が必要です。まず、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 374) を参照して証明書を設定してから、IPsec の設定をしてください。事前共有鍵を選択する場合は、事前に事前共有鍵の発行が必要です。機械管理者にお問い合わせください。その後、IPsec の設定をしてください。

■ 証明書の設定

CentreWare Internet Services で HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、他の認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

なお、デジタル署名を使用して暗号化するには、IPsec サーバーが受け付けるルート証明書が必要です。自己証明書やデバイス証明書発行ユーティリティで発行された証明書は使用できません。

補足

- HTTP の通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P. 374) を参照してください。
- CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

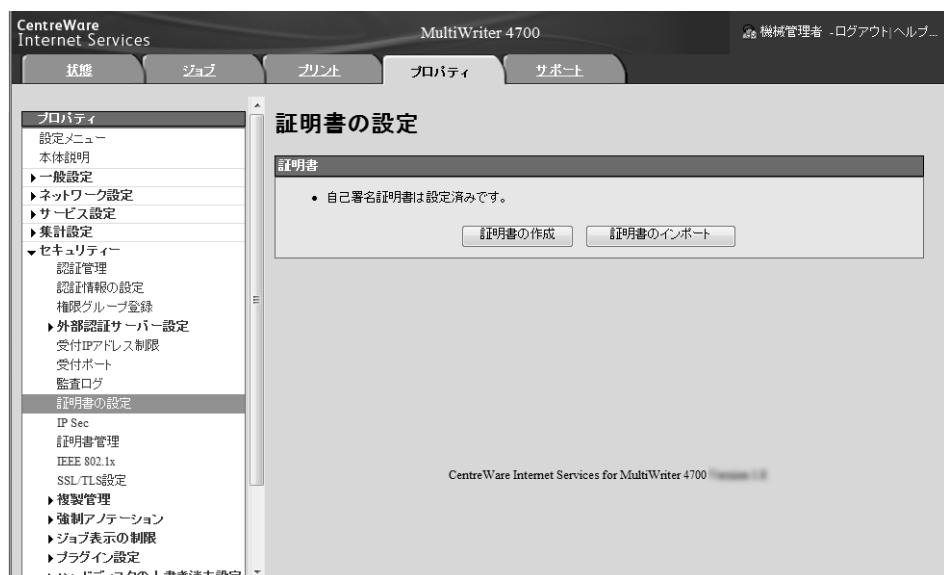
1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [証明書の設定] をクリックします。
[証明書の設定] 画面が表示されます。



4. [証明書のインポート] をクリックします。

5. 表示された画面で、[パスワード] とインポートする証明書のファイル名を指定して、[インポート] をクリックします。
6. Web ブラウザーの再読み込みを実行します。
7. [プロパティ] タブのメニューから [セキュリティ] > [証明書管理] をクリックします。
[証明書管理] 画面が表示されます。
8. [カテゴリー] を [本体]、[証明書の目的] を [IP Sec] に設定し、[一覧の表示] をクリックします。
9. 設定する証明書にチェックを付け、[証明書の表示] をクリックします。
10. [証明書の選択] をクリックします。
11. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。
これで、IPSec 用の証明書が設定されました。続けて、IPSec の設定をします。次ページの手順 3 に進んでください。

■ IPSec の設定

CentreWare Internet Services で IPSec の設定をします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services の項目の詳細については、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから、[セキュリティ] > [IP Sec] をクリックします。
[IP Sec] 画面が表示されます。



4. [プロトコル] の [有効] にチェックを付けます。
5. [IKE 認証方式] で [事前共有鍵]、または [デジタル署名] を選択します。
6. [IKE 認証方式] を [事前共有鍵] に設定した場合は、[共有鍵] と [共有鍵の照合] に、IPsec 通信の共通鍵を入力します。
7. [IKE SA のライフタイム] (分単位) を 5 ～ 28800 の数値で入力します。
8. [IPsec SA のライフタイム] (秒単位) を 300 ～ 172800 の数値で入力します。

補足

- ・ [IKE SA のライフタイム] より短い時間になるように入力します。

9. [DH グループ] で [G1] または [G2] を選択します。
10. [PFS] で、[有効] にチェックを付けると、PFS 機能を起動できます。
11. [相手アドレスの指定 [IPv4]] または [相手アドレスの指定 [IPv6]] に、通信する相手先の IP アドレスを入力します。

補足

- ・ すべての相手先と IPsec で通信する場合は、[0.0.0.0/0] (IPv4 のとき) または [::/0] (IPv6 のとき) を設定します。

12. [IPsec 未対応機器との通信] で、IPsec 未対応機器と通信するかどうかを選択します。
13. 各項目の設定ができたなら、[新しい設定を適用] をクリックします。

補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

14. 本機を再起動する画面が表示されるので、[再起動] をクリックします。
本機が再起動し、設定した値が反映されます。

9.11 ユーザー登録による利用の制限と集計管理機能について

本機には、あらかじめ登録しておいたユーザー情報を使って、利用できる機能に制限をかける認証機能と、その認証機能を元にして、各機能の利用状況を管理する集計管理機能があります。

ここでは、機械管理者を対象に、認証 / 集計管理機能の概要と、使用する場合に必要な設定について説明します。

注記

- 文書が蓄積された状態で、集計モードを変更しないでください。
集計モードを変更するときは、蓄積されている文書をすべて印刷、または削除してください。

認証 / 集計管理機能の概要

制限される機能

認証 / 集計管理機能を利用することによって制限される機能は、次のとおりです。

■ CentreWare Internet Services へのアクセス

Web ブラウザーを使って本機にアクセスするときに、認証画面が表示され、ユーザー ID やパスワードなどの入力が必要になります。本機に登録されているユーザー、または機械管理者以外は、CentreWare Internet Services を使用できません。

■ コンピューターからの印刷

ジョブの種類によって、次のように印刷が制限されます。

ジョブの種類	制限される機能
本機用プリンタードライバーを使用した印刷	プリンタードライバーで、ユーザー ID やパスワードなどの認証情報を設定する必要があります。本機に送信されたジョブのうち、認証情報が本機に登録された内容と一致する場合だけ、印刷できます。プリント上限ページ数が設定されている場合は、使用量が制限に達すると、以降の印刷はできません。
本機用プリンタードライバーを使用しない場合（メール受信プリントなど）	本機で、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けた場合だけ、印刷できます。初期値ではチェックは付いていません。

集計機能

認証 / 集計管理機能を利用すると、[プリンター集計レポート] に代わって、[プリンター集計管理レポート] が出力されます。

ユーザー別に、今まで印刷した累積ページ数、印刷に使用した用紙の累積枚数が確認できます。

また、本レポートは、データを初期化した時点からのカウントになります。

参照

- 印刷方法：「レポート / リストを印刷する」(P. 345)
- データの初期化：「[プリンター集計レポート] のデータを初期化する」(P. 348)

認証 / 集計管理機能を使用するための設定

集計管理の運用の設定

認証 / 集計管理機能を有効にするには、操作パネルの「機械管理者メニュー」で、次の設定をします。

- ・[システム設定] > [集計管理] > [集計管理の運用] を [本体集計管理] にする
- ・[システム設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を [本体認証] にする

本機へのユーザー情報の登録

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、利用ユーザーを登録できるようになります。

補足

- ・各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

- ・CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。
3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。
[認証管理 > 1/2] 画面が表示されます。



4. ユーザー名や暗証番号がないジョブに対して、印刷を許可する場合は、[ユーザー指定なし印刷の許可] の [有効] にチェックを付けます。

5. [次へ] をクリックします。
[認証管理 > 2/2] 画面が表示されます。



6. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。
7. 表示された画面で各項目を設定し、[新しい設定を適用] をクリックします。



補足

- ・ここで設定したユーザー ID やパスワードは、プリンタードライバーでも使用します。
- ・設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

8. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 5 ～ 7 を繰り返します。

権限グループの登録とユーザーとの関連づけ

操作パネルで [本体集計管理] および [本体認証] の設定をすると、CentreWare Internet Services で、権限グループを登録し、ユーザーと関連づけることができます。

強制印字の一時解除を許可された権限グループを登録し、ユーザーとその権限グループを関連づけることで、そのユーザーが強制印字を一時解除する権限を持つことができます。

補足

- ・ 各項目の詳細は、CentreWare Internet Services のヘルプを参照してください。

1. Web ブラウザーを起動し、CentreWare Internet Services にアクセスします。

補足

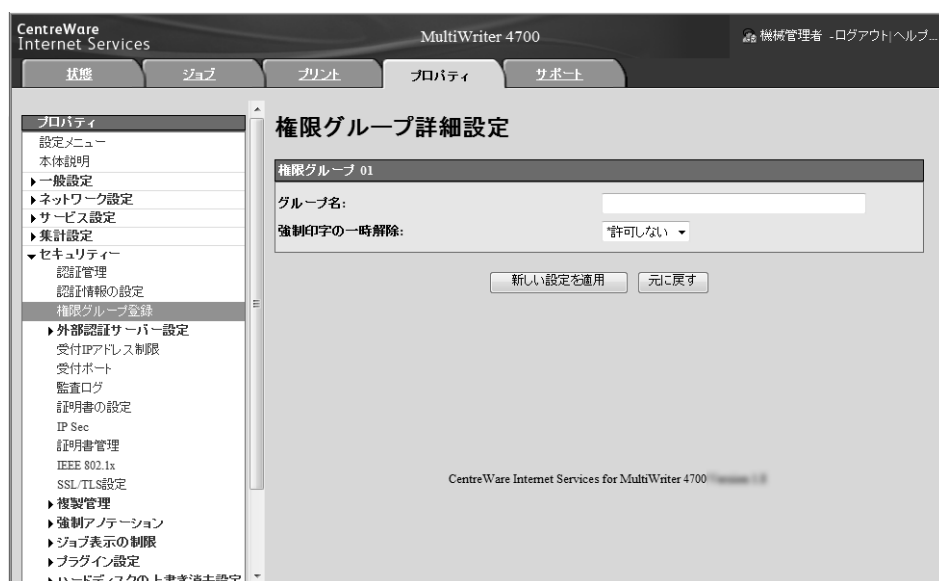
- ・ CentreWare Internet Services へのアクセス方法がわからない場合は、「1.5 CentreWare Internet Services でプリンターを設定する」(P. 45) を参照してください。
- ・ 操作中に機械管理者のユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、各項目を入力し、[OK] をクリックしてください。

2. [プロパティ] タブをクリックします。

3. 左側のメニューから [セキュリティ] > [権限グループの登録] をクリックします。
[権限グループ登録] 画面が表示されます。



4. 未登録のグループの [編集] ボタンを押します。
[権限グループ詳細設定] 画面が表示されます。



5. [グループ名] にグループの名称を入力します。

6. [強制印字の一時解除] を [許可する] に設定します。
7. [新しい設定を適用] を押します。
強制印字の一時解除権限を持つ権限グループが作成されます。
8. 左側のメニューから [セキュリティ] > [認証管理] をクリックします。
[認証管理 > 1/2] 画面が表示されます。
9. [次へ] をクリックします。
[認証管理 > 2/2] 画面が表示されます。



10. [ユーザー登録番号] を設定し、[編集] をクリックします。
11. [権限の追加設定] で、手順 7 で登録した権限グループを選択し、[新しい設定を適用] をクリックします。



補足

- ・ 設定内容を適用しないで、表示を元に戻す場合は、[元に戻す] をクリックします。

12. 複数のユーザーを登録する場合は、手順 10 ~ 11 を繰り返します。

9.12 ペーパーレジを調整する

印刷位置がずれる場合、垂直（リードレジ）、水平方向（サイドレジ）の印刷位置を操作パネルから補正します。

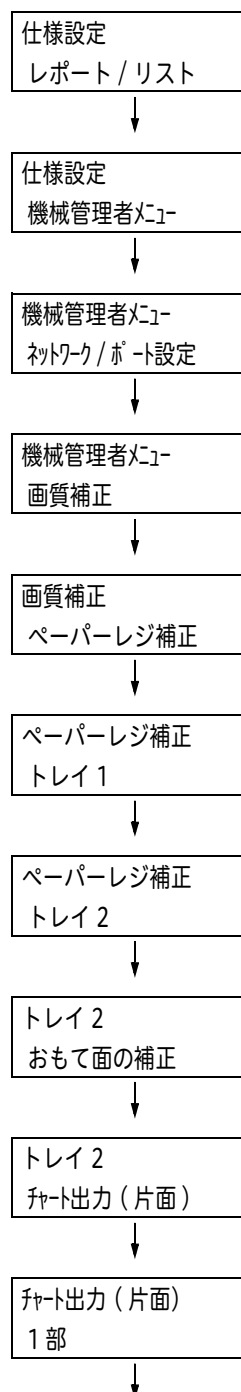
補正量は、-2.0 ～ +2.0mm の間で 0.5mm 刻みで設定できます。

補足

- ・ ペーパーレジを補正するためのチャートは、指定したトレイにセットされた用紙に合わせて出力されます。
- ・ 自動トレイ選択の対象に設定されていない [トレイ 5 (手差し)] を選択してレジ調整のチャートを出す場合は、[トレイ 5 (手差し)] に A4 ☐ をセットしてください。
- ・ 垂直方向（リードレジ）の補正は、トレイごとに設定できますが、すべて同一の値になります。

ここでは、トレイ 2 のおもて面（片面）のペーパーレジ補正をする例で説明します。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
3. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。
4. [画質補正] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
5. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ペーパーレジ補正] が表示されます。
6. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[トレイ 1] が表示されます。
7. [トレイ 2] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
8. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[おもて面の補正] が表示されます。
9. [チャート出力 (片面)] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。
10. 〈OK〉ボタンを押します。
部数を入力する画面が表示されます。

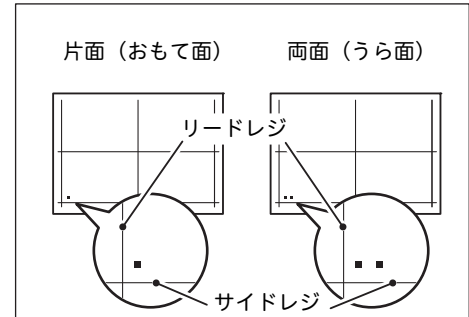


11. 〈▼〉ボタンを押して部数を設定し、〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
印刷を開始する画面が表示されます。

チャートを出力します
[OK] でプリント開始

12. 〈OK〉ボタンを押します。
印刷が開始されます。

13. 出力されたチャートには■（黒い四角のマーク）が印刷されます（表面は■が1箇所、うら面は■が2箇所）。
■が左下の位置になるようにチャートに向けて、チャートに印刷される縦横の線と■との相対的な位置から補正量を計算します。最終的な確認は、印刷するデータで確認してください。



14. [おもて面の補正]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

15. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[リードレジ補正]が表示されます。

16. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の垂直方向の補正值（リードレジ）が表示されます。

17. 手順14で計算した垂直方向の補正量を設定し、〈OK〉ボタンを選択します。
印刷画像を下方向に移動する場合は+（プラス）の値を設定し、上方向に移動する場合は-（マイナス）の値を設定します。

18. 〈◀〉または〈戻る〉ボタンで手順 8 に戻り、同様に指定します。

19. [サイドレジ補正]が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

20. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
現在の水平方向の補正值（サイドレジ）が表示されます。

21. 手順14で計算した水平方向の補正量を設定し、〈OK〉ボタンを選択します。
印刷画像を左方向に移動する場合は+（プラス）の値を設定し、右方向に移動する場合は-（マイナス）の値を設定します。

22. 設定が終わったら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。

トレイ 2
おもて面の補正

おもて面の補正
リードレジ補正

リードレジ補正
•0.0mm

リードレジ補正
•0.0mm

おもて面の補正
リードレジ補正

おもて面の補正
サイドレジ補正

サイドレジ補正
•0.0mm

サイドレジ補正
•0.0mm

9.13 清掃について

ここでは、本機を良好な状態に保ち、きれいな印刷ができるようにするため、本機の手入れ方法について説明します。

⚠ 警告

- ・ 機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、手入れには指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。
-

⚠ 注意

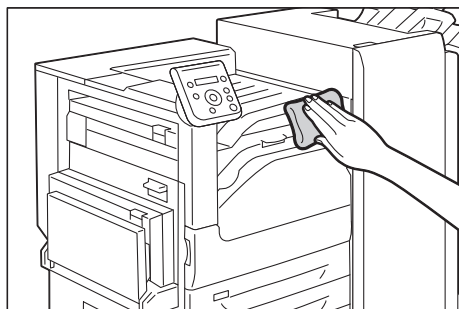
- ・ 機械の手入れを行う場合は、電源スイッチおよび主電源スイッチを切って、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチおよび主電源スイッチを切らずに機械の手入れや保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。
-

本機外部の手入れ

約 1 か月に 1 度、本機の手入れを手入れしてください。本機の手入れを、水でぬらし固く絞った柔らかい布でふきます。そのあと、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。

注記

- ・ 洗剤を直接本機に向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因になることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。



9.14 プリンターを移動するときは

プリンターを移動するときは、次の手順で行ってください。

補足

- ・ オプションの 2 トレイモジュールまたはタンデムトレイモジュールを取り付けている場合は、トレイモジュールのキャスターを使ってプリンターを移動させることができます。

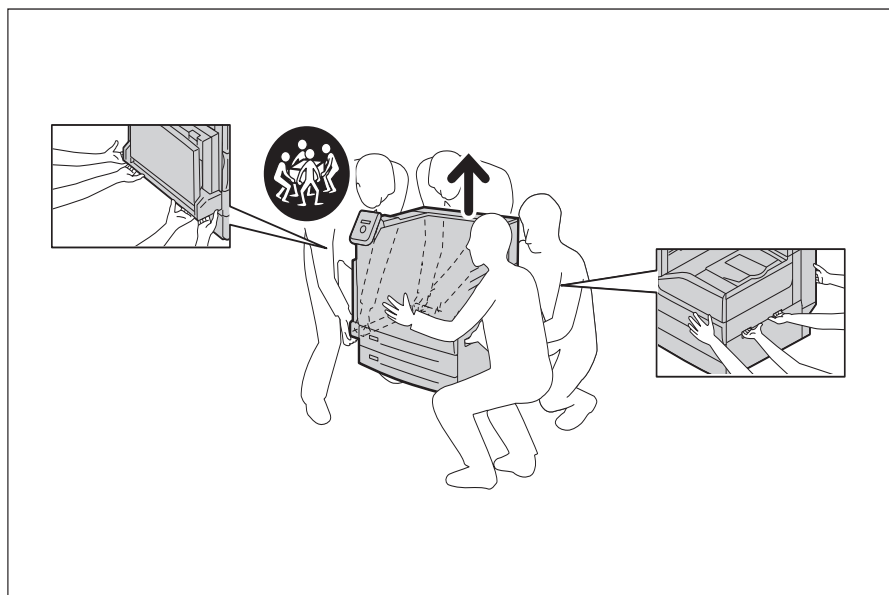
注記

- ・ トレイモジュールのキャスターを使ってプリンターを移動したときは、移動後に必ずキャスターをロックしてください。

1. プリンターの電源および主電源を切ります。
2. 電源コード、インターフェイスクーブルなど、すべての接続コードを外します。
3. 本機からトレイを引き出し、トレイにセットされている用紙を取り出します。取り出した用紙は梱包して、湿気やホコリに触れない場所に保管します。
4. トレイを、本機の奥までしっかり押し込みます。
5. 本機を持ち上げて、静かに移動します。長距離を移動する場合は、本機を梱包して運送してください。

注記

- ・ 機械の重さは、約 57.8kg（本体のみ、消耗品を含む）です。必ず 4 人以上で持ち運んでください。



補足

- ・ 本機を移動するときは、トナーカートリッジなどの消耗品を取り外す必要はありません。

10 NPD L の設定

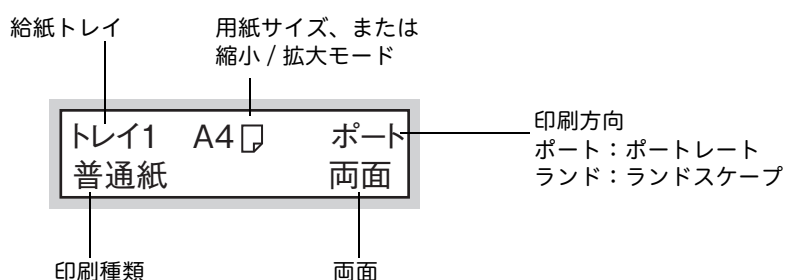
10.1 NPD L モードを使用するには

ここでは、本機を NPD L モードで使用する際の、操作パネル上のディスプレイの表示の意味と、プリンターの設定について説明します。

ディスプレイの表示について

本機では、NPD L パネル設定モードに移行すると、NPD L データを印刷するときのプリンターの設定内容が表示されます。

これらの設定は、操作パネルのボタンで切り替えることができます。



[NPD L パネル設定モードへの移行手順]

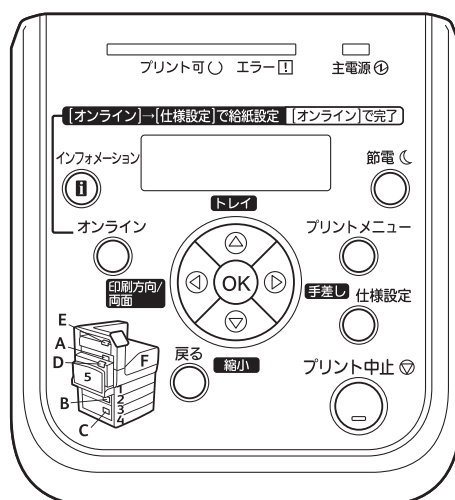
印刷データがないことを確認します。

オンライン状態 → 〈オンライン〉を押す → オフライン状態（プリント可消灯、[上：オフライン]）→ 〈仕様設定〉を押す → NPD L パネル設定モードに 移行（データ有り時は移行しない）

ボタンによるプリンターの設定

操作パネル上の〈トレイ〉、〈縮小〉、〈印刷方向 / 両面〉、〈手差し〉ボタンを使って、NPD L データを印刷するときのプリンターの設定ができます。

これらのボタンは、NPD L パネル設定モードにしたときに、有効になります。



ボタンによるプリンターの設定が終了したら、再度〈オンライン〉ボタンを押して、印刷が可能な状態（オンライン状態）に戻してください。

補足

- ・ オンライン状態は、操作パネルの〈プリント可〉ランプが点灯し、オフライン状態では、〈プリント可〉ランプが消灯します。

参照

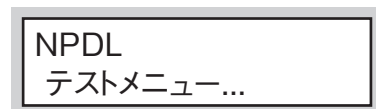
- ・ 各ボタンで設定できる項目：「10.3 各ボタンで設定できる項目」（P. 393）

モードメニュー画面

本機のメニュー画面には、各プリントモード固有の項目を設定するモードメニューと、すべてのプリントモードに共通の項目を設定する共通メニューがあります。

NPDL モードメニュー画面では、NPDL 固有の項目を設定します。

NPDL モードメニュー画面を表示するには、操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で、[NPDL] を選択してください。NPDL モードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。



補足

- ・ メニュー画面で設定した内容が、NPDL パネル設定モードで変更された場合は、NPDL パネル設定モードでの設定が優先されます。

参照

- ・ NPDL モードメニューで設定できる項目：「10.4 NPDL モードメニューで設定できる項目」（P. 395）

10.2 フォントについて

NPDL では、次のフォントが使用できます。

- ・ 1 バイト書体：ローマン、イタリック、クーリエ、ゴシック
- ・ 明朝体 -L アウトラインフォント
- ・ ゴシック体 -M アウトラインフォント、
- ・ OCR-B、OCR-K 相当文字

10.3 各ボタンで設定できる項目

各ボタンで設定できる項目と、その操作方法について説明します。

補足

- これらのボタンは、NPD L パネル設定モードで有効です。操作パネルの〈印刷可〉ランプが点灯している場合は、NPD L パネル設定モードに移行してください。NPD L パネル設定モードへの移行方法については、「10.1 NPD L モードを使用するには」(P. 391)を参照してください。

〈トレイ〉ボタン

手差しトレイから用紙を給紙する状態で、このボタンを押すと、トレイから用紙を給紙する状態に切り替えます。

また、トレイから給紙する状態に設定されている場合は、このボタンを押すごとに、トレイを切り替えます。

[トレイ 1] → [トレイ 2] → [トレイ 3] → [トレイ 4] → [トレイ 6] ([トレイ 1] に戻る)

補足

- トレイを切り替えると、そのトレイにセットされている用紙サイズに合わせて、ディスプレイの用紙サイズ表示も変わります。
- 手差しトレイからトレイに切り替えた場合の表示はトレイ 1 になります。
- [トレイ 3] ~ [トレイ 4]、[トレイ 6] は、オプションのトレイモジュールが取り付けられている場合に設定できます。

〈縮小〉ボタン

このボタンを押すごとに、縮小 / 拡大モードを切り替えます。現在設定されている用紙サイズが、A3/A4/B4/B5 の場合に有効です。

補足

- アプリケーションによっては、縮小 / 拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンドによって A3、B4、または帳票サイズが指定されており、トレイに A4 サイズの用紙が入っている場合は、自動的に縮小して印刷します。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差によって、縮小しない場合と印刷結果が異なることがあります。

各用紙サイズと、選択できる縮小 / 拡大モードは、次のとおりです。

- A3 サイズに印刷する場合
[A3] → [A4 > A3] → [B4 > A3] → ([A3] に戻る)
- A4 サイズに印刷する場合
[A4 タテ] (または [A4 横]) → [B4 > A4] → [LP > A4] → [A3 > A4] → [A4 × 2] → [B5 > A4] → ([A4 横] (または [A4 タテ]) に戻る)
- B4 サイズに印刷する場合
[B4] → [LP > B4] → [A3 > B4] → [B5 > B4] → [A4 > B4] → ([B4] に戻る)
- B5 サイズに印刷する場合
[B5] → [A4 > B5] → [B4 > B5] → [B5 × 2] → ([B5] に戻る)

補足

- [LP] は、帳票サイズ (136 桁 × 66 行) を意味します。
- [A4 × 2] は、A4 サイズの 2 ページ分のデータを、A4 用紙 1 枚に印刷します。
- [B5 × 2] は、B5 サイズの 2 ページ分のデータを、B5 用紙 1 枚に印刷します。
- 操作パネルによって給紙トレイが切り替えられた場合や、セットされている用紙のサイズが変更された場合は、縮小 / 拡大なしの設定 (用紙サイズ) になります。

〈印刷方向 / 両面〉ボタン

このボタンを押すごとに、印刷方向と片面・両面の設定を切り替えます。

[ポート] → [ランド] → [ポート 両面] → [ランド 両面] → ([ポート] に戻る)

〈手差し〉ボタン

トレイから用紙を給紙する状態で、このボタンを押すと、手差しトレイから用紙を給紙する状態に切り替えます。

また、手差しトレイから給紙する状態に設定されている場合は、このボタンを押すごとに、用紙サイズを切り替えます。

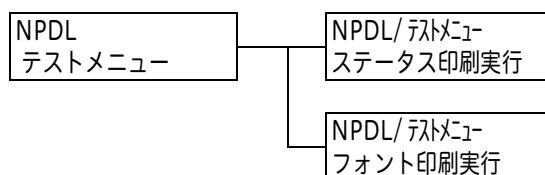
[A4□] → [A4□] → [A5□] → [A5□] → [B4□] → [B5□] → [B5□] →
[8.5 × 11"□] → [8.5 × 11"□] → [はがき□] → [往復ハガキ□] → [A3□]

補足

- ・ここでの設定は、NPD L 以外のプリント言語のデータを印刷する場合にも、有効です。
- ・操作パネルのメニューや NPD L 以外のデータの印刷によって、NPD L がサポートしない用紙サイズが手差しトレイに設定されている場合は、[定形外] と表示されます。

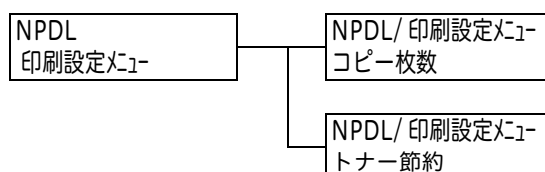
NPDL 設定項目一覧

[テストメニュー]



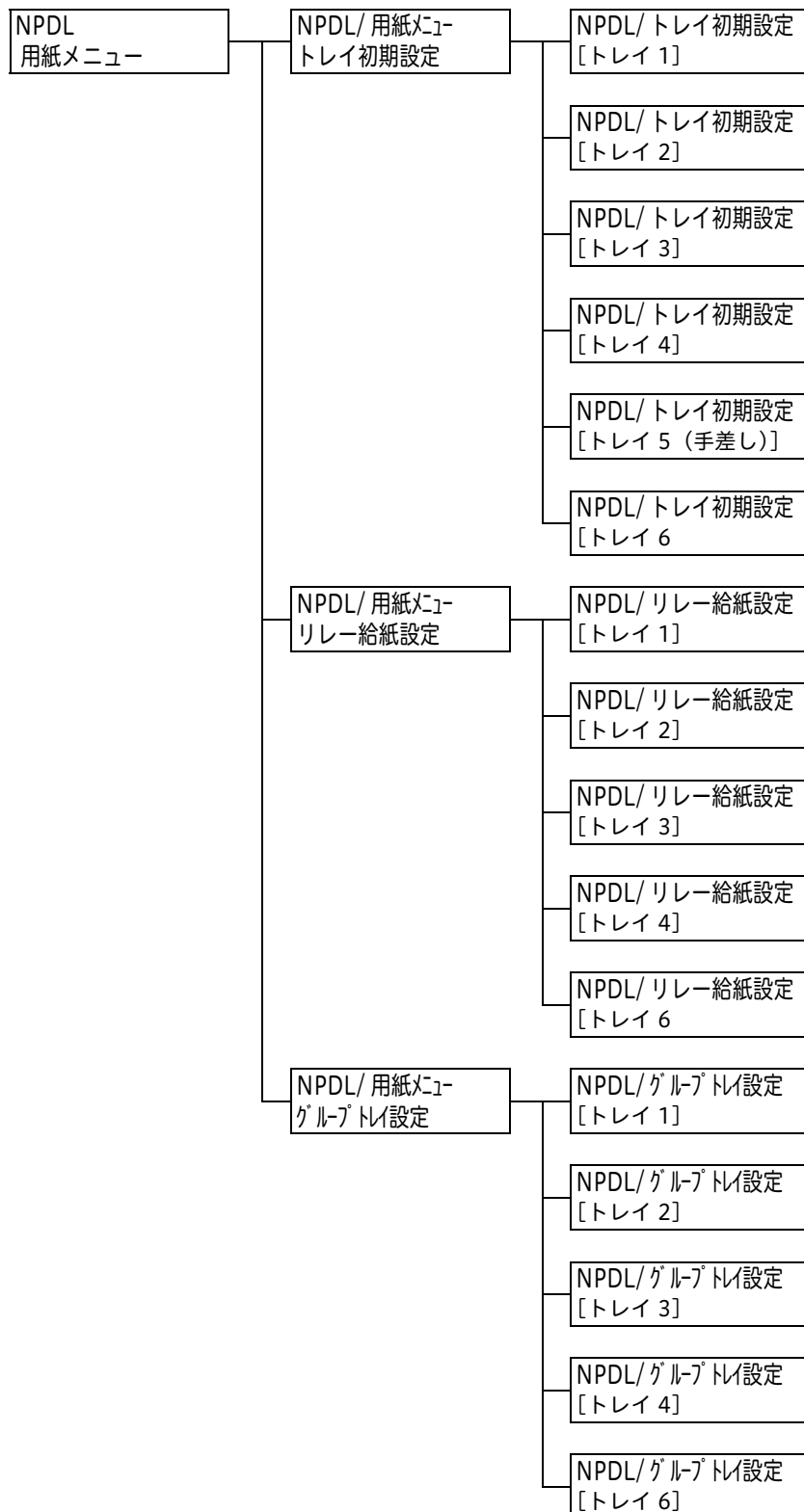
設定項目	説 明
ステータス印刷実行	NPDL メニュー設定項目の印刷をします。
フォント印刷実行	NPDL フォントの印刷をします。

[印刷設定メニュー]



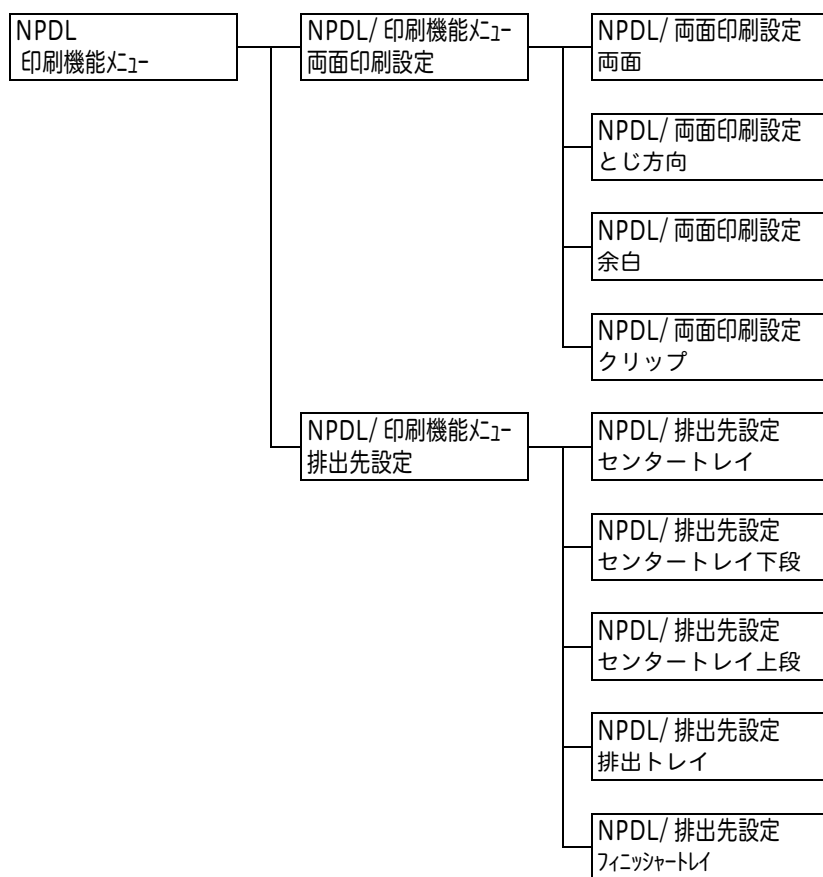
設定項目	説 明
コピー枚数	印刷のコピー枚数（部数）を設定します。設定できる範囲は、1（初期値）～20 です。 補足 ・ アプリケーションによっては、ソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先されます。
トナー節約	トナー節約機能を使用するかどうかを選択します。 トナー節約機能はプリンタードライバーから設定することもできます。Windows からプリンタードライバーを使用して印刷する場合には、ドライバー上での設定が優先されます。 ・ [する] トナーを節約して、印刷します。 ・ [しない]（初期値） トナーを節約しません。 補足 ・ トナー節約機能を使用するため、[する] に設定すると、トナーの使用を節約することができますが、細い線、濃度の薄い印刷、網かけ、グラデーションが不鮮明になることがあります。また、OCR フォントを印刷した場合には、正常に読み取れないことがあります。本機能は、試し印刷する場合などに使用してください。

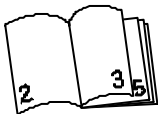
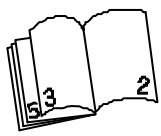
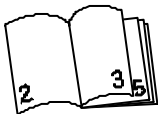
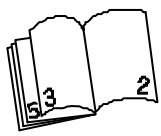
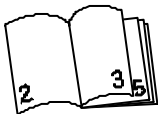
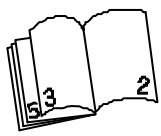
[用紙メニュー]



設定項目	説 明
トレイ初期設定	NPDL データを印刷するときに、初期設定値として設定されるトレイを選択します。 候補値は、次のとおりです。 [トレイ 1] (初期値) [トレイ 2] [トレイ 3] [トレイ 4] [トレイ 5 (手差し)] [トレイ 6]
リレー給紙設定	・ しない (初期値) ・ する リレー給紙設定とは、用紙がなくなったときに、印刷していた用紙とサイズや向き、および用紙種類が同じ用紙がセットされている別のトレイを選択し、印刷を継続する機能です。 各トレイごとに、[する] (切り替えて印刷を継続する)、または [しない] (継続しない) を設定します。 初期値は、すべてのトレイで [しない] です。 補足 ・ [トレイ 3] ~ [トレイ 4]、[トレイ 6] は、トレイモジュール (オプション) が取り付けられている場合に表示されます。
グループトレイ設定	グループトレイ機能を使用するかどうかを設定します。各トレイに対し [グループ A]、[グループ B]、[グループなし] の 3 種類が指定でき、グループ化されたトレイは見かけ上ひとつのトレイとして扱います。 ・ [グループなし] (初期値) グループトレイ設定をしません。 ・ [グループ A] グループトレイ設定を A にします。 ・ [グループ B] グループトレイ設定を B にします。

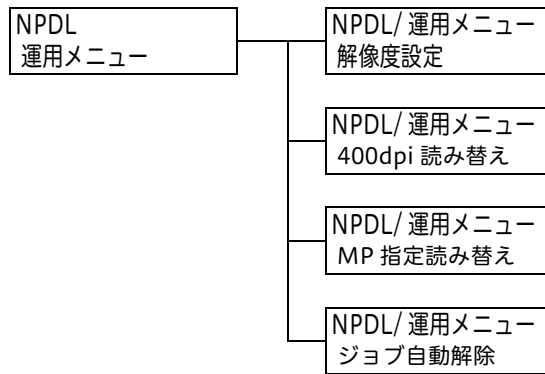
印刷機能メニュー



設定項目	設定項目	説 明																
両 面 印 刷 設定	両面	NPDL データを印刷するときの印刷モードを両面印刷にするかしないかを設定します。 ・ しない (初期値) ・ する																
	と じ 方 向	両面印刷時に、印刷したものとじるために、とじしろ (余白) の位置を設定します。 候補値と余白の位置の関係は、次のとおりです。																
	<table><tr><th rowspan="2">候補値</th><th colspan="2">印刷方向</th></tr><tr><th>ポートレート</th><th>ランドスケープ</th></tr><tr><td>ロング1 (初期値)</td><td>左とじ </td><td>上とじ </td></tr><tr><td>ショート1</td><td>上とじ </td><td>右とじ </td></tr><tr><td>ロング2</td><td>右とじ </td><td>下とじ </td></tr><tr><td>ショート2</td><td>下とじ </td><td>左とじ </td></tr></table>		候補値	印刷方向		ポートレート	ランドスケープ	ロング1 (初期値)	左とじ 	上とじ 	ショート1	上とじ 	右とじ 	ロング2	右とじ 	下とじ 	ショート2	下とじ 
候補値	印刷方向																	
	ポートレート	ランドスケープ																
ロング1 (初期値)	左とじ 	上とじ 																
ショート1	上とじ 	右とじ 																
ロング2	右とじ 	下とじ 																
ショート2	下とじ 	左とじ 																
余白	とじしろの量を設定します。設定範囲は 0 ～ 20mm で、1mm 単位で設定できます。初期値は、[0mm] です。																	

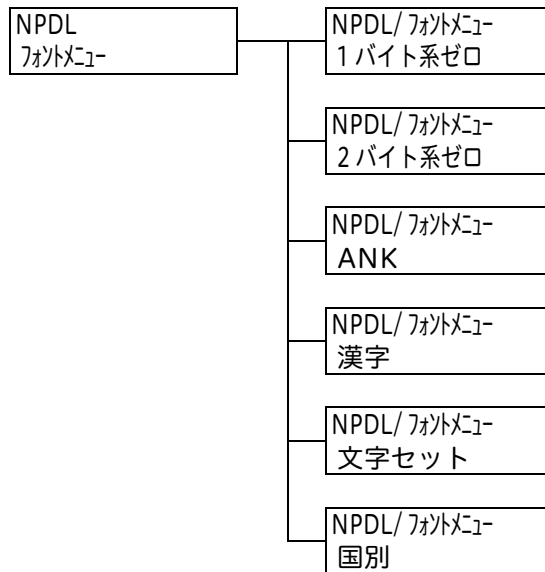
設定項目	設定項目	説 明
(つづき) 両面印刷 設定	ク リ ッ プ	余白（とじしろ）を多く取りすぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷する（クリッピングする）か、印刷範囲からはみ出したデータを自動改行 / 改ページするかを選択します。本機能は、両面印刷時のみ有効です。 [する]（初期値） はみ出した印刷データをクリッピングして、印刷を続けます。 はみ出した部分を消去して印刷 裏面のとじしろは、印刷範囲を左にずらすように取られる。 [しない] はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは、1 行ずつずれます。（アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります。） はみ出した部分を基準にしてもう一度印刷 はみ出した部分を基準にしてもう一度印刷
排出先設定		用紙の排出先を設定します。 [センタートレイ]（初期値）、[センタートレイ下段]、[センタートレイ上段]、[排出トレイ]、「フィニッシャートレイ」が選択できます。 [センタートレイ下段] はシステム設定メニューで [インナー排出トレイ] が [あり] に設定されている場合に選択できます。 [センタートレイ上段] はシステム設定メニューで [インナー排出トレイ] が [あり] に設定されている場合とフィニッシャ（オプション）が取り付けられている場合に選択できます。 [排出トレイ]、「フィニッシャートレイ」はフィニッシャ（オプション）が取り付けられている場合に選択できます。

[運用メニュー]



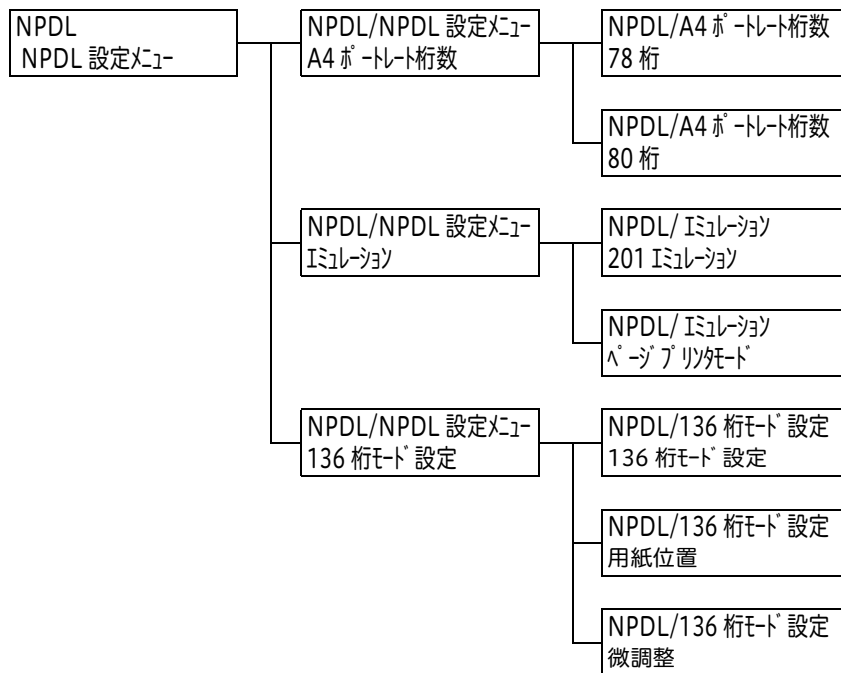
設定項目	説 明
解像度設定	解像度を、[600dpi] / [1200dpi] から選択します。初期値は、[600dpi] です。
400dpi 読み替え	NPD L コマンド：解像度指定 (FS&) で 400dpi が指定された時の読み替え先を設定する。NPD L コマンドでの 400dpi 指定以外には影響しない。 ・ 1200dpi (初期値) ・ 600dpi
MP 指定読み替え	NPD L プリンタードライバーの給紙口指定の MP を読み替え先のトレイを設定します。 ・ トレイ 5 (手差し) (初期値) ・ トレイ 1 ・ トレイ 2 ・ トレイ 3 ・ トレイ 4 ・ トレイ 6
ジョブ自動解除	ジョブの自動解除する時間を設定します。 ・ 3 秒 (初期値) 1 ～ 30 秒の間で設定します。 補足 ・ 本設定はパラレルポートおよび USB ポートから受信した XPJL が付加されていない NPD L データのみに有効です。

[フォントメニュー]



設定項目	説 明
[1 バイト系 ゼ ロ]	1 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。メモリースイッチ 2-1 でも設定できます。 ・ [斜線なし] (初期値) 普通字体 0 を設定します。 ・ [斜線あり] 斜線のついた字体 (Ø) を設定します。
[2 バイト系 ゼ ロ]	2 バイトコード系の数字の 0 の字体を選択します。 ・ [斜線なし] (初期値) 普通字体 (0) を設定します。 ・ [斜線あり] 斜線のついた字体 (Ø) を設定します。
[ANK]	ANK 文字 (アルファベット、数字、カタカナ) のフォントを選択します。候補値は、次のとおりです。 ・ [標準] (初期値) ・ [イタリック] ・ [クーリエ] ・ [ゴシック]
[漢字]	標準フォント (2 バイト系文字) の書体を、[明朝] (初期値)、または [ゴシック] から選択します。
[文字セット]	2 バイト系の文字セットを選択します。候補値は、次のとおりです。 ・ [JIS1978] (初期値) ・ [JIS1983] ・ [JIS1990]
[国別]	各国文字セットを選択します。メモリースイッチ 1-1 ~ 1-3 でも選択できます。候補値は、次のとおりです。 ・ [日本] (初期値) ・ [アメリカ] ・ [イギリス] ・ [ドイツ] ・ [スウェーデン]

[NPDL 設定メニュー]



設定項目	説 明
A4 ポートレート桁数	用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの、1 行あたりの文字数を、ピカ文字で [78 ケタ] (初期値) にするか、または [80 ケタ] にするかを選択します。 メモリースイッチ 2-7 でも選択できます。
エミュレーション	[201 エミュレーション] (初期値) か、[ページプリンタモード] かを選択します。 メモリースイッチ 2-2 でも選択できます。

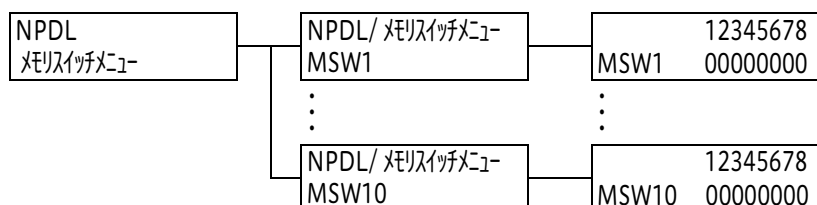
設定項目	説 明
136 桁モード設定	
136 桁モード設定	136 桁モードの [有効]、または [無効] (初期値) を選択します。 メモリスイッチ 3-7 でも選択できます。
用紙位置	136 桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリスイッチ 3-6 でも選択できます。 ・ [左] (初期値) 136 桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。 ・ [中央] 用紙位置を中央合わせにします。A4 サイズの用紙を使用した場合、136 桁の仮想印刷範囲の 30 ～ 107 桁めまでが印刷されます。 [中央] の場合 [左] の場合
微調整	136 桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を、1/10 インチ単位で選択します。 メモリスイッチ 3-1 ～ 3-5 の組み合わせで選択することもできます。 候補値は、次のとおりです。 ・ [0] (初期値) ・ [左 1] ～ [左 15] ・ [右 1] ～ [右 15]

[メモリスイッチ] メニュー

NPDL モードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。

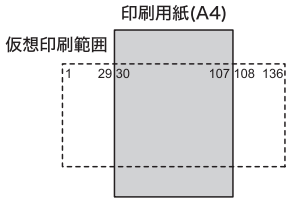
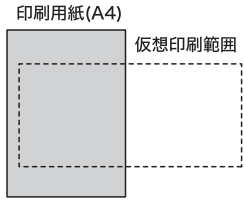
メモリスイッチ (MSW) は、[0] (OFF) か [1] (ON) を選択することによって、次の表に示されている項目を、設定することができます。メモリスイッチは 1-1 から 10-8 まであります (未使用のスイッチもあります)。

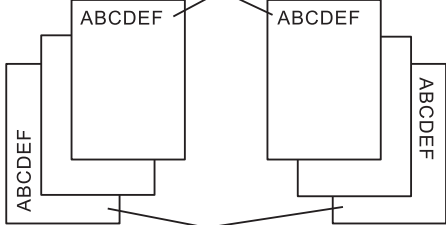
表中の * が付いた機能は、ほかの NPDL モードメニューを使っても、設定できる項目です。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。



番号	機能	説明																								
1-1 ～ 1-3	各国文字の切り替え *	3 つのメモリースイッチの組み合わせによって、各国文字を切り替えます。下表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字になります。																								
		<table><tr><th>国別文字セット</th><th>1-1</th><th>1-2</th><th>1-3</th></tr><tr><td>日本（初期値）</td><td>0 （初期値）</td><td>0 （初期値）</td><td>0 （初期値）</td></tr><tr><td>アメリカ</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>イギリス</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>ドイツ</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>スウェーデン</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr></table>	国別文字セット	1-1	1-2	1-3	日本（初期値）	0 （初期値）	0 （初期値）	0 （初期値）	アメリカ	0	1	0	イギリス	1	1	0	ドイツ	0	0	1	スウェーデン	1	0	1
		国別文字セット	1-1	1-2	1-3																					
		日本（初期値）	0 （初期値）	0 （初期値）	0 （初期値）																					
		アメリカ	0	1	0																					
		イギリス	1	1	0																					
		ドイツ	0	0	1																					
		スウェーデン	1	0	1																					
1-4 ～ 1-5		未使用（[0] が設定されています）																								
1-6	自動復帰改行の切り替え	バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。 [0]：復帰改行（初期値） [1]：復帰のみ																								
1-7	印刷指令の切り替え	印刷指令を CR のみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC b を有効にするかを切り替えます。 [0]：CR のみ（初期値） [1]：CR + その他																								
1-8	CR 機能の切り替え	印刷指令コード CR を受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。 [0]：復帰のみ（初期値） [1]：復帰改行																								
2-1	1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え *	1 バイト（8 ビット）コード系の数字のゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。 本スイッチは、OCR フォントには無効です。OCR フォントは、「0」で印刷されます。 [0]：0（初期値） [1]：Ø																								
2-2	動作モードの切り替え *	動作モードを 201 エミュレーションにするか、ページプリンターモードにするかを切り替えます。 [0]：201 エミュレーションモード（初期値） [1]：ページプリンターモード																								
2-3	グラフィックモードの切り替え	横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの 1/2 になります。 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）時に有効です。 [0]：ネイティブモード（初期値） [1]：コピーモード																								
2-4 2-5	未使用（[0] に設定されています）																									

番号	機能	説明																																																																																					
2-6	7 ビット /8 ビットデータの切り替え	インターフェイスのデータが 7 ビット有効か、8 ビット有効かを切り替えます。 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）時に有効です。 ページプリンター（メモリースイッチ 2-2= [1]）時は、8 ビット有効に固定されます。 [0]：8 ビット（初期値） [1]：7 ビット																																																																																					
2-7	印刷桁数の切り替え *	用紙が A4 サイズ、ポートレート方向で使われるときの 1 行あたりの文字数を、パイカ文字で 78 桁にするか、80 桁にするかを設定します。 [0]：78 桁（初期値） [1]：80 桁																																																																																					
2-8	B4 → A4 縮小率の切り替え	操作パネルの〈縮小〉ボタン、または制御コード（FS f）を使って「B4 → A4 縮小モード」を指定したときに、縮小率を 2/3 倍にするか、4/5 倍にするかを切り替えます。 [0]：4/5 倍（初期値） [1]：2/3 倍																																																																																					
3-1 ～ 3-4	印刷開始位置の調整 * (136 桁モード)	印刷開始位置の調整を行います。 エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ 2-2= [1]）のときには、レフトマージン量の設定になります。 レフトマージン量とは、用紙の最左端印刷位置から第 1 印刷位置までの距離です。 レフトマージン量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 また、エミュレーションモードが 201 エミュレーション（メモリースイッチ 2-2= [0]）で、136 桁モード（メモリースイッチ 3-7= [1]）のときには、用紙位置の調整量の設定になります。 印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。 用紙位置調整量は、4 つのメモリースイッチの組み合わせによって、16 通りに設定できます。組み合わせについては、下表を参照してください。 調整方向は、メモリースイッチ 3-5 で切り替えます。 <table><tr><th>レフトマージン量 / 用紙位置微調整量</th><th>3-1</th><th>3-2</th><th>3-3</th><th>3-4</th></tr><tr><td>0 インチ (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td></tr><tr><td>1/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>2/10 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>3/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>4/10 インチ</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>5/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>6/10 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>7/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>8/10 インチ</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>9/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>1 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>11/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>12/10 インチ</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>13/10 インチ</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>14/10 インチ</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>15/10 インチ</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	レフトマージン量 / 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4	0 インチ (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	1/10 インチ	1	0	0	0	2/10 インチ	0	1	0	0	3/10 インチ	1	1	0	0	4/10 インチ	0	0	1	0	5/10 インチ	1	0	1	0	6/10 インチ	0	1	1	0	7/10 インチ	1	1	1	0	8/10 インチ	0	0	0	1	9/10 インチ	1	0	0	1	1 インチ	0	1	0	1	11/10 インチ	1	1	0	1	12/10 インチ	0	0	1	1	13/10 インチ	1	0	1	1	14/10 インチ	0	1	1	1	15/10 インチ	1	1	1	1
レフトマージン量 / 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4																																																																																			
0 インチ (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)																																																																																			
1/10 インチ	1	0	0	0																																																																																			
2/10 インチ	0	1	0	0																																																																																			
3/10 インチ	1	1	0	0																																																																																			
4/10 インチ	0	0	1	0																																																																																			
5/10 インチ	1	0	1	0																																																																																			
6/10 インチ	0	1	1	0																																																																																			
7/10 インチ	1	1	1	0																																																																																			
8/10 インチ	0	0	0	1																																																																																			
9/10 インチ	1	0	0	1																																																																																			
1 インチ	0	1	0	1																																																																																			
11/10 インチ	1	1	0	1																																																																																			
12/10 インチ	0	0	1	1																																																																																			
13/10 インチ	1	0	1	1																																																																																			
14/10 インチ	0	1	1	1																																																																																			
15/10 インチ	1	1	1	1																																																																																			

番号	機能	説明
3-5	用紙位置微調整方向 * (136 桁モード)	136 桁モードで、用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。 201 エミュレーション (メモリスイッチ 2-2= [0]) で、136 桁モード (メモリスイッチ 3-7= [1]) 時に有効です。 [0] : 左 (初期値) [1] : 右
3-6	用紙位置 * (136 桁モード)	136 桁モードで、用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。 201 エミュレーション (メモリスイッチ 2-2= [0]) で、136 桁モード (メモリスイッチ 3-7= [1]) 時に有効です。 [0] : 左端合わせ (初期値) [1] : 中央合わせ [1] 中央合わせの場合  [0] 左端合わせの場合 
3-7	136 桁モードの有効 / 無効の切り替え *	136 桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。 201 エミュレーション (メモリスイッチ 2-2= [0]) 時に有効です。 [0] (初期値) : 無効 [1] : 有効
3-8	未使用 ([0] に設定されています)	
4-1	未使用 ([0] に設定されています)	
4-2	物理解像度の切り替え	プリンターの解像度を切り替えます。 [0] (初期値) : 600dpi [1] : 1200dpi
4-3	ESC c1 での登録データを初期化する / しないの切り替え	制御コード ESC c1 による登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。 ESC c1 で初期化をしない (メモリスイッチ 4-3= [1]) ときは、ESC c8 と同じ機能になります。 [0] : する (初期値) [1] : しない
4-4	FF コードのみで白紙を出力する / しないの切り替え	FF コードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。 白紙を出力しない (メモリスイッチ 4-4= [1]) ときは、ESC a、ESC b と同じ機能になります。 [0] : する (初期値) [1] : しない

番号	機能	説明
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときの、排出トレイ上での積み重なり方を切り替えます。 [0]：反時計回り（初期値） [1]：時計回り [0] 反時計回りの場合 [1] 時計回りの場合 ポートレート  ランドスケープ
4-6 ～ 4-8	未使用（[0] に設定されています）	
5-1	未使用（[0] に設定されています）	
5-2 ～ 5-8	未使用（[0] に設定されています）	
6-1 ～ 6-8	未使用（[0] に設定されています）	
7-1 ～ 7-3	未使用（[0] に設定されています）	
7-4	バーコード 400dpi 補正	物理解像度 600dpi または 1200dpi のバーコードを印刷するとき、NPD L コマンドによるバーコード印刷後のカレント印刷位置を解像度 400dpi でバーコード印刷した場合の印字桁位置に補正します。 [0]：補正しない（初期値） [1]：補正する
7-5 ～ 7-6	未使用（[0] に設定されています）	
7-7	FS f コマンドでの指定用紙サイズなしを表示する / しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。 [0]：表示する（初期値） [1]：表示しない
7-8	FS f コマンドでの自動縮小をする / しないの切り替え	FS f コマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。 [0]：自動縮小する（初期値） [1]：自動縮小しない

番号	機能	説明															
8-1、8-2	ビジィアクノリッジのタイミング	2 つのメモリスイッチの組み合わせによって、パラレルインタフェースのタイミングを切り替えます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>タイミング</th><th>8-1</th><th>8-2</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タイミング A (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td></tr> <tr> <td>タイミング B</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>タイミング C</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr> <td>タイミング A</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	タイミング	8-1	8-2	タイミング A (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	タイミング B	1	0	タイミング C	0	1	タイミング A	1	1
タイミング	8-1	8-2															
タイミング A (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)															
タイミング B	1	0															
タイミング C	0	1															
タイミング A	1	1															
8-3、8-4	アクノリッジ (ACK) の幅の切り替え	2 つのメモリスイッチの組み合わせによって、パラレルインタフェースの ACK の幅を切り替えます。ACK の幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACK の幅を長くして使用してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>幅</th><th>8-3</th><th>8-4</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 μs</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>1 μs (初期値)</td><td>0 (初期値)</td><td>0 (初期値)</td></tr> <tr> <td>2 μs</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr> <td>7.68 μs</td><td>1</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	幅	8-3	8-4	4 μ s	1	0	1 μ s (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)	2 μ s	0	1	7.68 μ s	1	1
幅	8-3	8-4															
4 μ s	1	0															
1 μ s (初期値)	0 (初期値)	0 (初期値)															
2 μ s	0	1															
7.68 μ s	1	1															
8-5 ～ 8-8	未使用 ([0] に設定されています)																
9-1 ～ 9-6	未使用 ([0] に設定されています)																
9-7	印刷向き 180 度回転機能	印刷イメージを 180 度回転させて印刷する機能を、有効にするか、無効にするかを切り替えます。本スイッチが [1] の場合、メモリスイッチ 4-5 の設定は無効になります。 [0] : 無効にする (初期値) [1] : 有効にする															
9-8	未使用 ([0] に設定されています)																
10-1 ～ 10-8	未使用 ([0] に設定されています)																

NPDL モードメニューの設定方法

ここでは、メモリスイッチの設定方法について、136 桁モードを有効（メモリスイッチ 3-7 を [1]）にする場合を例に説明します。

その他のモードメニューの設定方法については、共通メニューと同様です。「設定を変更する」(P.103)を参照してください。

1. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

メニュー
プリント言語の設定

2. 〈OK〉ボタンで選択します。
[NPDL] が表示されます。

プリント言語の設定
NPDL

3. 〈OK〉ボタンで選択します。
[テストメニュー] が表示されます。

NPDL
テストメニュー

4. [メモリスイッチメニュー] が表示されるまで、〈▼〉または〈▲〉ボタンを押します。

NPDL
メモリスイッチメニュー

5. 〈OK〉ボタンで選択します。
[MSW1] が表示されます。

NPDL/メモリスイッチメニュー
MSW1

6. [MSW3] が表示されるまで、〈▼〉または〈▲〉ボタンを押します。

NPDL/メモリスイッチメニュー
MSW3

7. 〈OK〉ボタンで選択します。
メモリスイッチ 3-1 ~ 3-8 までの、現在の設定値が表示されます。

MSW3 12345678
• 00000000

8. カーソルが 7 の設定値にくるまで、〈◀〉または〈▶〉ボタンを押します。

MSW3 12345678
 00000000

9. 〈▼〉または〈▲〉ボタンで、[1] を表示します。

MSW3 12345678
 00000010

10. 〈OK〉ボタンで決定します。

MSW3 12345678
• 00000010

11. これで、設定が終了です。
〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面
に戻ります。

プリントできます
トナー残量 

A 付 録

A.1 主な仕様

本体

項 目	内 容
製品名	PR-L4700
形式	デスクトップ
プリント方式	レーザーゼログラフィー 注記 ・ 半導体レーザー + 乾式電子写真方式
定着方式	ヒートローラー（オイルレス）
ウォームアップ・タイム	22 秒以下（主電源と電源を同時投入時、室温 23℃） 19 秒以下（電源投入時、室温 23℃）（スリープモード時と同じ）
連続プリント速度	片面 A4  : 55 ページ / 分、A3 : 28 枚 / 分 両面 A4  : 50 ページ / 分、A3 : 18 枚 / 分
ファーストプリント	2.7 秒（A4  ） 注記 ・ 本体給紙トレイから給紙した場合。数値は出力環境によって異なります。
解像度	600x600dpi、1200x1200dpi* *: 標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
階調 / 表現色	NPD L : 64 階調 ART-EX : 256 階調

項 目	内 容
用紙サイズ	標準トレイ： A3、B4、A4、A4[□]、B5、B5[□]、A5、8.5x11”、8.5x11”[□]、8.5x13、8.5x14、11x17、十六開[□]、八開、 ユーザー定義用紙（幅 140 ～ 297mm × 長さ 182 ～ 432mm）* *: 標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	2 トレイモジュール（オプション）： A3、B4、A4、A4[□]、B5、B5[□]、A5、8.5x11”、8.5x11”[□]、8.5x13、8.5x14、11x17、十六開[□]、八開、 ユーザー定義用紙（幅 140 ～ 297mm × 長さ 182 ～ 432mm）* *: 標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	タンデムトレイ（オプション）： A4[□]、B5[□]、8.5x11”[□]
	大容量トレイモジュール（オプション） A4[□]、B5[□]、8.5x11”[□]
	手差しトレイ： A3、B4、A4、A4[□]、B5、B5[□]、A5、A5[□]、B6[□]、 郵政はがき（日本郵便製）[□]、往復はがき、封筒（洋長形 3 号）[□] *、 ユーザー定義用紙（幅 89 ～ 297mm × 長さ 98 ～ 432mm）* *: 標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	両面印刷： A3、B4、A4、A4[□]、B5、B5[□]、A5、8.5x11”、8.5x11”[□]、8.5x13、8.5x14”、11 × 17”、十六開[□]、八開、 ユーザー定義用紙（幅 128 ～ 297mm × 長さ 182 ～ 432mm）*² *1: HP-GL は HP7586B を、HP-GL/2、HP RTL は HP Designjet 750C Plus を、それぞれエミュレーションしていますが、全てのコマンドには対応していませんので事前の出力検証を推奨します。 *2: 標準対応の Mac OS X ドライバーでは対応していません。オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	像欠け幅：先端 / 後端 / 両端 4.1mm

項 目	内 容
用紙坪量	標準トレイ（トレイ 1）： 60 ～ 105g/m² 標準トレイ（トレイ 2）： 60 ～ 216g/m² 2 トレイモジュール（オプション）： 60 ～ 216g/m² タンデムトレイ（オプション）： 60 ～ 216g/m² 大容量トレイモジュール（オプション）： 56 ～ 216g/m² 手差しトレイ： 60 ～ 216g/m² 両面印刷： 60 ～ 105g/m² 注記 推奨用紙をご使用ください。用紙の種類（紙質、サイズ等）によっては、正しく印刷できない場合があります。特にユーザー定義用紙サイズのご使用にあたっては、用紙走行性の事前確認をお願いします。インクジェット専用用紙は使用しないでください。「かもめーる」や年賀状などの再生紙はがきは使用できない場合があります。使用済用紙の裏面および事前印刷用紙への印刷や、使用環境が乾燥地・寒冷地・高温多湿の場合、用紙によってはプリント不良などの品質低下が発生する場合があります。また、用紙の種類や環境条件により印刷品質に差異が生じる場合がありますので、事前に印刷品質の確認を推奨します。なお、推奨用紙や事前の用紙走行確認については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。
給紙容量	標準： 標準トレイ 1：560 枚 標準トレイ 2：560 枚 手差しトレイ：100 枚 オプション： 2 トレイモジュール：1,120 枚（560 枚× 2 段） タンデムトレイ：2,000 枚（870 枚 +1,130 枚） 大容量トレイモジュール：2,300 枚 最大 5,520 枚 [標準 + タンデムトレイモジュール + 大容量トレイモジュール] 注記 64g/m² 用紙
出力トレイ容量	500 枚（A4$\square$） 注記 64g/m² 用紙 - オプションのインナー排出トレイ装着時のトレイ容量はセンタートレイが 250 枚（A4$\square$）、インナー排出トレイが 250 枚（A4$\square$）になります。
両面機能	標準
CPU	P1022 1067MHz
メモリー容量	2GB（最大 2GB） 注記 - メモリーの増設はできません。 - 出力データの種類や内容によっては、記載されるメモリー容量でも出力画像を保証できない場合があります。
内蔵ハードディスク	オプション：160GB 以上（使用領域：128GB）

項 目	内 容
搭載フォント	標準： NPD L プリンタードライバー： FontAvenue 明朝体、FontAvenue ゴシック体、平成明朝体 ™W3（ローマン）、イタリック、ゴシック、Courier、OCR-B フォント *1、OCR-K フォント ART-EX プリンタードライバー： 日本語 4 書体（平成明朝体 ™3W、平成角ゴシック体 ™5W、P 平成明朝体 ™3W *2、P 平成角ゴシック体 ™5W *2 欧文 20 書体（Arial, Arial Italic, Arial Bold, Arial Bold Italic, Courier, Courier Italic, Courier Bold, Courier Bold Italic, Times New Roman, Times New Roman Italic, Time New Roman Bold, Times New Roman Bold Italic, ITC ZpafDingbats, Century, Symbol, Wingdings, OCRBLetM, ストローク, GoldSEMM, GoldSMM） OCR-B フォント *1、バーコードフォント *1*3 *1: OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。 *2: PDF, DowduWorks でのみ使用可 *3: CODE39、JAN、NW-7 (CODABAR)、CODE128、ITF (Interleaved 2 of 5) ペアラーバーなし、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、カスタマバーコード、QR コードに対応。 オプション： 平成 3 書体版： 日本語 3 書体（平成明朝体 ™W3、平成角ゴシック体 ™W5、平成丸ゴシック体 ™W4）、欧文 136 書体 *1、OCR-B フォント *1、バーコードフォント *1*2 モリサワ 2 書体版： 日本語 2 書体（リュウミン L-KL ™、中ゴシック BBB ™）、欧文 136 書体 *1、OCR-B フォント *1、バーコードフォント *1*2 *1: OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読み取りに関しては、あらかじめご確認されることを推奨します。 *2: CODE39、JAN、NW-7 (CODABAR)、CODE128、ITF (Interleaved 2 of 5) ペアラーバーなし、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、カスタマバーコード、QR コードに対応。
ページ記述言語	標準：NPD L、ART-EX オプション：Adobe® PostScript® 3™
エミュレーション	標準： ART IV、ESC/P、PDF、XPS、DocuWorks、TIFF、JPEG、HP-GL (HP7586B)、HP-GL2/RTL (HP Design Jet750C Plus)、PCL5/PCL6、PR201PL オプション： Adobe® PostScript® 3™ 補足 ・ XPS とは、XML Paper Specification の略称です。

項 目	内 容
対応 OS *1	標準： NPD/ART-EX ドライバー： Windows Server® 2003 (32 ビット) Windows Vista® (32 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 8 (32 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows Server® 2003 (64 ビット) Windows Vista® (64 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows® 8 (64 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Mac OS X ドライバー： Mac OS X 10.5/10.6、OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 オプション： PostScript® プリンタードライバー： Windows Server® 2003 (32 ビット) Windows Vista® (32 ビット) Windows Server® 2008 (32 ビット) Windows® 7 (32 ビット) Windows® 8 (32 ビット) Windows® 8.1 (32 ビット) Windows Server® 2003 (64 ビット) Windows Vista® (64 ビット) Windows Server® 2008 (64 ビット) Windows Server® 2008 R2 (64 ビット) Windows® 7 (64 ビット) Windows® 8 (64 ビット) Windows Server® 2012 (64 ビット) Windows® 8.1 (64 ビット) Windows Server® 2012 R2 (64 ビット) Mac OS X 10.5/10.6、OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 注記 ・ 最新対応 OS については、当社公式サイト (http://jpn.nec.com/printer/laser/) をご確認ください。
インターフェース	標準：Ethernet 100BASE-TX/10BASE-T、USB2.0 オプション：双方向パラレル (IEEE1284)、Ethernet 1000BASE-TX
対応プロトコル	TCP/IP (lpd、IPP、Port9100、ThinPrint、WSD*) * 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。
電源	AC 100V±10%、15A、50/60Hz 共用 注記 ・ 推奨コンセント容量。機械側最大電流は、15A。
動作音	稼動時 (本体のみ)：7.35B、56.9dB (A) 以下 レディー時 (本体のみ)：3.61B、20.5dB (A) 以下 注記 ・ ISO7779 に基づいた測定 単位 B：音響パワーレベル (L_{wAd}) 単位 dB (A)：放射音圧レベル (バイスタンダ位置)

項 目	内 容
消費電力	最大：1,370W、スリープモード時：2W 以下 平均：レディー時：120W、稼動時：1300W 注記 ・ 最大消費電力はフルオプション時。標準構成時（オプション無し）は、1370W。
エネルギー消費効率	192kWh/ 年 区分：プリンター D 注記 ・ 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。
大きさ	幅 640× 奥行 672× 高さ 693mm 注記 ・ 手差しトレイを折りたたんだ本体
質量	約 57.8kg（消耗品含む） 約 54.0kg（消耗品含まず）
使用環境	使用時：温度：10 ～ 32℃ 湿度：15 ～ 85%（結露による障害は除く） 非使用時：温度：-10 ～ 40℃ 湿度：5 ～ 85%（結露による障害は除く） 注記 ・ 使用直前の温度、湿度の環境、プリンター内部が設置環境になじむまで、使用される用紙の品質によってはプリント品質の低下を招く場合があります。
商品寿命	300 万ページ（A4 $\square$ ）または 5 年の早い方 注記 ・ 印刷可能ページ数は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安であり、使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンター電源投入頻度等により変動します。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。

フィニッシャ（オプション）

項 目	内 容
トレイ形式	排出トレイ ソート スタック フィニッシャトレイ ソート（オフセット可） スタック（オフセット可）
用紙サイズ	排出トレイ 最大：297 × 432 mm 最小：郵便はがき（日本郵便製）（98 × 140） フィニッシャトレイ 最大：297 × 432 mm 最小：203 × 182 mm
用紙坪量	排出トレイ 56 ～ 216g/m ² フィニッシャトレイ 56 ～ 216g/m ²

項 目	内 容
トレイ容量	排出トレイ A4：500 枚 フィニッシュトレイ（ホチキス留めなしの場合） A4：3,000 枚 A4 、レター 、および B4 以上：1,500 枚 ミックススタック：300 枚 フィニッシュトレイ（ホチキス留めありの場合） A4：200 部または 3,000 枚 A4 、レター 、および B4 以上：100 部または 1,500 枚 ミックススタック：70 部または 200 枚 注記 ・ 64g/m² 用紙 ・ ミックススタックは、小さいサイズの上に大きいサイズ of 用紙が積載された場合です。
ホチキス留め	最大ホチキス留め枚数 50 枚 (90g/m² 以下) ホチキス留め可能用紙サイズ 最大：A3、11x17" 最小：B5  ホチキス留め位置 1 か所（手前・奥 / 斜め打ち） 2 か所（並行打ち） 注記 ・ 64g/m² 用紙 ・ NPDL プリンタードライバーの場合は、定形外サイズのホチキス指定はできません。
パンチ	パンチ数 2 穴 / 4 穴（NPDL プリンタードライバーの場合、2 穴のみ使用） パンチ用紙サイズ A3、B4、A4、A4 、B5 、8.5x11"、8.5x11" 、8.5x13*、 8.5x14、11x17、十六開 、八開 用紙坪量 56 ～ 169g/m² 注記 ・ 64g/m² 用紙 ・ オプションのフィニッシュパンチユニット 2/4 穴で 2 穴または 4 穴（4 穴は ART-EX プリンタードライバーのみ）に切り替えが可能です。
大きさ	幅 748x 奥行 804x 高さ 1,055mm（パンチユニットを含む。延長トレイ引き出し時）
質量	44kg
本体接続時の占有寸法	本体 + フィニッシュ、延長トレイ引き出し時、手差しトレイを最大に伸ばした時 幅 2,010x 奥行 804mm

中とじフィニッシャ（オプション）

注記

- ・ NPD L プリンタードライバーでは、製本（中とじ / 中折り）の指定はできません。ART-EX プリンタードライバーをご使用ください。

項 目	内 容
トレイ形式	排出トレイ ソート スタック フィニッシャトレイ ソート（オフセット可） スタック（オフセット可） 製本トレイ ソート スタック
用紙サイズ	排出トレイ 最大：297 × 432 mm 最小：郵便はがき（日本郵便製）（98 × 140 mm） フィニッシャトレイ 最大：297 × 432 mm 最小：203 × 182 mm 製本トレイ 最大：297x432mm 最小：B 5（182x257mm）
用紙坪量	排出トレイ 56 ～ 216g/m ² フィニッシャトレイ 56 ～ 216g/m ² 製本トレイ 60 ～ 105g/m ²
トレイ容量	排出トレイ A4：500 枚 フィニッシャトレイ（ホチキス留めなしの場合） A4：1,500 枚 A4  、レター  、および B4 以上：1,500 枚 ミックススタック：300 枚 フィニッシャトレイ（ホチキス留めありの場合） A4：200 部または 1,500 枚 A4  、レター  、および B4 以上：100 部または 1,500 枚 ミックススタック：70 部または 200 枚 製本トレイ 製本トレイ 20 部 注記 ・ 64g/m ² 用紙 ・ ミックススタックは、小さいサイズの上に大きいサイズの下紙が積載された場合です。 ・ 製本トレイの容量は、同サイズの下紙での出力時です。

項 目	内 容
ホチキス留め	最大ホチキス留め枚数 50 枚 (90g/m² 以下) ホチキス留め可能用紙サイズ 最大：A3、11x17" 最小：B5 ホチキス留め位置 1 か所（手前・奥 / 斜め打ち） 2 か所（並行打ち） 注記 ・ 64g/m² 用紙 ・ NPDL プリンタードライバーの場合は、定形外サイズのホチキス指定はできません。
パンチ	パンチ数 2 穴 / 4 穴（NPDL プリンタードライバーの場合、2 穴のみ使用） パンチ用紙サイズ A3、B4、A4、A4、B5、8.5x11"、8.5x11"、8.5x13*、 8.5x14、11x17、十六開、八開 用紙坪量 56 ～ 169g/m² 注記 ・ 64g/m² 用紙。 ・ オプションのフィニッシャパンチユニット 2/4 穴で 2 穴または 4 穴（4 穴は ART-EX プリンタードライバーのみ）に切り替えが可能です。
中とじ / 中折り	最大枚数 中とじ 16 枚、中折り 5 枚、二つ折り 1 枚 用紙サイズ 最大：A3、11 × 17" 最小：B5 用紙坪量 中とじ：60 ～ 105g/m²、中折り：60 ～ 105g/m²、 二つ折り：60 ～ 105g/m² 注記 ・ 64g/m² 用紙。 ・ 表紙に利用する用紙により本文の枚数は変わります。用紙サイズや用紙種類によっては冊子が開いてしまう場合があります。
大きさ	幅 808x 奥行 804x 高さ 1,055mm（パンチユニットを含む。延長トレイ引き出し時）
質量	61kg
本体接続時の占有寸法	本体 + フィニッシャ、延長トレイ引き出し時、手差しトレイ最大伸張時 幅 2,016x 奥行 804mm

大容量トレイモジュール（オプション）

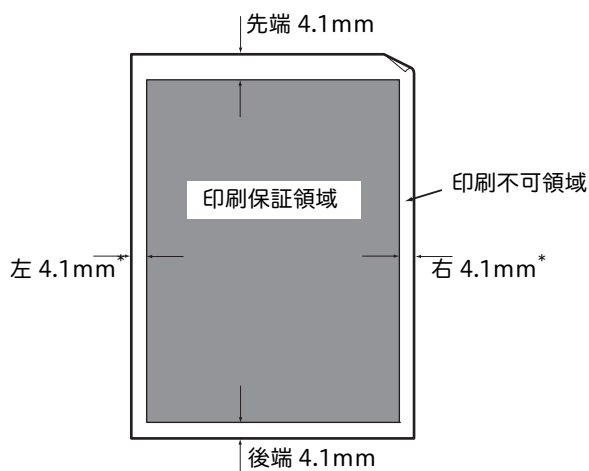
項 目	内 容
用紙サイズ	A4、レター、B5
用紙坪量	56 ～ 216g/m ²

項 目	内 容
給紙容量 / 給紙段数	2,300 枚 x1 段 注記 ・ 64g/m ² 用紙
大きさ	幅 389x 奥行 610x 高さ 380mm
質量	29kg
本体接続時の占有寸法	本体 + 大容量トレイモジュール、手差しトレイ最大伸張時 幅 971x 奥行 669mm

印刷保証領域

補足

- ・ 実際の印字領域は、各プリンター制御言語によって異なることがあります。



注記

- ・ 実際の印字が先端 4.1mm 未満にされた場合、画像、用紙種類、環境によって、紙づまりが発生することがあります。

内蔵フォント

標準で次のフォントを内蔵しています。

補足

- ・ オプションの PostScript で使用できるフォントについては、PostScript ソフトウェアキットに同梱されているメディア内のマニュアルを参照してください。
- ・ PCL で使用できるフォントについては、プリンター本体に同梱されているメディア（MultiWriter プリンターソフトウェア）内の『PCL エミュレーション設定ガイド』を参照してください。

ストロークフォント（HP-GL/2 専用）

- ・ 日本語ストロークフォント
- ・ 欧文+カタカナストロークフォント

アウトラインフォント

搭載されているアウトラインフォントと使用できるページ記述言語またはエミュレーションモードとの関係は、次のとおりです。なお、標準で搭載されているアウトラインフォントは、PostScript では使用できません。

●：装備

	名称	NPD L	ART-EX	ART IV	ESC/P	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge	DocuWorks Bridge
和文	平成明朝体 W3		●	●	●	●	●	●
	平成角ゴシック体 W5		●	●	●	●	●	●
	P 平成明朝体 W3						●	●
	P 平成角ゴシック体 W5						●	●
	FontAvenue 明朝体	●						
	FontAvenue ゴシック体	●						
欧文	平成明朝体 W3 (ローマン)	●						
	平成角ゴシック体 W5 (サンセリフ)							
	イタリック	●						
	ゴシック	●						
	ストローク					●		
	ITC Zapf Dingbats						●	
	Arial		●	●	●		●	●
	Arial Bold		●	●	●		●	●
	Arial Italic		●	●	●		●	●
	Arial Bold Italic		●	●	●		●	●
	Courier	●	●	●	●		●	●
	Courier Bold		●	●	●		●	●
	Courier Italic		●	●	●		●	●
	Courier Bold Italic		●	●	●		●	●
	Times New Roman		●	●	●		●	●
	Times New Roman Bold		●	●	●		●	●
	Times New Roman Italic		●	●	●		●	●
	Times New Roman Bold Italic		●	●	●		●	●
	Century		●					●
	Symbol		●	●	●		●	●
	Wingdings		●					●
	OCRBLetM			●	●			
欧文	GoldSEMM						●	

	名称	NPDL	ART-EX	ART IV	ESC/P	HP-GL、HP-GL/2	PDF Bridge	DocuWorks Bridge
	GoldSAMM						●	
	OCR-B	●						
	OCR-K	●						

補足

- ・ ART IVでは、次の対応で指定します。
 Arial : CS Triumvirate
 Arial Bold : CS Triumvirate Bold
 Arial Italic : CS Triumvirate Italic
 Arial Bold Italic : CS Triumvirate Bold Italic
 Courier : CSCourier Medium
 Courier Bold : CSCourier Bold
 Courier Italic : CSCourier Oblique
 Courier Bold Italic : CSCourier Bold Oblique
 Times New Roman : CSTimes
 Times New Roman Bold : CSTimes Bold
 Times New Roman Italic : CSTimes Italic
 Times New Roman Bold Italic : CSTimes Bold Italic
 Symbol : CSSymbol

ビットマップフォント（NPDL、ESC/Pのみ）

和文

- ・ ESC/P ビットマップフォント（平成角ゴシック体、24x24 ドット）

欧文

- ・ ESC/P ビットマップフォント（平成角ゴシック体、24x24 ドット）
- ・ NPDL ビットマップフォント（OCR-B、OCR-K）

A.2 オプション品の紹介

主なオプション品は次のとおりです。お買い上げの際には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

商品名	製品型番	備考
ハードディスク	PR-L4700-HD	ハードディスクを必要とする機能については、「ハードディスク (オプション) について」(P. 441) を参照してください。
パラレルインタフェースカード	PR-L4700-IC	パラレルポートを使用する場合に必要です。 パラレルインタフェースカードとセカンダリーイーサネットカードは、同時に取り付けることはできません。
セカンダリーイーサネットカード	PR-L4700-SC	Ethernet インターフェースを 2 回線利用できるようになるキットです。 パラレルインタフェースカードとセカンダリーイーサネットカードは、同時に取り付けることはできません。
2 トレイモジュール	PR-L4700-02	標準の用紙トレイと同じ、標準紙を 560 枚までセットできる用紙トレイを 2 段装備しています。
タンデムトレイモジュール	PR-L4700-03	用紙トレイを 2 段装備しています。標準紙をトレイ 3 は 870 枚まで、トレイ 4 は 1,130 枚までセットできます。
大容量トレイモジュール	PR-L4700-04	標準紙を 2,300 枚までセットできる用紙トレイです。大量の印刷に適しています。
フィニッシャ	PR-L4700-FS	ホチキス留めやパンチ穴を開けて排出できます。 パンチユニット 2/4 穴の 2 穴間隔は 80mm です。 フィニッシャを取り付けるときは、同時にフィニッシャ接続キット、フィニッシャ設置キット、ハードディスクが必要です。
中とじフィニッシャ	PR-L4700-FN	ホチキス留めやパンチ穴を開けて排出できます。 パンチユニット 2/4 穴の 2 穴間隔は 80mm です。 フィニッシャを取り付けるときは、同時にフィニッシャ接続キット、フィニッシャ設置キット、ハードディスクが必要です。 注記 ・ NPDL プリンタードライバーでは対応しません。
フィニッシャ接続キット	PR-L4700-FK	本体からフィニッシャへ用紙を搬送するユニットです。 フィニッシャを取り付けるときに必要です。
フィニッシャ設置キット	PR-L4700-FL	フィニッシャに取り付けるパンチユニット 2/4 穴です。 フィニッシャを取り付けるときに必要です。
インナー排出トレイ	PR-L4700-IT	センタートレイを 2 段に分けて排出できます。
PostScript ソフトウェアキット (モリサワ 2 書体)	PR-L4700-PSM	本機を PostScript 対応プリンターとして利用できます。
PostScript ソフトウェアキット (平成 3 書体)	PR-L4700-PSH	
セキュリティ拡張キット	PR-L4700-SK	次の機能を使用する場合に必要です。 ・ イメージログ機能 ・ 複製管理機能 ・ 強制アノテーション機能 セキュリティ拡張キットの機能を使用するには、ハードディスクが必要です。
地震対策キット	PR-L4700-EQ	地震による本機の移動を防止します。アンカータイプで、2 トレイモジュールかタンデムトレイモジュールを装着している場合に使用します。

商品名	製品型番	備考
お知らせライト	PR-L4700-AL	本機の異常時やジョブ終了時にライトが点滅し、チャイムの音で知らせます。

- ・商品の種類は 2015 年 8 月現在のものです。
- ・商品の種類は変更されることがあります。
- ・最新の情報については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口までお問い合わせください。

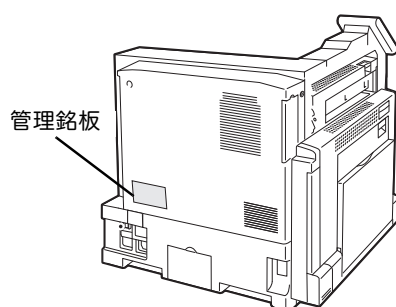
A.3 保証について

保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡しします。記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、お買い求めの販売店、またはサービス窓口へお問い合わせください。

注記

- ・ 本機の背面に製品の型式、SERIAL No. (製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- ・ 契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- ・ 出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種 類	概 要	修理料金		お支払い方法	受付窓口 *1
		保証期間内	保証期間外		
年間保守契約	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。 (原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能です。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じた一括払い	N E C フ ィ ー ル デ ィ ン グ (株)
スポット保守 (出張修理)	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 (原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。	無料 *2	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などはインターネットの Web ページ <http://www.fielding.co.jp/per/index.html> をご覧ください。または、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

*2 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、インターネットの Web ページ <http://jpn.nec.com/prINTER/laser/support/> をご覧ください。

プリンターの耐久性について

本機の耐久性は、印刷枚数が300万枚(A4□)*、または使用年数5年のいずれか早い方です。

*印刷枚数は、A4□の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。本機は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。交換については、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。

消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

消耗品の寿命について

消耗品	印刷可能ページ数
トナーカートリッジ	約 30,000 ページ
ドラムカートリッジ *	約 57,000 ページ

注記

- トナーカートリッジについて

印刷可能ページ数は、JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) に基づき、A4 普通紙に片面連続印刷した場合の公表値です。実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。

JIS X 6931 (ISO/IEC 19752) とはモノクロ電子写真式プリンター用トナーカートリッジの印刷可能枚数を測定するための試験方法を定めた規格です。

- ドラムカートリッジについて

プリント可能ページ数は A4、片面プリント、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙サイズ、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON/OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以上になる場合があります。

有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを有寿命部品（定期交換部品、有償）といいます。

部品名	交換寿命
定着ユニット	約 300,000 ページ
用紙搬送ロールキット（用紙トレイ用）*1	約 300,000 ページ
用紙搬送ロールキット（手差し用）*2	約 50,000 ページ
用紙搬送ロールキット（大容量トレイモジュール用）*3	約 300,000 ページ
転写ユニット	約 300,000 ページ
600K 定期交換キット	約 600,000 ページ

*1 用紙トレイ 1～4。用紙トレイ 1 個分の ROLLER ASSY 3 個のキットです。

*2 手差しトレイ用。フィードロール、リタードパッドのキットです。

*3 オプションのトレイ 6 を装着したときに使用します。大容量トレイモジュール用のフィードロール、リタードロール、ナジャーロールのキットです。

注記

- 交換の周期は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際に印刷可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境、などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因がある仮定に基づき印刷ページ数に置き換えて表示しているためです。

定期交換部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。

スポット保守サービスには定期交換部品代は含まれません。別途料金が発生します。

無償保証期間中に、交換表示が出て定期交換部品を交換する場合は、部品代が必要となります。

有寿命部品（定期交換部品、有償）は、寿命がくると「交換依頼」のメッセージが表示されます。本機の性能を維持するために早めの交換をお願いします。

プリントできます
定着ユニット交換

プリントできます
交換依頼 ****-***

(***-***) にはエラーコードが表示されます。

次の表を参照して、必要な有寿命部品を確認し、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にご相談ください。なお、有寿命部品（定期交換部品、有償）は、エンジニアが交換いたします。

エラーコード	原因	部品名	推奨交換周期 (寿命の目安)
071-402	用紙トレイ1の用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (トレイ 1)	約 300,000 ページ
072-402	用紙トレイ2の用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (トレイ 2)	約 300,000 ページ
073-402	用紙トレイ3の用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (トレイ 3)	約 300,000 ページ
074-402	用紙トレイ4の用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (トレイ 4)	約 300,000 ページ
075-402	手差しトレイの用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (手差しトレイ)	約 50,000 ページ
078-404	大容量トレイモジュールの用紙搬送ロールキットの交換時期です。	用紙搬送ロールキット (トレイ 6)	約 300,000 ページ
094-412	転写ユニットの交換時期です。	転写ユニット	約 300,000 ページ

*1 定着ユニットの場合、エラーメッセージだけ表示されます。エラーコードは表示されません。

注記

- 交換の周期は、A4 サイズの普通紙を連続片面印刷した場合の目安です。実際に印刷可能なページ数は、使用する用紙サイズ、種類、印刷環境、などの印刷条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因がある仮定に基づき印刷ページ数に置き換えて表示しているためです。
有寿命部品（定期交換部品、有償）はエンジニアによる交換作業となります。
- 600K 定期交換キットは、機械にメッセージは表示されませんが、エンジニアが印刷枚数を確認し他の定期交換部品と同時に交換します。

補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記の PC マニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になります。あらかじめお調べのうえ、お申し込みください。

プリンターの型番： PR-L4700

NEC PC マニュアルセンター

URL： <http://pcm.nec-dp.co.jp/>

FAX： 03-5471-3996

24時間受付。ただし、いただいたFAXに対する回答は翌営業日以降になります。

補足

- ・電話での受付は、行っておりません。
- ・製造終了後 7 年を経過した製品のマニュアルは販売しておりません。
- ・一部取り扱いのないマニュアルがあります。

情報サービスについて

- ・プリンター製品に関する最新情報
インターネット【NEC Web サイト】
URL : <http://jpn.nec.com/printer/laser/>
- ・プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
MultiWriter サポート窓口について

MultiWriter サポート窓口		
修理 受付 窓 口	保守契約 (サポートパック含む) され ているお客様	専用フリーダイヤルへおかけください。 (契約後 担当営業または登録窓口よりご案内) 受付時間：年中無休 24 時間
	法人のお客様	NEC フィールディングカスタマーサポートセンター フリーダイヤル 0120-536-111 受付時間：月・金 9:00-18:00 (土日祝および会社都合による休日 を除く) 携帯電話からは 0570-064-211 (通話料お客様負担)
	個人のお客様	121 コンタクトセンター http://121ware.com/121cc/ フリーコール 0120-977-121 受付時間：9:00～21:00 (年中無休) * 携帯電話、IP 電話からは 03-6670-6000 (通話料お客様負担) *: システムメンテナンスのため、サービスを休止させていただく 場合があります。
使い方相談		121 コンタクトセンター http://121ware.com/121cc/ フリーコール 0120-977-121 受付時間：9:00～19:00 (年中無休) ※フリーコールでの相談前に 121ware へのお客様情報 (ログイン ID および保有商品) の登録が必要です。また、2007 年 11 月 1 日以降、当社製品のご購入日より【使い方相談】については 「有料」とさせていただいております。

※ 電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・使用済みカートリッジ回収について

・方法 1

・直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。

また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1 本からでも、当社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

・連絡先

EP カートリッジ回収センター

TEL：0120-30-6924 FAX：0120-30-8049

E-MAIL：ep-kai@mua.biglobe.ne.jp

・受付時間

9:00 ～ 17:00（土・日・祝日を除く）

・方法 2

お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。

購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。

※ 回収を希望されない EP カートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分してくださいようお願い申し上げます。

A.4 ハードディスク（オプション）の取り付け

本機では次のような場合に、ハードディスク（オプション）を取り付ける必要があります。

・装着しないと使用できない機能

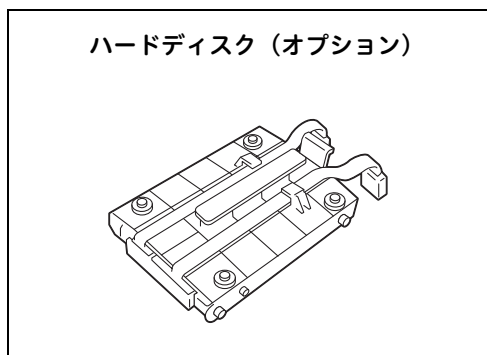
サンプルプリント / セキュリティープリント / メール受信プリント / 認証プリント / 時刻指定プリント / フォントダウンロード / セキュリティ拡張キットの機能 / IEEE 802.1x 認証機能 / IPsec の証明書機能 / ThinPrint 機能 / フィニッシャーの利用

・装着することで機能が向上する機能

フォームなどの登録数^{*} / 電子ソート機能の性能 / スプール容量 / ログ採取数

^{*}：NPD L プリンタードライバーでは対応しません。

ここでは、本機にオプションのハードディスクを取り付ける手順を説明します。

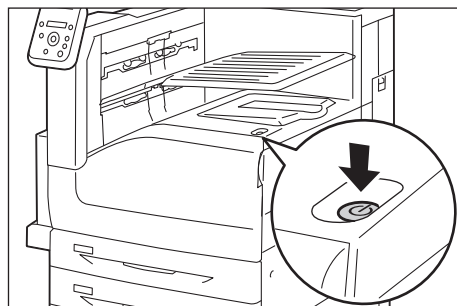


取り付け手順

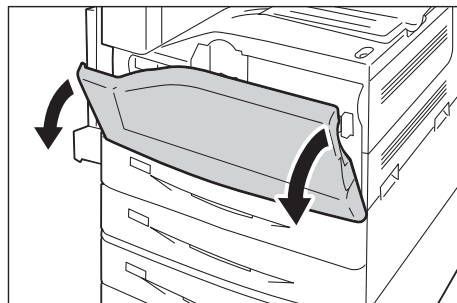
1. 電源スイッチ（）を押して、電源を切ります。

補足

- ・ディスプレイの表示が消えていること、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認してください。



2. フロントカバーを開けます。

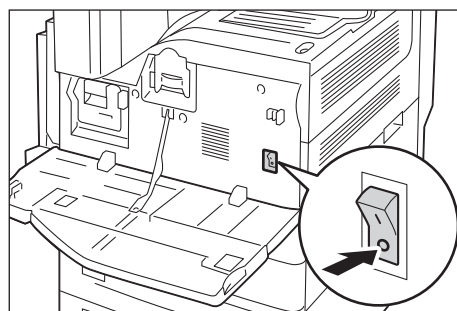


3. 主電源スイッチの〈○〉側を押して、主電源を切り、フロントカバーを閉じます。

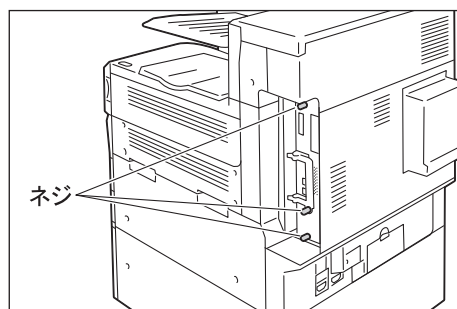
補足

- ・ 操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。

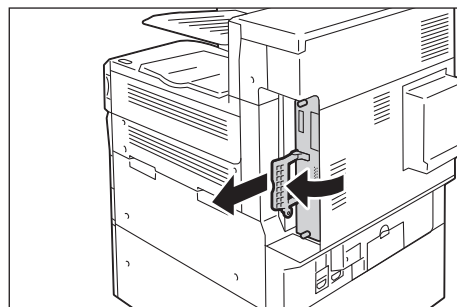
4. 電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。



5. コントローラーボードの3か所のネジを緩めます。



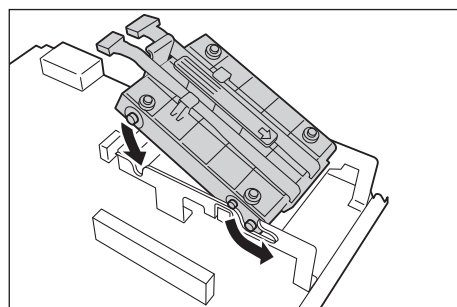
6. コントローラーボードの取っ手を引き出したら、取っ手を持ってコントローラーボードをゆっくり取り出し、机などの平らな場所に置きます。



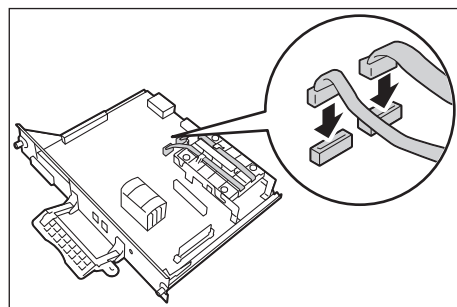
注記

- ・ コントローラーボードは、落とさないように両手を添えて取り出してください。

7. ハードディスクから出ているコネクタケーブルを外側にして、コントローラーボード上の金属のフレームの上に差し込みます。
ハードディスクの突起部をフレームのくぼみに正しくはめてください。



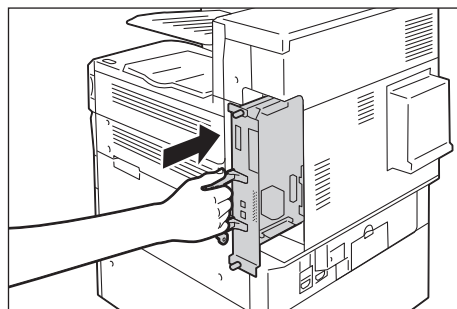
8. ハードディスクから出ているコネクタケーブルを、それぞれコントローラーボード上のコネクタに接続します。



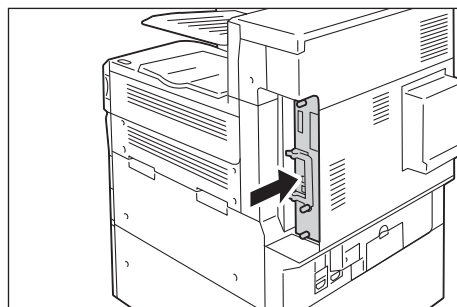
9. コントローラーボードを本体に戻します。
コントローラーボードの取っ手を持ち、プリンター本体に差し込みます。

注記

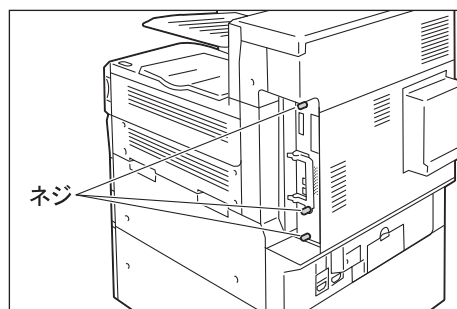
- ・ コントローラーボードは必ず取っ手を持って差し込んでください。取っ手を持たずにたんだまま差し込むと、コントローラーボードが破損するおそれがあります。



コントローラーボードは奥までしっかり押し込んでください。



10. 3 か所のネジを締めて、コントローラーボードを固定します。



11. 電源コードを接続します。
プリンターの主電源と電源を入れます。

12. [機能設定リスト] を印刷して、[システム設定] 内の [機械構成] に [内蔵ハードディスク] と印刷されることを確認します。

参照

- ・ リストの印刷方法 : 「9.2 レポート / リストを印刷する」 (P. 342)

これで、ハードディスクの取り付けは完了です。

補足

- ・ ハードディスクの取り付けが完了したら、プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの [プリンター構成] > [オプションの設定] で [内蔵ハードディスク] の設定を変更してください。変更方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

A.5 セキュリティ拡張キット（オプション）の取り付け

ここでは、本機にオプションのセキュリティ拡張キットを取り付ける手順を説明します。

補足

- ・セキュリティ拡張キットを取り付けるときは、ハードディスク（オプション）が必要です。

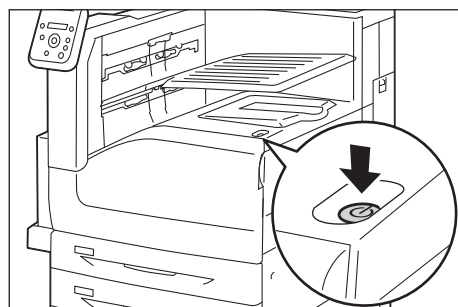


取り付け手順

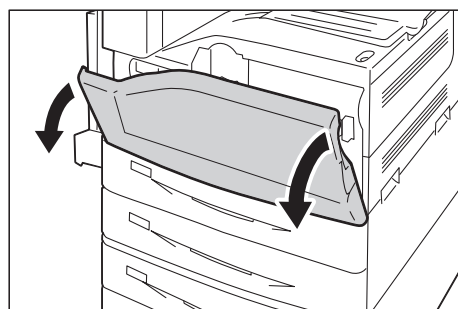
1. 電源スイッチ〈〉を押して、電源を切ります。

補足

- ・ディスプレイの表示が消えていること、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認してください。



2. フロントカバーを開けます。

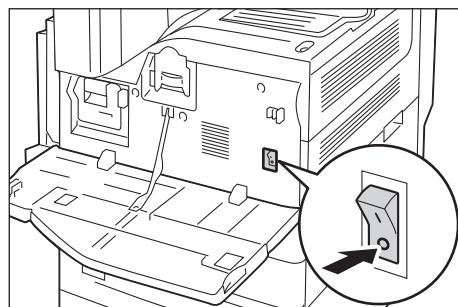


3. 主電源スイッチの〈〉側を押して、主電源を切り、フロントカバーを閉じます。

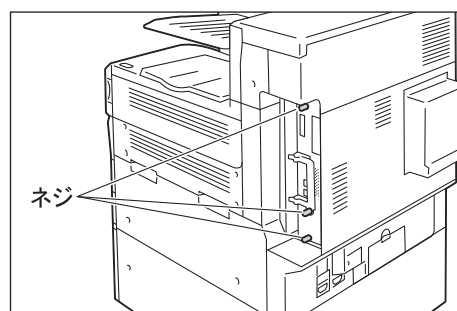
補足

- ・操作パネルの〈主電源〉ランプが消灯したことを確認してください。消灯するには、数十秒かかります。

4. 電源コードをコンセントおよびプリンター本体から抜きます。



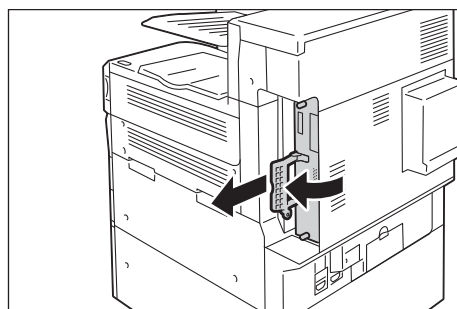
5. コントローラーボードの3か所のネジを緩めます。



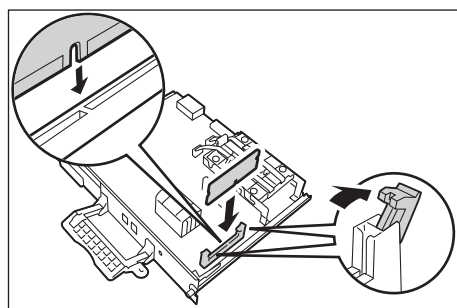
6. コントローラーボードの取っ手を引き出したら、取っ手を持ってコントローラーボードをゆっくり取り出し、机などの平らな場所に置きます。

注記

- ・ コントローラーボードは、落とさないように両手を添えて取り出してください。



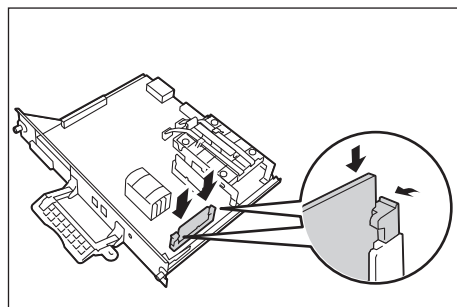
7. セキュリティ拡張キット ROM を、切り欠き部分をスロットの凸部に正しく合わせて、まっすぐに差し込みます。



両側を上から強く押します。

補足

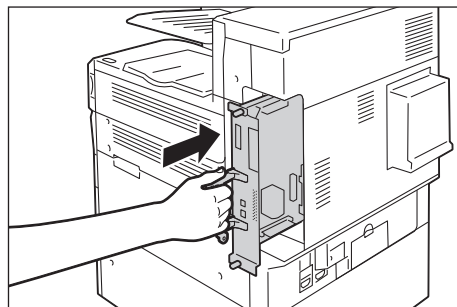
- ・ ROM は確実に押し込んでください。
- ・ ROM が確実に挿入されると、両側にあるツメが立ち上がります。



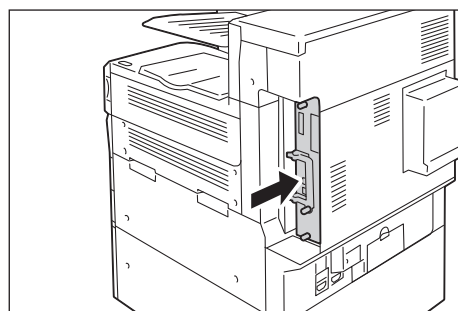
8. コントローラーボードを本体に戻します。
コントローラーボードの取っ手を持ち、プリンター本体に差し込みます。

注記

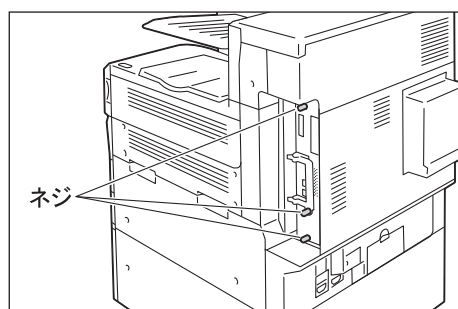
- ・ コントローラーボードは必ず取っ手を持って差し込んでください。取っ手を持たずにたんだまま差し込むと、コントローラーボードが破損するおそれがあります。



コントローラーボードは奥までしっかり押し込んでください。



9. 3か所のネジを締めて、コントローラーボードを固定します。



10. 電源コードを接続します。
プリンターの主電源と電源を入れます。

これで、セキュリティ拡張キットの取り付けは完了です。

続けて、操作パネルで、セキュリティ拡張キットの機能を有効に設定します。手順 11 に進みます。

注記

- セキュリティ拡張キットは、一度プリンターに取り付け、操作パネルから有効に設定すると、そのプリンター以外では使用できなくなります。

11. 操作パネルの〈仕様設定〉ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

仕様設定
レポート / リスト

12. [機械管理者メニュー] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

仕様設定
機械管理者メニュー

13. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[ネットワーク / ポート設定] が表示されます。

機械管理者メニュー
ネットワーク / ポート設定

14. [システム設定] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

機械管理者メニュー
システム設定

15. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[音の設定] が表示されます。

システム設定
音の設定

16. [ソフトウェアオプション] が表示されるまで、〈▼〉ボタンを押します。

17. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[プリンターセキュリティキット] が表示されます。

補足

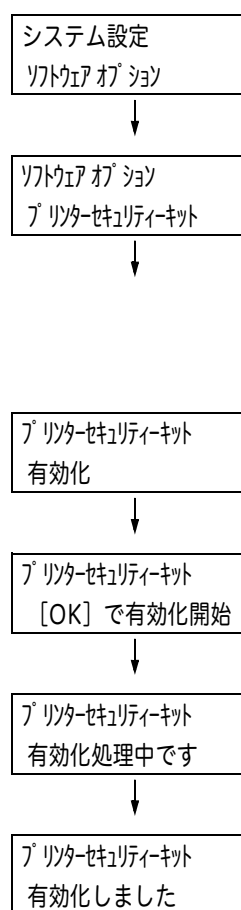
- ・ [設定できるオプションはありません] と表示された場合は、正しくセキュリティ拡張キット ROM が取り付けられていません。ROM を取り付け直してください。

18. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[有効化] が表示されます。

19. 〈▶〉または〈OK〉ボタンで選択します。
[[OK] で有効化開始] が表示されます。

20. 〈OK〉ボタンで決定します。
有効化処理が開始されます。

21. [有効化しました] と表示されたら、〈仕様設定〉ボタンを押して、プリント画面に戻ります。



注記

- ・ すでに他のプリンターで使用されたセキュリティ拡張キットを取り付けた場合は、[シリアル番号エラー] というメッセージと、取り付けたプリンターのシリアル番号が表示されます。セキュリティ拡張キットは、一度プリンターに取り付け、操作パネルから有効に設定すると、そのプリンター以外では使用できません。また、本機用の正しいセキュリティ拡張キットを取り付けていない場合は、[有効化できません] のメッセージが表示されます。

A.6 注意 / 制限事項

本体の注意と制限

ここでは、本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

ハードディスク（オプション）について

- ・本機では次のような場合に、ハードディスク（オプション）を取り付ける必要があります。
 - ・ 装着しないと使用できない機能
サンプルプリント^{*}/セキュリティプリント^{*}/メール受信プリント/認証プリント^{*}/
時刻指定プリント^{*}/フォントダウンロード / セキュリティ拡張キットの機能 /IEEE
802.1x 認証機能 /IPsec の証明書機能 /ThinPrint 機能 / フィニッシャの利用
 - ^{*} ハードディスク（オプション）が取り付けられている場合、または RAM ディスクが【有効】に設定されている場合に使用できる機能です。
 - ・ 装着することで機能が向上する機能
フォームなどの登録数 / 電子ソート機能の性能 / スプール容量 / ログ採取数
- ・ハードディスクを装着した場合、本機の使用中に停電などで電源が切られると、ハードディスク内のデータが壊れることがあります。
- ・電源を切ったあとも、しばらく本機内部で電源オフの処理をしています。操作パネルの〈節電〉ボタンが点滅中は電源を切らないでください。
- ・ハードディスクを装着した場合、lpd、IPP からの印刷データの格納先として、ハードディスクが指定できます。また、ART-EX、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL それぞれのフォームの格納先は、ハードディスク固定になります。ほかの領域には変更できません。
- ・ハードディスクの初期化によって消去されるデータは、追加フォント、ART-EX、ART IV、ESC/P の各フォーム、ART IVユーザー定義データです。
- ・一度プリンターで使用したハードディスクは、別のプリンターでは使用できません。
- ・CentreWare Internet Services を使用してジョブ履歴レポートを CSV 形式で取得する場合は、ハードディスクが必要です。

印刷結果が設定と異なるとき

- ・プリントページバッファの容量不足が原因で、次のように、設定と異なる結果になることがあります。
 - ・ 両面印刷の指定が片面印刷で印刷される
 - ・ ジョブが中止される（プリントページバッファに展開できない場合、そのページを含むジョブが中止されます）
- ・1,200dpi の 1dot の点や線などを直接印刷指示した場合は、ゼログラフィー原理によって、印字結果が指示どおりにならないことがあります。

オプションについて

- ・本機を PostScript 対応プリンターとして使用する場合は、オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
- ・PostScript ソフトウェアキットは、平成・モリサワの 2 タイプを用意しています。これらは同時設置できませんので、いずれか一つを選択してください。
- ・CentreWare Internet Services を使用してダイレクトプリントを行う場合には、ハードディスクが必要です。(ContentsBridge 使用の場合は、ハードディスクは不要です。)

両面印刷でのメーターのカウントについて

両面印刷で出力する場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。この場合、アプリケーションが挿入する白紙出力は 1 ページとしてカウントされます。

PostScript ドライバーについて

PostScript ドライバーでは、[ポスター (拡大連写)] には対応していません。また、[まとめて 1 枚] の機能では、2/4/6/9/16 アップと、枠線の有無の指定が可能です。

XML Paper Specification (XPS) 対応ドライバーについて

XPS 対応ドライバーは、Windows Vista 以降のバージョンの Microsoft® Windows 用に開発されたアプリケーション・ソフトウェアで印刷するためのプリンタードライバーです。

マイクロソフト社の Windows Vista の互換性に起因する問題により、Windows Vista より前の Windows 用に開発されたアプリケーション・ソフトウェアからは正しく印刷されないことがあります。

また、XPS 対応ドライバーを使用するときは、事前に、出力先の機械が XPS 印刷機能に対応していることを必ず確認してください。XPS 印刷機能に対応していない機械に対して XPS 対応ドライバーを使用すると、意図しない用紙出力が発生することがあります。

Macintosh から USB 接続でプリントする場合

USB を使用して PostScript ドライバーからプリントする場合、図形データ (バイナリーデータを含む EPS ファイル) を貼り付けたアプリケーションデータを印刷すると、バイナリーデータ部分をプロトコルデータと誤検知して文字データが数ページにわたってプリントされることがあります。

操作パネルで [仕様設定] > [機械管理者メニュー] > [ネットワーク / ポート設定] > [USB] > [Adobe 通信プロトコル] を [RAW] に設定すると、バイナリーデータを含む EPS ファイルを使ったデータを正常にプリントできます。

IPP プリントについて

IPP で送信されるデータサイズがプロキシサーバーの設定値より大きい場合、機械側にデータが届きません。プロキシサーバーの設定値を大きくするか、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

バーコードについて

バーコードの読み取り品質は、お客様の使用される環境、用紙、バーコード生成アプリケーションソフトウェア、バーコードリーダーの性能などにより、大きく左右されます。このため、本機が正常な状態で印字したバーコードであっても、バーコードの読み取りが保証されるものではありません。

対象 OS について

次の OS 用に、機種専用のドライバーやユーティリティソフトウェアは提供していません。ほかの OS 用に提供しているドライバーやユーティリティソフトウェアがインストールできる場合がありますが、動作は保障していません。

- ・Microsoft Windows 95
- ・Microsoft Windows 98
- ・Microsoft Windows Me
- ・Windows 2000
- ・Windows XP
- ・Windows NT 4.0
- ・漢字 Talk 7.5.3
- ・Mac OS 8.x
- ・Mac OS X 10.4.11 以前
- ・Windows NT Server 4.0
- ・Windows NT Server Terminal Edition

Macintosh について (PostScript ソフトウェアキット (オプション))

- ・Mac OS X 10.5/10.6、OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 のプリンタードライバーでは、Plug-in を採用しているため、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントなどが使用できます。
- ・上記の Plug-in を採用していないプリンタードライバーでは、認証情報の設定、セキュリティープリント、サンプルプリント、時刻指定プリントなどが使用できません。

Mac OS X 用プリンタードライバーについて

- ・対象 OS は、Mac OS X 10.5/10.6、OS X 10.7/10.8/10.9/10.10 です。
- ・画質調整やトナー節約機能はありません。また、用紙サイズ設定や用紙種類の一部だけをサポートしているなど、機能制限があります。プリント機能を十分に利用される場合は、PostScript ソフトウェアキット (オプション) を追加してください。

強制アノテーションで印字される時刻について

機械の状況や設定、出力内容などによっては、お客様が出力を指示した時刻と、機械内部での出力ジョブの開始時刻、実際のプリントの開始時刻がずれる場合があります。強制アノテーションで印字されるのは、出力ジョブの開始時刻となります。

印字位置の調整について

- ・おもて面とうら面で印字ずれがある場合、印字位置の補正が可能なのは、とじる辺に対して垂直方向だけです。たとえば、縦長原稿のプリント時、[両面] で [長辺とじ] を指定した場合は、左右方向の印字ずれは補正できますが、上下方向の位置調整はおもて面とうら面が同一方向に移動するため、印字ずれは補正されません。
- ・[まとめて 1 枚] では、ページイメージごとの位置調整はできません。

サイズ混在原稿をプリントするときの向きについて

- ・プリンタードライバーからのサイズ混在原稿のプリント可能な組み合わせは、A4 と A3、B5 と B4、8.5 × 11 インチ (Letter) と 11x17 インチ (Tabloid) の 3 種類です。
- ・使用するアプリケーションによっては、原稿の向き (たて向き、よこ向き) を正しく判断できないため、サイズ混在原稿の組み合わせによっては、原稿の上下が逆にプリントされる場合があります。

補足

- ・ NPDL プリンタードライバは対応しておりません。

ThinPrint について

- ・「ThinPrint.print」を Windows Server 2008 または Windows Server 2003 に設定するには、ライセンス「.print Application Server Engine」が必要です。
- ・ThinPrint は、通信プロトコルが IPv4 で動作しているときだけ利用できます。IPv6 には対応していません。
- ・同時に接続できる最大接続数は 3 です。これを超えて接続要求を受け付けた場合、接続要求は待ち状態になります。ただし、待ち状態になる接続数は最大 10 までで、これを超えると接続要求を受け付けられません。すでに開設済みの接続が終了して最大接続数よりも少なくなり次第、待ち状態になっていた接続要求が順次接続されます。
- ・ジョブのキャンセル、一時停止などのジョブ制御機能は提供していません。ただし、操作パネルでの「ジョブ確認」画面、CentreWare Internet Services からのジョブのキャンセルは可能です。
- ・プリンターにデータのプールが終了したジョブから順に印刷されます。印刷指示を受信した順に印刷されない場合があります。
- ・プリンターの電源が切断された場合、本機能は受信済みジョブのプール順序とデータを保存します。受信中のジョブは破棄されます。

メール受信プリントについて

ハードディスクの空き領域が少ない状態でメールを受信すると、受信動作を中止してもエラーコードは表示されません。

CentreWare Internet Services 利用時の CSRF 対策について

CentreWare Internet Services の「CSRF 対策」を有効にすると、お使いの Web ブラウザーや、Web ブラウザーの利用状況、ネットワーク環境によっては、CentreWare Internet Services にアクセスできなくなることがあります。その場合は、アクセス可能なコンピューターからアクセスしてください。「CSRF 対策」を無効にする場合は、機械管理者にお問い合わせください。アクセス可能なコンピューターがない場合は、お買い求めの販売店、またはサービス窓口にお問い合わせください。

CSRF とは、悪意のある Web サイトが、そこにアクセスしてきたコンピューターを介して、ほかの Web サイト上で操作を実行させる攻撃手法のことです。本機能は、お客様が悪意のある Web サイトにアクセスしてしまった際に、CentreWare Internet Services へ意図しない操作が実行され、本機の設定等が変更されることを防ぐための機能です。

TCP/IP (lpd) の注意と制限

TCP/IP (lpd) での注意 / 制限事項は、次のとおりです。

本機側の設定について

- ・IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ・ネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要な項目を設定してください。
- ・ポート状態を「起動」に設定したとき、メモリーが不足すると、ポート状態が自動的に「停止」に設定されることがあります。この場合は、使っていないポートを「停止」にするか、メモリー割り当て容量を変更してください。
- ・使用環境に応じて、受信バッファ容量「LPD スプール」のサイズを設定してください。送信されたデータより、受信バッファ容量「LPD スプール」のサイズが小さい場合、受信できないことがあります。

コンピューター側の設定について

- ・IP アドレスの設定には十分注意してください。IP アドレスはシステム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
- ・NIS (Network Information Service) の管理下で使用されているコンピューターで、ネットワーク (IP アドレスなど) の設定を行う場合は、NIS の管理者に相談してください。

電源を切るとき

本機の電源を切るときは、次の点に注意してください。

- ・[LPD スプール] の設定が [メモリスプール] のとき
印刷中のデータを含め、本機のメモリーにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。
- ・[LPD スプール] の設定が [ハードディスクスプール] のとき
印刷中のデータを含め、本機のハードディスクにスプールされた印刷データはすべて保存されます。再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。
- ・[LPD スプール] の設定が [スプールしない] のとき
印刷中のデータを含め、本機の受信バッファにスプールされた印刷データはすべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷データは存在しません。ただし、印刷指示の直後に電源を切った場合、印刷データがコンピューター上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示が行われた場合でも、保存されている印刷データから順に印刷されます。

印刷するとき

- ・[LPD スプール] の設定が [ハードディスクスプール]、または [メモリスプール] のとき
印刷データの受信を開始したときに、印刷データのサイズがハードディスク、またはメモリーの残り容量より大きい場合、その印刷データは受信できません。

補足

- ・印刷データが受信容量を超えた場合、コンピューターによってはすぐに再送信することがあります。このときコンピューターがハングアップしたように見えます。対処として、コンピューター側でその印刷データの送信を中止してください。
- ・[LPD スプール] の設定が [スプールしない] のとき
あるコンピューターから印刷要求を受け付けていた場合、別のコンピューターからの印刷要求を受け付けることができません。
- ・コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合
コンピューターの IP アドレスやコンピューター名を変更した場合、本機側からの問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。本機の受信バッファに印刷データがない状態で、本機の電源を切 / 入してください。

補足

- ・本機の受信バッファにある印刷データの印刷中止 / 強制排出は、操作パネルから操作できます。操作方法は、「2.5 印刷を中止する / 確認する」(P. 66) を参照してください。

セカンダリーイーサネットカード（オプション）使用時の注意 / 制限

セカンダリーイーサネットカード（オプション）を使用したときの注意 / 制限事項は、次のとおりです。

- [HTTP - SSL/TLS 通信] が有効かつ、Ethernet2 から FQDN で CentreWare Internet Services にアクセスすると、Web ブラウザーの例外登録ダイアログが表示される場合があります。
- ジョブログでは Ethernet1 と Ethernet2 を分けて記録しないため、どちらのネットワークから通信があったか識別できません。
- 消耗品の残量やメーター情報は Ethernet1 と Ethernet2 共に同じ情報を発信します。機器の利用状況の把握を弊社以外のソフトで行なう際は、機器情報の重複を避けるため、IP アドレスではなく、UUID 等のお使いの機器固有の情報を利用するようにしてください。
- [LPD] の [プリント順序] を [プリント受け付け順] に設定した場合、Ethernet1 または Ethernet2 のどちらかを優先してプリントを受け付けることはできません。
- 同一 IP アドレスを持つ異なるホストからの印刷指示や印刷ジョブの状態確認 (lpq)、キャンセル (lprm) は、同一ホストからの要求として処理されます。
- Ethernet インターフェース回線が 2 回線のと看、Port9100 は 2 回線同時に通信できません。
- CentreWare Internet Services の [プロトコル設定] > [TCP/IP] > [DHCPv6-lite からアドレスを取得] 設定は Ethernet1 のみ有効です。Ethernet2 の場合は、手動で DNS サーバーのアドレスを設定してください。
- CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP] で、Ethernet1 と Ethernet2 の両方について [DNS の動的更新] を [する] に設定した場合、DNS の動的更新が失敗することがあります。DNS の動的更新機能を利用する場合は、Ethernet1 と Ethernet2 のどちらか一方のみ、[する] に設定してください。
- Ethernet インターフェース回線が 2 回線のと看、セカンダリーイーサネットカード（オプション）は LPD、Port9100、SNMP、インターネットサービス (HTTP) のみ通信できます。それ以外のポートは通信できません。
- セカンダリーイーサネットカード (オプション) は IPP と Google クラウドプリントポートに対応していません。このため Ethernet2 で Google クラウドプリントのジョブをプリントできません。

IPv6 接続の注意と制限

IPv6 接続時の注意制限事項は次のとおりです。

- マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）では、本機から外部ネットワークへの送信に失敗する可能性があります。
- マルチプレフィックス環境（IPv6 グローバルアドレスを複数扱う環境）では、登録されていないアドレスで通信されることがあります。
- 自動設定する IPv6 アドレス（IPv6 自動設定アドレス、IPv6 DNS サーバーアドレス）には、取得した IPv6 アドレスが運用上使用できないアドレスが設定されることがあります。運用上使用できない IPv6 アドレスとは、サイトローカルアドレス（fec0::）や文書作成用アドレス空間（2001:db8::/32）のアドレスのことです。
- IP 動作モードがデュアルスタックで、IPv4/IPv6 ともに DNS 情報が設定されていて、FQDN で指定されている装置と通信するとき、本機の起動直後には、IPv4 の DNS 情報が使用されることがあります。
- 本機の IP アドレスとして表示されるアドレスが変わることがあります。たとえば、デュアルスタックモードで IPv4 アドレスと IPv6 アドレスのどちらか一方が表示されない、IPv6 アドレスの内容が変わるなどです。
- IPv6 ネットワークを使用して印刷した場合、ペーパーセキュリティが正しく動作しません。IPv4 で運用してください。
- IPv6 環境では、時刻サーバーとの同期はできません。IPv4 環境で時刻サーバーにアドレスを直接指定してください。
- IPv6 での印刷は、次のバージョンの OS でだけ動作します。
 - Windows Vista
 - Windows 7
 - Windows 8
 - Windows 8.1
 - Windows Server 2008
 - Windows Server 2008 R2
 - Windows Server 2012
 - Windows Server 2012 R2
 - Common Unix Printing System が IPv6 対応で印刷可能な Linux distribution
- WINS は IPv6 ネットワークでは通信できません。
- SSL 通信に自己生成証明書を使用する場合、プリンター URL の指定方法に、次の制限事項があります。
 - FQDN で指定する場合（IPv4、IPv6 共通）
自己証明書作成前に、デバイスのホスト名とドメイン名を正しく指定しておく必要があります。
例：FQDN が csw.ipv6.domain.local の場合、ホスト名に csw、ドメイン名に ipv6.domain.local を指定します
 - IPv4 アドレスで指定する場合
IPv4 モードまたはデュアルモードで作成した自己証明書をインポートしておく必要があります。
 - IPv6 アドレスで指定する場合
Secure IPP（IPP-S）で通信ができません。
- 次の機能は、IPv6 に対応していません。IPv4 で運用してください。
 - UPnP Discovery

- ・次のような場合、同一機器のアドレスとして判断できないことがあるため、ユーザーが LPD でプリント指示をした印刷ジョブの状態確認 (lpq) やキャンセル (lprm) を実施できないことがあります。
 - ・ 同一ホストで IPv4 と IPv6 を同時に動作させている場合
 - ・ 同一ホストで複数の IPv6 アドレスを同時に動作させている場合
- ・ジョブログに IPv6 アドレスが正しく記載されないことがあります。IPv4 で運用してください。
- ・DocuShare などの外部アクセスサービスで、接続先 URL に IPv6 アドレスを指定すると正しく動作しません。IPv6 環境では DNS サーバーを運用し、接続先 URL を FQDN で指定してください。
- ・機械自体による IPv6 in IPv4 トンネル機能には対応していません。

注記

- ・ 機械の [TCP/IP 設定] > [IP 動作モード] を [IPv6] に設定した場合、IPv6 に未対応の上記サービスは起動されません。
- ・同一サブネットに複数のルーターが存在する場合、通信に問題が発生する可能性があります。
- ・デュアルスタック環境では、DNS サーバーや複合機から利用するサーバーの運用状況により各種サービスを利用する上で、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

設定情報の複製機能についての注意と制限

設定情報の複製機能は、プリンターに設定された設定値を複製し、別のプリンターに取り込む機能です。

設定値の複製ファイルの作成、および取り込みは、CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブ > [一般設定] > [設定情報の複製]で行います。

ここでは、設定情報の複製機能を使用するときの注意 / 制限事項を説明します。

- ・本機能では、プリンターのすべての設定について、複製・取り込みをすることはできません。主に CentreWare Internet Services の [プロパティ] タブで設定できる項目が対象です。複製・取り込みの対象となる範囲を次の表に示します。

機能	カテゴリー
メモリー	RAM Disk* * ハードディスク（オプション）を使用している場合には表示されません。
ネットワーク / ポート	Ethernet
	パラレル* * オプションのパラレルインタフェースカードが必要です。
	USB
	EtherTalk* * オプションの PostScript ソフトウェアキットが必要です。
	TCP/IP（IP 動作モード）
	TCP/IP (IPv4)
	TCP/IP (IPv6)
	TCP/IP（デュアルスタック）
	SSDP
	LPD
	Port 9100
	HTTP

機能	カテゴリー
ネットワーク / ポート	IPP
	Bonjour
	WSD* * WSD は、Web Services on Devices の略称です。
	ThinPrint
メール	メール設定 * * タイトルは除きます。
	SMTP サーバー
	LDAP (LDAP ディレクトリサービス)
	LDAP (LDAP ユーザーの関連付け)
	LDAP (LDAP 認証)
	LDAP (LDAP グループアカウント)
認証システム	認証システム設定
プリント	バナーシート
管理	メール通知設定
	SNMP 設定
	SNMP (v1/v2)
	SNMP (v3)
	SNMP(SNMP 設定 IPv4)
	SNMP(SNMP 設定 IPv6)
	ジョブ表示の制限
オンデマンドプリントサービス	オンデマンドプリントサービス設定
受付 IP アドレス制限	受付 IP アドレス制限 (IPv4)
	受付 IP アドレス制限 (IPv6)
複製管理	複製管理
集計設定	集計管理
	集計管理情報の設定
監査ログ	監査ログ

・CentreWare Internet Services の「プロパティ」タブでの設定項目であっても、次の場合は、取り込み対象とならないことがあります。

- ・複製元と取り込み先のプリンターの構成（オプションの有無等）が異なる場合
- ・取り込み先のポートが「停止」になっている項目

・複製元プリンターに、固定の IP アドレスを割り当てている場合は、次の点に注意してください。

- ・ IP アドレス値は複製できません。
- ・複製元の IP アドレス割り当てが固定の場合には、複製先へ複製後、正しい IP アドレスを本機の操作パネルから設定するとともに、各種ポートの起動 / 停止の状態が、正しく設定されていることを確認してください。
IP アドレスが設定されていない状態で使用した場合、TCP/IP を使用する設定は自動的に無効になります。

セキュリティ機能上の注意と制限

暗号化通信について

HTTP の通信を暗号化することによって、IPP でプリントするときに通信データを暗号化 (SSL 暗号化通信) できます。ここで暗号化されるのは、ネットワーク上だけです。送信されるデータ自体を暗号化するわけではありません。

イメージログ管理機能について

- ・ジョブの文書イメージ、データの容量、イメージログ管理機能以外の複数ジョブの処理の有無、[ログの作成保証レベル] の設定、または [転送保証レベル] の設定によっては、イメージログ管理機能が優先して処理されます。
- ・イメージログ管理機能は、文書に対するセキュリティ機能を補う目的があるため、イメージログの作成に時間がかかったり、この機能以外のジョブの処理に時間がかかったりすることがあります。
- ・セキュリティ機能の観点から、機械はデータを蓄積保存することを優先するため、イメージログの作成を中止 (強制終了) できません。
- ・イメージや印刷ジョブのログ (ジョブログ) を検索することによって、システム管理者などが出力者の「識別情報」を把握することになります。イメージログ管理機能を使用したことによる出力者個人のプライバシー保護に関しては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・停電のように電源が強制的に落ちた場合や、ハードディスクに異常が発生した場合などは、イメージログの作成・転送が必ず実施されるとは限りません。
- ・機械は、イメージログ管理機能の起動後に実行されたジョブだけをイメージログ管理機能の対象とします。
- ・管理するイメージは、入力イメージを元に作成するため、出力イメージと同じになるとは限りません。次に記載する情報は、出力時に加えられたり、編集されたりする情報のため、イメージには反映されません。
 - ・出力時のレイアウト変更
 - ・合紙
 - ・アノテーション
 - ・強制アノテーション
 - ・複製管理
 - ・ペーパーセキュリティ
 - ・フォームオーバーレイ
- ・イメージとして作成される PDL の最大サイズは、1 ジョブにつき 500MB です。
- ・ハードディスク内のイメージ格納領域が不足した場合、[ログの作成保証レベル] の設定によって、機械は次のように動作します。
 - ・[高] の場合：ジョブは中止されます。
 - ・[低] の場合：ジョブは実行されます。ただし、ジョブ終了時には警告が表示され、イメージ作成が失敗したことを知らせます。
- ・機械に格納できるイメージログの最大数は 200 です。

外部認証について

- ・外部認証では、本機の操作パネルで操作できること (認証プリント) だけが、利用制限の対象となります。枚数制限はできません。
- ・外部認証の場合、プリントの利用制限はできません。プリントは、認証プリントで運用してください。
- ・外部認証に変更する場合、または外部認証からほかの認証モードに変更する場合、本機に登録されたユーザー情報が削除されます。

外部認証の運用について

- ・ 外部認証サーバーに登録するユーザー ID は、半角英数字 32 文字以内で作成してください。
- ・ 複数ドメインにユーザー登録して運用するときは、ユーザー ID が重複しないように運用、管理してください。
- ・ コンピューターから外部認証サーバーにログインしてから、ジョブを指示してください。

外部認証と ApeosWare Authentication Management について

ApeosWare Authentication Management が使用できる外部認証サーバーは、Active Directory だけです。

A.7 用語集

【10BASE-T】

IEEE802.3 の規格の中で、10Mbps、ベースバンド、ツイストペアケーブルのことです。

【100BASE-TX】

10BASE-T の拡張版で、FastEthernet（ファーストイーサネット）とも呼ばれるものの一つです。通信速度が 100Mbps で、10BASE-T の 10Mbps から大幅に高速になっています。

【1000BASE-T】

最高通信速度 1Gbps の Gigabit Ethernet 規格の一つです。

【ART IV】

Advanced Rendering Tool の略で、富士ゼロックス株式会社がページプリンター用に開発したプリンター制御言語です。IVはバージョンを表します。

【ART-EX】

富士ゼロックス株式会社製のページ記述言語です。

【BOOTP】

BOOTstrap Protocol の略で、TCP/IP のネットワークに接続されたクライアントが、サーバーから自動的にネットワーク設定を読み込むためのプロトコルです。

【DHCP】

Dynamic Host Configuration Protocol の略で、DHCP サーバーから DHCP クライアントに IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。

【DNS】

Domain Name System の略で、インターネットでホスト名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【DocuWorks】

富士ゼロックス株式会社製の電子文書と紙文書を一元管理するドキュメント有効活用ソフトウェアです。

【dpi】

Dot Per Inch の略で、1 インチ（約 25.4mm）幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を表す単位として使用します。

【HTTP】

インターネット上で WWW サーバーと通信をするためのプロトコルのことです。

【Image Enhancement(イメージエンハンスメント)】

白黒の境目を滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。

【IPP】

HTTP を使用して印刷するためのプロトコルです。

【IP アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークで使用されるアドレスです。小数点で区切られた 4 つの数値（10 進数）で表します。

【IPsec】

データをパケット単位で暗号化して、改ざんなどから保護するセキュリティ技術です。

【IPv4 アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークアドレスのうち、ピリオド (.) で区切られた 4 つの数値 (10 進数) で表すアドレスです。

【IPv6 アドレス】

TCP/IP プロトコルによるネットワークアドレスのうち、コロン (:) で区切られた 4 つの数値 (16 進数) で表すアドレスです。現在、一般的に使用されている IPv4 の次の世代の IP アドレスとして使用が始まっています。

【N アップ】

複数ページ分を 1 枚の用紙に印刷する機能です。

【OS】

コンピューターのハードウェアとソフトウェアの基本的な動きを制御し、管理するソフトウェアで、Operating System の略です。アプリケーションソフトウェアなどが動作するための土台となります。

【PDF ファイル】

このマニュアルでは、米国 Adobe Systems 社が開発した Acrobat というソフトウェアで作成したオンラインドキュメントを「PDF ファイル」と呼びます。PDF ファイルを画面に表示するには、Adobe Reader というソフトウェアをコンピューターにインストールする必要があります。

【Port9100】

TCP/IP 環境でデータを送信できる、ネットワークプリンターとの通信方法です。標準 TCP/IP ポートモニター上で使用できます。

【ppm】

1 分間に印刷されるページ数を表す単位です。

【PrintTicket】

XML Paper Specification (XPS) ファイルに含まれる、印刷設定に関する情報です。

【SNMP】

ネットワークに接続された機器を、ネットワークを経由して管理するプロトコルです。管理する側には SNMP マネージャーというソフトウェアを、管理される側には SNMP エージェントというソフトウェアを組み込んで実行します。

【TCP/IP】

DARPA NET (Defense Advanced Research Project Agency NetWork) で開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、パーソナルコンピューターから大型コンピューターまで、さまざまな機種で使用されています。

【USB】

Universal Serial Bus の略で、コンピューターと周辺機器との間のデータ転送方式の一つです。電源を入れたままで接続できる「ホットプラグ」機能に対応しており、コンピューターと周辺機器を簡単に接続できます。

【WINS】

Windows Internet Name Services の略で、TCP/IP 環境でコンピューター名から IP アドレスを入手するための名前解決サービスです。

【WWW】

World Wide Web の略です。インターネットでホームページを提供するしくみのことです。

【XML Paper Specification (XPS) ファイル】

米国 Microsoft 社が開発したファイル形式です。XPS ファイルを表示するには、XPS Viewer というソフトウェアをコンピューターにインストールする必要があります。

【アドレス】

ネットワーク上のノード（各コンピューターや端末など）を識別するために割り当てられる情報（一意の識別子）のことです。また、メモリーに個別に割り当てられた番地のこともアドレスと呼びます。

【アプリケーションソフトウェア】

コンピューター上で作業を行う道具となるソフトウェアのことです。ワープロ、表計算、グラフィックス、データベースなど、数多くのアプリケーションソフトウェアが販売されています。

【アンインストール】

コンピューターに組み込んだソフトウェアを削除することをいいます。

【印字領域】

用紙に対して実際に印字可能な領域です。

【インストール】

ソフトウェアやハードウェアをコンピューターや周辺機器に組み込み、使えるようにすることです。プリンタードライバーなどのソフトウェアをコンピューターのシステムに組み込むことや、ハードディスクをプリンターに組み込むことをいいます。

このマニュアルでは、主にコンピューターにソフトウェアを組み込むことを「インストール」と呼びます。

【インストーラー】

ソフトウェアをコンピューターにインストールするための専用ソフトウェアのことです。

【インターフェース】

互いに異なるシステム（系）が接触する部分を指します。コンピューターとプリンターの間、人間と機械との間などを指す場合によく使用されます。

インターフェースの仕様、特に電氣的仕様のことを単にインターフェースということもあります。

【インターフェースケーブル】

複数の装置を相互に接続するケーブルのことです。

プリンターとパーソナルコンピューターを直接接続するパラレルケーブルや USB ケーブル、プリンターをネットワークに接続するイーサネットケーブルなどがあります。

【エミュレーション】

他社のプリンターで印刷した場合と同等の印字結果を得ることができるように、プリンターを動作させることです。このモードをエミュレーションモードと呼びます。

【オンラインヘルプ】

コンピューターの画面に表示されるマニュアルです。

【解像度】

画像の細かさを表します。通常 1 インチあたりのドット数（単位は dpi）で表し、この数値が大きいほど解像度が高い（細部まで表現できる）といえます。

【クリック】

マウスボタンを 1 回、押して離すことです。このマニュアルでは、マウスの左ボタンをクリックすることを「クリック」と呼び、右ボタンをクリックすることを、「右クリック」と呼びます。

また、マウスのボタンをすばやく 2 回続けて押し、離すことを「ダブルクリック」と呼びます。

【サーバー】

ネットワーク上で情報を蓄積し、ほかのコンピューターにサービスを提供するコンピューターのことをいいます。

逆に、サーバーにサービスを要求するコンピューターを「クライアント」といいます。

【受信バッファ】

バッファとはコンピューターから送信されたデータを、一時的に蓄えておく場所です。受信バッファのメモリー容量を増やすことによって、コンピューターの解放を早くすることができます。

【初期値】

工場出荷時、および NV メモリー初期化時の設定です。

【ジョブ】

コンピューターが行う一連の処理を指します。たとえば、1 つのファイルを印刷する処理が 1 件の印刷ジョブになります。印刷の中止や排出は、このジョブ単位で行われます。

【双方向通信】

2 つの装置間で互いに情報を送信したり、受信したりする通信のことです。双方向通信によって、コンピューターから印刷データを送るだけでなく、プリンターからコンピューターに印刷状況などの情報を送ることができます。

【ソート】

複数部数を印刷したとき、1 部ごとに 1、2、3...1、2、3... の順で排出することを「ソート」と呼びます。

【ソフトウェア】

コンピューターを動かすためのプログラムです。OS もアプリケーションソフトウェアもソフトウェアの一種です。

【ネットワークプリンター】

このマニュアルでは、イーサネットケーブルでネットワークに接続したプリンターを「ネットワークプリンター」と呼びます。

【パラレルインタフェースカード】

コンピューターと周辺機器との間のデータ伝送方式の一つです。複数ビットのデータを同時に転送します。代表的なものにセントロニクスがあり、プリンターなどの周辺機器との接続に使用します。

【フォント】

書体や字体のことです。統一性を持ったデザインでまとめられた文字の 1 セットを指します。

【ブラウザー】

インターネットで、WWW サーバーの情報をコンピューターに表示し、見るためのソフトウェアです。代表的なものには、Internet Explorer、Safari などがあります。

【プリンタードライバー】

アプリケーションで作成したデータをプリンターが解釈できるデータに変換するためのソフトウェアです。

【プリントページバッファ】

印刷データを実際に展開し、蓄えておく場所です。

【プロトコル】

複数の装置やコンピューターシステムが、互いに通信するための約束事です。ハードウェア間で情報を転送する場合の手順の取り決めや、2 つのコンピューターがネットワークを介して通信するための手順の取り決めのことです。

【ポート】

コンピューターが周辺装置と情報をやりとりするための接続部分のことです。

【メートル坪量】

1m² の用紙 1 枚の質量です。

【メディア】

コンパクトディスク（DVD）にコンピューター用ソフトウェアや画像などのデータを記録したものです。

【ローカルプリンター】

このマニュアルでは、パラレルケーブルまたは USB ケーブルでコンピューターと直接接続したプリンターを「ローカルプリンター」と呼びます。

【ログイン】

コンピューターシステムの資源（ネットワーク上のハードディスクやプリンターなど）にアクセスできる状態にすることです。また、ログインを終了することを「ログアウト」と呼びます。

索引

→【○○○○】の【 】内は、本書で使用している用語です。

記号・英数

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T コネクター	55
ART-EX フォーム登録リスト	343
Bonjour	193
CentreWare Internet Services	351
概要	45
使用時のトラブル	324
設定できる項目	46
ヘルプ	48
DNS サーバー設定	199
DocuWorks 設定リスト	344
DocuWorks ファイルを直接印刷する	135
ESC/P 設定リスト	343
ESC/P 登録リスト	343
ESCP	247
Ethernet 設定	201
HDD 暗号化	359
HDD の上書き消去	214, 359
HDD の初期化	359
HPGL	247
HP-GL/2 設定リスト	343
HP-GL/2 登録リスト	343
HTTP-SSL/TLS 通信	203
HTTP 通信の暗号化	374
ID 印字機能	234
IEEE 802.1x 設定	204
IPP	191
IPsec	453
IPsec 通信	204
IPSec を使用した暗号	378
IPv4 アドレス	453
IPv6 アドレス	453
IPv6 環境での印刷時のトラブル	327
IPv6 接続時のトラブル	326
IPv6 接続の注意と制限	447
IP アドレス (IPv4) を設定する	40
IP アドレス (IPv6) を設定する	43
IP アドレスによる受信制限	361
IP アドレスの設定	41
LPD	189, 444
NPD L	247
NPD L 設定リスト	344
NPD L の設定	391
NPD L モードメニュー画面	59
N アップ	75, 105
N アップ→【まとめて1枚】	75, 105
OCR フォントのグリフ	239
OK ボタン	58
PCL	249
PCL 設定リスト	343
PCL フォントリスト	342
PCL マクロリスト	343
PDF	247
PDF 設定リスト	343

PDF ファイルを直接印刷する	132
Port9100	195
PostScript	250
PostScript フォントリスト	342
PrintTicket 処理	251
PS 登録リスト	343
RAM ディスク	216, 356
SNMP 設定	198
SNTP 設定	203
SOAP	197
TCP/IP	444
TCP/IP 設定	186
ThinPrint	198
TIFF/JPEG 設定リスト	343
TIFF/JPEG 論理プリンター登録リスト	343
UPnP	196
USB	193
USB2.0 インターフェースコネクタ	55
USB 接続	35
UUID 印字	366
Web Services on Devices (WSD)	33, 197
Web ブラウザーでプリンターの状態を 確認 / 管理する	351
XDW (DocuWorks)	251
XML Paper Specification (XPS)	251, 454

ア

アジャスターフット	54
暗号化機能	373
異常警告音	205
異常終了プリント処理	215
異常な音がする	278
移動する	390
イメージログ管理設定	221
イメージログ機能	360
印刷指示したデータの状態を確認する	67
印刷する	74, 104, 132
印刷するための基本的な流れ	74, 104
印刷できない	280
印刷ページ数を確認する	346
印刷保証領域	423
印刷を中止する	66
印字品質が悪い →【印字品質や画質のトラブル】	282
インターネットサービス	200
インナー排出トレイ	53, 220
インフォメーションボタン	58
受付制限 (IPv4)	202
エラーコード	297
エラーメッセージ→【メッセージ】	287
エラーランプ	57, 279
エラー履歴レポート	342
お気に入り	75, 105
音の設定	205

オプション構成	68
オプション品の紹介	426
折りを補助する筋	244
オンラインボタン	58

カ

外観図	58
隠し印刷サンプルリスト	344
各部の名称と働き	53
画質が悪い →【印字品質や画質のトラブル】	282
画質補正	243
カスタムモード	328
紙づまり時の処理	213
紙づまりの処置	254
監査ログ	371
監査ログ機能	360
機械管理者メニュー	182, 185
奇数ページの両面	234
機能設定リスト	342
機能別カウンターレポート	348
基本の用紙サイズ	235
機密文書を印刷する	93, 118
キャスター	53
強制アノテーション機能	360, 368
共通メニュー	181
基本的な操作方法	183
共通メニュー項目の説明	185
グループトレイ	90
ゲートウェイアドレス	42, 350
ケーブルを接続する	35
結露が発生した	278
原稿 180° 回転	80, 110
言語切り替え	183, 253
困ったときには	254

サ

サイズ検知切り替え	235
サブネットマスク	42, 350
さまざまな種類の用紙に印刷する	84, 115
サンプルプリント	75, 97, 105, 122
時刻指定プリント	105, 126
システム設定	205
システム時計	212
自動検知できるサイズ	235
自動ジョブ履歴	208
自動トレイ選択	178
自動リセット	206
集計管理機能	382
集計管理の運用	216
集計管理レポート	342
受信制限	359, 361
出力結果を確認してから印刷する	97, 122
主電源スイッチ	55
主電源ランプ	57
準備完了音	205
仕様	413
使用済み消耗品の回収	331
仕様設定ボタン	58
使用できない用紙	162

使用できる環境	32
消耗品の残量を確認する →【Web ブラウザーでプリンターの 状態を確認 / 管理する】	351
消耗品の種類と購入	330
消耗品を交換する	330
初期化 / データ削除	245
ジョブの表示設定	209
ジョブ履歴レポート	342
スタンプ	75, 106
スリープモード	207
スリープモード移行時間	207
清掃	389
製品回収シート	344
製本	105
製本トレイ	56
セカンダリーイーサネットカードコネクタ	54
セキュリティー機能	359
セキュリティープリント	75, 93, 105, 118, 211, 359
セキュリティー拡張キットの取り付け	437
設定情報の複製機能についての 注意と制限	448
節電ボタン	57
節電モード	65
センタートレイ	53
センタートレイ (フィニッシャ接続部上面カ バー)	56
センタートレイ下段オフセット	232
センタートレイ上段オフセット	233
センタートレイのオフセット	232
選択文書のプリント順	211
操作パネル	53, 57
操作パネル設定	205
操作パネルでの設定	181
操作パネルのロック	359
その他 IPv6 使用時のトラブル	327
ソフトウェアオプション	220
ソフトウェアダウンロード	215

タ

大量・連続印刷する	88
蓄積文書リスト	344
注意 / 制限事項	441
通信の暗号化	359
データ暗号化	214
定形外サイズの用紙に印刷する	82, 113
定形外サイズの用紙をセットする	81, 111
定形外サイズを登録する	81, 111
ディスプレイ	57
定着ユニット	55
低電力移行時間	207
低電力 / スリープモードの設定を 変更する	184
低電力モード	206
手差しトレイに用紙をセットする	165
手差し用紙種類	79, 109
手差し (用紙トレイ 5)	54
電源が入らない	278
電源自動オフ設定	208

電源スイッチ	53
電源を入れる / 切る	60
電子メールでプリンターの状態を 確認する	353
電子メールを使って印刷する	137
動作環境→【使用できる環境】	32
特長	5
トナーカートリッジ	55
トナーカートリッジを交換する	332
ドメイン制限リスト	344
トラブル	
印刷が正しくできないトラブル	279
印字品質や画質のトラブル	282
エラーコード	297
電源、異常音など、機械本体のトラブル	278
トレイや用紙送りのトラブル	286
ネットワーク関連のトラブル	324
メッセージ (50 音順)	287
ドラムカートリッジ	55
ドラムカートリッジを交換する	334
ドラム寿命動作	213
トレイ 1 ～ 4 に用紙をセットする	168
トレイ 6 に用紙をセットする	171
トレイと用紙種類を設定して印刷する	85, 116
トレイの優先順位	227
トレイの用紙色	225
トレイの用紙サイズ	174, 229
トレイの用紙種類	224

ナ

内蔵フォント	423
中とじフィニッシャ	56
中とじユニット	56
中とじ用ホチキスカートリッジ	56
認証 / 集計管理	382
認証の設定	217
認証プリント	101, 129
ネットワーク / ポート設定	186
ネットワーク環境を設定する	40
ネットワークケーブル	36
ネットワーク接続	36
ネットワークプリンター	32

ハ

バーコードサンプル	344
ハードディスク	434
排出トレイ	56
はがきに印刷する	78, 108
はがきをセットする	77, 107
バナーシート設定	210
パラレル	188
パラレルインターフェースコネクタ	54
パラレル接続	38
パンチ	75, 105
パンチ穴のクズを捨てる	340
パンチダストボックス	56
パンチユニットの設定	244
左側面下部カバー (B)	54
左側面下部カバー (C)	54
左側面最上部カバー (E)	54

左側面上部カバー (A)	54
左側面上部カバー (D)	54
表紙付け	75, 105
平とじ用ホチキスカートリッジ	56
フィニッシャ	56
フィニッシャートレイのオフセット	233
フィニッシャーの調整	244
フィニッシャートレイ	56
封筒に印刷する	78, 108
封筒をセットする	77, 107
フォーム	106
フォーム機能	106
フォントリスト	342
複製管理	363
複製管理機能	360, 362
[プリンター構成] タブ	68
プリンター集計レポート	342, 347
プリンター集計レポートのデータを 初期化する	348
プリンタードライバー	34
アンインストール	50
インストール	49
プリント可能領域	210
プリント画面	59
プリント可ランプ	57, 279
プリント言語の設定	182, 247
プリントジョブの追越	215
プリント中止ボタン	58
プリントメニューボタン	57
プロパティダイアログボックス	75, 105
フロントカバー	53, 56
ペーパーセキュリティ	364
ペーパーセキュリティサンプルリスト	344
ペーパーレジ補正	243
ペーパーレジを調整する	387
ポートを起動する	44
ポスター	105
保存文書設定	219
ホチキス	105
ホチキスカートリッジを交換する	337
ホチキスの針づまりの処置	273
ホチキス針を交換する	337

マ

まとめて 1 枚	75, 105
マニュアル (HTML 文書)	49, 50
マニュアル体系	12
右奥カバー	54
未登録フォームへ印字	234
ミリ／インチ切り替え	214
メーター	346
メーター確認	182, 185
メーターの確認方法	346
メール受信プリント	137
メール受信プリント機能使用時の トラブル	325
メール通知サービス	353
メール通知サービス機能使用時の トラブル	325
メールを受信する	142

メールを転送する	142
メッセージ (50 音順).....	287
メニュー画面	59
メニュー自動リセット解除.....	206
メモリー設定	239
戻るボタン	58

ヤ

ユーザー定義用紙	111
ユーザー定義リスト	343
ユーザー登録による利用制限	359
用語集.....	452
用紙.....	157
使用できない用紙	162
使用できる用紙	157
用紙の保管と取り扱い.....	163
用紙色名称設定	231
用紙種類エラーの処理.....	223
用紙種類名称設定	231
用紙トレイ	53
用紙トレイ 6	54
用紙トレイ 6 上面カバー.....	54
用紙の置き換え	223
用紙の画質処理	230
用紙の残量を確認する → 【Web ブラウザーでプリンターの 状態を確認 / 管理する】.....	351
用紙種類を指定して自動で印刷する ...	84, 115
用紙の優先順位	226
用紙別の画質処理を設定する	177
用紙をセットする	165

ラ

リセットボタン	54
両面印刷	75, 105
両面ユニット	54
リレー給紙	88
レポート両面プリント.....	209
レポート / リスト	182, 185
レポート / リストを印刷する	345
ローカルプリンター	32
漏電ブレーカー	63

操作パネルメニュー一覧

操作パネルの基本的な使い方

メニューの上下を切り替えるには : <▲> または <▼> ボタン
 メニューを選択、右に進むには : <▶> または <OK> ボタン
 選択を取り消し、左に戻るには : <◀> または <戻る> ボタン
 値を確定するには : <OK> ボタン
 メニューを終了するには : <仕様設定> ボタン
 プリントメニューを始めるには : <プリントメニュー> ボタン
 ⓘ の詳しい表示を見るには : <インフォメーション> ボタン

数値や文字の入力のしかた

値を切り替え(増減)は : <▲> または <▼> ボタン
 桁やフィールドの移動は : <▶> または <◀> ボタン
 初期値に戻すには : <▲> と <▼> ボタンを同時に押す

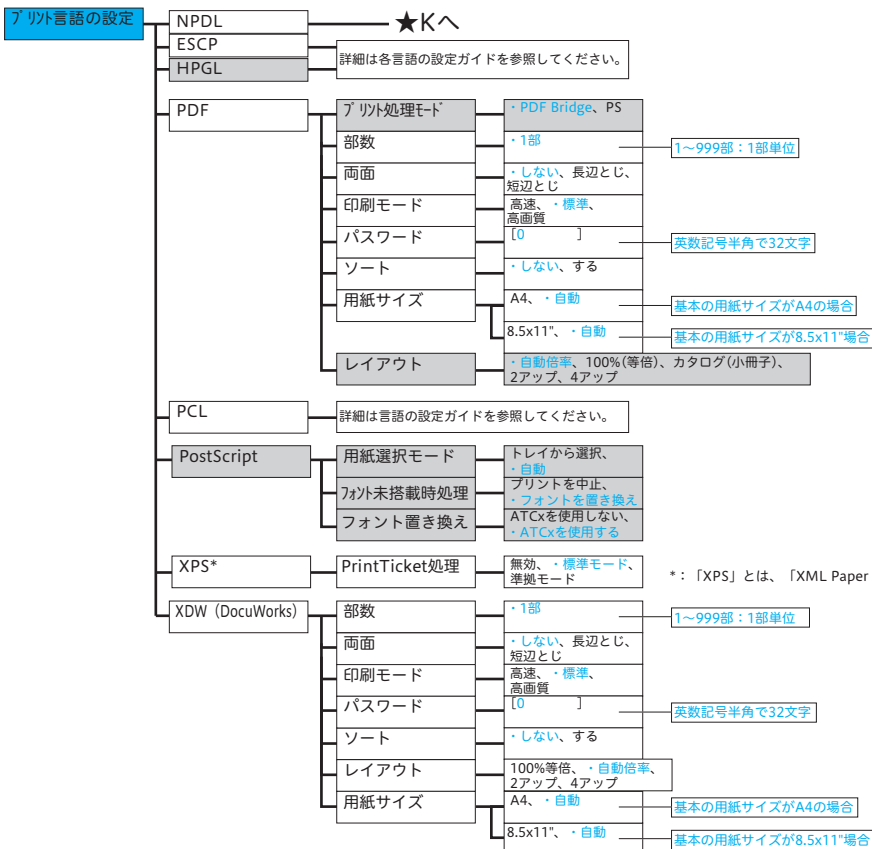
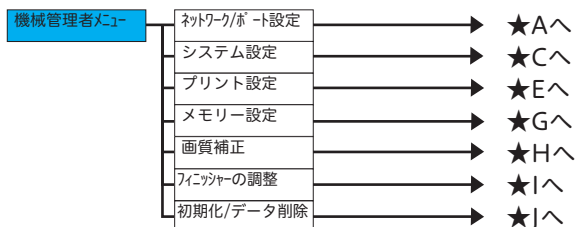
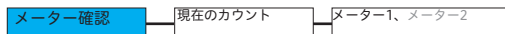
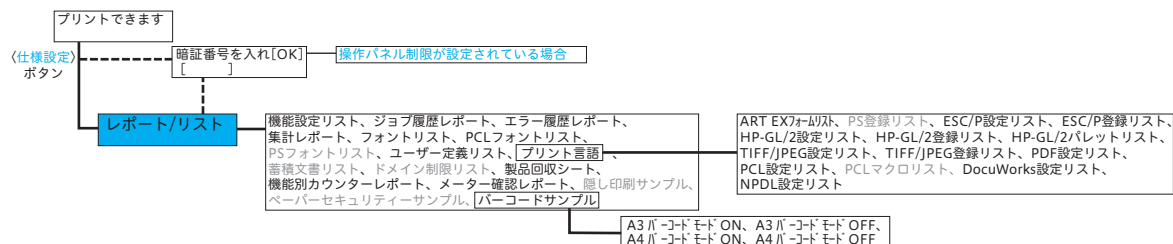
管理者メニューでの表記について

■ : メインメニュー

■ : 本機のオプション構成によって、表示/非表示する項目

● : 初期値

管理者メニュー



★A

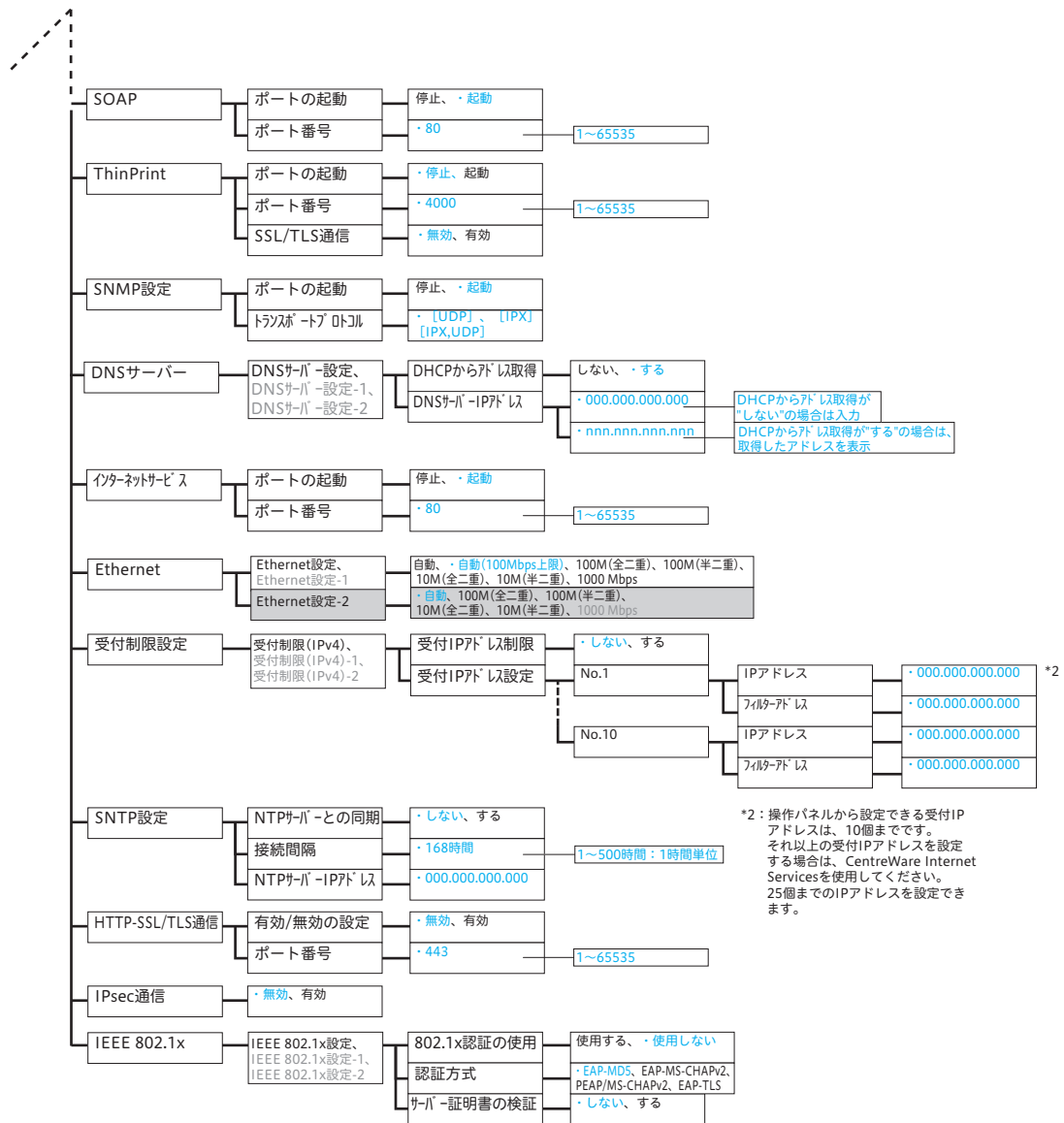
ネットワークポート設定	TCP/IP設定	IP動作モード	デュアルスタック、 ・IPv4、IPv6	
			IPアドレス取得方法	
		IPv4 設定	手動、DHCP、BOOTP、RARP、 ・DHCP/AutoIP ・000.000.000.000	
			IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ	
		IPv4 設定-1	手動、DHCP、BOOTP、RARP、 ・DHCP/AutoIP ・000.000.000.000	
			IPアドレス取得方法-1	
		IPv4 設定-2	手動、DHCP、BOOTP、RARP、 ・DHCP/AutoIP ・000.000.000.000	
			IPアドレス-1、サブネットマスク-1、ゲートウェイ-1	
		Ping接続確認	手動、DHCP、BOOTP、RARP、 ・DHCP/AutoIP ・000.000.000.000	
			IPアドレス取得方法-2	
	パラレル	ポートの起動	停止、 ・起動	
			ポートモード 指定	
		プリントモード 指定	・自動、NPDL、ART EX、PS、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump	
			無効、 ・有効	
		PJL	・標準、バイナリー、TBCP	
			5～1275秒：5秒単位 1～300秒：1秒単位（NPDLの場合）	
		Adobe通信ポート	・標準、バイナリー、TBCP	
			自動排出時間*	
		双方向通信	・有効、無効	
			・有効、無効	
	LPD	ポートの起動	停止、 ・起動	
			ポートモード 指定	
		プリントモード 指定	・自動、NPDL、ART EX、PS、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump	
			無効、 ・有効	
		PJL	・標準、バイナリー、TBCP	
			16秒	
		接続タイムアウト	2～3600秒：1秒単位	
			TBCPフィルター	
		ポート番号	・515	
			1～65535	
	IPP	ポートの起動	停止、 ・起動	
			ポートモード 指定	
		プリントモード 指定	・自動、NPDL、ART EX、PS、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump	
			無効、 ・有効	
		PJL	・標準、バイナリー、TBCP	
			有効、無効	
		アクセス権制御	無効、有効	
			DNS使用	
		追加ポート番号	・80	
			1～65535	
	Bonjour	ポートの起動	停止、 ・起動	
			ポートモード 指定	
		プリントモード 指定	・自動、NPDL、ART EX、PS、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump	
			有効、無効	
		PJL	・標準、バイナリー、TBCP	
			有効、無効	
		自動排出時間*	5～1275秒：5秒単位 1～300秒：1秒単位（NPDLの場合）	
			Adobe通信ポート	
		PS印刷待ちタイムアウト	・標準、バイナリー、TBCP、RAW	
			無効、有効	
	Port9100	ポートの起動	停止、 ・起動	
			ポートモード 指定	
		プリントモード 指定	・自動、NPDL、ART EX、PS、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump	
			無効、 ・有効	
		PJL	・標準、バイナリー、TBCP	
			60秒	
		接続タイムアウト	2～65535秒：1秒単位	
			ポート番号	
		TBCPフィルター	・9100	
			1～65535	
	UPnP	ポートの起動	停止、 ・起動	
			ポートモード 指定	
		プリントモード 指定	・自動、NPDL、ART EX、PS、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump	
			無効、 ・有効	
		PJL	・標準、バイナリー、TBCP	
			有効、無効	
		自動排出時間*	5～1275秒：5秒単位 1～300秒：1秒単位（NPDLの場合）	
			Adobe通信ポート	
		PS印刷待ちタイムアウト	・標準、バイナリー、TBCP、RAW	
			無効、有効	
	WSD	ポートの起動	停止、 ・起動	
			ポートモード 指定	
		プリントモード 指定	・自動、NPDL、ART EX、PS、ART IV、ESC/P、HP-GL/2、PCL、TIFF、HexDump	
			有効、無効	
		PJL	・標準、バイナリー、TBCP	
			有効、無効	
		自動排出時間*	5～1275秒：5秒単位 1～300秒：1秒単位（NPDLの場合）	
			Adobe通信ポート	
		PS印刷待ちタイムアウト	・標準、バイナリー、TBCP、RAW	
			無効、有効	

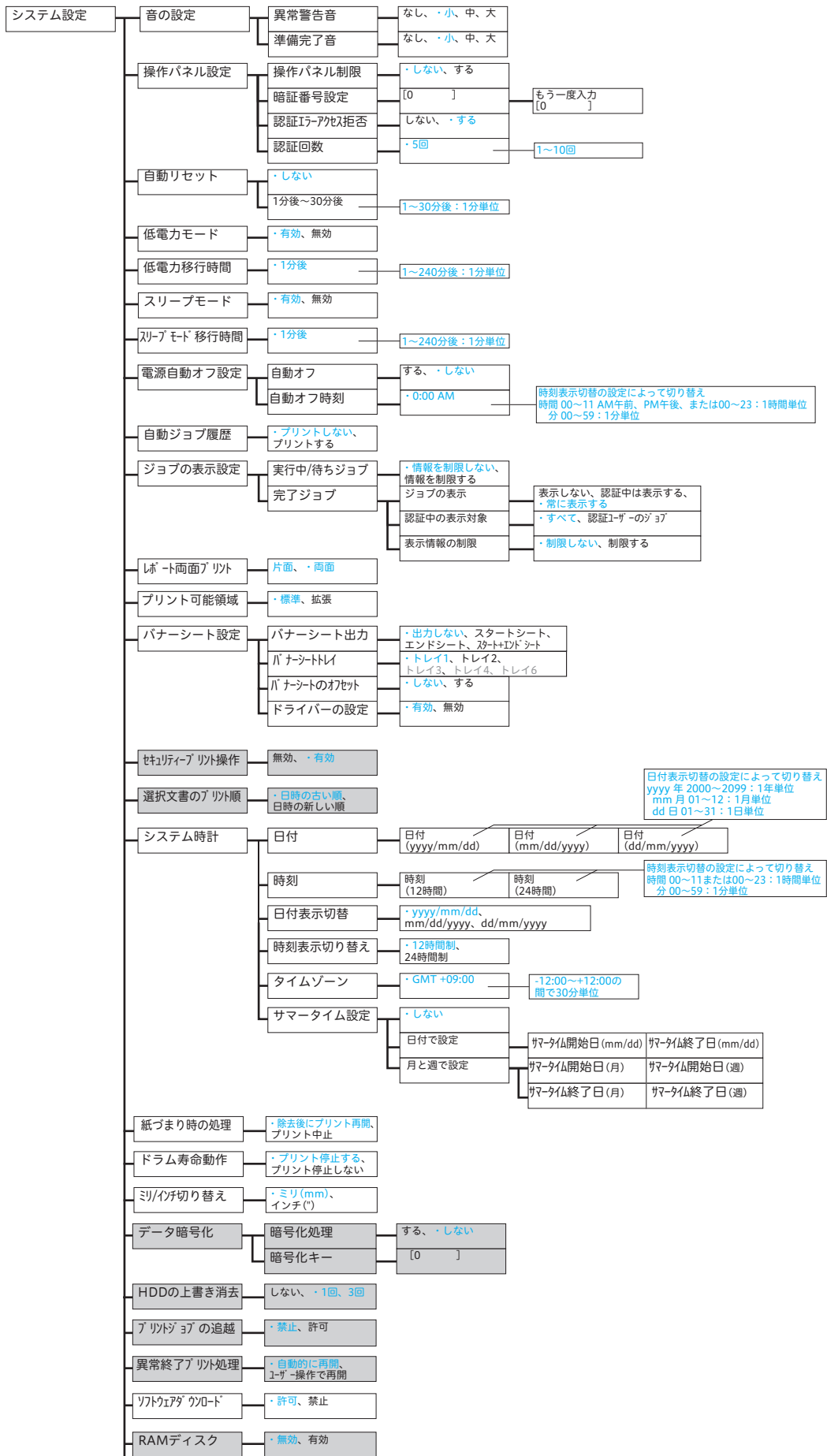
*：〔自動排出時間〕を〔無効〕に設定している場合は、ページ途中まで受信した後データがなくなった場合、途中時間が経過しても続きのデータが送られた場合は1つのジョブログとなります。異なるポートに切り替わった場合や、操作パネルのリセット実行が行われた場合は、その時点からジョブログは別々に分かります。

*：ハードディスク（オプション）を取り付けていないときは、表示されません。ハードディスク（オプション）を取り付けて〔プリント受け付け順〕に設定すると、〔LPDスプール設定〕が〔ハードディスクスプール〕に設定されます。

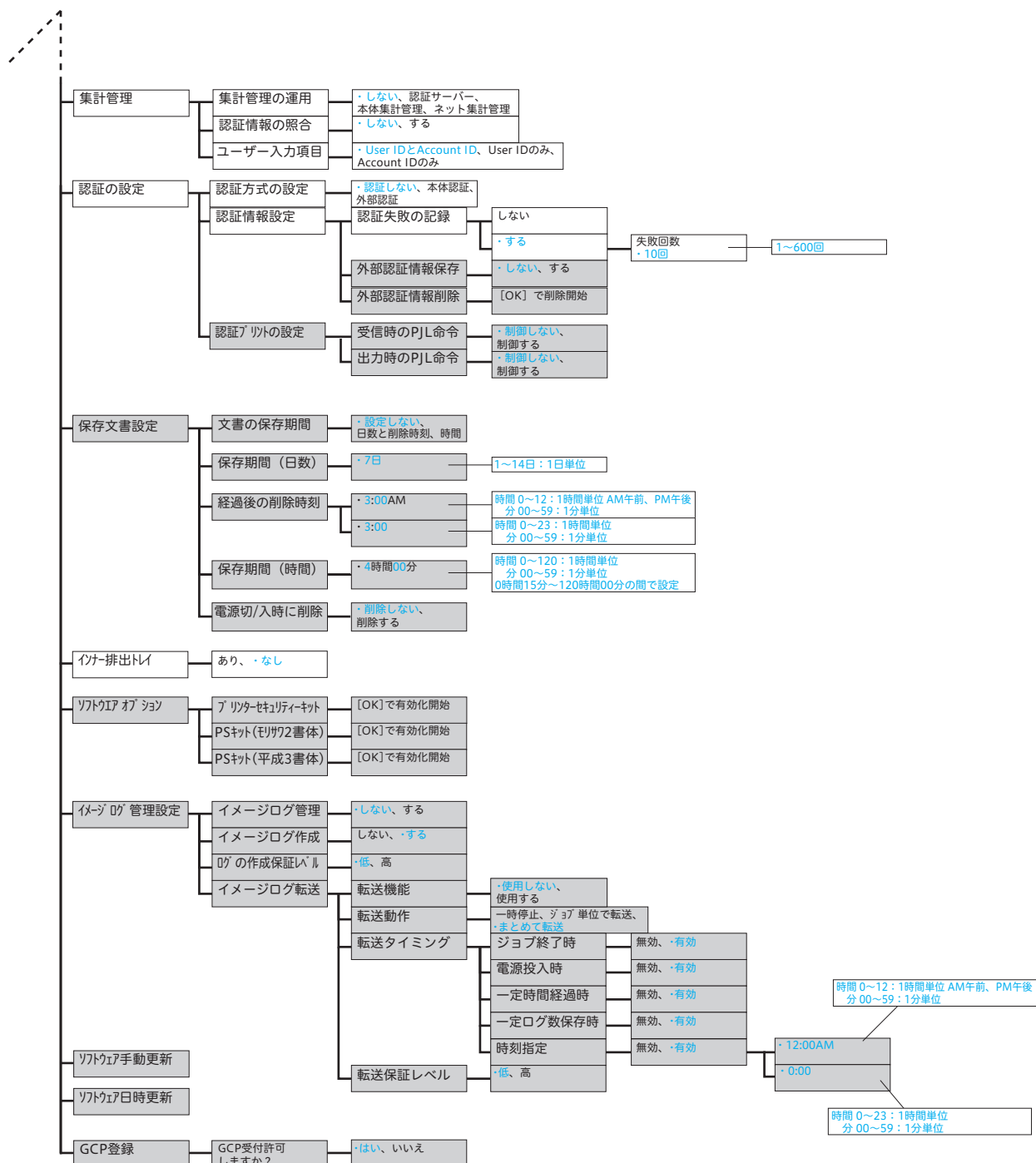
補足：〔WSD〕とは、〔Web Services on Devices〕の略です。

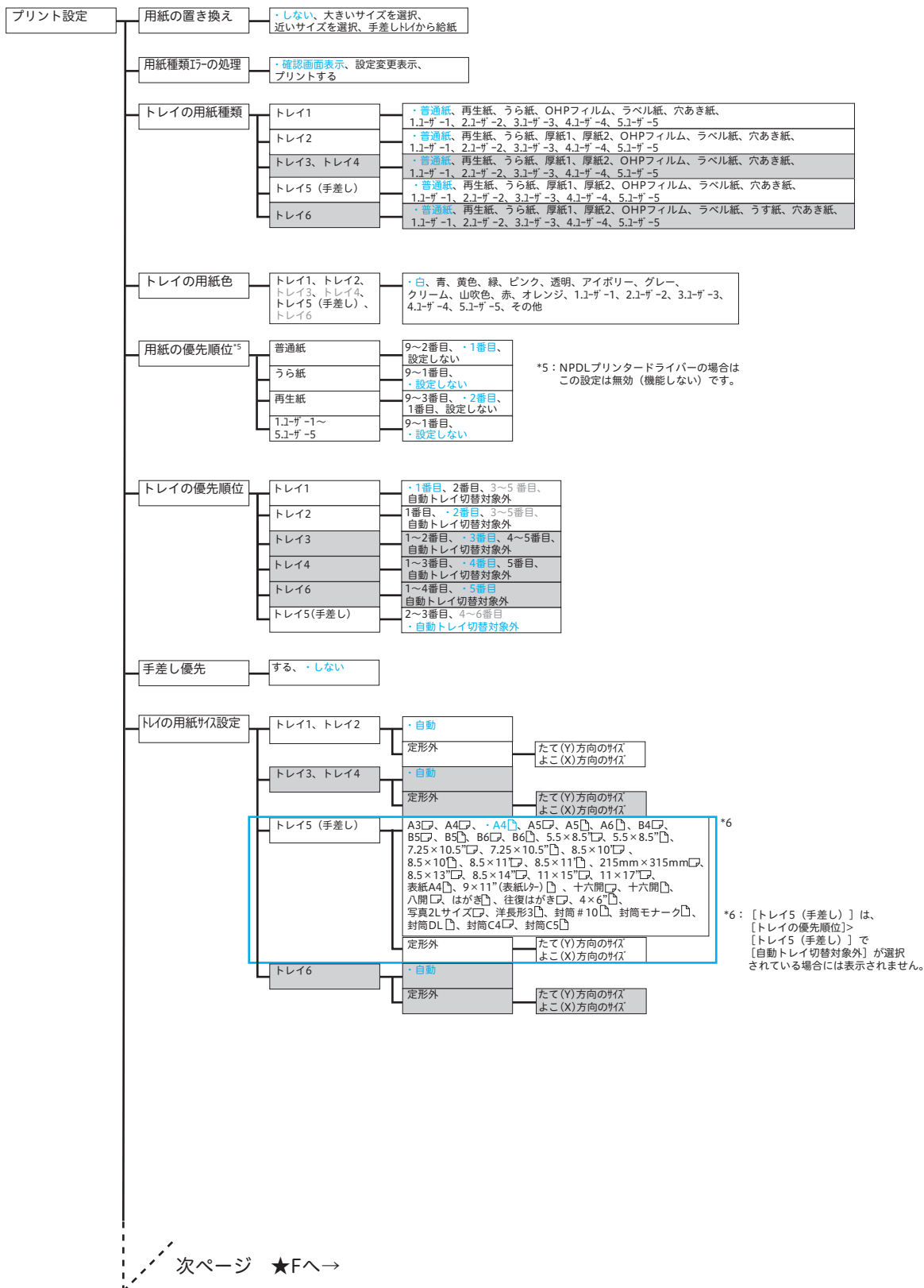
次ページ ★Bへ→





次ページ ★Dへ→

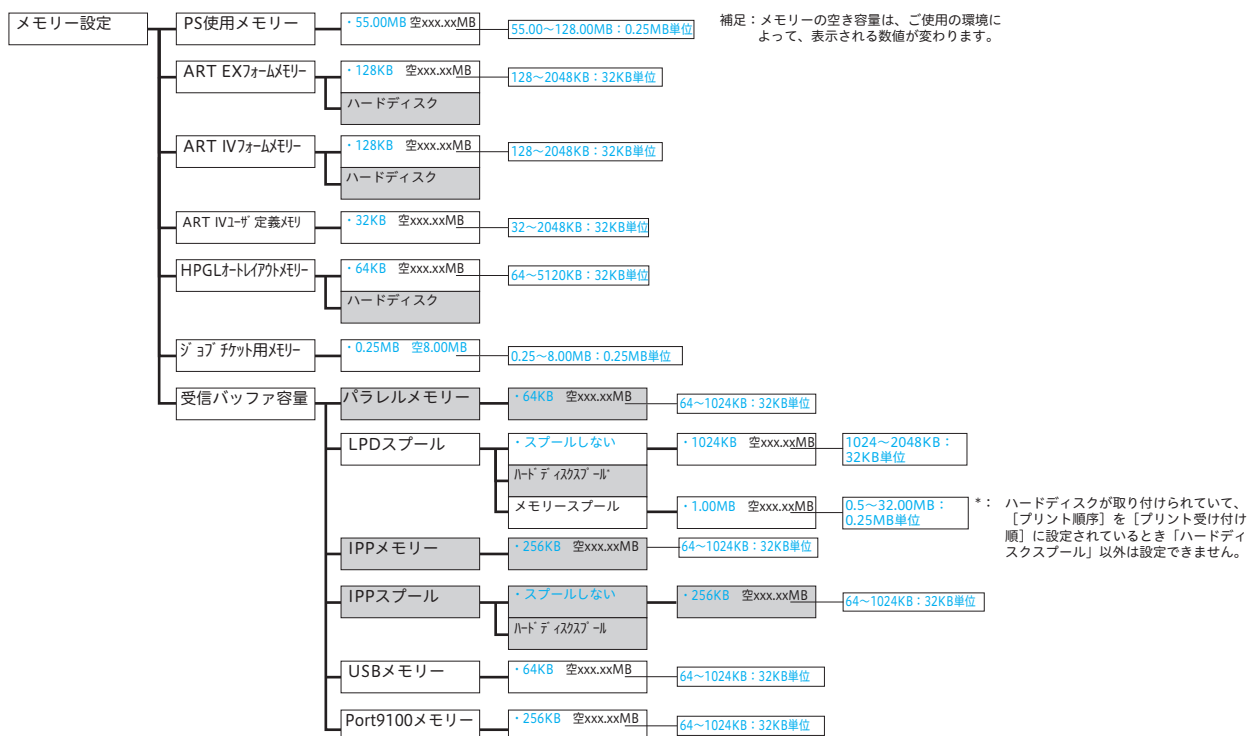




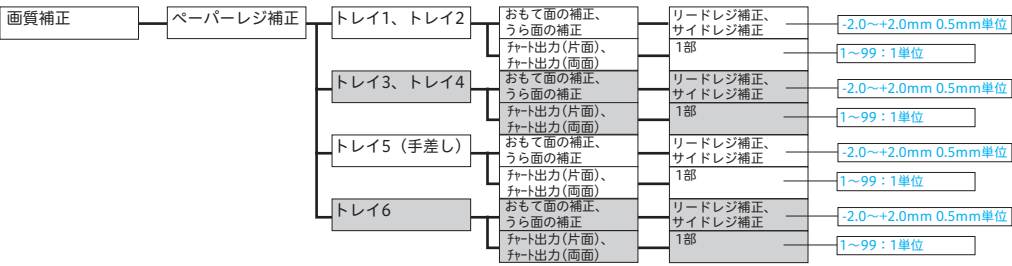
次ページ ★Fへ→



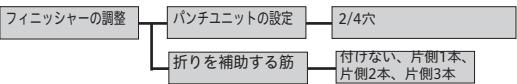
★G



★H

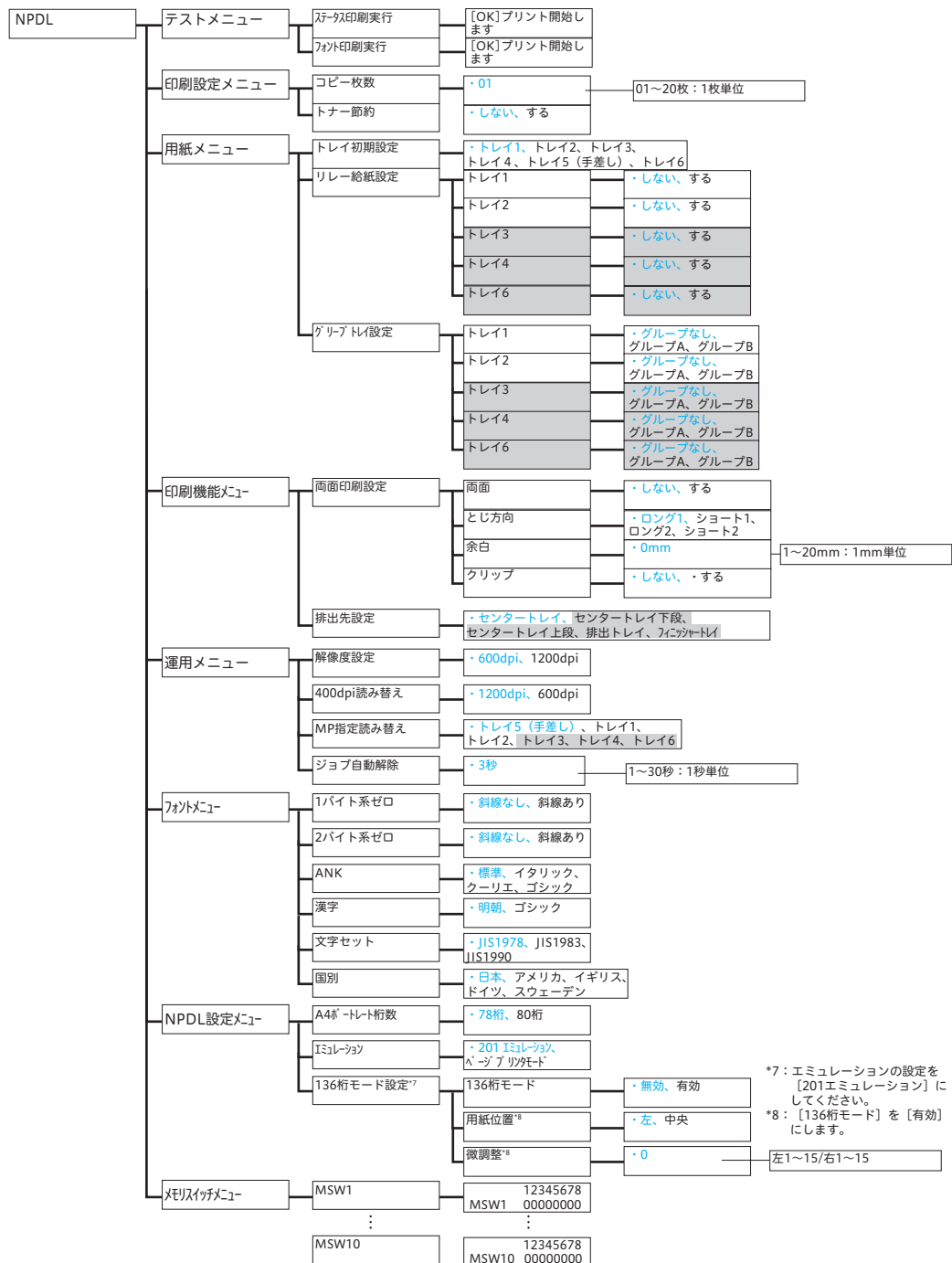


★I



★J





プリントメニュー

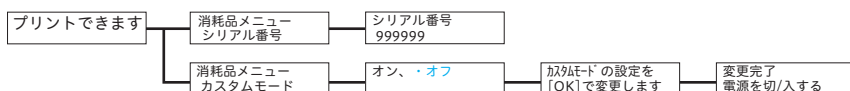
プリントメニューで認証を行った場合、[プリントできます]に戻るまで認証状態が継続されます。

〈プリントメニュー〉ボタン



消耗品メニュー

〈▼〉 + 〈OK〉 ボタン



MultiWriter 4700 活用マニュアル

発行者 — 日本電気株式会社

発行年月—2015 年 8 月 第 1 版

(管理番号 : ME7634J9-1)